「第４期 宮崎市障がい者計画」策定に係る
アンケート調査結果報告書

令和４年７月

宮崎市

目次

Ⅰ　調査の概要 1

1．調査の目的 1
2．調査の実施概要 1
3．報告書上の留意点 2

Ⅱ　各調査結果 3

ⅰ　障がい者手帳所持者調査結果 3

1．ご本人の障がいについて 3
2．学校・仕事について 13
3．外出状況について 43
4．文化芸術について 54
5．困ったときの相談について 57
6．生活環境について 64
7．医療機関の受診について 74
8．災害時の対応について 91
9．福祉・保健施策への希望について 107
10．日常生活自立支援事業と成年後見制度について 130
11．障がい者への理解や配慮について 134
12．在宅での支援の状況について【支援者が回答】 161

ⅱ　小中学生・一般調査結果 184

1．障がい者への関心について 184
2．福祉への関心などについて 267
3．ボランティア活動について 352
4．障がい・介護について 370
5．福祉のしごとについて 374
6．宮崎市の障がい者福祉について 378

ⅲ　関係団体調査結果 416

1．基本情報 416
2．本市の障がい者福祉の課題（自由記述） 417
3．本市が推進すべき障がい者福祉の方向性（自由記述） 426

ⅳ　企業調査結果 434

1．基本情報 434
2．障がい者への合理的配慮について 437
3．障がい者の雇用について 444

Ⅲ　前回調査との比較 458

ⅰ 障がい者手帳所持者調査結果.....458

ⅱ 小中学生・一般調査結果.....459

Ⅳ 生活環境への満足度による分析結果.....460

ⅰ 生活環境への満足度による分析結果概要.....460

ⅱ 生活環境への満足度×各調査項目による分析結果.....461

１．学校・仕事について.....461
２．外出状況について.....462
３．文化芸術について.....463
４．困ったときの相談について.....464
５．福祉・保健施策への希望について.....465
６．障がい者への理解や配慮について.....468
７．在宅での支援の状況について【支援者が回答】.....469

Ⅰ　調査の概要

１．調査の目的

第４期 宮崎市障がい者計画の策定にあたり、障がい者福祉に係る多様な主体の現状・ニーズ等を把握し、計画策定における基礎資料として活用することを目的とする。

２．調査の実施概要

ⅰ　障がい者手帳所持者調査

調査時期	令和 3 年 12 月～令和 4 年 2 月			
調査方法	回答依頼文書を送付後、Ｗｅｂフォームにて回答 （希望者には調査票の郵送配布・回収に対応）			
調査対象者	宮崎市内在住で障がい者手帳をお持ちの方又はその保護者			
	全体	身体障がい者手帳	療育手帳	精神障がい者保健福祉手帳
配布数	6,200 件	4,000 件	1,000 件	1,200 件
有効回答件数	1,238 件	758 件	237 件	243 件
有効回答率	20.0%	19.0%	23.7%	20.3%

ⅱ　小・中学生・一般調査

調査時期	令和 3 年 12 月～令和 4 年 2 月			
調査方法	回答依頼文書を送付後、Ｗｅｂフォームにて回答 （希望者には調査票の郵送配布・回収に対応）			
調査対象者	宮崎市内の公立小・中学校に通う小学 6 年生及び中学 3 年生、16 歳以上 65 歳以下の宮崎市民			
	全体	小学生	中学生	一般
配布数	9,405 件	3,799 件	3,106 件	2,500 件
有効回答件数	6,527 件	3,387 件	2,481 件	659 件
有効回答率	69.4%	89.2%	79.9%	26.4%

iii 関係団体調査

調査時期	令和４年５月～6 月		
調査方法	回答依頼文書を送付後、Ｗｅｂフォームにて回答 （希望者には調査票の郵送配布・回収に対応）		
調査対象者	宮崎市内において障がい福祉サービスを提供する事業者及び宮崎市内において活動している障がい者団体等		
	全体	サービス事業者	障がい者団体等
配布数	264 件 （宛先不明分除く）	219 件	45 件
有効回答件数	76 件	58 件	18 件
有効回答率	28.8%	26.5%	40.0%

iv 企業調査

調査時期	令和４年５月～6 月
調査方法	回答依頼文書を送付後、Ｗｅｂフォームにて回答 （希望者には調査票の郵送配布・回収に対応）
調査対象者	宮崎市内に所在する企業
配布数	936 件（宛先不明分除く）
有効回答件数	158 件
有効回答率	16.9%

３．報告書上の留意点

・構成比は小数点第２位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合がある。
・複数回答可の質問の構成比の合計は 100%を超えることがある。
・設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合がある。

Ⅱ　各調査結果

ⅰ　障がい者手帳所持者調査結果

１．ご本人の障がいについて

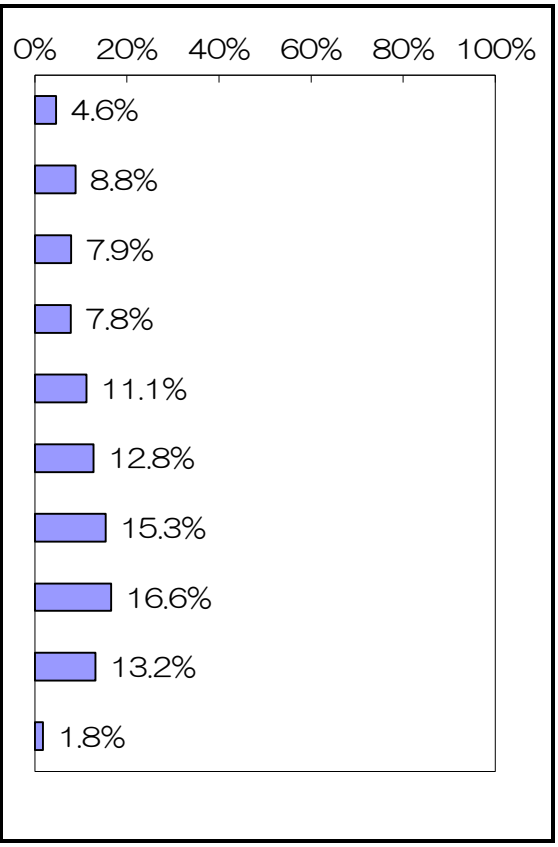
（１）年齢

問．ご本人の年齢についておたずねします。（令和３年 12 月１日現在）

「70 歳代」が 16.6%と最も高く、次いで、「60 歳代」の 15.3%、「80 歳以上」の 13.2%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「９歳以下」「10 歳代」「20 歳代」、精神障がい者の「30 歳代」「40 歳代」「50 歳代」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
９歳以下	57	4.6%
10歳代	109	8.8%
20歳代	98	7.9%
30歳代	97	7.8%
40歳代	138	11.1%
50歳代	159	12.8%
60歳代	190	15.3%
70歳代	205	16.6%
80歳以上	163	13.2%
無回答	22	1.8%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別		
	全体	身体	知的	精神
サンプル数	1,238	758	237	243
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
９歳以下	57	20	36	1
	4.6%	2.6%	15.2%	0.4%
10歳代	109	20	81	8
	8.8%	2.6%	34.2%	3.3%
20歳代	98	23	46	29
	7.9%	3.0%	19.4%	11.9%
30歳代	97	24	27	46
	7.8%	3.2%	11.4%	18.9%
40歳代	138	60	19	59
	11.1%	7.9%	8.0%	24.3%
50歳代	159	91	12	56
	12.8%	12.0%	5.1%	23.0%
60歳代	190	159	3	28
	15.3%	21.0%	1.3%	11.5%
70歳代	205	191	6	8
	16.6%	25.2%	2.5%	3.3%
80歳以上	163	158	0	5
	13.2%	20.8%	0.0%	2.1%
無回答	22	12	7	3
	1.8%	1.6%	3.0%	1.2%

（２）障がい手帳の等級

【身体障がい者手帳所持者】
問．身体障がい者手帳の等級は、次のうちどれですか。（○はひとつだけ）
【療育手帳所持者】
問．療育手帳に記載されている障がいの程度は次のうちどれですか。
（○はひとつだけ）
【精神障がい者保健福祉手帳所持者】
問．精神障がい者保健福祉手帳の等級は、次のうちどれですか。（○はひとつだけ）

身体障がい者手帳所持者は、「１級」が 35.6％と最も高く、次いで、「４級」の 24.1％、「２級」の 17.0％の順となっている。

身体障がい者手帳所持者を年齢別にみると、17 歳以下の「１級」「２級」の割合が高く、「１級」と「２級」の割合を合わせると約８割となっている。

療育手帳所持者は、「Ａ」が 41.4％、「Ｂ１」が 25.3％、「Ｂ２」が 31.6％となっている。

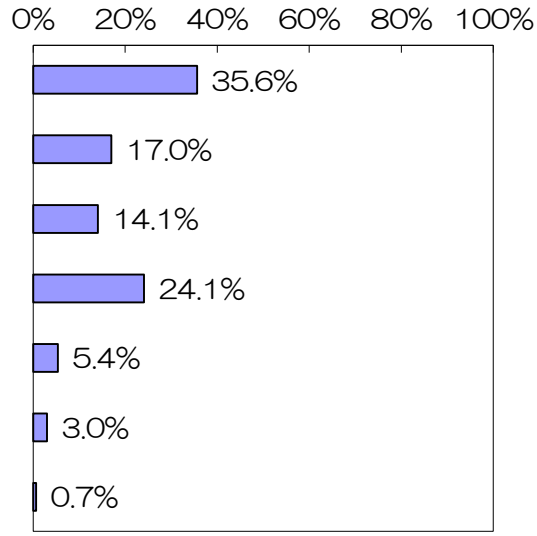
療育手帳所持者を年齢別にみると、65 歳以上の「Ａ」の割合が高く、７割に達している。

精神障がい者保健福祉手帳所持者は、「１級」が 6.2％、「２級」が 49.8％、「３級」が 43.2％となっている。

精神障がい者保健福祉手帳所持者を年齢別にみると、17 歳以下の「１級」と「３級」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

※身体障がい者手帳

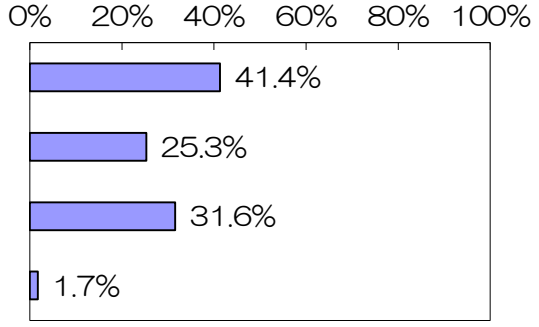
選択肢	回答数	割合
１級	270	35.6%
２級	129	17.0%
３級	107	14.1%
４級	183	24.1%
５級	41	5.4%
６級	23	3.0%
無回答	5	0.7%
サンプル数	758	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	758	758	0	0	38	270	438	12
	100.0%	100.0%	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
１級	270	270	0	0	18	95	153	4
	35.6%	35.6%	-	-	47.4%	35.2%	34.9%	33.3%
２級	129	129	0	0	11	54	62	2
	17.0%	17.0%	-	-	28.9%	20.0%	14.2%	16.7%
３級	107	107	0	0	5	34	66	2
	14.1%	14.1%	-	-	13.2%	12.6%	15.1%	16.7%
４級	183	183	0	0	1	56	124	2
	24.1%	24.1%	-	-	2.6%	20.7%	28.3%	16.7%
５級	41	41	0	0	2	18	21	0
	5.4%	5.4%	-	-	5.3%	6.7%	4.8%	0.0%
６級	23	23	0	0	1	12	10	0
	3.0%	3.0%	-	-	2.6%	4.4%	2.3%	0.0%
無回答	5	5	0	0	0	1	2	2
	0.7%	0.7%	-	-	0.0%	0.4%	0.5%	16.7%

※療育手帳

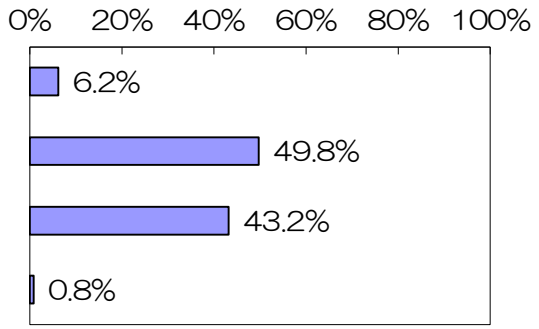
選択肢	回答数	割合
A	98	41.4%
B１	60	25.3%
B２	75	31.6%
無回答	4	1.7%
サンプル数	237	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	237	0	237	0	103	120	7	7
	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
A	98	0	98	0	40	53	5	0
	41.4%	-	41.4%	-	38.8%	44.2%	71.4%	0.0%
B１	60	0	60	0	24	34	1	1
	25.3%	-	25.3%	-	23.3%	28.3%	14.3%	14.3%
B２	75	0	75	0	39	33	1	2
	31.6%	-	31.6%	-	37.9%	27.5%	14.3%	28.6%
無回答	4	0	4	0	0	0	0	4
	1.7%	-	1.7%	-	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%

※精神障がい者保健福祉手帳

選択肢	回答数	割合
１級	15	6.2%
２級	121	49.8%
３級	105	43.2%
無回答	2	0.8%
サンプル数	243	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	243	0	0	243	7	205	28	3
	100.0%	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
１級	15	0	0	15	2	10	3	0
	6.2%	-	-	6.2%	28.6%	4.9%	10.7%	0.0%
２級	121	0	0	121	1	104	16	0
	49.8%	-	-	49.8%	14.3%	50.7%	57.1%	0.0%
３級	105	0	0	105	4	91	8	2
	43.2%	-	-	43.2%	57.1%	44.4%	28.6%	66.7%
無回答	2	0	0	2	0	0	1	1
	0.8%	-	-	0.8%	0.0%	0.0%	3.6%	33.3%

（３）障がいの種類

【身体障がい者手帳所持者】
問．身体障がい者手帳に記載されている障がい名はどれですか。
（あてはまるものに○）
【精神障がい者保健福祉手帳所持者】
問．自分の病気について、どのように聞いていますか。（あてはまるものに○）

身体障がい者手帳所持者は、「肢体不自由」が 42.1％と最も高く、次いで、「心臓機能障がい」の 20.7％、「じん臓機能障がい」の 10.7％の順となっている。

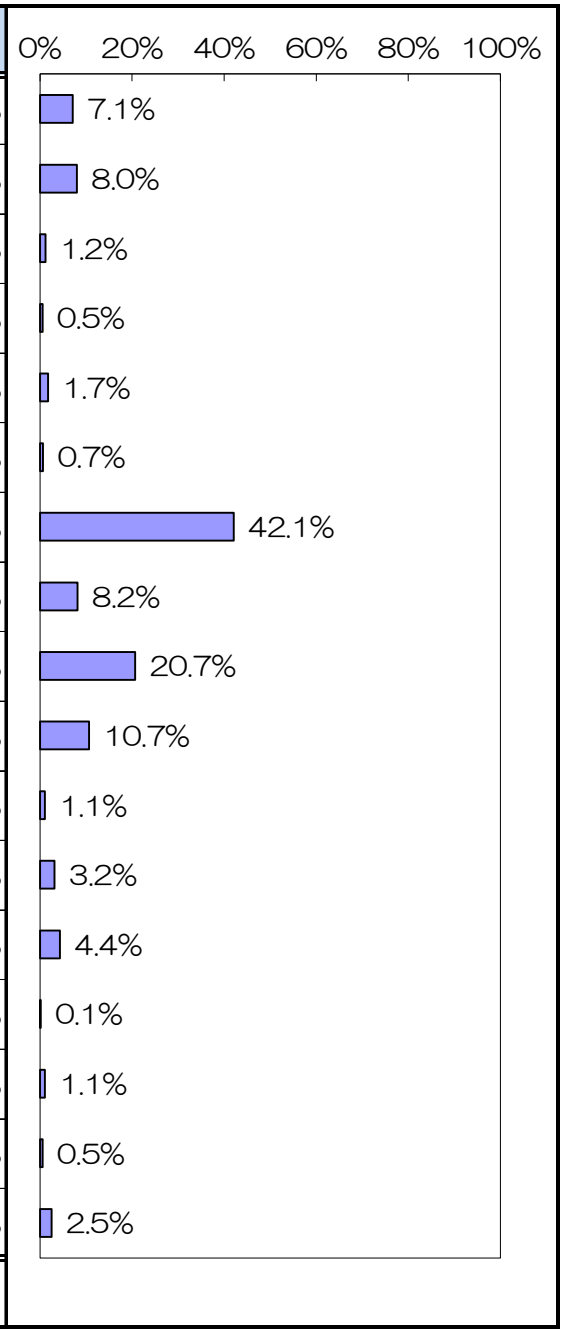
年齢区分別でみると、17 歳以下の「肢体不自由」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

精神障がい者保健福祉手帳所持者は、「統合失調症」が 27.2％と最も高く、次いで、「発達障がい」の 16.5％、「気分障がい」の 15.2％の順となっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「発達障がい」「てんかん」「高次脳機能障がい」「学習障がい」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

※身体障がい者手帳

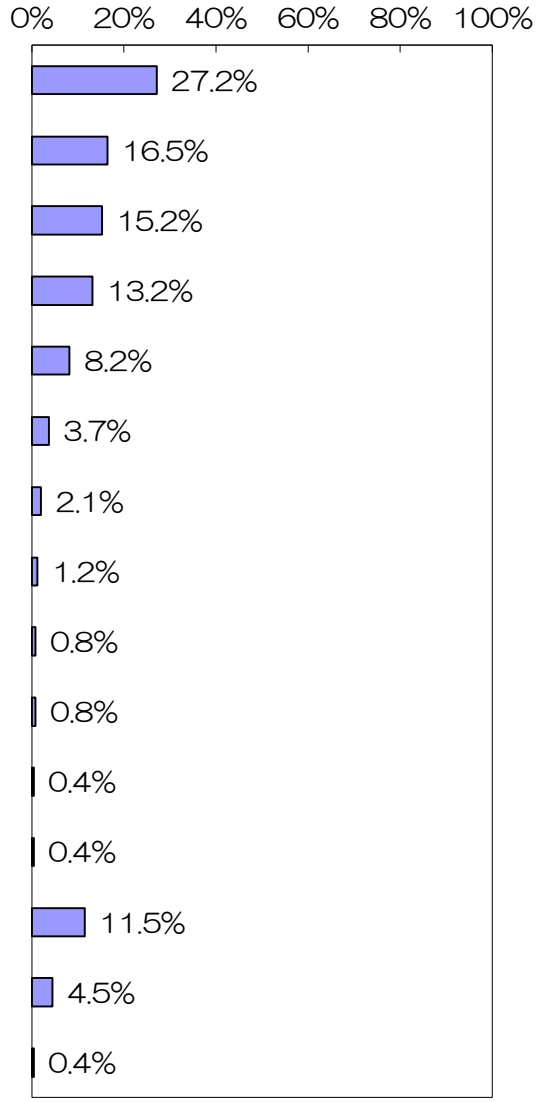
選択肢	回答数	割合
視覚障がい	54	7.1%
聴覚障がい	61	8.0%
平衡機能障がい	9	1.2%
音声機能障がい	4	0.5%
言語機能障がい	13	1.7%
そしゃく機能障がい	5	0.7%
肢体不自由	319	42.1%
運動機能障がい	62	8.2%
心臓機能障がい	157	20.7%
じん臓機能障がい	81	10.7%
呼吸器機能障がい	8	1.1%
ぼうこう機能障がい	24	3.2%
直腸機能障がい	33	4.4%
小腸機能障がい	1	0.1%
免疫機能障がい	8	1.1%
肝臓機能障がい	4	0.5%
無回答	19	2.5%
サンプル数	758	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	758	758	0	0	38	270	438	12
	100.0%	100.0%	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
視覚障がい	54	54	0	0	3	23	27	1
	7.1%	7.1%	-	-	7.9%	8.5%	6.2%	8.3%
聴覚障がい	61	61	0	0	7	16	37	1
	8.0%	8.0%	-	-	18.4%	5.9%	8.4%	8.3%
平衡機能障がい	9	9	0	0	0	4	5	0
	1.2%	1.2%	-	-	0.0%	1.5%	1.1%	0.0%
音声機能障がい	4	4	0	0	0	1	3	0
	0.5%	0.5%	-	-	0.0%	0.4%	0.7%	0.0%
言語機能障がい	13	13	0	0	0	5	8	0
	1.7%	1.7%	-	-	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%
そしゃく機能障がい	5	5	0	0	0	3	2	0
	0.7%	0.7%	-	-	0.0%	1.1%	0.5%	0.0%
肢体不自由	319	319	0	0	24	122	169	4
	42.1%	42.1%	-	-	63.2%	45.2%	38.6%	33.3%
運動機能障がい	62	62	0	0	2	30	30	0
	8.2%	8.2%	-	-	5.3%	11.1%	6.8%	0.0%
心臓機能障がい	157	157	0	0	3	33	115	6
	20.7%	20.7%	-	-	7.9%	12.2%	26.3%	50.0%
じん臓機能障がい	81	81	0	0	0	39	42	0
	10.7%	10.7%	-	-	0.0%	14.4%	9.6%	0.0%
呼吸器機能障がい	8	8	0	0	1	1	6	0
	1.1%	1.1%	-	-	2.6%	0.4%	1.4%	0.0%
ぼうこう機能障がい	24	24	0	0	3	6	15	0
	3.2%	3.2%	-	-	7.9%	2.2%	3.4%	0.0%
直腸機能障がい	33	33	0	0	1	12	20	0
	4.4%	4.4%	-	-	2.6%	4.4%	4.6%	0.0%
小腸機能障がい	1	1	0	0	0	1	0	0
	0.1%	0.1%	-	-	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
免疫機能障がい	8	8	0	0	0	5	3	0
	1.1%	1.1%	-	-	0.0%	1.9%	0.7%	0.0%
肝臓機能障がい	4	4	0	0	0	2	1	1
	0.5%	0.5%	-	-	0.0%	0.7%	0.2%	8.3%
無回答	19	19	0	0	0	7	12	0
	2.5%	2.5%	-	-	0.0%	2.6%	2.7%	0.0%

※精神障がい者保健福祉手帳

選択肢	回答数	割合
統合失調症	66	27.2%
発達障がい	40	16.5%
気分障がい	37	15.2%
不安障がい・パニック障がい	32	13.2%
てんかん	20	8.2%
適応障がい	9	3.7%
高次脳機能障がい	5	2.1%
薬物・アルコール依存症	3	1.2%
器質性精神病（認知症など）	2	0.8%
学習障がい	2	0.8%
パーソナリティ障がい	1	0.4%
行動障がい	1	0.4%
その他	28	11.5%
わからない	11	4.5%
無回答	1	0.4%
サンプル数	243	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	243	0	0	243	7	205	28	3
	100.0%	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
統合失調症	66	0	0	66	0	58	7	1
	27.2%	-	-	27.2%	0.0%	28.3%	25.0%	33.3%
発達障がい	40	0	0	40	3	36	0	1
	16.5%	-	-	16.5%	42.9%	17.6%	0.0%	33.3%
気分障がい	37	0	0	37	0	32	4	1
	15.2%	-	-	15.2%	0.0%	15.6%	14.3%	33.3%
不安障がい・パニック障がい	32	0	0	32	0	25	6	1
	13.2%	-	-	13.2%	0.0%	12.2%	21.4%	33.3%
てんかん	20	0	0	20	2	17	1	0
	8.2%	-	-	8.2%	28.6%	8.3%	3.6%	0.0%
適応障がい	9	0	0	9	0	8	0	1
	3.7%	-	-	3.7%	0.0%	3.9%	0.0%	33.3%
高次脳機能障がい	5	0	0	5	1	4	0	0
	2.1%	-	-	2.1%	14.3%	2.0%	0.0%	0.0%
薬物・アルコール依存症	3	0	0	3	0	0	3	0
	1.2%	-	-	1.2%	0.0%	0.0%	10.7%	0.0%
器質性精神病（認知症など）	2	0	0	2	0	1	1	0
	0.8%	-	-	0.8%	0.0%	0.5%	3.6%	0.0%
学習障がい	2	0	0	2	1	0	0	1
	0.8%	-	-	0.8%	14.3%	0.0%	0.0%	33.3%
パーソナリティ障がい	1	0	0	1	0	1	0	0
	0.4%	-	-	0.4%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
行動障がい	1	0	0	1	0	1	0	0
	0.4%	-	-	0.4%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
その他	28	0	0	28	0	26	2	0
	11.5%	-	-	11.5%	0.0%	12.7%	7.1%	0.0%
わからない	11	0	0	11	0	5	6	0
	4.5%	-	-	4.5%	0.0%	2.4%	21.4%	0.0%
無回答	1	0	0	1	0	0	0	1
	0.4%	-	-	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

２．学校・仕事について

（１）日中の過ごし方

問．日中は主にどのように過ごしていますか。過ごす時間が一番多いものを選択してください。（○はひとつだけ）

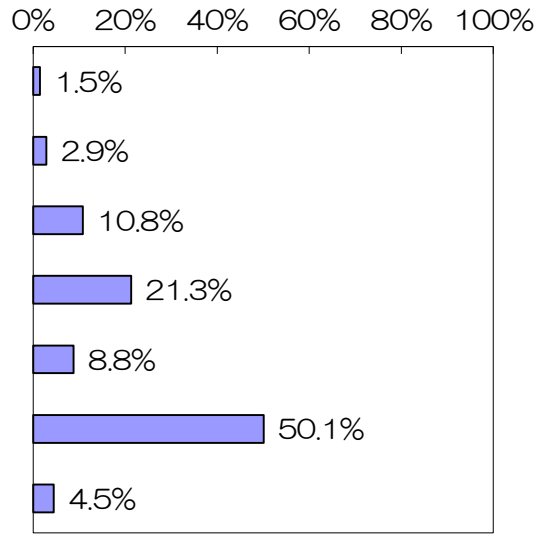
「その他」が 50.1％と最も高く、次いで、「一般企業や自営業などで働いている」の 21.3％、「学校に通っている（小・中・高・専門学校・大学・特別支援学校等）」の 10.8％の順となっている。

「その他」については、「自宅にいる」「デイサービス等の通いの施設を利用している」「施設に入所している」などの回答が多く寄せられた。

障がい種別でみると、知的障がい者の「学校に通っている（小・中・高・専門学校・大学・特別支援学校等）」割合が高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「障がい児通所支援事業所・保育所・幼稚園に通っている（児童発達支援等、認可保育園、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業、認可外保育施設等）」「学校に通っている（小・中・高・専門学校・大学・特別支援学校等）」割合が高く、合わせると９割を超えている。

選択肢	回答数	割合
就学前でいつも家にいる	19	1.5%
障がい児通所支援事業所・保育所・幼稚園に通っている（児童発達支援等、認可保育園、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業、認可外保育施設等）	36	2.9%
学校に通っている（小・中・高・専門学校・大学・特別支援学校等）	134	10.8%
一般企業や自営業などで働いている	264	21.3%
就労継続支援事業所などの生産活動があり賃金・工賃等が得られる施設・事業所で働いている	109	8.8%
その他	620	50.1%
無回答	56	4.5%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
就学前でいつも家にいる	19	7	1	11	2	15	2	0
	1.5%	0.9%	0.4%	4.5%	1.4%	2.5%	0.4%	0.0%
障がい児通所支援事業所・保育所・幼稚園に通っている（児童発達支援等、認可保育園、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業、認可外保育施設等）	36	16	19	1	26	7	3	0
	2.9%	2.1%	8.0%	0.4%	17.6%	1.2%	0.6%	0.0%
学校に通っている（小・中・高・専門学校・大学・特別支援学校等）	134	30	95	9	116	15	1	2
	10.8%	4.0%	40.1%	3.7%	78.4%	2.5%	0.2%	9.1%
一般企業や自営業などで働いている	264	187	28	49	0	202	56	6
	21.3%	24.7%	11.8%	20.2%	0.0%	33.9%	11.8%	27.3%
就労継続支援事業所などの生産活動があり賃金・工賃等が得られる施設・事業所で働いている	109	27	39	43	0	97	7	5
	8.8%	3.6%	16.5%	17.7%	0.0%	16.3%	1.5%	22.7%
その他	620	448	49	123	3	248	364	5
	50.1%	59.1%	20.7%	50.6%	2.0%	41.7%	77.0%	22.7%
無回答	56	43	6	7	1	11	40	4
	4.5%	5.7%	2.5%	2.9%	0.7%	1.8%	8.5%	18.2%

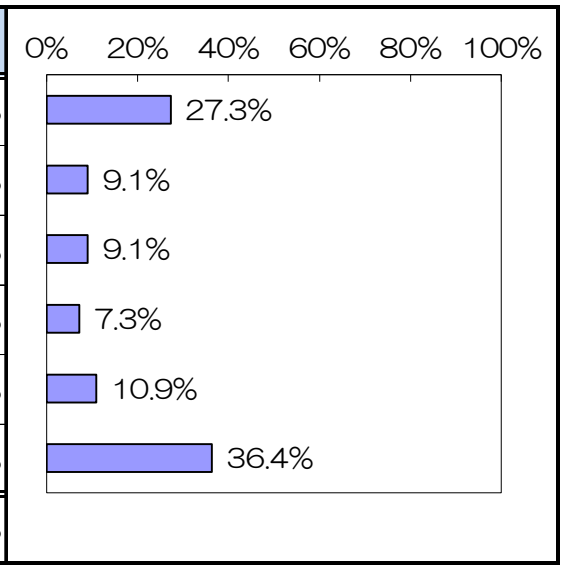
（２）希望する進学先

問.（日中の過ごし方について、「就学前でいつも家にいる」又は「障がい児通所支援事業所・保育所・幼稚園に通っている」と答えた人のみ回答）希望する進学先をお答えください。（○はひとつだけ）

無回答を除くと、「特別支援学校」が 27.3%と最も高く、次いで、「地域の小学校（通常の学級）」「地域の小学校（特別支援学級）」の 9.1%となっている。

障がい種別でみると、身体障がい者は「特別支援学校」「地域の小学校（通常の学級）」、知的障がい者は「特別支援学校」、精神障がい者は「わからない」の割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
特別支援学校	15	27.3%
地域の小学校（通常の学級）	5	9.1%
地域の小学校（特別支援学級）	5	9.1%
その他	4	7.3%
わからない	6	10.9%
無回答	20	36.4%
サンプル数	55	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	55	23	20	12	28	22	5	0
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
特別支援学校	15	5	10	0	14	1	0	0
	27.3%	21.7%	50.0%	0.0%	50.0%	4.5%	0.0%	-
地域の小学校（通常の学級）	5	5	0	0	5	0	0	0
	9.1%	21.7%	0.0%	0.0%	17.9%	0.0%	0.0%	-
地域の小学校（特別支援学級）	5	2	3	0	5	0	0	0
	9.1%	8.7%	15.0%	0.0%	17.9%	0.0%	0.0%	-
その他	4	3	0	1	0	2	2	0
	7.3%	13.0%	0.0%	8.3%	0.0%	9.1%	40.0%	-
わからない	6	3	1	2	3	2	1	0
	10.9%	13.0%	5.0%	16.7%	10.7%	9.1%	20.0%	-
無回答	20	5	6	9	1	17	2	0
	36.4%	21.7%	30.0%	75.0%	3.6%	77.3%	40.0%	-

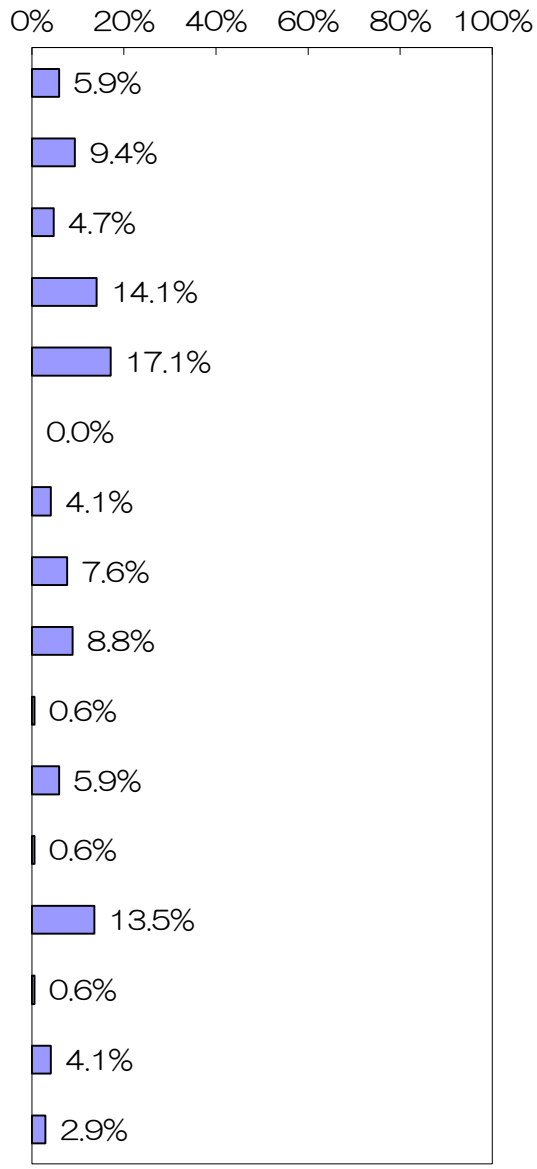
（３）通所・通学先

問.（日中の過ごし方について、「就学前でいつも家にいる」又は「障がい児通所支援事業所・保育所・幼稚園に通っている」と答えた人のみ回答）ご本人の通っている施設・学校などは、次のうちどれですか。（○はひとつだけ）

「小学校（部）-特別支援学校」が 17.1%と最も高く、次いで、「小学校（部）-小学校（特別支援学級）」の 14.1%、「高等学校（部）-特別支援学校」の 13.5%の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「高等学校（部）-高等学校（下記以外）」の割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
就学前-保育所・幼稚園	10	5.9%
就学前-障がい児通所支援事業所	16	9.4%
小学校（部）-小学校（通常の学級）	8	4.7%
小学校（部）-小学校（特別支援学級）	24	14.1%
小学校（部）-特別支援学校	29	17.1%
小学校（部）-訪問教育	0	0.0%
中学校（部）-中学校（通常の学級）	7	4.1%
中学校（部）-中学校（特別支援学級）	13	7.6%
中学校（部）-特別支援学校	15	8.8%
中学校（部）-訪問教育	1	0.6%
高等学校（部）-高等学校（下記以外）	10	5.9%
高等学校（部）-単位制、通信制の高校	1	0.6%
高等学校（部）-特別支援学校	23	13.5%
高等学校（部）-訪問教育	1	0.6%
その他	7	4.1%
無回答	5	2.9%
サンプル数	170	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	170	46	114	10	142	22	4	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
就学前-保育所・幼稚園	10	5	5	0	9	0	1	0
	5.9%	10.9%	4.4%	0.0%	6.3%	0.0%	25.0%	0.0%
就学前-障がい児通所支援事業所	16	8	8	0	15	1	0	0
	9.4%	17.4%	7.0%	0.0%	10.6%	4.5%	0.0%	0.0%
小学校（部）-小学校（通常の学級）	8	6	1	1	7	0	0	1
	4.7%	13.0%	0.9%	10.0%	4.9%	0.0%	0.0%	50.0%
小学校（部）-小学校（特別支援学級）	24	2	21	1	24	0	0	0
	14.1%	4.3%	18.4%	10.0%	16.9%	0.0%	0.0%	0.0%
小学校（部）-特別支援学校	29	6	23	0	29	0	0	0
	17.1%	13.0%	20.2%	0.0%	20.4%	0.0%	0.0%	0.0%
小学校（部）-訪問教育	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中学校（部）-中学校（通常の学級）	7	5	1	1	7	0	0	0
	4.1%	10.9%	0.9%	10.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%
中学校（部）-中学校（特別支援学級）	13	0	12	1	13	0	0	0
	7.6%	0.0%	10.5%	10.0%	9.2%	0.0%	0.0%	0.0%
中学校（部）-特別支援学校	15	2	13	0	15	0	0	0
	8.8%	4.3%	11.4%	0.0%	10.6%	0.0%	0.0%	0.0%
中学校（部）-訪問教育	1	1	0	0	1	0	0	0
	0.6%	2.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
高等学校（部）-高等学校（下記以外）	10	3	3	4	4	5	0	1
	5.9%	6.5%	2.6%	40.0%	2.8%	22.7%	0.0%	50.0%
高等学校（部）-単位制、通信制の高校	1	0	1	0	1	0	0	0
	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
高等学校（部）-特別支援学校	23	2	21	0	16	7	0	0
	13.5%	4.3%	18.4%	0.0%	11.3%	31.8%	0.0%	0.0%
高等学校（部）-訪問教育	1	0	1	0	1	0	0	0
	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	7	3	3	1	0	7	0	0
	4.1%	6.5%	2.6%	10.0%	0.0%	31.8%	0.0%	0.0%
無回答	5	3	1	1	0	2	3	0
	2.9%	6.5%	0.9%	10.0%	0.0%	9.1%	75.0%	0.0%

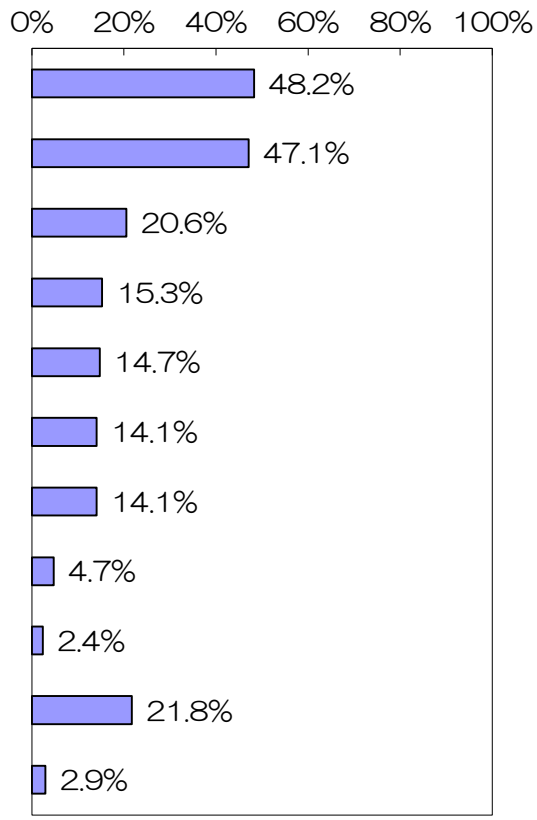
（４）通所・通学先への要望

問.（日中の過ごし方について、「就学前でいつも家にいる」又は「障がい児通所支援事業所・保育所・幼稚園に通っている」と答えた人のみ回答）通っている施設・学校などへの要望はありますか。（○は３つまで）

「教職員等の障がい理解、指導の質」が 48.2%と最も高く、次いで、「障がい特性を踏まえた教育」の 47.1%、「特にない」の 21.8%の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「教職員等の障がい理解、指導の質」「障がい特性を踏まえた教育」の割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
教職員等の障がい理解、指導の質	82	48.2%
障がい特性を踏まえた教育	80	47.1%
教職員等の増員	35	20.6%
施設・学校などの機関の連携	26	15.3%
送迎の実施、充実	25	14.7%
設備の改善（バリアフリー等のハード面）	24	14.1%
地域社会との交流の充実	24	14.1%
未就学児施設・小中学校等の機関の連携	8	4.7%
その他	4	2.4%
特にない	37	21.8%
無回答	5	2.9%
サンプル数	170	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	170	46	114	10	142	22	4	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
教職員等の障がい理解、指導の質	82	19	56	7	74	7	0	1
	48.2%	41.3%	49.1%	70.0%	52.1%	31.8%	0.0%	50.0%
障がい特性を踏まえた教育	80	16	56	8	69	10	0	1
	47.1%	34.8%	49.1%	80.0%	48.6%	45.5%	0.0%	50.0%
教職員等の増員	35	5	28	2	33	2	0	0
	20.6%	10.9%	24.6%	20.0%	23.2%	9.1%	0.0%	0.0%
施設・学校などの機関の連携	26	6	18	2	22	4	0	0
	15.3%	13.0%	15.8%	20.0%	15.5%	18.2%	0.0%	0.0%
送迎の実施、充実	25	9	16	0	23	2	0	0
	14.7%	19.6%	14.0%	0.0%	16.2%	9.1%	0.0%	0.0%
設備の改善（バリアフリー等のハード面）	24	12	12	0	20	3	0	1
	14.1%	26.1%	10.5%	0.0%	14.1%	13.6%	0.0%	50.0%
地域社会との交流の充実	24	8	16	0	20	4	0	0
	14.1%	17.4%	14.0%	0.0%	14.1%	18.2%	0.0%	0.0%
未就学児施設・小中学校等の機関の連携	8	2	6	0	7	1	0	0
	4.7%	4.3%	5.3%	0.0%	4.9%	4.5%	0.0%	0.0%
その他	4	1	3	0	3	1	0	0
	2.4%	2.2%	2.6%	0.0%	2.1%	4.5%	0.0%	0.0%
特にない	37	11	26	0	30	6	1	0
	21.8%	23.9%	22.8%	0.0%	21.1%	27.3%	25.0%	0.0%
無回答	5	3	1	1	1	1	3	0
	2.9%	6.5%	0.9%	10.0%	0.7%	4.5%	75.0%	0.0%

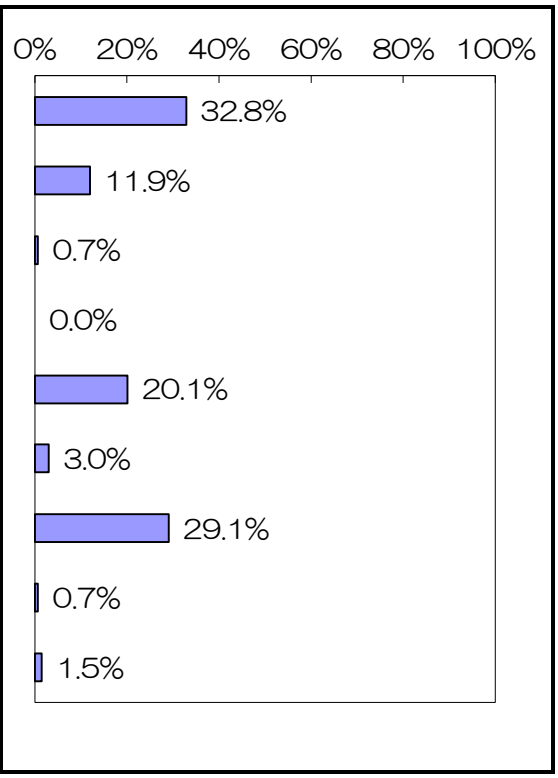
（５）学校卒業後の進路希望

問.（日中の過ごし方について、「学校に通っている」と答えた人のみ回答）学校卒業後の進路希望をお答えください。（○はひとつだけ）

「進学したい」が 32.8%と最も高く、次いで、「検討中」の 29.1%、「障がい福祉関係事業所などに通所して訓練を受けたい」の 20.1%の順となっている。

障がい種別でみると、身体障がい者と精神障がい者の「進学したい」の割合が知的障がい者と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
進学したい	44	32.8%
就職・起業したい	16	11.9%
家業の手伝いをしたい	1	0.7%
職業訓練校で訓練を受けたい	0	0.0%
障がい福祉関係事業所などに通所して訓練を受けたい	27	20.1%
障がい福祉関係施設に入所して訓練を受けたい	4	3.0%
検討中	39	29.1%
その他	1	0.7%
無回答	2	1.5%
サンプル数	134	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	134	30	95	9	116	15	1	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
進学したい	44	14	26	4	39	3	0	2
	32.8%	46.7%	27.4%	44.4%	33.6%	20.0%	0.0%	100.0%
就職・起業したい	16	4	9	3	10	6	0	0
	11.9%	13.3%	9.5%	33.3%	8.6%	40.0%	0.0%	0.0%
家業の手伝いをしたい	1	0	1	0	1	0	0	0
	0.7%	0.0%	1.1%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
職業訓練校で訓練を受けたい	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障がい福祉関係事業所などに通所して訓練を受けたい	27	4	23	0	24	3	0	0
	20.1%	13.3%	24.2%	0.0%	20.7%	20.0%	0.0%	0.0%
障がい福祉関係施設に入所して訓練を受けたい	4	0	4	0	2	2	0	0
	3.0%	0.0%	4.2%	0.0%	1.7%	13.3%	0.0%	0.0%
検討中	39	7	30	2	38	1	0	0
	29.1%	23.3%	31.6%	22.2%	32.8%	6.7%	0.0%	0.0%
その他	1	0	1	0	1	0	0	0
	0.7%	0.0%	1.1%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	1	1	0	1	0	1	0
	1.5%	3.3%	1.1%	0.0%	0.9%	0.0%	100.0%	0.0%

（６）就労形態

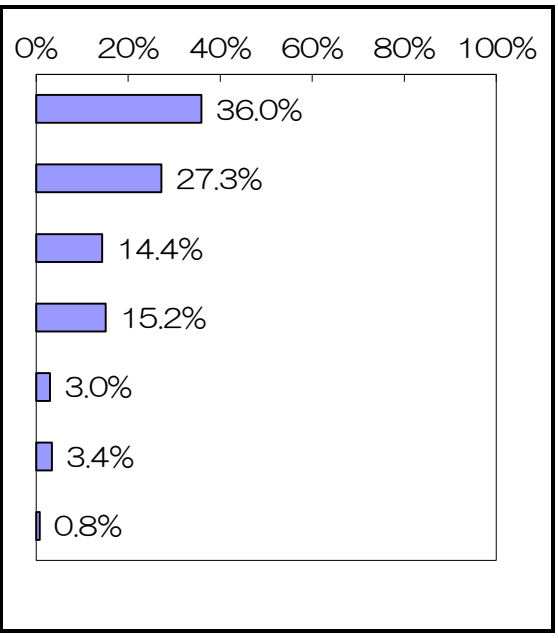
問.（日中の過ごし方について、「一般企業や自営業などで働いている」と答えた人のみ回答）働いている形態は、次のうちどれですか。（○はひとつだけ）

「正社員」が 36.0％と最も高く、次いで、「パート・アルバイト」の 27.3％、「自営」の 15.2％の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者と精神障がい者の「パート・アルバイト」の割合が身体障がい者と比べて高くなっている一方、「正社員」は低くなっている。

年齢区分別でみると、65 歳以上の「自営」の割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
正社員	95	36.0%
パート・アルバイト	72	27.3%
契約社員	38	14.4%
自営	40	15.2%
家業・自営業手伝い	8	3.0%
その他	9	3.4%
無回答	2	0.8%
サンプル数	264	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	264	187	28	49	0	202	56	6
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%
正社員	95	78	7	10	0	86	6	3
	36.0%	41.7%	25.0%	20.4%	-	42.6%	10.7%	50.0%
パート・アルバイト	72	34	18	20	0	62	10	0
	27.3%	18.2%	64.3%	40.8%	-	30.7%	17.9%	0.0%
契約社員	38	27	3	8	0	32	4	2
	14.4%	14.4%	10.7%	16.3%	-	15.8%	7.1%	33.3%
自営	40	34	0	6	0	12	27	1
	15.2%	18.2%	0.0%	12.2%	-	5.9%	48.2%	16.7%
家業・自営業手伝い	8	7	0	1	0	2	6	0
	3.0%	3.7%	0.0%	2.0%	-	1.0%	10.7%	0.0%
その他	9	6	0	3	0	7	2	0
	3.4%	3.2%	0.0%	6.1%	-	3.5%	3.6%	0.0%
無回答	2	1	0	1	0	1	1	0
	0.8%	0.5%	0.0%	2.0%	-	0.5%	1.8%	0.0%

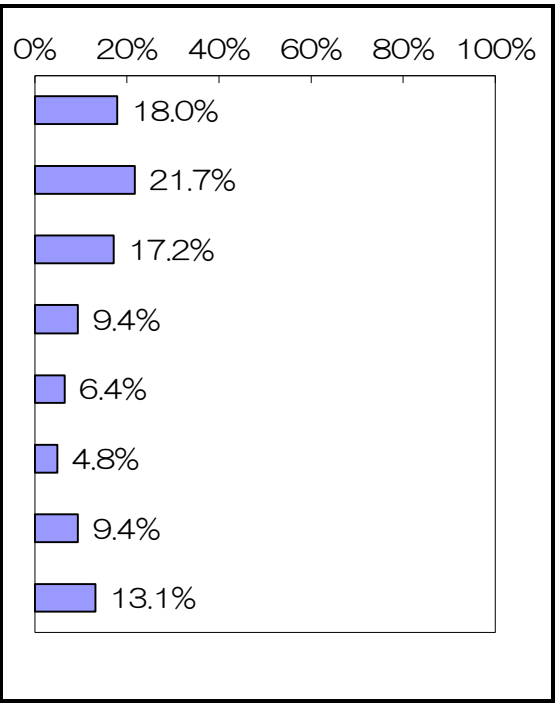
（７）仕事から得る収入

問.（日中の過ごし方について、「一般企業や自営業などで働いている」又は「就労継続支援事業所などの生産活動があり賃金・工賃等が得られる施設・事業所で働いている」と答えた人のみ回答）現在の仕事から得る賃金・工賃は、平均して１か月にいくらぐらいですか。

「5～9 万円」が 21.7％と最も高く、次いで、「0～4 万円」の 18.0％、「10～14 万円」の 17.2％の順となっており、平均値は 130,001 円、中央値は 100,000 円となっている。

障がい種別でみると、身体障がい者では「５～９万円」「10～14 万円」、知的障がい者では「０～４万円」、精神障がい者では「５～９万円」の割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
0～4万円	67	18.0%
5～9万円	81	21.7%
10～14万円	64	17.2%
15～19万円	35	9.4%
20～24万円	24	6.4%
25～29万円	18	4.8%
30万円以上	35	9.4%
無回答	49	13.1%
サンプル数	373	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	373	214	67	92	0	299	63	11
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%
0～4万円	67	20	30	17	0	53	11	3
	18.0%	9.3%	44.8%	18.5%	-	17.7%	17.5%	27.3%
5～9万円	81	34	12	35	0	66	14	1
	21.7%	15.9%	17.9%	38.0%	-	22.1%	22.2%	9.1%
10～14万円	64	34	12	18	0	50	13	1
	17.2%	15.9%	17.9%	19.6%	-	16.7%	20.6%	9.1%
15～19万円	35	30	2	3	0	28	6	1
	9.4%	14.0%	3.0%	3.3%	-	9.4%	9.5%	9.1%
20～24万円	24	21	0	3	0	22	2	0
	6.4%	9.8%	0.0%	3.3%	-	7.4%	3.2%	0.0%
25～29万円	18	16	0	2	0	16	2	0
	4.8%	7.5%	0.0%	2.2%	-	5.4%	3.2%	0.0%
30万円以上	35	28	1	6	0	26	7	2
	9.4%	13.1%	1.5%	6.5%	-	8.7%	11.1%	18.2%
無回答	49	31	10	8	0	38	8	3
	13.1%	14.5%	14.9%	8.7%	-	12.7%	12.7%	27.3%

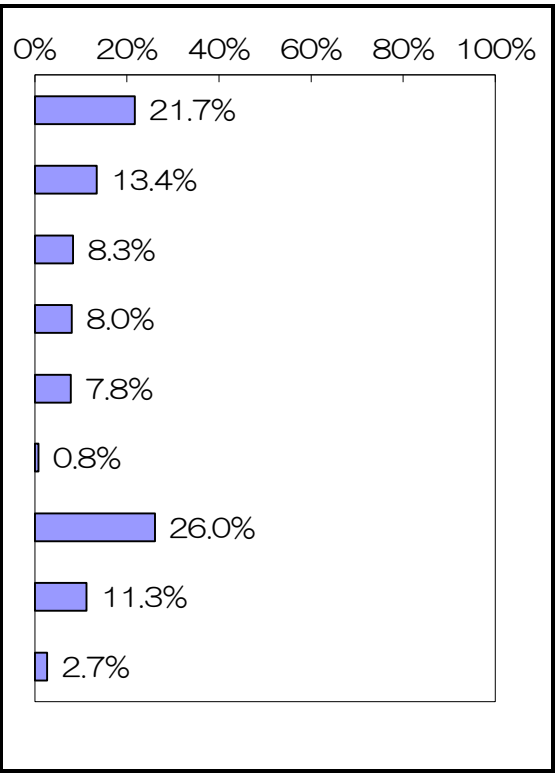
（８）仕事を見つけた方法

問.（日中の過ごし方について、「一般企業や自営業などで働いている」又は「就労継続支援事業所などの生産活動があり賃金・工賃等が得られる施設・事業所で働いている」と答えた人のみ回答）現在の仕事はどのような方法で見つけましたか。（○はひとつだけ）

「直接自分で探した」が 26.0%と最も高く、次いで、「公共職業安定所（ハローワーク）」の 21.7%、「知人、縁故関係の紹介」の 13.4%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「学校の紹介」の割合が高く、「直接自分で探した」割合が他の障がい種別と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
公共職業安定所（ハローワーク）	81	21.7%
知人、縁故関係の紹介	50	13.4%
障がい福祉関係事業所の紹介	31	8.3%
障がい者就業・生活支援センターの紹介	30	8.0%
学校の紹介	29	7.8%
職業訓練校の紹介	3	0.8%
直接自分で探した	97	26.0%
その他	42	11.3%
無回答	10	2.7%
サンプル数	373	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	373	214	67	92	0	299	63	11
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%
公共職業安定所（ハローワーク）	81	52	12	17	0	70	9	2
	21.7%	24.3%	17.9%	18.5%	-	23.4%	14.3%	18.2%
知人、縁故関係の紹介	50	32	5	13	0	37	11	2
	13.4%	15.0%	7.5%	14.1%	-	12.4%	17.5%	18.2%
障がい福祉関係事業所の紹介	31	7	12	12	0	29	1	1
	8.3%	3.3%	17.9%	13.0%	-	9.7%	1.6%	9.1%
障がい者就業・生活支援センターの紹介	30	7	7	16	0	28	1	1
	8.0%	3.3%	10.4%	17.4%	-	9.4%	1.6%	9.1%
学校の紹介	29	9	19	1	0	27	2	0
	7.8%	4.2%	28.4%	1.1%	-	9.0%	3.2%	0.0%
職業訓練校の紹介	3	1	0	2	0	2	1	0
	0.8%	0.5%	0.0%	2.2%	-	0.7%	1.6%	0.0%
直接自分で探した	97	69	10	18	0	75	18	4
	26.0%	32.2%	14.9%	19.6%	-	25.1%	28.6%	36.4%
その他	42	31	2	9	0	26	16	0
	11.3%	14.5%	3.0%	9.8%	-	8.7%	25.4%	0.0%
無回答	10	6	0	4	0	5	4	1
	2.7%	2.8%	0.0%	4.3%	-	1.7%	6.3%	9.1%

（９）現在の仕事に感じる喜びの内容

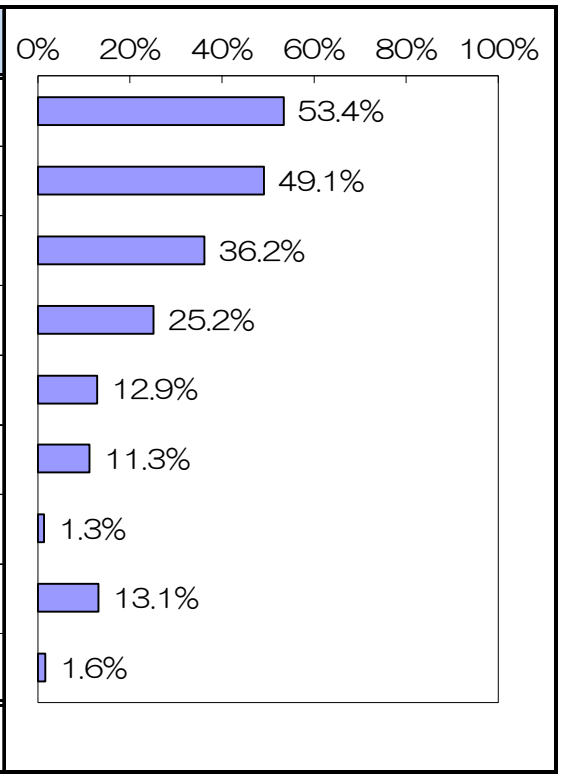
問.（日中の過ごし方について、「一般企業や自営業などで働いている」又は「就労継続支援事業所などの生産活動があり賃金・工賃等が得られる施設・事業所で働いている」と答えた人のみ回答）現在の仕事で、どんなところに喜びを感じていますか。（○は３つまで）

「賃金をもらうこと」が 53.4%と最も高く、次いで、「人との関わり（人間関係）」の 49.1%、「仕事の内容」の 36.2%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「賃金をもらうこと」「上司、指導者からの評価、障がい理解」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、65 歳以上の「人との関わり（人間関係）」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
賃金をもらうこと	199	53.4%
人との関わり（人間関係）	183	49.1%
仕事の内容	135	36.2%
社会活動への参加、貢献	94	25.2%
目標を達成すること	48	12.9%
上司、指導者からの評価、障がい理解	42	11.3%
その他	5	1.3%
特に感じていない	49	13.1%
無回答	6	1.6%
サンプル数	373	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	373	214	67	92	0	299	63	11
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%
賃金をもらうこと	199	103	43	53	0	170	21	8
	53.4%	48.1%	64.2%	57.6%	-	56.9%	33.3%	72.7%
人との関わり（人間関係）	183	112	35	36	0	143	38	2
	49.1%	52.3%	52.2%	39.1%	-	47.8%	60.3%	18.2%
仕事の内容	135	79	26	30	0	106	24	5
	36.2%	36.9%	38.8%	32.6%	-	35.5%	38.1%	45.5%
社会活動への参加、貢献	94	53	13	28	0	70	18	6
	25.2%	24.8%	19.4%	30.4%	-	23.4%	28.6%	54.5%
目標を達成すること	48	25	11	12	0	35	11	2
	12.9%	11.7%	16.4%	13.0%	-	11.7%	17.5%	18.2%
上司、指導者からの評価、障がい理解	42	14	16	12	0	39	3	0
	11.3%	6.5%	23.9%	13.0%	-	13.0%	4.8%	0.0%
その他	5	3	1	1	0	3	2	0
	1.3%	1.4%	1.5%	1.1%	-	1.0%	3.2%	0.0%
特に感じていない	49	31	5	13	0	46	2	1
	13.1%	14.5%	7.5%	14.1%	-	15.4%	3.2%	9.1%
無回答	6	2	1	3	0	4	1	1
	1.6%	0.9%	1.5%	3.3%	-	1.3%	1.6%	9.1%

(10) 仕事上で困っていること等

問.（日中の過ごし方について、「一般企業や自営業などで働いている」又は「就労継続支援事業所などの生産活動があり賃金・工賃等が得られる施設・事業所で働いている」と答えた人のみ回答）仕事上で困っていること、配慮して欲しいところはありますか。（○は３つまで）

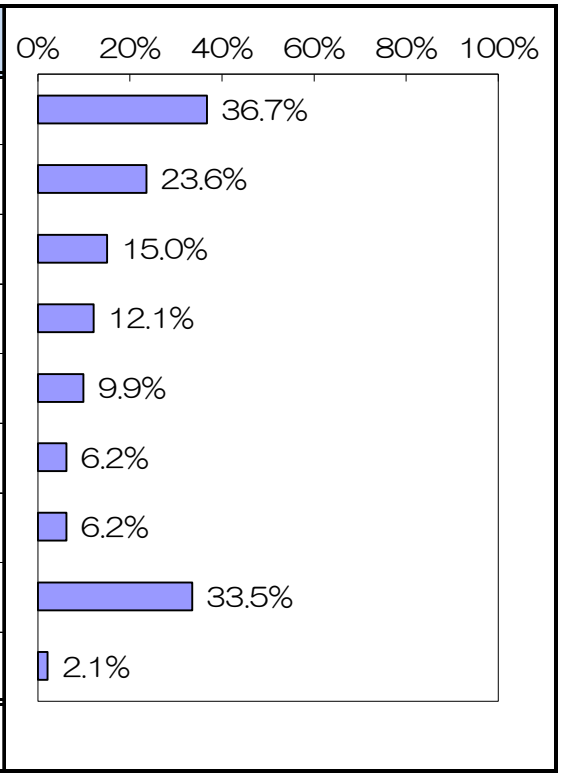
「特に感じていない」が 33.5%を占めている。

具体的な仕事上で困っていること等については、「給料・賃金を上げて欲しい」が 36.7%と最も高く、次いで、「お客さんとの関わり方や職場などの人間関係」の 23.6%、「上司、指導者からきちんと評価してほしい、理解してほしい」の 15.0%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「上司、指導者からきちんと評価してほしい、理解してほしい」の割合が他の障がい種別と比べて高く、精神障がい者の「特に感じていない」の割合は低くなっている。

年齢区分別でみると、65 歳以上の「給料・賃金を上げて欲しい」「上司、指導者からきちんと評価してほしい、理解してほしい」割合が他の年齢区分と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
給料・賃金を上げて欲しい	137	36.7%
お客さんとの関わり方や職場などの人間関係	88	23.6%
上司、指導者からきちんと評価してほしい、理解してほしい	56	15.0%
自分の技術等に合った仕事をしたい	45	12.1%
仕事の目標を達成することが難しい	37	9.9%
社会活動へ参加したり、貢献するためにどうすればよいかわからない	23	6.2%
その他	23	6.2%
特に感じていない	125	33.5%
無回答	8	2.1%
サンプル数	373	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	373	214	67	92	0	299	63	11
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%
給料・賃金を上げて欲しい	137	67	29	41	0	121	12	4
	36.7%	31.3%	43.3%	44.6%	-	40.5%	19.0%	36.4%
お客さんとの関わり方や職場などの人間関係	88	41	18	29	0	78	10	0
	23.6%	19.2%	26.9%	31.5%	-	26.1%	15.9%	0.0%
上司、指導者からきちんと評価してほしい、理解してほしい	56	19	17	20	0	52	3	1
	15.0%	8.9%	25.4%	21.7%	-	17.4%	4.8%	9.1%
自分の技術等に合った仕事をしたい	45	16	10	19	0	37	7	1
	12.1%	7.5%	14.9%	20.7%	-	12.4%	11.1%	9.1%
仕事の目標を達成することが難しい	37	17	12	8	0	28	9	0
	9.9%	7.9%	17.9%	8.7%	-	9.4%	14.3%	0.0%
社会活動へ参加したり、貢献するためにどうすればよいかわからない	23	7	6	10	0	20	2	1
	6.2%	3.3%	9.0%	10.9%	-	6.7%	3.2%	9.1%
その他	23	14	2	7	0	20	3	0
	6.2%	6.5%	3.0%	7.6%	-	6.7%	4.8%	0.0%
特に感じていない	125	84	20	21	0	93	26	6
	33.5%	39.3%	29.9%	22.8%	-	31.1%	41.3%	54.5%
無回答	8	6	0	2	0	3	4	1
	2.1%	2.8%	0.0%	2.2%	-	1.0%	6.3%	9.1%

（11）就職・就労に必要なこと

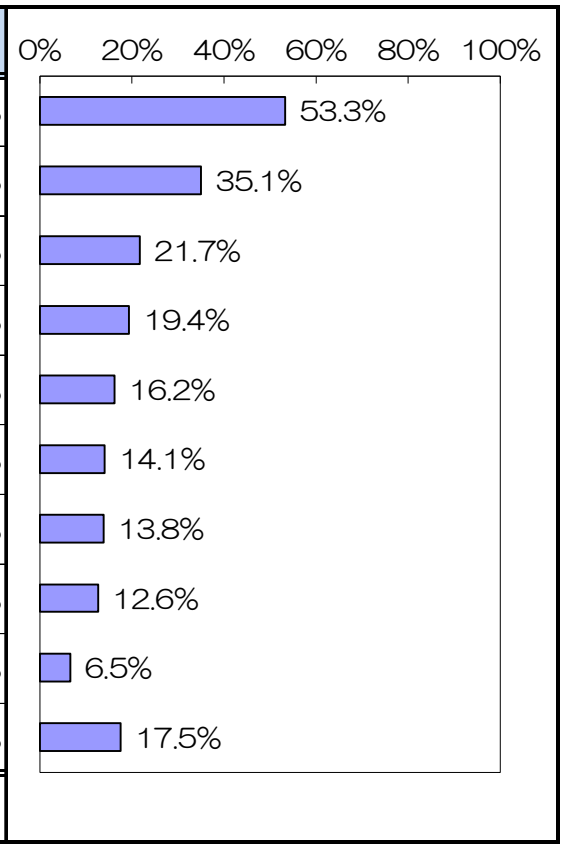
問．就職・就労のために必要なことは何だと思いますか。（○は３つまで）

「障がいに対する周囲の理解など働きやすい環境」が 53.3%と最も高く、次いで、「やりがいなどの仕事への楽しみ」の 35.1%、「利用しやすい交通手段の整備、通勤への支援」の 21.7%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「障がいに対する周囲の理解など働きやすい環境」「職場での手助け」「働くための訓練」、精神障がい者の「障がいに対する周囲の理解など働きやすい環境」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「障がいに対する周囲の理解など働きやすい環境」「職場での手助け」「働くための訓練」、と 18～64 歳の「障がいに対する周囲の理解など働きやすい環境」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
障がいに対する周囲の理解など働きやすい環境	660	53.3%
やりがいなどの仕事への楽しみ	434	35.1%
利用しやすい交通手段の整備、通勤への支援	269	21.7%
職場での手助け	240	19.4%
働くための訓練	201	16.2%
仕事の紹介	174	14.1%
働くことについての相談窓口	171	13.8%
段差や仕切りをなくすなど、利用しやすい建物環境	156	12.6%
その他	81	6.5%
無回答	217	17.5%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
障がいに対する周囲の理解など働きやすい環境	660	340	165	155	119	386	146	9
	53.3%	44.9%	69.6%	63.8%	80.4%	64.9%	30.9%	40.9%
やりがいなどの仕事への楽しみ	434	238	99	97	62	250	111	11
	35.1%	31.4%	41.8%	39.9%	41.9%	42.0%	23.5%	50.0%
利用しやすい交通手段の整備、通勤への支援	269	148	64	57	40	143	84	2
	21.7%	19.5%	27.0%	23.5%	27.0%	24.0%	17.8%	9.1%
職場での手助け	240	97	87	56	61	140	36	3
	19.4%	12.8%	36.7%	23.0%	41.2%	23.5%	7.6%	13.6%
働くための訓練	201	84	73	44	56	99	41	5
	16.2%	11.1%	30.8%	18.1%	37.8%	16.6%	8.7%	22.7%
仕事の紹介	174	102	30	42	25	102	45	2
	14.1%	13.5%	12.7%	17.3%	16.9%	17.1%	9.5%	9.1%
働くことについての相談窓口	171	88	35	48	25	102	42	2
	13.8%	11.6%	14.8%	19.8%	16.9%	17.1%	8.9%	9.1%
段差や仕切りをなくすなど、利用しやすい建物環境	156	131	17	8	13	71	70	2
	12.6%	17.3%	7.2%	3.3%	8.8%	11.9%	14.8%	9.1%
その他	81	52	9	20	4	33	42	2
	6.5%	6.9%	3.8%	8.2%	2.7%	5.5%	8.9%	9.1%
無回答	217	184	13	20	2	33	179	3
	17.5%	24.3%	5.5%	8.2%	1.4%	5.5%	37.8%	13.6%

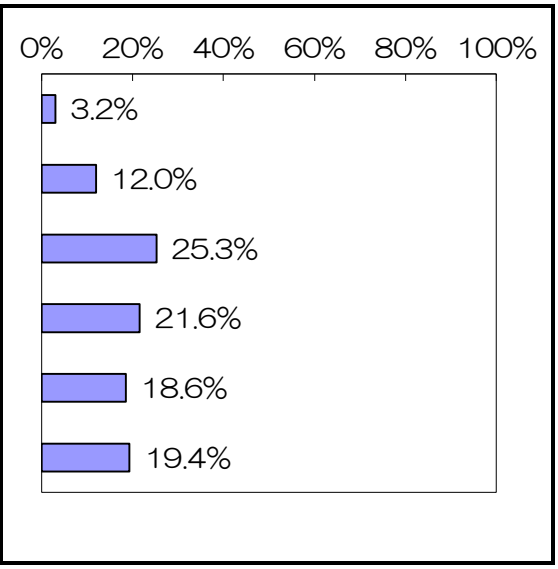
(12) 障がい者の求人等に関する情報の取得

問. 求人情報や、障がい者の雇用に関する情報など、仕事に関して情報が得られていますか。(○はひとつだけ)

「どちらとも言えない」が 25.3%と最も高く、次いで、「あまり得られていない」の 21.6%、「全然得られていない」の 18.6%の順となっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「あまり得られていない」の割合が他の年齢区分と比べて高く、「あまり得られていない」と「全然得られていない」を合わせた割合は5割を超えている。

選択肢	回答数	割合
十分得られている	39	3.2%
まあまあ得られている	148	12.0%
どちらとも言えない	313	25.3%
あまり得られていない	268	21.6%
全然得られていない	230	18.6%
無回答	240	19.4%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
十分得られている	39	23	8	8	0	28	10	1
	3.2%	3.0%	3.4%	3.3%	0.0%	4.7%	2.1%	4.5%
まあまあ得られている	148	71	32	45	16	102	27	3
	12.0%	9.4%	13.5%	18.5%	10.8%	17.1%	5.7%	13.6%
どちらとも言えない	313	200	66	47	49	151	106	7
	25.3%	26.4%	27.8%	19.3%	33.1%	25.4%	22.4%	31.8%
あまり得られていない	268	135	68	65	47	158	60	3
	21.6%	17.8%	28.7%	26.7%	31.8%	26.6%	12.7%	13.6%
全然得られていない	230	126	48	56	33	122	72	3
	18.6%	16.6%	20.3%	23.0%	22.3%	20.5%	15.2%	13.6%
無回答	240	203	15	22	3	34	198	5
	19.4%	26.8%	6.3%	9.1%	2.0%	5.7%	41.9%	22.7%

（13）日中の過ごし方で困っていること（自由記述）

問.（日中の過ごし方について、「その他」と答えた人のみ回答）日中の過ごし方で困っていることはありますか。

自由記述を内容で分類すると、「障がいや病気による困りごと」が 71 件と最も多かった。

※内容別の件数

内　　容	件数（件）
①　障がいや病気による困りごと	71
②　移動・外出・買い物についての困りごと	39
③　医療・福祉サービス等についての困りごと	31
④　家で過ごすことについて	28
⑤　仕事や作業についての困りごと	26
⑥　支援者（家族等）について	11
⑦　障がいに対する理解が得られないことについて	10
⑧　緊急時の不安や今後のことについて	10
⑨　人間関係についての困りごと	10

※各回答内容

①　障がいや病気による困りごと（71 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	トイレまでの手すりがない。
身体	18～64 歳	体調が悪い事が多い。
身体	18～64 歳	車椅子からの転倒した時一人では車椅子に戻るのが困難熱が少しでも出たら起きれなくなる
身体	18～64 歳	発熱が出た時とか、1 人暮らしだと大変
身体	18～64 歳	他の人と比べて疲れやすい
身体	18～64 歳	両手を使わないと出来ない事
身体	18～64 歳	痛みがあるので体を動かすのが苦痛
身体	18～64 歳	困っていても解決方法がない。
身体	18～64 歳	段々と体が動かない。
身体	18～64 歳	書類の読み書き
身体	18～64 歳	自分で行くことが難しい。
身体	18～64 歳	足が曲がらないので、靴下履きと爪切りが大変ですねぇ、お風呂入るのも足伸ばせないからです。
身体	18～64 歳	H1 年に大腿骨を骨折して手術のあとがひざも曲がらなくて痛いので、歩くのも車に乗るのも苦痛です。この手術で身体障害者になったのではなく平成 15 年に身体障害になりました。
身体	18～64 歳	（老々介護）高齢につき学校や仕事のことを考える事はあまりありません。
身体	65 歳以上	困っているのとは少々異なって常に心のどこかに引っかかっているのが「目」です。お医者さんに・・・（判読不能）ですがどんなものでしょうか？
身体	65 歳以上	車いすでの移動（必要以上に）
身体	65 歳以上	電話が、解らない
身体	65 歳以上	人の手を借りないと何も出来ない。
身体	65 歳以上	段差
身体	65 歳以上	バリアフリーされてないので、家庭内での移動、お風呂等、介助が必須です。
身体	65 歳以上	転倒しないように気をつけていること

身体	65 歳以上	自分で動けないし滑舌が悪くて家族とのコミュニケーションが取りにくいので段々消極的になる
身体	65 歳以上	身体と精神のバランスを保つこと
身体	65 歳以上	歩行がむつかしいので、思ったように、動けない。
身体	65 歳以上	立ち座りが不自由
身体	65 歳以上	足が動かないので自分で排泄できません
身体	65 歳以上	会話が上手くできない。
身体	65 歳以上	呼び鈴や、電話の音が聞き取れない。
身体	65 歳以上	糖尿があり、かすり傷が大事になる為、注気を遣います。
身体	65 歳以上	パーキンソン病
身体	65 歳以上	日常生活が不自由
身体	65 歳以上	視力低下
身体	65 歳以上	家族が仕事で不在の時、１人でいることに不安を感じ、部屋が狭いので車イスで自由に動くのが難しい。
身体	65 歳以上	今は障害の為今に至るまでに入退院の繰り返しで大変なこともありましたが今は人の助けはなくても過ごせています。
身体	65 歳以上	身体の調子が安定してなくて、精神的にも落ち込む事が多いが、友達の助けや応援で生きてきたが、現在みんな自分が大変で前みたいに頼めない自分がいる。気軽に頼める公が有るといいのにと思う。家の中がごみ屋敷になっていて今や友達も家の中に入らせない状態になっていて大変な思いをしている。なんとかしようと自軍では頑張っているつもり。疲れ果てるので、友達にはそれを言えるので精神的には助かっている。
身体	65 歳以上	歩行困難、記憶喪失、妄想等々特に妄想で今自分がどこに居るのかわからなくなることがある。デイサービスで入浴食事を拒み早々に帰ることが増えている。
身体	65 歳以上	体力の低下
身体	65 歳以上	左半身麻痺で思うように動けないのがしんどい様ですけれど、施設の方達が良くお世話をして下さるから安心しています。
身体	65 歳以上	視覚障害のため、不自由はあるが、特に必要文章が来た時拡大レンズを使用しなければいけないのでそれが一番困ります。（１人暮らしなので）
身体	65 歳以上	歩けないので畳に座っている状態です。個室で入口がいつも開けてあり、フロアーを通る方からいつでも見えるように。トイレ等は車椅子で。食事、おやつ等は部屋へ運んでくださり特に困っていません。学校へも行ったことがなし。就労したこともなく、H元年父H3 年に母が亡くなり、弟と義妹が面倒をみてきましたが、2017 年H29 年３月１日に施設に入所。義妹が身元引受人として、施設との連絡、面会等行っています。
身体	65 歳以上	体の痛みがつらい。
身体	65 歳以上	現在のところでは普通に生活できていますが、視力が低いので書く書類等の書く事が困難です。
身体	65 歳以上	足悪し、歩行困難
身体	65 歳以上	衣類の脱着の時苦しくてしばらく動けない。入浴は呼吸困難あり。かがむ事が出来ないので、スーパーに行った時に下段にある商品がよく見られない。冷凍庫の中から目的物が見つからない等々あります。
身体	65 歳以上	配偶者がいないと何も出来ない
身体	65 歳以上	心臓障がいに加え腰痛の為歩行困難である。
身体	65 歳以上	以前の職業で肉体労働だった為体の調子（腰がくの字に曲がりまっすぐ立てない）が悪くなって以来、何もすることが無く出来る事も無い。今はリハビリ等で社会復帰を願っているも出来るような状態にない。障がい者の資格も令和４年３月で再交付出来ないとの事
身体	65 歳以上	右側の大腸がないので朝食後夕方まで寝てます。
身体	65 歳以上	左手が不自由で、主に・・・（判読不能）、介護１でもありまして、周囲の方々からしていただいております。転んだこともありますが、一人暮らしで、近所の人、老人会の人によく助けていただいております。買い物とか支援される方がおられて有難いです。
身体	65 歳以上	上・下肢（左）不自由で、車椅子生活。何をするにしても１人では何も出来ませんので、介助者がいないと何も出来ないので、あらゆる面で困窮しています。

身体	65 歳以上	股関節（左右の足）の手術をして、リハビリ中で、動作に不自由してます。
身体	65 歳以上	トイレに行ったりが、前とすると大変になった。
知的	18～64 歳	セルフレジなどが増えて使い方が解りにくい
知的	18～64 歳	全介助の為
知的	18～64 歳	不自由なことが多いので他人、職員の手助けが必要です。
知的	18～64 歳	下肢が不自由なため思うように動くことが難しい。
精神	18～64 歳	確認しても不安になりストレスを感じる
精神	18～64 歳	やる気が出ない。
精神	18～64 歳	１日事に体調が変わるので大変。
精神	18～64 歳	無気力な事が多いです。
精神	18～64 歳	持病とうつ病でほとんど外に出れない
精神	18～64 歳	体調の維持
精神	18～64 歳	体調が、安定しない。
精神	18～64 歳	体調すぐれない
精神	18～64 歳	薬を飲まないといられない。
精神	18～64 歳	宅内にいるときには外音も遮断出来、ある程度は落ち着いていれる
精神	18～64 歳	朝起きても何もする気になれない
精神	18～64 歳	大声で長時間騒ぐ事がある
精神	65 歳以上	娘に迷惑をかけてると思ってますがバスにも乗るのが怖い人と顔をあわせると動悸がしたり、過呼吸になってたころを思い出す
精神	65 歳以上	眠れない、何をするにしても時間がかかる
精神	65 歳以上	年のせいか、足が痛く、歩けない！糖尿、高血圧、脳梗塞の後遺症がキツイ。

②　移動・外出・買い物についての困りごと（39 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	家の中で、ベッドと居間を、行ったり来たりするだけで、一日を過ごしているので、外に出掛けたい。
身体	18～64 歳	交通事情
身体	18～64 歳	日中と言うより田舎故の全体的な交通関係のインフラの脆弱さは障害者に限らず高齢者等にもこれからより問題となるのではないか
身体	18～64 歳	体調悪化時家から出られないこと
身体	18～64 歳	横断歩道を渡る際。(音声ガイドがあるとたすかる)
身体	18～64 歳	妻が仕事に行った後、家から出れない
身体	18～64 歳	通勤時、バスが満員時は自分の乗り降りで時間がかかり、他の人に迷惑かけることがあるが、バスの本数が少なく、利用時間をずらすことができず困っている。また、歩道を歩いていると、自転車やトラックが止まっていることが分からず、ぶつかったことが何度もある。特にトラックは顔面を切るなど、怪我が大きくなり歩行時は不安が常にある。
身体	18～64 歳	家の中で、ベッドと居間を、行ったり来たりするだけで、一日を過ごしているので、外に出掛けたい。
身体	65 歳以上	移動手段がない
身体	65 歳以上	何をするにもお金が伴うことで、今の状態では散歩位です。でも昨今の交通事情を見ると歩くのさえ怖い思いをすることが多いから、やはり家にいる事が多くなる。
身体	65 歳以上	車の免許が無いため思うように買い物等いけない。
身体	65 歳以上	外出時に一人で行けない。
身体	65 歳以上	病気によって、温泉等楽しみがなくなったこと
身体	65 歳以上	外出した時に身障者用のトイレを探すのに手間取ります。
身体	65 歳以上	外に出かけられない
身体	65 歳以上	車椅子生活で透析のため病院に通っていますが、妻が病気の時は送り迎えが困難になります。在住の佐土原には急な時の送迎タクシーがありません。宮崎からは来れないとタクシー会社から言われました。困っています。
身体	65 歳以上	１人で買い物に行けない為付き添いがいる
身体	65 歳以上	バスの乗降
身体	65 歳以上	外出ができない

身体	65 歳以上	一人で外出が難しいこと。
身体	65 歳以上	足が弱っているが、高齢で車の免許を返納し、自由に外出することが難しい
身体	65 歳以上	趣味で絵を描いている。えのぐ等の買い物で困っている。
身体	65 歳以上	現在 75 歳になります。いつまで自家用の車で外出できるのか、運転免許の返納をそろそろ考えております。高齢者運転の事故も増えてきてます。地域コミュニティバスみたいなものがあるといいと思っています。
身体	65 歳以上	足が不自由なので病院通い買い物等にタクシー代が多いので経済的に不安です。
身体	65 歳以上	バスカはもらっているが１回も利用したことがない。現在 80 才の夫の車にすべて頼っているから。これが出来なくなればタクシー以外の外出は不可能と思う。年をとれば全員障害者の時代です。町全体をその視点で作ること、（認知障害）も含めていきている地域で暮らせる町作りを今こそすべきです。
身体	65 歳以上	心臓バイパス手術冠動脈３本と後日ペースメーカ埋蔵。静かにしてれば今のところ安全、外出はしてます。時々自転車で散歩。３年前免許証返還しました。
身体	65 歳以上	病気などにより通院の必要が多いため必ず家族の付き添いやマイカーなどの手段に頼らなければならない。家族の都合が悪い時には必要な行動に制限が生じるので困っている。ガイドヘルパーを増やしてほしい。
身体	65 歳以上	老人になると病気が多くなり、現在５つの病院に通っているが現在車が運転出来るので良いが R4 年３月３日誕生日を期（86 才）に免許証を返上しようと考えています。そうすると通院に大変だなと思います。（市郡医師会医院、中央眼科、南部医院、はるやま医院）
身体	65 歳以上	健康のため外出が多い
身体	65 歳以上	健康のことで医者に通う時の交通手段の問題
身体	65 歳以上	移動はいつも公共交通機関ですが、バスの本数が少ない。
身体	65 歳以上	腰痛が有るので、散歩もまともに出来ない。（つえ使用）
知的	65 歳以上	足がないのでかいものがたいへん
精神	18～64 歳	体調の度合いによって、訓練校にも行けない事があり、出席日数が足りないと言われている。
精神	18～64 歳	人に会いたくなく、一人家にこもっているので特にないが、買い物が困る。
精神	18～64 歳	体調が悪く、外へ出られない事が多く買い物に困っています。
精神	18～64 歳	買い物をしたり、病院へ行ったりしていて困っている事はあまりありません。
精神	18～64 歳	例えば、県立図書館へ買いそびれた NHK テキストを借りに行ったり、コピー機で複写したりしたいのだが、障害のため、30 歳代位のときに普通免許を流してしまって、車が自分で運転できない。今までは、現在 79 際の実母が車で連れて行って、つき合ってくれていたが、母が老化のため身体が不自由になって足が無いことが困っている。自分の活動の幅が狭まっている。
精神	65 歳以上	用事があっても公共の交通手段は使えなく、歩くにも人の多い場所を避ける為、結果用事で出掛けることを断念する事が多い

③　医療・福祉サービス等についての困りごと（31 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	支援学校高等部を卒業後の教育支援がない。 本人の持つ能力を伸ばしていきたいが、生活介護事業の個別支援の中で確実に教育支援となるものがない。有料でも教育が受けられる場所や人があると良いなと思います。例えば、PC や ICT を活用した視線入力やスイッチの訓練など〃
身体	18～64 歳	生活環境が、複数人での部屋なので、物音とか、出入りがうるさく、耳栓や、睡眠薬などを飲まないと寝れないしリラックス出来ない事や、時間割り、スケジュールが決まっていて、自分のタイミングで何事も出来ない事。
身体	18～64 歳	一人暮らしなので、電球の交換や高い所の掃除、片付けなど頼める人が居ない。
身体	18～64 歳	１人暮らしでちょっと無理して歩くと出血するので、とにかく看護婦さんやヘルパーさんの様な方の手をお借り出来ればありがたいです。
身体	18～64 歳	ゴミ出し
身体	18～64 歳	家がバリアフリーに住みたいです

身体	18～64 歳	日中で通える事業所は色々あるのですが、今私達の子供達にとって必要なのは、重度のグループホームが必要なわけで親が元気なうちに安心した施設を作って頂きたいと切実にお願いしたいです。
身体	18～64 歳	以前宮崎市役所の窓口で働いていたが、窓口に障害者を配置するのはあまり感心しない。行政の障害者雇用アピールに使われているようで不愉快だった。窓口に来る市民も障害者に対して理解が進んでおらず対応に苦慮した。人事課のミスだと感じた。
身体	18～64 歳	持病で声が出づらいため、緊急時に電話の他に、アプリなどでビデオ電話やメールでのご対応を頂けましたら、ありがたいです。
身体	65 歳以上	スマホ等の取扱訓練指導
身体	65 歳以上	ゴミ出し
身体	65 歳以上	・ヘルパーさんを頼んでないので、買い物（食品と日用品） ・庭の雑草の処理
身体	65 歳以上	家に帰りたいが、許可が出ない。
身体	65 歳以上	現在は「特別養護老人ホーム」に入所しております。コロナ禍で直接面会はままなりませんが、その中でも定期的に面会日を予約し、窓越面会ではありますが、様子を見ることが出来ています。面会毎に顔色が良くなり、元気になっていく姿を見て施設での生活の良さを感じております。毎回、質問をするのですが、一つ一つ丁寧に回答くださいます。良～く・・・（判読不能）されているなあと感心しております。
身体	65 歳以上	面会が困難。
身体	65 歳以上	病院内なので安心してお任せしおります。
身体	65 歳以上	相談所テレビ電話コミュニケーションが聴覚障害者向きには進んでいない。音声文字変換アプリも無料なのは使いづらい。
身体	65 歳以上	車椅子で外出する時、車椅子が重く自動車への積み下ろしが大変な為、軽い車椅子がほしい。
身体	65 歳以上	健常者目線での設備がほとんどで、もう少し寄り添った施設や環境整備に目を向けて頂きたいです。
身体	65 歳以上	鑑賞ばかりで殆ど外出しない。外出は家人に手をかけるので、ボランティア団体等で誘っていただけるようなのがあると助かる。有料でもそういう団体があるといいと思う。兎に角病気になったら外の空気に触れたい。
身体	65 歳以上	３年前妻を亡くし、一人暮らしなので話し相手がいない。耳が聞こえない聴覚障がい者なので、正常な聴覚の人はとまどう。ツーカーで意思を通じていた友達は次々と亡くなっていく。愚痴話を聞き、話すことができる声の良くとおる担当者がほしい。
身体	65 歳以上	透析時間が長いこと　時間の有効活用
知的	18～64 歳	親が病気になった時などに利用できる施設がない。
知的	18～64 歳	ありません。月～金、通所センターへ行くのを楽しみにしています。
知的	18～64 歳	ヘルパー不足
知的	18～64 歳	脳梗塞を発症した為、介護保険適応になり今まで無料であった福祉サービスが有料になり、介護保険優先の規定などで生活が不便になった事。
知的	18～64 歳	休日の時は、外出することなくテレビを観たりしているので、時には気軽に出掛ける場所等あればいいなあと思います。又日中一時やショートステイなども（利用したい時に）利用できればと思います。
知的	65 歳以上	コロナもあって、面会や様子がわからない。本人とコミュニケーションが取りにくく、現在の状況が分かりにくい為、本人に良い行動がとれない。
精神	18～64 歳	ヘルパーさんが思うように来れない
精神	18～64 歳	コロナ禍もありますが、リモートで仲間とつながる場所や機会があると良いなと思います。公共施設や地域活動支援センターなどに自由に利用できる Wi-Fi 環境があると助かります。
精神	65 歳以上	精神デイケアや整形外科、クリニック等通院して毎日を過ごしています。生活保護をいただいているので助かります。家ではテレビを観て過ごしています。清掃や片付けがどうしていいかわからず、部屋の中は散らかっています。友人等が来た時、中に入れるのが恥ずかしいので、家の内に入れるのは妹ぐらいです。何とか片づける良い方法はないものでしょうか。困っています。

④　家で過ごすことについて（28 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	テレビを観ている時間が長い
身体	18～64 歳	寝たままで過ごす事が多い。自ら外出しない。
身体	18～64 歳	運動不足気味
身体	18～64 歳	車もなく免許もないため１日運動をしている
身体	65 歳以上	軽度の認知症と歩行が少し困難なので大分妻である私に負担があります。
身体	65 歳以上	高齢者の為、デイサービスを利用中ですがお休みの日の過ごし方がずーっとぼーっとしいるか TV を見てるかです。
身体	65 歳以上	２年前に圧迫骨折の手術以来両手杖で常に両足のしびれの痛みでデイ・ケアのリハビリをうける以外はほとんど家で TV をみている！
身体	65 歳以上	現在のところ気をつけて過ごしています
身体	65 歳以上	コロナやオミクロン等で福祉施設公民館等が閉鎖になるため多くのイベントが中止になり、その時間を過ごすのに苦労する。
身体	65 歳以上	自由時間が多い
身体	65 歳以上	自宅で過ごす（軽い運動）
身体	65 歳以上	毎日家にいる
身体	65 歳以上	買い物に行ったり散歩してます。
身体	65 歳以上	毎日リハビリ。他の入所の人と会話。
知的	17 歳以下	居場所がない
知的	18～64 歳	家での余暇活動として好きなテレビ、タブレット等を見るが静かに見る事ができなくうるさいのが困る。
知的	18～64 歳	休日の時は、外出することなくテレビを観たりしているので、時には気軽に出掛ける場所等あればいいなあと思います。
知的	18～64 歳	一週間予定があり、本人の好きな事を毎日やっているので、今の所こまっていません。
精神	18～64 歳	特別行くべき所がなければ家を出ることが少ない。
精神	18～64 歳	コロナ禍のなかで、基礎疾患がある為、買い物や通院以外は、ほとんど引きこもっている。
精神	18～64 歳	生活音などがストレスになっている。
精神	18～64 歳	家事にものすごく時間を取られたり、料理をするのが苦痛だが、家族がヘルパーなどの利用を嫌がるため、一日中家事をしていてつらい
精神	18～64 歳	アパートで一人暮らしをしていましたが、隣人の騒音・奇声・奇行がひどくなる一方で深夜・早朝に毎日のように繰り返され、精神的にも肉体的にもまいってしまい、退去せざるを得なくなりました。引っ越し費用もなく、精神科からの診断書も出ず、何度か管理会社さんへ相談してきましたが改善するどころか状況は悪化し続け、退去費用の免除を相談しましたが私が伝え終わる前に「それは出来ません」と言われ。資金がないので共依存関係の支配が強い実家へ引き上げる選択しか出来ませんでした。現在は私にとって安心・安全な住居が確保出来ていない状況です。精神的な負担が、身体的不調に直結する病気なので、母の支配下、慣れない住居、生活ペースの変化などでの身体的不調も出てきていて。身体的不調を抱えながらの引っ越しと片付け作業は大変苦労しています。 通学や通院、自助活動、演劇活動などで主に通う場所へも距離が離れてしまったので、運転疲れも出てきています。
精神	18～64 歳	部屋の片づけや、食器洗いなどが、苦手で、部屋や、台所が、大変な事になる。食料品の買い物に、スーパーに行っても、人が多いと、気分が悪くなる。
精神	18～64 歳	昼夜逆転
精神	18～64 歳	寝てる時間が多く、他に何もしない。
精神	65 歳以上	自分自身が障害を持ちながら、認知症気味の高齢(85 歳)の母の生活支援(通院、買い物等)をこなさなくてはならない。
精神	65 歳以上	テレビを見てることが多い。すもうがはじまると楽しみ。困っていることは別にない。妻が車を運転して病院等行けるので。

⑤　仕事や作業についての困りごと（26 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	仕事をするのには差し支えない障がいなため就業したいが、コロナ禍で就活がままならない。
身体	18～64 歳	今はありませんが、落ち着いたら空き時間に在宅ワークでもできたら良いなぁと思う事。
身体	18～64 歳	仕事場では、長時間動くとめまいなどして吐き気がして、動けなくなります。それと、上手く喋ることが難しいですが、自分でできない時は職場の人が色々と手助けをしてくれます。
身体	18～64 歳	職場のトイレが障害者に対応していないので、用を足す時が危険。予算不足のため出入り口が古いままで、開け閉めに大きな力が必要。冬の寒い時も開け放してもらっているので、同僚に大きな迷惑をかけている。職場は、市立中学校。障害者手帳の受取や各種手続きの際、役場の窓口に常に呼び出される。体が不自由なのに、ネットで申請などの配慮が全くなく、大変不満に思っている。これは日常生活ではないが、早急に改善してもらいたい。
身体	65 歳以上	下肢障害の為下方の作業が困難。
身体	65 歳以上	一人で農作業していると、いざと言う時には最悪だけど努めてスマフォを持っている。台風などでハウスが破るたら修復にかなりの時間がかかる。草刈りなどは昔みたいにパワーが無く時間がかかるばかりで、完璧だとは言えないのが今日です。其れと後処理です。片付け作業、堆肥の散布作業、設備が壊れたり調子が悪くなる設備、修理修復に時間がかかる。
身体	65 歳以上	就労したいが高年齢に。
身体	65 歳以上	補聴器の大きさによっては、耳からはみ出している物は、大工をしている時に物にぶつかったりする事がたまにあるが、その時に外れたりと支障はある。電池も交換する時期が分からないから、常に予備が必要。仕事の途中でも交換しないといけないので大変。
身体	65 歳以上	仕事をしているので、特にこまっていません。
身体	65 歳以上	仕事をしたいが要望が無い
身体	65 歳以上	仕事は、したくても、痛みがあり病院でも、運動、ストレッチをすすめてくださいますが、それでも痛みは、持続するので困っています。
身体	65 歳以上	（老々介護）高齢につき学校や仕事のことを考える事はあまりありません。
身体	65 歳以上	無職
身体	65 歳以上	年金が少なく月に何回か仕事に行きますが、現場（個人宅）ではジッと我慢…帰って来てからへとへと２～３日は動けないほどあっちこっちが痛く大変です。
身体	65 歳以上	就労は無理だと思っている
身体	65 歳以上	今の所困っていることはあまりない。しいて言えば賃金面など少しある。
精神	18～64 歳	働きたくてもやる気があっても雇用してもらえないので困る。
精神	18～64 歳	仕事がしたいが、精神が安定せずなかなか就職活動に意欲が無いのですが、生きる為に仕事をしなければというプレッシャーで押しつぶされそうになる。
精神	18～64 歳	気圧や天気などの影響で働かない事があるので、休みを自由に取れる職場でないと働かず、就職先が限られる。終業後に体力が切れ、帰宅時や休み時は寝たきりになり正常な生活が出来ていないので、パート等短い勤務先への転職を検討している
精神	18～64 歳	休職中のため、外出がうしろめたい
精神	18～64 歳	就職は決まりましたが、障害者雇用に関しても今後の人生の為にもやはり経済が基盤になってくるので正社員雇用を促進してほしいです。そうでないと安定して働ける実感を味わえない事が辛くなりそうです。
精神	18～64 歳	自立を目指す為、資格取得が収入へと繋がれば良いなとは思っています。仕事を選ぶ際、他の活動や通院もある為、障害者雇用枠での基準労働時間では、ハード過ぎて身体がもたないので、基本的には一般のパート・アルバイト求人の中から探すことになります。その求人の中で、障害に理解のある職場が見つかれば良いなと思います。
精神	18～64 歳	国家資格（介護福祉士）を持っているので、サポーターがいれば頑張れると思う。現在は AM9：00～PM4：00 までの掃除の仕事（月曜～金曜）。

精神	18～64 歳	就労移行支援をやめてからさがしていますが…。右足と腰が悪いので、介護士にはもどれません。精神的には、身内の自殺から 10 年が過ぎ、子どもの事で学校や教育委員会からパワハラ受けなくて良くなってきました。パソコンがもう少し上達したら、何か仕事がないかと考えて活動しています。
精神	18～64 歳	現在、無職に至っておりますが、私は 10 月 31 日まで仕事でした。私は世界平和の為に、職場の人と仲良く、皆さんに感謝の一念で、又世界の経済革命と自分の経済革命の為に奮闘中です。お金の預金も底を尽きそうですので、私としては、結果を出さないとと思っております。せめて頑張っても３月位までしか家ですごせません。その後は私は食べて行けないので、こまっております。
精神	65 歳以上	収容施設内の仕事をさせてもらって、４時間のしごとです。こまっていることは、自分の自由時間と仕事の時間の区別がわからないこと。

⑥　支援者（家族等）について（11 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	家族の介護により、特にありません。
身体	65 歳以上	土日の世話が大変
身体	65 歳以上	在宅介護であり、高齢夫婦のため負担が大きい
身体	65 歳以上	夜間にトイレで起きる回数が多く、家族の負担もその分大きい
身体	65 歳以上	妻の力を借り、又娘３人が近くに居るので困っている事は現在のところない
知的	18～64 歳	父子家庭の為、泊りの仕事の際子供一人で家に居なければならない事。
知的	18～64 歳	外出先での突然の行動(大声、走る等)で周囲の人達を驚かせることがあり目を離すことができません。通所施設が休みの日に、本人の介護に付き添うことが親が高齢になりつつ有り、体力的に厳しくなりそうです
知的	18～64 歳	同席出来ない場所、例えば親が病院の診察に行く時など。
精神	18～64 歳	次女が、知的障害、精神疾患、末っ子が、発達障害です。次女の介助が、大変で、自分の時間がとれない。頼れる人がいない、相談しても、解決しない。精神的にも、疲れる
精神	18～64 歳	障害者が障害者を支えてること
精神	65 歳以上	老々介護で他に面倒を見てくれる人が近くに居ない

⑦　障がいに対する理解が得られないことについて（10 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	聞こえない事は相手には解らない コミュニケーション不足になりやすい コロナ禍によりマスクの着用により声が聞き取りにくく話しづらさがある
知的	18～64 歳	調査対象者が週に 2～3 回しか家以外の所で過ごしていない為、その他の日は家族(父・母・兄弟)が仕事の都合をつけながら面倒を見ています。世の中はこのコロナ禍で家にいる時間が増え、ストレスを抱えるという人が沢山いますが、私達家族はコロナ以前から制限のある暮らしをしています。色々な施設や利用できる所を探しましたが(現在も)、病気や発作を抱えているとなかなか受け入れてもらえる所がありません。その様な環境にいる人がいる事をわかってもらいたい。
知的	18～64 歳	バスやタクシーなどの移動の時手帳を提示すると運転手さんや周りが変な目でみて差別されたりする。
知的	18～64 歳	足を自分でさわれない。くつ下もはけない。くつひももむすべない。障害を理解してもらえない。自分の身のまわりのことができないなどで、家族に注意される。手洗いなど分かってもらえない。まわりが仕事ができない事を分かってくれない。
精神	18～64 歳	親と同居していて、病気の理解が得られずに、ケンカばかりしている
精神	18～64 歳	近所コンビニ小学生から大人コロナ始まっていじめ続けられています。警察に相談しております

精神	18～64 歳	障がい者で、更に精神障がいということで生きづらい日常ですね。先日事件があったことで心療内科にいっているだけでそういう眼で見られていることはさみしいですね。好きでなっているわけではないので、社会が変わらない限りこういった事件は増える一方だと思います。私は同じ境遇の人たちを一人でも救えるような世の中になってほしいです。私もその一人として貢献したいと思っております。
精神	18～64 歳	周囲の目が気になり外に出れない
精神	18～64 歳	精神的な障害のため自分以外の家族や他人の理解が無いと感じられる言葉や言動が辛い
精神	18～64 歳	近所付き合い。例えば人の悪口を言ってきたり、うちの息子達の近況を詮索してきたりです。あとはコロナ禍で買い物に行くのも怖いです。

⑧　緊急時の不安や今後のことについて（10 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	１人暮らしで何があるか分からない。何か合った時、取れない。
身体	18～64 歳	万が一のことがあった時が怖い。
身体	65 歳以上	今のところ、持病が有りながらも、身の回りのことは、自分で出来ますが、これから先がどうなるか
身体	65 歳以上	「自助」「協助」「公助」はよく解っているが厳しい宮日の窓の欄の子供さえ堂々と「自助」を叫んでいる。救急時迷う。
身体	65 歳以上	私も４年前までは生活のため夜の仕事（串焼き屋さん）を夕方か５時から 12 時まで働いておりましたが、内部障がい（心臓）ですが他にも圧迫骨折も有りながら働いていたのですが、体力的な限界で辞めました。今は１人で住んでおり子供達は県外に家を構えており、先が不安です。 日中の過ごし方は規則正しい生活はしてます。３食きちんと食べてますし、天気のよい日は体力に合わせて散歩に行っており、家では音楽を聴きながら数字のパズルで頭の体操をしてます。
身体	65 歳以上	現在夫の介助を得ているが、単身になった時の不安がある。
身体	65 歳以上	耳が不自由なので、情報が入りにくい。知らないことが多く不満である。特にスマホもないので、災害の前や近所で何かあっても情報がない。
身体	65 歳以上	支援センターからのはからいでつっぱり棒３本とベッドの側に置いていただくことが出来助かっています。部屋の中でも両手を付いて歩いてころばないように注意しています。かけることは少ないですが、お友達仲間と電話連絡を取って楽しく「今日も元気で頑張ろう」明るくすることが一番と心がけています。 一番困っているのは、誰もいない部屋で倒れてしまってどうしようもない、これが一番です。
知的	18～64 歳	今は福祉施設に行っていて、休みの日は親がみているので、あまり困った事はないが、親が病気になった場合は不安がある。
精神	18～64 歳	自宅に居るだけなので困ってる事は、殆ど無いが、主人が仕事で不在の時に痛みや息苦しさなどが激しく辛くなった時に頼る人が居ないこと。近くに母は居るが高齢者のため、難しい。病院に行こうにもタクシー料金も高い。

⑨　人間関係についての困りごと（10 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	人との会話が困っている。
身体	65 歳以上	コロナ禍による外出制限により、在宅時間が多いことによる家庭内の不和
身体	65 歳以上	話し相手が家族しかいない
身体	65 歳以上	人とのつながりが少なく、退屈でつまらない。
身体	65 歳以上	家族との意思疎通が上手くいかない
身体	65 歳以上	淋しい
知的	18～64 歳	友達が誰もいない。障害者の交流の場がない。高齢者等は食事会などが定期的に行われていますが障害者については全く集う場がありません。ふらっといってもそこでコーヒーが飲めたり障害者の悩みが話し合われたりそんな場所が常設されてることを希望します。いわゆる障害者のたまり場です。

精神	18～64 歳	コロナ禍もありますが、リモートで仲間とつながる場所や機会があると良いなと思います。
精神	18～64 歳	孤独
精神	18～64 歳	無職なので自由にできる金が余りない人付き合いが煩わしい

３．外出状況について

（１）外出の状況

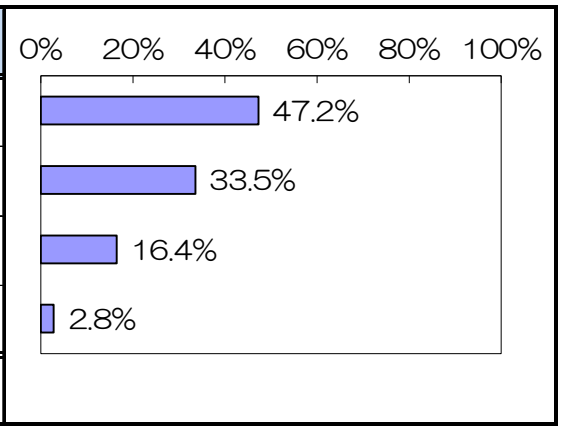
問．ふだんの外出状況はいかがですか。（通勤・通学を含む）（○はひとつだけ）

「よく外出する」が 47.2％、「ときどき外出する」が 33.5％、「ほとんど外出しない」が 16.4％となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「よく外出する」の割合が高く、「よく外出する」と「ときどき外出する」を合わせた割合は９割を超えている。。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「よく外出する」の割合が高くなっている一方、65 歳以上では他の年齢区分と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
よく外出する	584	47.2%
ときどき外出する	415	33.5%
ほとんど外出しない	203	16.4%
無回答	35	2.8%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
よく外出する	584	327	166	91	114	322	135	13
	47.2%	43.1%	70.0%	37.4%	77.0%	54.1%	28.5%	59.1%
ときどき外出する	416	274	52	90	30	180	201	5
	33.6%	36.1%	21.9%	37.0%	20.3%	30.3%	42.5%	22.7%
ほとんど外出しない	203	130	15	58	4	86	111	2
	16.4%	17.2%	6.3%	23.9%	2.7%	14.5%	23.5%	9.1%
無回答	35	27	4	4	0	7	26	2
	2.8%	3.6%	1.7%	1.6%	0.0%	1.2%	5.5%	9.1%

（２）外出の目的

問．どのような目的で外出しますか。（○は３つまで）

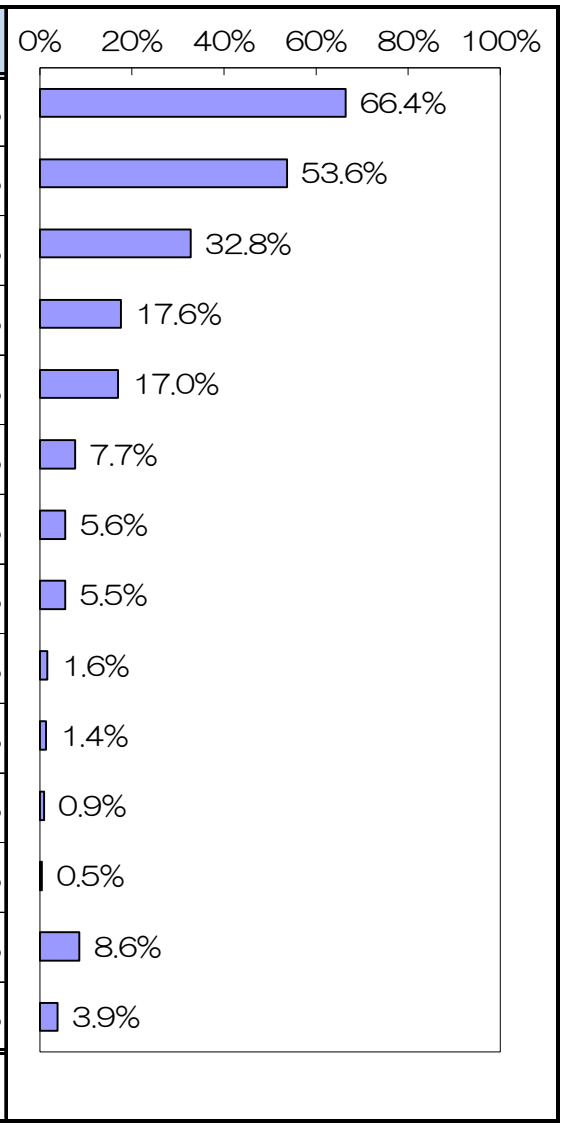
「買物」が 66.4%と最も高く、次いで、「通院」の 53.6%、「通勤・通学」の 32.8%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「通院」の割合が他の障がい種別と比べて低くなっている。

また、知的障がい者の「通勤・通学」「通所（事業所）」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「通勤・通学」「通所（事業所）」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている一方、「通院」は他の年齢区分と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
買物	822	66.4%
通院	664	53.6%
通勤・通学	406	32.8%
趣味・娯楽	218	17.6%
通所（事業所）	211	17.0%
各種手続	95	7.7%
スポーツ活動	69	5.6%
知人宅訪問	68	5.5%
ボランティア活動	20	1.6%
地域・学校行事	17	1.4%
サークル活動	11	0.9%
学習活動	6	0.5%
その他	106	8.6%
無回答	48	3.9%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
買物	822	491	149	182	87	437	285	13
	66.4%	64.8%	62.9%	74.9%	58.8%	73.4%	60.3%	59.1%
通院	664	424	75	165	49	329	274	12
	53.6%	55.9%	31.6%	67.9%	33.1%	55.3%	57.9%	54.5%
通勤・通学	406	196	137	73	126	236	35	9
	32.8%	25.9%	57.8%	30.0%	85.1%	39.7%	7.4%	40.9%
趣味・娯楽	218	133	54	31	26	116	74	2
	17.6%	17.5%	22.8%	12.8%	17.6%	19.5%	15.6%	9.1%
通所（事業所）	211	77	100	34	63	105	40	3
	17.0%	10.2%	42.2%	14.0%	42.6%	17.6%	8.5%	13.6%
各種手続	95	63	4	28	0	55	39	1
	7.7%	8.3%	1.7%	11.5%	0.0%	9.2%	8.2%	4.5%
スポーツ活動	69	56	8	5	9	28	31	1
	5.6%	7.4%	3.4%	2.1%	6.1%	4.7%	6.6%	4.5%
知人宅訪問	68	45	12	11	9	26	30	3
	5.5%	5.9%	5.1%	4.5%	6.1%	4.4%	6.3%	13.6%
ボランティア活動	20	15	2	3	1	4	14	1
	1.6%	2.0%	0.8%	1.2%	0.7%	0.7%	3.0%	4.5%
地域・学校行事	17	10	4	3	2	8	7	0
	1.4%	1.3%	1.7%	1.2%	1.4%	1.3%	1.5%	0.0%
サークル活動	11	10	1	0	0	2	9	0
	0.9%	1.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.3%	1.9%	0.0%
学習活動	6	3	1	2	2	3	1	0
	0.5%	0.4%	0.4%	0.8%	1.4%	0.5%	0.2%	0.0%
その他	106	69	18	19	8	39	57	2
	8.6%	9.1%	7.6%	7.8%	5.4%	6.6%	12.1%	9.1%
無回答	48	38	4	6	1	9	36	2
	3.9%	5.0%	1.7%	2.5%	0.7%	1.5%	7.6%	9.1%

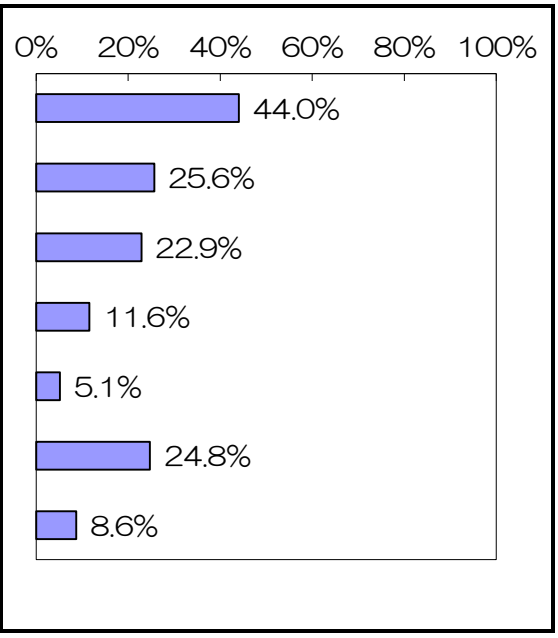
（３）参加したい活動

問．どのような活動に参加したいですか。（○は３つまで）

「趣味・教養」が 44.0％と最も高く、次いで、「文化系の活動（演劇・音楽鑑賞等）」の 25.6％、「参加したくない」の 24.8％の順となっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「参加したくない」の割合が他の年齢区分と比べて低く、「文化系の活動（演劇・音楽鑑賞等）」「運動系の活動」は他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
趣味・教養	545	44.0%
文化系の活動（演劇・音楽鑑賞等）	317	25.6%
運動系の活動	283	22.9%
ボランティア活動	143	11.6%
その他	63	5.1%
参加したくない	307	24.8%
無回答	107	8.6%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
趣味・教養	545	327	109	109	78	280	179	8
	44.0%	43.1%	46.0%	44.9%	52.7%	47.1%	37.8%	36.4%
文化系の活動（演劇・音楽鑑賞等）	317	173	82	62	75	165	72	5
	25.6%	22.8%	34.6%	25.5%	50.7%	27.7%	15.2%	22.7%
運動系の活動	283	145	82	56	72	148	59	4
	22.9%	19.1%	34.6%	23.0%	48.6%	24.9%	12.5%	18.2%
ボランティア活動	143	85	26	32	11	86	43	3
	11.6%	11.2%	11.0%	13.2%	7.4%	14.5%	9.1%	13.6%
その他	63	47	5	11	2	24	36	1
	5.1%	6.2%	2.1%	4.5%	1.4%	4.0%	7.6%	4.5%
参加したくない	307	179	49	79	12	164	125	6
	24.8%	23.6%	20.7%	32.5%	8.1%	27.6%	26.4%	27.3%
無回答	107	86	9	12	4	24	76	3
	8.6%	11.3%	3.8%	4.9%	2.7%	4.0%	16.1%	13.6%

（４）主な交通手段

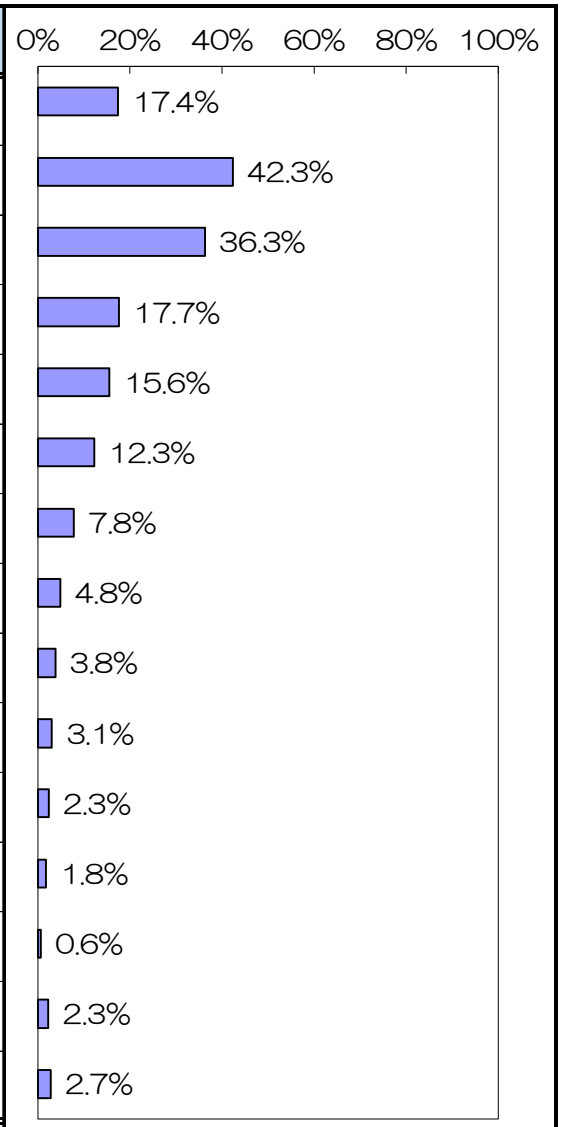
問．外出するとき、主に利用する交通手段は何ですか。（○は３つまで）

「自動車（本人以外が運転）」が 42.3%と最も高く、次いで、「自動車（本人が運転）」の 36.3%、「路線バス」の 17.7%の順となっている。

障がい種別でみると、身体障がい者と精神障がい者は「自動車（本人が運転）」、知的障がい者は「自動車（本人以外が運転）」の割合が高くなっている。

また、精神障がい者の「自転車」が他の障がい種別と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
徒歩のみ	216	17.4%
自動車（本人以外が運転）	524	42.3%
自動車（本人が運転）	449	36.3%
路線バス	219	17.7%
自転車	193	15.6%
タクシー（リフト付きタクシー含む）	152	12.3%
車いす（支援者が必要）	97	7.8%
外出介護等の障がい福祉サービス	60	4.8%
電車	47	3.8%
福祉有償運送	38	3.1%
車いす（自走・電動含む）	29	2.3%
オートバイ	22	1.8%
シニアカー等の電動カート	8	0.6%
その他	28	2.3%
無回答	34	2.7%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
徒歩のみ	216	110	51	55	30	121	63	2
	17.4%	14.5%	21.5%	22.6%	20.3%	20.3%	13.3%	9.1%
自動車（本人以外が運転）	524	279	174	71	128	221	169	6
	42.3%	36.8%	73.4%	29.2%	86.5%	37.1%	35.7%	27.3%
自動車（本人が運転）	449	352	8	89	2	242	194	11
	36.3%	46.4%	3.4%	36.6%	1.4%	40.7%	41.0%	50.0%
路線バス	219	117	41	61	15	128	75	1
	17.7%	15.4%	17.3%	25.1%	10.1%	21.5%	15.9%	4.5%
自転車	193	84	44	65	16	135	38	4
	15.6%	11.1%	18.6%	26.7%	10.8%	22.7%	8.0%	18.2%
タクシー（リフト付きタクシー含む）	152	108	14	30	4	65	82	1
	12.3%	14.2%	5.9%	12.3%	2.7%	10.9%	17.3%	4.5%
車いす（支援者が必要）	97	76	20	1	17	31	48	1
	7.8%	10.0%	8.4%	0.4%	11.5%	5.2%	10.1%	4.5%
外出介護等の障がい福祉サービス	60	41	18	1	9	30	21	0
	4.8%	5.4%	7.6%	0.4%	6.1%	5.0%	4.4%	0.0%
電車	47	19	16	12	7	35	5	0
	3.8%	2.5%	6.8%	4.9%	4.7%	5.9%	1.1%	0.0%
福祉有償運送	38	31	6	1	3	16	19	0
	3.1%	4.1%	2.5%	0.4%	2.0%	2.7%	4.0%	0.0%
車いす（自走・電動含む）	29	22	3	4	3	16	10	0
	2.3%	2.9%	1.3%	1.6%	2.0%	2.7%	2.1%	0.0%
オートバイ	22	13	2	7	0	15	7	0
	1.8%	1.7%	0.8%	2.9%	0.0%	2.5%	1.5%	0.0%
シニアカー等の電動カート	8	8	0	0	0	0	8	0
	0.6%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
その他	28	16	4	8	3	9	16	0
	2.3%	2.1%	1.7%	3.3%	2.0%	1.5%	3.4%	0.0%
無回答	34	25	4	5	0	8	24	2
	2.7%	3.3%	1.7%	2.1%	0.0%	1.3%	5.1%	9.1%

（５）外出時の困りごと（環境等について）

問．外出した時、どのようなことに困りますか。（○は３つまで）

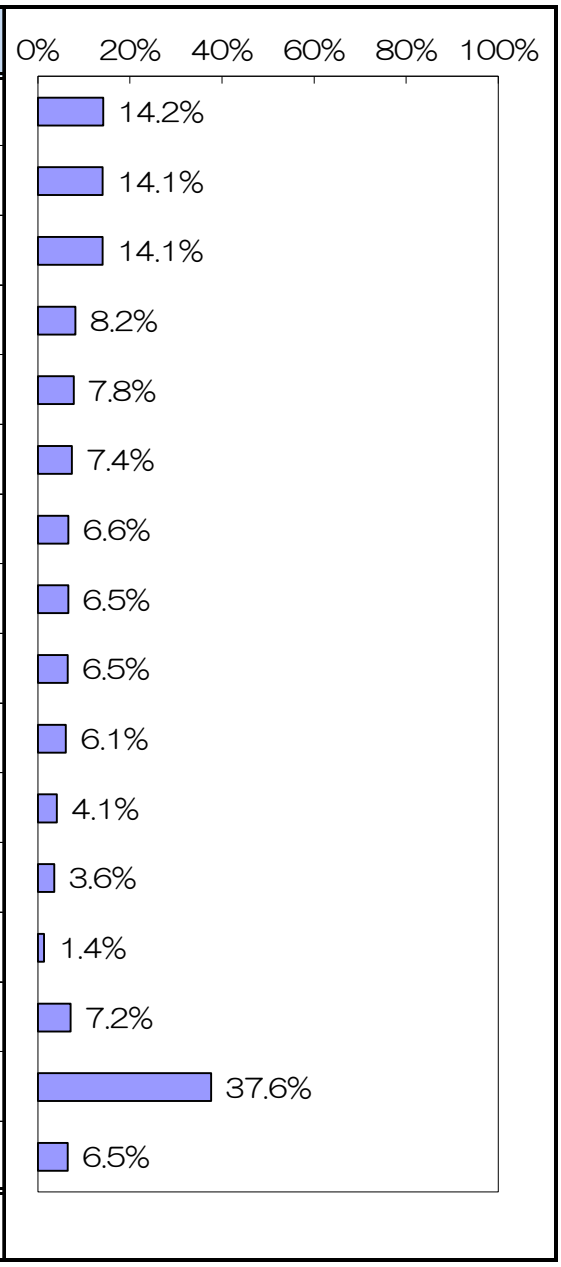
「特にない」が 37.6%を占めている。

具体的な外出時の困りごと（環境等について）は、「建物のバリアフリー化が進んでいない」が 14.2%と最も高く、次いで、「障がいに対応したトイレの整備が進んでいない」「各種の手続きなどにおいて、やり方がわからない」の 14.1%となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「特にない」の割合が他の年齢区分と比べて低く、「各種の手続きなどにおいて、やり方がわからない」「電車・バスなどの利用方法がわからない」が高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「特にない」の割合が他の年齢区分と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
建物のバリアフリー化が進んでいない	176	14.2%
障がいに対応したトイレの整備が進んでいない	175	14.1%
各種の手続きなどにおいて、やり方がわからない	174	14.1%
道路の整備が不十分（点字ブロック、舗装、段差、音響装置など）	101	8.2%
買物やセールスなどで、断ることが苦手	96	7.8%
案内表示が分かりにくい	92	7.4%
運転手や駅員等とのコミュニケーションが取りづらい	82	6.6%
電車・バスなどの利用方法がわからない	81	6.5%
買物する時に、聞きたいことが聞けない	80	6.5%
食べられるものや環境に制限があり、外食が困難	76	6.1%
券売機・自動改札などの利用方法がわからない	51	4.1%
ガイドヘルプなどのサービスが少ない	44	3.6%
道をたずねても答えてもらえない	17	1.4%
その他	89	7.2%
特にない	466	37.6%
無回答	80	6.5%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
建物のバリアフリー化が進んでいない	176	146	21	9	20	75	77	4
	14.2%	19.3%	8.9%	3.7%	13.5%	12.6%	16.3%	18.2%
障がいに対応したトイレの整備が進んでいない	175	126	40	9	31	76	67	1
	14.1%	16.6%	16.9%	3.7%	20.9%	12.8%	14.2%	4.5%
各種の手続きなどにおいて、やり方がわからない	174	70	58	46	29	91	52	2
	14.1%	9.2%	24.5%	18.9%	19.6%	15.3%	11.0%	9.1%
道路の整備が不十分（点字ブロック、舗装、段差、音響装置など）	101	83	14	4	7	49	41	4
	8.2%	10.9%	5.9%	1.6%	4.7%	8.2%	8.7%	18.2%
買物やセールスなどで、断ることが苦手	96	21	35	40	10	68	15	3
	7.8%	2.8%	14.8%	16.5%	6.8%	11.4%	3.2%	13.6%
案内表示が分かりにくい	92	48	24	20	13	45	31	3
	7.4%	6.3%	10.1%	8.2%	8.8%	7.6%	6.6%	13.6%
運転手や駅員等とのコミュニケーションが取りづらい	82	30	34	18	20	42	18	2
	6.6%	4.0%	14.3%	7.4%	13.5%	7.1%	3.8%	9.1%
電車・バスなどの利用方法がわからない	81	22	40	19	28	38	15	0
	6.5%	2.9%	16.9%	7.8%	18.9%	6.4%	3.2%	0.0%
買物する時に、聞きたいことが聞けない	80	20	34	26	20	47	12	1
	6.5%	2.6%	14.3%	10.7%	13.5%	7.9%	2.5%	4.5%
食べられるものや環境に制限があり、外食が困難	76	46	20	10	16	39	21	0
	6.1%	6.1%	8.4%	4.1%	10.8%	6.6%	4.4%	0.0%
券売機・自動改札などの利用方法がわからない	51	18	24	9	18	17	16	0
	4.1%	2.4%	10.1%	3.7%	12.2%	2.9%	3.4%	0.0%
ガイドヘルプなどのサービスが少ない	44	29	9	6	5	21	18	0
	3.6%	3.8%	3.8%	2.5%	3.4%	3.5%	3.8%	0.0%
道をたずねても答えてもらえない	17	10	5	2	2	8	6	1
	1.4%	1.3%	2.1%	0.8%	1.4%	1.3%	1.3%	4.5%
その他	89	60	11	18	8	44	37	0
	7.2%	7.9%	4.6%	7.4%	5.4%	7.4%	7.8%	0.0%
特にない	466	304	52	110	37	228	191	10
	37.6%	40.1%	21.9%	45.3%	25.0%	38.3%	40.4%	45.5%
無回答	80	60	11	9	3	19	55	3
	6.5%	7.9%	4.6%	3.7%	2.0%	3.2%	11.6%	13.6%

（６）外出時の困りごと（自分のことについて）

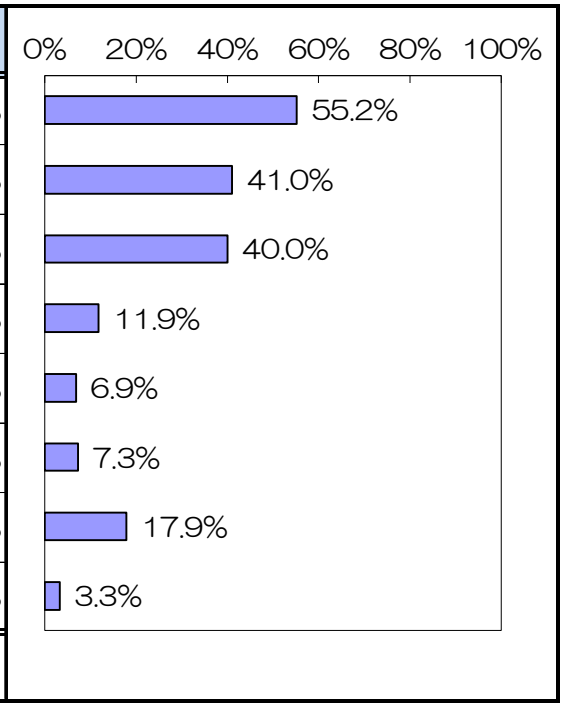
【療育手帳所持者・精神障がい者保健福祉手帳所持者】
問．外出した時、どのようなことに困りますか。（自分のことについて）
（○は３つまで）

「大勢の人がいる場所では疲れる」が 55.2%と最も高く、次いで、「周囲の音や気配、人の視線などが気になる」の 41.0%、「新しい場所に行くと、とても不安になる」の 40.0%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者と精神障がい者の「大勢の人がいる場所では疲れる」の割合が高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「新しい場所に行くと、とても不安になる」、65 歳以上の「特にない」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
大勢の人がいる場所では疲れる	265	55.2%
周囲の音や気配、人の視線などが気になる	197	41.0%
新しい場所に行くと、とても不安になる	192	40.0%
体がだるく、眠くなる	57	11.9%
頭の中が真っ白になる、動けなくなる	33	6.9%
その他	35	7.3%
特にない	86	17.9%
無回答	16	3.3%
サンプル数	480	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	480	0	237	243	110	325	35	10
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
大勢の人がいる場所では疲れる	265	0	105	160	52	192	16	5
	55.2%	-	44.3%	65.8%	47.3%	59.1%	45.7%	50.0%
周囲の音や気配、人の視線などが気になる	197	0	93	104	47	140	7	3
	41.0%	-	39.2%	42.8%	42.7%	43.1%	20.0%	30.0%
新しい場所に行くと、とても不安になる	192	0	101	91	55	125	9	3
	40.0%	-	42.6%	37.4%	50.0%	38.5%	25.7%	30.0%
体がだるく、眠くなる	57	0	14	43	5	48	4	0
	11.9%	-	5.9%	17.7%	4.5%	14.8%	11.4%	0.0%
頭の中が真っ白になる、動けなくなる	33	0	13	20	4	25	3	1
	6.9%	-	5.5%	8.2%	3.6%	7.7%	8.6%	10.0%
その他	35	0	14	21	8	25	2	0
	7.3%	-	5.9%	8.6%	7.3%	7.7%	5.7%	0.0%
特にない	86	0	50	36	18	56	10	2
	17.9%	-	21.1%	14.8%	16.4%	17.2%	28.6%	20.0%
無回答	16	0	9	7	4	7	2	3
	3.3%	-	3.8%	2.9%	3.6%	2.2%	5.7%	30.0%

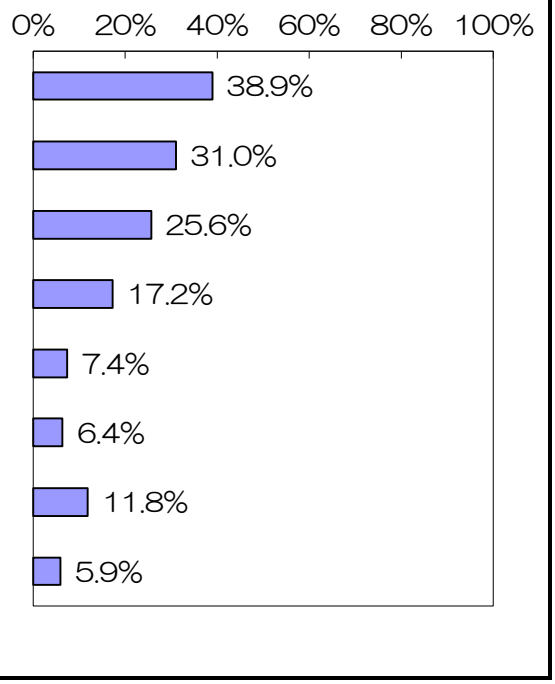
（７）ほとんど外出しない理由

問.（外出の状況について、「ほとんど外出しない」と答えた人のみ回答）その理由は何ですか。（○は３つまで）

「外出する目的がないため」が 38.9%と最も高く、次いで、「入院中または障がいや病気で動けないため」の 31.0%、「外出したくないため」の 25.6%の順となっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「外出する目的がないため」「外出したくないため」「移動手段の障がい者対応が不十分なため」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
外出する目的がないため	79	38.9%
入院中または障がいや病気で動けないため	63	31.0%
外出したくないため	52	25.6%
移動を介助する人がいないため	35	17.2%
移動手段の障がい者対応が不十分なため	15	7.4%
外出先の建物が利用しにくいため	13	6.4%
その他	24	11.8%
無回答	12	5.9%
サンプル数	203	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	203	130	15	58	4	86	111	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
外出する目的がないため	79	50	4	25	2	36	40	1
	38.9%	38.5%	26.7%	43.1%	50.0%	41.9%	36.0%	50.0%
入院中または障がいや病気で動けないため	63	44	4	15	1	28	34	0
	31.0%	33.8%	26.7%	25.9%	25.0%	32.6%	30.6%	0.0%
外出したくないため	52	23	3	26	2	28	21	1
	25.6%	17.7%	20.0%	44.8%	50.0%	32.6%	18.9%	50.0%
移動を介助する人がいないため	35	28	3	4	1	18	16	0
	17.2%	21.5%	20.0%	6.9%	25.0%	20.9%	14.4%	0.0%
移動手段の障がい者対応が不十分なため	15	11	2	2	1	6	8	0
	7.4%	8.5%	13.3%	3.4%	25.0%	7.0%	7.2%	0.0%
外出先の建物が利用しにくいため	13	10	0	3	0	11	2	0
	6.4%	7.7%	0.0%	5.2%	0.0%	12.8%	1.8%	0.0%
その他	24	15	0	9	0	7	17	0
	11.8%	11.5%	0.0%	15.5%	0.0%	8.1%	15.3%	0.0%
無回答	12	8	2	2	0	3	9	0
	5.9%	6.2%	13.3%	3.4%	0.0%	3.5%	8.1%	0.0%

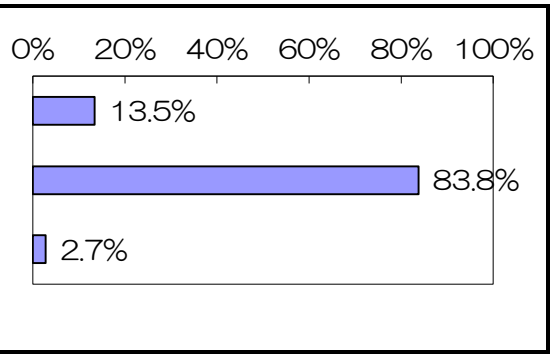
４．文化芸術について

（１）文化芸術に関するイベントへの参加経験

問．１年以内に文化芸術に関するイベントに参加したことがありますか。
（○はひとつだけ）

「ある」が 13.5%、「ない」が 83.8%となっている。

選択肢	回答数	割合
ある	167	13.5%
ない	1,037	83.8%
無回答	34	2.7%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	167	101	36	30	29	80	55	3
	13.5%	13.3%	15.2%	12.3%	19.6%	13.4%	11.6%	13.6%
ない	1,037	633	198	206	119	504	396	18
	83.8%	83.5%	83.5%	84.8%	80.4%	84.7%	83.7%	81.8%
無回答	34	24	3	7	0	11	22	1
	2.7%	3.2%	1.3%	2.9%	0.0%	1.8%	4.7%	4.5%

（２）文化芸術のイベントの参加方法

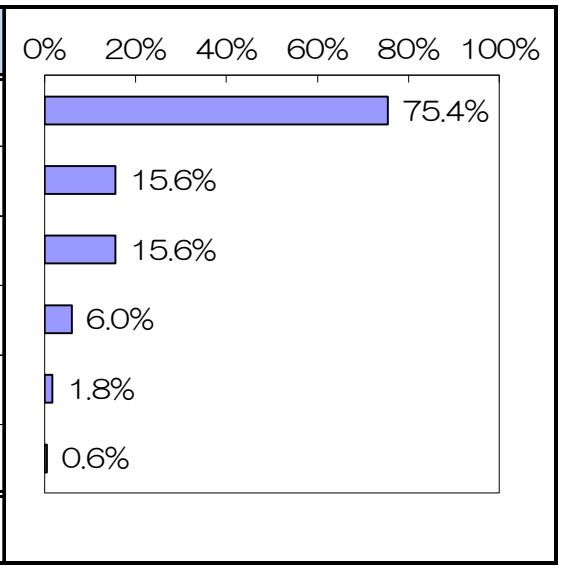
問.（文化芸術に関するイベントへの参加経験について、イベントに参加したことが「ある」と答えた人のみ回答）参加した内容は次のうちどれですか。
（○はいくつでも）

無回答を除くと、「鑑賞」が 75.4%と最も高く、次いで、「出演」「出品」の 15.6%となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「出演」「出品」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「出演」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
鑑賞	126	75.4%
出演	26	15.6%
出品	26	15.6%
運営スタッフ	10	6.0%
その他	3	1.8%
無回答	1	0.6%
サンプル数	167	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	167	101	36	30	29	80	55	3
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
鑑賞	126	79	26	21	21	62	41	2
	75.4%	78.2%	72.2%	70.0%	72.4%	77.5%	74.5%	66.7%
出演	26	11	10	5	11	9	6	0
	15.6%	10.9%	27.8%	16.7%	37.9%	11.3%	10.9%	0.0%
出品	26	9	10	7	7	14	4	1
	15.6%	8.9%	27.8%	23.3%	24.1%	17.5%	7.3%	33.3%
運営スタッフ	10	6	0	4	0	6	3	1
	6.0%	5.9%	0.0%	13.3%	0.0%	7.5%	5.5%	33.3%
その他	3	3	0	0	0	0	3	0
	1.8%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.5%	0.0%
無回答	1	0	0	1	0	1	0	0
	0.6%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%

（３）イベントの改善してほしい点

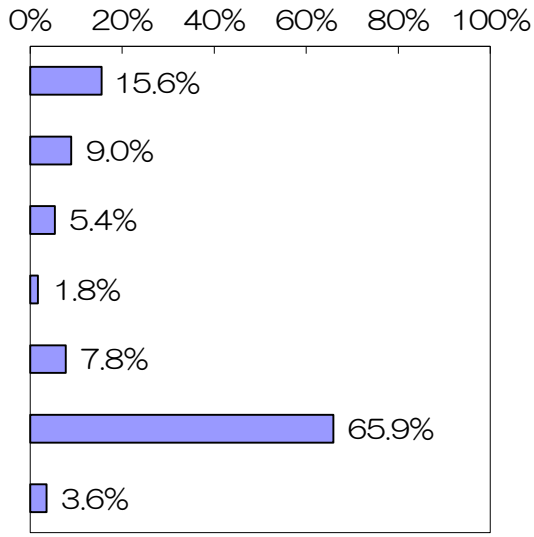
問.（文化芸術に関するイベントへの参加経験について、イベントに参加したことが「ある」と答えた人のみ回答）参加したイベントに改善点はありますか。（○はいくつでも）

「特にない」が 65.9%を占めている。

具体的にイベントの改善してほしい点については、「周知方法を工夫してほしい」が 15.6%と最も高く、次いで、「トイレやスロープ等の設備面が配慮されていない」の 9.0%、「アクセスが悪い」の 5.4%の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「周知方法を工夫してほしい」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
周知方法を工夫してほしい	26	15.6%
トイレやスロープ等の設備面が配慮されていない	15	9.0%
アクセスが悪い	9	5.4%
手話通訳の配置等の配慮がされていない	3	1.8%
その他	13	7.8%
特にない	110	65.9%
無回答	6	3.6%
サンプル数	167	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	167	101	36	30	29	80	55	3
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
周知方法を工夫してほしい	26	15	3	8	5	13	7	1
	15.6%	14.9%	8.3%	26.7%	17.2%	16.3%	12.7%	33.3%
トイレやスロープ等の設備面が配慮されていない	15	9	3	3	2	6	7	0
	9.0%	8.9%	8.3%	10.0%	6.9%	7.5%	12.7%	0.0%
アクセスが悪い	9	6	0	3	0	5	4	0
	5.4%	5.9%	0.0%	10.0%	0.0%	6.3%	7.3%	0.0%
手話通訳の配置等の配慮がされていない	3	2	0	1	0	2	1	0
	1.8%	2.0%	0.0%	3.3%	0.0%	2.5%	1.8%	0.0%
その他	13	10	1	2	2	5	6	0
	7.8%	9.9%	2.8%	6.7%	6.9%	6.3%	10.9%	0.0%
特にない	110	65	27	18	20	54	34	2
	65.9%	64.4%	75.0%	60.0%	69.0%	67.5%	61.8%	66.7%
無回答	6	3	2	1	1	4	1	0
	3.6%	3.0%	5.6%	3.3%	3.4%	5.0%	1.8%	0.0%

５．困ったときの相談について

（１）不安・困りごと

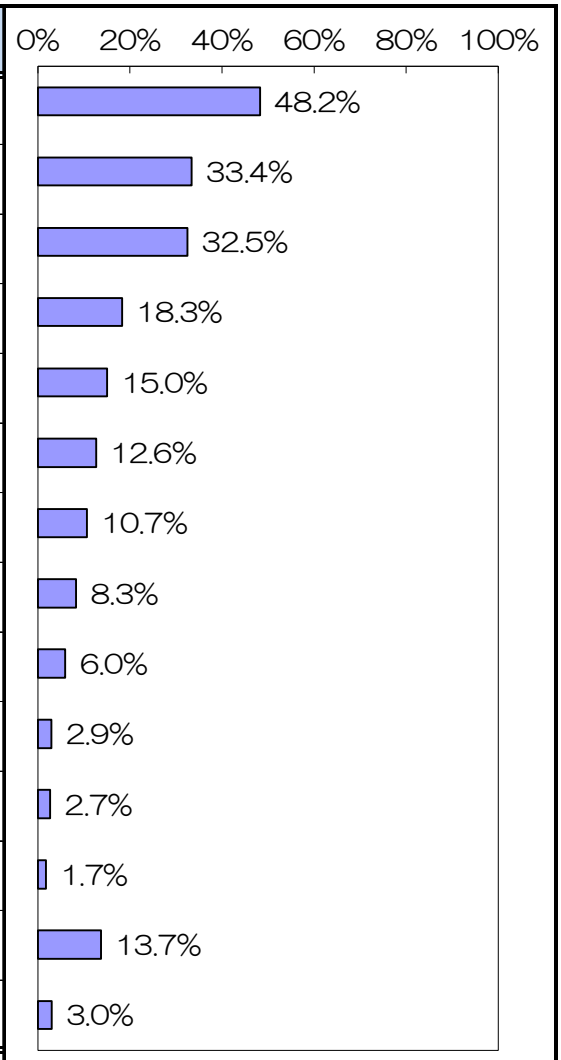
問．困ったり、不安に思っていることはありますか。（○は３つまで）

「心身（体調）のこと」が 48.2%と最も高く、次いで、「生活費やお金のこと」の 33.4%、「将来のこと」の 32.5%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「将来のこと」「学校生活・進路のこと」、精神障がい者の「生活費やお金のこと」「仕事のこと」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下は「将来のこと」、18～64 歳と 65 歳以上は「心身（体調）のこと」の割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
心身（体調）のこと	597	48.2%
生活費やお金のこと	414	33.4%
将来のこと	402	32.5%
新型コロナウイルス感染症のこと	226	18.3%
仕事のこと	186	15.0%
日常生活のこと	156	12.6%
住居・生活の場所のこと	132	10.7%
学校生活・進路のこと	103	8.3%
家族・親せきとの関係のこと	74	6.0%
結婚・育児のこと	36	2.9%
家族・親族以外の人間関係のこと	33	2.7%
その他	21	1.7%
特にない	169	13.7%
無回答	37	3.0%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
心身（体調）のこと	597	383	76	138	41	308	241	7
	48.2%	50.5%	32.1%	56.8%	27.7%	51.8%	51.0%	31.8%
生活費やお金のこと	414	215	63	136	31	262	115	6
	33.4%	28.4%	26.6%	56.0%	20.9%	44.0%	24.3%	27.3%
将来のこと	402	204	115	83	84	224	87	7
	32.5%	26.9%	48.5%	34.2%	56.8%	37.6%	18.4%	31.8%
新型コロナウイルス感染症のこと	226	157	46	23	24	93	107	2
	18.3%	20.7%	19.4%	9.5%	16.2%	15.6%	22.6%	9.1%
仕事のこと	186	90	25	71	10	156	17	3
	15.0%	11.9%	10.5%	29.2%	6.8%	26.2%	3.6%	13.6%
日常生活のこと	156	94	36	26	28	66	59	3
	12.6%	12.4%	15.2%	10.7%	18.9%	11.1%	12.5%	13.6%
住居・生活の場所のこと	132	68	30	34	17	78	35	2
	10.7%	9.0%	12.7%	14.0%	11.5%	13.1%	7.4%	9.1%
学校生活・進路のこと	103	26	69	8	90	11	0	2
	8.3%	3.4%	29.1%	3.3%	60.8%	1.8%	0.0%	9.1%
家族・親せきとの関係のこと	74	36	11	27	3	48	21	2
	6.0%	4.7%	4.6%	11.1%	2.0%	8.1%	4.4%	9.1%
結婚・育児のこと	36	13	8	15	2	34	0	0
	2.9%	1.7%	3.4%	6.2%	1.4%	5.7%	0.0%	0.0%
家族・親族以外の人間関係のこと	33	13	9	11	2	16	14	1
	2.7%	1.7%	3.8%	4.5%	1.4%	2.7%	3.0%	4.5%
その他	21	15	2	4	1	6	14	0
	1.7%	2.0%	0.8%	1.6%	0.7%	1.0%	3.0%	0.0%
特にない	169	128	21	20	12	52	99	6
	13.7%	16.9%	8.9%	8.2%	8.1%	8.7%	20.9%	27.3%
無回答	37	25	7	5	2	11	23	1
	3.0%	3.3%	3.0%	2.1%	1.4%	1.8%	4.9%	4.5%

（２）相談相手

問．困ったときに、誰に相談しますか。（○は３つまで）

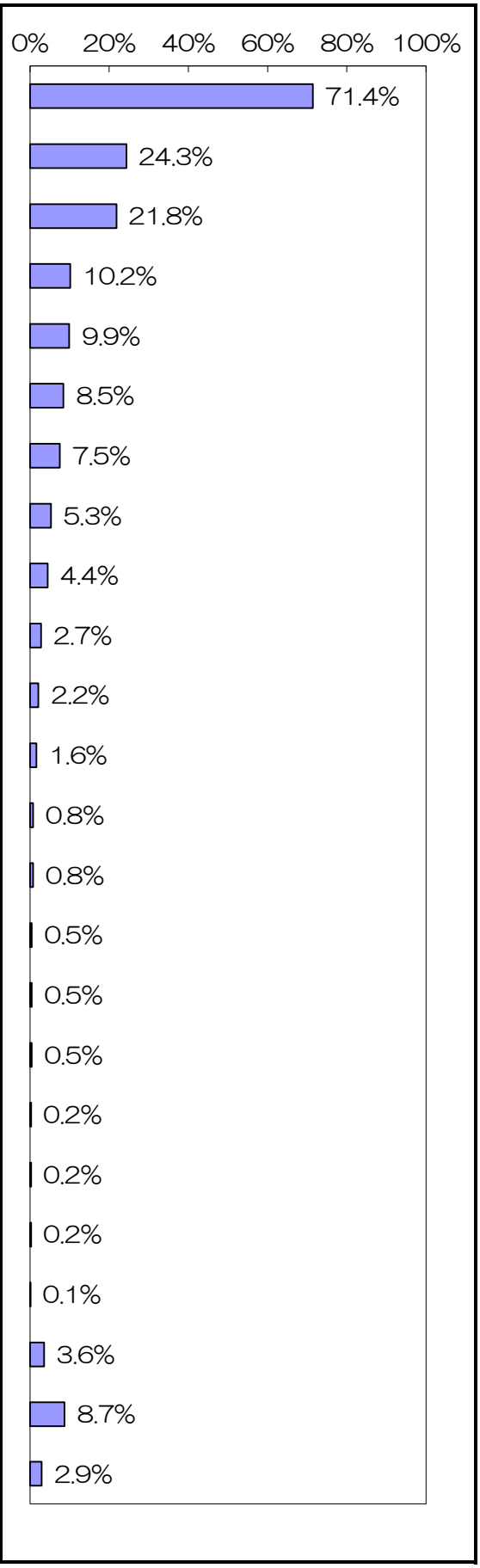
「家族・親せき」が 71.4％と最も高く、次いで、「友人・知人」の 24.3％、「医師・看護職員」の 21.8％の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「施設・事業所職員」「相談支援事業所」「学校の先生」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている一方、「医師・看護職員」は低くなっている。

一方、精神障がい者の「医師・看護職員」の割合は高く、「家族・親せき」は他の障がい種別と比べて低くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「相談支援事業所」「学校の先生」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
家族・親せき	884	71.4%
友人・知人	301	24.3%
医師・看護職員	270	21.8%
ケアマネジャー（介護支援専門員）	126	10.2%
市役所（障がい福祉担当課など）	123	9.9%
施設・事業所職員	105	8.5%
相談支援事業所	93	7.5%
学校の先生	65	5.3%
障がい者相談員	55	4.4%
障がい者基幹相談支援センター	34	2.7%
ホームヘルパー	27	2.2%
保健所・福祉事務所	20	1.6%
ジョブコーチ	10	0.8%
民生委員・児童委員	10	0.8%
社会福祉協議会	6	0.5%
障がい者団体	6	0.5%
地域、近所の人	6	0.5%
ワークサポーター	3	0.2%
自治会役員等	3	0.2%
ボランティア	3	0.2%
保健師	1	0.1%
その他	44	3.6%
相談する相手がいない	108	8.7%
無回答	36	2.9%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族・親せき	884	562	176	146	114	410	346	14
	71.4%	74.1%	74.3%	60.1%	77.0%	68.9%	73.2%	63.6%
友人・知人	301	205	37	59	29	161	104	7
	24.3%	27.0%	15.6%	24.3%	19.6%	27.1%	22.0%	31.8%
医師・看護職員	270	169	23	78	21	144	103	2
	21.8%	22.3%	9.7%	32.1%	14.2%	24.2%	21.8%	9.1%
ケアマネジャー（介護支援専門員）	126	97	15	14	5	42	78	1
	10.2%	12.8%	6.3%	5.8%	3.4%	7.1%	16.5%	4.5%
市役所（障がい福祉担当課など）	123	76	21	26	10	67	45	1
	9.9%	10.0%	8.9%	10.7%	6.8%	11.3%	9.5%	4.5%
施設・事業所職員	105	39	47	19	24	50	28	3
	8.5%	5.1%	19.8%	7.8%	16.2%	8.4%	5.9%	13.6%
相談支援事業所	93	25	51	17	38	53	2	0
	7.5%	3.3%	21.5%	7.0%	25.7%	8.9%	0.4%	0.0%
学校の先生	65	13	49	3	54	10	0	1
	5.3%	1.7%	20.7%	1.2%	36.5%	1.7%	0.0%	4.5%
障がい者相談員	55	20	23	12	8	38	7	2
	4.4%	2.6%	9.7%	4.9%	5.4%	6.4%	1.5%	9.1%
障がい者基幹相談支援センター	34	11	16	7	8	21	4	1
	2.7%	1.5%	6.8%	2.9%	5.4%	3.5%	0.8%	4.5%
ホームヘルパー	27	20	4	3	1	15	11	0
	2.2%	2.6%	1.7%	1.2%	0.7%	2.5%	2.3%	0.0%
保健所・福祉事務所	20	15	1	4	0	9	11	0
	1.6%	2.0%	0.4%	1.6%	0.0%	1.5%	2.3%	0.0%
ジョブコーチ	10	3	2	5	0	9	1	0
	0.8%	0.4%	0.8%	2.1%	0.0%	1.5%	0.2%	0.0%
民生委員・児童委員	10	8	1	1	0	0	9	1
	0.8%	1.1%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	1.9%	4.5%
社会福祉協議会	6	3	1	2	0	3	3	0
	0.5%	0.4%	0.4%	0.8%	0.0%	0.5%	0.6%	0.0%
障がい者団体	6	4	2	0	1	4	1	0
	0.5%	0.5%	0.8%	0.0%	0.7%	0.7%	0.2%	0.0%
地域、近所の人	6	5	1	0	0	2	4	0
	0.5%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.3%	0.8%	0.0%
ワークサポーター	3	1	1	1	0	3	0	0
	0.2%	0.1%	0.4%	0.4%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
自治会役員等	3	2	1	0	0	1	2	0
	0.2%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%
ボランティア	3	2	0	1	0	1	2	0
	0.2%	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%
保健師	1	0	1	0	0	1	0	0
	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
その他	44	14	9	21	2	32	9	1
	3.6%	1.8%	3.8%	8.6%	1.4%	5.4%	1.9%	4.5%
相談する相手がいない	108	59	9	40	7	69	31	1
	8.7%	7.8%	3.8%	16.5%	4.7%	11.6%	6.6%	4.5%
無回答	36	24	6	6	2	7	23	4
	2.9%	3.2%	2.5%	2.5%	1.4%	1.2%	4.9%	18.2%

（３）宮崎市障がい者基幹相談支援センターの認知

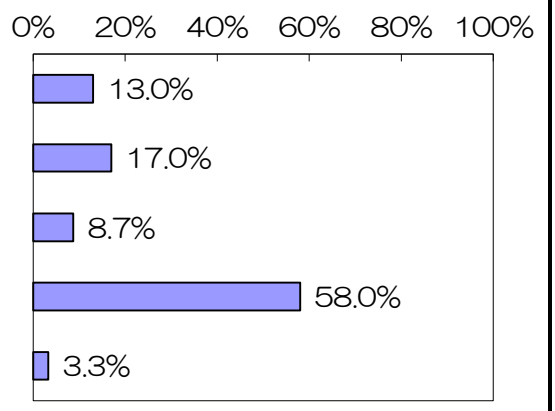
問．障がいに関する幅広い相談を受ける「宮崎市障がい者基幹相談支援センター」を知っていますか。

「知らない」が 58.0％と最も高く、次いで、「利用したことはないが利用してみたい」の 17.0％、「利用したことがある」の 13.0％の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「利用したことがある」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「利用したことがある」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
利用したことがある	161	13.0%
利用したことはないが利用してみたい	210	17.0%
利用したいと思わない	108	8.7%
知らない	718	58.0%
無回答	41	3.3%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
利用したことがある	161	57	57	47	40	81	38	2
	13.0%	7.5%	24.1%	19.3%	27.0%	13.6%	8.0%	9.1%
利用したことはないが利用してみたい	210	142	37	31	28	92	87	3
	17.0%	18.7%	15.6%	12.8%	18.9%	15.5%	18.4%	13.6%
利用したいと思わない	108	83	11	14	4	43	56	5
	8.7%	10.9%	4.6%	5.8%	2.7%	7.2%	11.8%	22.7%
知らない	718	445	127	146	76	369	263	10
	58.0%	58.7%	53.6%	60.1%	51.4%	62.0%	55.6%	45.5%
無回答	41	31	5	5	0	10	29	2
	3.3%	4.1%	2.1%	2.1%	0.0%	1.7%	6.1%	9.1%

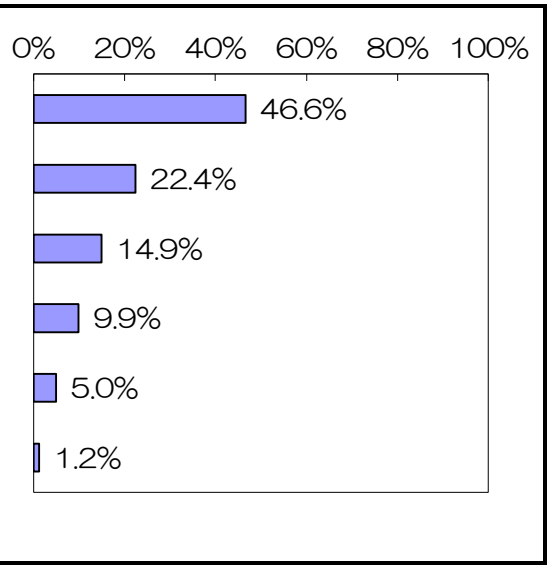
（４）宮崎市障がい者基幹相談支援センター利用の感想

問.（宮崎市障がい者基幹相談支援センターの認知について、「利用したことがある」と答えた人のみ回答）利用してどのように思いましたか。（○はひとつだけ）

「十分役に立った」が 46.6%と最も高く、次いで、「まあまあ役に立った」の 22.4%、「どちらとも言えない」の 14.9%の順となっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「十分役に立った」の割合が他の年齢区分と比べて高く、「十分役に立った」と「まあまあ役に立った」の割合を合わせると 9 割となっている。

選択肢	回答数	割合
十分役に立った	75	46.6%
まあまあ役に立った	36	22.4%
どちらとも言えない	24	14.9%
あまり役に立たなかった	16	9.9%
全然役に立たなかった	8	5.0%
無回答	2	1.2%
サンプル数	161	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	161	57	57	47	40	81	38	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
十分役に立った	75	31	32	12	24	31	20	0
	46.6%	54.4%	56.1%	25.5%	60.0%	38.3%	52.6%	0.0%
まあまあ役に立った	36	11	14	11	12	15	8	1
	22.4%	19.3%	24.6%	23.4%	30.0%	18.5%	21.1%	50.0%
どちらとも言えない	24	8	7	9	3	14	6	1
	14.9%	14.0%	12.3%	19.1%	7.5%	17.3%	15.8%	50.0%
あまり役に立たなかった	16	3	2	11	1	14	1	0
	9.9%	5.3%	3.5%	23.4%	2.5%	17.3%	2.6%	0.0%
全然役に立たなかった	8	2	2	4	0	7	1	0
	5.0%	3.5%	3.5%	8.5%	0.0%	8.6%	2.6%	0.0%
無回答	2	2	0	0	0	0	2	0
	1.2%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%

６．生活環境について

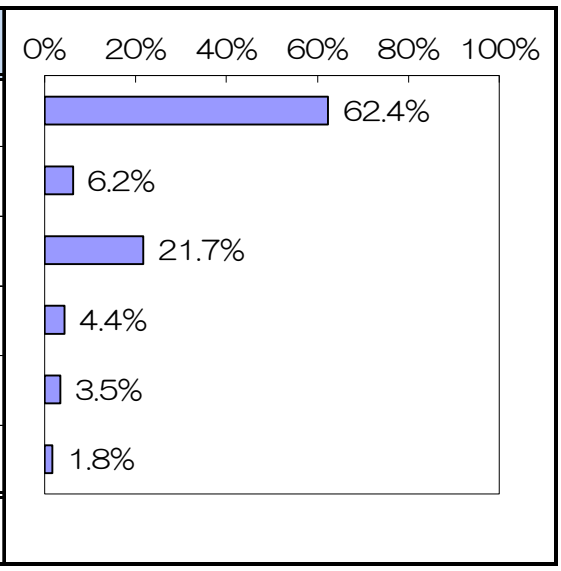
（１）現在の住居

問．お住まいは、次のうちどれですか。（○はひとつだけ）

「持ち家」が 62.4％と最も高く、次いで、「賃貸住宅」の 21.7％、「市営住宅・県営住宅」の 6.2％の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「賃貸住宅」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている一方、「持ち家」は低くなっている。

選択肢	回答数	割合
持ち家	772	62.4%
市営住宅・県営住宅	77	6.2%
賃貸住宅	269	21.7%
施設・病院	55	4.4%
その他	43	3.5%
無回答	22	1.8%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
持ち家	772	530	146	96	99	318	340	15
	62.4%	69.9%	61.6%	39.5%	66.9%	53.4%	71.9%	68.2%
市営住宅・県営住宅	77	41	19	17	4	47	24	2
	6.2%	5.4%	8.0%	7.0%	2.7%	7.9%	5.1%	9.1%
賃貸住宅	269	118	54	97	43	173	52	1
	21.7%	15.6%	22.8%	39.9%	29.1%	29.1%	11.0%	4.5%
施設・病院	55	38	11	6	1	17	36	1
	4.4%	5.0%	4.6%	2.5%	0.7%	2.9%	7.6%	4.5%
その他	43	16	4	23	1	33	9	0
	3.5%	2.1%	1.7%	9.5%	0.7%	5.5%	1.9%	0.0%
無回答	22	15	3	4	0	7	12	3
	1.8%	2.0%	1.3%	1.6%	0.0%	1.2%	2.5%	13.6%

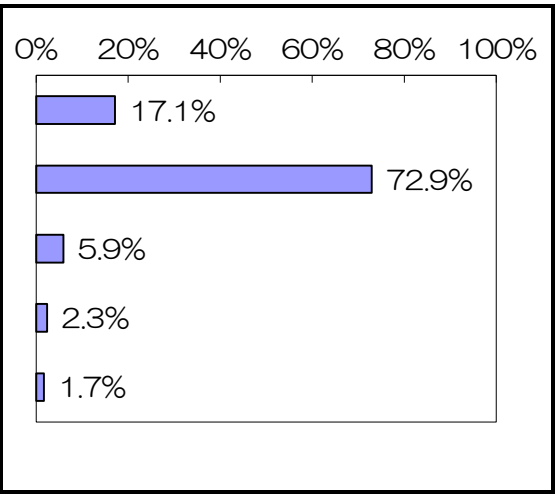
（２）現在の生活状況、同居者

問．現在どのように暮していますか。（○はひとつだけ）

「家族等と同居」が 72.9％と最も高く、次いで、「ひとり暮らし」の 17.1％、「施設入所・入院」の 5.9％の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「家族等と同居」、精神障がい者の「ひとり暮らし」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
ひとり暮らし	212	17.1%
家族等と同居	903	72.9%
施設入所・入院	73	5.9%
その他	29	2.3%
無回答	21	1.7%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ひとり暮らし	212	133	10	69	1	120	86	5
	17.1%	17.5%	4.2%	28.4%	0.7%	20.2%	18.2%	22.7%
家族等と同居	903	542	204	157	145	431	314	13
	72.9%	71.5%	86.1%	64.6%	98.0%	72.4%	66.4%	59.1%
施設入所・入院	73	51	15	7	1	22	49	1
	5.9%	6.7%	6.3%	2.9%	0.7%	3.7%	10.4%	4.5%
その他	29	18	6	5	1	16	11	1
	2.3%	2.4%	2.5%	2.1%	0.7%	2.7%	2.3%	4.5%
無回答	21	14	2	5	0	6	13	2
	1.7%	1.8%	0.8%	2.1%	0.0%	1.0%	2.7%	9.1%

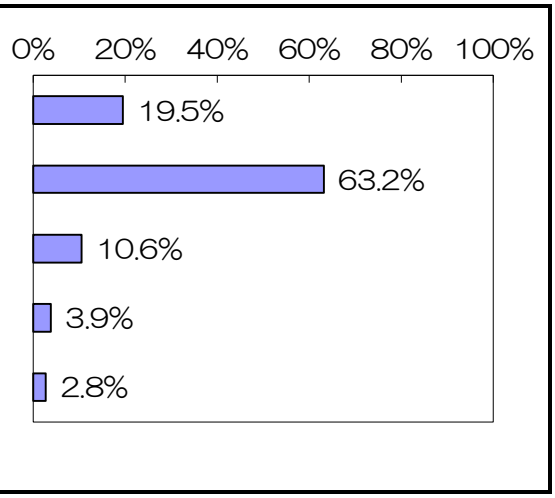
（３）希望する生活スタイル

問．今後、どのような暮らしを希望しますか。（○はひとつだけ）

「家族等と同居」が 63.2％と最も高く、次いで、「ひとり暮らし」の 19.5％、「施設入所・入院」の 10.6％の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「ひとり暮らし」の割合が他の障がい区別と比べて高くなっている一方、「家族等と同居」は低くなっている。

選択肢	回答数	割合
ひとり暮らし	242	19.5%
家族等と同居	782	63.2%
施設入所・入院	131	10.6%
その他	48	3.9%
無回答	35	2.8%
サンプル数	1,238	100.0%



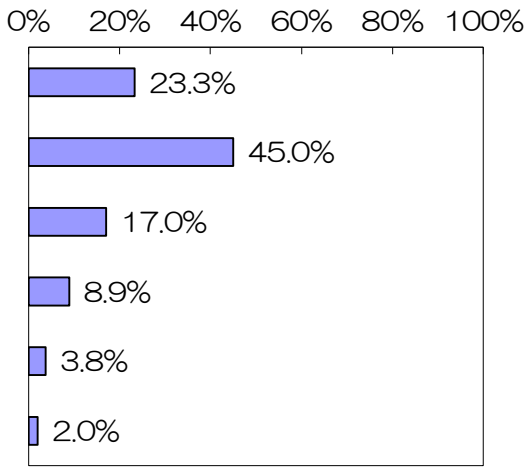
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ひとり暮らし	242	130	29	83	11	155	72	4
	19.5%	17.2%	12.2%	34.2%	7.4%	26.1%	15.2%	18.2%
家族等と同居	782	500	157	125	125	348	297	12
	63.2%	66.0%	66.2%	51.4%	84.5%	58.5%	62.8%	54.5%
施設入所・入院	131	78	37	16	6	51	71	3
	10.6%	10.3%	15.6%	6.6%	4.1%	8.6%	15.0%	13.6%
その他	48	26	8	14	4	31	13	0
	3.9%	3.4%	3.4%	5.8%	2.7%	5.2%	2.7%	0.0%
無回答	35	24	6	5	2	10	20	3
	2.8%	3.2%	2.5%	2.1%	1.4%	1.7%	4.2%	13.6%

（４）生活環境への満足

問．現在の生活環境に満足していますか。（○はひとつだけ）

「まあまあ満足している」が 45.0％と最も高く、次いで、「十分満足している」の 23.3％、「どちらとも言えない」の 17.0％の順となっている。

選択肢	回答数	割合
十分満足している	288	23.3%
まあまあ満足している	557	45.0%
どちらとも言えない	211	17.0%
あまり満足していない	110	8.9%
全然満足していない	47	3.8%
無回答	25	2.0%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
十分満足している	288	181	72	35	45	125	110	8
	23.3%	23.9%	30.4%	14.4%	30.4%	21.0%	23.3%	36.4%
まあまあ満足している	557	372	106	79	64	244	243	6
	45.0%	49.1%	44.7%	32.5%	43.2%	41.0%	51.4%	27.3%
どちらとも言えない	211	118	37	56	31	114	62	4
	17.0%	15.6%	15.6%	23.0%	20.9%	19.2%	13.1%	18.2%
あまり満足していない	110	51	14	45	7	70	32	1
	8.9%	6.7%	5.9%	18.5%	4.7%	11.8%	6.8%	4.5%
全然満足していない	47	18	4	25	0	38	9	0
	3.8%	2.4%	1.7%	10.3%	0.0%	6.4%	1.9%	0.0%
無回答	25	18	4	3	1	4	17	3
	2.0%	2.4%	1.7%	1.2%	0.7%	0.7%	3.6%	13.6%

（５）満足している生活環境等

問．満足している環境等はどのようなものですか。（○は３つまで）

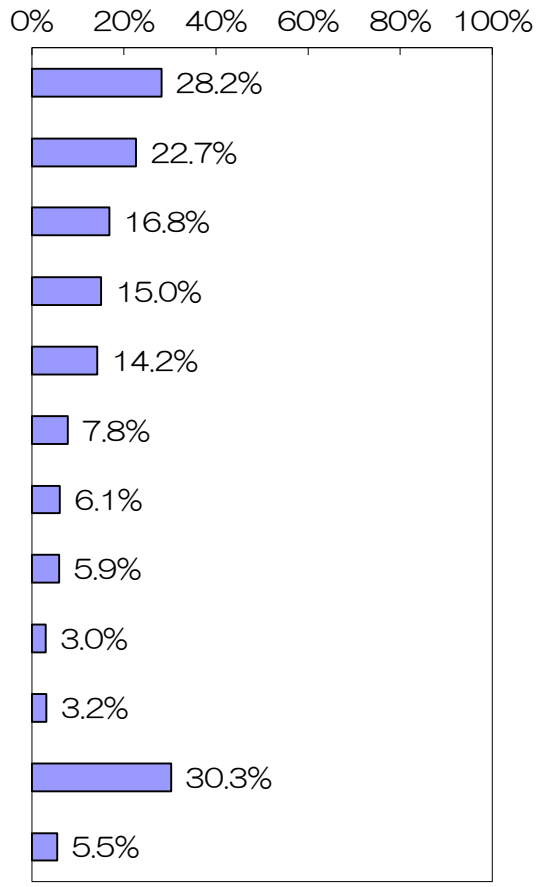
「特にない」が 30.3%を占めている。

具体的な満足している環境等は、「安心できる医療体制、医療費の補助」が 28.2%と最も高く、次いで、「障がいにあった住環境、部屋など」の 22.7%、「相談できる環境」の 16.8%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「相談できる環境」、精神障がい者の「金銭的な支援、補助」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「相談できる環境」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
安心できる医療体制、医療費の補助	349	28.2%
障がいにあった住環境、部屋など	281	22.7%
相談できる環境	208	16.8%
移動手段、交通機関の充実	186	15.0%
金銭的な支援、補助	176	14.2%
食事に関する支援、サービス	96	7.8%
地域の支援、障がい理解	76	6.1%
掃除などの支援、サービス	73	5.9%
体験や経験、レクリエーションの場	37	3.0%
その他	39	3.2%
特にない	375	30.3%
無回答	68	5.5%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
安心できる医療体制、医療費の補助	349	247	51	51	38	132	174	5
	28.2%	32.6%	21.5%	21.0%	25.7%	22.2%	36.8%	22.7%
障がいにあった住環境、部屋など	281	189	55	37	29	132	115	5
	22.7%	24.9%	23.2%	15.2%	19.6%	22.2%	24.3%	22.7%
相談できる環境	208	98	64	46	41	108	55	4
	16.8%	12.9%	27.0%	18.9%	27.7%	18.2%	11.6%	18.2%
移動手段、交通機関の充実	186	122	28	36	10	100	74	2
	15.0%	16.1%	11.8%	14.8%	6.8%	16.8%	15.6%	9.1%
金銭的な支援、補助	176	81	34	61	20	112	42	2
	14.2%	10.7%	14.3%	25.1%	13.5%	18.8%	8.9%	9.1%
食事に関する支援、サービス	96	56	24	16	7	47	42	0
	7.8%	7.4%	10.1%	6.6%	4.7%	7.9%	8.9%	0.0%
地域の支援、障がい理解	76	39	19	18	12	40	21	3
	6.1%	5.1%	8.0%	7.4%	8.1%	6.7%	4.4%	13.6%
掃除などの支援、サービス	73	47	13	13	4	35	33	1
	5.9%	6.2%	5.5%	5.3%	2.7%	5.9%	7.0%	4.5%
体験や経験、レクリエーションの場	37	18	15	4	12	13	12	0
	3.0%	2.4%	6.3%	1.6%	8.1%	2.2%	2.5%	0.0%
その他	39	24	7	8	6	16	15	2
	3.2%	3.2%	3.0%	3.3%	4.1%	2.7%	3.2%	9.1%
特にない	375	226	65	84	49	193	127	6
	30.3%	29.8%	27.4%	34.6%	33.1%	32.4%	26.8%	27.3%
無回答	68	40	15	13	3	25	37	3
	5.5%	5.3%	6.3%	5.3%	2.0%	4.2%	7.8%	13.6%

（６）満足していない生活環境等

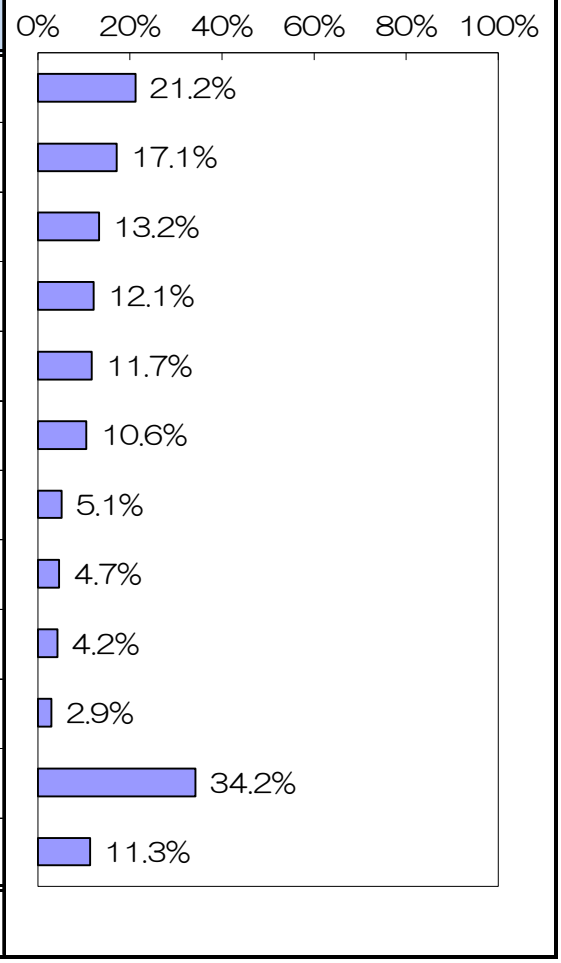
問．満足していない環境等はどのようなものですか。（○は３つまで）

「特にない」が 34.2%を占めている。

具体的に満足していない生活環境等については、「金銭的な支援、補助」が 21.2%と最も高く、次いで、「移動手段、交通機関の充実」の 17.1%、「地域の支援、障がい理解」の 13.2%の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「特にない」の割合が他の年齢区分と比べて低く、「金銭的な支援、補助」「相談できる環境」が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
金銭的な支援、補助	262	21.2%
移動手段、交通機関の充実	212	17.1%
地域の支援、障がい理解	164	13.2%
相談できる環境	150	12.1%
障がいにあった住環境、部屋など	145	11.7%
安心できる医療体制、医療費の補助	131	10.6%
食事に関する支援、サービス	63	5.1%
体験や経験、レクリエーションの場	58	4.7%
掃除などの支援、サービス	52	4.2%
その他	36	2.9%
特にない	424	34.2%
無回答	140	11.3%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
金銭的な支援、補助	262	125	50	87	23	175	61	3
	21.2%	16.5%	21.1%	35.8%	15.5%	29.4%	12.9%	13.6%
移動手段、交通機関の充実	212	129	37	46	24	112	74	2
	17.1%	17.0%	15.6%	18.9%	16.2%	18.8%	15.6%	9.1%
地域の支援、障がい理解	164	68	52	44	39	102	20	3
	13.2%	9.0%	21.9%	18.1%	26.4%	17.1%	4.2%	13.6%
相談できる環境	150	72	20	58	15	91	43	1
	12.1%	9.5%	8.4%	23.9%	10.1%	15.3%	9.1%	4.5%
障がいにあった住環境、部屋など	145	82	35	28	24	78	41	2
	11.7%	10.8%	14.8%	11.5%	16.2%	13.1%	8.7%	9.1%
安心できる医療体制、医療費の補助	131	86	22	23	12	67	50	2
	10.6%	11.3%	9.3%	9.5%	8.1%	11.3%	10.6%	9.1%
食事に関する支援、サービス	63	37	11	15	4	32	26	1
	5.1%	4.9%	4.6%	6.2%	2.7%	5.4%	5.5%	4.5%
体験や経験、レクリエーションの場	58	24	19	15	10	37	10	1
	4.7%	3.2%	8.0%	6.2%	6.8%	6.2%	2.1%	4.5%
掃除などの支援、サービス	52	33	6	13	2	24	26	0
	4.2%	4.4%	2.5%	5.3%	1.4%	4.0%	5.5%	0.0%
その他	36	16	3	17	3	23	9	1
	2.9%	2.1%	1.3%	7.0%	2.0%	3.9%	1.9%	4.5%
特にない	424	286	83	55	59	172	183	10
	34.2%	37.7%	35.0%	22.6%	39.9%	28.9%	38.7%	45.5%
無回答	140	104	25	11	9	36	91	4
	11.3%	13.7%	10.5%	4.5%	6.1%	6.1%	19.2%	18.2%

（７）インターネット環境

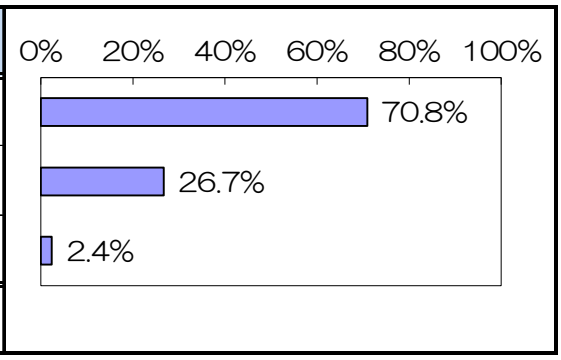
問．インターネットに接続できる環境がありますか。（○はひとつだけ）

「ある」が 70.8%、「ない」が 26.7%となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「ある」割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、65 歳以上の「ある」割合が他の年齢区分と比べ低くなっている。

選択肢	回答数	割合
ある	877	70.8%
ない	331	26.7%
無回答	30	2.4%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	877	488	197	192	142	493	226	16
	70.8%	64.4%	83.1%	79.0%	95.9%	82.9%	47.8%	72.7%
ない	331	248	34	49	5	94	228	4
	26.7%	32.7%	14.3%	20.2%	3.4%	15.8%	48.2%	18.2%
無回答	30	22	6	2	1	8	19	2
	2.4%	2.9%	2.5%	0.8%	0.7%	1.3%	4.0%	9.1%

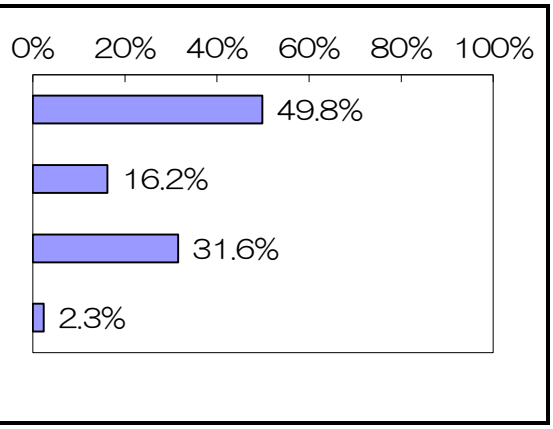
（８）インターネットによる申請手続等の利用意向

問．宮崎市への申請手続等にインターネットによる申請が可能な場合、利用しますか。（○はひとつだけ）

「利用する」が 49.8%、「利用しない」が 16.2%、「分からない」が 31.6%となっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「利用する」割合が高くなっている一方、65 歳以上の「利用する」割合は他の年齢区分と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
利用する	617	49.8%
利用しない	201	16.2%
分からない	391	31.6%
無回答	29	2.3%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
利用する	617	370	118	129	101	354	154	8
	49.8%	48.8%	49.8%	53.1%	68.2%	59.5%	32.6%	36.4%
利用しない	201	133	33	35	6	65	126	4
	16.2%	17.5%	13.9%	14.4%	4.1%	10.9%	26.6%	18.2%
分からない	391	232	82	77	40	169	174	8
	31.6%	30.6%	34.6%	31.7%	27.0%	28.4%	36.8%	36.4%
無回答	29	23	4	2	1	7	19	2
	2.3%	3.0%	1.7%	0.8%	0.7%	1.2%	4.0%	9.1%

７．医療機関の受診について

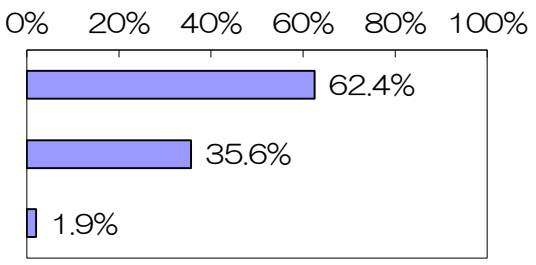
（１）（障がいの治療やリハビリテーションを目的とする）医療機関への受診状況

問．過去１年間に障がいの治療やリハビリテーションを目的として医療機関を受診しましたか。（○はひとつだけ）

「はい」が 62.4%、「いいえ」が 35.6%となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「はい」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている一方、知的障がい者の「はい」の割合は低くなっている。

選択肢	回答数	割合
はい	773	62.4%
いいえ	441	35.6%
無回答	24	1.9%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	773	472	110	191	88	387	287	11
	62.4%	62.3%	46.4%	78.6%	59.5%	65.0%	60.7%	50.0%
いいえ	441	272	121	48	59	200	174	8
	35.6%	35.9%	51.1%	19.8%	39.9%	33.6%	36.8%	36.4%
無回答	24	14	6	4	1	8	12	3
	1.9%	1.8%	2.5%	1.6%	0.7%	1.3%	2.5%	13.6%

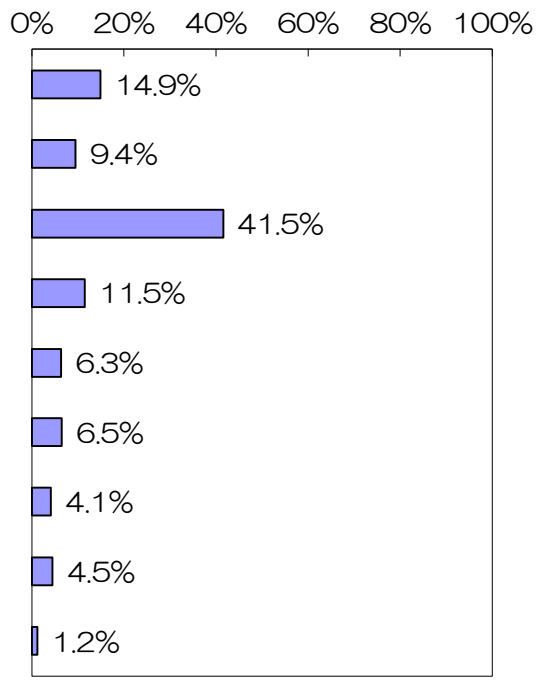
（２）医療機関への受診頻度

問.（医療機関への受診状況について、過去１年間に障がいの治療やリハビリテーションを目的とした医療機関への受診をしたと答えた人のみ回答）受診頻度はどのくらいですか。（○はひとつだけ）

「月１回程度」が 41.5%と最も高く、次いで、「週２回以上」の 14.9%、「２か月に１回程度」の 11.5%の順となっている。

年齢区分別でみると、すべての年齢区分で「月１回程度」の割合が高くなっているが、17 歳以下の割合は他の年齢区分と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
週２回以上	115	14.9%
週１回程度	73	9.4%
月１回程度	321	41.5%
２か月に１回程度	89	11.5%
３か月に１回程度	49	6.3%
半年に１回程度	50	6.5%
年１回程度	32	4.1%
その他	35	4.5%
無回答	9	1.2%
サンプル数	773	100.0%



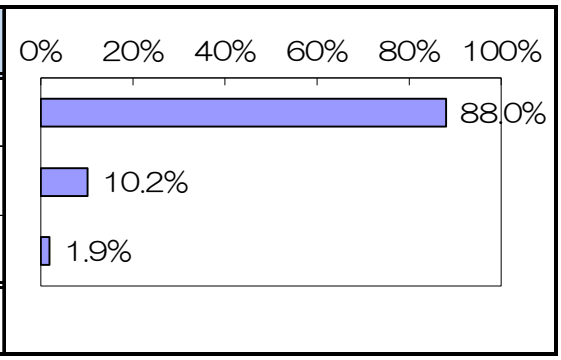
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	773	472	110	191	88	387	287	11
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
週２回以上	115	96	6	13	7	51	55	2
	14.9%	20.3%	5.5%	6.8%	8.0%	13.2%	19.2%	18.2%
週１回程度	73	49	10	14	15	32	26	0
	9.4%	10.4%	9.1%	7.3%	17.0%	8.3%	9.1%	0.0%
月１回程度	321	158	40	123	23	190	102	6
	41.5%	33.5%	36.4%	64.4%	26.1%	49.1%	35.5%	54.5%
２か月に１回程度	89	50	15	24	10	49	30	0
	11.5%	10.6%	13.6%	12.6%	11.4%	12.7%	10.5%	0.0%
３か月に１回程度	49	32	9	8	9	25	15	0
	6.3%	6.8%	8.2%	4.2%	10.2%	6.5%	5.2%	0.0%
半年に１回程度	50	36	11	3	13	15	21	1
	6.5%	7.6%	10.0%	1.6%	14.8%	3.9%	7.3%	9.1%
年１回程度	32	24	8	0	8	5	18	1
	4.1%	5.1%	7.3%	0.0%	9.1%	1.3%	6.3%	9.1%
その他	35	21	10	4	3	18	14	0
	4.5%	4.4%	9.1%	2.1%	3.4%	4.7%	4.9%	0.0%
無回答	9	6	1	2	0	2	6	1
	1.2%	1.3%	0.9%	1.0%	0.0%	0.5%	2.1%	9.1%

（３）かかりつけ医の有無

問．かかりつけ医はありますか。（○はひとつだけ）

「はい」が 88.0%、「いいえ」が 10.2%となっている。

選択肢	回答数	割合
はい	1,089	88.0%
いいえ	126	10.2%
無回答	23	1.9%
サンプル数	1,238	100.0%



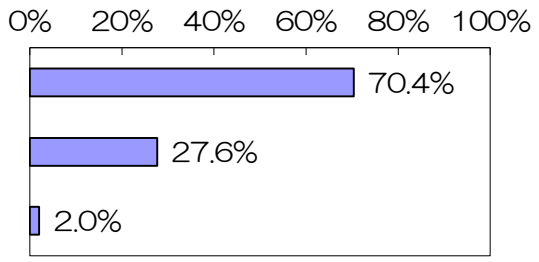
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	1,089	672	191	226	127	516	428	18
	88.0%	88.7%	80.6%	93.0%	85.8%	86.7%	90.5%	81.8%
いいえ	126	69	43	14	20	74	31	1
	10.2%	9.1%	18.1%	5.8%	13.5%	12.4%	6.6%	4.5%
無回答	23	17	3	3	1	5	14	3
	1.9%	2.2%	1.3%	1.2%	0.7%	0.8%	3.0%	13.6%

（４）医療機関への受診状況（障がいの治療・リハビリテーション以外）

問．障がいの治療やリハビリテーション以外を目的として、過去１年間に医療機関を受診しましたか。（○はひとつだけ）

「はい」が 70.4%、「いいえ」が 27.6%となっている。

選択肢	回答数	割合
はい	871	70.4%
いいえ	342	27.6%
無回答	25	2.0%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	871	537	153	181	101	421	334	15
	70.4%	70.8%	64.6%	74.5%	68.2%	70.8%	70.6%	68.2%
いいえ	342	202	80	60	45	170	124	3
	27.6%	26.6%	33.8%	24.7%	30.4%	28.6%	26.2%	13.6%
無回答	25	19	4	2	2	4	15	4
	2.0%	2.5%	1.7%	0.8%	1.4%	0.7%	3.2%	18.2%

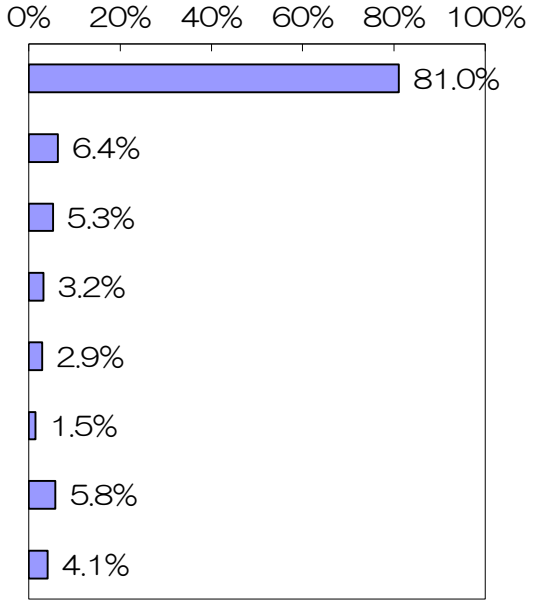
（５）医療機関を受診しなかった理由（障がいの治療やリハビリテーション以外）

問.（医療機関への受診状況について、過去１年間に障がいの治療やリハビリテーション以外を目的とした医療機関への受診をしなかったと答えた人のみ回答）その理由は何ですか。（○は３つまで）

「受診する必要がなかったため」が 81.0%と最も高く、次いで、「経済的な理由のため」の 6.4%、「その他」の 5.8%の順となっている。

「その他」については、「怖い・不安」「入院中のため」「コロナ感染拡大予防のため」などの回答が多く寄せられた。

選択肢	回答数	割合
受診する必要がなかったため	277	81.0%
経済的な理由のため	22	6.4%
相談できるかかりつけ医がいないため	18	5.3%
移動の手段が限られているため	11	3.2%
近くに専門の医療機関がないため	10	2.9%
通院の支援者がいなかったため	5	1.5%
その他	20	5.8%
無回答	14	4.1%
サンプル数	342	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	342	202	80	60	45	170	124	3
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受診する必要がなかったため	277	166	68	43	40	137	98	2
	81.0%	82.2%	85.0%	71.7%	88.9%	80.6%	79.0%	66.7%
経済的な理由のため	22	11	4	7	0	15	7	0
	6.4%	5.4%	5.0%	11.7%	0.0%	8.8%	5.6%	0.0%
相談できるかかりつけ医がいないため	18	8	7	3	4	10	4	0
	5.3%	4.0%	8.8%	5.0%	8.9%	5.9%	3.2%	0.0%
移動の手段が限られているため	11	5	2	4	1	7	3	0
	3.2%	2.5%	2.5%	6.7%	2.2%	4.1%	2.4%	0.0%
近くに専門の医療機関がないため	10	7	3	0	4	2	4	0
	2.9%	3.5%	3.8%	0.0%	8.9%	1.2%	3.2%	0.0%
通院の支援者がいなかったため	5	3	1	1	0	2	2	1
	1.5%	1.5%	1.3%	1.7%	0.0%	1.2%	1.6%	33.3%
その他	20	11	2	7	1	10	9	0
	5.8%	5.4%	2.5%	11.7%	2.2%	5.9%	7.3%	0.0%
無回答	14	11	1	2	0	5	8	1
	4.1%	5.4%	1.3%	3.3%	0.0%	2.9%	6.5%	33.3%

（６）医療機関受診についての困りごと（自由記述）

問．医療機関を受診するにあたって困りことなどあれば教えてください。

自由記述を内容で分類すると、「医療機関への移動手段について（移動にかかる費用の問題も含む）」が 59 件と最も多かった。

※内容別の件数

内　　容	件数（件）
①　医療機関への移動手段について（移動にかかる費用の問題も含む）	59
②　医療機関での意思疎通について	38
③　受診等にかかる時間について	29
④　受診及び待ち時間における障がいの特性による困りごと	27
⑤　障がいへの理解・配慮について	26
⑥　医療費負担について	24
⑦　医療についての情報入手について	18
⑧　診療方針が合わない、治療の成果がみられないことについて	13
⑨　自分に合った医療機関に行けないことについて	12
⑩　介助者・支援者について	12
⑪　その他	58

※各回答内容

①　医療機関への移動手段について（移動にかかる費用の問題も含む）（59 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	17 歳以下	受診中などで移送サービスを利用した時の待ち時間の調整が難しい
身体	18～64 歳	通院でバスで移動するがコロナで減便になり非常に利便性が悪い。昼間の国富・綾行きが２時間も空きが有り帰れない。便を一向に元に戻す気配も無ければ、情報も無い。
身体	18～64 歳	バス通院しているが、バスの数が少なく、不便。
身体	18～64 歳	通院手段が他者の運転に頼らなくてはならない薬局での簡単な手続きもしかりです
身体	18～64 歳	移動手段が車しかない。
身体	18～64 歳	病院に行くまでの交通手段に困る事がよくあります。体調が良くない時にバスを乗り換えたり、乗り換えの移動、待ち時間がとてもつらいです。タクシーを使うとかなりの金額になるので利用できません。
身体	18～64 歳	交通手段が不便
身体	65 歳以上	交通手段
身体	65 歳以上	医療機関を受診する際の交通費
身体	65 歳以上	移動手段
身体	65 歳以上	バスの便が少ないので、診察終了後の待ち時間が長い
身体	65 歳以上	移動手段
身体	65 歳以上	今は主人が運転して、世話してくれていますが、高齢ですから、今後を考えると心配です。
身体	65 歳以上	良い時間のバスが廃止されて不便だ
身体	65 歳以上	交通手段
身体	65 歳以上	移動手段
身体	65 歳以上	妻の介助なしには出かけられない
身体	65 歳以上	公共交通機関が不十分

身体	65 歳以上	移動手段がタクシーだけなので費用の負担が大き過ぎる。
身体	65 歳以上	通院するのに、移動手段がない。
身体	65 歳以上	移動手段と付き添い(仕事もあるので毎回の付き添いが困難)
身体	65 歳以上	今は自分で運転したり家族に送迎してもらったりしているが、運転が出来なくなった時の交通機関の利用に対して不安がある
身体	65 歳以上	交通手段　福祉タクシーが高額過ぎて簡単に利用出来ない
身体	65 歳以上	交通費の負担
身体	65 歳以上	移動手段
身体	65 歳以上	交通手段、自転車がそろそろきつい
身体	65 歳以上	タクシー代が、かかるのが辛いです。
身体	65 歳以上	車の運転免許を返納後の交通機関を利用しなくてはならない場合の交通費の負担額がどれ位いるか心配です。股関節が不自由で歩行が困難な為、移動手段としてタクシー等の利用になりますので。
身体	65 歳以上	病院が遠くなった事。制限運転実施に付き、体調不安と思った時タクシーを利用するため。路線バスでは受診時間に間に合わない。「Door To Door」の状態時は路線バスは無理ですね。
身体	65 歳以上	バスの乗り降りに足と腰が思うように力が入らないのでタクシーになります。市郡医師会は坂道で歩道を通りますのでタクシーになります。タクシー券がほしいです。
身体	65 歳以上	いつもお願いしている病院（近い）でも月１回の訪問診察はあるが、そのほかは連れてこい！！足がなく無理、タクシーののりおりも無理、救急車で来なさい、救急車にお願いするほどでもないと思いつつもお願いしたことがある。
身体	65 歳以上	透析以外の病院はタクシーを利用しているのでタクシー券が今以上出ると有難いです。
身体	65 歳以上	入所した当時は、施設の方から病院につれて行ってもらってたけれど、昨年あたりから家族の者がタクシーを頼んで連れて行かないといけない事になりお互い年をとってるので困ることが多くなった。
身体	65 歳以上	交通機関の便数を増やして欲しい。
身体	65 歳以上	いつもタクシーを利用していますが、病院代よりもタクシー代が高くつくことがあります。足が悪いため仕方有りませんが、今は一割引きですが半額位になると良いのですが、３級ではタクシー代はでないとのことですが、足が悪いから必要だと思います。
身体	65 歳以上	交通機関
身体	65 歳以上	交通手段（タクシーで、すべてお金がいります。）
身体	65 歳以上	薬局が少し遠くにあり、取りに行く事（持って来てくれる薬局もあります。特に雨がふっている時）
身体	65 歳以上	病院に行くのにタクシー代がかかること。障害手帳をみせると 10%割引にはなるけど、もう少し助成を望みたい。
身体	65 歳以上	医療機関受診のための交通手段
身体	65 歳以上	通院のためのタクシー券がたりない。
身体	65 歳以上	市郡医師会病院バス便悪し
知的	17 歳以下	受診の交通手段に関しては移送サービス事業所を利用し通院できるが、保護者も高齢化により受診場所での付き添いのヘルパーさんを利用できる制度が欲しい。
知的	18～64 歳	病気で免許が取れないため、移動手段が公共交通機関になり、それも一日に出ているのも 1 往復しかないので、診察予約を公共交通機関の時間に合わせなくては行けないこと。
精神	18～64 歳	移動手段に困る
精神	18～64 歳	病院までが遠く、車が運転できず、バスの移動で　運賃の負担が大きくまた時間がかかり大変です。
精神	18～64 歳	家と医療機関が近くなくて、交通費がかかり、通院するのが大変なこと
精神	18～64 歳	バスなどの交通手段が無いので雨天時には行けない
精神	18～64 歳	自転車だと雨の日が、きつい。
精神	18～64 歳	自転車で行く距離が遠いところとそうでないところがある。
精神	18～64 歳	移動手段
精神	18～64 歳	交通機関の充実

精神	18～64 歳	高次脳機能障害で免許がとれないのでタクシーは経済的に使えない。バスの乗り換えもできなくはないが不安
精神	18～64 歳	生活保護受給者なので車が無く、移動手段が徒歩しかない。
精神	18～64 歳	親が休みでないと病院に行く交通手段に困る
精神	18～64 歳	通院の交通手段（たとえば公共交通機関の運賃）
精神	18～64 歳	通院、買い物に際して交通費が負担だ。
精神	18～64 歳	お金がかかりそうで、行けない。
精神	65 歳以上	交通手段

②　医療機関での意思疎通について（38 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	17 歳以下	手話のできる看護師かいない！！
身体	18～64 歳	良く対応していただいている
身体	18～64 歳	プライバシーに関わるのであまり要約筆記や手話通訳者を使いたくない。(支援者に知人が多いので……)が、何度交渉しても Dr.が筆談に応じてくれない所がある。看護師も満足いくまで説明する事を放棄することが多い。(会話時間として 10 分もない。)家族が通訳する時は少しは話す。このケースの時は、どこに相談して良いのかもわからない。これから先も家族に頼らざるを得ないのか？筆談を嫌がる所は音声認識を使うのも嫌がる。筆談します。受付の所に置いてある病院は、県内でちゃんと適切に対応してるところがほぼ無い。Dr.によって差がありすぎる。県外在住した経験ある分、余計対応が冷たく感じる。
身体	18～64 歳	新しい医療機関を受診する際に、障害についての説明や服用している薬を全て 1 から説明しないといけないのが面倒。難しいとは思うが、マイナンバーカード等に電子カルテの情報を紐付けて、各医療機関で共有出来れば良いのに。と常々思います。
身体	18～64 歳	相談しても関わりあってくれない。面倒なのか、聞き流すから相談する気がない。
身体	18～64 歳	診察時の医師の言葉。わかりやすく説明して欲しい。
身体	18～64 歳	患者側の話を聞いて貰えない受付の方やスタッフの方、話しても渋々嫌々感を出される時がある。陰口を言われているような態度をされる。
身体	18～64 歳	マスク外して口見せてくれたり、分からないところは筆談してくれます。問題ないです。
身体	65 歳以上	名前等呼ばれても解りづらい
身体	65 歳以上	言語不自由の為意思表示が大変
身体	65 歳以上	先生の声が聴きとれない
身体	65 歳以上	医師の声がよく聞き取れないことが多い。
身体	65 歳以上	聴力障害者に対して医療機関はほとんど大きな声で対応する。筆談か同時発声ディスプレイ器を出来るようになるとありがたい。声の大小はあまり重度難聴者には関係ない。
身体	65 歳以上	薬による副作用があって医師に相談しても、この薬は体に良いものだからと何々聞き入れてもらえない。
身体	65 歳以上	通常は問題ないが、急病や事故のときが困る。連絡方法が大変である。
身体	65 歳以上	右耳が不自由なため呼ばれた時聞き取れない。（問診、先生方のお話の時は左耳を向けてお話して大きい声で話して下さっています。）
身体	65 歳以上	聞き取りにくい時がある。
身体	65 歳以上	電話の話が多すぎる
身体	65 歳以上	電話の話が長すぎる
知的	17 歳以下	症状の説明が難しい。
知的	17 歳以下	先生から質問されるとなんて答えたら良いか分からない
知的	17 歳以下	自分の体調を先生や看護師に伝えれない。
知的	17 歳以下	うまく説明できないので、1 人では行けません。
知的	17 歳以下	自分の状況を上手く伝えられない
知的	17 歳以下	本人は 6 歳だが、発達が未熟で言葉によるコミュニケーションができず、親が具合の悪さを十分に把握できず、説明がしにくいことがある。
知的	18～64 歳	1 人では、内容を伝えられない
知的	18～64 歳	体調の事を、自分では、うまく伝える事が出来ない。

知的	18～64 歳	見えない部分の訴えは本人の訴えはあるが、言葉がないため、処置が遅れがちになり手遅れとなることがある。
知的	18～64 歳	問診表に、ふりがなをつけてほしい。
知的	18～64 歳	うまく説明出来ない。
知的	18～64 歳	自分が悪い所をしっかりとつたえられない。
知的	65 歳以上	耳がきこえないとこまる
知的	65 歳以上	本人のいけんをきいてくれない
精神	18～64 歳	病院の受け付けの人が難しいことを言う
精神	18～64 歳	聞きたいことが言葉で上手く出てこない
精神	18～64 歳	直ぐに思い付かない
精神	18～64 歳	うまく症状について説明できない。先生の話も良くわからない。
精神	65 歳以上	医療機関によっては子ども扱いされる。思っている事をうまく伝えられないので困る時がある。なるべく Ns が話しかけてほしい。

③　受診等にかかる時間について（29 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	17 歳以下	待ち時間が長い
身体	18～64 歳	検査の時間が遅くなり夕方になると、運転して帰るのがこわくて不安です
身体	18～64 歳	大学病院など患者さんが多くて、予約の時間を２時間以上かかる
身体	18～64 歳	診察するまでの待ち時間がいつも大変だと思う。
身体	65 歳以上	良医の不足、受診者の増大による待ち時間の激増にウンザリ。予約時間が来ても、更に二.三時間待ちが通常。これが宮崎システムと諦めるしかない。
身体	65 歳以上	待つ時間が長く半日潰れること
身体	65 歳以上	不自由な体で診察が終わるまでの時間が苦痛。ソファーも椅子も身障者向けではなくキツイ。時間予約ができれば少しでも楽になる。
身体	65 歳以上	待ち時間が長い。
身体	65 歳以上	待ち時間が長い
知的	17 歳以下	医大での待ち時間が長く、場所も個室ではない為、一か所で静かに待つことが本当に難しい。気を紛らわせる為にその場をしばらく離れていたりして、戻るとさらに待ち時間が長くなったりする。子の特性を考えると、たくさんの人が行き来する、それだけで落ち着かなくなるので、待ち時間と待合室の場所どうにかならないかなと思う。
知的	17 歳以下	待ち時間が長いときに、どうやって間を持たせるか
知的	17 歳以下	待ち時間ぎ長くなるとじっとしていられなくなる
知的	17 歳以下	待ち時間が長すぎること
知的	17 歳以下	じっと出来ないから病院行くのも大変！待ち時間が長い病院は特に困るので、どの病院も車で待てる様に診察が近付いたら呼び出し診察はすぐ終わるのに待ち時間が長いので本当に疲れます！どうか改善よろしくお願いします！
知的	18～64 歳	待ち時間が長い。障害の特性を知らないので対応に苦慮させてしまう。
知的	18～64 歳	待ち時間が長いとじっとしていられなくなる。
知的	18～64 歳	待ち時間が長すぎると、イライラする。多動なので。
知的	18～64 歳	待ち時間が長い
知的	18～64 歳	診察迄の待ち時間が長いと腰椎胸椎の圧迫骨折の既往症があるため腰が痛く大変。
知的	18～64 歳	県病院を２ヶ月に１回受診していますが、予約をしていても待ち時間が非常に長く、半日が潰れてしまう。
知的	18～64 歳	大学病院の会計が長い。専門の先生がいない
知的	18～64 歳	待ち時間が長い
精神	18～64 歳	待ち時間が長い。
精神	18～64 歳	予約しても待つ時間があるときつい
精神	18～64 歳	待ち時間が疲れる。予約をさせてくれない。色んな病気が発生してるが、色んな病院に行くのが疲れるし、怖い
精神	18～64 歳	待つ時間が長い
精神	18～64 歳	待ち時間が長い

精神	18～64 歳	私の通院する病院は、環境もよく先生も素晴らしいお方です。これまでに一度も私を不安な気持ちにさせる言葉などありません。一つだけ問題があり、それは患者さんが多く待ち時間が２時間程度ある場合がほとんどです。待ち時間を除けば素晴らしい医療体制だと思います。
精神	65 歳以上	時間がかかる

④　受診及び待ち時間における障がいの特性にによる困りごと（27 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	車椅子なので、何処の病院もベッド、診察台なのが、高く、レントゲンとかも、立って下さいとか言われ困る事が常にあります。
身体	18～64 歳	医療機関がバリアフリーではないところ
身体	18～64 歳	今までの成人病などの健康診断受診の健診センターでのバリウム飲んでのカメラ撮影時に、片腕で支えられるのに限界があったので、固定器具などの整備して、欲しいと思いました。宮崎ではどうなんでしょうか？障害者が気にせずどの医療機関でも健康診断受診が充実してるのでしょうか。
身体	18～64 歳	ガイドヘルパーさんがいるので、今のところ大丈夫です。
身体	18～64 歳	声など、人の視線など
身体	18～64 歳	待合室の時間が長い椅子が少ないゆっくりできない
身体	18～64 歳	車イスで受診するのに、待合室や通路が狭い
身体	18～64 歳	ずっと座れないがいつも大変だと思う。
身体	65 歳以上	トイレが狭い
身体	65 歳以上	車椅子で長く座ることが難しいから、待ち時間が長いと、つらい。待ち時間が、一番きつい。病院によっては、バリアフリーになってなくて、入口の段差も、トイレにも行くのも、難しい。
知的	17 歳以下	障がいトイレを増やして欲しい。広さがほしい。
知的	17 歳以下	落ち着きがなく、本人が病院に行くにあたり、不安になってしまう。そのことで周りに迷惑をかけているんではないかと思う。
知的	17 歳以下	周囲の雑音に耐えられないです。
知的	17 歳以下	待合室で子供が騒がないか常にヒヤヒヤしてます。いつも多い皮膚科などは連れて行きたいけれど諦めて受診してません。
知的	17 歳以下	歯医者さんの検診などで、じっとしていられないことも…
知的	17 歳以下	子供の障害や特性による問題行動(多動・奇声・独り言・癇癪)。
知的	17 歳以下	待合室でじっと待てない
知的	17 歳以下	じっと出来ないから病院行くのも大変！待ち時間が長い病院は特に困るので、どの病院も車で待てる様に診察が近付いたら呼び出し音がなる機械を取り入れるなどしてほしい！障害のある子にとってどこも行きやすい病院にしてほしい！ 診察はすぐ終わるのに待ち時間が長いので本当に疲れます！どうか改善よろしくお願いします！
知的	18～64 歳	マスクができないので、そういう人の為の待合室が欲しい
知的	18～64 歳	問診票や機械の操作等、知的障がいがある者に対して、分かりづらい文面や操作の仕方があり、どうしても家族の誰かと同行しないと受診出来ない現状がある。家族が健康で高齢じゃない時は良いが、親もいつまでも健康で若い訳じゃないので、障がいの有無に関わらず誰が見ても分かりやすい問診や機械操作、受付の対応、医者の対応を統一すべきだと思う。障がい者に自立を……というならば、社会全体で障がい者も健常者もどちらにも理解出来る様なシステムを作る事が望ましいのではないか。
知的	18～64 歳	初めての医療機関では、落ちつかず騒いでしまう。
知的	18～64 歳	息子は感覚過敏がありマスクをつける事が出来ないので病院側にマスクを強制されるのがとっても困る。待合室でもじっと静かに待つ事ができないので皆さんの迷惑になるので駐車場の車の中でゲームなどをしながら待たせている。順番がきたら付き添い人の携帯に電話してくれる病院もあるがしてくれない病院もあって障害のある子を車に１人乗せ待たせ付き添い人は待合室で順番を待たないといけない時ただでさえ障害のある子が急に何をするかわからない、１人で車から出て母親の所に来ようとして車の事故などにあわないかととても心配しながら待合室と駐車場と行ったり来たりしないといけないのが困る。

知的	65 歳以上	かかりつけの病院は大きくて良い病院ですが、本人と意思疎通が全くできず、障害が重いので、入院が必要な時とか、ベッドや看護体制とか、お医者さんとか、手が届かない所があり、家族としては不安なところがあります。
精神	17 歳以下	はじめての所が怖い
精神	18～64 歳	歯医者に、かかりたいが、長く通わなくてはいけないと思うのと、目隠しされるのが、苦手
精神	18～64 歳	窓口などの対面での受付で他の人の視線に重圧を感じてしまう特性なので、パーテーションなどが欲しい。
精神	65 歳以上	他の患者と待合室で同席出来ない、受付後少人数、出来れば個室の待合室が欲しい

⑤　障がいへの理解・配慮について（26 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	あまり周知されていない疾患をもち、そのために身体に除細動器を植え込んでいるため、自分の疾患以外の病院へ行くときや、こどもが具合が悪いときに付き添って病院へ行くなどに、身体に除細動器が入っている旨を説明して配慮を求めなければならない場合があることに困っている。
身体	18～64 歳	病院側の対応に、馴れ馴れしさを感じさせる発言があり、障害に対する偏見を感じた。
身体	18～64 歳	障害者とわかっていても、薬を健常者の量でいつも出されるので、いちいち調べなければならない
身体	65 歳以上	障害の治療に関して、県外の病院で手術を受けたいと望む場合、県内の医療機関では連携をお願いしにくい雰囲気がある。幸いにも、転院した先のドクターの理解があり、連携が実現して術後のフォローもして頂いており感謝している。ドクターによっては、県外で手術した場合、術後のフォローが得にくい状況になると言われた事もある。
身体	65 歳以上	毎回、お薬手帳を要求される事。私は、ＨＩＶなので歯医者や皮膚科で飲んでいる薬を知られたくない。
身体	65 歳以上	現在かかっている医療機関のドクターが親切丁寧で非常に安心しています。
身体	65 歳以上	障害に理解がある先生、看護師が少ない(専門外なのでと言われる)
身体	65 歳以上	今のところ、人の手をかりなくてもいいので助かっています。普通の人並みにはいかないですが、この先年をとっていくとどうなるのか不安です。薬がなくなることがいちばんこわいです。見た目は障がい者とは見えないです。
身体	65 歳以上	内科関係で耳が聞こえないことについて、十分理解していない医師が多い。
知的	17 歳以下	健常者の行く病院は、ジロジロ見られるので、なるべく行きたくない。受診した病院の先生もよくわからない感じがした。障害者の歯医者はあるけど、内科などの障害者専門医があると相談しやすい。
知的	17 歳以下	重度の自閉症で順番が待てないし、検査してもらいたくても、じっとして居られない為、なかなか検査をしてもらえない。病院などに受診した際になかなか診察をさせてくれない為に医者から嫌な事、態度をとられ嫌な思いをする事が多いです。環境に適応出来ない（自閉症など）障がい者も適切な治療や検査、受診が出来るような医療機関があれば助かります。
知的	17 歳以下	じっとしている事が難しいので大変です。見た目が普通なので親が注意しているのに怒られたりします。話をして注意しないと分からないんですと言っても見た目が普通やからとか障がい者には見えんけどとか言われます。もう少し周りの理解がないと受診が難しいです。
知的	17 歳以下	医師や看護師の知的障がい者への理解不足
知的	17 歳以下	見た目が普通なので、障害を持っているのがわからないので、病院で普通に話しかけられ本人は自閉症で相手の言葉の意味が理解しにくいので、黙っていると、相手が変な感じに思ってしまう。
知的	17 歳以下	子どもが落ち着きがないので、他のお母さんや子どもが嫌な気分になってないか気になる。

知的	17 歳以下	周りの診察に来られている方の理解。同じ待合室で待つので声を出したり動き回ったり奇声を発する事で驚かれたりする。待つことも苦手な子は周囲の理解がないと大変です。また、もし病気で入院とかになれば部屋はどうしたら良いのか付添いはどうしたら良いのか色んな意味で不安です。
知的	17 歳以下	病院が苦手です。他人に触られたり、何をされるのかが不安など。今は理解のある小児科で、協力してもらい、手順書などイラストをみせて、なんとか受診出来ているが、成人して一般の病院でみてもらえるか、理解・協力してもらえるか、が不安です。
知的	18～64 歳	医療機関や公的機関でよく目にするが、いまだに障がい者に対しての差別、偏見が無くならない事に憤りを覚える。一体いつになったら同じ人間だという認識を世の中全体が認める世界になるのか。自分の子供が、家族が、知り合いが差別や偏見にあったら…という事を念頭においてこれからの協議にあたって欲しいと思う。
精神	18～64 歳	殆どの病院が全てを精神的な事からきてると言い隅々まで検査してもらえないことが多い。今、通院してる医院（かかりつけの精神病院以外）は異常なしとは言わないし色々と薬を変えながらなど原因を探ってはくれてるが殆どの病院（医師）は精神疾患があるだけで、ただ会話をして検査もせずにストレスですね鬱ですねで片付ける。痛みが辛くて、息苦しさが辛くて原因を知りたくて行ったのにお金の無駄なだけだった。
精神	18～64 歳	受付の人が理解がなく、傷つけられることが多い。申請なども満足にできない人だったので自力で調べて申請した
精神	18～64 歳	生活保護の為、病院や先生によって偏見のある対応を受ける時がある。
精神	18～64 歳	精神科以外の医師や看護師などの障害への理解が進んでいないため心無いことを言われることが多い。専門外の医師や看護師などの精神科処方薬や病気の知識が足りず薬の飲み合わせなどが良くないことがある
精神	18～64 歳	親身になって障がい者に寄り添うシステムや相談しやすい環境などのサービスを整えて欲しい。
精神	18～64 歳	医師によっては、精神疾患に理解を示さない方が少なからずいる。
精神	18～64 歳	病院は、なれているのでいいのですが、新しいスタッフや他の人と会うのがつらい。聞こえないので時々誤解される。
精神	18～64 歳	精神科の先生のところは良くしてくださいます。内科で看護師に理解のない事を言われ、つらくていけなくなっています。宮崎市の病院に発達障害の発達凸凹に対する理解が誤解されていて、悲しいです。

⑥　医療費負担について（24 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	診察代や薬代が高いので金銭的に負担を感じます。
身体	18～64 歳	障害者年金しか無い為、生活費の中で医療費のお金が掛かる。
身体	18～64 歳	医療費が年間、15 万円以上かかっているので、少し負担に感じています。
身体	18～64 歳	最近は医療費が高い
身体	18～64 歳	受診料金や薬代が高額
身体	65 歳以上	医療費が高い
身体	65 歳以上	医療費、必要な装具等の負担が大きい。
身体	65 歳以上	医療費が高い、年と共に受診する医療機関も増えてくると、どうしても医療費がかかる。
身体	65 歳以上	複数の医療機関にかかっており経済的に負担が大きい。
身体	65 歳以上	リュウマチの治療のため、２ヶ月に１回、血液検査、お薬を、もらって、いるのですが、代金がかかるので、困る時があります。コロナで仕事が減り、また、火傷して、仕事ができない期間がありました。
身体	65 歳以上	お金がない
知的	18～64 歳	経済的なお金がない
精神	18～64 歳	医療費が負担になる
精神	18～64 歳	精神障害の受診は医療費補助があり１割負担で済んでいますが、その他の病院代…今は歯科福祉センターに通っているがその治療費がバカにならない。通院する毎に申請すれば補助が受けられるものなのか、それが分からないし面倒。

精神	18～64 歳	医療費の自己負担
精神	18～64 歳	１箇所しか治療費が１割にしか出来なく、主に精神科ですが他の治療が３割で悪くても高く治せない。
精神	18～64 歳	金銭的、時間的余裕がなく受けられていない
精神	18～64 歳	医療費が高い
精神	18～64 歳	収入は低く、保険料は安いけど、病院は３割負担、１割負担なら助かる。
精神	18～64 歳	収入に比べて医療費が高いので通院しづらい。
精神	18～64 歳	精神障害だけ限度額があるのは、何ヵ所も病院にかよう者にとっては、３割は負担が大きい
精神	18～64 歳	病院代
精神	18～64 歳	指定医以外の医療費が高くつくこと。
精神	18～64 歳	受診料や薬代がたかい

⑦　医療についての情報入手について（18 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	医療機関を選定する際、専門医でなくても、自身の障害を多少なりとも理解できる医師や医療機関であるのかが知りようがない。
身体	18～64 歳	以前は、毎月 15000 円程医療費、薬代がかかっていたが知り合いから偶然、ある制度を知り申請したところ毎月 3000 円程になった、偶然知ったからそうなったが、それまで薬局や医院も教えてくれなかった、こういう体制もどうかと思います。
身体	18～64 歳	医療費に関する相談ごとに対し、医療機関の職員に知識認識が低すぎる。
身体	18～64 歳	どこに行けばいいか分からない
身体	65 歳以上	情報が分からない時があります
身体	65 歳以上	特にない。医療情報等提供をよくしていただいている。良く対応していただいている。
身体	65 歳以上	体調が急変した時、（救急車を呼ぶ以外に）どこに相談・電話したらよいか不安である。
知的	17 歳以下	一人で行くことはないが、もし、受け付けから支払いまでのマニュアルがあったら助かるかも。待合室は、仕切りがあったり、あまり、他人と合わないようにできたら受診できるかも
知的	17 歳以下	診療を受ける状態が無い為、何かあった時窓口がわからない不安。
知的	17 歳以下	県外に受診する時や、入院したとき、親が頼れなくなったら、どうしたらいいのかわからない。
知的	17 歳以下	体調面をはっきり言えない子に対しての健康観察、健康管理をどこに相談したらいいか分からない。
知的	17 歳以下	大きくなってからのかかりつけ医をどこにすれば良いか
知的	17 歳以下	受診したいと思っても何処に連絡すれば良いか分かりにくい。
知的	17 歳以下	薬しか出さない西洋医学以外の生活習慣などから、しっかりアドバイスやサポートをしてくれる医療の情報が少ない。漢方や東洋医学、ホメオパシーやオステオパシーなど、その場しのぎの医療ではない分野の情報や信頼できる医療機関がほしい！
知的	18～64 歳	障害者用のくわしい医療機関の一覧表があれば良いと思います。
精神	18～64 歳	かかりつけの精神科でＡＰＤについて相談しましたが、解決しませんでした。どこに行けば診てもらえるのかそういう情報も欲しいです。
精神	18～64 歳	夜間に死にたくなった時に対応してくれる心療内科が欲しい。
精神	18～64 歳	障害者手帳を提示すると統合失調症に合わせた歯科治療を受けることがあると知らなかった。

⑧　診療方針が合わない、治療の成果がみられないことについて（13 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	手術を受けた後リハビリ受けていたのですが動かない所だけリハビリされるので他（筋肉、骨）もリハビリしてほしい。
知的	18～64 歳	糖尿病の数値がギリギリのラインで、食事、運動に気を付けているけど、改善しない
知的	18～64 歳	かかりつけ医がどこか具合が悪いとすぐに入院させようとしてくる

精神	18～64 歳	薬が合わない時がある。
精神	18～64 歳	薬の上限で、症状が抑えきれないので、服用できる薬の量や種類を増やして欲しい。
精神	18～64 歳	不安時の就労相談支援や病院側が、勤務先との連携形式したものはありますが実際に支援につながっていない
精神	18～64 歳	いつも体調が悪い事に気づいてもらえない
精神	18～64 歳	病院の人たちの流れ作業早口で説明されて内容が分からない
精神	18～64 歳	精神障害ということで、胃腸不良や他の痛みで病院を受診しても、偏見で診察されたことがある。
精神	18～64 歳	月１回の受診で薬が毎月のように余ってしまう。薬代の無駄です。
精神	18～64 歳	自分は 20 年以上標準体重より 30 ㎏以上肥満のままだが、どの病院もリハビリも何の指導もしてくれず、「あなたは精神の病気があるから」と言って、門前払いであること。精神科の方でも、日常的には何もしてくれない。30 年間そのままである。
精神	18～64 歳	話を聞かずに薬だけ出すのは困る
精神	18～64 歳	以前利用指定された別のかかりつけ医院で、先生に相談事をしたら、「お薬はいくらでも出す」と言われて、信頼できずに困ってしまいました。

⑨　自分に合った医療機関に行けないことについて（12 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	病院にいきづらくなった
身体	18～64 歳	転勤で通えなくなる可能性があるので心配です。夜間透析は空きがないことが多いから。
身体	65 歳以上	人それぞれ気の合う親身になって話せる医者に会うまでは病院の梯子は無くならないと思う。口コミも当てにならないし。ネットで調べて知識も増えるしその時の定めかなと思う。
知的	17 歳以下	今は小さい頃から行きつけの小児科を受診しています。高校を卒業したら、また新しい行きつけの病院を探さないといけないのが、一苦労です。
知的	18～64 歳	受診したくても人が多いとなかなか行きづらい。受付の名前を書くのが苦手。
知的	18～64 歳	家の近所の病院は、バリアフリーではない所が多くて行けないため、離れた総合病院へ行かなくてはならない。
精神	18～64 歳	自立支援医療を受けている為、他の病院へかかり辛い。
精神	18～64 歳	クリニックを指定される事
精神	18～64 歳	行ける場所が限られてる事
精神	18～64 歳	県病院が合わなくて福岡の病院をかかりつけにしたのに、気持ちが病んで薬を大量摂取した時にすぐに精神科の先生を呼ばれた。てんかんで生きにくくなり自ら県病院の精神科に行ったが相手にされず精神科は信じないことにした。だから自力で頑張る。心病んでも自力でどうにかしようと思っている。
精神	18～64 歳	てんかんに詳しい精神科医師が宮崎にいない。
精神	18～64 歳	難治性うつ病、社交不安障害の治療、身体症状症の情報や専門医の医師、スタッフが宮崎ではない。精神科の磁気刺激療法ない。

⑩　介助者・支援者について（12 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	付き添いのために家族が仕事を休まないといけない。
身体	65 歳以上	受診する時は娘に頼む
身体	65 歳以上	娘の支援を受けているので特に困りごとはない
知的	17 歳以下	一人ではいけない
知的	17 歳以下	家族（保護者）が一緒なので今は困っていないが、将来ひとりで受診することになると不安である
知的	17 歳以下	介助が必要
知的	18～64 歳	今のところ健康なので問題はない。ただ、１人での受診は無理。
知的	18～64 歳	必ず家族の付き添いが必要な事、個別対応に適していない公的機関が多い。障がい特性を理解してもらえない。
知的	18～64 歳	親が連れて行く以外、手段がない。

知的	18～64 歳	・家族がいないと何もできない、分からない。 ・書く事や出す事など
精神	18～64 歳	自分ひとりでは受診に行けない
精神	18～64 歳	予約の病院が増えて診察当日行けるのか起きれるのか急なキャンセルは迷惑をかける支援者が付き添える日と合わないなど

⑪　その他（58 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	17 歳以下	県外の為、コロナ等で２年前から行けてない。
身体	18～64 歳	コロナのせいで待ち時間が長いです別の窓口を設置してほしい。
身体	65 歳以上	定期のお薬もらいしか、病院は行かない。風邪とかは、コロナとかあるので、薬局で薬を買って飲みひたすら、ねる。どうしていいかわからない。
身体	65 歳以上	白内障の手術を希望していたのですが、コロナウイルス感染の関係で先送りされている。
身体	65 歳以上	コロナ禍 感染が心配で検査を受けそびれている
精神	18～64 歳	今はコロナが心配で病院に行くのも躊躇します。
精神	18～64 歳	コロナ対策
精神	18～64 歳	家族が毎週仕事で県外から帰って来るときかれたら正直に答えたら、コロナを恐がって、「うちではお断りします」と言って、インフルエンザの予防接種をしてくれない所があった。コロナでは仕方がないのだが、ではコロナにかかってもいないのに、私は一体どこでインフルエンザの予防接種をしてもらえばいいのか？差別されているような気持になり、とても悲しくて悔しい思いをしている。
身体	17 歳以下	駐車場に屋根をつけてほしい。駐車場は、車椅子マークがあるけどとめられないときもある。駐車場警備員から「入口付近で先に降ろしてください。」または「降ろしていいですよ」と、言われるが、降ろした後、車を別のところに駐車するまで一人で待てないし、預かってくれる人もいないから難しい。オムツをかえるスペースがない。または、体重がオーバーしていて使えない。
身体	18～64 歳	駐車場が不便
身体	18～64 歳	駐車場が狭い
身体	18～64 歳	障害者用の駐車場が少ない
身体	65 歳以上	車椅子駐車場を増やしてほしい
身体	65 歳以上	駐車場
身体	65 歳以上	駐車場が一般車の一番前に作ってあるけど、受付までは遠い。
知的	17 歳以下	駐車場がない
身体	17 歳以下	かかりつけ医院が休診の時など他の病院では重複障がいのため検査等を断られる事がある。
身体	18～64 歳	歯医者さんと総合病院通院してますけど、整形外科でリハビリしたいんですけど、余り病院通院はダメなんですよね?言われた事ありましたから。
身体	18～64 歳	盲導犬同伴での受診を断られることがあります。さらに「必ず誰かと一緒に来なさい」と言われることも。誰かと一緒に行った場合は、なぜか私の身体のことなのに、同伴者とばかり話をする医療スタッフが結構な頻度でいるます。視覚障がい者は話が理解できないと思われているのか、とてもストレスを感じます。
身体	18～64 歳	肢体不自由児です。がん検診が出来る病院を教えてください。年に一回、市社協で健康診断を受けるけど、「障がい者」だから出来ないじゃなく、ちゃんと「障がい者」が受けられる病院へ行きたいです。
身体	65 歳以上	医療機関でのリハビリが出来ない、介護優先と言われる。
身体	65 歳以上	退院してデイサービスに通ったがそこが終了すると、継続してリハビリを受ける施設がないので大変困った！整形外科に通っても リハビリすら受けられない。リハビリ難民？だった。入院していた病院で 継続してリハビリは受けることはできないだろうか？とても悩みました。
精神	18～64 歳	発達障害や鬱病や老人が主で統合失調症を見る病院をおわれる
身体	18～64 歳	生活保護世帯の場合宮崎ではその都度受給券が必要だが福岡等その必要はなく手続きが面倒な時がある。

身体	18～64 歳	通院の行き帰りが体力面で厳しい時があるので、診察のみの場合オンラインで受診できたら、ありがたいです。
身体	18～64 歳	指定された県立病院が平日の昼間しか受診出来ないので絶対仕事を休まないと行けない
身体	18～64 歳	平日しか受診できないこと。私は HIV キャリアで障害を職場に告知していない。今の日本(職場)ではカミングアウトすることに抵抗がある。今の職場は暦通りの勤務のため、平日に休みをとることが不自然に思われないか不安。
身体	65 歳以上	初診が煩わしいく面倒
精神	18～64 歳	土日に空いていないため、仕事を休まないといけない。給与が減ってしまう。
精神	18～64 歳	完全予約制なので自分の都合の良い日時・時間で診察に行けない。
身体	18～64 歳	遠い
身体	65 歳以上	病院が家から、遠い
身体	65 歳以上	病院が遠い
身体	65 歳以上	市郡医師会病院遠すぎ
身体	65 歳以上	市郡医師会病院が遠くなった事（狭心症１～２年に１回診察）。
身体	65 歳以上	遠い事
精神	65 歳以上	病院が遠い。運転に不安があるが車でないと公共の交通機関がない
身体	65 歳以上	手術の失敗（左耳県病院にて 50 年前ですが）で聞こえません。右の方も穴が開いている。宮崎医大は耳鼻科は有名と聞いているが、半分こわいし、半分行ってみたいし…もうこの年ですし。
知的	17 歳以下	病院を怖がり泣く
精神	18～64 歳	注射が苦手なため、予防接種やワクチン接種ができない。
身体	18～64 歳	他の病院などを受診した時に、病歴や薬の種類などは、データ化して欲しいです。障害者手帳もカードにして欲しい。
精神	18～64 歳	オンライン診療ができると助かります。病院もデジタル化を進めていただけるとありがたいです。紙で発行するものを少なくするなど。
身体	65 歳以上	眼科、内科、泌尿器科、心療内科、歯科と、複数の病院を受診しなければならない
知的	17 歳以下	知的障害者等が一箇所で色々な診療科を受診できる機関が有れば物凄く助かります。知的障害者を持つ親としては。
知的	18～64 歳	１人で外出が困難なため、保護者が支援し無ければならない。利用出来るサービスがあると助かります。保護者も高齢化しているのてす！
知的	18～64 歳	身体的なリハビリの受診へのサポートが欲しいです。
身体	18～64 歳	受診前にトイレに行くのですが、タイミングがなかなか難しい。
身体	65 歳以上	何十年も特に変化なく受診しており、この様なものだと自覚しています。困り事は特にございません。
身体	65 歳以上	現在は施設に入所しているので困っていることはありません。
身体	65 歳以上	満足している
身体	65 歳以上	前立がん糖尿病、呼吸器、肺、胃等～10 年前から通院中。いつ完治するのか分からない。聞いても分からない。
知的	17 歳以下	特に不便を感じたことはありません。良くしていただいてると思います（母）
精神	18～64 歳	早稲田クリニックにはベテラン ot が居るため
精神	18～64 歳	病院の雰囲気が苦手で通院がストレス
精神	18～64 歳	転職した際、有給付与されてないので休んで受診する。有給がないので欠勤扱い。少ない給与がさらに少なくなる
精神	18～64 歳	困りごとではないですが、現在センナを１日２袋飲んでいます。それから 40 歳のとき胆のうの手術をしたので悪寒がするので、かぜ薬を飲んでいます。
精神	65 歳以上	施設対応
精神	65 歳以上	心療内科でカウンセリングを受け、訪問看護に来てもらいお薬を出してもらってるので、夜１人になった時眠れない時が怖い時がある。

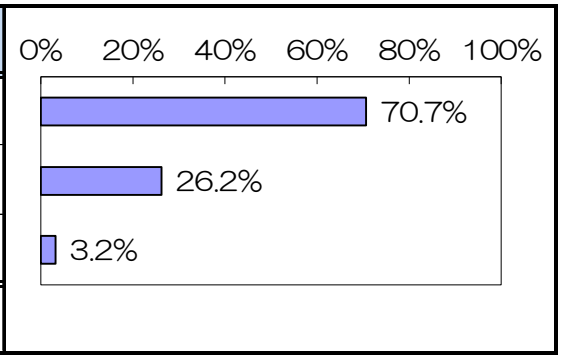
８．災害時の対応について

（１）災害等緊急時についての不安の有無

問．災害等緊急時について、不安がありますか。（○はひとつだけ）

「ある」が 70.7%、「ない」が 26.2%となっている。
年齢区分別でみると、17 歳以下の「ある」割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
ある	875	70.7%
ない	324	26.2%
無回答	39	3.2%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	875	526	190	159	128	436	299	12
	70.7%	69.4%	80.2%	65.4%	86.5%	73.3%	63.2%	54.5%
ない	324	206	41	77	18	149	150	7
	26.2%	27.2%	17.3%	31.7%	12.2%	25.0%	31.7%	31.8%
無回答	39	26	6	7	2	10	24	3
	3.2%	3.4%	2.5%	2.9%	1.4%	1.7%	5.1%	13.6%

（２）災害時に困ること

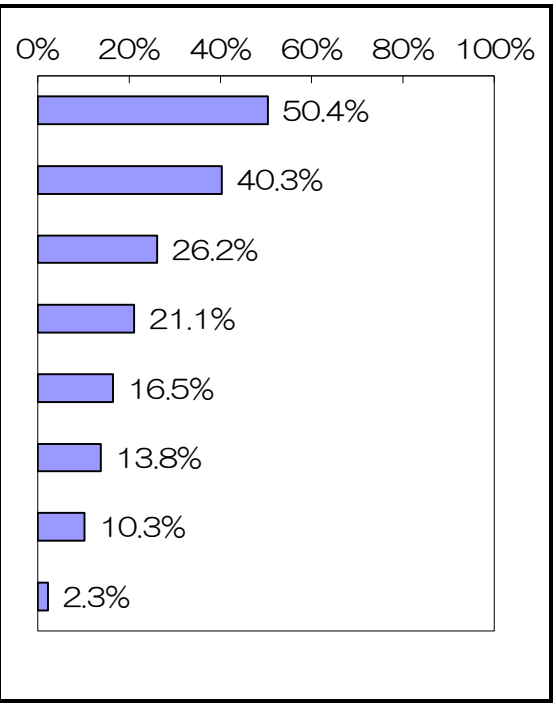
問.（災害緊急時についての不安の有無について、不安が「ある」と答えた人のみ回答）災害時に困ることは何ですか。（○は３つまで）

「避難に時間がかかる」が 50.4%と最も高く、次いで、「投薬や治療が受けられない」の 40.3%、「どこに避難すれば良いか分からない」の 26.2%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「情報が入手できない」「救助を求めることができない」、精神障がい者の「投薬や治療が受けられない」割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「救助を求めることができない」、65 歳以上の「避難に時間がかかる」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
避難に時間がかかる	441	50.4%
投薬や治療が受けられない	353	40.3%
どこに避難すれば良いか分からない	229	26.2%
情報が入手できない	185	21.1%
救助を求めることができない	144	16.5%
医療機器などの使用が困難	121	13.8%
その他	90	10.3%
無回答	20	2.3%
サンプル数	875	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	875	526	190	159	128	436	299	12
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
避難に時間がかかる	441	313	92	36	66	182	186	7
	50.4%	59.5%	48.4%	22.6%	51.6%	41.7%	62.2%	58.3%
投薬や治療が受けられない	353	206	53	94	30	202	120	1
	40.3%	39.2%	27.9%	59.1%	23.4%	46.3%	40.1%	8.3%
どこに避難すれば良いか分からない	229	111	64	54	35	120	70	4
	26.2%	21.1%	33.7%	34.0%	27.3%	27.5%	23.4%	33.3%
情報が入手できない	185	84	64	37	32	96	57	0
	21.1%	16.0%	33.7%	23.3%	25.0%	22.0%	19.1%	0.0%
救助を求めることができない	144	55	70	19	46	68	29	1
	16.5%	10.5%	36.8%	11.9%	35.9%	15.6%	9.7%	8.3%
医療機器などの使用が困難	121	92	18	11	12	56	51	2
	13.8%	17.5%	9.5%	6.9%	9.4%	12.8%	17.1%	16.7%
その他	90	45	25	20	19	47	24	0
	10.3%	8.6%	13.2%	12.6%	14.8%	10.8%	8.0%	0.0%
無回答	20	11	4	5	2	10	7	1
	2.3%	2.1%	2.1%	3.1%	1.6%	2.3%	2.3%	8.3%

（３）避難所での生活の不安

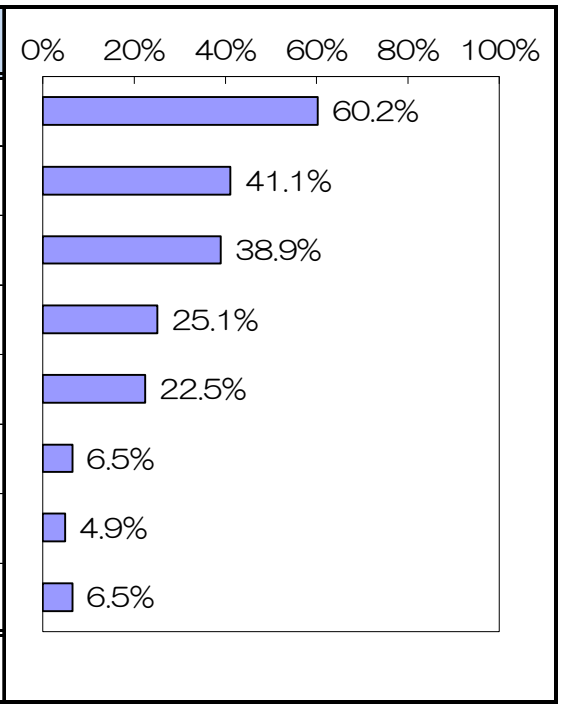
問．避難所で生活を送るうえで、不安に思うことは何ですか。（○は３つまで）

「トイレ等の設備や生活環境が不安」が 60.2%と最も高く、次いで、「医療食や薬が手に入るか」の 41.1%、「他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか」の 38.9%の順となっている。

障がい種別でみると、身体障がい者は「トイレ等の設備や生活環境が不安」、知的障がい者は「他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか」、精神障がい者は「医療食や薬が手に入るか」の割合が高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか」「周囲とコミュニケーションがとれない」、65 歳以上の「椅子やベッドなどの設備が整っているか」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
トイレ等の設備や生活環境が不安	745	60.2%
医療食や薬が手に入るか	509	41.1%
他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか	482	38.9%
椅子やベッドなどの設備が整っているか	311	25.1%
周囲とコミュニケーションがとれない	278	22.5%
医療機器の充電や管理ができるか	80	6.5%
その他	61	4.9%
無回答	80	6.5%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレ等の設備や生活環境が不安	745	490	147	108	88	333	313	11
	60.2%	64.6%	62.0%	44.4%	59.5%	56.0%	66.2%	50.0%
医療食や薬が手に入るか	509	306	67	136	35	266	203	5
	41.1%	40.4%	28.3%	56.0%	23.6%	44.7%	42.9%	22.7%
他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか	482	220	152	110	108	264	105	5
	38.9%	29.0%	64.1%	45.3%	73.0%	44.4%	22.2%	22.7%
椅子やベッドなどの設備が整っているか	311	254	32	25	17	109	180	5
	25.1%	33.5%	13.5%	10.3%	11.5%	18.3%	38.1%	22.7%
周囲とコミュニケーションがとれない	278	83	115	80	67	156	51	4
	22.5%	10.9%	48.5%	32.9%	45.3%	26.2%	10.8%	18.2%
医療機器の充電や管理ができるか	80	58	11	11	11	34	33	2
	6.5%	7.7%	4.6%	4.5%	7.4%	5.7%	7.0%	9.1%
その他	61	37	6	18	3	35	23	0
	4.9%	4.9%	2.5%	7.4%	2.0%	5.9%	4.9%	0.0%
無回答	80	59	10	11	5	25	44	6
	6.5%	7.8%	4.2%	4.5%	3.4%	4.2%	9.3%	27.3%

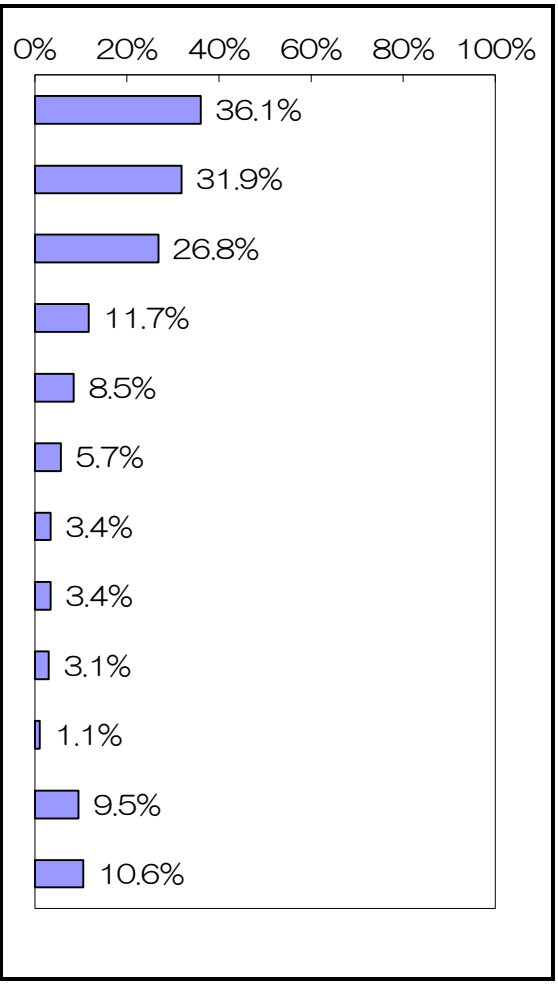
（４）防災についての取組

問．普段、防災についてどのように取り組んでいますか。（○は３つまで）

「避難場所を事前に調べている」が 36.1％と最も高く、次いで、「必要な食料や薬などの備蓄」の 31.9％、「避難場所を事前に家族と決めている」の 26.8％の順となっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「避難場所を事前に家族と決めている」割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
避難場所を事前に調べている	447	36.1%
必要な食料や薬などの備蓄	395	31.9%
避難場所を事前に家族と決めている	332	26.8%
一緒に避難（誘導）してくれる人を確認している	145	11.7%
防災訓練などへ参加している	105	8.5%
避難場所を事前に見に行っている	71	5.7%
緊急通報装置の設置	42	3.4%
宮崎市防災ラジオの購入	42	3.4%
事前の登録（電話・FAX災害情報発信サービス）	38	3.1%
事前の登録（Net119）	14	1.1%
その他	118	9.5%
無回答	131	10.6%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
避難場所を事前に調べている	447	300	75	72	50	207	179	11
	36.1%	39.6%	31.6%	29.6%	33.8%	34.8%	37.8%	50.0%
必要な食料や薬などの備蓄	395	258	72	65	50	201	139	5
	31.9%	34.0%	30.4%	26.7%	33.8%	33.8%	29.4%	22.7%
避難場所を事前に家族と決めている	332	195	85	52	55	165	105	7
	26.8%	25.7%	35.9%	21.4%	37.2%	27.7%	22.2%	31.8%
一緒に避難（誘導）してくれる人を確認している	145	89	38	18	20	57	65	3
	11.7%	11.7%	16.0%	7.4%	13.5%	9.6%	13.7%	13.6%
防災訓練などへ参加している	105	59	36	10	22	48	32	3
	8.5%	7.8%	15.2%	4.1%	14.9%	8.1%	6.8%	13.6%
避難場所を事前に見に行っている	71	46	11	14	6	30	33	2
	5.7%	6.1%	4.6%	5.8%	4.1%	5.0%	7.0%	9.1%
緊急通報装置の設置	42	23	10	9	4	25	13	0
	3.4%	3.0%	4.2%	3.7%	2.7%	4.2%	2.7%	0.0%
宮崎市防災ラジオの購入	42	24	11	7	2	20	20	0
	3.4%	3.2%	4.6%	2.9%	1.4%	3.4%	4.2%	0.0%
事前の登録（電話・FAX災害情報発信サービス）	38	27	8	3	2	21	15	0
	3.1%	3.6%	3.4%	1.2%	1.4%	3.5%	3.2%	0.0%
事前の登録（Net119）	14	7	2	5	2	10	2	0
	1.1%	0.9%	0.8%	2.1%	1.4%	1.7%	0.4%	0.0%
その他	118	65	10	43	5	60	52	1
	9.5%	8.6%	4.2%	17.7%	3.4%	10.1%	11.0%	4.5%
無回答	131	79	21	31	9	52	66	4
	10.6%	10.4%	8.9%	12.8%	6.1%	8.7%	14.0%	18.2%

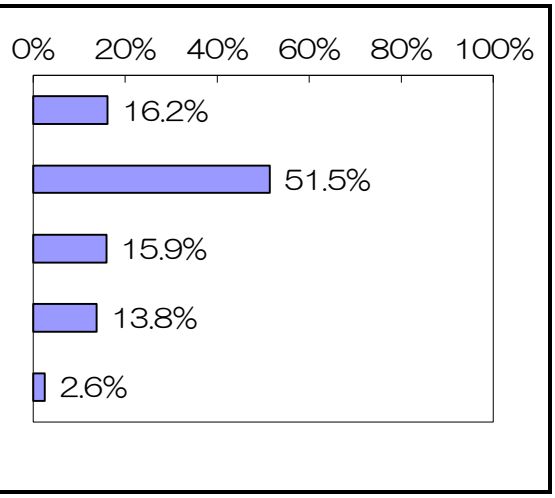
（５）洪水ハザードマップの認知度

問．市が全戸配布した洪水ハザードマップを知っていますか。（○はひとつだけ）

「既に確認したが対策はとっていない」が 51.5%と最も高く、次いで、「既に確認しており対策を行った」の 16.2%、「まだ確認していない」の 15.9%の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「知らない」割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
既に確認しており対策を行った	201	16.2%
既に確認したが対策はとっていない	637	51.5%
まだ確認していない	197	15.9%
知らない	171	13.8%
無回答	32	2.6%
サンプル数	1,238	100.0%



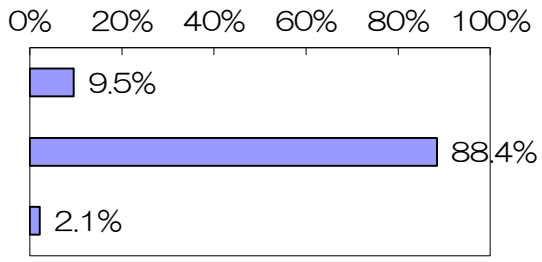
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
既に確認しており対策を行った	201	138	41	22	20	89	88	4
	16.2%	18.2%	17.3%	9.1%	13.5%	15.0%	18.6%	18.2%
既に確認したが対策はとっていない	637	421	112	104	84	282	262	9
	51.5%	55.5%	47.3%	42.8%	56.8%	47.4%	55.4%	40.9%
まだ確認していない	197	106	41	50	26	111	58	2
	15.9%	14.0%	17.3%	20.6%	17.6%	18.7%	12.3%	9.1%
知らない	171	71	39	61	17	105	47	2
	13.8%	9.4%	16.5%	25.1%	11.5%	17.6%	9.9%	9.1%
無回答	32	22	4	6	1	8	18	5
	2.6%	2.9%	1.7%	2.5%	0.7%	1.3%	3.8%	22.7%

（６）指定避難所利用経験の有無

問．市が災害時に開設する指定避難所（体育館や公民館等）を利用したことがありますか。（○はひとつだけ）

「ある」が 9.5%、「ない」が 88.4%となっている。

選択肢	回答数	割合
ある	118	9.5%
ない	1,094	88.4%
無回答	26	2.1%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	118	79	18	21	11	45	61	1
	9.5%	10.4%	7.6%	8.6%	7.4%	7.6%	12.9%	4.5%
ない	1,094	662	216	216	136	545	396	17
	88.4%	87.3%	91.1%	88.9%	91.9%	91.6%	83.7%	77.3%
無回答	26	17	3	6	1	5	16	4
	2.1%	2.2%	1.3%	2.5%	0.7%	0.8%	3.4%	18.2%

（７）指定避難所を利用して良かったこと・困ったこと（自由記述）

問．指定避難所利用経験の有無について、指定避難所を利用したことが「ある」と答えた人のみ回答）利用してみて良かったことや困ったことなどがあれば教えてください。

自由記述を内容で分類すると、良かったこと等が 16 件、困ったことが 49 件であった。
困ったことについては、「避難所の設備が不十分」が 29 件と最も多かった。

※内容別の件数【良かったこと等　16 件】

内　　容	件数（件）
①　避難所の係員の対応について	3
②　避難所の設備について	3
③　その他の良かったこと等	10

※内容別の件数【困ったこと　49 件】

内　　容	件数（件）
④　避難所の設備が不十分	29
⑤　他の避難者との関わりが不安	6
⑥　食事が不十分	3
⑦　その他の困ったこと	11

※各回答内容【良かったこと等】

①　避難所の係員の対応について（３件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	避難所の担当職員はいつの時代も大変ですね。家族のある方と思う方有り。（自分も経験有り）困った事は特にありませんでした。
身体	65 歳以上	親切にしてもらって助かったこと。
知的	17 歳以下	避難所のなかの応接室を、個室として利用させてくださった。人の多い場所が苦手なことに加えて、重複障がい児で感染に弱いため、とてもありがたかった。

②　避難所の設備について（３件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	トイレ等につきましては、障害者のトイレがあり、とても使い勝手も良く、体育館的な広々とした部屋で、掃除も行き届いており、清潔感があり、とても好印象でした。
精神	18～64 歳	ダンボールベッドが良かった
精神	18～64 歳	良かったことは、会場が丈夫そうで安心できたこと。

③　その他の良かったこと等（10 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	近くにある
身体	65 歳以上	まだ元気な時、大工町に住んでいる時、水害にあった。建設省の前に避難した。ありがたかった。２回位避難した。大家さんの家にもお世話になった。１番気になるのは、避難したあと住まいはどうなったかなど気になった。今の自分は障がい者で家が倒れなかったり水害にあわなかったら家の２可階へ避難するつもりです。

身体	65 歳以上	足が悪いと皆の人がしんせつにして下さった。
精神	18～64 歳	子供の頃の話になりますが多くの方とのコミュニケーションで不安な気持ちがなくなってました。コミュニケーションの大切さを深く考えてます。
身体	65 歳以上	・ペット（外でかっている犬）と一緒に避難出来た事は良かった。
身体	65 歳以上	公民館に避難した事あります。
身体	65 歳以上	公民館避難したことあります。
知的	18～64 歳	子供の頃に家族で遊んだ時に行った時は図書館っぽい場所があったような記憶があります。
精神	18～64 歳	怪我をする随分前の小学生の頃
精神	65 歳以上	避難のしかたがわかりました

※各回答内容【困ったこと】

④　避難所の設備が不十分（29 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	指定の体育館が低めなので津波が心配。
身体	18～64 歳	水回り(シャワー室やトイレ)の設備が充実していない印象です。
身体	18～64 歳	床に寝たら腰が痛くなったし、起き上がれ無かった。
身体	65 歳以上	トイレが遠い。窮屈と板の間で寝れない。
身体	65 歳以上	階段から入る所なので車椅子では入れない、使えるトイレも無い
身体	65 歳以上	床に寝転んだら、起きるのがたいへんだった。簡易ベッドがあればたすかるのに。トイレは、洋式があり、どうにかできた。車椅子も、車椅子専用トイレが無かった
身体	65 歳以上	老人なので 和室の部屋か 椅子があった方が良い
身体	65 歳以上	イス、ベッドがないので車中避難しか無理だった??
身体	65 歳以上	避難所のトイレが車椅子では利用しづらかった
身体	65 歳以上	充電が出来ないのとトイレがこむ
身体	65 歳以上	ベッドがないので、帰りました。
身体	65 歳以上	トイレの使用人数が多く、排水がすぐに詰まってしまい、使用できなくなったり、備蓄の水がすぐに無くなってしまったこと
身体	65 歳以上	トイレが少々困った
身体	65 歳以上	小学校体育館だったので良かったのでしょう。夏場だったけど冬は寒いでしょう。
身体	65 歳以上	トイレの数、年寄りなので床は痛い。仮のベッドが欲しい。イスとかもあったら。
身体	65 歳以上	ベッドでしか寝ることが出来ない（足のため床に座ることが出来ず平面からは立ち上がれない）ので段ボールベッドをテレビで見ると近くには現実対応出来ないだろうなと思う。だから現在は夫（80）に頼り水害なら自宅２階へ家倒壊なら車中へと考えている。大型台風ならホテルへいく事も考えた。
身体	65 歳以上	厚手の敷物を持参すればよかった
身体	65 歳以上	トイレに困った
身体	65 歳以上	・横になる事も出来ず、座ったままできつかった。
身体	65 歳以上	台風時に施設を利用した事があります。ベッド等が無い為、車椅子に座ったまま睡眠をとる事になりましたが、慣れていない為、充分な睡眠がとれなかった事が大変でした。
身体	65 歳以上	トイレの不備等
知的	18～64 歳	移動が困難で手伝って頂ける人が居なかった。健常者と違い障害者トイレが無かったり身体がきつくても介護ベッドしか使えない為車椅子に座ったままでとても苦痛で避難しなければ良かったと思った。
知的	18～64 歳	障害者用の部屋を作ってほしい
精神	18～64 歳	避難先は大学の体育館だったため広かったが、隔たりがなく周りの視線が気になった。
精神	18～64 歳	小休憩ができる小スペースが少ない。パーティションで区切った椅子が有るスペースで、個人的には、ありがたい。
精神	18～64 歳	避難所にテレビやラジオ等なく情報を得る事が難しかった。また、避難所が川から近く浸水で避難所近くまで水が来ていて避難所に適しているのか不安に思った。
精神	18～64 歳	トイレが小さい。

精神	18～64 歳	大型台風接近時の避難でしたが、自宅は築が古く、いつ屋根瓦が飛んでもおかしくない状況下での避難でした。そんな中で、学校の体育館で避難し、丈夫な建物で一夜を明かせた事は、自宅に居て台風が過ぎるのを不安に待つより、格段に安心して避難することができました。ただ、そこは壁で仕切られていなかっことで、周りの目やプライバシーが無くなることによるストレスが掛かり、たった一夜の避難でしたが、かなりの疲労となりました。私は ASD と ADHD があり、少しの環境変化で大きなストレスを感じ、そして疲労して体の不調に繋がってしまいます。そこで個人単位は厳しいですが、せめて家族単位でプライバシーが確保出来るよう、簡易の壁が有れば設置して頂き、非常時に設置して貰えると助かると思いました。
精神	65 歳以上	近いが、木造平屋で小規模。使えるとは、思えない。自宅(鉄筋コンクリート五階建の２階)待機を考えている。

⑤　他の避難者との関わりが不安（６件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	参加者の多くは、個人的な不必要な干渉が多い。宮崎的で不愉快。
身体	65 歳以上	・その場を離れると（トイレ等）他の人がきていたりして困った。
知的	17 歳以下	沢山の人が居て不安になる。静かにしていることが難しいので近くの人とトラブルになる。
知的	17 歳以下	周りの方と理解し合うのが難しかった。
精神	18～64 歳	子供の頃、台風被害で家が水に浸かり小学校の体育館や教室を開放され、夜中に避難したが祖父母も一緒だったが、自分が落ち着けず(周りが知らない人ばかりで…)見かねた母が、夜が明けて昼過ぎにはその避難所を出て、ホテルを取ってくれた。母が言うには、私は知らない人ばかりの中にいると、大声を出したり自分勝手な行動をして落ち着かない子だったらしく、他の方の迷惑にならないよう、避難所を後にしたらしい。精神障害を持つ人の避難所使用は、かなり難しいと思います。
精神	18～64 歳	困ったことは、すぐとなりの場所に奥さん相手にずーっとしゃべり続けている老齢男性がおられて、私は統合失調症なので、余計な気をつかって、母が苦労して大雨・風の中、車で、コンビニで買って手に入れて来た貴重な非常食を、何度も次々と分けてあげたりしてしまったこと。周囲の人に必要以上に気を使ってしまって、どう接していいか、どう過ごしていいかわからないこと。

⑥　食事が不十分（３件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	近くにあるが食事や飲み物が全く無かった
身体	65 歳以上	避難者に対して配布された飲食物の不足
身体	65 歳以上	食べ物は自分でよういしたりしたので、できれば食料や飲料水があれば配ってもらえたら助かった。

⑦　その他の困ったこと（11 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	小学校体育館を利用したことがあるが人がいっぱいで、入り切れない状況だった
身体	65 歳以上	今住んでいる所は高台（20m位）で近くに（150m）に公民館があるが、地区の方々が一斉に避難したら収容しきれない。（公民館は近くて便利だった。）近くには団地が６団地位有り、中学校も近くに有るが、池や棚が有り 1,000m近くの迂回道路を廻っていく事になりやはり収容できるか心配な面も有る。
身体	65 歳以上	・自宅から徒歩 10 分位の避難所が、ある年「今年は避難所に指定されていない」と言われ、他の場所を紹介してくださったが、徒歩で行けるような場所ではないので、（視覚障害者なので車の運転は出来ない）避難する事はあきらめて自宅にいた。
身体	65 歳以上	・年によって避難所が変わるのは困る。
身体	18～64 歳	何時間経っても名前を聞かれた以外に何も対応がなかった
身体	65 歳以上	係員の指示が不明確
身体	65 歳以上	災害情報が避難所にいたらわからない
身体	65 歳以上	情報提供がない。

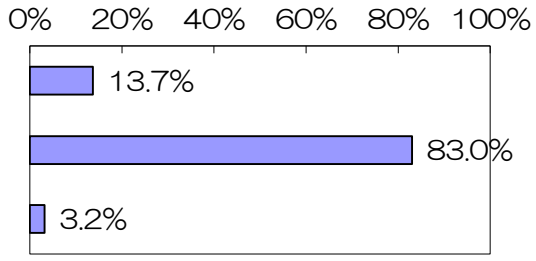
身体	18～64 歳	自動車の駐車が面倒
身体	18～64 歳	今迄に７、８回程体育館に避難してきてるけど大変な事です。体の弱い人には無理をしてでも逃げる事は大変です。
身体	65 歳以上	距離的に遠い

（８）個別避難支援計画の認知度

問.「個別避難支援計画」についてご存じですか。（○はひとつだけ）

「知っている」が 13.7%、「知らない」が 83.0%となっている。

選択肢	回答数	割合
知っている	170	13.7%
知らない	1,028	83.0%
無回答	40	3.2%
サンプル数	1,238	100.0%



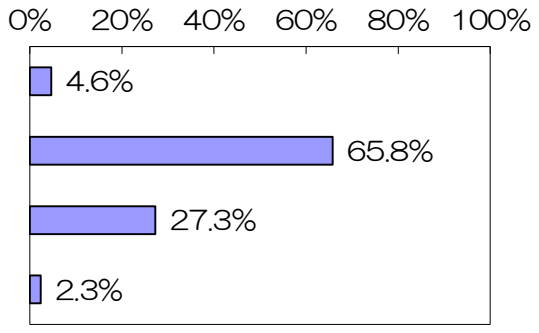
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	170	113	45	12	29	72	67	2
	13.7%	14.9%	19.0%	4.9%	19.6%	12.1%	14.2%	9.1%
知らない	1,028	615	187	226	117	514	382	15
	83.0%	81.1%	78.9%	93.0%	79.1%	86.4%	80.8%	68.2%
無回答	40	30	5	5	2	9	24	5
	3.2%	4.0%	2.1%	2.1%	1.4%	1.5%	5.1%	22.7%

（９）個別避難支援計画作成状況

問.「個別避難支援計画」を作成していますか。（○はひとつだけ）

「作成している」が 4.6%、「作成していない」が 65.8%、「分からない」が 27.3%となっている。

選択肢	回答数	割合
作成している	57	4.6%
作成していない	814	65.8%
分からない	338	27.3%
無回答	29	2.3%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
作成している	57	39	16	2	10	24	20	3
	4.6%	5.1%	6.8%	0.8%	6.8%	4.0%	4.2%	13.6%
作成していない	814	516	140	158	88	389	327	10
	65.8%	68.1%	59.1%	65.0%	59.5%	65.4%	69.1%	45.5%
分からない	338	182	78	78	49	176	107	6
	27.3%	24.0%	32.9%	32.1%	33.1%	29.6%	22.6%	27.3%
無回答	29	21	3	5	1	6	19	3
	2.3%	2.8%	1.3%	2.1%	0.7%	1.0%	4.0%	13.6%

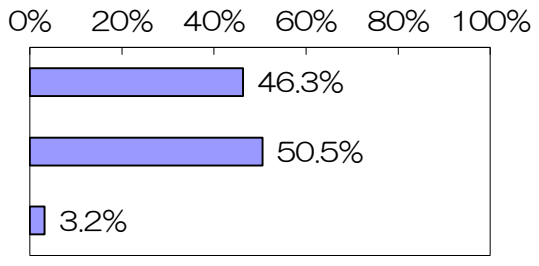
（10）個別作成支援計画作成の意向

問.（個別避難支援計画作成状況について、「作成していない」又は「分からない」と答えた人のみ回答）「個別避難支援計画」の作成を希望しますか。
（○はひとつだけ）

「希望する」が 46.3%、「希望しない」が 50.5%となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「希望しない」割合が他の障がい種別と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
希望する	533	46.3%
希望しない	582	50.5%
無回答	37	3.2%
サンプル数	1,152	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,152	698	218	236	137	565	434	16
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
希望する	533	308	121	104	74	250	202	7
	46.3%	44.1%	55.5%	44.1%	54.0%	44.2%	46.5%	43.8%
希望しない	582	366	88	128	59	301	213	9
	50.5%	52.4%	40.4%	54.2%	43.1%	53.3%	49.1%	56.3%
無回答	37	24	9	4	4	14	19	0
	3.2%	3.4%	4.1%	1.7%	2.9%	2.5%	4.4%	0.0%

９．福祉・保健施策への希望について

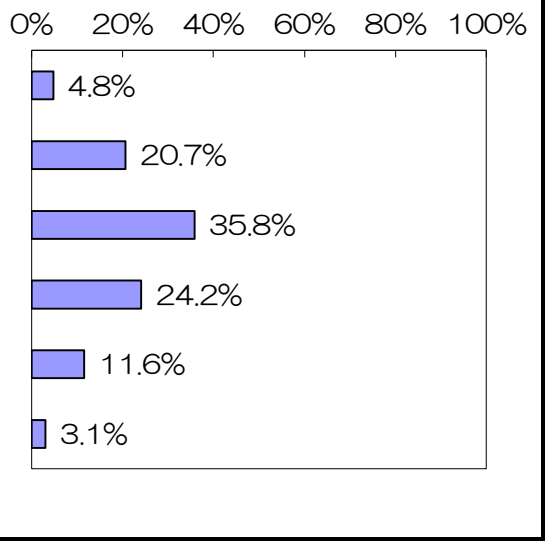
（１）障がい者施策の情報周知

問．国や県、市が行う障がい者施策の情報は十分に行き届いていると思いますか。
（○はひとつだけ）

「どちらとも言えない」が 35.8％と最も高く、次いで、「あまり行き届いていない」の 24.2％、「まあまあ行き届いている」の 20.7％の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「全然行き届いていない」割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
十分行き届いている	59	4.8%
まあまあ行き届いている	256	20.7%
どちらとも言えない	443	35.8%
あまり行き届いていない	299	24.2%
全然行き届いていない	143	11.6%
無回答	38	3.1%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
十分行き届いている	59	42	11	6	4	22	33	0
	4.8%	5.5%	4.6%	2.5%	2.7%	3.7%	7.0%	0.0%
まあまあ行き届いている	256	170	42	44	28	106	118	4
	20.7%	22.4%	17.7%	18.1%	18.9%	17.8%	24.9%	18.2%
どちらとも言えない	443	290	82	71	53	207	174	9
	35.8%	38.3%	34.6%	29.2%	35.8%	34.8%	36.8%	40.9%
あまり行き届いていない	299	168	66	65	48	155	94	2
	24.2%	22.2%	27.8%	26.7%	32.4%	26.1%	19.9%	9.1%
全然行き届いていない	143	61	28	54	14	97	29	3
	11.6%	8.0%	11.8%	22.2%	9.5%	16.3%	6.1%	13.6%
無回答	38	27	8	3	1	8	25	4
	3.1%	3.6%	3.4%	1.2%	0.7%	1.3%	5.3%	18.2%

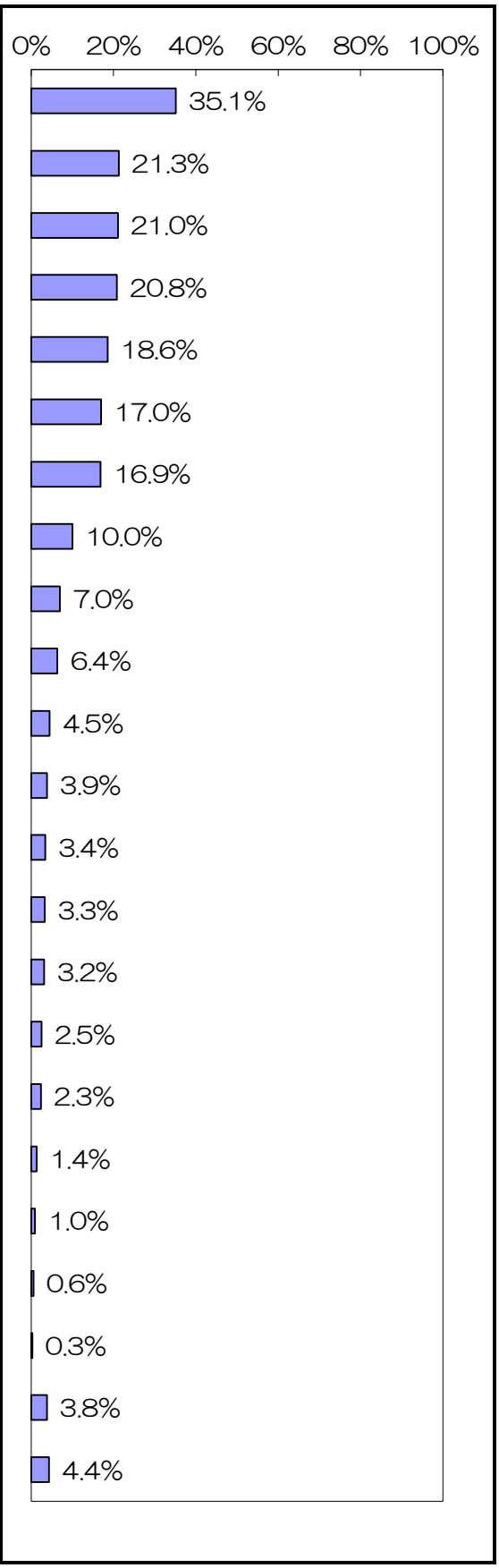
（２）福祉情報の入手先

問．福祉サービスなどの情報を主にどこから入手していますか。（○はいくつでも）

「市の広報・福祉のガイドブック」が 35.1％と最も高く、次いで、「インターネット・ホームページ・ＳＮＳ」の 21.3％、「テレビ・ラジオ・新聞」の 21.0％の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「学校・職場・施設」「相談支援事業所」、精神障がい者の「インターネット・ホームページ・ＳＮＳ」「医療機関」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている一方、知的障がい者・精神障がい者の「市の広報・福祉のガイドブック」の割合が身体障がい者と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
市の広報・福祉のガイドブック	435	35.1%
インターネット・ホームページ・SNS	264	21.3%
テレビ・ラジオ・新聞	260	21.0%
自治会などの回覧板	258	20.8%
市役所（障がい福祉担当課など）	230	18.6%
友人・知人・家族・親せき	210	17.0%
医療機関	209	16.9%
学校・職場・施設	124	10.0%
相談支援事業所	87	7.0%
事業所職員、ホームヘルパーなど	79	6.4%
障がい者団体・当事者グループ	56	4.5%
障がい者相談員	48	3.9%
障害者就業・生活支援センター	42	3.4%
福祉事務所・保健所	41	3.3%
障がい者基幹相談支援センター	39	3.2%
民生委員・児童委員	31	2.5%
社会福祉協議会	29	2.3%
近所の人	17	1.4%
保健・福祉センター	12	1.0%
児童相談所・更生相談所	7	0.6%
ボランティア	4	0.3%
その他	47	3.8%
無回答	54	4.4%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市の広報・福祉のガイドブック	435	328	58	49	29	169	226	11
	35.1%	43.3%	24.5%	20.2%	19.6%	28.4%	47.8%	50.0%
インターネット・ホームページ・SNS	264	147	37	80	33	186	41	4
	21.3%	19.4%	15.6%	32.9%	22.3%	31.3%	8.7%	18.2%
テレビ・ラジオ・新聞	260	189	30	41	15	112	126	7
	21.0%	24.9%	12.7%	16.9%	10.1%	18.8%	26.6%	31.8%
自治会などの回覧板	258	207	30	21	16	77	157	8
	20.8%	27.3%	12.7%	8.6%	10.8%	12.9%	33.2%	36.4%
市役所（障がい福祉担当課など）	230	146	46	38	32	107	90	1
	18.6%	19.3%	19.4%	15.6%	21.6%	18.0%	19.0%	4.5%
友人・知人・家族・親せき	210	120	62	28	40	104	62	4
	17.0%	15.8%	26.2%	11.5%	27.0%	17.5%	13.1%	18.2%
医療機関	209	123	13	73	21	122	64	2
	16.9%	16.2%	5.5%	30.0%	14.2%	20.5%	13.5%	9.1%
学校・職場・施設	124	38	76	10	75	44	4	1
	10.0%	5.0%	32.1%	4.1%	50.7%	7.4%	0.8%	4.5%
相談支援事業所	87	23	46	18	25	49	10	3
	7.0%	3.0%	19.4%	7.4%	16.9%	8.2%	2.1%	13.6%
事業所職員、ホームヘルパーなど	79	56	16	7	9	32	37	1
	6.4%	7.4%	6.8%	2.9%	6.1%	5.4%	7.8%	4.5%
障がい者団体・当事者グループ	56	25	19	12	9	37	10	0
	4.5%	3.3%	8.0%	4.9%	6.1%	6.2%	2.1%	0.0%
障がい者相談員	48	14	17	17	9	32	5	2
	3.9%	1.8%	7.2%	7.0%	6.1%	5.4%	1.1%	9.1%
障害者就業・生活支援センター	42	12	12	18	0	29	12	1
	3.4%	1.6%	5.1%	7.4%	0.0%	4.9%	2.5%	4.5%
福祉事務所・保健所	41	23	13	5	5	21	15	0
	3.3%	3.0%	5.5%	2.1%	3.4%	3.5%	3.2%	0.0%
障がい者基幹相談支援センター	39	14	17	8	14	17	8	0
	3.2%	1.8%	7.2%	3.3%	9.5%	2.9%	1.7%	0.0%
民生委員・児童委員	31	23	4	4	1	8	20	2
	2.5%	3.0%	1.7%	1.6%	0.7%	1.3%	4.2%	9.1%
社会福祉協議会	29	21	3	5	0	11	18	0
	2.3%	2.8%	1.3%	2.1%	0.0%	1.8%	3.8%	0.0%
近所の人	17	12	4	1	1	4	12	0
	1.4%	1.6%	1.7%	0.4%	0.7%	0.7%	2.5%	0.0%
保健・福祉センター	12	9	1	2	0	6	6	0
	1.0%	1.2%	0.4%	0.8%	0.0%	1.0%	1.3%	0.0%
児童相談所・更生相談所	7	1	5	1	4	2	1	0
	0.6%	0.1%	2.1%	0.4%	2.7%	0.3%	0.2%	0.0%
ボランティア	4	2	1	1	0	2	2	0
	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.0%	0.3%	0.4%	0.0%
その他	47	22	6	19	4	22	20	1
	3.8%	2.9%	2.5%	7.8%	2.7%	3.7%	4.2%	4.5%
無回答	54	30	11	13	3	19	29	3
	4.4%	4.0%	4.6%	5.3%	2.0%	3.2%	6.1%	13.6%

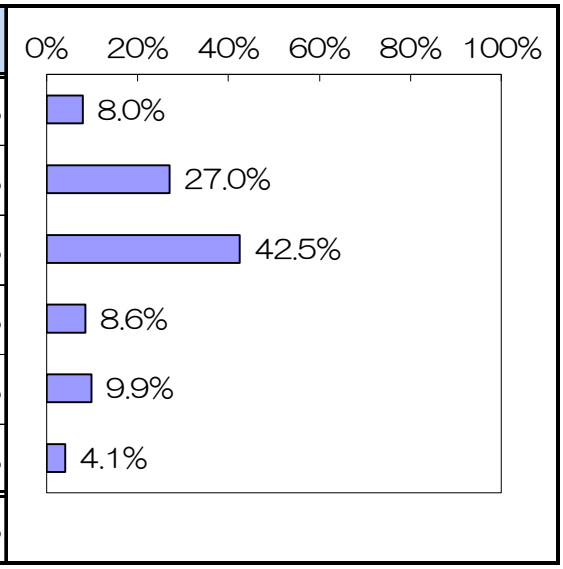
（３）市の広報・福祉のガイドブック等の分かりやすさ

問．市の広報・福祉のガイドブック等に掲載してある、宮崎市のサービスや事業の情報は分かりやすいと思いますか。（○はひとつだけ）

「どちらとも言えない」が 42.5%と最も高く、次いで、「まあまあ分かりやすい」の 27.0%、「分かりにくい」の 9.9%の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「まあまあ分かりやすい」の割合が他の障がい種別と比べて低く、「分かりやすい」と「まあまあ分かりやすい」を合わせた割合は２割にとどまっている。

選択肢	回答数	割合
分かりやすい	99	8.0%
まあまあ分かりやすい	334	27.0%
どちらとも言えない	526	42.5%
やや分かりにくい	106	8.6%
分かりにくい	122	9.9%
無回答	51	4.1%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
分かりやすい	99	79	12	8	9	27	60	3
	8.0%	10.4%	5.1%	3.3%	6.1%	4.5%	12.7%	13.6%
まあまあ分かりやすい	334	229	64	41	34	135	161	4
	27.0%	30.2%	27.0%	16.9%	23.0%	22.7%	34.0%	18.2%
どちらとも言えない	526	307	100	119	75	288	156	7
	42.5%	40.5%	42.2%	49.0%	50.7%	48.4%	33.0%	31.8%
やや分かりにくい	106	49	31	26	20	56	27	3
	8.6%	6.5%	13.1%	10.7%	13.5%	9.4%	5.7%	13.6%
分かりにくい	122	59	23	40	9	73	38	2
	9.9%	7.8%	9.7%	16.5%	6.1%	12.3%	8.0%	9.1%
無回答	51	35	7	9	1	16	31	3
	4.1%	4.6%	3.0%	3.7%	0.7%	2.7%	6.6%	13.6%

（４）市の福祉ガイドブック等が分かりやすくなるための工夫

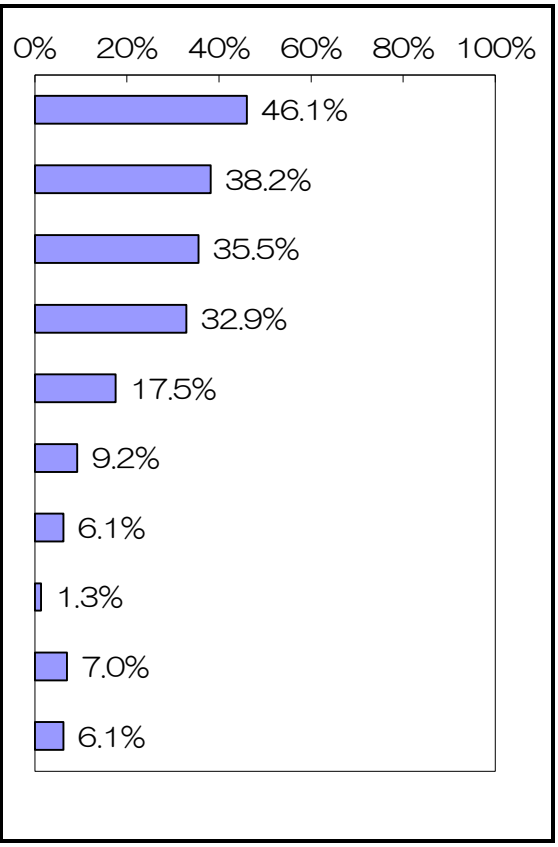
問.（市の広報・福祉のガイドブック等の分かりやすさについて、「やや分かりにくい」又は「分かりにくい」と答えた人のみ回答）どのような情報だと分かりやすいと思いますか。（○は３つまで）

「イラストがある」が 46.1%と最も高く、次いで、「文章がやさしい」の 38.2%、「文字が大きい」の 35.5%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「イラストがある」「ふりがながふられている」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、65 歳以上の「文字が大きい」の割合が高くなっている一方、17 歳以下の割合は他の年齢区分と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
イラストがある	105	46.1%
文章がやさしい	87	38.2%
文字が大きい	81	35.5%
フローなど図がある	75	32.9%
白黒ではなくカラーである	40	17.5%
ふりがながふられている	21	9.2%
音声読み上げができる	14	6.1%
手話通訳の動画がある	3	1.3%
その他	16	7.0%
無回答	14	6.1%
サンプル数	228	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	228	108	54	66	29	129	65	5
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
イラストがある	105	43	32	30	20	56	27	2
	46.1%	39.8%	59.3%	45.5%	69.0%	43.4%	41.5%	40.0%
文章がやさしい	87	38	22	27	12	54	19	2
	38.2%	35.2%	40.7%	40.9%	41.4%	41.9%	29.2%	40.0%
文字が大きい	81	44	17	20	5	40	32	4
	35.5%	40.7%	31.5%	30.3%	17.2%	31.0%	49.2%	80.0%
フローなど図がある	75	37	13	25	10	46	19	0
	32.9%	34.3%	24.1%	37.9%	34.5%	35.7%	29.2%	0.0%
白黒ではなくカラーである	40	15	9	16	7	24	8	1
	17.5%	13.9%	16.7%	24.2%	24.1%	18.6%	12.3%	20.0%
ふりがながふられている	21	2	13	6	7	11	3	0
	9.2%	1.9%	24.1%	9.1%	24.1%	8.5%	4.6%	0.0%
音声読み上げができる	14	11	1	2	2	6	6	0
	6.1%	10.2%	1.9%	3.0%	6.9%	4.7%	9.2%	0.0%
手話通訳の動画がある	3	2	0	1	0	1	2	0
	1.3%	1.9%	0.0%	1.5%	0.0%	0.8%	3.1%	0.0%
その他	16	5	2	9	1	12	3	0
	7.0%	4.6%	3.7%	13.6%	3.4%	9.3%	4.6%	0.0%
無回答	14	7	5	2	1	7	5	1
	6.1%	6.5%	9.3%	3.0%	3.4%	5.4%	7.7%	20.0%

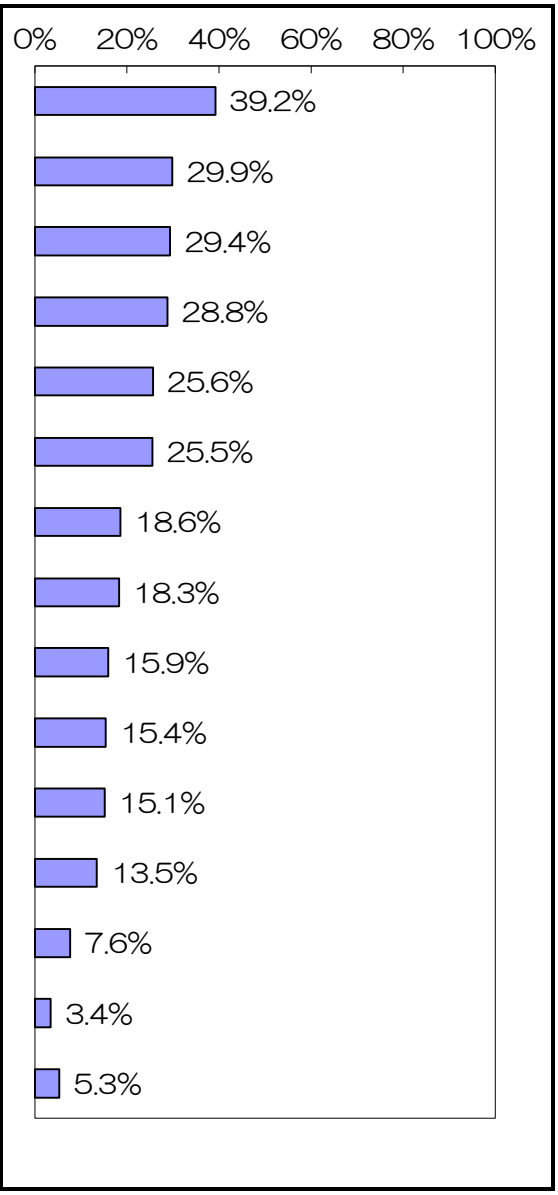
（５）市への希望

問．今後どのようなことを希望しますか。（○はいくつでも）

「障がい者への理解」が 39.2%と最も高く、次いで、「在宅福祉の充実」の 29.9%、「医療体制の整備」の 29.4%の順となっている。

障がい種別でみると、身体障がい者は「在宅福祉の充実」、知的障がい者と精神障がい者は「障がい者への理解」の割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
障がい者への理解	485	39.2%
在宅福祉の充実	370	29.9%
医療体制の整備	364	29.4%
移動の手段の確保	357	28.8%
施設福祉の充実	317	25.6%
情報提供・相談窓口の充実	316	25.5%
就労機会の充実	230	18.6%
生きがい支援	226	18.3%
住環境の整備	197	15.9%
保健サービスの充実	191	15.4%
防犯・防災体制の充実	187	15.1%
地域での助け合い	167	13.5%
教育の充実	94	7.6%
その他	42	3.4%
無回答	66	5.3%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
障がい者への理解	485	231	132	122	90	286	102	7
	39.2%	30.5%	55.7%	50.2%	60.8%	48.1%	21.6%	31.8%
在宅福祉の充実	370	251	66	53	32	147	184	7
	29.9%	33.1%	27.8%	21.8%	21.6%	24.7%	38.9%	31.8%
医療体制の整備	364	230	65	69	28	195	135	6
	29.4%	30.3%	27.4%	28.4%	18.9%	32.8%	28.5%	27.3%
移動の手段の確保	357	219	71	67	43	172	139	3
	28.8%	28.9%	30.0%	27.6%	29.1%	28.9%	29.4%	13.6%
施設福祉の充実	317	171	106	40	57	137	116	7
	25.6%	22.6%	44.7%	16.5%	38.5%	23.0%	24.5%	31.8%
情報提供・相談窓口の充実	316	175	79	62	47	162	103	4
	25.5%	23.1%	33.3%	25.5%	31.8%	27.2%	21.8%	18.2%
就労機会の充実	230	78	66	86	53	156	21	0
	18.6%	10.3%	27.8%	35.4%	35.8%	26.2%	4.4%	0.0%
生きがい支援	226	101	53	72	30	139	56	1
	18.3%	13.3%	22.4%	29.6%	20.3%	23.4%	11.8%	4.5%
住環境の整備	197	111	36	50	19	127	50	1
	15.9%	14.6%	15.2%	20.6%	12.8%	21.3%	10.6%	4.5%
保健サービスの充実	191	115	33	43	17	97	74	3
	15.4%	15.2%	13.9%	17.7%	11.5%	16.3%	15.6%	13.6%
防犯・防災体制の充実	187	119	39	29	25	87	72	3
	15.1%	15.7%	16.5%	11.9%	16.9%	14.6%	15.2%	13.6%
地域での助け合い	167	103	39	25	22	71	72	2
	13.5%	13.6%	16.5%	10.3%	14.9%	11.9%	15.2%	9.1%
教育の充実	94	33	40	21	54	34	6	0
	7.6%	4.4%	16.9%	8.6%	36.5%	5.7%	1.3%	0.0%
その他	42	27	4	11	4	27	10	1
	3.4%	3.6%	1.7%	4.5%	2.7%	4.5%	2.1%	4.5%
無回答	66	51	7	8	2	14	44	6
	5.3%	6.7%	3.0%	3.3%	1.4%	2.4%	9.3%	27.3%

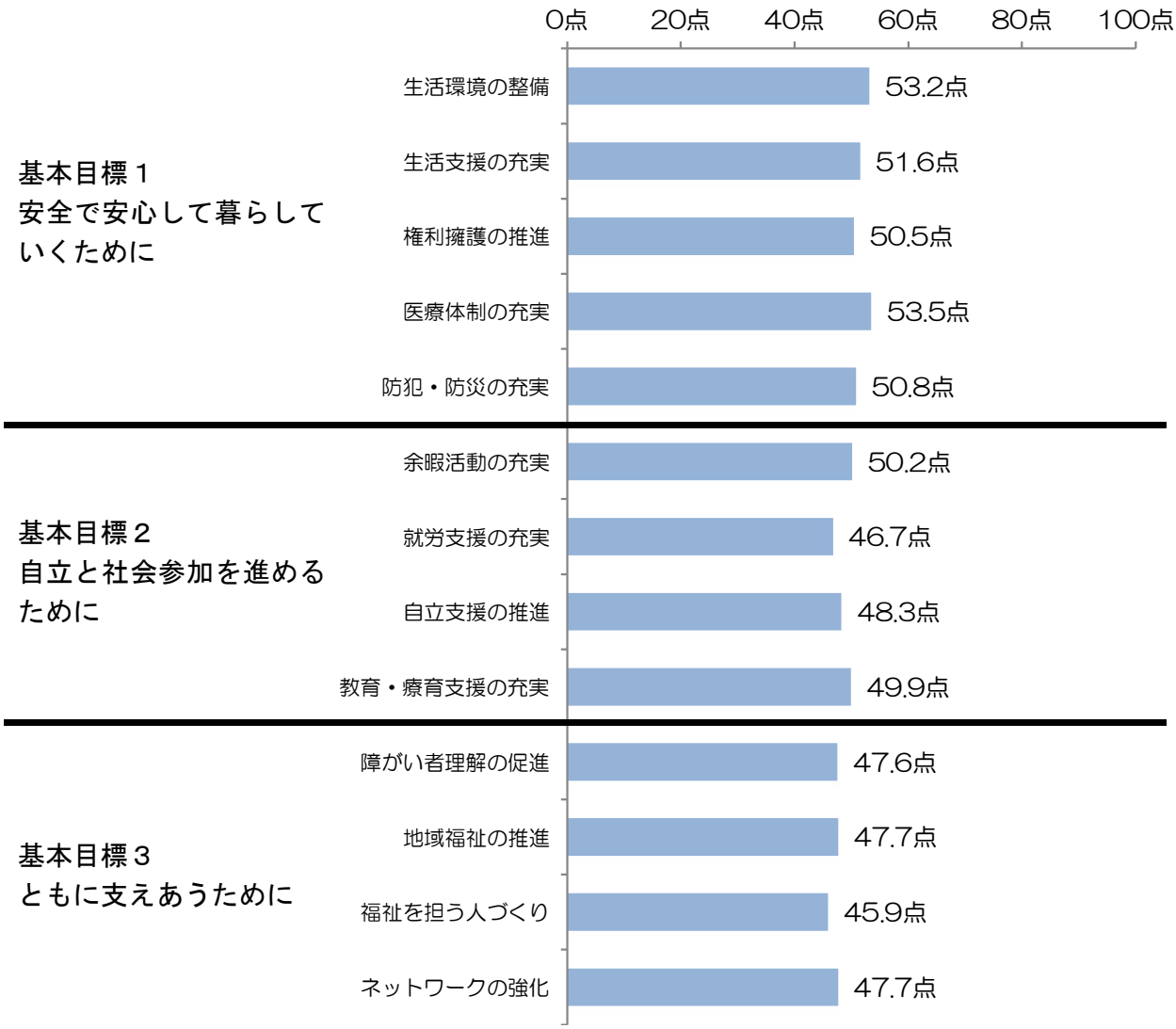
（６）宮崎市障がい者計画の基本目標ごとの施策への満足度

問．現在、市が取り組んでいる障がい者福祉施策（宮崎市障がい者計画（第３期））について、満足度を教えてください。（○はひとつだけ）

下表の基準により、満足度（100 点満点）に換算した結果、「医療体制の充実」が 53.5 点と最も高く、次いで、「生活環境の整備」の 53.2 点、「生活支援の充実」の 51.6 点の順となっている。

一方、満足度が低い順にみると、「福祉を担う人づくり」が 45.9 点と最も低く、次いで、「就労支援の充実」の 46.7 点、「障がい者理解の促進」の 47.6 点の順となっており、「基本目標３ともに支えあうために」に係る施策への評価が相対的に低くなっている。

とても満足：100 点	やや満足：75 点	どちらともいえない：50 点
やや不満： 25 点	とても不満： 0 点	

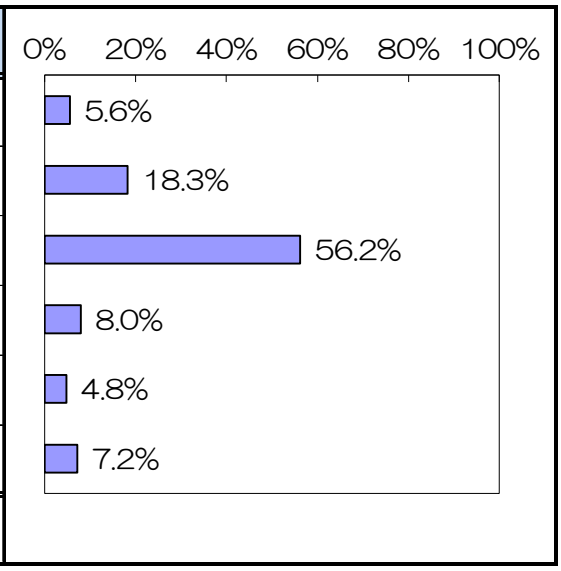


基本目標１　安全で安心して暮らしていくために

① 生活環境の整備（バリアフリー化の推進、住環境の整備推進）

「どちらともいえない」が 56.2%と最も高く、次いで、「やや満足」の 18.3%、「やや不満」の 8.0%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	69	5.6%
やや満足	226	18.3%
どちらともいえない	696	56.2%
やや不満	99	8.0%
とても不満	59	4.8%
無回答	89	7.2%
サンプル数	1,238	100.0%

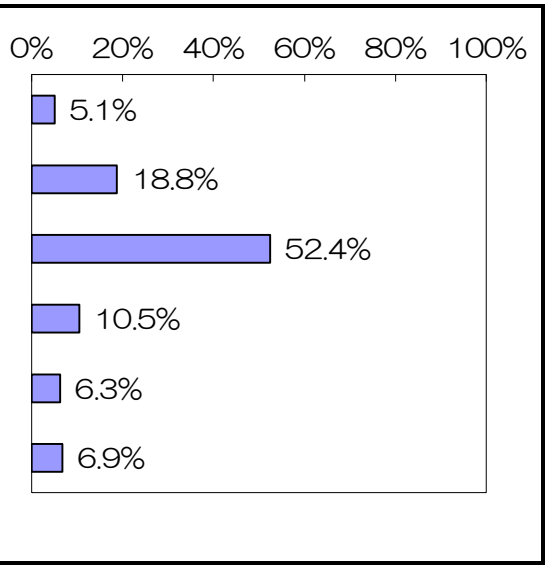


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	69	41	13	15	2	41	24	2
	5.6%	5.4%	5.5%	6.2%	1.4%	6.9%	5.1%	9.1%
やや満足	226	151	40	35	21	99	101	5
	18.3%	19.9%	16.9%	14.4%	14.2%	16.6%	21.4%	22.7%
どちらともいえない	696	412	142	142	105	344	239	8
	56.2%	54.4%	59.9%	58.4%	70.9%	57.8%	50.5%	36.4%
やや不満	99	63	17	19	12	50	36	1
	8.0%	8.3%	7.2%	7.8%	8.1%	8.4%	7.6%	4.5%
とても不満	59	27	13	19	6	41	10	2
	4.8%	3.6%	5.5%	7.8%	4.1%	6.9%	2.1%	9.1%
無回答	89	64	12	13	2	20	63	4
	7.2%	8.4%	5.1%	5.3%	1.4%	3.4%	13.3%	18.2%

② 生活支援の充実（相談支援体制の充実、福祉サービスの充実、地域移行支援、分かりやすい情報の提供）

「どちらともいえない」が 52.4%と最も高く、次いで、「やや満足」の 18.8%、「やや不満」の 10.5%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	63	5.1%
やや満足	233	18.8%
どちらともいえない	649	52.4%
やや不満	130	10.5%
とても不満	78	6.3%
無回答	85	6.9%
サンプル数	1,238	100.0%

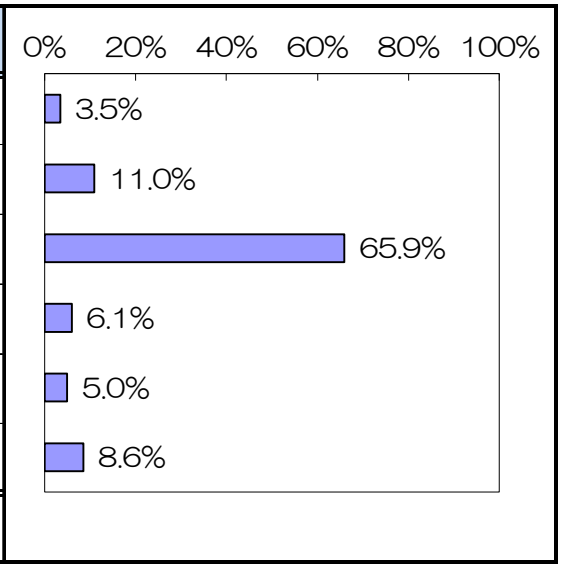


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	63	36	15	12	5	35	22	1
	5.1%	4.7%	6.3%	4.9%	3.4%	5.9%	4.7%	4.5%
やや満足	233	145	54	34	35	98	96	4
	18.8%	19.1%	22.8%	14.0%	23.6%	16.5%	20.3%	18.2%
どちらともいえない	649	414	109	126	77	323	240	9
	52.4%	54.6%	46.0%	51.9%	52.0%	54.3%	50.7%	40.9%
やや不満	130	61	35	34	22	71	36	1
	10.5%	8.0%	14.8%	14.0%	14.9%	11.9%	7.6%	4.5%
とても不満	78	37	15	26	8	51	17	2
	6.3%	4.9%	6.3%	10.7%	5.4%	8.6%	3.6%	9.1%
無回答	85	65	9	11	1	17	62	5
	6.9%	8.6%	3.8%	4.5%	0.7%	2.9%	13.1%	22.7%

③ 権利擁護の推進（人権擁護の推進、成年後見制度の活用）

「どちらともいえない」が 65.9%と最も高く、次いで、「やや満足」の 11.0%、「やや不満」の 6.1%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	43	3.5%
やや満足	136	11.0%
どちらともいえない	816	65.9%
やや不満	75	6.1%
とても不満	62	5.0%
無回答	106	8.6%
サンプル数	1,238	100.0%

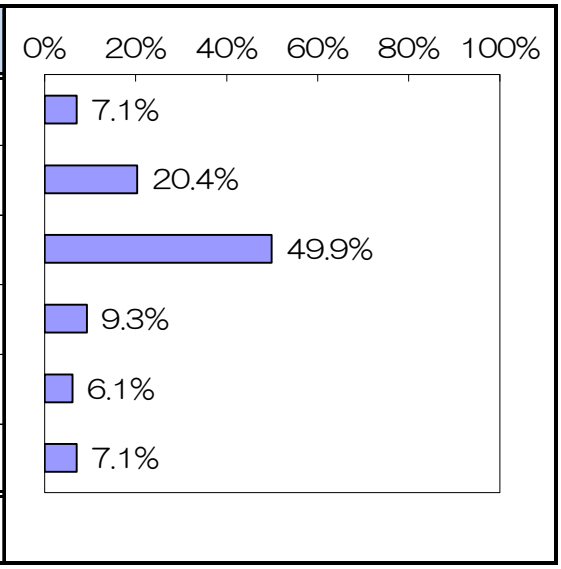


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	43	25	9	9	3	22	17	1
	3.5%	3.3%	3.8%	3.7%	2.0%	3.7%	3.6%	4.5%
やや満足	136	95	21	20	13	59	62	2
	11.0%	12.5%	8.9%	8.2%	8.8%	9.9%	13.1%	9.1%
どちらともいえない	816	496	159	161	114	397	295	10
	65.9%	65.4%	67.1%	66.3%	77.0%	66.7%	62.4%	45.5%
やや不満	75	40	16	19	7	48	19	1
	6.1%	5.3%	6.8%	7.8%	4.7%	8.1%	4.0%	4.5%
とても不満	62	23	17	22	7	43	10	2
	5.0%	3.0%	7.2%	9.1%	4.7%	7.2%	2.1%	9.1%
無回答	106	79	15	12	4	26	70	6
	8.6%	10.4%	6.3%	4.9%	2.7%	4.4%	14.8%	27.3%

④ 医療体制の充実（早期相談・早期支援体制の整備、医療・リハビリテーション体制の充実）

「どちらともいえない」が 49.9%と最も高く、次いで、「やや満足」の 20.4%、「やや不満」の 9.3%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	88	7.1%
やや満足	253	20.4%
どちらともいえない	618	49.9%
やや不満	115	9.3%
とても不満	76	6.1%
無回答	88	7.1%
サンプル数	1,238	100.0%

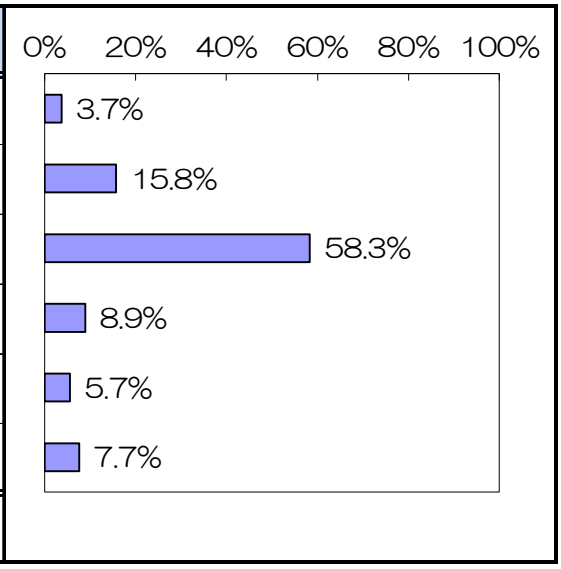


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	88	60	12	16	9	43	36	0
	7.1%	7.9%	5.1%	6.6%	6.1%	7.2%	7.6%	0.0%
やや満足	253	166	45	42	31	115	104	3
	20.4%	21.9%	19.0%	17.3%	20.9%	19.3%	22.0%	13.6%
どちらともいえない	618	371	122	125	78	311	218	11
	49.9%	48.9%	51.5%	51.4%	52.7%	52.3%	46.1%	50.0%
やや不満	115	64	24	27	12	64	37	2
	9.3%	8.4%	10.1%	11.1%	8.1%	10.8%	7.8%	9.1%
とても不満	76	33	21	22	16	42	17	1
	6.1%	4.4%	8.9%	9.1%	10.8%	7.1%	3.6%	4.5%
無回答	88	64	13	11	2	20	61	5
	7.1%	8.4%	5.5%	4.5%	1.4%	3.4%	12.9%	22.7%

⑤ 防犯・防災の充実（防犯・交通安全対策の整備、防災対策の整備）

「どちらともいえない」が 58.3%と最も高く、次いで、「やや満足」の 15.8%、「やや不満」の 8.9%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	46	3.7%
やや満足	195	15.8%
どちらともいえない	722	58.3%
やや不満	110	8.9%
とても不満	70	5.7%
無回答	95	7.7%
サンプル数	1,238	100.0%



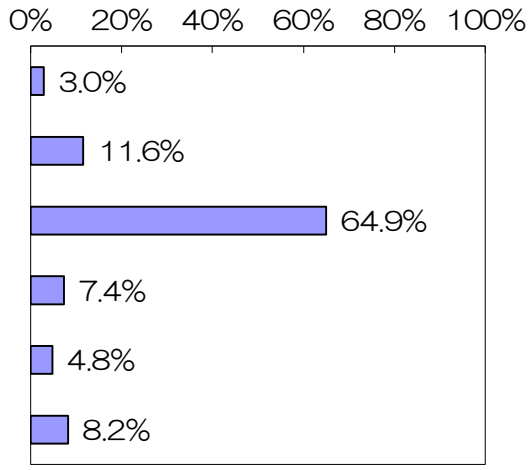
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	46	27	9	10	3	27	16	0
	3.7%	3.6%	3.8%	4.1%	2.0%	4.5%	3.4%	0.0%
やや満足	195	134	31	30	21	77	93	4
	15.8%	17.7%	13.1%	12.3%	14.2%	12.9%	19.7%	18.2%
どちらともいえない	722	433	137	152	99	365	248	10
	58.3%	57.1%	57.8%	62.6%	66.9%	61.3%	52.4%	45.5%
やや不満	110	66	32	12	16	56	37	1
	8.9%	8.7%	13.5%	4.9%	10.8%	9.4%	7.8%	4.5%
とても不満	70	31	15	24	6	45	17	2
	5.7%	4.1%	6.3%	9.9%	4.1%	7.6%	3.6%	9.1%
無回答	95	67	13	15	3	25	62	5
	7.7%	8.8%	5.5%	6.2%	2.0%	4.2%	13.1%	22.7%

基本目標２　自立と社会参加を進めるために

⑥ 余暇活動の充実（レクリエーション・文化活動等の振興）

「どちらともいえない」が 64.9%と最も高く、次いで、「やや満足」の 11.6%、「やや不満」の 7.4%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	37	3.0%
やや満足	144	11.6%
どちらともいえない	804	64.9%
やや不満	91	7.4%
とても不満	60	4.8%
無回答	102	8.2%
サンプル数	1,238	100.0%

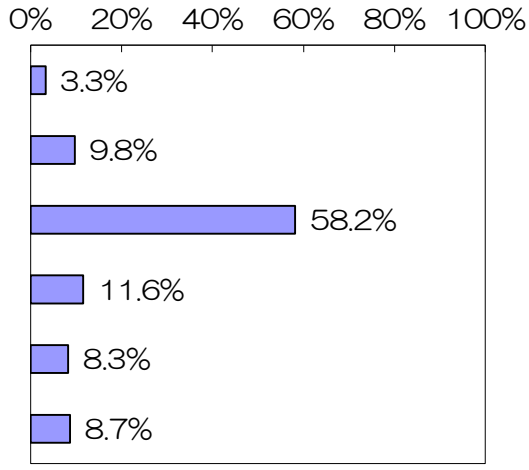


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	37	20	10	7	1	24	12	0
	3.0%	2.6%	4.2%	2.9%	0.7%	4.0%	2.5%	0.0%
やや満足	144	92	29	23	18	57	65	4
	11.6%	12.1%	12.2%	9.5%	12.2%	9.6%	13.7%	18.2%
どちらともいえない	804	495	150	159	106	399	288	11
	64.9%	65.3%	63.3%	65.4%	71.6%	67.1%	60.9%	50.0%
やや不満	91	47	26	18	14	49	27	1
	7.4%	6.2%	11.0%	7.4%	9.5%	8.2%	5.7%	4.5%
とても不満	60	27	9	24	6	45	8	1
	4.8%	3.6%	3.8%	9.9%	4.1%	7.6%	1.7%	4.5%
無回答	102	77	13	12	3	21	73	5
	8.2%	10.2%	5.5%	4.9%	2.0%	3.5%	15.4%	22.7%

⑦ 就労支援の充実（一般就労の充実・促進、福祉的就労の充実）

「どちらともいえない」が 58.2%と最も高く、次いで、「やや不満」の 11.6%、「やや満足」の 9.8%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	41	3.3%
やや満足	121	9.8%
どちらともいえない	721	58.2%
やや不満	144	11.6%
とても不満	103	8.3%
無回答	108	8.7%
サンプル数	1,238	100.0%

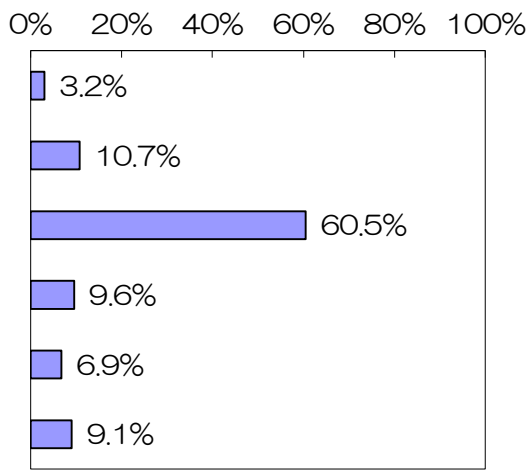


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	41	21	8	12	3	25	13	0
	3.3%	2.8%	3.4%	4.9%	2.0%	4.2%	2.7%	0.0%
やや満足	121	69	26	26	9	65	43	4
	9.8%	9.1%	11.0%	10.7%	6.1%	10.9%	9.1%	18.2%
どちらともいえない	721	474	141	106	99	317	293	12
	58.2%	62.5%	59.5%	43.6%	66.9%	53.3%	61.9%	54.5%
やや不満	144	64	34	46	24	94	25	1
	11.6%	8.4%	14.3%	18.9%	16.2%	15.8%	5.3%	4.5%
とても不満	103	43	17	43	10	77	16	0
	8.3%	5.7%	7.2%	17.7%	6.8%	12.9%	3.4%	0.0%
無回答	108	87	11	10	3	17	83	5
	8.7%	11.5%	4.6%	4.1%	2.0%	2.9%	17.5%	22.7%

⑧ 自立支援の推進（社会的自立の推進）

「どちらともいえない」が 60.5%と最も高く、次いで、「やや満足」の 10.7%、「やや不満」の 9.6%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	39	3.2%
やや満足	133	10.7%
どちらともいえない	749	60.5%
やや不満	119	9.6%
とても不満	85	6.9%
無回答	113	9.1%
サンプル数	1,238	100.0%

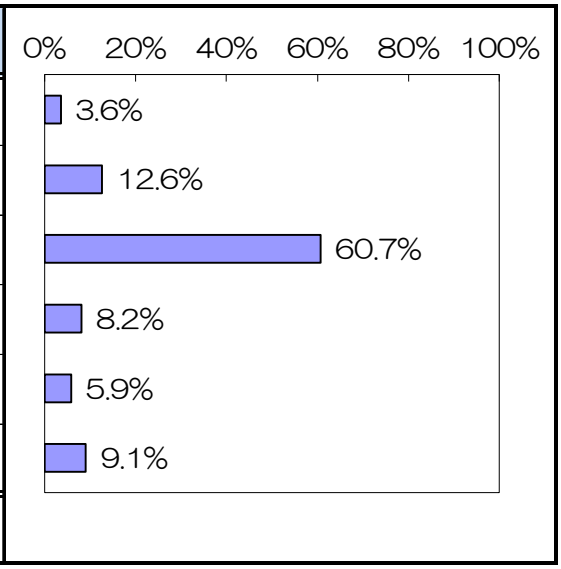


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	39	19	7	13	1	24	14	0
	3.2%	2.5%	3.0%	5.3%	0.7%	4.0%	3.0%	0.0%
やや満足	133	76	25	32	13	65	50	5
	10.7%	10.0%	10.5%	13.2%	8.8%	10.9%	10.6%	22.7%
どちらともいえない	749	495	136	118	99	349	289	12
	60.5%	65.3%	57.4%	48.6%	66.9%	58.7%	61.1%	54.5%
やや不満	119	49	34	36	21	70	27	1
	9.6%	6.5%	14.3%	14.8%	14.2%	11.8%	5.7%	4.5%
とても不満	85	31	19	35	10	64	11	0
	6.9%	4.1%	8.0%	14.4%	6.8%	10.8%	2.3%	0.0%
無回答	113	88	16	9	4	23	82	4
	9.1%	11.6%	6.8%	3.7%	2.7%	3.9%	17.3%	18.2%

⑨ 教育・療育支援の充実（家庭・地域における早期支援体制の充実、療育支援体制の充実、教育体制の充実）

「どちらともいえない」が 60.7%と最も高く、次いで、「やや満足」の 12.6%、「やや不満」の 8.2%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	44	3.6%
やや満足	156	12.6%
どちらともいえない	751	60.7%
やや不満	101	8.2%
とても不満	73	5.9%
無回答	113	9.1%
サンプル数	1,238	100.0%



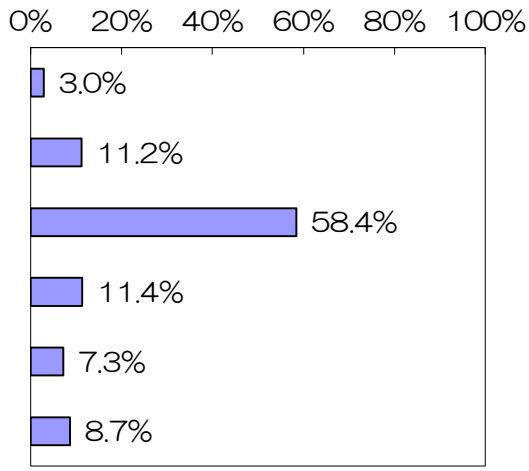
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	44	22	15	7	8	22	14	0
	3.6%	2.9%	6.3%	2.9%	5.4%	3.7%	3.0%	0.0%
やや満足	156	88	45	23	30	66	57	3
	12.6%	11.6%	19.0%	9.5%	20.3%	11.1%	12.1%	13.6%
どちらともいえない	751	491	115	145	67	382	290	12
	60.7%	64.8%	48.5%	59.7%	45.3%	64.2%	61.3%	54.5%
やや不満	101	38	32	31	31	53	15	2
	8.2%	5.0%	13.5%	12.8%	20.9%	8.9%	3.2%	9.1%
とても不満	73	29	18	26	10	52	11	0
	5.9%	3.8%	7.6%	10.7%	6.8%	8.7%	2.3%	0.0%
無回答	113	90	12	11	2	20	86	5
	9.1%	11.9%	5.1%	4.5%	1.4%	3.4%	18.2%	22.7%

基本目標３　ともに支えあうために

⑩ 障がい者理解の促進（福祉に関する教育の推進、啓発活動の充実、相互理解・相互交流の推進）

「どちらともいえない」が 58.4%と最も高く、次いで、「やや不満」の 11.4%、「やや満足」の 11.2%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	37	3.0%
やや満足	139	11.2%
どちらともいえない	723	58.4%
やや不満	141	11.4%
とても不満	90	7.3%
無回答	108	8.7%
サンプル数	1,238	100.0%

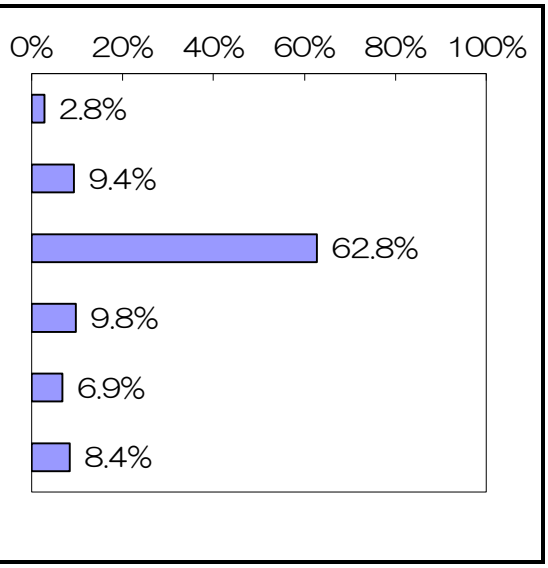


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	37	23	7	7	1	18	17	1
	3.0%	3.0%	3.0%	2.9%	0.7%	3.0%	3.6%	4.5%
やや満足	139	92	31	16	18	55	64	2
	11.2%	12.1%	13.1%	6.6%	12.2%	9.2%	13.5%	9.1%
どちらともいえない	723	468	127	128	91	340	279	13
	58.4%	61.7%	53.6%	52.7%	61.5%	57.1%	59.0%	59.1%
やや不満	141	68	35	38	27	82	31	1
	11.4%	9.0%	14.8%	15.6%	18.2%	13.8%	6.6%	4.5%
とても不満	90	27	24	39	9	74	7	0
	7.3%	3.6%	10.1%	16.0%	6.1%	12.4%	1.5%	0.0%
無回答	108	80	13	15	2	26	75	5
	8.7%	10.6%	5.5%	6.2%	1.4%	4.4%	15.9%	22.7%

⑪ 地域福祉の推進（地域での交流の促進、地域での支えあいの促進）

「どちらともいえない」が 62.8%と最も高く、次いで、「やや不満」の 9.8%、「やや満足」の 9.4%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	35	2.8%
やや満足	116	9.4%
どちらともいえない	777	62.8%
やや不満	121	9.8%
とても不満	85	6.9%
無回答	104	8.4%
サンプル数	1,238	100.0%

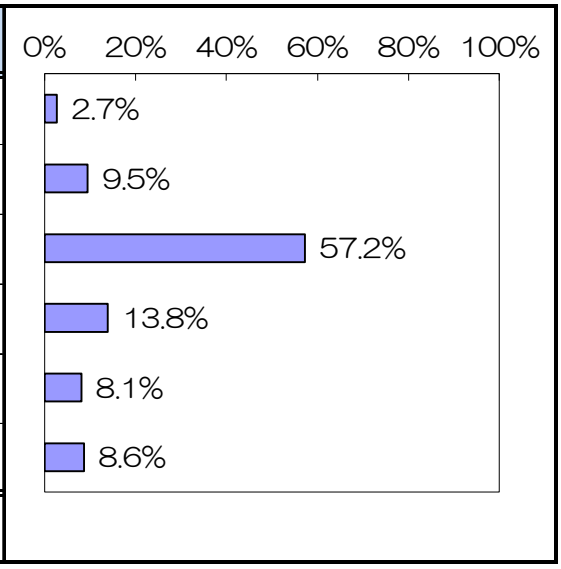


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	35	22	5	8	1	21	12	1
	2.8%	2.9%	2.1%	3.3%	0.7%	3.5%	2.5%	4.5%
やや満足	116	77	25	14	14	39	61	2
	9.4%	10.2%	10.5%	5.8%	9.5%	6.6%	12.9%	9.1%
どちらともいえない	777	496	133	148	97	378	289	13
	62.8%	65.4%	56.1%	60.9%	65.5%	63.5%	61.1%	59.1%
やや不満	121	57	36	28	22	67	31	1
	9.8%	7.5%	15.2%	11.5%	14.9%	11.3%	6.6%	4.5%
とても不満	85	27	25	33	12	66	7	0
	6.9%	3.6%	10.5%	13.6%	8.1%	11.1%	1.5%	0.0%
無回答	104	79	13	12	2	24	73	5
	8.4%	10.4%	5.5%	4.9%	1.4%	4.0%	15.4%	22.7%

⑫ 福祉を担う人づくり（人材の育成と確保）

「どちらともいえない」が 57.2%と最も高く、次いで、「やや不満」の 13.8%、「やや満足」の 9.5%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	34	2.7%
やや満足	118	9.5%
どちらともいえない	708	57.2%
やや不満	171	13.8%
とても不満	100	8.1%
無回答	107	8.6%
サンプル数	1,238	100.0%

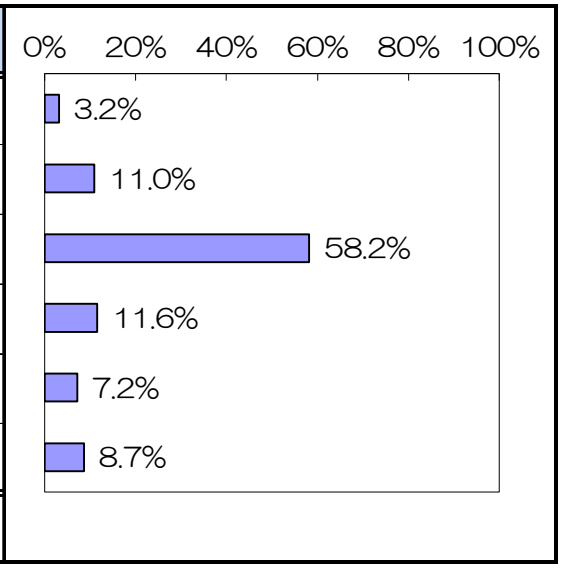


	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	34	22	7	5	1	20	12	1
	2.7%	2.9%	3.0%	2.1%	0.7%	3.4%	2.5%	4.5%
やや満足	118	85	20	13	14	40	61	3
	9.5%	11.2%	8.4%	5.3%	9.5%	6.7%	12.9%	13.6%
どちらともいえない	708	439	126	143	89	348	261	10
	57.2%	57.9%	53.2%	58.8%	60.1%	58.5%	55.2%	45.5%
やや不満	171	96	43	32	28	89	53	1
	13.8%	12.7%	18.1%	13.2%	18.9%	15.0%	11.2%	4.5%
とても不満	100	33	28	39	14	73	11	2
	8.1%	4.4%	11.8%	16.0%	9.5%	12.3%	2.3%	9.1%
無回答	107	83	13	11	2	25	75	5
	8.6%	10.9%	5.5%	4.5%	1.4%	4.2%	15.9%	22.7%

⑬ ネットワークの強化（関係機関の連携強化）

「どちらともいえない」が 58.2%と最も高く、次いで、「やや不満」の 11.6%、「やや満足」の 11.0%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
とても満足	40	3.2%
やや満足	136	11.0%
どちらともいえない	721	58.2%
やや不満	144	11.6%
とても不満	89	7.2%
無回答	108	8.7%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
とても満足	40	20	11	9	3	25	12	0
	3.2%	2.6%	4.6%	3.7%	2.0%	4.2%	2.5%	0.0%
やや満足	136	85	31	20	20	62	51	3
	11.0%	11.2%	13.1%	8.2%	13.5%	10.4%	10.8%	13.6%
どちらともいえない	721	452	134	135	96	340	273	12
	58.2%	59.6%	56.5%	55.6%	64.9%	57.1%	57.7%	54.5%
やや不満	144	78	33	33	20	77	46	1
	11.6%	10.3%	13.9%	13.6%	13.5%	12.9%	9.7%	4.5%
とても不満	89	37	16	36	8	68	12	1
	7.2%	4.9%	6.8%	14.8%	5.4%	11.4%	2.5%	4.5%
無回答	108	86	12	10	1	23	79	5
	8.7%	11.3%	5.1%	4.1%	0.7%	3.9%	16.7%	22.7%

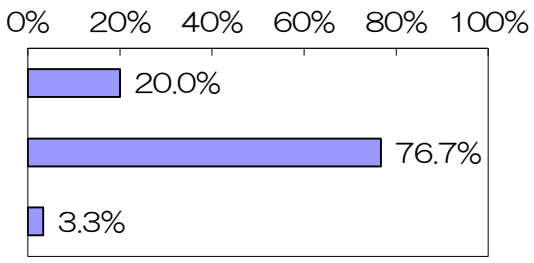
10. 日常生活自立支援事業と成年後見制度について

（１）日常生活自立支援事業の認知

問.「日常生活自立支援事業」について知っていますか。（○はひとつだけ）

「知っている」が 20.0%、「知らない」が 76.7%となっている。

選択肢	回答数	割合
知っている	96	20.0%
知らない	368	76.7%
無回答	16	3.3%
サンプル数	480	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	480	0	237	243	110	325	35	10
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	96	0	55	41	18	69	8	1
	20.0%	-	23.2%	16.9%	16.4%	21.2%	22.9%	10.0%
知らない	368	0	175	193	90	248	26	4
	76.7%	-	73.8%	79.4%	81.8%	76.3%	74.3%	40.0%
無回答	16	0	7	9	2	8	1	5
	3.3%	-	3.0%	3.7%	1.8%	2.5%	2.9%	50.0%

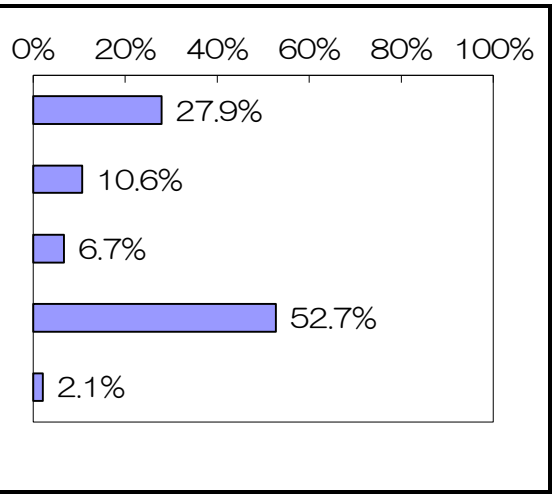
（２）日常生活自立支援事業の利用意向等

問.「日常生活自立支援事業」について、どう思いますか。（○はひとつだけ）

「わからない」が 52.7%と最も高く、次いで、「詳しく知りたい」の 27.9%、「利用したい」の 10.6%の順となっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「詳しく知りたい」割合が他の年齢区分と比べて高くなっている一方、65 歳以上では他の年齢区分と比べて低くなっている。

選択肢	回答数	割合
詳しく知りたい	134	27.9%
利用したい	51	10.6%
利用したくない	32	6.7%
わからない	253	52.7%
無回答	10	2.1%
サンプル数	480	100.0%



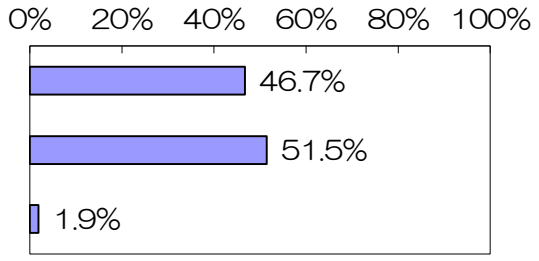
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	480	0	237	243	110	325	35	10
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
詳しく知りたい	134	0	83	51	50	76	6	2
	27.9%	-	35.0%	21.0%	45.5%	23.4%	17.1%	20.0%
利用したい	51	0	22	29	8	39	3	1
	10.6%	-	9.3%	11.9%	7.3%	12.0%	8.6%	10.0%
利用したくない	32	0	11	21	1	29	2	0
	6.7%	-	4.6%	8.6%	0.9%	8.9%	5.7%	0.0%
わからない	253	0	115	138	51	176	23	3
	52.7%	-	48.5%	56.8%	46.4%	54.2%	65.7%	30.0%
無回答	10	0	6	4	0	5	1	4
	2.1%	-	2.5%	1.6%	0.0%	1.5%	2.9%	40.0%

（３）成年後見制度の認知

問.「成年後見制度」について知っていますか。（○はひとつだけ）

「知っている」が 46.7%、「知らない」が 51.5%となっている。

選択肢	回答数	割合
知っている	224	46.7%
知らない	247	51.5%
無回答	9	1.9%
サンプル数	480	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	480	0	237	243	110	325	35	10
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	224	0	124	100	59	147	17	1
	46.7%	-	52.3%	41.2%	53.6%	45.2%	48.6%	10.0%
知らない	247	0	108	139	51	173	17	6
	51.5%	-	45.6%	57.2%	46.4%	53.2%	48.6%	60.0%
無回答	9	0	5	4	0	5	1	3
	1.9%	-	2.1%	1.6%	0.0%	1.5%	2.9%	30.0%

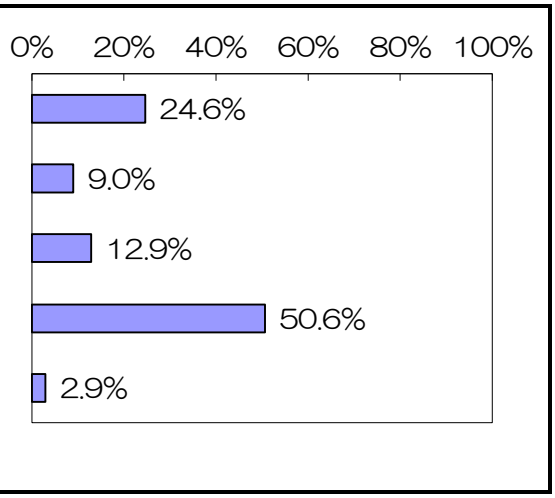
（４）成年後見制度の利用意向等

問.「成年後見制度」について、どう思いますか。（○はひとつだけ）

「わからない」が 50.6%と最も高く、次いで、「詳しく知りたい」の 24.6%、「利用したくない」の 12.9%の順となっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「詳しく知りたい」割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
詳しく知りたい	118	24.6%
利用したい	43	9.0%
利用したくない	62	12.9%
わからない	243	50.6%
無回答	14	2.9%
サンプル数	480	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	480	0	237	243	110	325	35	10
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
詳しく知りたい	118	0	74	44	45	67	6	0
	24.6%	-	31.2%	18.1%	40.9%	20.6%	17.1%	0.0%
利用したい	43	0	24	19	11	29	2	1
	9.0%	-	10.1%	7.8%	10.0%	8.9%	5.7%	10.0%
利用したくない	62	0	22	40	4	52	5	1
	12.9%	-	9.3%	16.5%	3.6%	16.0%	14.3%	10.0%
わからない	243	0	112	131	50	171	18	4
	50.6%	-	47.3%	53.9%	45.5%	52.6%	51.4%	40.0%
無回答	14	0	5	9	0	6	4	4
	2.9%	-	2.1%	3.7%	0.0%	1.8%	11.4%	40.0%

11. 障がい者への理解や配慮について

（１）障がいによる不自由

問. 日常生活を送る中で、障がいがあることが原因で何らかの不自由を感じたことがありますか。（○は３つまで）

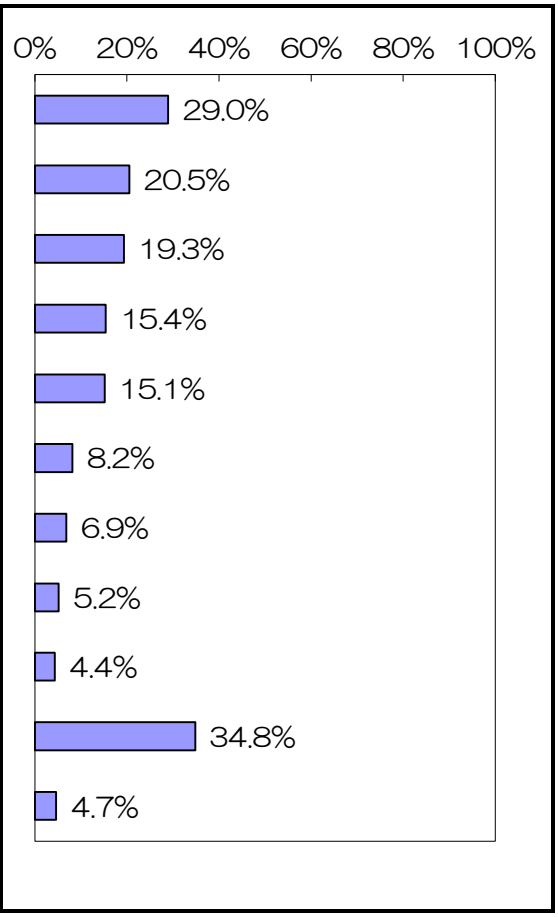
「特にない」が 34.8%を占めている。

具体的な障がいによる不自由については、「就職先の選択肢が少ない」が 29.0%と最も高く、次いで、「冷たい視線を感じる」の 20.5%、「就職・進学先が制限される」の 19.3%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者・精神障がい者の「就職先の選択肢が少ない」「イヤな言葉を言われる」の割合が身体障がい者と比べて高くなっている。また、知的障がい者の「冷たい視線を感じる」「就職・進学先が制限される」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下・18～64 歳の「就職先の選択肢が少ない」の割合が 65 歳以上と比べて高くなっている。また、17 歳以下の「冷たい視線を感じる」「就職・進学先が制限される」「イヤな言葉を言われる」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
就職先の選択肢が少ない	359	29.0%
冷たい視線を感じる	254	20.5%
就職・進学先が制限される	239	19.3%
イヤな言葉を言われる	191	15.4%
交通機関の利用が制限される	187	15.1%
住まいの場が制限される	101	8.2%
からかわれる	85	6.9%
入店・入場の制限をされる	64	5.2%
その他	54	4.4%
特にない	431	34.8%
無回答	58	4.7%
サンプル数	1,238	－



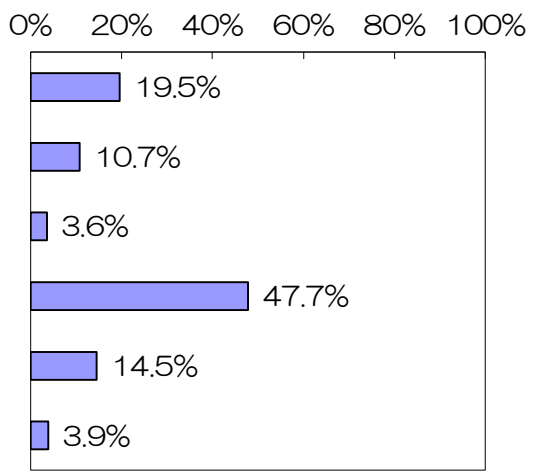
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
就職先の選択肢が少ない	359	149	96	114	62	245	47	5
	29.0%	19.7%	40.5%	46.9%	41.9%	41.2%	9.9%	22.7%
冷たい視線を感じる	254	105	85	64	60	140	50	4
	20.5%	13.9%	35.9%	26.3%	40.5%	23.5%	10.6%	18.2%
就職・進学先が制限される	239	96	75	68	69	142	24	4
	19.3%	12.7%	31.6%	28.0%	46.6%	23.9%	5.1%	18.2%
イヤな言葉を言われる	191	57	70	64	41	119	28	3
	15.4%	7.5%	29.5%	26.3%	27.7%	20.0%	5.9%	13.6%
交通機関の利用が制限される	187	125	32	30	17	85	84	1
	15.1%	16.5%	13.5%	12.3%	11.5%	14.3%	17.8%	4.5%
住いの場が制限される	101	69	19	13	9	53	39	0
	8.2%	9.1%	8.0%	5.3%	6.1%	8.9%	8.2%	0.0%
からかわれる	85	24	37	24	20	54	10	1
	6.9%	3.2%	15.6%	9.9%	13.5%	9.1%	2.1%	4.5%
入店・入場の制限をされる	64	45	16	3	9	36	19	0
	5.2%	5.9%	6.8%	1.2%	6.1%	6.1%	4.0%	0.0%
その他	54	32	5	17	3	38	13	0
	4.4%	4.2%	2.1%	7.0%	2.0%	6.4%	2.7%	0.0%
特にない	431	338	38	55	16	155	249	11
	34.8%	44.6%	16.0%	22.6%	10.8%	26.1%	52.6%	50.0%
無回答	58	45	5	8	0	14	40	4
	4.7%	5.9%	2.1%	3.3%	0.0%	2.4%	8.5%	18.2%

（２）障がいがある人への対応

問．外出先で誰かに支援を求めたときの対応はどうでしたか。（○はひとつだけ）

「援助を求めたことがない」が 47.7％と最も高く、次いで、「親切に応じてもらえた」の 19.5％、「わからない」の 14.5％の順となっている。

選択肢	回答数	割合
親切に応じてもらえた	242	19.5%
ときどき応じてもらえた	133	10.7%
めったに応じてもらえない	44	3.6%
援助を求めたことがない	591	47.7%
わからない	180	14.5%
無回答	48	3.9%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
親切に応じてもらえた	242	178	38	26	26	117	97	2
	19.5%	23.5%	16.0%	10.7%	17.6%	19.7%	20.5%	9.1%
ときどき応じてもらえた	133	73	35	25	20	65	45	3
	10.7%	9.6%	14.8%	10.3%	13.5%	10.9%	9.5%	13.6%
めったに応じてもらえない	44	17	13	14	5	32	7	0
	3.6%	2.2%	5.5%	5.8%	3.4%	5.4%	1.5%	0.0%
援助を求めたことがない	591	378	96	117	67	278	238	8
	47.7%	49.9%	40.5%	48.1%	45.3%	46.7%	50.3%	36.4%
わからない	180	78	48	54	30	91	53	6
	14.5%	10.3%	20.3%	22.2%	20.3%	15.3%	11.2%	27.3%
無回答	48	34	7	7	0	12	33	3
	3.9%	4.5%	3.0%	2.9%	0.0%	2.0%	7.0%	13.6%

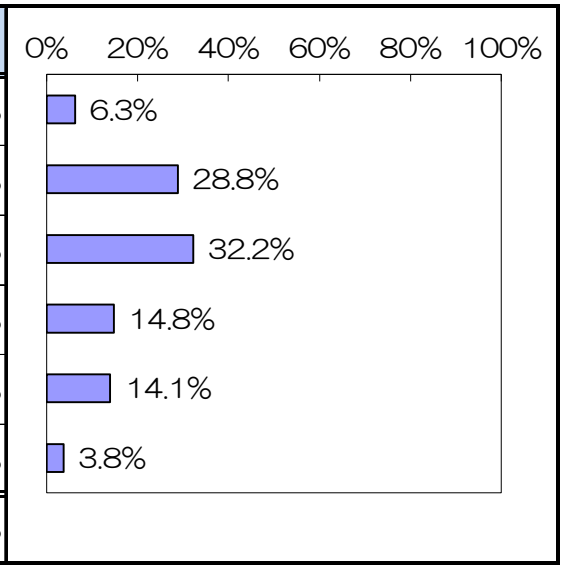
（３）障がいのある人への理解・配慮

問．障がい者は周りの人々に理解・配慮されていると思いますか。
（○はひとつだけ）

「どちらとも言えない」が 32.2%と最も高く、次いで、「まあまあ理解・配慮されている」の 28.8%、「やや理解・配慮されていない」の 14.8%の順となっている。

障がい種別でみると、精神障がい者の「理解・配慮されていない」割合が他の障がい種別と比べて高く、「やや理解・配慮されていない」と「理解・配慮されていない」の割合を合わせると、約５割となっている。

選択肢	回答数	割合
理解・配慮されている	78	6.3%
まあまあ理解・配慮されている	357	28.8%
どちらとも言えない	399	32.2%
やや理解・配慮されていない	183	14.8%
理解・配慮されていない	174	14.1%
無回答	47	3.8%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
理解・配慮されている	78	64	7	7	0	27	48	3
	6.3%	8.4%	3.0%	2.9%	0.0%	4.5%	10.1%	13.6%
まあまあ理解・配慮されている	357	272	47	38	34	144	174	5
	28.8%	35.9%	19.8%	15.6%	23.0%	24.2%	36.8%	22.7%
どちらとも言えない	399	247	75	77	50	183	156	10
	32.2%	32.6%	31.6%	31.7%	33.8%	30.8%	33.0%	45.5%
やや理解・配慮されていない	183	95	46	42	30	108	43	2
	14.8%	12.5%	19.4%	17.3%	20.3%	18.2%	9.1%	9.1%
理解・配慮されていない	174	46	56	72	34	121	19	0
	14.1%	6.1%	23.6%	29.6%	23.0%	20.3%	4.0%	0.0%
無回答	47	34	6	7	0	12	33	2
	3.8%	4.5%	2.5%	2.9%	0.0%	2.0%	7.0%	9.1%

（４）福祉やサービスについての意見（自由記述）

問．障がい者の福祉について、ご本人が考えていること、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

自由記述を内容で分類すると、「障がいへの理解、権利擁護、マナーについて」が 70 件と最も多かった。

※内容別の件数

内　　容	件数（件）
①　障がいへの理解、権利擁護、マナーについて	70
②　医療・福祉サービスの充実について	44
③　就労について	27
④　福祉行政について	24
⑤　地域の交流・インフォーマルサービス、居住環境について	20
⑥　障がい者手帳、障がい年金について	17
⑦　公共の施設・道路・店舗等の障がい者に配慮した設備・サービス	15
⑧　相談支援・アウトリーチについて	14
⑨　将来の不安について	13
⑩　本アンケート調査について	13
⑪　障がいがあることで受けられる各種優遇措置について	12
⑨　その他	57

※各回答内容

①　障がいへの理解、権利擁護、マナーについて（70 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	17 歳以下	周囲が見て分かる状態なら手助けができると思う（例えば、足を骨折している人にはエレベーターを譲るなど）が、だいたいの市民は多くの障害がある人を「何で困っている」ということはわからないと思う。
身体	18～64 歳	周囲の理解不足を改善する事は不可能だと感じた。個人の感想だが、宮崎はアットホームな感じが強いが、自分にとってはそのアットホームさが邪魔だと感じることも多かった。鉄のような無関心さの方が自立心が刺激されてありがたい。
身体	18～64 歳	障害者はある意味弱者です。人に頼らないといけないときもある。頼りたくなくても。でも無理をすると怪我などにつながる。こちらも、困ってるときははっきり助けてと言わないといけないし、周りの理解も必要かと思う。いつ誰が障害者になるか、可能性はあるのに他人事だと思っている。偏見をなくしたい。変な目で見る人がいる。買い物に行って小６の息子がマイバックに買ったもの詰めてるとき、じーっと見てるおばさんがいる。気にする必要はないが、普通のことだろう。別に変わったことではない。宮崎は、はっきり言って田舎だと思う。住みやすいけれど、理解がない気がする。
身体	18～64 歳	外部障害はわかりやすいが、内部障害は分かりづらい。せいさくについても、身近にないので評価がしづらい。

身体	18～64 歳	過去に就職した企業も自治体(公民館事務員)勤務時代は、恵まれた環境にあり、差別受けた事もなく、尊重されており、働き甲斐がありました。また、子供が小中学時代はPTA 活動に積極的に参加しました。人と触れ合い、楽しく有意義な活動が出来ました。今後は実家の両親が高齢になりますのでどこまで介護お手伝いサポート出来るのかがやや不安はありますが、経験してきた事を活かしながら、立派に子供達が就職し自活していってくれる事を切に願います。
身体	18～64 歳	障害者で今嫌なことは人が歩き方が違う事で何度も自分を見ること。買い物で店員さんが袋に入れてくれてるのに後ろでイライラしてるに人がいる。みんながいい人とは限らないけど、障害者はそういう態度に傷つく。
身体	18～64 歳	明日貴方も障害者になるかもしれない。そう思って親身に対応してほしい。
身体	18～64 歳	色々な手続きの際に、文字を読んで下さいや記入して下さいと言われるが、視覚障害者にはかなり難しい。本人のサインが必要と言われ、時間がかかる時がある。しかしながら、最近は、考慮してくれるようにはなって来ている。
身体	18～64 歳	もう少し本人の事想って、接してほしいです、好きで障害者なった訳じゃないし、結構パワハラ、モラハラ言われたけど、最低
身体	18～64 歳	電車でも、白杖をついてる人がいたら、席をかわるとか基本的な事がみんな欠けている気がする。優先席でありながら、本人は立っている状況だけど、みんなそれぞれ自分の事しか考えていない感じがする。こちらから声をあげないといけないのはなんかちがう気がする。もっと目に見えない障がい者に対して理解してもらえるともっと生きやすい世界になると思う。
身体	18～64 歳	見た目健常者が障がい者用の駐車場に停めると、嫌な顔をされる。特にお年寄り。自分の方が権利があるみたいなことを言われたことがある。その際、嫁が我慢して別な所に止めようと言って我慢する。このようなタチの悪いお年寄りが多くなっている。実際肩身が狭い。障がい者手帳を胸にぶら下げないといけないのか。
身体	18～64 歳	見た目では判別されにくい障害への理解が進むことを願います。HIV はカミングアウトしづらいです。隠していることに後ろめたさを感じ、孤独です。将来が不安です。高額な医療費にもかかわらず負担してもらえる制度に感謝しています。これがなければ生きていけません。ありがとうございます。
身体	18～64 歳	個人により理解の差が大きいように思います。
身体	18～64 歳	視覚障害は見た目では分からないので、首から下げるネームプレートなどで知らない人に目で見て分かるようにして欲しい。歩行の際の優先度を視覚障害者に譲るようなルールも決めて欲しいです。
身体	18～64 歳	身障者で車にマークを付けてない方に付けてもらいたい、健常者は身障者スペースに車を停めないでもらいたい。
身体	18～64 歳	私は聴覚障害者であるが、公共の場や病院では支援を求めれば援助して頂ける。しかし、日常生活の場で支援を求めるのはいささか勇気も必要で、困難と感じる、ヘルプマークを活用したいと思うが、一般には認知度も低く提示しても理解して頂けるか？不安しかない。せっかくヘルプマークを制作したのだから、広く一般に認知して頂けるよう推進やアピールをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
身体	18～64 歳	正しい理解を共有出来ていない事で周りの方からの親切がありがた迷惑になってしまう事があります。例えば、スロープの傾斜によってはそこを通るより、階段を昇ったほうが楽な場合があります。ですが、親切で案内されてしまうと断る事も難しく感じてしまう時があります。偉そうにペラペラと書いてしまってますが本当に私自身も今の状態になって、真剣に考えたり、感じたりしています。ですのでなかなか難しいとは思いますが相互理解が出来ていないのが現状だと思います。小学校等でちょこっと講演会を開く。とかではなくもっと日常的にと言いますか、身近に感じられるように授業として取り入れたり出来ると良いのかな？と思います。自分の周りには居ないからわからない。が無くなる事を願います。
身体	65 歳以上	車椅子なので身体障害者トイレしか入れないが、ずっと待ってると出て来た人は健常者と思われる人だった時悲しい。誰でもどうぞと書いてあるのでしょうがないと思う反面､間に合わなかったらと非常に心配です
身体	65 歳以上	障がい者でもないのに、お店の車椅子駐車スペースに平気で車を駐車する人がいる。やめてほしい

身体	65 歳以上	一言で障がい者と言われても、目に見える障害と目に見えない障害があるので、一概に障がい者と言われても知らない人には理解されないこともあるから、その時点で障害自体に大きな差別が有るように感じる
身体	65 歳以上	社会全体でもっともっと障害者に理解を示しやさしくして欲しいなー！今回のパラリンピックは、その足がかりになったのではないでしょうか。
身体	65 歳以上	色々な形の障がい者がおられるので、一概には、当てはまらないかもしれませんが、まだ、日本では、偏見を持った人が多いと感じます。
身体	65 歳以上	障害者の苦悩は健常者には、理解できないと思う
身体	65 歳以上	聴覚障害は、見た目は、健康な人に見えるので誤解されやすい。はんばな障害ゆえに辛い思いを、している。
身体	65 歳以上	障害を持っている人に対する目配り気配りが宮崎県民は欠けていると思います。
身体	65 歳以上	日常生活に特に見た目不自由していない為、普通にパートとして働いております。（無理をすると痛みが出ます）障がい者手帳を持っておりますが、事業所にはその事を言っておりません。言えばどの様に思われるか不安だからです。まだまだ障がい者手帳を持ってるだけでも偏見がある様に思います。
身体	65 歳以上	障害に対して援助を決めつけるのではなく、個人の性格、育ちとかで援助の仕方は違ってくるので障害はもちろんですが、個人を理解して何を支援するか決めて欲しいと思います。出来るだけ自分の出来る事は自分でしようとしていますが、年々つらくなっています。
身体	65 歳以上	パラリンピックのアスリートには心の底から感動致しました。高齢化社会では全員が障害者となる時代です。当該者とならねば本当の支援の必要内容もわからないのであればどうか一番の当事者の声を行政の力ですくいあげむくいて下さる様お願いします。「声」には真剣に対応して下さい。
身体	65 歳以上	「障害者に対する一般人の対応」先ず当たり障りのない態度、有事の時の見て見ぬ振り。
身体	65 歳以上	視覚障がい者には白杖が使われているように聴覚障がい者には赤と緑の手袋を利用するようにしたらどうでしょうか。赤→あなたの言っていることが聞こえません。緑→やっと聞こえます。
身体	65 歳以上	・障害当事者も啓発しないと、健常者に理解してもらえないと思う。　・教育の場（小学生ぐらいの頃から）でも障害者への理解が必要だと思う。
身体	65 歳以上	障がい者という事であまりかまってほしくないと思う！障がいの程度もあり、人によりー。
身体	65 歳以上	障がい者に対して、手帳やヘルプやわからないことを教えていただいて感謝しています。アンケートも書面でもできますのでありがとうございます。手続きもていねいにしていただいてありがとうございます。
身体	65 歳以上	スーパーに行った時障がい者でない車が時々見ます。
身体	65 歳以上	未だに障害者と書いてあるものが多い。何故「がい」でなければいけないか、あらゆる機会をとおして周知徹底をしてもらいたい。ＴＶ等で字幕にでてくるのはもってのほかだ。
知的	17 歳以下	身近に障がい?がいない人は、理解できないのであきらめている
知的	17 歳以下	まだまだ理解が足りないと感じます。身体的障がい者と精神的障がい者とでは違うと思いますが子供が３人共に障がい者です。三者三様で同じ指示が通るわけではありません。親の力だけではどうにもならない事もあります。親も本人も悲しい思いをする事が多々あります。心ない言葉を言われたり、怒られたりと。まだまだ理解者が少ないと感じます。健常者と障がい者の区別は必要でしょうか??１人の人間に変わりはないので、個人個人の特性に寄り添って暮らせる世の中になってほしいと思います。宮崎が最先端で広がってくれる事を願います。
知的	17 歳以下	冷たい視線はものすごく痛いです。何も悪いことしてないのにといつもおもいます。障害があるだけで白い目で見ないでほしいです。親の私も一生懸命育てているんです。
知的	17 歳以下	元旦那の母から「障がい者やろ。遊びに来るな。汚い」と言われた。母親に伝えたら、離婚してくれて、今は平和に暮らしている。父親からは、デブとかメガネと言われていた。
知的	18～64 歳	偏見なめで見ることをやめてもらいたい。

知的	18～64 歳	目に見えない障害者への支援があまりないように感じる。こちらから頼らない限り何もない事が残念。
知的	18～64 歳	差別、偏見無くして下さい。
知的	18～64 歳	障害を馬鹿にしたり明らかに態度を変えたりする人もいるので付き合い方がわからなくなる時があります。差別がないようにしてほしいがやはり分けられている気がします。
知的	18～64 歳	本人の言葉の代筆ですが、親が死んだら、本人の生活の保障を市として考えてほしいです。身体・頭・精神、どの一つが欠けても生きづらいですが、知恵がない分、だまされ、生きぬくこともできないから、理解を広げてほしいです。
精神	17 歳以下	いじめられてた　それが怖くて学校が嫌だ 支援クラスから大きな学級に行きたくない
精神	17 歳以下	障がいを YouTube やブログなどで発信して知ってもらい、励ましてもらったり、時には注意して貰ったりして楽しく生きて欲しい！
精神	18～64 歳	偏見や物珍しい視線や理解ある環境。
精神	18～64 歳	身体障害、知的障害については理解が進んでいると思うが、精神障害については見て判断できないのか理解されづらい印象が強い。普通に〇〇する、といった言葉が自分にはなかなか難しい事を伝えづらいし、理解を得られにくい。障害という言葉よりも特性という言葉が当てはまる事が多いと思う。
精神	18～64 歳	高次脳機能障害をもっと啓発して欲しい！
精神	18～64 歳	障害は本人にあるのではなく社会や他の人との関係性で起きる。たがら教育が大切。学校や職場で精神障害者とそうと診断されてない方がふれあう機会、時間を重ねる機会を作ることが大切。
精神	18～64 歳	健常者目線が多いと思う。
精神	18～64 歳	日本は障害者に冷たい国だ。地域からの理解もない。死にたいと毎日思っている。
精神	18～64 歳	どこに行けば障害者の情報が得られるのか知らず、今回初めて知る事が出来た。保健福祉センターに行ってみて知識を広げたい。職場で不遇を受けていても、それを言葉にしてうまく伝える事が出来ず、相談した相手には面倒な障害者と扱われ、不遇な扱いをする方は周りを味方につけていて、相談する程周りが冷たくなった。精神障害者で一見健常者なので、健常者のような判断力がなかったり上手く会話できない所が、周りには理解されずいいように扱われてしまう
精神	18～64 歳	精神障害、内部障害については、理解してもらうことが、困難な面がある。特に、精神障害については、怠け者のイメージが払拭されない。いくら、行政の広報、各種団体の働きかけがあっても、精神障害者は腫れ物扱いされる。表面上は、皆そんなそぶりはださないが、
精神	18～64 歳	個人的配慮が足りないと思います。
精神	18～64 歳	「障がい者は周りの人々に理解・配慮されていると思いますか」の問いは、自分の思ってる回答がなかったのでどちらとも言えない。にしました。個人的に感じるのは、みなさん配慮をしていただける親切な方が多いように感じています。ただ、病識などの理解についてはあまり知らない方の方が多いように感じています。（個人的にはこれは仕方がないのかな。と思っています）
精神	18～64 歳	僕達障害者に誹謗中傷や嫌がらせをやめてほしいです。また、よりそって親身にそうだんしてもらいたいです。
精神	18～64 歳	私の場合は障害者ぼくないようにして欲しいと皆に思われていて大変です
精神	18～64 歳	偏見による村八分のような扱いを受けています。服薬をきちんと続けて異常なことがなくても、プライバシーが地域で筒抜けです。何もしていないのににらまれたり、挨拶を無視されたりしています。宮崎県民の性質かもしれませんが、自分と違うものを排除しようとする考えが強いですね。横浜市にいた時は、障害のことを話しても受け入れられて普通に接してくれる人ばかりだったので、違いに驚きました。もっと多様性を受け入れる考えが必要ではないかと思います。今の地域はとても排他的で苦痛を感じるので引っ越しを考えています。

精神	18～64 歳	市役所の福祉課の人や、Ａ型事業所などで、嫌な思いをした。発達障害、精神障害に対して、知識がなく、偏見の目で見ている。市役所に行く事自体が、不安。事業所のスタッフの言動で、何度も、リスカ、オーバードーズをするまでになった。事業所のスタッフが、あいつは、ダメだとか、使えないなどの発言をしていた。監査や、見学が入った時だけ、スタッフの態度が違った。今も、トラウマになっていて、パニック発作などの原因となっている。見た目では、分かりにくい障害なので、すごく傷つけられる事が、多いが、誰も本気では、理解しようとはしてくれない。
精神	18～64 歳	精神疾患とは別で両下肢も悪く治療しているが、松葉杖を利用しているが、以前健康な方から足を引っ掛けられたり、松葉杖を蹴られたりしたことがあり辛かった。
精神	18～64 歳	障がいをすべて理解してほしいとは思っていませんが、日常生活を送る中で精神障がい?には見えない壁があります。健常者と比較した時、自分にできないことがあると知った時は本当に悲しい気持ちになります。統合失調症はまだまだ偏見があり胸を張って周りの人に言えたことがありません。
精神	18～64 歳	・発達障害の誤解をやめて正しく理解をしていただきたい。良いところ、出来るところを増やしたり、出来ないことも有りますが軽減したり、パソコンなどのアイテムを使うことでできる作業（仕事）も増やせたりできると私は思います。出来ないこと（苦手な事）もありますが、普通に出来る事（得意な事）もあります。課題を整理してから、出来る事は何か　〇できないことに対しての工夫や訓練　〇職場での理解宮崎市で進めていただきたい。
精神	18～64 歳	・精神的に追いつめて何が支援なのかよく考えてほしい。 ・市全体で、暴力、イジメ、差別をつくらないよう、保育園前からもっと教育するべきで、見守り、強化、事務所などのぬきうち見学など、学校なども。
精神	18～64 歳	ヒトラーの時代、精神障害者がユダヤ人同様に社会に不要なものとして殺りくされた歴史がある。遺伝に有能なものしか生きていていいと認めない優生思想の考えではなく、弱い者は、強く生まれついたものが守ってあげて、弱い人、貧しい人、身体や精神の不自由な人、恵まれていない人、そのような人たちも安心して暮らせて、生まれてきた喜びを感じ、健常者と同じ位「幸せだ。」と実感していっしょに生きていける、誰でも平等な社会、そのような社会こそが真に強くて、発展していく、ＳＤＧｓな本当に明るい未来が待っている。ひいては、強い方の人達にも、幸福、利をもたらす健全な社会であると思う。昭和の時代の、戦争中の暗い、悪い歴史は二度とくり返さない行政であってほしいと思う。個人も行政もちょっと普通と違っているとすぐに差別とか排除に走るのではなく、バラエティーに「寛容な」社会を目指してほしい。最後に、私達当事者に、市政について発言、意思表示の機会を与えてくださって、感謝致します。
精神	18～64 歳	私のうつ病の原因は　〇母子家庭でオーバーワーク　〇宮崎市の特別支援教育が進められなかった中での子育てや、情報を求めて、お金もないのに食費を割いて、自分の体を休めないといけない公休を使い、講演会や勉強会、そして理解啓発のために地域福祉コーディネーターの連絡会と活動をせざるをえなかったこと。（栄養や休養をとれていなかったこと）［学校や福祉側にどれだけお願いをしても、理解啓発をしてもらえなかったことは、残念です］　〇母子家庭であることでの、職場や地域での差別やパワハラは、行政におられる方には想像もつかないでしょうが、かなりひどかったです。介護士でしたので、ボランティア残業は当たり前だったです。子どもが一人、わたしの帰りを寒い時には暖房もつけず、暑い時にはびっしょり汗をかいてお腹をすかせて待っていたわけです。母親のストレスは半端ありませんでした。又、家に持ち帰る仕事もありました。事業主からの脅迫的な言葉も幾度となくありました。例えば「ここを辞めたら、僕がいろいろ言いふらして宮崎市でどこにも働けないようにするから」とか。私が仕事を辞められたのは、その半年前に相談員がそううつ病になり労災扱いになったこともありました。地区も偏見強いので入れません。　私が社会復帰するには、〇学校からいじめられなくなった（卒業したことで）ので、私は。少しは精神安定していますが、PTSD になっています。話題が学校や子どもの話になるとフラッシュバックして動けなくなります。体調が万全ではありません。また、介護士時代に二人介助を一人でさせられたことや、ケガの後遺症で腰や右ひざを治療していますが、重いものを持ったり、歩き回ることができません。また、エコノミー症候群もありますから、小さな一歩、スモールステップで就活が進められるように望みます。 ＊生きている限り、何かお役に立ちたい気持ちはなくならないと思います。これが切れた時が自殺だと思います。

精神	18～64 歳	精神的な障害は目に見えないので、周りの方たちに理解してもらえない事が多く、わかってもらえない苦しみがある。
精神	18～64 歳	依存症に関しては、「ダメ！絶対教育」と思考・固定概念の完全撤廃を求めます。「一度間違ったら人生終わり思想」や「自己責任論」には希望がありません。間違っても、障害をおっても、自分らしく生きられる権利を奪われず、リカバリー出来る社会になっていったら良いと思います。「自分は健常者だと思い込んでいる人々」の中には、霊的に病んでいる方々も多く、その方々を障害がある範疇に入れれば、実際に福祉サービスを必要としている障害者と合わせて、決してマイノリティな存在の分野ではないと感じています。霊的に病んでいる方々が策定したシステムは、やはり病んでいて有効でないものになっている場合もよくあります。策定される方々に求められるのは、第一に霊的さ（スピリチュアリティ）が健全であることだと思います。障害者として診断されている、とか、逆に〇〇の権威・専門家であるとか、肩書きや診断内容に惑わされることなく、本質を見抜ける方々に策定をお願いしたいと思います。専門家と名乗る人々が、まことしやかに間違った情報やアドバイス、コメントを晒すことが目立つ時代になっており、当事者の真理の声がかき消されていくのが実情です。当事者の声をきちんと聞いていただければと思います。
精神	65 歳以上	精神デイケアがある事はとても良いサービスだと思います。病院の先生は、もう少し話を理解してほしいと思います。薬の話だけで、薬さえあげればいいような感じがして、不親切に思える時があります。病院によっては、障害がある事をよく理解して、薬を飲みまちがえない様に、Ns の方がたまに親切に心配してくださり救われました。理解するまでに時間がかかるので、思いやりとやさしさを看護師さん達は持ってほしい。　訪問看護はあらさがしみたいに思えたりする。もう少し本人の事を信じてほしいし、やさしさがほしい。疑問に思っていらっしゃる事は、直接聞いてほしい。推理で物事を決めないでほしい。本当の事を知ってほしいです。
精神	65 歳以上	障害者の福祉サービスで、文化のつどいの時の DVD を録画して下さったときは、とてもうれしく思いました。お手数を加えて下さった事には感謝致します。ただ DVD の中には、赤い色のオレンジで終了のもじだけが入った DVD を下さった時には、バカにされていると感じました。表装は写真がついていてとてもきれいだったのに、中を見てびっくりしました。これが世間なのかとがっかりしました。今、中身を探してもらっています。　お金を持っている人と生保では差別を感じます。サービスにも誠意がほしいものです。色々と書きましたが、まだまだ精神障がい者に対する偏見は根強いものがあると感じています。

②　医療・福祉サービスの充実について（44 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	17 歳以下	障害のある人の数に対し通所、入所含め利用出来る場所が足りない。障がい、介護度が高いと尚更少なく家族の負担が大きく保護者の就労も難しい。
身体	17 歳以下	働く女性も増えているので、送迎サービスなど充実してほしい
身体	17 歳以下	もっとこどもの福祉に力を入れて欲しい。色々障害を抱えていても、能力は優れています。ぜひ、改善をお願いしたいです。
身体	18～64 歳	今居る施設もですが、生活弱者の居住場所が市街地から遠く、日常生活が不便。健常者より何事においても時間がかかるのだから、自治体で利便性の良いに、土地（場所）を確保して、そこに集約するとか、スーパーと提携して、買い物しやすくするとかして欲しい。
身体	18～64 歳	親亡き後の事が一番心配なので施設の見直しもしくは安心して過ごせるホームが是非必要なので早いうちに作られる事を願いたいです
身体	18～64 歳	ショートステイの施設が少ない。
身体	18～64 歳	公的な障がい者施設の対応は他人事で本気で問題を解決しようとする姿勢が全く見られず相談に行ってもほとんど役に立たない
身体	18～64 歳	看護師の数が少なく激務で心配

身体	18～64 歳	介護サービスを活用させて頂いてますが、「〇〇はしません?出来ません。」が多く、結局自分自身でやらねばならず、キズを悪化させてしまう。キズの関係で、普通に日常生活が出来ず、働け無いので金が無く、掃除屋さんにお願い出来無いから介護サービスを頼んでいるのですが???。それを言う事は出来無いので、結局手付かずの状態です。通院?役所?買い物は勿論、ゴミ出しまで、車を使わなければ生活が出来無いので、車が使え無いと、生活が出来ません。
身体	18～64 歳	ガイドヘルパーの利用時間が足りない
身体	18～64 歳	就労支援施設の特に男性のサービス管理者はもっと教育するべき、そういう立場仕事を遂行できない不適切な人物が多い特に 40 代の親会社の小判鮫みたいな人の施設は危険です。
身体	18～64 歳	入浴回数が少ない
身体	18～64 歳	通勤通学に福祉サービスが使えない。精神疾患や内部疾患に関して理解されづらく、甘えと受け取られてしまうことがある
身体	18～64 歳	身体障害者と精神障害者が同じフロアで働くためには、就労支援事業所がきめ細かな対応をひとりひとりに行ない、トラブルになった時に責任能力の問題で精神障害が擁護されることなく平等に対応してもらえる事が重要。それが意思疎通の問題で出来ないのであればフロアを分けるべき。障がい者は皆自身の障がいと向き合って日々を過ごすことで精一杯です。市から就労支援事業所に訓練給付費が支払われているが、代理受領の書面だけで明細書を貰えない。訓練内容とそれに見合った金額が請求され、支払われているかわからない。不正がないか検証も出来ない。自家用車が運転出来るのに B 型就労支援者は送迎可能で、白杖がないと歩けない介護も必要とする視覚障がい者の A 型就労支援者は送迎がないのは不可解。送迎は A、B の垣根を無くすべき。
身体	18～64 歳	100%の満足なぞあり得ないことなのでサービスを提供する側も、受ける側も過剰な期待、情熱を持たないほうがよろしいかと思います。今般起こりました、訪問診療医射殺でも、あんまりな依存心にあきれました。どうしたって 92 にもなろう親が亡くなることは、自然なことで、それは理解しないままにいたずらに年齢を重ねた息子には、つける薬もない。動機の理解などしなくて、即焼却処分にしてほしいですね。
身体	18～64 歳	在宅で、生活しているのですが、家族が癌になり、一人で生活出来ない私はとても困りました。入院施設も受け入れなし、施設も探したけど、受け入れなし、泣きたい位有りました。 やっと、相談員さんが、見つけて、下さり、在宅で、ヘルパーさんの手助けで、主人が入院している間何とか、暮らせました。もう、私達夫婦も年を取り何時主人が悪くなるか分からない状態です。不安でたまりません。 配達してくれる、コープに頼んだら、タクシーでも、行けないのですかと、行けないから、御願いしてるのにと、涙が出ました。一番人が困ってる時、世の中冷たい言葉、情けなかったです。
身体	18～64 歳	装具を着けていますが、修理や作り替えの制限があり、とても不自由を感じています。装具が無いと歩けなく、必要だから作り替えや、修理をお願いするのですが、手続きが終わらないと修理が始められない、かと言って、その書類が届かないのが遅い、など、とても困ることがありました。補助が出る為、仕方ないのかもしれないですが、先に支払って、後から請求することができればいいのにと思いました。作り替え時期も、自治体で違うみたいですが、1 年半という縛りも、不便に思います。毎日装具をつける為、傷みも早く、作り替えの時期も一年半未満であれば、自己負担を増えしてもいいので、作れる選択肢を増やしてほしいと思います。医療具になるので、自費で作るには高額であり、補助はとても有難いのですが、もう少し、利用する側のことを考えてもらえたらいいなと思います。
身体	18～64 歳	日常生活に必要なニーズに合った機器を認定して欲しい就労時の通勤支援の強化ヘルパーの人数が少ない
身体	65 歳以上	外出、外泊を認めてほしい。
身体	65 歳以上	施設を利用したくても場所が遠く近辺にあれば外出機会も増えるのかなとは思います
身体	65 歳以上	施設入所にあたって、職員から不当な扱いを受けた経験があるので、職員人材の育成、増員をお願いしたい。また、不当な扱いを訴えると他の職員が信用してくれず改善がなかったことから施設入所に関して恐怖感が拭えない
身体	65 歳以上	施設の中での生活で話し相手もいなく自分の好きな趣味も生活の中で何もできなく考えています。字を書く事もカラオケが好きですが、施設の中ではできない。白内障の手術をした後視力もでなくて目に不自由しています。

身体	65 歳以上	高齢障害者が経済的にも安心して生活出来る相談、支援。
身体	65 歳以上	在宅介護に移行すると極端にリハビリが減ってしまうのが家族の負担にもなっている。病院並みに毎日リハビリを受けたい
身体	65 歳以上	本題とは主旨が違いますが、思いを記入させて頂きます。福祉については、色々と支援を頂き感謝しています。私は左目は全く見えず、右目だけの低い視力での生活ですので日常生活の不便さは結構あります。これ以上進行しない様にと病院側も色々と治療に努力して頂いています。３年前に、３度目の退院の時、１人暮らしは絶対に駄目と言われ、息子の所に行く段取りをしていた時近隣の友人が私が見るから連れて行かないでと言ってくれまして、その誠意を一応受け入れる事に決意し、包括センターの方と三者会談を行ない、友人の食事支援を受ける事２カ月、段々と投薬の効果が出て何とか自立出来る様になり今日に至っています。こう言うケースは初めてとケアマネの方も言ってくださいました。これが民間の福祉と言えるのではないかと友人に感謝でいっぱいです。遠くの親類より近くの他人と昔の人が言ってますが、全くその通りの体験をさせてもらいました。
身体	65 歳以上	障害者に対して公的サービスと実際のサービス（利用者が受けたいサービス）とのギャップがある。ヘルパーの数を増やしてサービスを充実させてほしい。
身体	65 歳以上	宮崎市の中心とへき地では、サービスや環境整備に差がある。
身体	65 歳以上	慢性腎不全の為、今は人工透析を受けています。（週３回苦痛を感じるときがある。）もっと便利な医療機器が出来る事を望んでいます。透析注射をされる看護師様の能力アップ。
知的	17 歳以下	とにかく、福祉事業に携わる人の数が少ない。日中一時支援サービスを提供できる機関が僅かしかない。
知的	17 歳以下	・同様に、頻繁に通いたいリハビリ施設が僻地にしかない。・とにかくいろいろ隅々まで網羅されてない。
知的	17 歳以下	必要な道具作製も併用出来ないのがとても残念。
知的	18～64 歳	将来、入所を考えているが、待機者が多い事、入所施設が少ない。
知的	18～64 歳	在宅だとしても、もうすぐ大人になるので、これからは家族から離れて余暇を過ごしたりしてみたい。時々で良いので、介護士さん方に力を貸してほしいです。また、医療的ケアが必要なので、ケアのできる介護士さんや、訪問看護士さんが増えてくださると助かります。
知的	18～64 歳	前の安心サポートの（〇〇氏）は、ちゃんとしてくれたのに、今の安心サポートの（〇〇氏）は、なんのやくにもたっていない。自分の言ったきんがく（安心サポートの時に）、その分だしてはくれない。人をバカにした言い方をする。それにイライラする。人が言ったきんがくを出してはくれないし、そのねだんの半分しか出してはくれない。なぜですか。また、分かってくれる人と（ほんとうに）かわってほしい。（※〇〇：個人名のため伏字）
知的	65 歳以上	66 歳になって色々教えたり、まわりを、分かりやすく助かっています。本当に感謝いっぱいです。
精神	18～64 歳	食事、介護付きの施設が宮崎市にないので、将来が不安。
精神	18～64 歳	障害のない人達の生活自体が余裕がなくなっていて、障害者のことまで配慮するのは、なかなか難しいことになっているのではないか。貧困層に限った支援ではスピードが遅い。誰でも気軽にいろんな支援が受けられるようにすることで障害者も気が楽になると思う。国に対して地方自治体から強く要請して欲しい。
精神	18～64 歳	福祉にそこまですれば満足感が得られるものではなく無限大だと思う
精神	18～64 歳	精神的な障害者は、精神科の先生以外の病院では、先生の理解が乏しい事があり、情報を共用していない。受け付けの職員も、よく把握していない事が、多々ある。
精神	18～64 歳	就労移行支援は一年半受けましたが利用期限が２年だと凄く短くて限りがあります。３年に伸ばす事も検討してほしいです。又就労定着支援も期限は今のままで大丈夫ですが、転職の支援ももう少し手厚い支援が必要です。

精神	18～64 歳	私は現在Ａ型事業所（就労継続支援）で就労サービスを受けています。この事業所は数年前まで手芸をやっていて、これが自分とマッチして将来の働き方に繋げたいという、強い意志を芽生えさせてくれた場所でした。残念ながら（推測ですが）、市の方針が変わった辺りから、この事業所の作業内容も大きく一変し、工業部品の組立などや清掃業務にシフトチェンジしてしまい、（目に見える作業実績のみしか評価しない環境に見えます。）手芸はなくなってしまいました。まるで一般雇用ありきで、私のような自分の可能性を伸ばし、将来的には独立したいと考えている人間には居づらい環境になってしまいました。おそらく私のような考えは少数派なのかもしれませんが、非常に残念な事です。私はＡ型事業所は『障がい者の一般雇用へのステップの場』『障がい者の受け皿』だけで無く、『障がい者の可能性を見出し伸ばす』機能も充実させるべきと考えます。 言い訳と言われるかも知れませんが、私は一般雇用に当てはまる職種が見つかりません。成人後約 10 年間、一般雇用を転々とし、自分に合った職種を探してきた。しかし、見つからなかった。おそらく私は、自分で働く道を創っていくしか無いのです。周りから見ればちっぽけな夢かも知れませんが私は将来、普通に働いている人たちのように、県民税を払い、社会に貢献したい。だからＡ型事業所は少しで良いですから、そこに関する規制を緩めて頂き、私のような希望を持つ人間にも門徒を開いてほしい。一般雇用ありきでは無く、自分の可能性を活かし、道は険しいかもしれないが、Ａ型事業所を足掛かりに独立に繋げていける様にも支援・協力をして頂きたい。私はこのように強く懇願致します。
精神	18～64 歳	「精神障害者とコロナ」というようなタイトルの、NHK 教育テレビで深夜放送されていたドキュメンタリー番組を見た。精神病を理由に、コロナにかかっても一般の病院では受け入れ先が無く、精神病院内で、入院中の患者が見殺しにされている、無策の現状。まるで動物並みの扱いだった。現在の日本の、東京の現実である。精神病患者のための、身体の病気のための、診察や入院やリハビリテーションの受け付けを、特別枠の機関を創設してでも、実現を急いでほしい。 一般の病院の入院施設に、精神病患者で必要な人が普通の料金、あるいは差額ベッド代無料で入れる「個室」を必ず設置する等、各病院に義務づけてほしい。また利用を拒まないことを。私自身、そう遠くない将来、白内障手術や各種がんの手術や胆石の腹くう鏡手術で、一般の身体の病院に入院する必要があるかもしれないからだ。そのような時、同室の患者さんとトラブルになったり、迷惑がられて差別待遇されて悲しい思いをしたり、心が傷ついたりしたくない。 現在は、自宅が田舎の田園地帯にあって、一番近くのバス停、郵便ポスト、スーパー、病院までが遠く、ひざも痛くて長歩きができないので、交通の便が悪いことが快適な生活の大きな支障になっている。ボランティア、ドライバーの担い手がおらず、私の住んでいる地区では「絵に描いた餅」となっている「福祉タクシー」を、どうにか工夫して是非一刻も早く実現させてほしい。それも、統合失調症の利用者にも対応できるドライバーの育成をあわせてしてほしい。私の、非現実的と思われるがあえて案を言わせてもらえば、市が資金を出して、ボランティアではなく、賃金を払ってドライバーを雇用してはどうだろうか。雇用の創出にもなるのではないか。営利目的ではなく、短い距離、市街地から離れた場所にも福祉の精神で来てくれる「福祉タクシー」があれば、それと路線バスを駆使して、私たち障害者の医療も、文化的活動も、活動の幅が広がり、より豊かな生活ができるようになると思う。 ヒトラーの時代、精神障害者がユダヤ人同様に社会に不要なものとして殺りくされた歴史がある。遺伝に有能なものしか生きていていいと認めない優生思想の考えではなく、弱い者は、強く生まれついたものが守ってあげて、弱い人、貧しい人、身体や精神の不自由な人、恵まれていない人、そのような人たちも安心して暮らせて、生まれてきた喜びを感じ、健常者と同じ位「幸せだ。」と実感していっしょに生きていける、誰でも平等な社会、そのような社会こそが真に強くて、発展していく、ＳＤＧｓな本当に明るい未来が待っている。ひいては、強い方の人達にも、幸福、利をもたらす健全な社会であると思う。昭和の時代の、戦争中の暗い、悪い歴史は二度とくり返さない行政であってほしいと思う。個人も行政もちょっと普通と違っているとすぐに差別とか排除に走るのではなく、バラエティーに「寛容な」社会を目指してほしい。最後に、私達当事者に、市政について発言、意思表示の機会を与えてくださって、感謝致します。

精神	18～64 歳	障がい福祉に関して利用者が利用しやすいサービスにしてほしいです。支援者が余裕のない対応すると利用者にとっては不快にもなるし、まず支援者が離職につながらないような職場改善処遇改善を求めます。実際には寄り添っていないのが現実です。
精神	18～64 歳	今Ａ型事業所を休職中ですが、支援員の対応がとても悪い。障害者いじめみたいな事をしている。

③　就労について（27 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	障害者差別解消法により合理的配慮について一時期は話題になったが、それが社会、企業、従業員、障害者自身に理解が広まっているかは非常に疑問がある。例えば、企業であれば企業と障害者の対話によって合理的配慮がなされているわけではなく、企業側が「この方が障害者にとっても良いだろう」といった推測で措置されていることも多いと感じる。結果的にそういったことが原因で需要と供給のミスマッチにも繋がり、「これだけやっているのに」や「全く理解してもらえない」といったネガティブな方向に向かってしまう。制度的な周知は行政側の広報を工夫したりも必要になると思う。障害者雇用に積極的な企業を表彰したりもしているが、一体それをどれだけの人がチェックしているのか。表彰をして何がしたいのか。それが結果につながっているのか。手段と目的が混在していないか。一方で、障害者自身が、障害があることを理由に様々な面で配慮されていることを当たり前のように感じることがあってはいけないと思う。福祉サービスを受ける権利は有しているが、サービス自体は税金によって提供される部分が多いはずである。また、納税額で見ても障害者より健常者が高いことは明らかであるため、サービスを受ける側が傲慢になってしまうと健常者も本音の部分ではいい気はしないと思う。私でさえそう思っている。 福祉は対面によって行われコミュニケーションが重要となるが、現在の社会は地域コミュニティの縮小や SNS の拡大、コロナ禍など複雑化しているので非常に難しい問題だと感じる。 福祉部門で多忙を極める職員の方々の心中をお察しします。
身体	18～64 歳	就労先が、同じような内容の仕事しかない。もっと自分を評価してもらえるような仕事に就きたいが、相談先がわからない。健常者のように自由に選びたい。
身体	18～64 歳	県庁や市役所など公共機関の役職に占める障害者の割合を目標にしてほしい。
身体	18～64 歳	まずは自治体の職員の障がい者雇用率を見直し、別府市のように全国に先駆けたまちづくりをお願いします。
身体	18～64 歳	就労が困難
身体	18～64 歳	私は働ける状態であり、軽度の障害だと思います。それでも職場にいくつかの配慮はして頂いておりますが、障がい者への配慮は本人から言ってもらわないと何を配慮すればよいかわからない、と職場の上司に言われています。働く場においては周りの協力が助けになります。障がい者が言わないから配慮できない、ということは健常者にとって当たり前なことだと思いますが、少し障がい者に寄り添う気持ちを持って頂けると有難いです。障がいを知ること、障がい者と適度なコミュニケーションが図れることが障がい者の福祉にも必要なことだと感じています。
身体	18～64 歳	賃金増やして欲しい。正社員にして欲しい。
身体	65 歳以上	仕事はしたいが年齢が高齢のため相談にいけない
知的	17 歳以下	宮崎市役所採用試験に知的障がい者のみが受験できる採用枠を設けて欲しい。身体障害者、精神障がい者と一緒にされると筆記試験を突破するのが不可能。知的障がい者を排除している差別であるため、正常な採用をして欲しい。
知的	18～64 歳	「次の人を採用するからやめてくれ」と言われた。自分の仕事に意欲もなかったし環境も良くなかったので仕方ないと思うけどもっともっと周りの理解は必要だと思う。再就職を探すにも自転車や徒歩で通勤する範囲でとなると就職先は限られる。別に働くことを拒否しているわけではない。それと障害者が集う場が欲しい。何時でもその場所に行ったらお話ができ、お茶が飲め、そして明日への英気が養われるそんなひとときのあるセンターや喫茶店などがあると生きがいも友達もできるのではないかと思います。
知的	18～64 歳	・パソコン訓練など無料で出来るサービスの充実

知的	18～64 歳	・障害者はどんなに働いても１日 150 円～500 円がいい所で、その中からバス代・昼食代なのに、職員は仕事してもしなくても高給取りで、障害者にも心があることを理解して、最低賃金を確保すべき。 ・書類を書かせる事をやめてほしい。 ・勝手に期日を決めないでほしい。 ・障害者にその日の予定・期日を決める事、守れるか分からないことも障害だということの理解をしてほしい。 ・支援事業のせいで追いつめられているこの現実を分かってほしい。 ・仕事をできる人、やりたい人だけ、その場所がある人だけ、仕事にむけさせて、できない人には、家でできる事や、生活の支援などしてほしい。 ・パソコンの無料配布などして、入力だけの仕事や、コミュニケーションを取らせてやる気ややれそうな事を教えたらどうか？
精神	18～64 歳	身体障がい者は色々福祉的サービスなど充実してる感じで、僕みたいに精神障害者は仕事を探す中でも大変です。サポートセンターとか利用しても結局企業側の見方になられます。僕は今の仕事は障害の事を話した上で自分で探しました。余りにも精神障害へのフォローがなさすぎです。生意気ですみません。
精神	18～64 歳	生活できるだけの給料を貰える仕事が殆どない。
精神	18～64 歳	公的機関(市役所等)での障害者雇用枠の少なさが、残念に思う。現状、非正規雇用での会計年度職員募集(障害者枠)をよく目にするが、数年しか雇用されない。無期雇用職員募集は、年齢制限が厳しく、平成生まれのみ。民間企業と比べると、安心して長く働ける場が少ない。模範となるべき、公的機関の更なる取り組みを期待しております。
精神	18～64 歳	今日採用試験で、精神障害の部門での就労が、まだ閉ざされていた。
精神	18～64 歳	職場の障害者への理解を深めてほしいと思う。生きづらさを抱えていることを理解してほしい。
精神	18～64 歳	賃金を上げてほしい。４人生活なので、月 80000 位だと生活できない。
精神	18～64 歳	宮崎市内における障害者雇用の情報源が少ないと感じるため、検索にかかるようなポータルサイトなどがほしい。
精神	18～64 歳	障がい者、に精神障がい者は除外されることが多々あり、実際にある人員募集があり、障がい者枠があったのでそれに応募したら、精神障がい者は該当しません、と扱われたことがある。
精神	18～64 歳	僕は医療管理専門学校を卒業して、介護福祉士（国家資格）の資格を持っているのに、育英資金ばっかり毎日払うばかりで、まともな就職が出来ずに将来が見えない。僕は何の為に専門学校に行ってお金を使ったのか？分かりません。今払っていくのが大変です。母も働いてくれていますが、母は難病で、この頃はあっちこっち痛いらしいです。でも正勤で夜勤までして頑張ってくれています。僕は正職が欲しいです。
精神	18～64 歳	就労の機会への支援体制の充実を望みます。
精神	18～64 歳	現状、就職継続支援事業所で働いていますが、そこでの仕事と自分の持っている技能とのミスマッチを強く感じます。以前、通院していた病院で、適職診断をしてもらったところ、私の適職は「文章校正」の仕事だとのことでした。しかし、宮崎ではそんな仕事のニーズがなく、そういった仕事につける可能性はほぼゼロです。ただ、「文章校正」の仕事、あるいはそれに近い仕事があるとすれば、充分に一般の（精神障がい者ではない）人と伍してやっていける自信があります。実際には、全く関係のない飲食関係の料理の盛りつけを担当していますが、手が遅くて注意されることがしばしばあります。自分の得意な技能が生かされればこんなに悔しい思いをしなくても済むのにと強く思います。収入面でももう少しアップがのぞめるのでは？とも感じます。
精神	18～64 歳	自分も働けたらとは思うが、怖くて他人が居ると無理。在宅の仕事を探すが、あっても詐欺のようなものばかり、ちゃんとした家内労働は生活の足しにもならないものばかり。パソコンは得意な為、文書作成のバイトさえ在宅でできそうでもパソコンもない。私は障害者の福祉というのが何のためなのか理解ができない。
精神	18～64 歳	就職も受かってもやっぱり雇えないとなるなど厳しいです。就職についても何とかして欲しいです。

精神	18～64 歳	・障害者だからと１日で 300 円・500 円の賃金は人権無視の差別ですし、健常者で人に危害を加える人こそ１日 300 円で働かせるべきだと思う。 ・できる事を見つける事も大切で、教育・資格など、収入の少ない障害者に無料で教えるようにして、また支援の人たちを、障害者が差別を受けてる同様の仕事をさせながら支援もさせる事業所だけ、障害者と同等なら給付金を出すよう改善すべき。 ・自信につながるような資格・場所を与えてほしい。 ・自分が目が見えない…聞こえない…人と会うたびに腹痛・下痢、足がない、手がない、歩けない、話せない、動けない etc.なったときに、同じような給料で働いて、１日 150 円～500 円で満足するのか？生活できるのか？よく考えて支援計画するべきです。 ・健常者が考えたこのようなアンケートはまちがってるし、市役所の職員をへらして、障害者に市役所職員として支援計画つくらせたり、仕事をまかせてもいいのではないでしょうか？ ・カウンセリング一つとっても、健常者が必ず役に立ってはいないので、障害者に相談など障害者支援はまかせてあげれば、障害者の仕事もふえるのでは？
精神	18～64 歳	自立と言っているが、精神障害者は、就職の受け入れ先が、少なく、働く体制が、障害にあっていないので、続けられない人も、多い。それなのに、精神障害者は、甘えてる怠けてるなど、言われる。安心して働ける場所が、増えて欲しい。働かないと、生活していけない。私達にも、一般の人達と同じように、楽しく生きていける権利があっても良いと思う。

④　福祉行政について（24 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	現状の障害者福祉はかけ声だけで実行力に欠けている。いろいろな事案に対し上から目線の指示、行動等が多く決して良い環境にはないような気がする。福祉行政は特に複雑で難解な部分もあるが１つのことにとらわれすぎて愚策を講じるより、広い視野で解釈や実行力を発揮することが大事だと思う。
身体	18～64 歳	健常・障害、福祉等の旗振り用語があまり必要のない自然なアプローチが出来れば良いのではないでしょうか？私も目は見えなくなりましたが、あまりその事で他者の方が気を使われると申し訳ないと考える方で、なかなか自分の障害を伝える事に悩みます。支援を受ける側がもっと前向きに変わらなくてはいけませんね。深刻にならず、前向きにそうすれば福祉も障害者福祉もグッと変わると思います。
身体	18～64 歳	今後とも障がいにあった支援の充実に努めてほしい。
身体	18～64 歳	障がい者として利用させて頂いて有難いと思います。福祉についてはこれからもこれから先ももっともっと良くなって行って欲しいと思います。
身体	18～64 歳	独身や身寄りがない障害者の調査、支援、保護
身体	18～64 歳	まず、宮崎市の担当者様自身が視覚障がいというものをきちんと理解していただきたいです。他のところにも書きましたが、私たちは日常慣れたことなら、ほぼ何でも一人でできてしまいます。ところが、一度不慣れなところへ行けば全く身動きできません。突然飛び込んでくる情報にも対応できません。市役所へ行っても、入口まではすいすい行けますが、中へ入ればたちまち迷います。案内の方がどこにおられるかもわかりません。さらに、今回のこのアンケートもそうですが、市役所から届く書類は、目が見えなければ全くそれと気づきません。特に点字表示でなくても、たとえば切り込みとか、シールとか、何か一つ、これが宮崎市からのお知らせですよという、触ってわかる印をちょっと付けてくだされば よいのです。そのことをもう 10 年ほども言い続けていますが、対応していただけません。 このような小さなことが積み重なって、私たちは生活に非常にやりにくさを感じるのです。ハザードマップのこともありましたが、私たちが自力で確認する方法はありません。全国各地で視覚障がい者にも分かるハザードマップが開発されていますが、宮崎市でもぜひ取り組んでいただきたいです。正直、災害が起きて生き延びられる気がしません。
身体	65 歳以上	経済的や環境など後回しに感じます、意見は求められるが実行が伴われていないと思います
身体	65 歳以上	福祉行政そのものが中途半端で、不十分すぎて、抜けが多いように思います。形式的に福祉行政を行なっている感がします。

身体	65 歳以上	福祉の分野は窓口に専門職を配置すべき。実際に行っている自治体もあるので、できないはずはない。普通の部署のように頻繁に人事異動されるのも困る。
身体	65 歳以上	他県に比べてかなり遅れている。
身体	65 歳以上	障害者本人は精神的にも肉体的にも難儀しています。もっともっと外の空気に触れさせ四季を感じてもらいたい。そのための妙案が浮かびませんが、他県の視察研修等積極的に行って本人達が快適な生活ができるよう情報交換して本県の福祉を引っ張って行ってもらいたい。
身体	65 歳以上	国の方針（地方行政含む）「自助・協助・公助」これを言われたら何にも言えない立場になる。しかし逆も真なりということもある、と考える者の一人です。そうでないと「楢山節考」的思考へ行きそうだ。アンケート参加をありがとうございます。このご時世昼夜のお勤めご苦労様です。私義負け犬の遠吠えと思ってかんにんして下さい。以後は Let it be と行きます。
身体	65 歳以上	特にありませんが、地域の町づくり協議会の施設で、障がい者の福祉について専門の人又は市の福祉課係の人の話を聞きたい。
身体	65 歳以上	役所に行った時とても親切にして下さいます。駐車場も助かります。
身体	65 歳以上	心筋梗塞でペースメーカーを埋め込みました。１級（特別障害者）になり、治療、リハビリに努めました。「宮崎市役所 福祉部 障がい福祉課」に大変おせわになりました。
身体	65 歳以上	宮崎市の福祉課の人は丁寧でやさしく対応してくださいます。嬉しく思います。
身体	65 歳以上	世の中は、健常者と障がい者から成り立っている。予算執行者は、自分が明日交通事故や小さい怪我等で障がい者になる事を考えて、充分な配慮をすべし。
知的	17 歳以下	他県と比べて福祉が充実していない事に残念な思いをした。
知的	17 歳以下	・市役所の障害福祉課の方々の対応もピンキリで手続きも分かりにくく手間取った。
精神	18～64 歳	福祉の分野に予算をもっと計上して欲しい。
精神	18～64 歳	障がい者や、弱者と呼ばれる方達が安心して利用できる街づくりをもっと国や自治体が積極的に指導、推進して欲しい。やる気が全く感じられない。
精神	18～64 歳	障害福祉課に発達障がい課をおいて対応を良くしてください。個室も必要だと思います。
精神	18～64 歳	・発達障がい課を配置してほしい。 ・私のうつの大きな原因は、身内の自殺と子育てで宮崎市が知識がなく、子どもを追いつめて二次障がいにしたり、親をいじめぬいた事が原因です！！子育ての情報もなく、仕事をしながら校長にいじめられた母親がつぶれて、うつ病になっておもしろかったでしょう。「母子家庭はとことんイジメられる」。ＳＳＴやビジョントレーニング、ＤＣＤのトレーニングが必要な子育てに、カウンセラーだとか病院が役に立つはずあるわけない！！子どもを自殺するまで追いつめられたりして、母親の私の精神が病まないはずないでしょ！！ トライアングルプロジェクト、やれる体制にできますか…。やらんといかんとです。国からきてますよね。 教育委員会や校長の天下りを大事な相談窓口に置かないでほしい。相談のたらい回しをやめてほしい。宮崎県での発達障がいの理解は誤解があると思います。精神的におかしいと思われている感が大きいように感じます。障害者か普通か、そういった箱物しかなく、どっちに入りますか？又は、物のようにどっちに入れるかのような相談サポートセンターの役割に感じます。私たちは人間なので心もあります。 障害福祉課に発達障がい課をおいて対応を良くしてください。個室も必要だと思います。
精神	18～64 歳	私は、精神科で初診を受けてから 20 年ほどになります。医療・福祉・支援の場で、ひどい扱いを受けたことも少なくありません。改善されてきている面も多くあると思います。より良く、ということであれば、策定委員会などに当事者委員の席を複数置いていただければと思います。私は、精神障害者で依存症、遺伝性難病家系の人間ですので、主に精神疾患・メンタルヘルス分野での当事者活動をやってきています。宮崎市だけでなく、日本のメンタルヘルス分野は世界基準からすると、とても遅れているので、宮崎市が先駆けとなり、今必要な福祉を更に充実させていただければ有り難いです。

⑤　地域の交流・インフォーマルサービス、居住環境について（20 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	健常者の方と障がい者の方が話し合える場や一緒に活動できる場があったらありがたいです。口では言いづらいことなどはインターネットなどで。何を求めていて、何が知りたくて、何かできることはありますかなど、理解を深められたら嬉しいです。
身体	18～64 歳	周りの人達に助けを求めやすくなるといい。地域でのつながりがもっと充実すると、住みやすくなる。
身体	18～64 歳	私が生きてられるのは、みなさんの支えがあったからだと思います。困っている人がいたら、助けたいと思う。
身体	18～64 歳	障害により外出が難しいため、社会との関わりが薄れていくことに虚しさを感じる。自らのマインドを変化させるのは思ってる以上に大変であり、同じ境遇の人でないとサポートは難しいと思う。
身体	18～64 歳	災害時に２階以上いたら、エレベーター停止したら身動き出来ません。非常口にスロープを作って欲しい。逆に浸水の時も、スロープが無いと上には、昇れません。
身体	18～64 歳	障がいがあっても進んで外出したいと思える街づくりと、不安をなるべく抱え込まない生活が出来ると良いと思う。
身体	65 歳以上	ネットワーク必要
身体	65 歳以上	知らない人でも外出先で手を貸して下さいと云うと快く親切にして下さいます。有難い事です。ご近所の奥様からもゴミ出しを何時もお世話になっていることが心苦しく思っております。健康で長生きすることは幸せなことですが、足の不自由なのは何から何までお世話をかける事が申し訳なさでいっぱいです。罪悪感さえ感じます。公的医療費の負担も常々有難く思っております。感謝です。読みづらくてごめんなさい。
身体	65 歳以上	自分でできるかぎりのことはがんばりたいです。
身体	65 歳以上	年月と共に近隣の状況も変わりました。当分は１人暮らしを望んでおりますので、特に災害等悩ましい問題は山積みしていますが、近所の方からの声掛けは受けています。これからはもっと、市の障害者への情報等キャッチしながら生活に行かなければと、この調査に携わり改めて感じました。私もこれ以上症状が悪化すればご支援をお願いしなければなりません。１日でも長く自立出来る事を願っているところです。長々と予断を述べ申し訳有りませんでした。
知的	18～64 歳	家族以外で支え合える支援体制が充実してほしい
知的	18～64 歳	私にでも出来るボランティアがあれば参加してみたいです。
精神	18～64 歳	幸せって失って気付く事が多く、これまで何度も何度も後悔して今、障害者となり、年金を頂きながら一日一日生きて。きっと、両親が居なければ住む家もなく路頭に迷っていたでしょう。様々な経験をし考えて、全てに感謝出来るように成長出来たように思えます。幸せも小さな幸せ、大きな幸せに気付けるようになりました。そして今、目標があります。一時期、ひとり路頭に迷う時がありました。そんな私を救ってくれたのは、多くの方の笑顔です。それは、私の生きる活力となり命をたつことをとどめてくれました。だから私も笑顔で生きていこうと誓いました。笑顔で生きてれば必ず、何方かのお役に立てる。みんなの笑顔に救われた。世界中が安心できる笑顔であります様に。
精神	18～64 歳	本人があるがままに生活出来る環境
精神	18～64 歳	近所の騒音、人間関係
精神	18～64 歳	協力と協調
精神	18～64 歳	ノーマライゼーションで地域で過ごせたらなと思います。
精神	18～64 歳	もっと当事者同士で話し合うことも必要だと思います。知識も必要ですが同じ目線で丁寧に対応することで話しを引き出すきっかけになると考えます。
精神	18～64 歳	また宮崎県は当事者交流が少ないように思います。私は同じ病気を持った人と繋がりたい、悩みを打ち明けたいと思っています。コロナ禍で人と話すのは難しい状況下ですが、ネットなどを使ったり何か手立てを打ってほしいと切に願います。もっと気持ちをオープンに話す場があれば救われる人はたくさんいると思います。ぜひよろしくお願いします。
精神	18～64 歳	・アパート入居で困労する

⑥　障がい者手帳、障がい年金について（17 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	障害給付を受けるにあたって基準が厳しい。金銭的に厳しい。
身体	65 歳以上	障害者の福祉についてはそれぞれ個人が私を含め知らない人が多いと思う。障害者になった時点、（認知された時、手帳を配布された時）でこの様な制度の有る事を情報として知らせてほしい。
身体	65 歳以上	障がい手帳を受けてから年月も経っております。身体的に悪い所も多くなっております。等級の変化がほしいと思います。歩くのにも荷物を持つことも少し不自由に思っています。なるべく自分のことは他人にもたよらず自分で出来る様に頑張っております。これからもよろしくお願い致します。子供のページは分かりませんので答えは出来ませんでした。
身体	65 歳以上	私は呼吸機能障がいで認定をもらっていますが、今回は２年しかその有効期間がいただけませんでした。前回は３年でした。その前は５年間あった事もあります。呼吸機能は年々悪化する事はあっても良くなるという事はないと思っています。申請時の検査は苦しいですし、動脈からの採血は痛いです。２年後には又その痛みをしなくてはなりません。せめて３年以上で一定にしてほしいです。それ程メリットは感じていない上、検査代書類代当費用もバカになりません。ご理解ください。
身体	65 歳以上	私は現在もうすぐ 77 歳の女性です。主人も６年前に他界し、一人暮らしです。悪性癌で療養中です。ストーマを装具していまして、補助も受けられありがたく思っています。 年３回市役所（清武）に申請に行ってますが、交通が、自転車なので大変です。出来ましたら年１回の申請で使用できる様にしていただけるとありがたいのですが、どうかこの事をお願い致したくペンをとりました。よろしくお願い致します。
身体	65 歳以上	家族だから介護は仕方ない。そうだと思います。然し私共は、子どもが居ても県外に住まいしており、介護はもとより何か事が起こっても直ぐに間に合う事はありません。私 84 歳の老齢で。介護をしてくれる夫は 87 歳と老々介護の典型的な年金生活者家庭です。夫は何をするにしても自分の事はさておいて、全て私（障害者）の事を優先してやってくれています。いつも「すまない」と思い、いつも「ありがとう」と心から感謝する毎日ですが、夫の感謝への思いを、心や言葉でしか表す事が出来ません。せめて年金がもう少しあれば、夫が欲するものを金銭的に謝礼をすることが出来るのにと思う毎日です。国の定めや県や市の定めの中でしか援助していただけない事が判っていますが、年に１回でも何か出来る事はないのか、体の不自由さと共にいつも考えている事ではあります。
知的	17 歳以下	障害などの区別はするのに、区別だけで満足してしまっていて免除や補助、お金とかのやつはないのが嫌です。ママが困ってます。
知的	18～64 歳	障害年金だけでは、生活ができない！保護者が死亡したらどうして生活したらよいか不安な日々です！
精神	18～64 歳	数年前、母と一緒に市役所に行って手帳の手続きをお願いした時、役所の人から、あなたはしっかりしてるから病気じゃない。サービスも必要ないと思いますよと言われたことがある。確かに薬で落ち着いており他者から見たら何の疾患も抱えない人に思えたのかもしれない。実際に前職場でも驚かれたほど分からないらしい。だけど、専門医でもないのに、今まで対応した私と同じ病気の他の人は、そんなんじゃないからと、なぜ違うと言われなければならない。それがキッカケで自殺願望が再発した。今は落ち着いてるが、あまりにも酷すぎる。本人は何も考えずに発したのだろうが、その言葉が槍になることを分かってないのではないか。現在は、毎日、一日一日、調子の上がり下がりが激しい。血圧も乱高下。健忘も激しい（直前の記憶が抜けることが多い）。
精神	18～64 歳	無駄な福祉政策は無用。精神障害３級にも年金と医療の充実で生存権の保証を。でなければ、安楽死施設を。それだけでいい。

精神	18～64 歳	障害年金は、うつ病に関して厳しい。うつ病で、企業で働けず退職をした人に、治らないので、次の仕事を見つけるのは難しい。だけど、生活をするには金額は少ないから、自営業をしているが、うつ病では、集客ができにくいし、体調に波があるため、どうしても家族の養育が必要になる。でも、高齢の母が働き養ってもらっているが、収入は安定しないし、いつまでも働ける訳もない。これからが、死にたくなるほど不安ばかり。企業に勤めていたときの病気にも補償がないと、生活をするのは厳しい。十分な補償があれば不安ばかりの生活が、病気を治す為に専念できるのにと思う。私は、高齢の母のお荷物です。
精神	18～64 歳	障がい年金の定期的更新をもっとわかりやすくして欲しい。更新内容によって年金が入らなくなるのがとても怖い。生活する上で年金がとても重要。
精神	18～64 歳	障害年金がとれないので、そう言うギリギリの障害者にも手当金があると少しでも生活がたすかる 県営住宅団地なのに、障害者は家賃安くならないので生活困ってます
精神	18～64 歳	精神障害の他身体障害の申請をしようとしたが症状が固定するまで申請は出来ないと言われ現状長時間の歩行等出来ないのに何の対処もしてもらえず。外出してもし、他人の手を煩わせ、迷惑をかけたら…と気分転換の外出もしたくなくなる。現状困っている人にも何らかの対処をして欲しい。
精神	18～64 歳	私は友達から２級相当の手帳がもらえる人間だと言われましたが、お金がなくて病院も行けていません。病院に行きたくても行けない人の現状を何とかして欲しいです。
精神	18～64 歳	調子が良いときは杖で歩行が可能。悪いときは車椅子が必要。自宅では安心してる為か伝い歩きで何とかできる。精神疾患は恐らく薬が効いて幻聴なども軽くで済んでる。サービスが目的ではないけど、２級でも３級でも１級並みに大変な思いをしてる人は沢山居ると思う。全身の痛みなどは原因が分からないため診断名も付かない。公的な機関から車椅子を借りる事もできないため民間から毎月レンタル。金額が高くても借りるしかない。その為、引っ越し費用を貯める余裕も貯金をする余裕も無くなる。何もかもが空回り。主人が働いてくれても、自分の障害年金を合わせて何とか生活できてるが、何のための福祉なのか意味が分からなくなる。
精神	65 歳以上	・障害者手帳の切りかえに市役所に行く事自体が苦になっています。無理みたいです！

⑦　公共の施設・道路・店舗等の障がい者に配慮した設備・サービス（15 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	私は違いますが、宮崎はバリアフリーが進んでいないので、足が不自由な人は大変だろうなとおもいます。バス停とか、椅子や屋根がないところも多くて、酷いですよね。
身体	18～64 歳	これから先、公共の建物での展示会に音声案内あるならば、日本語字幕を付ける配慮をしてほしい。(県内の博物館でも音声のみの所もありますが…)命に関わる医療で単独でも情報保障を意識してほしい。
身体	18～64 歳	私自身も身体障害者となり気づけた事ですが、本当に障害者の事を配慮しての対応だったり、支援、理解というのはされていないと感じます。例えば手帳を持っている事で色んな施設の割引等を受ける事が出来るのはありがたい事ですが、私個人の意見としてはそこにお金(税金)を使うのであれば、その施設にもっと障害者用のトイレを増やしたり、休憩用の椅子や、手すり、スロープ等を充実して頂きたいと思います。
身体	18～64 歳	スーパーなどで障害者の専用駐車場はあるのですが、わずかな段差がありカートを戻す時健常者の方には分からない”カ”がいります。疲れます。私は足の障害以外にも膠原病という難病もあります。
身体	18～64 歳	バスや建物のバリアフリー化がまだ進んでいない様に感じます。
身体	18～64 歳	・お店の買い物で通路が車いすが通れない幅で思ったように動けない
身体	65 歳以上	宮崎みたま園のトイレが使いにくい
身体	65 歳以上	通院、買物によくバスを利用していますが、まだまだ車イスマークのノンステップバスが不足しています。乗降口が高いバスだと足が不自由なので痛みをこらえて乗るので周囲の人に迷惑をかけてすまない想いをさせていると思います。全部のバスをノンステップにしていただくと買物カートも乗せて歩行が楽になります。バス利用者は老人と障害者がとても多いので是非実行していただきたいです。
身体	65 歳以上	身体障がい者専用のトイレを数多く各地へ設置し、場所の周知徹底を図ってほしい。

身体	65 歳以上	交差点における車道と歩道の段差をなくす事は出来ないのか。車椅子、自転車を利用していると非常に利用しにくいです。
身体	65 歳以上	１．公共施設、民間施設等の中で、障がい者用駐車スペースが少ない。 ２．街中やスポーツ施設に於いて、一時休養する椅子等やスペースが不足 ３．「公衆トイレ」の障がい者用は、少なくともウォッシュレットにしてほしい。 ４．「公衆トイレ」があまりにも時代遅れで、使用に耐えない。特に、「和式」では、高齢者、身障者には耐え難い。世界中で日本のトイレは便利できれいだとの認識があると思うが、余りにギャップが大きすぎる。早急にその為の予算を計上し、外国人が利用しても評判どおりのものだと思うようしにしてほしい。むだな物に予算を使わなければ、こんな問題はいとも簡単な事だ。
身体	65 歳以上	駐車場で「車いすのマーク」があり、とても助かりました。
知的	18～64 歳	多目的トイレ等の設備を充実してほしい(清掃も含め)。多目的トイレは多くの人が利用するため、本当に必要とするときになかなか使えないことがある
精神	18～64 歳	車椅子の友達と遊ぶときに場所が限られる。バリアフリーになっている施設のマップなどがあれば確認の手間が省けてありがたい。
精神	18～64 歳	・レジなどで話したくない人、聞こえない人向けにタブレットで音声読みあげだけでなく、字幕で対応などしてほしい。

⑧　相談支援・アウトリーチについて（14 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	昨年障がい者になりたてですが、障がいをもったための困りごとがたくさんあります。情報を得るべく自分なり調べてはいますが、誰に相談したらよいのか、その相談者のサポートでなんらかの解決ができるものなのかも皆目わかりません。
身体	18～64 歳	私は、聴覚障害者ですが片耳の補助金しかもらえてなく両耳の補聴器がないと会社での会話、会議、電話の対応ができないのが現状です、こういった相談は何処ですればよいのでしょうか。
身体	18～64 歳	・定期健康検査に行きたいが右が動かないので検査時の服の脱ぎ着が大変です、ヘルプしてもらえると安心して受診出来るのですが、躊躇してます
身体	65 歳以上	障害者が、援助をお願いしにくい。
身体	65 歳以上	ありがとうございます。加齢に伴い障害による不自由も増えてると思いますがこれからも相談に応じて戴く事を期待しています♡
知的	17 歳以下	自分のことが上手く伝えられないから、なかなか困っていても助けをもとめられない
精神	18～64 歳	私自身精神２級の手帳を持ちながら両親要介護２と要介護１を在宅で介護しながら働いています。今まで全く福祉の知識が乏しい為かなり手続きなどで苦労をしました。ケアマネから教えて頂きなんとか書類申請など終えましたがまだ利用していない制度や再度検討して欲しい事などがあります。なかなかそういった事を誰に相談して良いのかわかりません。これから高齢化社会になるので誰にでもわかりやすい福祉サービスの状況提供を望みます。
精神	18～64 歳	気軽に相談出来る様に、LINE などを取り入れて欲しいです。
精神	18～64 歳	どこでどんな支援が受けられるのか分からない。自分で支援にたどり着ける気力や知識のある人しか受けられない。頑張って市役所へ行っても、職員でも制度やサービス等を分かっていない人がいたり対応が不適切だったりすると挫けて諦めてしまう。もっと必要な時に確実に支援が受けられるようにハード面、ソフト面両方の改善が必要だと思う。
精神	18～64 歳	わかりやすい情報と引きこもりや身体障がいがある場合相談に消極的になることが多く、状況にもよりますが、積極的なアウトリーチが必要だと思います。まず窓口にいけない場合、人とのコミュニケーションがとれずまず窓口までに行くことが消極的になります。地道ですが、訪問して状況を確認傾聴することが心の支えになります。
精神	18～64 歳	役所など相談窓口に悩みを相談してもメモを取るくらいで解決法に繋がらない
精神	18～64 歳	自分にはどんなサービスがあるのか十分な情報が来ない。どこでその情報が得られるかもわからない。教えてくれる人がいない。病院の主治医は教えてはくれない。情報は市報でしかわからないが、その市報も市役所に行かないともらえないので、取りに行くこともできないことの方が多い。

精神	18～64 歳	・福祉と名の付く施設や連絡先が多くて、たらい回しにされたあげく、何もできないことに絶望する
精神	18～64 歳	夜に、具合が悪くなる事が、多く、パニック発作などワァーっとなるが、誰にも言えない。子供にも、心配させたくないので、言えない。夜間に、理解してくれる人、専門家が、話を聞いてくれたら良いと思う。市役所から届く文章は、分かりにくく、理解に時間かかる。このアンケートも、答えるのが、大変だった。こんな思いで書いて、本当に、私達に、反映されるのかな。本気で、福祉を考えて欲しい。

⑨　将来の不安について（13 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	病気の進行が進んでるのでこの先が不安で仕方ない
身体	18～64 歳	今 100 歳の義母と２人で、透析をうけながら暮らしています。私自身年金をもらえていないので、仕事をしていますが、この先の事が心配です。少しでも長く働けるように頑張っていきます。
身体	65 歳以上	私の場合は腎障害の為に、行きつけの病院が災害にあったらどうして透析を受けたらいいのかが 1 番心配です。第一、第二の透析先を決めていないと最悪な状態になるのではと日頃、気にかかっている。
身体	65 歳以上	今のところ、人の手を借りなければ生活できないという状態ではないけれど、心臓以外に腰痛がひどくなって歩くことがままならないので、この先が不安です。
身体	65 歳以上	私は７年前に心臓の弁を機械弁にかえました。（60 才前くらいに）外見からは障がい者には見えませんが薬をのまないとすぐに…どうなるかは先生から言われていますが、実感がわきません。食べるものに制限があり、大変なこともありますが、主人（61 才）も障がい者１級で福祉のこともすごく関心があります。その時になってからでは遅いと思いますがが、少しずつ関心を持っていきたいと思います。 今は体力が続いてくれて何でも１人で出来ることが長く続くことを願っています。いずれは福祉にたよることになるのかな…不安はありますネ。誰に相談しようか…子供達にと思うのですが…いろいろ考えますネ。相談しやすい人にめぐりあえたらいいですネ。読んで頂いてありがとうございました。
身体	65 歳以上	近いうちに歩けなくなると思います。痛みがひどくなり、痛み止めがありませんでした。病院には行っていますが、薬をくれるだけです。施設に入居した場合、お金が年金では足りないのが心配です。今は何とかヘルパーさんが来てくださって痛みを我慢しながら生活しています。病院以外は外出できません。
知的	17 歳以下	以前に比べると今はとても恵まれていると思います。子が障害者ですが、とても助かっています。学校を卒業したあとの就職、生活場所、兄弟の結婚や就職に影響しないかなどが、近い将来の心配事。親が亡くなった後、兄弟に過度な負担がかからないかが、先の心配です。
知的	18～64 歳	親の立場だが、親亡き後の子供が不自由なく生活できるようになって欲しい
知的	18～64 歳	将来、一人暮らしになった時に信頼できる相談員などがいるか不安。成年後見制度で不正がよく報道される
知的	18～64 歳	親がいなくなった時が不安。
知的	18～64 歳	親が亡くなった時に、在宅でも安心して生活していけるような福祉サービスが整備されていくことを望んでいる。
精神	17 歳以下	発達障害の子どもがどういった就職先に行ったら支援があってうまくいくのか？そういうことが分からず不安。
精神	65 歳以上	主人と二人の生活です。将来が不安です。

⑩　本アンケート調査について（13 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	難しい
身体	65 歳以上	とくに困っていないので、意見は、ない。
身体	65 歳以上	後遺症で言葉を発することが出来ませんので残念ですが記入できません。
身体	65 歳以上	アンケートの障がい者計画の満足度は、障がい者には分からない問いです。工夫が必要。

身体	65 歳以上	この前手帳を確保したばかりでよく分からない。
身体	65 歳以上	アンケート自体に回答しづらい
知的	18～64 歳	本人は、文章を読んで回答がむずかしい。会話の理解がむずかしい。
精神	18～64 歳	スマホで回答するには、アンケートの質問量が多すぎる。重複とも受け取れる質問もいくつかあり、意図がよく分からない質問もありました。アンケートの質問内容を精査したほうが良いと思います。書いたあと、パソコンからアクセスすれば良かったと後悔。アクセス可能かは不明。60000 文字書けるなら、パソコンで書いてコピペしたかったです。
精神	18～64 歳	本人は答えられない。意味がわかっていません。
精神	18～64 歳	こんなアンケートやめて欲しい
精神	18～64 歳	せっかくのアンケートですが、目がチカチカして苦しい。
精神	18～64 歳	このアンケートを最後まで答えて思ったのが「3 つまで」という設問が多かった。障害者はいろんなことを複合的にほとんど全部抱え込んでいるので「3 つまで」と制限している時点で「わかっていないんだな」と感じた。本気で解決する気あるのか甚だしく疑問に感じる。憤りも感じる。
精神	65 歳以上	このアンケート中、「市が取り組んでいる障がい者福祉施策（宮崎市障がい者計画（第３期））について、満足度を教えてください。」の回答選択に満足度だけしか選択出来ない。「知らない」の選択肢が必要と考える。

⑪　障がいがあることで受けられる各種優遇措置について（12 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	・平日は家で過ごすことがほとんどです。冷暖房が必要ですが電気代が負担です、少しでも配慮して欲しい
身体	65 歳以上	今は、コロナ禍なので、年金が少ないので、コロナが治まるまで、固定資産税の税金を免除してほしいです。
身体	65 歳以上	市営県営住宅の入居を優先的に考えてほしい。また、家賃の補助もしてほしい。
身体	65 歳以上	１級の障がいに２年前になり、金銭的に医療所得税の免除が有ったので助かりました。不安しか感じなかったので。年金収入だけの生活でどうにかなるだろうと生活しています。これ以上の保障の削減が無い事が希望。
身体	65 歳以上	障害者手帳を提示することで、各種の会場で割引や無料の制度があることは大変助かっています。
身体	65 歳以上	「福祉について」市町村の福祉センターに於いての稽古事の指導者達の教授料、やたらと高い。生涯学習は不可能。
知的	18～64 歳	私は車に乗らないので、バス代が半額になったりするのはうれしい。
知的	18～64 歳	動物園、フローランテ、映画館は、安くなるので、家族とよく行きます。　携帯電話の料金がもう少し下がればありがたいです。
精神	18～64 歳	宮崎は他県に比べて精神手帳を使って無料や割引で利用できる施設やサービスが非常に少ない。障害者が外出する機会が損なわれている。
精神	18～64 歳	・公共交通の割引が他の自治体にくらべて不足している
精神	18～64 歳	※宮崎交通路線バス 無料の IC カードを配布してほしい ※タクシーの小型基本料金（590 円）を無料にして、追加の走行料金を半額にしてほしい ※（スマートフォン）毎月の料金を半額にしてほしい ※（ガス、電気）毎月の基本料金を免除してほしい　※毎月社会福祉課に申告書を郵送していますが、切手代 84 円を必要経費として認めてもらい、毎月の扶助費に上乗せしてほしい
精神	65 歳以上	よくしてもらってます。ありがたいです。生活の為のお金のえんじょをもう少しふやしてもらいたい。

⑫　その他（57 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	医療費控除の向上
身体	18～64 歳	年金も少し早くもらっていますが、最近は医療費が高いのにびっくりです。特定疾患は 20%ですが、障害者だからといって補助はありません。（４級だからです）仕事もしたいと思っても仕事をするような身体ではないです。最近は支援は子供に手厚くされています。私にも孫が６人いますから有難い事ですが、今は決して老人に暮らし易い世の中ではないと思います。私には 93 才の父がいますが、年金は１ヶ月 63,000 位です。ちなみに私は 69,000 円です。父は痴呆が入っていてデイケアに行くのが精一杯でとても施設に入る余裕はありません。私は親でも早く死んでほしいと思わない日はありません。しかし痴呆以外は健康です。私が先に死んでしまうんではないかと思います。 障害者の福祉について関係ない事ですが、私の不安を書いただけで申し訳ありません。誰かに知ってほしかっただけです。ごめんなさい。
身体	65 歳以上	医療免除の用紙が大きすぎて財布に入らない、もう少し小さくして下さい
身体	65 歳以上	仕事して無いと補聴器の補助が片耳だけになって声のする向きが判らない。
身体	65 歳以上	心臓機能障害は、特に障害者として区別は必要ないと思いますが、医療費は助かっています。
身体	65 歳以上	医療費のオーバー分の返金についての知識を、職員の方の理解・勉強をお願いしたい。事前に TEL にて問い合わせして、そのように領収書等持参しても、これはダメだと言われた事があるので。電話だからといって軽々に答えてほしくない。役所まで出かけてもなんにもならない。
身体	65 歳以上	治療費、薬代等補助があり、これも大変助かりました。ペースメーカー埋め込み後（３年後）、１級→３級障害者とずいぶん動けるようになりました。「ありがとうございました」
知的	17 歳以下	受給者証の限度額が 4600 円の次が 37200 円とかなり額が上がることで生活費にかなり負担がかかってます。共働きではありますがこの額は負担としか言えません。間の額を見直して欲しいです。
精神	18～64 歳	病院での受診料と薬代がたかいので、障がい者割りをつくってほしい。
身体	18～64 歳	自立した社会生活を心掛けているが、福祉情報の入手径路が一元的で無いと思います。
身体	18～64 歳	自分で求めないと得られない情報が結構あること
身体	65 歳以上	利用できる施設に関して それぞれの障害の改善のために利用できる施設などが何処にあるのか、分かりやすく、一般市民にもわかる形で公表してほしい。
身体	65 歳以上	市役所の人はもう少し色々な情報を教えて欲しい。知らないことが多くて、医療関係の人から教えてもらったことがある。市役所に行かないとわからないことが多い
身体	65 歳以上	難聴者支援については思った以上に支援の幅が広いと感じている。難聴者と言っても軽から重度までの方々がいらっしゃるが、重度の方は支援の受け方について知らない方もおられるようなので出来るだけ多くの方に支援が届くようご協力いただければと思っている。市の福祉課の皆様の応対は大変良くしていただいており、心から感謝致しております。昨年医大の教授先生、東国原さん等のセミナーで重度難聴者に対するパネルディスカッションに出演させていただきました。これも福祉課の御陰と思っております。ありがとうございました。
身体	65 歳以上	障がいに応じた情報の手段。例えば、視覚障がい者にとっては防災マップ等は理解が困難。活字だから点字か音声で表現して提供してほしい。
身体	65 歳以上	音声文字変換アプリがいちいち操作しなくても使えたらテレビも電話も会話もスムーズにできるのにと思う。
知的	18～64 歳	市の計画の内容を知らないので、どこで知ることができるのか周知してほしい。
知的	65 歳以上	本人や家族にも問題があると思いますが、知らない事が多くあり、後から（すでに終わっていると）知り、もっと早く知らせてほしい事がたくさんありました。時に重大な事がらもあり、障害者の家族（親）も高齢で、手が行き届かない事もあって、福祉行政に少し不信感もありました。もっと広報に力を入れてもらえれば、助かる人も大勢いると思います。

精神	18～64 歳	理解しにくい文章で書いてあることがあるのでわかりやすく出来たらいいなと思います。
身体	18～64 歳	トイレや外出が不便
身体	65 歳以上	自分自身障害者とあまり思っていませんがいろんな所で不便を感じていることはありますが、雨の時の駐車場での車の乗り降りに不便な人はたくさんいらっしゃるのではないでしょうか？
身体	65 歳以上	本人は口がきけないので、はがゆい思いをしていると思います。私も暑いのか寒いのか本人がどう思っているかなかなか分らないのです。いろいろと困ることがあります。
身体	65 歳以上	私は自営業で廃業しました。（息子も後継ぎしないと言いまして）今困っている事は、年金の事で国民年金です。夫婦でもらえると思っていましたが、嫁が亡くなりました。２人だと国民年金 10 万円ちょっと片方が元気だったら働けるし両方働けたらなお、ましな金額がもらえ、最低の生活でも生きるのですが。夫婦１人になったら国民年金５～６万円でそれから看護保険料と後期高齢者の保険料を引かれて４万円にもなりません。生活ができません。元気な時、体を使うだけ使いまして 60 歳頃になってとうとう手が上がらなくなり腰から下は激しい神経痛（狭窄症）です。３年薬同じのを飲んでいますが、新しい薬は開発されていません。良くなりません。しびれて仕事した時は午前中はまあまあですが、午後からは足をひきずって仕事しています。帰るときは車の中でけいれんを起こします。今は針治療にも行っていますが、なかなか治りません。以前手帳をいただく前は現場（外の仕事）で足が何かにひっかかり倒れ握力が 10 以下でひざもかなり悪く壁のところまで這って行きました。今まで４～５回倒れて腕立ての力なく足の踏ん張る力もなく這っていきました。倒れたら大変です。そーっと歩く分には大丈夫です。家では服の手を通すのがやっと。ズボンをひきあげるのが力がなくやっとお茶わん持ったり丼は肱をついて口を運びます。何もかもやっとやっとです。生きている以上は頑張っていこうと思っています。いつも思います。
精神	18～64 歳	地獄行
精神	18～64 歳	不自由と思った事がない。
精神	18～64 歳	あと、人権とは国民が政府、宮崎市に対して持つ権利である、逆に言えば、人権侵害主体は、宮崎市、県、国であることを、みなさんを教えた宮崎大宮、宮崎西、県人権室、宮崎市人権担当者の方々が、理解しておられ無いのは残念。東大法学部で長年使われている、岩波の芦部信喜憲法と、岩波文庫リヴァイアサン、統治二論、社会契約論、職業としての政治をご覧ください。日本で行われているのは、人権教育という名の人権侵害。国民は日本国憲法を守る必要はありません、99 条。宮崎県教育委員会の法学部出身がだれも理解できない、恐怖
身体	17 歳以下	障がいを持つ子を受け入れてくれる保育園が少ないと感じる。加配の保育士の方だけでは保育園全体の人員が足りないため保育園全体が人手不足になり苦労している。我が子の通う保育園は障がいを持つ前から通っていた保育園で引き続き保育を受け入れてくれているが、保育園は苦労されていると思う。また、保育士の方が受け入れに全員が賛成してくれているとは感じられない。それは障がい児を受け入れると保育園に支払われる支援金が少なすぎることと加配の保育士の不足で周りの負担が大きすぎるためだと思う。でも、我が子を受け入れてくれている保育園には本当に感謝しています。
身体	17 歳以下	学校教育や早期療育に経済格差があってはいけないと思う。他県に比べて、宮崎の学校は施設的にも不十分だし学校カウンセラーも常勤していないし、トイレの手すりなど要求しても財政が厳しいからできないかと回答される。特別支援学級の児童対象のアプリも入れて貰えない。他県で良いとされている教育活動や内容、教材がなぜ取り入れることに躊躇するのかわからない。
身体	18～64 歳	支援学校へ通い始めた頃、内疾患であることを理由に、福祉車両の利用などを断られ、両親の仕事が制限され、とても困りました。
知的	17 歳以下	まずは義務教育から見直してください。学校に行きたくない訳ではなくて、行けないのです。
知的	17 歳以下	・僻地にある支援学校に通うのに通学バスが初年度から乗れない。

精神	18～64 歳	○学校や教育委員会の特別支援教育の勘違いと対応の悪さ 子どもは義務教育を受ける権利がありますのに、幾度となく不登校にされそうになりました。発達凸凹に対して知識のない教員によりいじめられ、そのことでバカ扱いされた事実や、教育委員会による対応の悪さは、学校と連携しての隠蔽体質であり、吐き気がします。自分たちの対応や知識の無さを全部子どものせいにしようとされたことに対する母親の憤りはお察しください。子どもに必要だったことは、学校内でのSST やビジョントレーニング、板書や宿題をへらすこと、DCD へのトレーニング・パソコンなどでした。薬やカウンセラーで何とかなる事ではないのに、そこが専門家だと思われていて、この間違いが母親を苦しめてきました。子どもを自殺未遂まで追いつめられたことは、憤りを通り抜けコントロール不能となりました。どうか、お察しください。
身体	65 歳以上	高齢になり現在介護保険が優先されるのでほとんどそちらの方を利用しています。車の運転を返上してから外出も減少し社会活動も参加したくてもあきらめざるをえません。友人に乗せてもらうかあとタクシーの利用ですがこれもなかなか困難です。
知的	18～64 歳	介護保険優先をなんとかして欲しい。とても不便です。
精神	18～64 歳	家族からの暴力を受けて警察に保護を求めた際に事情聴取のあと自宅に戻された。宮崎ではシェルター等に繋がりがないのをしって驚いた。また、自殺を思い立ってホームにいた時に宮崎の相談窓口に相談したときたらい回しにされ毎回最初からはなさねばならず、余計に心が抉られた。助ける気なんてさらさらない。自殺や他殺が増えて当然だと思う。人と思ってますか？
精神	18～64 歳	障がい者の将来には生活保護しかない
精神	18～64 歳	私は LGBT にも含まれます。
精神	18～64 歳	精神疾患で生活保護受給者なので保護費はありがたいですが、車を持てない事で仕事に通えない等とても不便。
身体	18～64 歳	私個人は障害者という表記を、障がい者等表記する言葉狩りのような現状を障害者として好んでおりません、と言うよりも嫌悪すらしております。障害者の中にも障害を持っているからといって特別だと勘違いをした傲慢な態度を取り健常者の方々へ多大な迷惑をかける者がおりますが、１障害者として非常に不快であり、先人達が築き上げてきた障害者福祉と健常者の方々との人としての距離感というのを著しく害し兼ねない行為であると思っています。障害者福祉と言うものは健常者の方々に対して不便や不快な思いをさせてよいというものではあっては為らないと考えますその上で障害者が健常者の手を大きく煩わせる事無く過ごせる環境創りをする事で互いに必要のない気遣いをすること無く双方に対する偏見や嫌悪は減るのではないか、又健常者が何らかの要因で障害を負ってしまった場合でも、そう言った環境造りを進めることで生きやすさ、障害を負った事に対する心身の負担と言うのは軽減されるのではないかと愚考します障害者福祉とは障害者の為だけではなく障害者と健常者、双方のものであるべきであるとそう思います。
身体	18～64 歳	６級なので、不自由なく日常生活を送っています。今のところ障がい者として支援をしていただく必要も機会もなく、アンケートにそぐわないかもしれません。
身体	18～64 歳	入院中
身体	65 歳以上	とても良いと思います。
身体	65 歳以上	今のままで良い
身体	65 歳以上	障害の程度により、要望が異なる。
身体	65 歳以上	全体的にゆっくりと向上していると感じている。

身体	65 歳以上	私は今 90 歳。２月４日で 91 歳です。妻は介護施設に７年前から入所しています。枕もとの電話番号に私が２日に１回 TEL します。 私の左手が動かないのに加えて２年前から右足が自由にならなくて、３ヶ月に１回位転びます。医者や介護士も心配されています。朝ベッドで起きるとき、今日も転ばないように・・・・といって、朝６時前に起きます。ラジオを枕元に置いているので、５時 38 分からの健康ライフを聞きます。眠りかかって半分しか聞こえないこともあります。今週（３年 12 月）糖尿病です。Dr の説明を聞いて、自分の生活に反省点もあります。今好きなアルコールを週３日の 100cc で、Dr の許可を得ています。・・気・・・・・。・・・・の排便後、濁りがあり、無臭で、固めで・・、自分で点数をつけて、日誌をつけます。100 点と・・～90 点のとき・・・・食事を反省します。おやつの停止、40 日・・。ベッドに入る時、今日一日とお礼を言って・・・・・・・。 （※・・部分は判読不能） みんなに感謝です。市役所の方に心から感謝しています。私も公務員を 36 年間、企業に８年間いて、反省点ばかり。晩酌が多かった。毎晩はいかんと今も思っております。今迄楽しむ生活を送りました。有難うございました。障がい福祉課の方々に心からそう思っております。
身体	65 歳以上	特になし。現状では満足しています。
知的	17 歳以下	本人はまだ理解力に難があり、そこまで色々なことは考えることができません。
知的	17 歳以下	わかりません。
知的	18～64 歳	法律がまったくわからない。
精神	18～64 歳	わからない
精神	18～64 歳	これからかと思っています。まだまだ
精神	18～64 歳	期待も何も無い
精神	18～64 歳	2022 年から何もかもが値上がりするのに年金は上がらないのに不満がある
精神	18～64 歳	今のままでよいと思います。
精神	18～64 歳	特に不満はありません。
精神	65 歳以上	特にない、わからない

12. 在宅での支援の状況について【支援者が回答】

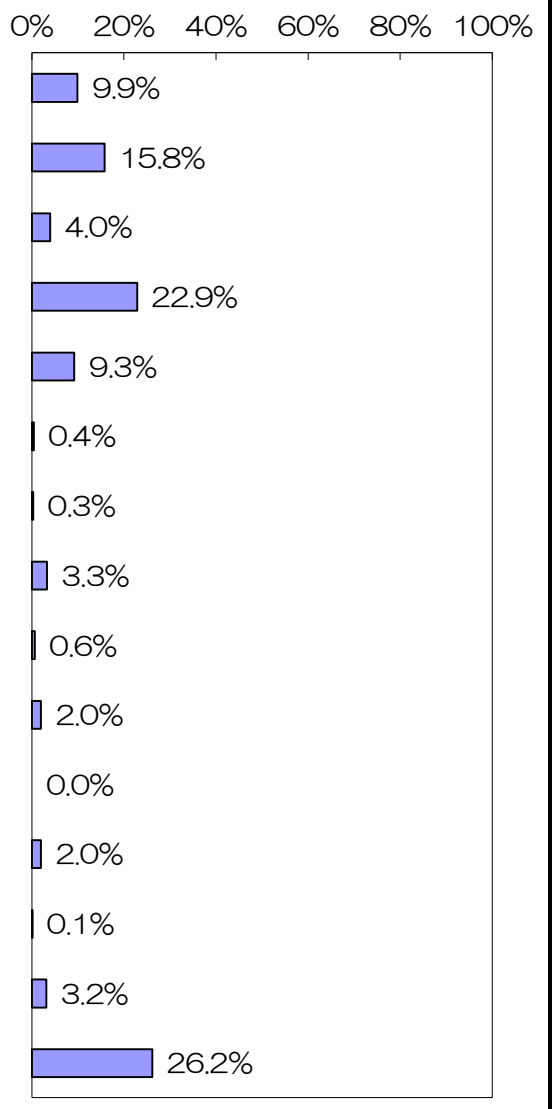
（１）主な支援者

① 障がい者本人からの続柄

問. 主な支援者はどなたですか。（障がい者本人からの続柄でお答えください。）
（○はひとつだけ）

「母」が 22.9%と最も高く、次いで、「妻」の 15.8%、「夫」の 9.9%の順となっている。
障がい種別でみると、知的障がい者の「母」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている一方、「妻」は低くなっている。

選択肢	回答数	割合
夫	123	9.9%
妻	196	15.8%
父	49	4.0%
母	283	22.9%
子ども	115	9.3%
子どもの配偶者	5	0.4%
祖父母	4	0.3%
兄弟姉妹	41	3.3%
その他の親族	8	0.6%
隣人・知人・友人	25	2.0%
家政婦など	0	0.0%
ホームヘルパー	25	2.0%
ボランティア	1	0.1%
その他	39	3.2%
無回答	324	26.2%
サンプル数	1,238	100.0%



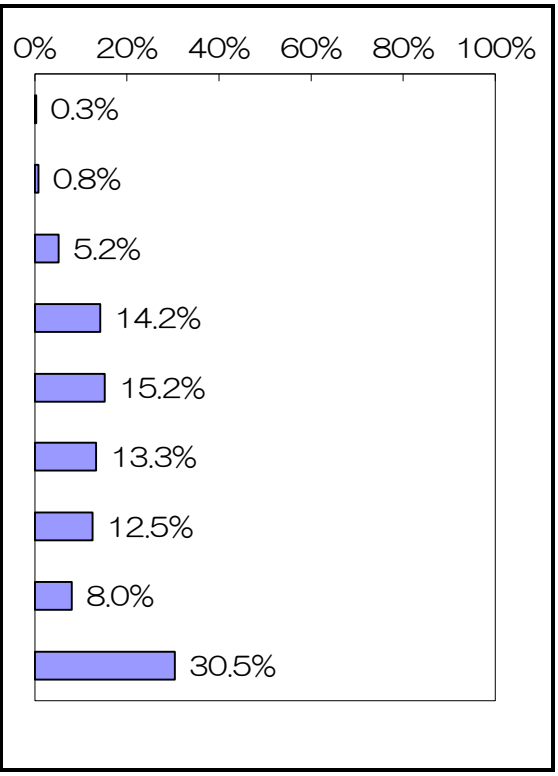
	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
夫	123	95	6	22	0	55	67	1
	9.9%	12.5%	2.5%	9.1%	0.0%	9.2%	14.2%	4.5%
妻	196	168	4	24	3	80	108	5
	15.8%	22.2%	1.7%	9.9%	2.0%	13.4%	22.8%	22.7%
父	49	9	21	19	11	36	1	1
	4.0%	1.2%	8.9%	7.8%	7.4%	6.1%	0.2%	4.5%
母	283	74	150	59	116	163	1	3
	22.9%	9.8%	63.3%	24.3%	78.4%	27.4%	0.2%	13.6%
子ども	115	104	4	7	2	15	95	3
	9.3%	13.7%	1.7%	2.9%	1.4%	2.5%	20.1%	13.6%
子どもの配偶者	5	5	0	0	0	0	5	0
	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%
祖父母	4	2	2	0	3	0	1	0
	0.3%	0.3%	0.8%	0.0%	2.0%	0.0%	0.2%	0.0%
兄弟姉妹	41	16	14	11	1	22	17	1
	3.3%	2.1%	5.9%	4.5%	0.7%	3.7%	3.6%	4.5%
その他の親族	8	5	3	0	1	4	3	0
	0.6%	0.7%	1.3%	0.0%	0.7%	0.7%	0.6%	0.0%
隣人・知人・友人	25	16	1	8	0	13	11	1
	2.0%	2.1%	0.4%	3.3%	0.0%	2.2%	2.3%	4.5%
家政婦など	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ホームヘルパー	25	20	3	2	0	19	6	0
	2.0%	2.6%	1.3%	0.8%	0.0%	3.2%	1.3%	0.0%
ボランティア	1	0	0	1	0	1	0	0
	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
その他	39	10	4	25	0	28	9	2
	3.2%	1.3%	1.7%	10.3%	0.0%	4.7%	1.9%	9.1%
無回答	324	234	25	65	11	159	149	5
	26.2%	30.9%	10.5%	26.7%	7.4%	26.7%	31.5%	22.7%

② 主な支援者の年齢

問．主な支援者の年齢はいくつですか。

無回答を除くと、「50 歳代」が 15.2%と最も高く、次いで、「40 歳代」の 14.2%、「60 歳代」の 13.3%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
19歳以下	4	0.3%
20歳代	10	0.8%
30歳代	64	5.2%
40歳代	176	14.2%
50歳代	188	15.2%
60歳代	165	13.3%
70歳代	155	12.5%
80歳以上	99	8.0%
無回答	377	30.5%
サンプル数	1,238	100.0%



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
19歳以下	4	0	4	0	3	1	0	0
	0.3%	0.0%	1.7%	0.0%	2.0%	0.2%	0.0%	0.0%
20歳代	10	6	1	3	2	8	0	0
	0.8%	0.8%	0.4%	1.2%	1.4%	1.3%	0.0%	0.0%
30歳代	64	25	30	9	29	24	10	1
	5.2%	3.3%	12.7%	3.7%	19.6%	4.0%	2.1%	4.5%
40歳代	176	76	67	33	77	70	27	2
	14.2%	10.0%	28.3%	13.6%	52.0%	11.8%	5.7%	9.1%
50歳代	188	92	51	45	18	131	37	2
	15.2%	12.1%	21.5%	18.5%	12.2%	22.0%	7.8%	9.1%
60歳代	165	109	31	25	0	94	69	2
	13.3%	14.4%	13.1%	10.3%	0.0%	15.8%	14.6%	9.1%
70歳代	155	106	16	33	1	50	101	3
	12.5%	14.0%	6.8%	13.6%	0.7%	8.4%	21.4%	13.6%
80歳以上	99	67	2	30	0	34	63	2
	8.0%	8.8%	0.8%	12.3%	0.0%	5.7%	13.3%	9.1%
無回答	377	277	35	65	18	183	166	10
	30.5%	36.5%	14.8%	26.7%	12.2%	30.8%	35.1%	45.5%

（２）支援の協力者の有無

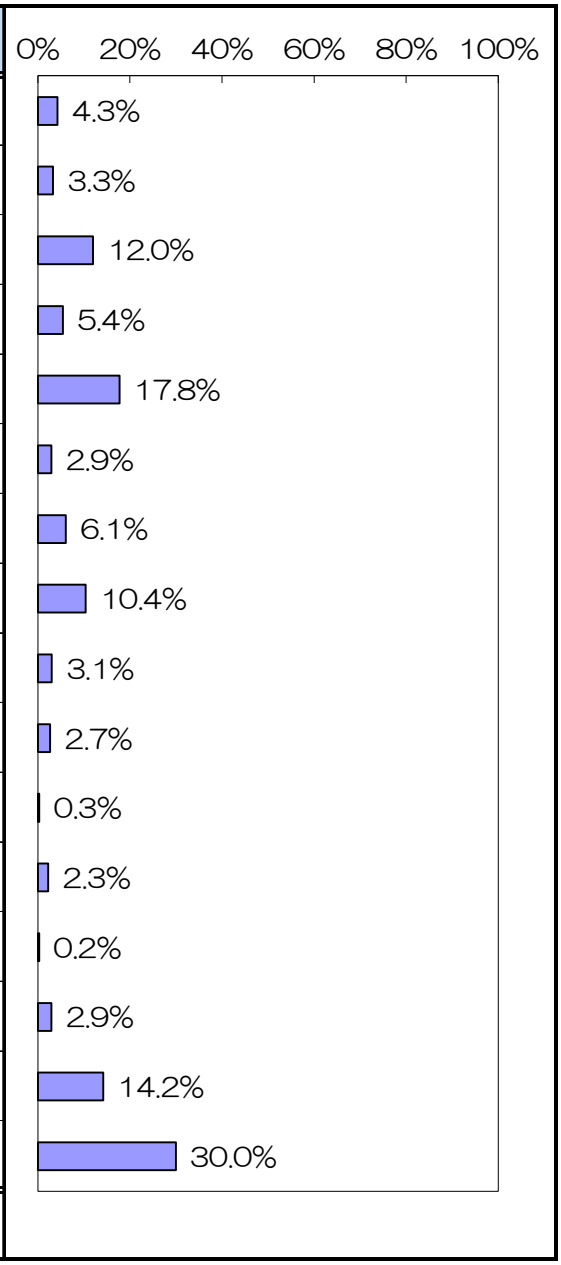
問．一時的に支援を交代できる方はどなたですか。（障がい者本人からの続柄でお答えください。）（○はいくつでも）

無回答を除くと、「子ども」が 17.8％と最も高く、次いで、「交代できる人がいない」の 14.2％、「父」の 12.0％の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「父」「祖父母」「兄弟姉妹」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「父」「祖父母」、65 歳以上の「子ども」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
夫	53	4.3%
妻	41	3.3%
父	149	12.0%
母	67	5.4%
子ども	220	17.8%
子どもの配偶者	36	2.9%
祖父母	75	6.1%
兄弟姉妹	129	10.4%
その他の親族	38	3.1%
隣人・知人	33	2.7%
家政婦など	4	0.3%
ホームヘルパー	28	2.3%
ボランティア	3	0.2%
その他	36	2.9%
交代できる人がいない	176	14.2%
無回答	371	30.0%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
夫	53	28	20	5	14	28	11	0
	4.3%	3.7%	8.4%	2.1%	9.5%	4.7%	2.3%	0.0%
妻	41	32	4	5	1	15	24	1
	3.3%	4.2%	1.7%	2.1%	0.7%	2.5%	5.1%	4.5%
父	149	38	79	32	69	76	0	4
	12.0%	5.0%	33.3%	13.2%	46.6%	12.8%	0.0%	18.2%
母	67	24	24	19	13	53	0	1
	5.4%	3.2%	10.1%	7.8%	8.8%	8.9%	0.0%	4.5%
子ども	220	198	2	20	1	67	150	2
	17.8%	26.1%	0.8%	8.2%	0.7%	11.3%	31.7%	9.1%
子どもの配偶者	36	34	1	1	0	4	32	0
	2.9%	4.5%	0.4%	0.4%	0.0%	0.7%	6.8%	0.0%
祖父母	75	18	53	4	57	17	0	1
	6.1%	2.4%	22.4%	1.6%	38.5%	2.9%	0.0%	4.5%
兄弟姉妹	129	55	54	20	22	81	25	1
	10.4%	7.3%	22.8%	8.2%	14.9%	13.6%	5.3%	4.5%
その他の親族	38	20	13	5	10	15	11	2
	3.1%	2.6%	5.5%	2.1%	6.8%	2.5%	2.3%	9.1%
隣人・知人	33	21	3	9	1	16	16	0
	2.7%	2.8%	1.3%	3.7%	0.7%	2.7%	3.4%	0.0%
家政婦など	4	3	0	1	0	1	3	0
	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%	0.6%	0.0%
ホームヘルパー	28	22	4	2	0	11	17	0
	2.3%	2.9%	1.7%	0.8%	0.0%	1.8%	3.6%	0.0%
ボランティア	3	0	3	0	0	3	0	0
	0.2%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
その他	36	14	6	16	4	17	15	0
	2.9%	1.8%	2.5%	6.6%	2.7%	2.9%	3.2%	0.0%
交代できる人がいない	176	107	25	44	10	92	68	6
	14.2%	14.1%	10.5%	18.1%	6.8%	15.5%	14.4%	27.3%
無回答	371	256	28	87	12	189	164	6
	30.0%	33.8%	11.8%	35.8%	8.1%	31.8%	34.7%	27.3%

（３）支援の中で特に大変なこと

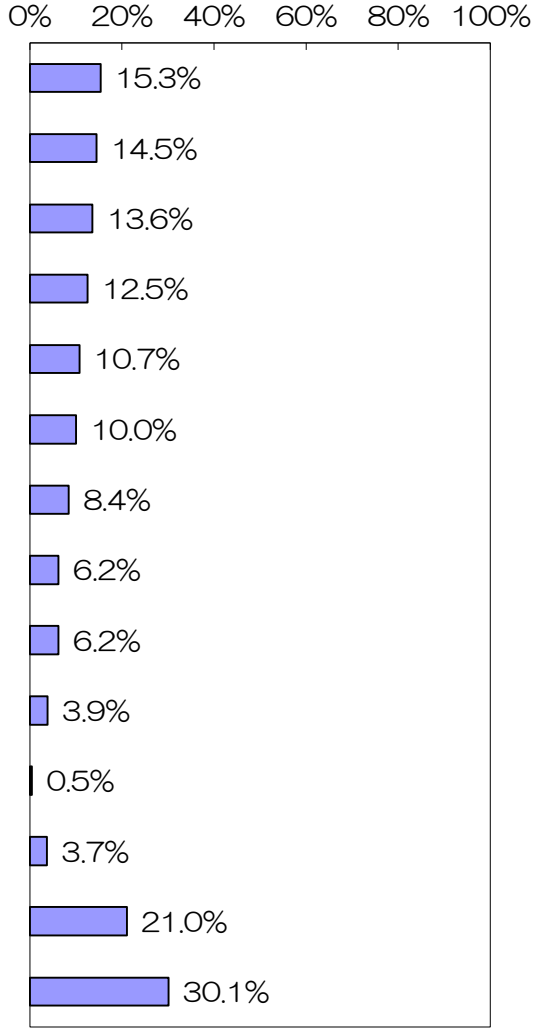
問．支援の中で特に大変なことは何ですか。（○は３つまで）

無回答を除くと、「特にない」が 21.0%と最も高く、次いで、「通院の付きそい」の 15.3%、「移動の手助け」の 14.5%の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「意思疎通が難しい」「目がはなせない」割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「意思疎通が難しい」「目がはなせない」割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
通院の付きそい	190	15.3%
移動の手助け	179	14.5%
食事	168	13.6%
入浴	155	12.5%
排せつ	133	10.7%
買い物の手助け	124	10.0%
意思疎通が難しい	104	8.4%
服薬管理	77	6.2%
目がはなせない	77	6.2%
衣服の着替え	48	3.9%
とこずれの予防	6	0.5%
その他	46	3.7%
特にない	260	21.0%
無回答	373	30.1%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
通院の付きそい	190	110	45	35	28	80	81	1
	15.3%	14.5%	19.0%	14.4%	18.9%	13.4%	17.1%	4.5%
移動の手助け	179	110	46	23	27	79	70	3
	14.5%	14.5%	19.4%	9.5%	18.2%	13.3%	14.8%	13.6%
食事	168	102	37	29	21	75	68	4
	13.6%	13.5%	15.6%	11.9%	14.2%	12.6%	14.4%	18.2%
入浴	155	104	43	8	27	67	59	2
	12.5%	13.7%	18.1%	3.3%	18.2%	11.3%	12.5%	9.1%
排せつ	133	90	34	9	29	40	63	1
	10.7%	11.9%	14.3%	3.7%	19.6%	6.7%	13.3%	4.5%
買い物の手助け	124	73	29	22	13	51	57	3
	10.0%	9.6%	12.2%	9.1%	8.8%	8.6%	12.1%	13.6%
意思疎通が難しい	104	37	50	17	35	47	21	1
	8.4%	4.9%	21.1%	7.0%	23.6%	7.9%	4.4%	4.5%
服薬管理	77	26	33	18	20	39	18	0
	6.2%	3.4%	13.9%	7.4%	13.5%	6.6%	3.8%	0.0%
目がはなせない	77	21	48	8	44	21	12	0
	6.2%	2.8%	20.3%	3.3%	29.7%	3.5%	2.5%	0.0%
衣服の着替え	48	37	9	2	7	15	26	0
	3.9%	4.9%	3.8%	0.8%	4.7%	2.5%	5.5%	0.0%
とこずれの予防	6	6	0	0	0	3	3	0
	0.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	0.0%
その他	46	14	14	18	10	27	9	0
	3.7%	1.8%	5.9%	7.4%	6.8%	4.5%	1.9%	0.0%
特にない	260	166	38	56	26	139	86	9
	21.0%	21.9%	16.0%	23.0%	17.6%	23.4%	18.2%	40.9%
無回答	373	254	30	89	12	192	165	4
	30.1%	33.5%	12.7%	36.6%	8.1%	32.3%	34.9%	18.2%

（４）日常生活で支援者が特に困っていること

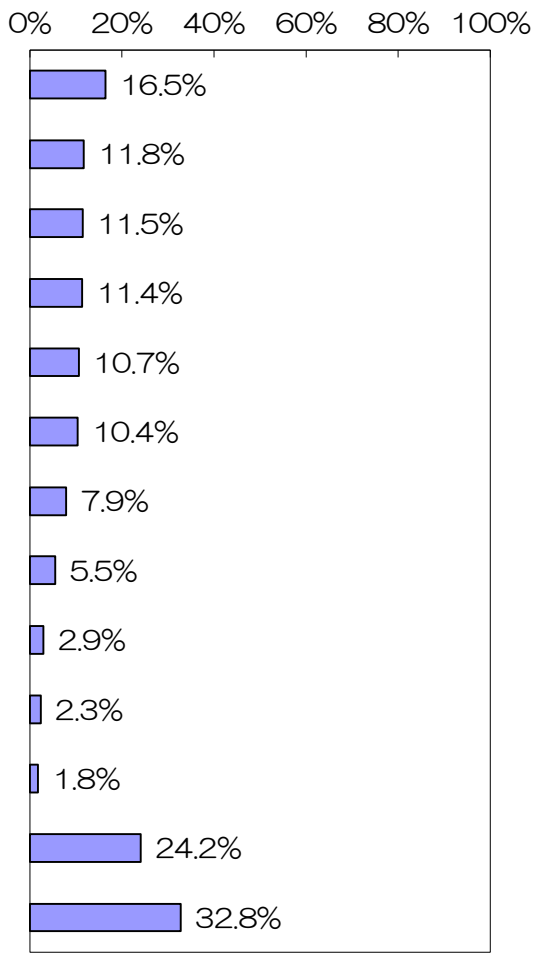
問．日常生活で支援者が特に困っていることは何ですか。（○は３つまで）

無回答を除くと、「特にない」が 24.2％と最も高く、次いで、「精神的にとても疲れる」の 16.5％、「身体的にとても疲れる」の 11.8％の順となっている。

障がい種別でみると、知的障がい者の「いつも不安を感じる」「自分の時間が持てない」の割合が他の障がい種別と比べて高くなっている。

年齢区分別でみると、17 歳以下の「精神的にとても疲れる」「いつも不安を感じる」「自分の時間が持てない」「仕事にでられない」の割合が他の年齢区分と比べて高くなっている。

選択肢	回答数	割合
精神的にとても疲れる	204	16.5%
身体的にとても疲れる	146	11.8%
いつも不安を感じる	142	11.5%
自分の時間が持てない	141	11.4%
経済的負担が大きい	132	10.7%
安心して外出できない	129	10.4%
家事などが十分にできない	98	7.9%
仕事にでられない	68	5.5%
家族の人間関係がうまくいかない	36	2.9%
夜間の世話で眠れない	29	2.3%
その他	22	1.8%
特にない	299	24.2%
無回答	406	32.8%
サンプル数	1,238	－



	単純集計	障がい種別			年齢			
	全体	身体	知的	精神	17歳以下	18～64歳	65歳以上	無回答
サンプル数	1,238	758	237	243	148	595	473	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
精神的にとても疲れる	204	92	54	58	42	100	59	3
	16.5%	12.1%	22.8%	23.9%	28.4%	16.8%	12.5%	13.6%
身体的にとても疲れる	146	84	36	26	26	68	51	1
	11.8%	11.1%	15.2%	10.7%	17.6%	11.4%	10.8%	4.5%
いつも不安を感じる	142	64	53	25	34	69	39	0
	11.5%	8.4%	22.4%	10.3%	23.0%	11.6%	8.2%	0.0%
自分の時間が持てない	141	75	54	12	43	49	48	1
	11.4%	9.9%	22.8%	4.9%	29.1%	8.2%	10.1%	4.5%
経済的負担が大きい	132	62	35	35	26	70	35	1
	10.7%	8.2%	14.8%	14.4%	17.6%	11.8%	7.4%	4.5%
安心して外出できない	129	67	46	16	26	49	54	0
	10.4%	8.8%	19.4%	6.6%	17.6%	8.2%	11.4%	0.0%
家事などが十分にできない	98	55	21	22	13	45	39	1
	7.9%	7.3%	8.9%	9.1%	8.8%	7.6%	8.2%	4.5%
仕事にでられない	68	28	26	14	23	34	11	0
	5.5%	3.7%	11.0%	5.8%	15.5%	5.7%	2.3%	0.0%
家族の人間関係がうまくいかない	36	13	11	12	8	16	12	0
	2.9%	1.7%	4.6%	4.9%	5.4%	2.7%	2.5%	0.0%
夜間の世話で眠れない	29	20	8	1	8	10	10	1
	2.3%	2.6%	3.4%	0.4%	5.4%	1.7%	2.1%	4.5%
その他	22	11	5	6	5	9	8	0
	1.8%	1.5%	2.1%	2.5%	3.4%	1.5%	1.7%	0.0%
特にない	299	202	48	49	27	144	116	12
	24.2%	26.6%	20.3%	20.2%	18.2%	24.2%	24.5%	54.5%
無回答	406	283	30	93	12	204	185	5
	32.8%	37.3%	12.7%	38.3%	8.1%	34.3%	39.1%	22.7%

（５）障がい者福祉についての支援者の自由意見（自由記述）

問．最後に障がい者の福祉について、支援者が考えていること、ご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

自由記述を内容で分類すると、「障がい児・者サービスについて（医療や教育領域の支援を含む）」が 63 件と最も多かった。

※内容別の件数

内　　容	件数（件）
①　障がい児・者サービスについて（医療や教育領域の支援を含む）	63
②　支援者が支援できなくなったときの心配について(入所施設への希望も含む)	30
③　相談支援、アウトリーチ支援、支援者への情報提供について	27
④　障がいや障がい者への理解について	15
⑤　レスパイト、在宅介助・支援者へのケアについて	12
⑥　障がい者手帳、障がい年金について	10
⑦　障がい者の生活や介助等に係る費用について	10
⑧　障がい者支援の困難について	9
⑨　障がい者の就労について	9
⑩　その他	58

※各回答内容

①　障がい児・者サービスについて（医療や教育領域の支援を含む）（63 件）		
障がい	年　齢	内　　容
身体	17 歳以下	未就学から小学校に進学する時の相談がしたい。
身体	17 歳以下	通常の小学校に通っている子供の中にも、医療行為が必要な子供がたくさんいると思います。その場合、親族か、看護師免許がないとできないことあります。人手不足だとは思いますが、可能な限り看護師さんなどケアが出来る人の配置をしていただけたら、親御さんなど安心して学校に通わせられるんではないかと思います。
身体	17 歳以下	支援学校に通っているけど、通学者が少なくて、クラスに１人だからか競争心が少ない気がする。(忘れ物をしても遅刻しても恥ずかしくないと思っている気がする…)
身体	18～64 歳	成人を迎えても本人の能力や興味を伸ばしていける、教育や療育支援があったら良いなと思います。学校を卒業して、教育支援がサッパリなくて、本人の意欲や生きがい楽しみなどを増やしていける環境があってほしいと思います。
身体	18～64 歳	もっと楽しめるような企画や友達作りができる場がほしいです。 また同年代の知り合いがあまりいないようなので、親にも話せない事なども話せる場があったらと思います。 Ｂ型就労をしています。本人は、就労して賃金を得る事に喜びは感じているようですが、私が送迎をできるようならもっと満足できる就職先があると思っています。例えばＡ型や一般企業など。しかし、私にも仕事がありそれをする事はできません。仕事の内容は問題なくできるのに、通勤方法でどうしてもつまずいてしまいます。通勤であっても福祉サービスを利用できれば自由に就活先を見つける事ができると思います。
身体	18～64 歳	福祉サービスの利用時間が少ない
身体	18～64 歳	施設の充実さ
身体	18～64 歳	もっと障害者の福祉サービスを有意義にして欲しい
身体	18～64 歳	医療関係者には、障害者を家族に持って本当に感謝してます。これからも、家族はもちろんですが周りの方々の助けをお願いしたいと思います。

身体	18～64 歳	３歳から今に至るまでの事を振りかえると、小中高とここまで病苦してるひまもなく頑張ってこれたのも、先生方や回りの支援してくださった医療機関の先生、リハビリ、回りの人との会話が一番力になりました。娘も肢体不自由な体で第１種１級ですが、笑顔はだれにも負けていません。冷たい視線を感じても気にしていないようです。 これから先自立して行くには、障害度の高い人達が入所できる施設が必要だと思っています。
身体	18～64 歳	グループホームなどでの生活ができるようになることを希望していますが、良い施設に巡り合えるか、生活に慣れることが出来るのかが気になるところです。
身体	65 歳以上	具体的に福祉がいい方向に経済的にも支援が充実したら嬉しいです
身体	65 歳以上	一人一人生活環境障害が違うので寄り添ったサービスは難しいとは思いますが、少しでも生きているのが幸せと感じられるサービスをお願いしたいです
身体	65 歳以上	例えば廃校を利用するなどして在宅とグループホームをかけ合わせたような施設は作れないものか
身体	65 歳以上	まだまだ周囲の理解は得られていないと思います。障害者と関わる職員の質の低下も（昔からあるのかもしれませんが、公共の場であっても見ている方が不快になる位障害者に対する態度が悪い）あるとおもいます。
身体	65 歳以上	障害者施設の選択肢が少な過ぎる。介護保険施設ばかりでなく、障害者が入所して療養やリハビリができるところを増やしほしい。まだ若い障害者を高齢者と一緒に生活させるのは酷である。
身体	65 歳以上	様々な支援に深く感謝のみです。いつもありがとうございます
知的	17 歳以下	お世話になる方に信頼が持てない方がいるので、安心して子供を預けられない。見てないところでは、ほっとかれたり冷たくされそうで不安。以前子供が同じ施設の利用者さんにかまれた事があり、不安になる。
知的	17 歳以下	学校を卒業したら、就労している場所での年間行事なども無く、余暇はすべて家族が考えたりしなければならず、つらいです。放課後デイサービスのようなものがあれば利用したいです。健常者のように、土日に約束して出かける事など、なかなか難しいので、そういう場を作っていただきたいです。
知的	17 歳以下	働きたくても、学校の始業時間が遅く、就労先がかなり限られてしまう。その上、日常的に障害あるなしに関わらず、子育て中は発熱などの体調不良で早退や休みが多い為、就労先へのご迷惑や理解を求めたりと頭を悩ませる事も多い。また、学校のPTA活動も多い。自分の子ども又子ども達の為とは言え、就労の点、活動の進め方など考えても、器用にこなせる保護者がどれだけいるのか疑問に思う。なり手が不足しているのに、先生方も疲弊されており、PTA の意義やモチベーションを積み上げるのに、この時代では保護者でやりくりするシステムは崩壊していると感じる。
知的	17 歳以下	・カーシートが作れない体サイズになり、バギーでトランクドアから乗降するスロープ車を購入しないといけなくなった際の購入補助金があるとすごく助かります。
知的	17 歳以下	支援学校に面談に行った際の職員の対応が冷たく感じた。支援学級から支援学校への転入を希望しているが、なんでこんなに難しいのか‥腹立たしい
知的	17 歳以下	日常生活はなんとか送れていても、困っていることは、結構ある。一概に自分で出来る事あるからといって支援の幅が少なくなるのは…難しいのはわかりますが、年々福祉に対する基準が厳しくなっていると思います
知的	17 歳以下	宮崎に移転して３年になりますが、児童発達支援センターすぴかに通う事ができ、現在は支援学校と(夏休み前から)放課後等デイサービスに通わせて頂き、日々感謝しております。本当にありがとうございます。他県に比べて支援が充実していると感じておりますが、すぴかや放デイに通えないお子さんもいらっしゃるとお聞きします。訪問サービスやファミリーサポートもあるそうですし、民間の療育は玉石混淆で増やせば良いというものではないのでしょうが、より多くの困っておられるお母様方・お子様方に支援が行き渡るようお願い致したく存じます。 また、１８歳以降の支援(就労先等々)も、少しでも増えますよう、よろしくお願い申し上げます。
知的	17 歳以下	病院や発達支援センターなど利用する際に、外出支援の制度がもっと幅広く利用出来るようになれば有難いのになと強く感じます。親子で行く時に、親一人では支援が難しい時があります(子供が大きくなって体力的にも厳しい、目が離せないので、先生と話している 30 分位の間みていてほしいなど)。

知的	17 歳以下	障がい者にとって必要な支援は惜しみなくしてほしい。リハビリなどの重要性を知ってもらいたい。道具作製にも必要性がある物は作製出来るようにしてもらいたい。
知的	17 歳以下	リハビリがもっと沢山出来る所がほしい！そういう人が多いのでいつも予約がいっぱいで皆が平等にリハビリ出来るといいなと思う！
知的	17 歳以下	本人が毎日学校へ通う為の方法がないです（朝）。私（母）は持病があり車を運転できない。今は祖母やファミサポを利用して通学しているが、祖母も仕事があり送迎出来ない日がある。ファミサポは小学生までの利用になっているので中学生以降も利用できるようにしてほしい。（介助が必要な場合等状況に応じて家族もファミサポさんの車に乗って行ってもいい等柔軟に対応できるようになるともっと利用しやすいです。） 放課後の過ごす場所は充実しているが、朝に短時間預かってもらい学校まで送迎してくれる福祉サービスがあるととても助かります。福祉有償運送も利用したいが利用料金が高く利用できない。福祉有償運送やっている所も少ない。福祉有償運送を利用している方も多く、朝の登校時間に送迎できる所がないです。
知的	17 歳以下	質の高いリハビリや医療を選択できる機会が少なく、どうしても県外に出る選択をしなければならないのが残念。 障がい者施設や病院はスロープやトイレはあるが、日常の中でなかなか設備が整う場所は大型施設にしか見られないのが不便な点である
知的	18～64 歳	老人福祉にばかり力が入ってて、障害福祉は後回しな感がある。
知的	18～64 歳	入所施設が足りないと思います。入所するには 10 年近く待たないと入所出来ない現状をどうにかして欲しい
知的	18～64 歳	・人工肛門などをつけている医療的ケアが必要な子どもたちの支援が、大人の人工肛門をつけている人よりも少ない
知的	18～64 歳	・病弱の子ども達の就学支援、就労支援があまり手厚くなく、家族が動かなければ進まない状況にある
知的	18～64 歳	家族以外での支えがほしい
知的	18～64 歳	先程も書きましたが、親も老齢になり、重度の子供が不自由なく、24 時間 365 日生活できるケアホームをつくって頂きたい。
知的	18～64 歳	宮崎市は遅れてると感じている。親も高齢になり、施設が他の市にしかないため、面会や集まりにいくにも一泊することもあり、負担が大きい。体力的にも不安が残る
知的	18～64 歳	福祉施設の充実
知的	18～64 歳	この時期コロナ感染対策で、短期入所利用や日中一時支援など、利用が出来なくて保護者の負担が増える！施設に気兼ねなく利用出来るサービス提供があると助かります。
知的	18～64 歳	バスは手帳を提示すると割引があり、滅多に使いませんが利用時は助かります。本人は、電車を使って事業所へ通っています。月曜～金曜の週５日、往復利用しています。通勤通学ではないので、割引がありません。定期で通っていますが事業所が頑張って工賃を上げてくれても、１ヶ月分の定期代でほぼ無くなります。障がいが有っても、事業所で送迎を頼めたとしても、生活する中で交通機関を使えるなら使うのは普通だと思います。ほぼ、毎日公共交通機関を使用してて、通勤通学と何が違うのでしょうか？一般就労でもない、障がい者雇用でもない、Ａ型利用と違い最低賃金もでない。障がい者年金は、親亡き後も生活できるように貯蓄が理想です。障がい者支援というならば、(相談窓口やサービス、地域の理解など環境は良くなってきてる)支援を受けに行く、事業所に通うのを「通勤通学」と同じような扱いにして通いやすく欲しい。
知的	18～64 歳	家族に一人でも障がいを持つ者がいると、どこかに行く時も、何かをする時もサポートが必要なのに対して、兄弟で障がいを持っているとそれ以上にサポートが必要になり、家族の負担が増し、子育てや仕事や自分自身の病気で大変な時でも、誰にも頼る事が出来ないのが苦しい。日中支援やショートステイ等があるのは知ってはいるが、嫌がる子供を無理に連れて行く事は出来ないので、他に家族が安心して利用出来るサービスを考えて欲しいと思う。人と接する事が苦手な者に対しての利用出来る場所を提供して欲しいし、送迎に関しても子供が使える送迎が出来る事業所が少な過ぎて、結局は家族がつぶれる。
知的	18～64 歳	相談員の方が定期的に職場を訪問してくれているようで、ありがたいが、表面的なことしか聞かれてないように思う（本人からの情報では）。もっと深く関わってもらいたい

知的	18～64 歳	タクシー券を増やして欲しい
知的	18～64 歳	福祉事業所や支援者の理解がもっともっと必要だと思います。さまざまな障がい特性を持った人をひとくくりにして支援している現状。支援者の教育が行き届いていないのは明らかですが、人員不足が原因という答えをよくいただきます。 国から支援事業者に対して月に 10 数万の施設訓練費というサービスを提供した名目でお金が支払われていますが、何処にそのお金分の支援があるのだろうかと思います。支援計画も計画を作る事だけに時間を費やされています。立てられた計画は宮崎市の福祉課内できちんと目を通され、前回、前々回と比較され検討されているのでしょうか。サービス利用計画書の在り方をもっと考えて欲しい。計画なくして実行は無いとわかっていますが、無意味と思わせる計画書の改善を期待しています。 障がいという生きにくさを持ってずっと生きているのです。わがままではないのです。沢山の苦痛を自分自身で外に表現も出来ずもがいているのです。福祉事業所が理解できなければ、世の中の方々が理解するのは無理でしょう。 在宅で障がいを持ち、通所出来てない方々を調査して下さい。苦しんでいる人は沢山います。福祉事業所に毎日通所出来ていない人に目を向けて下さい。 「宮崎市障がい者計画」も第４期に入るとの事なので、もっと細かに手を差し伸べて下さい。親がいる間はまだ良いですがこの現状を親亡き後兄弟に委ねなければならないと思うと胸が痛みます。この声が届く事を・・願っています。
知的	18～64 歳	たまたま、現在一般企業に勤めることができていますが、就労継続支援Ｂ型を利用していた時もあり、その給料の低さに将来を案じていました。
知的	18～64 歳	これまで障害のある子供を育てながら思っていた事は、歯医者は障害のある人が行く歯科福祉センターがあるのでとても行きやすいが、他の病院は健常者ばかりいる中に行かないといけなく、息子はじっと待ってる事が出来ないので、障害の特性を知らない人達の白い目がとても痛くすごく行きにくい。医者も看護師も発達障害の扱いが慣れてなかったりするととても困る。障害者専用の病院があるといいなぁと強く思う。 息子は感覚過敏がありマスクをする事も出来ないので今の現状健常者ばかりの病院に行く事も買い物に行く事も出来ないのがとても困っている。
知的	18～64 歳	・ショートステイを利用したくても、預かってもらえる所がほとんどない！ ・この先どうなるのだろうと考えても答えがでない。重度なので、どこでも預かってもらえず、施設入所も足りないと思います。最近は住み慣れた所での生活をと耳にしますが、無理だと思います。皆さん自分の生活があり、ゆとりのある人はいないと思っています。以前、障害を持ってる人達の老人ホームという話が出ていたのですが、そんなホームが出来ればと期待します。　若い市長さんへ
知的	18～64 歳	相続を機に、裁判や後見人の手続き、障害年金の停止、サービス利用者負担増額など、思いがけない変化に、各所へ問い合わせた経験があります。障がい福祉課にも何度か電話し、親切にお答えいただきました。それまで当たり前だと思っていたサポート体制に、改めて感謝した次第です。 今回「幅広い相談を受ける基幹相談支援センター」を初めて知りました。今後わが家も高齢化し、災害や感染拡大など、想定外のことが多々起こるかと思います。万が一の相談先は大事だと感じたアンケートでした。
知的	18～64 歳	・外に出れる人には外でする支援、家でできる人には家でできる支援。障害者本人のみの収入で利用費を払えるのか考えなおすべき。 ・子ども時代から支援を受けてきた人は自立の可能性もあるが、高校で初めて支援を受けた人に自立をうながすのはひどいのでは？ ・パソコン、ゲームなど、そういったものが得意みたいなので、そういった事を通じてできる支援を考えてほしい。
知的	18～64 歳	・Ｂ型事業所の仕事から得る賃金は、コロナ禍で売上が減り、現在￥5,000 です。年金と毎月の賃金でようやくグループホームで暮らしていますが、ギリギリの生活です。病気をしたら、入院したらと不安です。Ａの障害の方は医療控除がありますが、Ｂ１・Ｂ２はないので、親亡き後が心配です。 ・本人達も高齢化しています。保護者も高齢です。知的障害は年齢 10～20 のプラスで思考や行動が重くなっている様に思います。是非、障害の方の高齢化に向けた対策をお願いしたいと思います。
知的	18～64 歳	安心サポートでの「１週間分のこづかい」の事がすくなくて、人を馬鹿にした言い方をする。人が言ったきんがくより半分しか出してくれない。それにイらつく。たいどもわるい。

知的	65 歳以上	・利用者が使いたいサービス、使えるサービスが分かりやすく、使いやすくなってほしい。
精神	17 歳以下	もう少し、学校に支援者を配置してほしい。私立の学校にもそういう配慮をするように。
精神	18～64 歳	就労支援サービス自体も次々と、閉鎖が増えてます。職員に対しても処遇改善働きやすい職場にすることで利用者と一緒にやりがいを感じることができるような職場にしてほしい。
精神	18～64 歳	引きこもりを家から出して、社外に出して欲しい
精神	18～64 歳	精神障害者が自立に向けてのグループホームの数が少なく、情報も少ない
精神	18～64 歳	いろんな所に相談しても何も解決しない時はどうすればいいのか、大変な我が子を入所させたくても 30 人待ちがあたりまえです。毎日、毎日、不安に過ごして疲れます。考えてはいけない事何度も考えてしまいます。ニュースなどでたまに聞く障害者の家族が大変な我が子を殺してしまう事件など凄くわかります。毎日が、自分との戦いです。辛いです。心療内科を予約しても２ヶ月待ちです。助けを求めるのも疲れました。
精神	18～64 歳	免許取得したくてもできない、宮崎での移動は車が一般的なためなぜ精神障害にはタクシー券の支援がないのかが不思議でたまらない。
精神	18～64 歳	・難治性うつ病の対策不足 ・磁気刺激療法の整備の促進して欲しい
精神	18～64 歳	精神障害者の自動車税免税を 1500cc までに拡大してほしい。
精神	18～64 歳	福祉のたずさわる人は、ボランティアの人に至るまで、守秘義務を固く守らねばならないということの教育の指導を徹底してほしい。
精神	18～64 歳	精神障害者支援についてのお願い 私の長男は、身体的には健康なのですが、精神障害者１級です。広汎性発達障害の中でも、どこにも分類し難いとの診断です。他人との関りを嫌い、物事へのこだわりが強く、共感性もなく、家庭でも自分の意のままにならない事があると、大声で騒ぐ等、思いを一方的に押し付けてくる事が多々苦慮しています。数年間、就労支援施設に通所していましたが、騒いで何もしないでいることも多く、他の通所から来ても何もしないのはおかしいとの意見があると施設側から言われ、やむなく退所して数年経ちますが、どうにもなりません。何をどうしようと本人の性格や行動が変わる事は期待できません。現時点においても対応していただける支援施設やサービスが少なく困惑しています。
精神	18～64 歳	日常生活で困っている事があった場合に、早急に支援できると良いと思います。しかし、訪問看護の頻度により、対応が遅れる事もあるため、毎回の訪問で、話の傾聴・観察しながら早期対応に努めたいと思っております。
精神	65 歳以上	社会福祉の方は、ただ事務的で、バカにしたような対応で悲しくなる。もっと障害者を理解し、相手の気持ちにもう少し配慮してほしいものです。私の友人は、ホームヘルパーさんや訪問看護、よしみ支援センターの担当の方がいて、とてもよく面倒を見てもらっていて良いなと思います。デイケアスタッフに自分の事をわかってもらおうと話をすると、「必要以外の用事とかはやめて」。自分には大切なことなのに十分話を聞いてもらえない。友人は色々聞いてもらっているみたいで、どうして病院によってちがうのだろうかと思う。福祉支援センターの方に、支援を熱心にしていただけたら助かるだろうなと思う。私の友人に同じセンターの方が、「お前は２か３か」と障害等級を聞かれたとか。ことばにはことだまがあります。ことばによってその人の人柄がわかります。決してていねいな言葉を使えというのではありません。言い方ひとつで人を傷つける事がある事をわかってほしいと思うのです。色々とぐちを書きました。お許し下さい！

②　支援者が支援できなくなったときの心配について（入所施設への希望も含む）（30 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	17 歳以下	現在私(母)と全介助の障がい児２人暮しのため私が病気になれば預け先(入所、ショート)がなく入院も出来ず、収入も無くなる。他県と比べて宮崎は福祉サービスが少なく保護者の負担が大きいと思います。介護度が高いほど預け先がない。成人のショートや入所先の充実をお願いします。
身体	18～64 歳	自分が高齢になった時の不安

身体	18～64 歳	自分たちの方が先に歳をとっていくので、ひとり残していくのは心配。一人暮らしできるように金銭面の安心が欲しい。
身体	18～64 歳	知的障害もありますので、親がいなくなった後のことが不安です。
身体	65 歳以上	支援される方もする方も若くて動けるうちはいいけど年を取るにつれ、体が動かなくなったときが心配です。
身体	65 歳以上	障害者が更に高齢になった際の介助、生活の安定に不安。
身体	65 歳以上	自分がなくなった後の世話
身体	65 歳以上	今はないが先々には何かあると思う。
身体	65 歳以上	夫が 84 才なので体が悪くなって来たら生活出来るのか不安です。私の体も少しずつ日常のことが不便になってきてますので心配です。
知的	17 歳以下	支援者が亡くなった後のことが心配です。
知的	17 歳以下	これからも出来る限り在宅でみていこうと思っていますが、それにあたりかなり沢山の事業所さんのサービスを受ける事になり、受け入れてくださる事業所さんには感謝の気持ちでいっぱいです。しかしこのコロナ禍で本人もですが、家族が感染した時に預けれる施設がないのが現状です。そういった施設、事業所が増えるとありがたいです。
知的	17 歳以下	また障害者の方の保護者が亡くなった後の生活環境。兄弟がいるから頼れる訳ではなく兄弟には兄弟の人生があるので障害者の方が困り感なく生活出来る施設等充実していただけますと親として安心して毎日生活出来ます。今のままでは今後の人生が心配です。
知的	18～64 歳	これから先、私が病気などをしたとき、子どもはどうなるのか？と不安です。
知的	18～64 歳	将来、親が年をとった場合、面倒を見る人や場所(施設など)があるのか不安。
知的	18～64 歳	今は、十数年前に比べたら沢山のことが整備されて、とても充実した時代になったと感じています。 ほとんどの場合、親が先に逝ってしまうので、残された子供が安心して生活できる環境を準備しておくことが最大の役割かと考えます。
知的	18～64 歳	親無き後の居場所が確約されれば、何も望みません
知的	18～64 歳	親なき後の不安
知的	18～64 歳	親亡き後の不安がずっと続いてます。それが解決すればもっと安心して毎日を過ごしていけると思います。
知的	18～64 歳	親無き後の事を考え、安心して過ごせる 24 時間職員さんが常駐してくれるグループホームのようなところが沢山できるのを期待したい。
知的	18～64 歳	支援者が高齢になるにつれ日常生活不安が増してグループホーム施設の充実、家族信託などの理解支援が欲しい。
知的	18～64 歳	親が亡くなった後の障がいがある我が子が生きがいをもって暮らせる福祉サービスの充実。
知的	18～64 歳	知的障害のため色々な事に対して理解出来ず、誰かの補助がないとなかなかむずかしい所があり、人と会話がうまく話せない。親だとだいたいこういう話かとわかるんですが難しいですね。今は、親が居て生活には困らないんですが、親がいなくなった時の事を考えると不安で不安で…。福祉の方で支援してくださる方がいらっしゃると安心するんですが。それとお金の計算がむずかしいですね。
知的	18～64 歳	・障害者が障害者を支援している家への支援、一人になった時の支援の引きつぎ、サポートを市でもつくっていってほしい。
精神	17 歳以下	親として将来が不安でたまらないが どうどこで情報仕入れたりしていいかわからないまた私たちが益々年を取った時に子供はどうして生きていけばいいのか不安でたまらない
精神	18～64 歳	私がいなくなって、収入や年金が減ったら、生活が心配です。
精神	18～64 歳	母もいつまでも元気でいるわけじゃない。本来なら私が家事をして母の面倒を見たいがとても難しい。仕事を辞めて体力を温存すれば家事は少しは出来るが、そうなると金銭面で生きていけなくなる。将来が不安
精神	18～64 歳	介護が出来なくなった時、食事付きの施設に入所が出来たらいい。
精神	18～64 歳	自分亡きあと、一人残される娘が心配

精神	18～64 歳	親が元気なうちは家庭で対応できますが、その先はどうなるのでしょうか。福祉の方でも多様な支援を考えておられると思いますが、この様に対応の難しい障害者が居る事をご理解いただき、将来的に受け入れてもらえる施設の構築を御要望致します。また、現時点においても対応していただける支援施設やサービスが少なく困惑しています。
精神	65 歳以上	支援者が更に高齢になり、自分の事はできても、障害者の支援ができなくなった時に、要介護者でなくとも、障害者と共に介護施設入所が可能になればうれしいです。

③　相談支援、アウトリーチ支援、支援者への情報提供について（27 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	17 歳以下	足りているようで足りていない気がします。障害をひとくくりにするのではなく、もっと細かい配慮が必要です。私たちも、みなさんも、我慢されていると思います。窓口に障害者さんの気持ちの分かる支援員さんを配置するなどしないと、市のこども課などに相談に行っても全く分かってもらえず大変な思いをしたことがあります。実情がわかるボランティアさんなどを配置するなどしていただけると助かります。
身体	18～64 歳	誰にも言えず大変、人に頼りたいが迷惑かけてしまうのではないかと思い頼れない
身体	18～64 歳	サポートを受けたくても、ヘルパーさんを見つける事が大変。急な予定などは、依頼しても断られてしまう。支援者も仕事をしているため、時間の余裕がない。仕事を辞めると、経済的負担があるので辞められない。
身体	18～64 歳	障がいの程度に関わらず、柔軟に相談に乗ってくれる窓口が欲しい。
身体	18～64 歳	計画など意識せずにもっと気軽に福祉サービスを利用できるといいと思います。
身体	18～64 歳	相談事は、利用している事業所の方々や相談員さんが親身になって聞いてくださるので、気になった時は、相談させていただいております。福祉に携わる方々が頼れることはとてもありがたいです。
身体	65 歳以上	病院への送迎ができない時どこの事業者に頼ればよいのか解らない。
身体	65 歳以上	公共の支援制度の丁寧な説明
身体	65 歳以上	支援者も持病がある場合、助けてもらう人がいないと 自分も通院出来ないし体調が悪くても我慢しながら介護をしなければならない。障害者の相談に行っても、パンフレットを見ての説明で終わり。支援者は、調べて調べ尽くして分からないから専門の相談窓口に行ってるのに、時間の無駄だった。
身体	65 歳以上	入院、通院時もう少し症状についてできるだけひんぱんに説明してほしいです。
身体	65 歳以上	入院をした病院側担当の方が必要な手続きを指導下さるので安心出来ました。それでも実際動くのは家族ですので、負担はあります。この時に思いました。動ける身体で良かったと。残された家族が高齢の場合、あるいは動けない身体の場合、市や他の機関に助けを求めた時、手続き等代行で進めて下さるのでしょうか？ 又、どなたが見ても理解出来る細かいラインナップの載った冊子はありますのでしょうか？一冊にまとめられている物はありますのでしょうか？（私が知らないだけでしたら、申し訳ございません。）
身体	65 歳以上	支援に関する事、今後入居する施設の事など相談できる所があればと思います。
身体	65 歳以上	この書類を見て、こんな制度が有る事を初めて知り、障害者手帳を配布された時に市役所の支援制度にこの様な事があると言うことを手帳配布認定された時に話して欲しかったと思います。 以上は本人の唯一の支援者である妻と話し合い代筆しました。
身体	65 歳以上	何か分からない時に聞くことができなく、情報がない。
知的	17 歳以下	たくさん、本人も我慢していると思いますが親の私もたくさん泣いたしたくさん悩みました。でも、どんなに悩んでもどんなに足掻いても何も変わらない。子供のサポートも大事だけど親のサポートも必要だとおもいます。仕事の時間の制限や放課後ディサービスの時間の拡充、障害に対する理解。子供の将来。考えたら不安はたくさんあります。その辺りの支援や情報がほしいです。
知的	17 歳以下	支援に関するいろいろな情報がほしい。どういうときにどこに相談したらよいかわかりにくい。
知的	17 歳以下	ホームページで情報が確認できるよう工夫をお願いしたい。安心して生活させてあげたいので。

知的	17 歳以下	障害者の年齢別や状況別で、こういう場合にはどこどこの機関へ連絡してこういった手続きが必要、と明確に記載してあるマニュアル本のようなものがあるといい。もし既にあるのなら配布してほしい。
知的	18～64 歳	病弱(内部疾患)に特化した相談窓口があるとありがたい
知的	65 歳以上	・利用者が年を重ねていくと、親族に不幸があり、色々ある手続きを１人で出来ずに困る事がある。そういった場合、どこにお願いしたらいいのか。 ・年金の手続き等も大変だった（65 歳になった時）。
精神	17 歳以下	3 歳まで診断を待たずに発達障がいが軽くなる治療が他国にはあるのに、日本はなぜ改善させず投薬やレベルの低い遅れた知識の人しかいないのか不思議です。日本では製薬会社が儲けたいから薬を無駄に飲ませたがります?なぜか海外の情報は日本には入ってこなく、ヨーロッパあたりではもっと進んだ治療、食事、自然を使った感覚統合、キレーションなど脳内の金属の排出などあるようです?今はネットがあるので、色々な国の情報を集めて参考にした方が良いと思います！
精神	18～64 歳	相談窓口を増やして欲しい
精神	18～64 歳	本人も精神障害がありながら両親２人を介護しています。他に親戚もいないので大変です、もっと相談できる場所や人を増やして欲しいです。どこに助けを求めて良いのかがわかりません、同居していたらあれもダメからもダメと言われます。粗大ゴミ捨てるのも同居していたら引き取りに来れないと言われました。改善して欲しいです
精神	18～64 歳	家族のサポートもほしい。夜間や土日に対応できる機関があるとよい。ネットでの相談など。
精神	18～64 歳	支援者が負担にならない支援 今の社会では現実的に仕事を持ちながら介護や支援が、常識になってますが、介護休暇はあるが法律では 93 日以上はとれない。まず制度自体に限界があるのではないでしょうか。支援される側にとって医療的に判断を求められる場合気を遣い本意でない返答をせざる負えない場合があります。支援する側にとっては世帯あるなしで生活状況もそれぞれ違い納得できない 判断を求められる場合があり何のために制度があり、結局使えない。状況に応じて緊急的に対応できるようにしてほしいです。
精神	18～64 歳	相談に行く事があったら親身になって話しを聞いて頂いて解決法をなるべく一緒に考えてほしい
精神	18～64 歳	相談する場所が欲しい。

④　障がいや障がい者への理解について（15 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	目に見えない普通の人にしか見えない障がい者の人が、ヘルプマーク以外でももっと理解してもらえる手段が欲しい。ヘルプマーク自体を知らない人が多い。 優しい世界になって欲しいです。
身体	65 歳以上	病気や事故などで障害が残った人間にも、過去には輝かしい活躍の時間があったことを忘れず、暖かく接していきたいものだと思う。
身体	65 歳以上	今は民間の施設に入所していますけど、まったく障がい者の事はわかってくれてないと思います。もう少し理解してもらいたいと思います。何も理解がない。
知的	17 歳以下	個人の障がいの程度をきちんと理解してほしい
知的	17 歳以下	まだまだ世の中の障害に対する理解や支援策は進んでいないのが現実だと思います。
知的	17 歳以下	医療機関においても外出先でも周りの方々の障害者に対する理解があれば障害者の方が安心して外出したり医療機関に行けたりするのではと思います。また本当は本人の余暇として好きな映画鑑賞などさせてみたいなど色々ありますが、その場所で声を少し出してしまったり急に立ち上がったりしたら迷惑をかけるんじゃないかと映画鑑賞をさせてあげれない状態です。外出をしても声を出さずにいれなかったりして嫌な事を言われたり変な目で見られるこの世の中に凄く不満を感じてます。もっと安心して外出をする環境にならなければ付添いの方がいつも気を張って外出しないといけないし疲れます。
知的	18～64 歳	福祉事業所の方が就労者の症状を理解し把握して対処しようとしていないのに一般の方に理解してもらうのは無理があると思ってます。
知的	18～64 歳	支援者から見てもほかの周りの方の障害への理解がないと思います。
精神	18～64 歳	目に見えない精神や発達障害は人間関係がわからないです。人から変な顔と言われたり悪口陰口言われたりなんで怒られているのかわからないです。

精神	18～64 歳	もっと障害者のことや生活保護のことなど福祉に関することを世の中にしってほしいです
精神	18～64 歳	障害者に対して、理解が欲しい。
精神	18～64 歳	宮崎市では、どりょくなさっていると思いますが、障害者及び世界で 110 番目ぐらいに差別されている女性を現場に増やしていただきたい。担当の方々には、いつもお世話になってありがとうございます。宮崎市だから自殺せず生きていけます。 山間部の実家で精神疾患が在れば、親戚を含めて酷い差別を受けます。宮崎県は連続自殺率が九州では 20 年間１位。去年は全国で２位です。
精神	18～64 歳	障害を持っていても、社会の中で生き生きと生活できるように、社会全体が障害者に優しい世界になってほしい。
精神	18～64 歳	今回は回答期限が過ぎているにも関わらず声を拾っていただきありがとうございました。 障がいがあるなしに関わらず、個人がありのままで認められる雰囲気が広がると本当に生きやすい世の中になるのではないかと感じます。
精神	65 歳以上	全く判らないです。他人は私達の事を考えてくれているのかなあ？

⑤　レスパイト、在宅介助・支援者へのケアについて（12 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	是非ともお泊まりが利用出来る施設を増やしてもらいたいです。色々調べて電話したりしたのですがほとんど今はやってない所あっても満足できないと非常に大変でお泊まりがないと色んな行事など行けない場合がほとんどなのです。本当に、是非とも宜しくお願いします
身体	18～64 歳	皆が皆地域との交流を希望はしていないとおもいます。それより、１週間のうち６日は通所させて欲しいです。お互いストレスがたまるので！
身体	18～64 歳	保健所等で話しをしても、支援の連絡に時間がかかり何もしてもらえない事が多々あり、結局支援を諦め、家族で抱え込む事になってしまうことばかりです。
身体	65 歳以上	家族介護に少しは予算を回して欲しい
身体	65 歳以上	以前は在宅介護手当てがあったと記憶しています。その後現物支給…今はそれはいきているのでしょうか？
身体	65 歳以上	介護している人にも、金銭的な補助や安心できる補助を考えてもらえれば助かります。
知的	17 歳以下	知的、発達・自閉症、口唇口蓋裂、耳にチューブ置換、これだけの障害が子供にあり、通院も大変で、すぐに発熱・鼻水・耳垂れが出て学校を休み私も仕事を休まざるを得ない。そのため、職場に迷惑をかけるので仕事も続かなくなる。悪循環です。コロナ禍で仕方ないとはいえ、精神的に参ってしまいます。障がい者を支援している者への支援もあると良いのではと思います。
知的	17 歳以下	福祉施設の充実により、支援者が自分の時間を持てるようになると良い。
知的	18～64 歳	家族と長く一緒に過ごす為には、家族が介護で体を壊したり、無理をしないように予防的な福祉サービスが必要だと思います。自分も長年の睡眠不足等で病気をしたので、まだ家族が若く元気でも、介護士等が日常のサポートに入って、ゆとりを持って生活したり、兄弟を優しく育てたりできるような態勢であって欲しいと思います。
知的	65 歳以上	本人もだが介護者の心のゆとりの助けも…
精神	18～64 歳	気軽に相談出来る人が欲しい。
精神	18～64 歳	家族にも支援を

⑥　障がい者手帳、障がい年金について（10 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	３級にも障害年金を出して下さい!
身体	18～64 歳	申請のための診断書の経済的負担が大きい。時期も他の申請との関係で頻繁になり検査等が複数回になり大変です。
身体	65 歳以上	等級と年齢で、待遇が違いを感じているよ??

身体	65 歳以上	障がい者は目に入ってわかる人とわからない人がいます。家庭でのことは、みなさま本音をいえませんので、ケアマネジャーさんなどに話しできることと、障がい福祉課の方の対応が誠実に早く、ていねいに、手帳などの手続きができたことを、いつも感謝しています。ありがとうございます。
知的	18～64 歳	年金もできれば毎月 15 万欲しいです
知的	18～64 歳	できれば障害者手帳をカードにしてほしい。マイナンバーカードがあって、なぜ障害者カードにしてくれないのですか。手帳がぼろぼろになっています。カードにすればぼろぼろにならなくてすむし、家族の人が持っていれば大丈夫じゃないんですか…？障害者の療育手帳Ａ、車いすの方、目が不自由な方、と重い人のカードの色で識別してほしい。とにかく、障害者手帳を持っている人にカードにして下さい。
精神	18～64 歳	障がい者手帳をカードにしてほしいです。財布にはいるサイズだとべんりです。
精神	18～64 歳	住民税、所得税、健康保険、年金等のご配慮をさらに、願いたい。
精神	18～64 歳	障害年金ももらえず、精神的にも金銭的にも苦しい。団地が安いと引越ししてきたら所得によりますと言われた。
精神	18～64 歳	障害年金がもらえたら？

⑦　障がい者の生活や介助等に係る費用について（10 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	医療費受給資格に紙おむつが対象になると非常に助かります。もしくは現物支給となれば有難いです。毎日毎日の使用に高額の支払いが生じています。税金の控除対象ではありますが、それは雀の涙程度しかありません。
身体	65 歳以上	外出時の交通手段をもっと安い価格でと思います。身障者の方の経済的負担が大きいようです。通院等の回数が多い方は特に。
身体	65 歳以上	仕事、アルバイト、経済的負担が大。
身体	65 歳以上	外出時の移動は常に車であるため、年間 6,000 円分のガソリン券をもっと増加してほしい。
身体	65 歳以上	老後に金銭面の不安なく生活できる事を望みます。
知的	17 歳以下	児童扶養手当も切られてしまい、やることは沢山あるのにお金がついていかない。わが家の子供は見た目にはわからない障害だからこそ、すごく不利だし不安しかない。
知的	17 歳以下	経済的負担が多いが、支援者が働く事が出来ないのが苦しい。
知的	18～64 歳	とにかく出費が大きく自分の老後の資金がない。自分の時間が全くなく自分の病気の通院治療もできない。
精神	18～64 歳	無職なので収入がなく生活が非常にくるしい。
精神	18～64 歳	もう少し経済的余裕がもっとあっても良いのでは。

⑧　障がい者支援の困難について（９件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	車椅子になって困る事が、沢山分かりました。買い物に行っても、カートは、押せない。品物が届かない。お金を払うのに、機械化され、ボタンに届けない。早くしてみたいな、顔で見られる。急いで、レシート、お釣りを渡され、手は塞がるし、車椅子は動かさないと行けないし、財布は持ってるし、にっちもさっちもいきません。
身体	18～64 歳	親が高年齢になって来ているので日常生活の世話の大変さを痛感している。
身体	65 歳以上	義兄の世話を食事衣服の着替えを 40 才頃からしてきました。若い時はそこまで思いませんでしたけど年を重ねると身体的、精神的にも疲れ特に排せつの始末被害妄想的言動には大変でした。
身体	65 歳以上	耳が遠くて会話がなかなかです。４回はくり返し大きな声を出すので大変です。ジェスチャーか筆談だと分かってくれます。
身体	65 歳以上	昭和 23～25 年に生まれた人は、なんでも自分でしようとする！人にたよるのはしたくないと考えているので対応はむずかしい！
知的	17 歳以下	大人になってからも、大人になるまでもとても大変です。
知的	17 歳以下	バス、電車に乗ると嘔吐をするので、交通手段が車だけ。福祉タクシーもあるけど、金銭面がきつくなるので、利用できない。一人でのお出かけも難しい

精神	18～64 歳	後発である障害は、本人が障害があると認めてはいるが細かいところはわからず、自分はできている昔のまんまだと思っているので、仕事にしても支援事業に満足していないところ。実際はほとんど役にたててないのですがね。そこを言うと怒りだし関係を絶とうするので、先生や支援者の方も今後のコミュニケーションを考えると指摘するのも難しいようです。親としてもまた暴力などに繋がらないか心配です。どうやって今の障害、うまく付き合うことを理解させればいいのかがいつも考えさせられます。
精神	18～64 歳	夫婦で障害者なので、健常者と同じことが出来ない。当たり前のことが出来なくて困る。

⑨　障がい者の就労について（９件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	18～64 歳	障害を持っている方の働ける場を増やして欲しい。
知的	17 歳以下	宮崎市役所採用試験に知的障がい者のみが受験できる採用枠を設けて欲しい。身体障害者、精神障がい者と一緒にされると筆記試験を突破するのが不可能。知的障がい者を排除している差別であるため、正常な採用をして欲しい。
知的	17 歳以下	今後就労を希望しても受け入れてくれる場所の選択が少なかったり自分でさがさないといけない状況だったりするのでその辺の充実。
知的	18～64 歳	仕事を選ぶにしろ障害というだけで差別をうけるのでかわいそう。
知的	18～64 歳	・障害を持っていても、本人には意思もあり、心もあるし、なりたくて障害者になったわけでないのに、障害者ということだけで刑務所より安い賃金で、どう自立させるつもりなのか？ ・健常者は、仕事せず行くだけでも給料…差別的過ぎて人間としてみてないのではないか。事業所には高額を賃金を与えて、障害者はつらくなり、自殺や死んでいいという気持ちにさせてると思う。
知的	18～64 歳	現在、就業支援センターのお世話で、中堅のスーパーにパートで働いていて、17 年になります。2～3 年前に、仕事内容が少し変わることになりました。その部署は８名位の職員がいる職場です。すぐに仕事になれないものだから、いじめ、パワハラが始まりました。 職場の上司に何度も話をしましたが、分かってもらえず、両親を含めて３回程話し合いをしました。３回目の時は組合の方にも参加してもらいましたが、上司の方が障害に対する認識がなくわかってもらえませんでした。 一応、労働局の方にも行きました。誰も、どこも解決策が出せず、結局娘に辛抱させるということでひき下がりました。多分、組合の方で動いて下さったと思っていますが、その後内部異動があり、現在は楽しく働いています。 親が健在の場合はいいですが、こういう時に本人達が相談に行ける所を明確にしてもらえないでしょうか。私達も本当に困りました。市役所の相談窓口にも行きました。 ゆっくりていねいに指導してあげればＢ２位の障害ではちゃんと働けると思っています。よろしくお願いします。
精神	18～64 歳	娘が就職に繋がらず先行きが不安です。
精神	18～64 歳	・過去に技術職として、働いていたが、障害者雇用では、その業種、職種の求人がない ・障害者職業支援センター、労働局の支援が各利用者として、中途半端に感じた。
精神	不明	仕事についたときの職場側への理解を、支援者の方が、話し合いの場を、もう少し時間をかけて話し合いがあったら良かったと思います。

⑩　その他（58 件）

障がい	年　齢	内　　容
身体	65 歳以上	障がい者福祉の他県に劣らない充実。
身体	65 歳以上	左上下肢併１級の不自由さは、老齢とは云え、健常者の私には、妻のくやしさは思いこそすれ、全てを理解する事はできません。国・県・市が障害者支援の為に色々と制定されているサービスに感謝していますが、どうか今より厳しい制度改正がされずに障害者により添う支援制度を考慮していただけることを心より望んでいるものです。

知的	17 歳以下	現在小学１年生なので、小さい時に比べると、楽になった部分が多いですが、逆に、目が離せなくなった部分もあります。本人、家族、ともに、楽しく暮らせればいいなと思います
知的	18～64 歳	障害者の福祉も子どもが卒業した頃からすると良くなっていると感謝しています。
精神	18～64 歳	北欧のように充実した福祉を??
精神	18～64 歳	精神障害者に対する国の手厚い支援を望む。
身体	17 歳以下	各々、障がいはありますが少なからず遠い知り合いでも、誰もがその立場になり得るので自分ならどうする？どうして欲しいを考えた工夫をして頂きたいです。
身体	65 歳以上	何にでも言えるが、差がおおきい。
身体	65 歳以上	入院してから退院してセブンに買い物に行った時 10 数年振りに目が合ってそのまま家に帰ったところ、多分その時につけられてストーカーが始まった様に思われます。交番に TEL したりするけれど夜２日に１回は見回りしてくれるけど、事業社を頼んでいるので、夜８時頃フロアに出て駐車場を見たら車から明りがパカパカしていておかしいと思って部屋に入ったら、テレビがつかず、携帯が使えなくなって…それから眠れない夜が続きました。この後は書類をもってきてお話したいと思います。
身体	65 歳以上	年末体調をくずし現在入院中です。回答が不充分かも知れませんがお許しください。
精神	18～64 歳	買い物や通院など制度はあると思いますが公共交通機関や移動手段に関しても民間と連携して使いやすいサービスにしていただきたいと思います。バスに関しても大きいバスを走らせること自体もったいないと感じております。街中バスで走行しているようなバスを周回で団地内に走らせてほしい。
身体	65 歳以上	思いやり駐車場の数が少なくて駐車するのに時間がかかる事があります。生活しやすい社会になれば良いなとよく感じます。
身体	65 歳以上	障がい者スペースに駐車出来る、許可証をいただきたい。外から見て分かるもの。
知的	17 歳以下	もうすこし、バリやフリーや、駐車場の確保屋根付きなどが有れば乗り降りがスムーズにできる。
知的	17 歳以下	街中以外の田舎にも、道路などの整備、店舗のバリアフリーをしてほしい。
知的	17 歳以下	障がい者施設や病院はスロープやトイレはあるが、日常の中でなかなか設備が整う場所は大型施設にしか見られないのが不便な点である
身体	18～64 歳	入所施設の費用が高い。施設の医療体制の不備施設の一部職員からの暴力
身体	65 歳以上	介護士の給料をあげてほしい、毎日お世話になるありがたいから
知的	17 歳以下	診療報酬が上がればなり手も増え、在宅で診てもらえる看護師等が増えて、在宅介護する側も精神的に余裕が出ます。
知的	17 歳以下	福祉施設が利用できるように、福祉施設の報酬なども増やして人員の確保ができるようにしてほしい。
精神	18～64 歳	職員に対しても処遇改善働きやすい職場にすることで利用者と一緒にやりがいを感じることができるような職場にしてほしい。
身体	18～64 歳	今、何でもパソコンやスマートフォンなどで手続きを取ってるけど家にパソコンがない家では機械に苦手な人がいるので何でも手を抜かず対応してほしい。
身体	65 歳以上	市役所など体が不自由で文字か書けなかったりで、代理で行っても委任状が課で違うし、個人情報と言う理由でこれは教える事が出来ないなどなんの為の代理かわからなくなる。委任状も一つあればいいと思うし、代理なのだから詳しく教えて欲しい。
知的	17 歳以下	特性に応じた配慮をお願いしたい。手続きなども簡素化してほしい。
知的	18～64 歳	難しい文書等が送られてきても本人は理解できない事が多いのでもっと分かりやすい文書にしてほしい。
精神	18～64 歳	必要な福祉サービスでも所得によって経済的に負担が大きくなることがある。診断書などの出費も多い。わざわざ窓口に行かなくてもできることを増やしてほしい。
身体	18～64 歳	支援者である主人に糖尿病治療中のため、体調不良になった場合、今は家族に娘がいますが県外に就職したら１人で主人の闘病に付き添い看病しなければならないので、病院でのカンファレンスなど、お医者様の専門用語や看護士さんらの多忙勤務理解出来ますが冷淡な態度取られたり、すると精神的にナーバスになります。 また、舅が県外特老人施設入所してるので、緊急時に対応しないといけません。なかなか、身内にも話すと心配されるので話せませんし、愚痴も言えません。 そう言う場合でも気軽に相談や茶話会のような訪ねて行きやすいサロンがあると良いなぁと思います。
身体	18～64 歳	地域での交流や情報がほとんどない。孤立している人もいるのでは。

身体	65 歳以上	ネットワークづくり
身体	65 歳以上	父母二人を、自分が仕事をやめて７年間介護をしました。父は２年前に死亡、母は去年１月に入所。介護をする者にも気軽に想談（話し相手）などあるとよいと思います。
身体	65 歳以上	障がい者でもあるが要支援 1 での介護支援か必要です。認定がきびしいきがします。
身体	65 歳以上	現在介護保険を使わせて頂いて助かっております。ただ本人が一人暮らしを希望してますのでそれが気になるところです。
身体	65 歳以上	生活保護ですが、ケアワーカーの方も来た事もないし、話もしたことないです。
知的	65 歳以上	・介護保険制度によるサービス事業所 ・障害福祉サービスの事業所 65 歳を超える障害者が移行する様になっている事について、以前より良くなってきてはいる様に感じていますが、重度身体障害者にとって、介護福祉サービスの内容では十分つかえるようになっていない気がします。障害福祉サービス事業所に対して、もっと力を入れてもらい、最後までみてもらえる様にしてもらいたい。
身体	17 歳以下	地域で暮らし、地域の中で育てたいと思う。が、なかなか難しい面が多いです。コロナ禍もあり、尚更です。
身体	18～64 歳	特に頼る人がいない世帯が安心して暮らせる地域作り
身体	65 歳以上	普段の生活のサポート
知的	17 歳以下	これだけ自然が溢れる宮崎市なので、もっと子どもが走り回れる遊具や運動場がほしい。近所の公園はどんどん遊具が古くなり撤去もある。特にその後の管理にお金がかかるのか、ブランコが少なくなっています。遊具があると、体力作り、腹圧への鍛練に良い為、遊具を求めて遠い公園に行ったりする。障害の無いお子さんのいない時を見計らったり気を遣うので、町の公園を草刈りだけでなく遊具も充実していただけると助かります。
身体	65 歳以上	職場も理解がないと働きにくいと思う。幸い今の職場は年齢が高い方が多いので理解がある会社だか自分の親が介護が必要になった時介護の大変さが分かると思う。
身体	65 歳以上	仕事をしており十分な支援ができないと感じます。自分自身の事、仕事と支援の両立が難しいです。
知的	17 歳以下	障がい者の家族を主に支援する者は、安定して仕事をすることができない。少数派でいつも見逃されてしまうが、肉体的精神的負担は、ひとり親支援の基準も充分満たすことができると思う。介添者への短時間の就職または内職の斡旋等、障がい者家族への支援も早急に検討をお願いしたい。
精神	18～64 歳	家でできる仕事を増やす
身体	18～64 歳	このアンケート依頼を、送る人を選んだ方が良いと思います。あと、質問内容がよく分からない項目が多すぎです。
身体	18～64 歳	このアンケートは長すぎる似た要点は排除した方がいい！内容が入ってこない手先が不自由にはきつすぎるこの時点で気持ちが、わかってない
身体	65 歳以上	質問が長過ぎて年寄りには辛い。
精神	65 歳以上	このアンケートも、なんで QR コードを読み取る形なのか。誰を対象にしたアンケートなのか。独居の者は対象外なのか
身体	17 歳以下	受けられる支援サービスなどの情報を当事者が調べなくても対象者に対して行政からもう少し提供してほしい。
知的	18～64 歳	・収入の少ない人には無料パソコン配布、インターネットなど支援して情報を与えてやってほしい。
精神	18～64 歳	子供は精神障害を持っています。中学入学前に学校からご指南頂き、初めて精神科を受診し診断がくだされました。診断がくだった事により私自身をずっと責めていたのですが、心がふっと軽くなったのを今でも覚えています。子供が障害者と知る事は、それはそれでショックですが、持って産まれたものだから、誰を責める訳にも行きません。診断をしっかりと受け止め、それからは子供にとって何が一番良いのかを考え、人生の道標を示して来たつもりですが、自分が年を取って来て、今はまだ元気に動き回れるのですが、一人っ子の子供がこの先一人ででも生きていけるのかと言う不安は、全く拭えません。もっともっと障害者に対して、いろんな支援があるのなら、それをわかり易く障害者本人へ文書や、今どきならネット等で知らせてくれる…そんな制度が普及するといいなと思います。
身体	65 歳以上	家族だから 当たり前と考えられるのが 負担に思えます。

身体	65 歳以上	介護しているといろいろ言われたりしたので、いやなこともありました。
精神	18～64 歳	もう諦めている。今は他人に迷惑がかからない死に場所を探している。
身体	65 歳以上	夫が障がい者になり分かった事ですが、昔からすると福祉は良くなっていると思います。父の看病もしたのですが、その頃とは福祉の内容が全然違うとつくづく思います。 今、助かっていますが、津波が来た時どうすれば良いか分かりません。ベッドから車いすに移動するにも私と娘ではどうにも出来ません。前のページにも書いたのですが、民生委員、ケアマネジャー包括センターの職員の方と相談しましたが、今はこのままでと云う事でした。幸いにもハザードマップでは津波は我が家は 50ｃｍと出ていますのでまあ”いのる”しかありません。思いつくまま書きましたが？
身体	65 歳以上	障がい者について制度はかなり充実してきており、日常生活においてとても困るということはあまりないと思います。 ただ、災害当非日常的なことがおこった場合を考えると避難手段、場所、その後の避難生活はかなり厳しいものになると思われます。障がいの程度にもよりますが、重度の場合、体育館など一般の方々と一緒ではかなりご迷惑をおかけすることとなり利用そのものが難しいと思います。障がい者を対象とした避難場所、設備はあるのでしょうか。
精神	18～64 歳	過ごし安く過ごしてほしい
精神	18～64 歳	心配してますよ
知的	18～64 歳	後見人を考える時県外在住の兄弟にお願いしたいと思うけど、困難のようです。もっと柔軟なシステムにして頂きたい。
身体	65 歳以上	健常時に組んだローンの支払いが障害後も残っており働きたくてもなかなか条件が合わない。年金収入では不安。

ⅱ　小中学生・一般調査結果

１．障がい者への関心について

（１）障がい者のイメージ

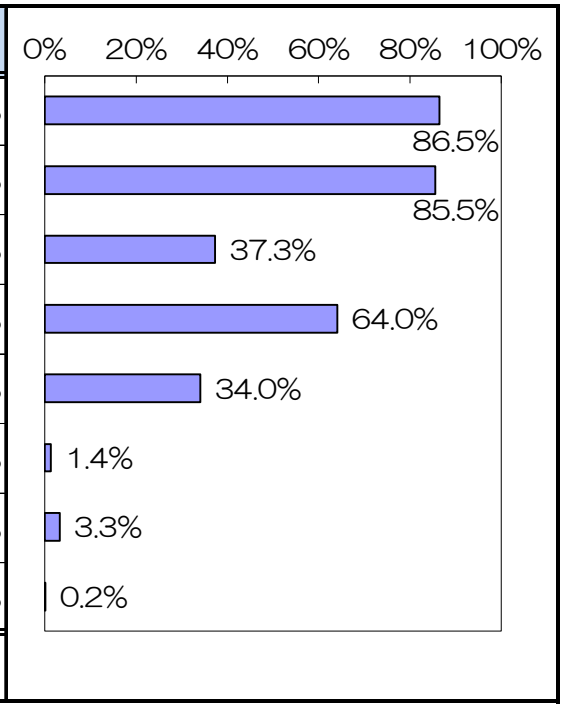
【小学生調査】
問.「障がい者」という言葉からイメージするのはどんな人ですか。（○は３つまで）
【中学生調査】
問.「障がい者」という言葉からイメージするのはどんな人ですか。（○は３つまで）
【一般調査】
問.「障がい者」という言葉からイメージするのはどんな人ですか。（○は３つまで）

小中学生調査では、「手足の不自由な人」86.5%と最も高く、次いで、「目や耳が不自由な人」の 85.5%、「知能の発達が遅れている人」の 64.0%となっている。

一般調査では、「手足の不自由な人」が 93.8%と最も高く、次いで、「目や耳が不自由な人」の 92.9%、「知能の発達が遅れている人」の 84.8%の順となっている。

※小中学生調査

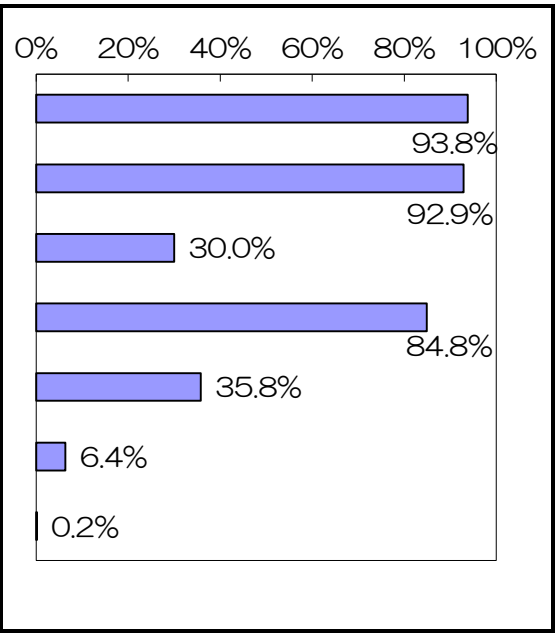
選択肢	回答数	割合
手足の不自由な人	5,073	86.5%
目や耳が不自由な人	5,015	85.5%
体の弱い人	2,186	37.3%
知能の発達が遅れている人	3,756	64.0%
心の問題を抱えている人	1,997	34.0%
その他	80	1.4%
わからない	194	3.3%
無回答	11	0.2%
サンプル数	5,868	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
手足の不自由な人	5,073	2,863	2,210
	86.5%	84.5%	89.1%
目や耳が不自由な人	5,015	2,863	2,152
	85.5%	84.5%	86.7%
体の弱い人	2,186	1,349	837
	37.3%	39.8%	33.7%
知能の発達が遅れている人	3,756	1,973	1,783
	64.0%	58.3%	71.9%
心の問題を抱えている人	1,997	1,243	754
	34.0%	36.7%	30.4%
その他	80	58	22
	1.4%	1.7%	0.9%
わからない	194	101	93
	3.3%	3.0%	3.7%
無回答	11	10	1
	0.2%	0.3%	0.0%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
手足の不自由な人	618	93.8%
目や耳が不自由な人	612	92.9%
体の弱い人	198	30.0%
知能の発達が遅れている人	559	84.8%
心の問題を抱えている人	236	35.8%
その他	42	6.4%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	－



（２）障がい者の抱える問題を身近に感じる時

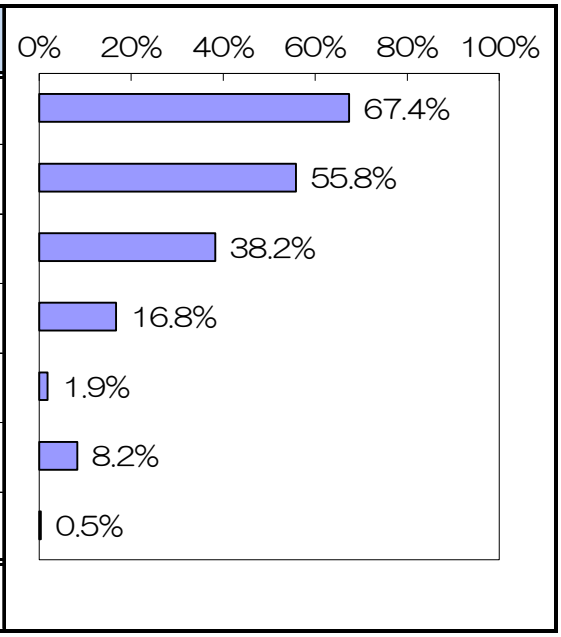
【小学生調査】
障がい者の抱える問題を身近に感じるのはどんな時ですか。（○は３つまで）
【中学生調査】
障がい者の抱える問題を身近に感じるのはどんな時ですか。（○は３つまで）
【一般調査】
障がい者の抱える問題を身近に感じるのはどんな時ですか。（○は３つまで）

小中学生調査では、「障がい者をまちで見かけた時」が 67.4%と最も高く、次いで、「新聞・テレビで話題になった時」の 55.8%、「話を聞くなど直接ふれあった時」の 38.2%の順となっている。

一般調査では、「障がい者をまちで見かけた時」が 69.7%と最も高く、次いで、「話を聞くなど直接ふれあった時」の 60.1%、「新聞・テレビで話題になった時」の 58.3%の順となっている。

※小中学生調査

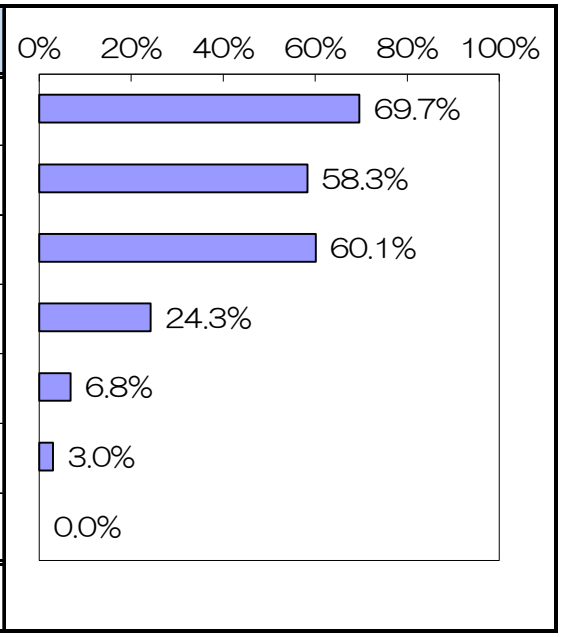
選択肢	回答数	割合
障がい者をまちで見かけた時	3,956	67.4%
新聞・テレビで話題になった時	3,276	55.8%
話を聞くなど直接ふれあった時	2,244	38.2%
自分が病気になったりけがをした時	985	16.8%
その他	112	1.9%
特に感じたことはない	484	8.2%
無回答	27	0.5%
サンプル数	5,868	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
障がい者をまちで見かけた時	3,956	2,196	1,760
	67.4%	64.8%	70.9%
新聞・テレビで話題になった時	3,276	1,843	1,433
	55.8%	54.4%	57.8%
話を聞くなど直接ふれあった時	2,244	1,213	1,031
	38.2%	35.8%	41.6%
自分が病気になったりけがをした時	985	583	402
	16.8%	17.2%	16.2%
その他	112	73	39
	1.9%	2.2%	1.6%
特に感じたことはない	484	315	169
	8.2%	9.3%	6.8%
無回答	27	20	7
	0.5%	0.6%	0.3%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
障がい者をまちで見かけた時	459	69.7%
新聞・テレビで話題になった時	384	58.3%
話を聞くなど直接ふれあった時	396	60.1%
自分が病気になったりケガをした時	160	24.3%
その他	45	6.8%
特に感じたことはない	20	3.0%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	－



（３）知っている障がい者の有無・場所

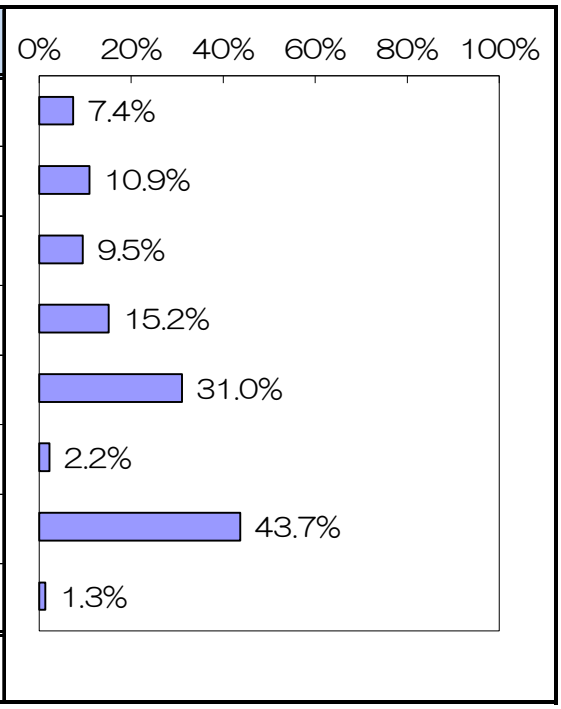
【小学生調査】
問．あなたのまわりに障がいのある人はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）
【中学生調査】
問．あなたのまわりに障がいのある人はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）
【一般調査】
問．あなたのまわりに障がいのある人はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

小中学生調査では、「まわりにはいない」が 43.7%と最も高く、次いで、「学校にいる」の 31.0%、「友人・知人にいる」の 15.2%の順となっている。

一般調査では、「まわりにはいない」が 28.2%と最も高く、次いで、「職場にいる」の 27.5%、「友人・知人にいる」の 25.8%の順となっている。

※小中学生調査

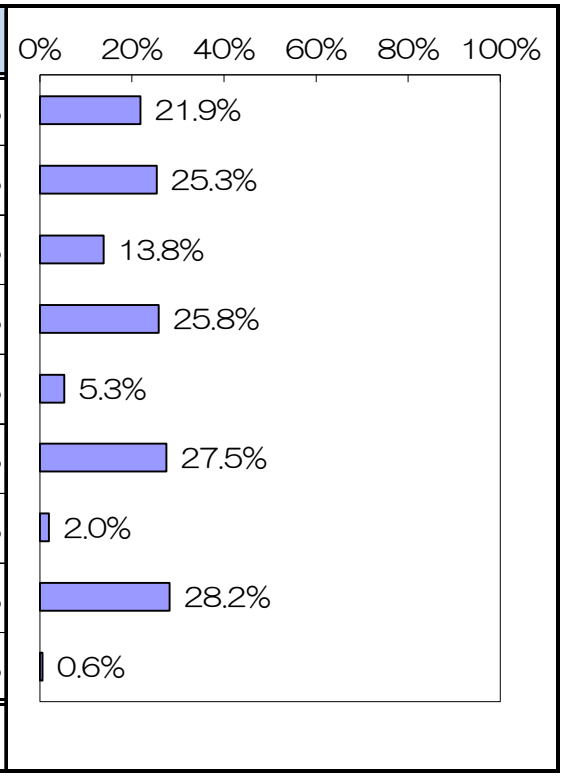
選択肢	回答数	割合
家族にいる	433	7.4%
親せきにいる	641	10.9%
近所にいる	555	9.5%
友人・知人にいる	891	15.2%
学校にいる	1,821	31.0%
その他	130	2.2%
まわりにはいない	2,563	43.7%
無回答	79	1.3%
サンプル数	5,868	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
家族にいる	433	244	189
	7.4%	7.2%	7.6%
親せきにいる	641	320	321
	10.9%	9.4%	12.9%
近所にいる	555	328	227
	9.5%	9.7%	9.1%
友人・知人にいる	891	493	398
	15.2%	14.6%	16.0%
学校にいる	1,821	1,077	744
	31.0%	31.8%	30.0%
その他	130	87	43
	2.2%	2.6%	1.7%
まわりにはいない	2,563	1,502	1,061
	43.7%	44.3%	42.8%
無回答	79	53	26
	1.3%	1.6%	1.0%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
家族にいる	144	21.9%
親せきにいる	167	25.3%
近所にいる	91	13.8%
友人・知人にいる	170	25.8%
学校にいる	35	5.3%
職場にいる	181	27.5%
その他	13	2.0%
まわりにはいない	186	28.2%
無回答	4	0.6%
サンプル数	659	－



（４）障がいのある人との関わりの有無

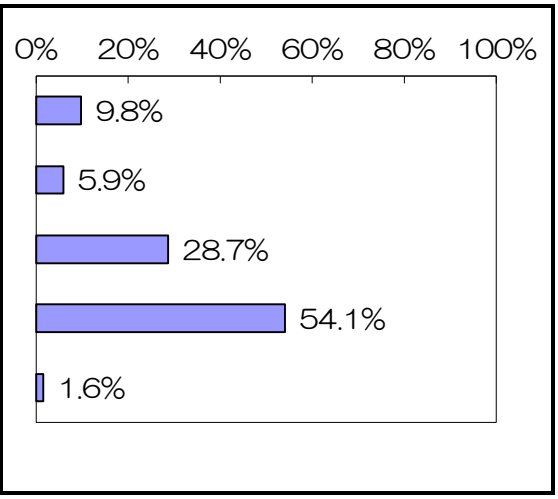
【小学生調査】
問．あなたは障がいのある人と関わりがありますか。（○はひとつだけ）
【中学生調査】
問．あなたは障がいのある人と関わりがありますか。（○はひとつだけ）
【一般調査】
問．あなたは障がいのある人と関わりがありますか。（○はひとつだけ）

小中学生調査では、「全くない」が 54.1％と最も高く、次いで、「たまにある」の 28.7％、「よくある」の 9.8％の順となっている。

一般調査では、「全くない」が 31.9％と最も高く、次いで、「たまにある」の 30.5％、「よくある」の 30.3％の順となっている。

※小中学生調査

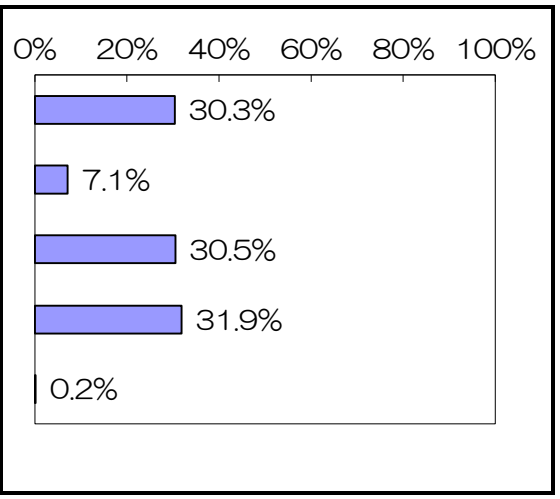
選択肢	回答数	割合
よくある	573	9.8%
定期的にある	346	5.9%
たまにある	1,684	28.7%
全くない	3,173	54.1%
無回答	92	1.6%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
よくある	573	354	219
	9.8%	10.5%	8.8%
定期的にある	346	210	136
	5.9%	6.2%	5.5%
たまにある	1,684	1,002	682
	28.7%	29.6%	27.5%
全くない	3,173	1,756	1,417
	54.1%	51.8%	57.1%
無回答	92	65	27
	1.6%	1.9%	1.1%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
よくある	200	30.3%
定期的にある	47	7.1%
たまにある	201	30.5%
全くない	210	31.9%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



（５）障がい者と関わる場

【小学生調査】
問.（障がいのある人との関わりの有無について、「よくある」「定期的にある」「たまにある」のいずれかに答えた人のみ回答）関わる場はどこですか。
（○は３つまで）

【中学生調査】
問.（障がいのある人との関わりの有無について、「よくある」「定期的にある」「たまにある」のいずれかに答えた人のみ回答）関わる場はどこですか。
（○は３つまで）

【一般調査】
問.（障がいのある人との関わりの有無について、「よくある」「定期的にある」「たまにある」のいずれかに答えた人のみ回答）関わる場はどこですか。
（○は３つまで）

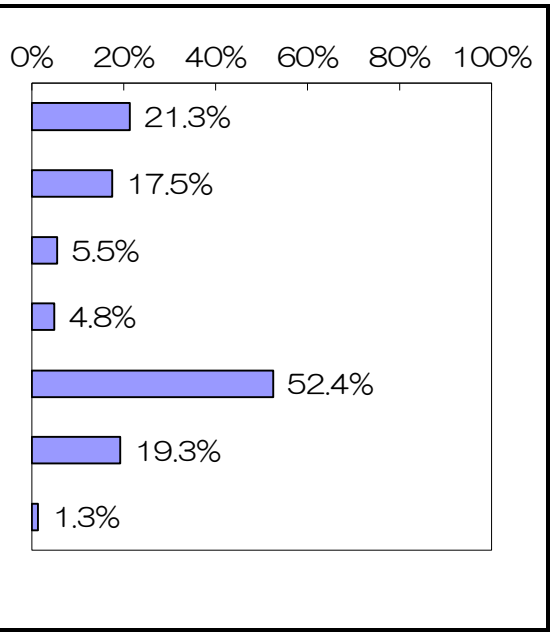
小中学生調査では、「学校」が 52.4%と最も高く、次いで、「近所」の 21.3%、「その他」の 19.3%の順となっている。

「その他」については、「祖父母や親せきの家」「両親等の職場」「街中のスーパーなどのお店」などの回答が多く寄せられた。

一般調査では、「職場」が 58.7%と最も高く、次いで、「自宅」の 24.8%、「近所」の 21.0%の順となっている。

※小中学生調査

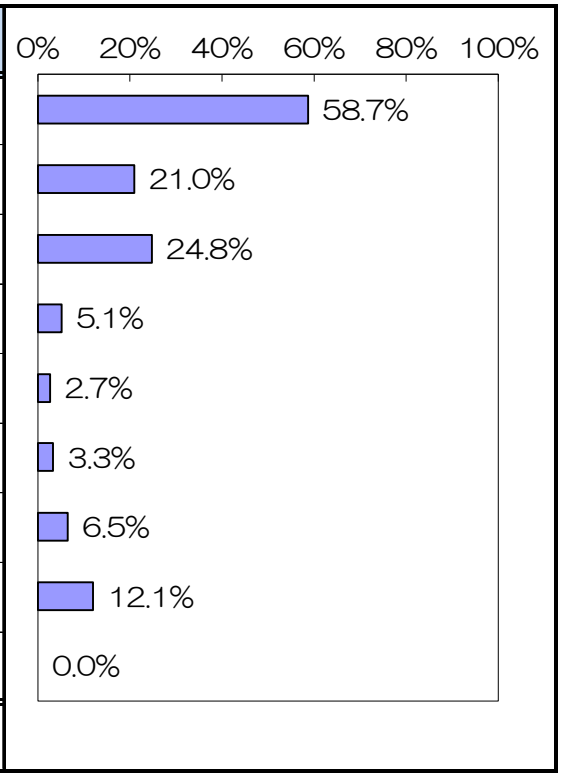
選択肢	回答数	割合
近所	555	21.3%
自宅	455	17.5%
ボランティア活動	144	5.5%
ならいごと（習い事・部活動）	126	4.8%
学校	1,365	52.4%
その他	502	19.3%
無回答	35	1.3%
サンプル数	2,603	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	2,603	1,566	1,037
	100.0%	100.0%	100.0%
近所	555	321	234
	21.3%	20.5%	22.6%
自宅	455	254	201
	17.5%	16.2%	19.4%
ボランティア活動	144	63	81
	5.5%	4.0%	7.8%
ならいごと（習い事・部活動）	126	86	40
	4.8%	5.5%	3.9%
学校	1,365	860	505
	52.4%	54.9%	48.7%
その他	502	308	194
	19.3%	19.7%	18.7%
無回答	35	23	12
	1.3%	1.5%	1.2%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
職場	263	58.7%
近所	94	21.0%
自宅	111	24.8%
ボランティア活動	23	5.1%
スポーツ活動	12	2.7%
文化活動	15	3.3%
学校	29	6.5%
その他	54	12.1%
無回答	0	0.0%
サンプル数	448	－



（６）障がい者と関わって感じたこと（自由記述）

【小学生調査】
問.（障がいのある人との関わりの有無について、「よくある」「定期的にある」「たまにある」のいずれかに答えた人のみ回答）関わって思ったことや感じたことはどんなことですか。

【中学生調査】
問.（障がいのある人との関わりの有無について、「よくある」「定期的にある」「たまにある」のいずれかに答えた人のみ回答）関わって思ったことや感じたことはどんなことですか。

【一般調査】
問.（障がいのある人との関わりの有無について、「よくある」「定期的にある」「たまにある」のいずれかに答えた人のみ回答）関わって思ったことや感じたことはどんなことですか。

自由記述を内容で分類すると、小中学生調査では、「自分と違うところがあり大変そうと思った」が 525 件、一般調査では、「障がいの理解、障がい者の個性や特性の尊重について」が 42 件と最も多かった。

※内容別の件数【小中学生調査】

内　　容	件数（件）
①　自分と違うところがあり大変そうと思った	525
②　何かできることがあれば助けたいと思った	198
③　接したことで障がいのある人について少し分かった	179
④　障がいの理解、障がい者の個性や特性の尊重について	150
⑤　障がいのある人との関わり方、接する際に配慮することについて	133
⑥　障がい者は自分と特に変わらないと感じた	129
⑦　障がいのある人と関わって感じたこと、考えたことについて	118
⑧　障がいのある人とのコミュニケーション等を難しく感じた	110
⑨　障がいのある人を見習いたい、尊敬すると思った	84
⑩　その他	583

※各回答内容【小中学生調査】

①　自分と違うところがあり大変そうと思った（525 件）	
学校	内　　容
小学生	かわいそう
小学生	大変そう
小学生	話しにくかったことがある
小学生	大変そう
小学生	関わってみて、学校の階段の上り下りが大変そうだった。
小学生	大変なんだなと思いました
小学生	みんな辛いよねと思う
小学生	普通の人と何かちょっとだけちがう。

小学生	大変そうだな
小学生	自分たちにできることができなくて大変だなとおもった
小学生	障害のある人は、自分なりに大変なことがあって自分だけでも精一杯なのに他人のことまで考えたら頭がおかしくなって暴れたくないのに暴れてしまったりそんなことしようとも思っていないのにやってしまったりして、友達や家族にせめられたりひとりぼっちになったりするから障害者ってかわいそうだなと思った。
小学生	障害があるのは、おばあちゃんです。もう歳だし、色々と不自由なのは可愛そうです。もっと自由に動いたりさせてあげたいです
小学生	障害者は生活が大変
小学生	辛そうだと思った。
小学生	可哀想、大変そう
小学生	大変だと思った
小学生	不自由そうで大変そうだなと思う。
小学生	その人も大変なんだなあと思った。
小学生	祖母が目が見えないので、外に出る時など、とても大変そうだと思う。
小学生	１つでも不自由なことがあったら大変なんだなと感じました。
小学生	障がい者も大変だなと思う。
小学生	障害がある人は健康な人が思っている以上に大変なんだなと思った。
小学生	とても大変そうだなと思う
小学生	可哀想
小学生	障がいのある人たちは大変な思いをしているんだなとおもった
小学生	障害が何か少しでもあると生活が不便になって、苦労することもたくさんあるんだなと思う。
小学生	障害がある人は、車いすや目が見えなかったりして、いつも大変な生活をしているんだなと思いました。
小学生	かわいそう
小学生	不自由な生活をしていて、誰かの助けがないといけないから大変そうだった。
小学生	車椅子に乗っていて、大変そうに見える。
小学生	ご飯を食べる時や動いたりする時にとっても『とっても大変そうだな』と思う。
小学生	かわいそう、どれだけ不便なのだろうと思った。
小学生	障害を持っている人は大変なんだなと思いました
小学生	・大変そうだな ・薬とかないのかな？
小学生	関わって大変なんだなと思った
小学生	大変そう、、、
小学生	可哀想だなと思った。
小学生	可哀想だなと思います
小学生	大丈夫かなーと思う
小学生	障害のある方とは感じ方、考え方などが違い難しい
小学生	自分達と違って苦労している。
小学生	障害者の人たちは大変なんだなと感じた
小学生	自分と違うところがある
小学生	自分とは違う考え方があったり、人に抱く感情が違う。自分より人のことを気にかけたりしていた
小学生	手や足、目や耳などが不自由な人は生活が大変そうだと思った。自分でもその人たちのために何かしたいと思う。
小学生	障がいのない人とそこまで変わらないかなと感じた。だけど、障がいのある人はできないこともあるから、大変そうだなと思う。
小学生	障がい者は大変そうだなと思った。また、自分と同じ年ぐらいの子や、自分より年下の子が障がいがあって不自由そうなのを見るとかわいそうだなと思った。なりたくてなったわけではないのに一生不自由になってしまうから。そして、介護する家族も悲しいだろうなと思った。自分の家族が、なってしまったらと思うと悲しいから。
小学生	大変なんだなと改めて思った。
小学生	身体が不自由だけど辛くないか
小学生	障害者の人は、沢山大変なことがあるんだなと思った。
小学生	不自由で可哀想だ

小学生	大変だろうなと思った。
小学生	かわいそう
小学生	可哀想だなと思った。何か出来る事がないかと思った。
小学生	大変そう
小学生	普通の人とは、違うところがあるなと思った。
小学生	障害者は、とても大変だと思った
小学生	歩きにくそうで、大変そう
小学生	障害者の人がどれだけ大変なのかよく分かる。
小学生	体が不自由だと、なんでも出来るわけではないから、大変そうだなぁと思う。
小学生	普通の人よりもふべん。
小学生	とにかく、大変そうだな。と思いました。あと可哀想だなと思いました。
小学生	かわいそう
小学生	いつも車に乗ったり、降りたりするのが大変そう。
小学生	他の人と違う
小学生	・大丈夫かな～と思った。
小学生	普通に生活できなくて可哀想。
小学生	目が不自由でも大丈夫かな？と思います。
小学生	大丈夫か心配
小学生	同じ人間なのにかわいそう
小学生	障害者は毎日大変なんだなと思った
小学生	障害者も人だから、苦労してるなあと感じた
小学生	大変そう。心配。
小学生	大変だな。
小学生	体が自由に動かないのは、大変なことなのでかわいそう。
小学生	足や、手が不自由だと大変そうだなと、感じた。
小学生	少しこわいけれど、生活とかが大変そうだなと思った。
小学生	障害で発達が遅れているだけでなくいろいろな病気があって大変だなと思いました。
小学生	大変だなと思った
小学生	かわいそう
小学生	大丈夫ですか？
小学生	かわいそうだな
小学生	目や足が不自由のかがいてすごく大変そうでした
小学生	不自由なハンデを背負っていて可哀想だなと思った
小学生	たいへんそう
小学生	大変そう
小学生	隣の席の子が障害者で、喋れないので大変だろうなと思った
小学生	大変そう
小学生	大変な生活を送っているんだな。
小学生	大変そうだな。
小学生	障害がある人はかわいそうだと思う。
小学生	その人それぞれいろんな悩みなどを抱えていて、辛い思いをしているかもしれないから、少しでも力になれたらいい。
小学生	体が不自由だと僕たちが当たり前な普段の生活も大変なんだなと思った。
小学生	障害者は苦労しているんだな。
小学生	大変なんだな、と思う。自分ができる手伝いなどは極力したいと思う。
小学生	・かわいそう
小学生	・とても大変そう
小学生	障がいが、ある人は、大変だなと思いました。
小学生	かわいそう
小学生	可哀想だと思った。大変そうだと思った。
小学生	障害をもっているというのは、大変なんだなとおもいました。
小学生	障がい者の人は辛い思いをしていて大変なんだなと思った。
小学生	可哀想
小学生	大変そうだった

小学生	自分がなりたくてなってるわけでもないのに、「障がい者」と言われてよほど悲しいだろう・・・
小学生	自分よりも、色々な事ができなかったりする。
小学生	思ってることがちゃんと伝わらなかったり、少し大変だなと思いました。
小学生	・それぞれいろんな問題を抱えていて、手がなかったり目が見えなかったり、私たちは普通にあるものがその人達には難しい事で、でもそれでもみんないろんな人と関わって幸せそうでした。 ・普通あるものがないと言うだけで「不幸だ、可哀想だ」と言うのもおかしいなと思った。 ・大変な日々だと思うけど楽しそうに生活していて良かったなと思いました。
小学生	実際に関わると、その人の気持ちになれたりするので、その人が本当に辛いということが実感できた。
小学生	かわいそう・・とおもいました。
小学生	大変そう。
小学生	少しだけ自分や他の人とは違うなと思ったけど、接してみると普通に会話が成り立つので、大丈夫かなと思っています。
小学生	大変そうにしてた
小学生	大変だなと思った
小学生	可哀想だなー
小学生	この子も大変だなあと感じた。
小学生	大丈夫かな
小学生	大変そうだな。
小学生	生まれつき障害があるのは仕方ないことですが、障害が無い私がみると、「かわいそう」、「変わってあげたい」と思います。
小学生	たいへんそうだと思った
小学生	障害者のサポートをしているひともそうだけど、障害者自身もかなり辛そうだった。たまに寝たきりで動けない時もあるし、サポートする人がいないとなにも出来ないようなかんじ。
小学生	自分や周りとは少し違うこと
小学生	かわいそう
小学生	自分がこうして普通に暮らせていることも障害者の方々にとっては難しいことなんだなと思った。障害者の方々は大変なんだなと感じた。
小学生	障害者は僕たちの知らない苦労をしていることをしりました。そんな障害者と関わった時、少しでも楽にしてあげたいと思いました。
小学生	すごく大変なんだなーと思いました。
小学生	じいちゃんが足が不自由で、お風呂とかが大変そうだった。
小学生	大変なこともあると思うけど、楽しんで取り組んでることが多いから障がいがあるからかわいそうとかは思わない
小学生	自分が簡単に出来ることが、難しかったりできないことがあると知った。同じクラスになった時は、クラスのみんなで、こんな事をやったらおこるんだ、楽しめるんだとその子のことをクラスのみんなで探したりすることはすごく楽しかったです。
小学生	障害者は、体がすごく痛いこともあるし、自由に動かせない時もあるから、すごく不便なんだなと思った。自分も持病があり、苦しいことがあるので辛い気持ちがすごくわかった。
小学生	大変そうだなって思った。人と違うことをしないといけないのはとても辛いと思う。
小学生	生活が大変そう
小学生	すごくかわいそう
小学生	障害をもってて可哀想だなと思った。
小学生	障害のある人はとても大変なんだなと思いました。車椅子に乗って歩けない人や、目が見えない人は生活にも支障がとても出て大変だと思いました。
小学生	可愛そうだなと思います。
小学生	辛そうだな。と思った。
小学生	障害があるって大変なんだなと思いました。
小学生	かわいそう
小学生	話せなかったり、自由に動けなかったりするから大変そうと思う。
小学生	大変そうだった
小学生	やっぱり普通人とは、ちょっと違うけどみんな優しかった
小学生	辛い思いをしていた。
小学生	大変だと思いました。
小学生	大丈夫かなと思う

小学生	たいへんそう
小学生	障害を持っていてかわいそう。
小学生	なんか可哀想
小学生	大変そう
小学生	障害者はたった一つのことをするのにも大変だということがわかりました。例えば口で話すことができない人はスケッチブックに話すことを書くのですが、書くのに時間がかかるので、その人になれないけれどとても大変だということがわかりました。
小学生	大丈夫かなかやいそう楽しいかなと感じた。
小学生	障害を抱えている人自身でしか分からないことが沢山あると感じました。周りの人が理解して、出来る事を見つけていくべきではないかと思います。ですが、身近に障害を持っている人がいない人が理解しようとする、また、理解するのは、もっと難しくなってくるとも思います。
小学生	障がいのある人は大変なんだなと思った。障がいがあってもみんなと一緒にすごす事ができると言う事を感じた。
小学生	色々大変なのかな。何か困っていたら助けてあげよう。辛いのかな。
小学生	大変そうだなと思いました。
小学生	大変そう、心配になった
小学生	私達とはちがい、いろいろ不便なことが思っていた以上にたくさんあった。目が不自由な友達がいるがとても耳がよく、すぐに声を覚えてくれて声をかけると名前を言ってくれることにびっくりした。
小学生	不便なことが多くて、暮らしにくそうだと思いました。
小学生	大変そうだなと思う
小学生	大変そう。。。不便そう。。。だなあと感じた
小学生	大丈夫かなとか治るのかな
小学生	皆手があるのに何でこの人だけ無いんだろう？
小学生	目が見えない、足が不自由ってことは、行動が制限されてしまうから大変だと思った。
小学生	少し可哀想だと思った。
小学生	大変な思いをしたりしてるのかな、と感じました。
小学生	生活が苦しそうでかわいそう。
小学生	杖をついたり、補聴器をつけたりしていて不便そうだと思った。
小学生	自分と違ってこういう人もいるんだ。と感じます。
小学生	かわいそう。
小学生	大丈夫なのかな
小学生	辛そう
小学生	体が不自由で大変そう。
小学生	１人ではできないことがたくさんあってとても大変そう
小学生	大変そうだなと感じた
小学生	それなりに大変なんだな
小学生	大変そうだった
小学生	大変だな
小学生	大変なんだろうな。
小学生	大変そうだなと思った
小学生	かわいそうだと感じる
小学生	かわいそうだな
小学生	大変、行動がうまくできない
小学生	妹が指が一本ないから色々大変そう。
小学生	何か活動する時に、大変そうだなって思う。
小学生	皆んなと違う所がある。
小学生	かわいそうだなあ
小学生	みんなとは、少し違う、
小学生	前は元気だったけど病気になってから元気がなくなったり、面会から帰るときはまた会いに来てねって泣きそうになっててすごく可哀想だった。早く元気になってほしいです。
小学生	大変そう
小学生	とても勝手が悪そうに見える
小学生	大変なんだろうなと思った
小学生	大変なんだなと思った

小学生	障害者は大変なんだと感じた
小学生	普通の人と全然違う
小学生	今まで辛かったんだと思います。
小学生	大変なんだなと思いました。
小学生	大変そうだな。可哀想だなと思いました。
小学生	大変そう
小学生	痛そう
小学生	耳が聞こえないのは、大変だと思った。
小学生	大変そうだなとおもった
小学生	大変そうだな。
小学生	大丈夫かなと心配する
小学生	他の人と違うなと思った（身長や考え方、行動など）
小学生	生活が大変なのではないか。
小学生	治らないと分かってて暮らしているんだったら、可哀想だなとか大丈夫かなと心配する。
小学生	車椅子で移動する時などが、とても大変そうだと思いました。
小学生	体が不自由なのは生活に大きな影響が出るということ。
小学生	大変そうだな
小学生	いろいろと大変他の人ととは違う
小学生	とても大変なんだなと思った。
小学生	障害があるのって不便だな
小学生	かわいそう
小学生	可哀想とか、その障害は治らないのかなとおもった。
小学生	不便なんだなと思いました
小学生	足が不自由なだけで、他のことはみんなと同じなんだと思った。
小学生	障害のない私たちとは、見える世界が全く違うんだなと思った。
小学生	可哀想だと思う
小学生	体が動かなくて、車にすわっているとき頭が何回もずれて大変だとおもった。
小学生	大変そうだなぁと思った。
小学生	たまに大変
小学生	他の人と比べて大変
小学生	大変な暮らしを行っているのだなと思った
小学生	辛そうだなと思った。可哀想だなあと思った。自分もそういう病気に関わりたくないなあと思った。
小学生	可哀想だけどそれがこの人の普通なんだと思っています
小学生	可哀想
小学生	アレルギーがあるとその食べ物が含まれているものが食べられないのはとても大変なことだと思った。
小学生	大変
小学生	障害を持っている人は大変なんだなと思う
小学生	ちょっと大変だな
小学生	かわいそう
小学生	自分で何かをしてはいけないことはわかるけどしてしまっているのかなと思います。みんながしている事や自分がしたいことができなかったりしてかわいそうだと思いました。
小学生	障害がある人は自分みたいに喋ることが出来なかったり目や耳が見えない人がいたりしたりして、かわいそうだと思ったり凄いなと思ったりして障害者には、さまざまな人いるのだなと思った。
小学生	大変とおもった
小学生	生活するのは大変だと思う。
小学生	他の人と同じことができなくて大変なんだなと思いました。
小学生	普通の人と違うところがある。時々話しにくくなる。
小学生	たいへんかなと感じた
小学生	かわいそうと思う
小学生	大変そう
小学生	障害があると、大変なことが多いいんだなーと思いました。
小学生	障がい者の人は大変なんだと思った
小学生	お父さんが介護福祉の職員なので、話を聞いたりして、その人達の生活が大変と言うことです。

小学生	障がい者の人たちは障がいがない私たちとは違っていて、生活が不便なところがあって大変そうだった。
小学生	障害のある人は、すごく大変だと思った。
小学生	障害があるのは仕方ないし、可哀想と思うことがある。
小学生	色々な場面で困っていて、大変そうや心配な気持ちになった。
小学生	普通の人とは、少し違う考え方や、感じ方を持っていて、自分が言ってもあまり聞いてもらえなかったりすることがあるので、それぞれ大変だなと感じた。
小学生	少し大変
小学生	車いすを市立の学校で利用したときに階段が狭いところとかがあったりするので、もし、災害が起きたりした時や集会などで人が多く集まるときに逃げ遅れたり、時間に間に合わなかったりすることが、大変そうだなあと感じた。
小学生	たいへんそう
小学生	大変だな～
小学生	障害がある人で、私が会った人が耳が聞こえない方だったから、本当に大変そうだなと思った
小学生	大変そうだなと思った。
小学生	周りの人とちょっと違う
小学生	大丈夫かな(心配)
小学生	かわいそうだと感じた。
小学生	障害は辛いんだと思いました。
小学生	障害のあるひとはたいへん
小学生	生活が大変そうだなと思った。
小学生	すごくかわいそうだなぁと思いました。
小学生	自分と違うところがある
小学生	たまに可哀想と思います。
小学生	障害がある人は、目や耳が不自由だったりするのでとても悲しいし、かわいそうと思いました。
小学生	障害者は、生活するのが難しそうだと思った。
小学生	可哀想
小学生	障がいのある人は大変だなと思った
小学生	本当に大変なんだなと、思った。
小学生	不自由で大変そう。
小学生	友達の足が不自由でかわいそうだと思ったことがある！
小学生	かわいそう
小学生	かわいそう
小学生	友達が足が不自由で可哀想だから
小学生	いろんな悩みを抱えていて大変なんだなと思った。
小学生	たいへんそうでした。
小学生	障害のある方たちにとっては、苦しみをかかえていることを感じた。
小学生	自分と違って障害者の人達は大変なんだなと思いました。
小学生	僕たちとは違って上手く話したり自由な事もできないなんて可哀想だと思う
小学生	普通の人と少し違う
小学生	不便だなとか大変そうだなと思った。
小学生	障がいがある人はとても大変なんだなぁと思いました。
小学生	大変そう
小学生	不便だろうな
小学生	見ていて大変そうだなと思いました。
小学生	生活に不自由が生まれ、大変そうだった。
小学生	私たちは同じ人間でも生活が違うこと
小学生	ひとそれぞれ違くて当たり前のことができないひともいる
小学生	障害があって大変そうだった
小学生	大変そう。
小学生	自分の体を自由に動かせないのは、大変だと思った。
小学生	障害者とは、あまり関わらないので、詳しくはよくわからないけど、テレビや街でよく見かけるので生活する時はとても大変なんだろうなと思った。
小学生	自由に歩いたりなどができなくて、不自由だなと感じた。

小学生	障害がある人は大変だと思った
小学生	やっぱり他の人の力がないと生きていくのが大変なんだなと思った。
小学生	とても大変そうな様子
小学生	障がいのある人は、大変そうだなと思った。
小学生	障がいがある人は、知識の発達が遅れている人がいて、大変だと思った。
小学生	大変そうだなぁと思った。
小学生	大変そう
小学生	障がい者は大変だな
小学生	かわいそうだなと思った
小学生	車椅子でガタガタしている狭い道を通っていて、「少し押してくれないか」と言われて手足が不自由なひとは外に出るだけでも大変だな。と感じた。
小学生	すこしたいへん
小学生	障害を持っている人は誰かの手を借りないといけなかったり、周りの人たちと違う所があるのでものすごく大変だろうなと思いました。
小学生	大変
小学生	自分よりも苦労していてもいきているということ
小学生	足や手などが不自由だったら、車椅子に乗って行動しないといけないから、いつも大変で可哀想だなあと思いました。
小学生	大変だなと思った。心配だなと思った。
小学生	手足が使えないと不便
小学生	少し可哀想
小学生	かわいそうだな～と思った
小学生	可哀想の思った
小学生	障害のある人と実際にかかわってみると、自分が当たり前にしていることがどうしてできないんだろうと疑問に思ったりしたこともありました。
小学生	障害が、ある人は、１人で何でもするのは、大変だと思いました。
小学生	自分の体に障害があるって大変なんだな
小学生	障害者も色々と大変なんだなと思いました。
小学生	大変そう
小学生	自分とは違うから、大変だと思った。また可哀想だと思った。
小学生	自分たちより自由に動けないからすごくかわいそう。
小学生	大変そう
小学生	おもいどおりのことができなくてかわいそう。
小学生	１人の人には、違いないのに他の人と違って不自由そう
小学生	普段の生活が大変そうだなと感じた。
小学生	不自由で可哀想と思った。
小学生	いつも苦しそうにしている。
小学生	色々、物を使うから大変だなと思った。
小学生	障害者はとても大変なんだなと思いました。
小学生	障害とは辛いことなんだと改めて思う。
小学生	体が不自由で、大変そう
小学生	かわいそうだと思います
小学生	大変そう。できる事なら力になりたい。
小学生	体のどこかが不自由だと苦しかったりして大変なんだろうなと思いました。
小学生	大変そうだなぁ、誰かに支えてもらわないと生きていけないんだなぁ
小学生	障害をもっている人達は、大変だなと思います。
小学生	大変そうとは思うが、あまり自分事として考えることはなかった。
小学生	他の人とは何か違う
小学生	大変そうだなと思った。
小学生	とても辛そう
小学生	障がい者の人は、とっても大変でみんなよりも辛い思いをしていることがあるんだなと思った。
小学生	大変そうだなぁ。
小学生	大変そうだなぁ、助けた方が良いのかな
小学生	＿頑張って生きているんだなと思う

小学生	なんとなく自分たちとは違うな、と思う。
小学生	かわいそう
小学生	まず、最初に思ったのは普通の人とは違う。ということです。ちょっとしたことで怒ったりするのは、やはり、仕方のないことだと思う。また、自分の好きなように生きることはできていると思う。だから、その人もきっと幸せだ。
小学生	え、なんでそうなるのと思ったことをやってたりするけど、その人なりに辛いんだろうなと思う
小学生	大変なのかなーと思った
小学生	可哀想だなーーと思う。
小学生	自由じゃなくてかわいそうだと思った。
小学生	大変そうだなと思った。
小学生	かわいそう
小学生	大変
小学生	私達は、やりたいことはすぐにできるけど､障害者は簡単にできないんだなぁと思いました。
小学生	すごくかわいそう
小学生	身体が不自由だと大変なんだということがわかる
小学生	可哀そう
小学生	障害があると暮らして行くのも大変だと思った
小学生	生活が大変だなと思った。
小学生	やっぱり障害者の人たちは生活するだけでも大変そうだと思った。
小学生	大変そうと感じた
小学生	大変そうで可哀想
小学生	大変だなと思った。
小学生	障がいのある人は、大変な思いをされているんだなと思った。
小学生	かわいそう
小学生	大変そうだなと思った。
小学生	足が不自由そうでかってわるそうだった。
小学生	かわいそうだな。と思いました。
小学生	私が普段やっていることでも簡単にできないから大変そうだと思った。
小学生	自由に動けなくてかわいそう。
小学生	大変でつらいだろうなと思った。
小学生	かわいそう
小学生	きついし苦しいし周りと同じ対応がされないから辛いんだろうなと思う
小学生	パッと見るだけだが、大変だと思う。
中学生	色々大変そうだなと思った
中学生	大変そう
中学生	大変そうだとおもった
中学生	不自由そう
中学生	思ってはいけないけど かわいそうだとおもう
中学生	杖を持っていたりゆっくり歩いていたり、周りの音が聞こえにくかったりしてとても大変そうだと思った。これからも、自分が障がい者の方に会ったら優しく接したいと思います。
中学生	大変な思いをしているということ
中学生	私が関わっている方は、ペースメーカーを心臓に入れていて、普段はなんともない状態なので、元気なのですが、病院で手術をしているときや、検査に行ったりするときは、とても大変そうだと思います。
中学生	生活において不便そうだなと思う
中学生	目や耳や手や足が不自由だと生活に不自由を感じた
中学生	大変そう
中学生	いろんなことが不自由になって大変そうだと思った
中学生	前までできていた事ができなくなっていて不自由な場面がたくさんあると思いました。
中学生	同じ病気でも一人一人違う症状があるし、心の病気を持っている親戚は、私には全くわからないような考え方をしています。全てを理解してあげることは難しくても、見た目にはわかりにくい病気を知っている自分にはできるサポートがあると思い、日々模索しながらも支えていこうと考えています。
中学生	障害のない人よりも不自由なことが多そうだと感じた。
中学生	かわいそうだと思う

中学生	私が普段過ごしやすいと思っている事や場所が目や耳が不自由な人たちにとっては、過ごしにくく不便なんだと思った。
中学生	辛そう
中学生	かわいそう
中学生	移動などが大変そうだと思った。１人で移動している人はすごいと思った。
中学生	大変そうだな、ちゃんと見えているのかな、など
中学生	車椅子が大変そう
中学生	大変そうだなと感じた
中学生	障害のある人は普通の人と違っていつでも緊張感を持っているので疲れとかが普通の人よりも出てしまうということを感じた
中学生	本人も周りの人も「大変だなぁ～」と思います。助けが必要な人がいたら、手を貸してあげたいと思います。
中学生	大変そう
中学生	私の祖母が足が不自由で階段を登ったりするのも一苦労ですごく大変だろうなと思いました。
中学生	手話など覚えなくてはいけないから大変だなと思った
中学生	関わってみて、障がい者の人たちはとても大変な思いをしているんだなと思いました。
中学生	不自由なことがたくさんあるんだなと感じた
中学生	大変そう。
中学生	大変だろうなと思った。
中学生	ものすごい辛いんだと思った
中学生	とても辛い思いをしているんだなとおもった。
中学生	障害者の人たちは自分よりも苦しい生活を送っていてすごいなと思った
中学生	大変そうだな。危ないところにいるな。
中学生	年齢が上がっていくうちに、人見知りになってきているなと思う。その子は支援学校に通っていて、もう高学年になっているけれど、ひらがなを覚えるのに苦労してとても大変そう。学校でもう少しひらがなや計算を教えたほうがその子の助けになると思う。
中学生	自分にできることでも、体が不自由な人からすると、とても難しいことなのだと改めて感じました。
中学生	今までしていたことができなくなるということはとても不便だと思った。
中学生	大変だなぁ
中学生	自分と違う考え方を持っていたり、身体に障がいを抱えていても、物事を考えれたり前向きに生きているのですごいと思った。
中学生	ある部分では、人より遅れをとっていたとしても他の部分は人より優れている。
中学生	１人で生活することがむずかしそうだから大変そうだと思った。
中学生	言葉があまり通じないことや家を知らないうちに出ていっていたりなど、沢山大変なこともあるなと感じました。
中学生	生活の中で大変に感じることが多いだろうなと感じた。
中学生	大変だな
中学生	意思疎通が、他の人と比べて難しそうなこと。
中学生	本人もできることなら自分だけでしたいことがたくさんあるはずなのにそういうことが原因でできなかったりと、大変な思いをしているんだなと思いました。
中学生	大変だなとおもいました
中学生	私は車椅子の方と関わって、１人では生活が難しそうだなと思いました。なので、町でこのような障害者の方に会ったら積極的にお手伝いをするなど、気を利かせて行動したいです。
中学生	不便そうだと思う。
中学生	大変そうだなと思った
中学生	辛いなりに頑張っているな
中学生	日常生活がとても大変そう
中学生	１人で暮らすのは大変そう。
中学生	障害を持ってるひとは苦労する事が沢山あるなと感じた
中学生	大変
中学生	大変だろうな
中学生	自分の身の回りの人はあまり大変そうではないが、障害にもレベルがあると思うのでそのレベルが高い人（手足が無いなど）の人は慣れるまで、また、慣れても大変そうだったことです
中学生	かわいそうだなと思った

中学生	いい気分ではないと思う
中学生	いろいろな事が思うようにできないから辛いと思う
中学生	大変そうだなと感じた。
中学生	大変だなあと思った
中学生	私たちがふつうに生活している中で思いがけないところで不便そうにしていることが多いなとかんじた
中学生	テストや何か書類を書くときにすごく大変そう
中学生	杖をついて歩くのは大変そうでした。
中学生	大変そうだなと思いました。
中学生	とても大変そう
中学生	夜に目が見えないのは大変そう。私には、どのくらい辛いのかはわからないが話や悩みは聞けると思うので私も一緒にその辛さを分かち合いたいです。
中学生	他と違うとこがあってもその人なりの自分で生きている。
中学生	体を起こすときなどが大変と思った。
中学生	大変だなとは思う。
中学生	トイレやお風呂が大変そう
中学生	障害のある方はいろいろなことが大変だなと思いました
中学生	大変だな
中学生	大変そう
中学生	すごく大変な事だと思った。
中学生	生活しづらそうだなと思いました。
中学生	生活するのが大変そうだなと思いました。
中学生	自分で自分のことができない人もいらっしゃるので、大変そう。
中学生	他の人と同じことができなくて大変そう。
中学生	どこに行くにも何をするにも人の手や時間がかかると思った。
中学生	大変そう
中学生	大変そうだなと思いました。障害者の人の気持ちをわかってあげるのも重要だと思いました。
中学生	かわいそうと思った
中学生	商業施設に行くとき、トイレは多目的トイレをいつも使っているので大変そうだと思う
中学生	大変そう。少し可哀想だと思う。
中学生	たいへん
中学生	じぶんとは暮らし方も学んでいる学習も全く違うこと。
中学生	誰かの手助けがなければ、自由に動きづらくて大変そうだなと思いました。他にもたくさん制限されることがあって大変だと思います。
中学生	不自由そうだなー
中学生	生活が大変
中学生	大変だと思う
中学生	義足で車椅子に乗っていたので大変そうだなと思った。
中学生	かわいそう
中学生	大変だなとおもった
中学生	思ったより辛くなさそう（自分があった人の中では）
中学生	可愛そう
中学生	大変そうだな
中学生	１人での行動が難しいので、一人でいろんなとこに行けなくてかわいそう
中学生	不自由なところがあり、とても大変だろうなと感じた。
中学生	かわいそう
中学生	普通では当たり前にできてることが人の手や道具を使わないとできなくなってしまう。やりたくてもできないのが一番つらそうだと思った
中学生	顔の形が変に見える、かわいそう
中学生	可哀想だなと思いました
中学生	大変だと思う
中学生	大変そう不便そう
中学生	大変そうだな
中学生	大変だなあ。

中学生	普通の人と少しでも違うところがあるってことが嫌そう。
中学生	病院に定期的に行ったり、具合が悪くなったら入院しないといけなくなるので、「大変だな」といつも思います。「毎日の生活習慣が本当に大切だな」といつも思います。
中学生	大変
中学生	大変そう
中学生	車椅子生活でとても大変そうだなと感じた
中学生	大変そう
中学生	生活をしているのが大変
中学生	不便そう、大変そう
中学生	かわいそ
中学生	大変だなと思う
中学生	手足が不自由だと日常生活で困ることが沢山ありそう。
中学生	日常に支障がでていてとても辛そうだなと思いました
中学生	生活するのが、みんなより大変そう。。。
中学生	大変そう
中学生	不自由そうで可哀想に思いました。
中学生	身体が不自由で大変そう
中学生	障碍者の苦労や大変さなど、絶対に日頃自分が経験しないようなことがたくさんある事を知った
中学生	話していると、障害を持っていない人は悩まないようなことを悩み苦労をしていると思ったら
中学生	少し行動がみんなと違う
中学生	障害のある方はたくさん悩んだり、辛いことがあったりしたんじゃないかなと思いました。私も怪我をしてみんなと同じように運動することができない状態が続いているので悩むことやストレスが多くなりました。みんながみんなそれぞれ違ったところを持っていていいと思います。悩みがあったら抱えずに相談できるような存在ができたらいいなとおもいました。
中学生	障害を持って生きているのは大変そうだなと思います
中学生	大変なんだろうなと思う
中学生	足の不自由な人や、目や耳が聞こえにくい人など、私生活などものすごく大変なんだなと感じました。
中学生	大変そう
中学生	足が不自由なので、トイレなどに行くだけで、時間がかかり、本人が大変そうだなと思いました。
中学生	かわいそう
中学生	大変なんだなと感じた。
中学生	耳が聞こえないから、誰もいない時に電話が来たら、大変そう。
中学生	とても生活がしにくそうだった。
中学生	大変そうに感じた。
中学生	店で店員の人と話すときや、手続きをするときなど、人と話すときが大変そうだと思った。障がいがある人だと相手が気づいていないと、愛想が悪い人だと思われるのではないかと思った。
中学生	少しの距離でも移動するのが大変そうだと思った。
中学生	大変そう
中学生	大変な思いをしているんだなと思ったこと
中学生	困ることが多いだろうなと思った
中学生	したい事ができなくて可哀想
中学生	大変そうだと思いました
中学生	大変そう
中学生	大変なんだな
中学生	自分が思っている以上に生活が不便で苦しいだろうなと思った
中学生	不自由そうで見ているこっちもつらかった
中学生	自分や身の回りの人とは少し違った考え方や行動をしているなと思った。

② 何かできることがあれば助けたいと思った（198 件）	
学校	内　　容
小学生	優しくしたい
小学生	大変な人もいるから見かけたら自分から助けたいねと思った。
小学生	自分にできる事はないかなと思いました
小学生	私の家族は「発達障害」なのですが、ずっと一緒にいるとやはり疲れます。でも症状は軽い方だと思うし、普通にしてれば分からないくらいです。緊張したり調子に乗ってしまうと頭がフル回転になって大変そうです。どんな障害を持った方でも私にできることがあれば助けたいです。
小学生	障がいがある人が困っていたら、声をかけてあげることが大切だと改めて感じた
小学生	障害者は、大変だから手伝ってあげたいです。
小学生	障害がある人が困っていたら助けてあげたいと思いました
小学生	もっと関わってみたいそして助けたいと思った
小学生	障害があることをきちんと理解しようと思った
小学生	大変な病気だと思いました。普通の人ではないので、困っていたらお手伝いをしたいと思いました。
小学生	少しでも、障がい者について学んで助けたい。
小学生	大変そうだな。困っていたら助けてあげよう。など・・・
小学生	体が不自由なので見かけたら優しく声をかけて、自分ができることなら手伝ってあげる。
小学生	あった時は手伝っていきたい
小学生	動くだけでも大変そうだったので、自分が手伝えることを手伝いたい。
小学生	・障害者を助けながら生きていくことが大切だということ。
小学生	自分の周りにも、同じように生活したくてもできない人は、多くいるんだなと思った。何か困っていたら、自分にできることをしてあげようと感じた。
小学生	私にできることは何かないかな？と思った
小学生	一人では、出来ないこともあるから困っているところを見かけたら助けてあげたいとおもった。
小学生	困っていたら手伝っていきたいと思った。
小学生	見ないふりはできないなと思う
小学生	一緒懸命頑張ってるんだなと思いました。困っている時は助けたいと思いました。
小学生	障害があってもいいと思う。だって遊んだりすると、すごく楽しい！自分なりに動こうとする。外で障害のある人が困っていたら、声をかけてあげたいと思う。
小学生	私が普通に生活して困らないことでも障害があって困っていたら少しでもお手伝いをしたいと思う
小学生	助ける人は必ずいる事
小学生	障害は生活などで色々大変な苦労をしていると思います。その為に出来る事はみんなで障害を持っている人を支える。
小学生	何ができないことがないかと思った
小学生	大変そうだなと思ったり何かやれることはないかななどと思ったりする。
小学生	困っているときは助けてあげたいなって思った。
小学生	自分がサポートしてあげないといけないと、思った。でも、あんまりお手伝いをしすぎると嫌われてしまうと、思った。
小学生	困ったり、助けが必要な時は助けになりたい。
小学生	「自分にできるはんいで、サポートしてあげたい。」と思う。
小学生	手がない人には、道を譲ろうなど
小学生	障害者の人たちが困っていたら進んで助けてあげたい
小学生	自分に出来る事を、したいです。
小学生	その人が困っていたり、話しかけてきた時には、優しく接して笑顔になってもらいたいと思った
小学生	あんまり、関わらないけど出来れば障害を持っている人の役にたちたいなぁと感じました。
小学生	手伝いをしてあげる、困ったことがあったら助ける
小学生	体が不自由なので手伝う
小学生	ＣＬＥという病気に兄がかかった時にいつもはあんまり好きじゃない兄が心配になった。入院になった時に悲しくなりました。そこから周りに障害の人がいたら迷わず助けようと思った。
小学生	心配する、手伝いたくなる
小学生	毎日こんなふうと思うと何かしてあげたいと思いました
小学生	普通に過ごしていた相手が、理解しにくかったりする病気？であることが分かって、びっくりしました。優しく接してあげられるようにしたいです。（自閉スペクトラム症？）
小学生	僕たちは自由だけど、障害者の人たちはできないことがあるかもしれないから手伝ってあげたい

小学生	困っている時は自分が助けてあげないといけない。色々なことを手伝ってあげたい。
小学生	何かできることはないかな。
小学生	私にできることがあればやりたい
小学生	何かお手伝いが出来たらいいな　１人…声をかけてあげようかな等
小学生	手伝えることができるなら助けたい
小学生	助けることができるなら助けたい
小学生	いつもそのような人たちに会うと、できることはしてあげよう、と思います。そしてその人のいいところを見つけます。
小学生	助けたい、どうにかしてあげたい。不安なこと、困っていること全部聞いてあげたい。自分とかわって上げたい。
小学生	出来るだけ助けてあげたい
小学生	近所に高齢者がい流のデューサー声をかけたいです
小学生	障害がある人は困ったことがあったらすぐに助けないといけないと思った。
小学生	その人が難しいと思うことを考えてそれを自分でやる
小学生	障害者なんだなーと思い普通に接する。
小学生	障害者はみんなで支えていく事ですこしでも心に余裕を持たせたい、と思った
小学生	出来るだけ優しく挨拶したりしようと思いました
小学生	障がいがある人はいろんな事を手伝ってもらわないといけないから、私はそう言う人たちの手伝いは喜んでやろうと思いました。
小学生	障害者の手伝いや色々なことをしたいです。
小学生	(障害のことについて)もし困っていたら手助けができるようにしようと思った。
小学生	自分の考えを言ったり口にしたりすることが難しかったり、自由に身体を動かせなかったりしている場面を見て、自分にできることなら手伝おうと思った。
小学生	悩みやしんどい事があったら、いつでも相談してあげたいと思った。
小学生	可哀想だなと思ったり､何かしてあげようかなと思ったりします。
小学生	世の中には、自分が望んでいないことで苦しんでいる人がたくさんいるから、できる限りサポートしたい
小学生	障害をもっている人のために自分が出来ることを考えて行きたいと思った。
小学生	何か出来ることはないかな
小学生	これからも、障害のある人に会うかもしれないから、明るく接してあげようと思った。
小学生	障害を持っているから助けていかないといけない
小学生	障害がある人のために僕たちに出来る事は何かあるのか。また、このような障害がある人は障害をなくすことは、できないのか。
小学生	生活が大変そう、助けてあげたい
小学生	障害のある人を助けたい。
小学生	大変そうだな、辛そうだなと思い、自分に出来ることはないかと考えはするが、実際には何もできないでいる。
小学生	この人は、障害のある人だ。体も、動かしにくそうだ・・・でも、私の前ではニコニコしてる・・・何か私にできることはないかな？と思っていた。
小学生	自分より大変な環境で過ごしているからサポートしよう。
小学生	私達が簡単にできることができないので、助けてあげたいと思いました。
小学生	いじめられていたら助ける
小学生	障害がある人を助けながら、過ごしていきたいと思った。
小学生	色々な不便なことがあると思うから接したり関わったりすることがあったらできるだけ助けてあげたい。
小学生	妹が、知的障害（言葉の遅れ、気持ちのコントロールが難しい）を持っています。だから、気持ちのコントロールがなかなかできず、お母さんと喧嘩をしたり、妹に対してひどいことを言ったりと大変なことも多いです。いつも感じることは、何でこの子がなってしまったんだろう､､。そう感じる事が多いです。それでも妹は、いつもみんなに追いつくために公文の宿題を嫌でもやったり、放課後デイサービスに通ったりと頑張っています。だから、妹のために妹を支えて行けたらいいなと思っています。
小学生	発達障害の妹がいて、でも、一緒に遊んだり、何か作業をしたりと妹も私も楽しめ、いつも、障害の人にあまりかかわらない人が障害の人にあったら優しく接したり、手助けしたりしてくれたらいいなと思ったことです。
小学生	スーパーとかで体が不自由な人や障害のある人をみるとかわいそうで手伝いたくなる

小学生	私達はまだ全然障害者の事を知らないし、他人事だと思っているのでできるだけして上げたいと思う。辛いことなど話を聞くらいしたほうがいいと思う。
小学生	障害のある人は、私たちが普段当たり前のようにしていることができないことがあるから、私たちが、サポートしていくことが大切だと感じた。
小学生	障害を持っている人は、１人でできない事もあるから障害を持っている人には自分ができる事があったら力になりたいと思う。
小学生	物事を手伝ったりしてみんなで支えようと思いました。
小学生	大丈夫かな、何かお手伝いできる事はないかな
小学生	優しくしてあげたいなと思った。
小学生	お世話をしなければいけないな
小学生	人の助けが必要な人を見かけたら、絶対に助けたいと改めて感じました。
小学生	障がいのある人がもし困っていたら手を貸してあげたい
小学生	泣いていたり、困っている時に助けたいと思った。
小学生	抱えている悩みを聞いて、私は、少しでも支えられたらいいなと感じました。
小学生	小さい頃から祖母は足が不自由なので、できないことを無理せずに私がお手伝いしたり、祖母のために役に立ちたい！と思いました。
小学生	体が弱い人は他の人が助けてあげないと出来ない事もあるから、私が率先してお手伝いをしてあげたい。
小学生	自分には何ができるか
小学生	困ったことがあると手伝おうと思う
小学生	障害者との関わり方について知る事ができた。障害者に出会った時に声をかけていきたい。
小学生	困っていたら助けてあげたいと思う
小学生	見つけたら手伝いをしてあげる
小学生	何かあったら助けてあげたい
小学生	障害のある人を見ると、とても大変そうだなと思います。でも、障害のある人の周りには必ず手伝っている人がいます。その人たちのおかげで、障害の人たちが生きていけると思います。私も障害の人の手伝いやサポートをしたいです。
小学生	自分は関係ないと思わないでその人が苦しそうだったら助けた方がいいと思いました。
小学生	その人が困っていた時、自分に出来る事などをしてその人の力になりたいと思います。
小学生	障害者は、好きで障害があるわけではない。そのため、町や公共の場で障害者を見かけたら優しく声を、かけたいと思う。
小学生	私は障がいをもっていないから大変だなと感じることはないけど、障がいを持っている人に対して自分ができることを考えて手助けをしていきたいなと思いました。
小学生	欠けていることがあるだけで差別されたり、友達ができなかったたりと悩みを相談されたとき、私が力になりたいと思った
小学生	分からないことがあったら教えてあげようと思いました。
小学生	ひとつひとつのことをするのが大変そうだなと思います。だから助けてあげられる機会があったら助けたいなと思います。
小学生	一緒に関わったり、生きていくなかで、苦しい思いをしている人や、自由にできない人が多いから自分たちができる事は沢山あるし、その人達のことを支えることもできるからもっと積極的に関わっていこうと思った。
小学生	障害者だからといって、差別をしたりせずにするということを、これからも心掛けていきたいと思います。
小学生	自分の思いどうりに動かせないから人がやっている事ややりたい事をできないから少しでも役に立ちたいと思う
小学生	可哀想。何かできることはないか考える。悩みや相談を聞く。
小学生	かわいそう?治してあげられるなら治してあげたい。自分も不自由になりたくない。何かして助けたい。
小学生	見かけたら助けてあげる
小学生	かわいそう、大丈夫かな。不自由じゃないかな、手伝おっかな。
小学生	やさしくしないとなーって思います。ボランティアをしたいなって思います。
中学生	困っていたら助けたい
中学生	親切にしたいと思った
中学生	困っているときに助けてあげるべきだと思った
中学生	見ていると可哀想で辛そうで心が痛む。助けたくなる。

中学生	不自由な姿をみて、助けてあげたいし、そばに寄り添うことができたらなって思います
中学生	とても苦労しているということが伝わってきて助けたいとおもいました。なので、そういう方を見つけた時には積極的に助けてあげたいなと思いました。
中学生	障がい者の方達は、１人でしたくても出来ないことや街の中でも不便な事が沢山あるということを知り、これから先、そういう人を見かけたりしたら積極的な話しかけて助けてあげたいなと思いました。ですが、急に話しかけると、怖いと思う人もいると思うので優しく話しかけてあげたいなと思いました。
中学生	力になってあげたい
中学生	自分が小さな事で悩んでいると自分より比べものにならないくらいの大きな悩みを抱えながら生活していると思うと自分の悩みは小さいものだと思いました。障害者の助けに少しでもなるボランティアがあれば自分のこの身体で助けたいと思います。
中学生	障害を持っているからどうとは何も思いません。ただ、大変そうなところは相手のプライドを守りながら手伝ったりします。自分にできることはサポートしていきたいと思っています。
中学生	大変そう、手伝ってあげたい
中学生	自分的には、障害を持っている人にはどんな時でも、手を貸してあげる事が一番大事だと思います。世界の全ての人々に理解・協力が必要だと感じます。自分もできることがあれば、必ず協力したいと思います。
中学生	私が普通だと思うことができずに苦しんでいるので、手を差し伸べて少しでもその人の役に立てるように行動したい。
中学生	大変だな、何かお手伝いすることはないかな
中学生	障がい者というくくりで判別してはいけないけど、出来ないこともあるので私たちの助け合いが必要だなと思いました。
中学生	自分にできることがあったらしたいな、と思いました。
中学生	もし、相手が困っていたら助けることを第一に考えていきたいです
中学生	てだすけが必要だと思う
中学生	少しでも役に立ちたいと思った
中学生	自分たちも障害のある方のことを考えて行動していかないといけないと思った。何かあったら助けてあげようと思う。
中学生	障害の人に思ったことは助けたいと思ったし障害者にある障害を受け止めて関わる例えば声が出せない人のことを理解して手話で話すなど
中学生	ダウン症などで他の人とは顔がちがったり僕たちにとって当たり前のことが出来なくて可哀想や力になりたいと感じた。
中学生	少しでもサポートしてあげたいと思った。
中学生	辛いことや大変なことを理解してあげて、どんなに小さいことでも手伝ってあげようと心がけています
中学生	自分が支えてあげたい
中学生	動くのが大変そうでした。だから自分が気にかけてあげるようにしています。
中学生	困ったら助けようと思いました
中学生	助けたい
中学生	助けたいと思った。
中学生	不自由なこともあるけど、障がいのある方に対しての偏見や悪いイメージは全くの妄想でお話をしたり、一緒に生活していて迷惑だと思うことはないので、悪いイメージのままだと失礼だから、障がいのある方々との会話や行動を避けるようなことは今後もないように意識していきたいと思うし、何か困っていることがあったり、悪い人たちに絡まれたりしていたら私が助けてあげるように、していきたいと思いました！
中学生	何か手助けできることはないかな？と思いました。また、一緒にふれあうことでその人の良さに気づくことができます。
中学生	助けたい
中学生	楽しそうに生活しているしているので手伝ってあげたいと思った。
中学生	大変そう．何かできることはないかな．
中学生	その人が過ごしやすいように工夫しようと思った。
中学生	困っていたら、助けてあげたい。
中学生	周りの人の手助けが大事
中学生	色んな人が助けてあげてほしい

中学生	自分と違っていても特に不便を感じることは何も無かったし、相手が困っていれば積極的に手を貸してあげたいと思った。
中学生	家族にも障害者がいるのでその人ができない事を代わりに自分がして、身体に負担がかからないようにしたい。
中学生	障害のあるひとは、出来ることよりできないことの方が多いと思うので、これからは障害のある方の手伝いを頑張りたいです。
中学生	大変だと思うし、自分の祖父もそうだから、なおさら色々手伝ってあげたり役に立ちたいと思った
中学生	こういう人も居るんだな、何かしてあげたいけど何をすれば良いのかな
中学生	健常者である自分が、積極的にできる範囲で手伝っていきたいなとすごく思いました。そして、困ってそうだなと少しでも感じたら、優しく声をかけてあげたいです。
中学生	荷物を持とう
中学生	1 人でできないこともあると思うので、困っている時があったらまた助けたいと思った。
中学生	障がいのある人のお世話をしてあげたいと感じる
中学生	何か自分に出来ることはないか考えるが、結局何も出来ない事が多い。
中学生	聞いてみないとわからないことがたくさんありもっと自分にできることができないかを感じた
中学生	優しく接してあげたい。手助けできることがあれば助けてやりたいと思った。
中学生	自分もその人の役に立てるようになりたいと思う。
中学生	できるだけ力になりたい
中学生	大変そう、少しでも役に立ちたいと思った
中学生	大変そうだということ、何か助けられることがあるのならば助けたい
中学生	目や身体が不自由なのでちゃんと支えて行かないといけないと思います
中学生	障害者は出来ないことや不便なことなどがたくさんあるので、自分たちがたくさんサポートしてあげないといけないと思います
中学生	一人でできないことが多いので見かけたら助けてあげたいと思った
中学生	何かできることはないかな？と思います。
中学生	一般の人とは違って出来ることが出来なくなるので手伝おうという気持ちがある
中学生	障害者の方は自分の慣れた所以外は歩くのが怖かったり、不安だったりするので、私たちが出来ることは手助けしてあげることが大切だと思いました。
中学生	実際に話したことはありませんが、障害を持っている方がいい環境の中で過ごせるようにしたいと思っています。小さいことでも私にできることを一つでも見つけるように普段から意識して生活したいです。
中学生	1 人ではできないことがあるのは、別に悪いことではないので、私ができる範囲なら何か手伝いたいと思った。
中学生	目が不自由だったり、足が不自由だったりすると出来ないことが多くあるからこそ私にできることをして支えたいと感じました。
中学生	困っている時は助けたい。
中学生	力になってあげたい。
中学生	自分に出来る範囲内で助けてあげようと思う。
中学生	願ってもないのに障がいを持ったからだで生まれてしまった人は自分たちではどうしようもなくて、なら少しでも手伝ったり寄り添えてあげられたらなと思う
中学生	事故で障害を抱えて、今までの生活が送れなくなった方が生きにくい、死にたいですと感じていることを知って、もっと何か自分たちにも出来ないかと考えました。
中学生	何か力になれないかどうか考えたりする
中学生	みんながサポートすることが大切。
中学生	不自由な人は健常者がしっかり支えないといけないということ
中学生	体に不自由がある方々にとって、周りからの温かいサポートのない、1 人での生活は、私たち健常者にとっては簡単なことでも、不自由に感じる事が多いと思いました。体が不自由だから、重い病を抱えているから、世間から見放すのではなく世間が、温かい目で見守り、時には手助けをすることの大切さを学んでいくことが今後の課題だと思います。
中学生	大丈夫なのかな？できることがあったらしてあげたい。
中学生	ドラマとかで白状を持った子がでてくるんですけど、周りの人がいることで全然違うと思うので困ってたりした時にはすぐに助けたりできると良いと思った。
中学生	何か出来る事をしてあげたいと思った。
中学生	大変そう、何か力になりたい
中学生	手助けが必要な事

中学生	障がいを持っていない人に比べるととても大変だと思うので手伝ってあげようと思った
中学生	荷物持とう
中学生	少しでも助けれることがあればしたい。困った時は頼って欲しい。

③　接したことで障がいのある人について少し分かった（179 件）

学校	内　　容
小学生	お世話をしてもらっている、年上（老人）が多い
小学生	自分との感じ方の違い
小学生	普通の人より発表できてないけど、しょうがないか
小学生	私は弟が発達障がいなのですが、周りの人よりもよく人を観察して人の感情の変化に敏感であると思いました。
小学生	お菓子が好きなんだなー
小学生	割と明るい人が多い印象だった。大変なことが多いと思うのにとても楽しそうに話をしてくれた。
小学生	障害者だからと言って何もできないわけではないんだ。と思った。
小学生	関わったけどしゃべっては、いない
小学生	近所にいる障害の方は、ダウン症で、言葉も話せないけど、その方のお母さんがいつも一緒に散歩をしています。いつも会ったら、その方は、手を振ってくれます。そのとき、言葉は話せないけど、頭ではちゃんとわたしのこと分かってくれているんだなと感じました。
小学生	障がい者になりたくてなっているのじゃないこと
小学生	すごく手がかかる
小学生	少し声が小さいなと思った
小学生	黙っている。
小学生	とても優しい
小学生	普通に生活するのは難しい。周りの人達からあまりよく思われていない。
小学生	自分の思い込みで弟達をもので叩いたり、いじめられてて他の人と関わるのが苦手でたまにへんな行動をしたりするからちょっとへんな子だと思う
小学生	わたしの習い事には、耳に障害を持った子がいてその子は、補聴器をつかっているから、少しの音でも拾うと言っていました。
小学生	挨拶をすると優しく声をかけてくれる
小学生	何をしているかわからない。
小学生	変
小学生	自分と同じぐらい元気でびっくりです
小学生	イライラすることが多いんだなって思う
小学生	ちょっと発達が遅いなと感じました。
小学生	色々なお世話をしないといけないこと。いつも寝たきりで過ごし、ご飯を食べる時だけ起きる。
小学生	優しい
小学生	障がい者の方でも元気に暮らしているのだなと思った
小学生	人との接し方が通常と少し違うところがあるなと思ったことがある。
小学生	変なことをしだす。授業中、給食中に見てくる。
小学生	さ行が言いづらい。
小学生	特に何もない、いろいろなことを知っている
小学生	優しくてズバぬけて何かが得意
小学生	障害があることだけでできることが制限されること
小学生	ちょっとだけ、わかりにくいところがあったり、おかしいなって思うこともある。
小学生	あまり喋らないで、手話で話す。
小学生	すごく礼儀が良くて話しやすい
小学生	とっても話しやすくて、楽しい！
小学生	障がいは、大変だけどそれなりの工夫をしているのでそこまで心配したりすることはないのかなと思います。
小学生	話しながらこの人は喋るのがちょっと難しいのかななど
小学生	落とし物を拾ったり優しかった
小学生	みんなと一緒に何かをするのが難しそうだなと思った

小学生	障がいのある方にとっては、とても辛いのかなと感じ、自分が今何も障がいがなく、普通に暮らしているのも障がいのある方にとっては、早く治って普通に暮らしたいという希望は、あると思います。生活が困難の状況な方に自分ができる限り支援していきたいと思いました。
小学生	知的障害というものについて初めて知った。(友達の弟がそうだった)
小学生	外で遊ぶより、室内で遊んでいる。
小学生	どこかが不自由でも、しっかり考えを持った、優しい人でした
小学生	障がい者は、１人でできないことがあるけれど、一生懸命生きているんだなと思いました。
小学生	あまり行ったことのない建物を歩くと不安の気持ちが多いと感じる
小学生	色々な障害を持つ人がいるんだなと思った
小学生	こういう障害を持っている人もいるんだなーと思った。
小学生	こんな障がい者もいる
小学生	見た目だけで障がい者とわかる人と、見た目ではなく発達障がいや心の問題がある人がいるということを感じた。みんなの前で話したり行動したりするのがにがてな人もコミニケーション障がいに入るのかな、と思った。
小学生	障害者でも、私に負けないくらい元気で明るい
小学生	いつも元気
小学生	体などが動かせないので、一緒に出かけることができなくて家から出られないから、出かける時に家に残っていて寂しい。
小学生	面白い人だなと思った
小学生	とくに不愉快な思いをしたことは、ありません。何か障害のある子なんだなぁとしか思いませんでした。
小学生	小さい子供でも障害に年齢は関係ないということを思った。
小学生	関係のない事をわざわざ言いに来る
小学生	お世話をするのが難しい
小学生	自由に行動していた
小学生	障害者も悪気はないけど問題を起こしてしまっている
小学生	変な人だと思う
小学生	障害がある人にも自分の世界があるんだなと思った
小学生	この人頭がおかしいんだなと思ったこと。
小学生	体の不自由な人は、みんなから悪口をかけられたりしている
小学生	この人頭がおかしい人なんだなと思いました。
小学生	こんな人もいるんだ
小学生	弟の保育園に行って、障害には、重い障害と軽い障害があることを知った。
小学生	色々なことを人に助けてもらわないと行動できない事
小学生	ルールを特別にすること ずっと一緒にいないと、だめということ。
小学生	お風呂の時耳が聞こえるようになる機械がつけられなくなるので大変です。
小学生	昔から祖父と祖母とは手話などを使ってふれあっているので、いまの生活に別に問題はない。
小学生	少し変なことをしてるなぁと思ったことがある。
小学生	話す時に、少し時間がかかる
小学生	人によって、さまざまな障害をもっている。
小学生	ネットで歌い手してる人だから、関わりは無い
小学生	喋り方が遅い
小学生	話が通じない。
小学生	自分達は、見たり聴いたり出来るのに、障害をもっている人は自分なりに対処しているんだなと思った。
小学生	話してる内容が噛み合わない事がある
小学生	こんなに遅れる人がいるという事が分かった。
小学生	あんまり話を聞いてくれなかったりした。
小学生	普通に行事や生活するのは難しいんだな。
小学生	手が震えている。声が元気だった時より小さい。
小学生	障がいがあってる人でも、楽しいことや、嬉しいことなど表情などで、みてる人にも伝わってくる気持ちです。

小学生	外見ではあまり普通の人とは変わらないけど、他の人と話すときなどに「やっぱり障害者なんだな」と感じた。
小学生	楽しそう、普通そうに見えても沢山悩みや、悲しいことがある。
小学生	少し話がずれる事がある
小学生	何を聞いても違うことを答えてくる。
小学生	みんな楽しそうにしていた。みんな障害があること関係なく伸び伸びとしていた。そして何より元気で、みんなとても優しい。
小学生	耳が聞こえない人でも手話という物がきちんとあるから会話は出来るんだな。
小学生	障害者は、とても暗いイメージだったけど、学校で交流会をしたときにとても明るくてビックリしました！！また、習い事で他のチームに知的障害者がいて、よく喋るんですけどその方もとても明るい人です。障害者は、ポジティブで明るく接しやすいなと感じました。
小学生	楽しそうにしている
小学生	周りの人とうまく馴染んでる
小学生	何かちょっとことで物に当たったりする事
小学生	楽しそうに生きてるなあと思いました！！！！
小学生	少し怒るのが早い
小学生	話しやすくてやすくていろんな話しを聞いてくれるみんなやさしい
小学生	嬉しい時にぴょんぴょん跳ねたり、にこにこしてて可愛いなと思いました
小学生	みんなで保護していかないと危険
小学生	考えが通ら無いと思った
小学生	一人で生活しにくそうに感じた。交通事故にあったりする可能性が高いと思う。
小学生	学校で障害のある方と交流する前は障害あるって辛そうと思ってたけどみんなで遊んで楽しそうでした
小学生	手足が不自由だと行きたいところも制限されてしまうと思った。
小学生	こけたりしたら危ないし、重い荷物を持とうにも危ない。
小学生	障害があることをわかってくれない人といる時は不便そうだけど、そのことをわかってくれる人といたら、とても楽しそうにしている。
中学生	周りの人の助けが大切
中学生	別に楽しく暮らしてそうだなと思った
中学生	やっぱり少し支援が必要なんだなと思った。
中学生	みんな心優しくていい子達だなと感じた
中学生	人の助けが必要
中学生	私の周りには心の問題を抱えてる知人が多くてインターネットを通して会話をする機会があります。問題を抱えあっているからこそ分かり合えることや抱えていなくても支えられる言葉や行動は問題を抱えている人にとってとても救いのあるものだと思いました。
中学生	言葉が詰まってて変
中学生	障害のある方は特に、当たり前のことの大切さを知っているなと感じたこと。
中学生	考え方が異なったり、自分と違った視点から物事を見ることができること。
中学生	団体行動が難しいのかな、と思った。
中学生	表情豊かで可愛いなと思った。思ったことを言ってくれる。
中学生	子供らしく感じた
中学生	よく話すなーとおもった
中学生	足があんまり動いていない。声が出せないこともたまに見かける。顔が少し傾いている時がある。
中学生	一人一人考え方が違っているし、やりたい事も違うということ
中学生	世界には自分が障害者というコンプレックスを持ちながら生きる人がいる
中学生	世の中にはいろんな人がいる
中学生	いきなり走り回ったりして追いかけるのが大変。けれども、無邪気さがあり可愛い
中学生	障害者は喋れなかったりするがそのことで楽しい人生を送れないことはないと感じた。
中学生	体が不自由でも生きることを楽しんでいるなと感じた
中学生	「あ、体が不自由な人だ」と思う。
中学生	障害者の人は周りのひとから見ただけではわからない心や身体の悩みをいくつも抱えていると分かった
中学生	変わった子だなと思った。
中学生	大人の方でも手助けが必要な時は必ずあるということ??

中学生	周りに理解されないだけでとてもいい人だと思う
中学生	その人はその人なりの生き方をしているのだと思う
中学生	いつもたのしそうだと感じました
中学生	耳の不自由により会話をするのがとても困難だと思った
中学生	言ったことをすぐに理解することが出来ないのかなとたまに思います。
中学生	なんだか、一人で寂しそう。
中学生	自分よりたくさんの悩みを抱えていながらも、決して弱音を吐かない強い人達でした。
中学生	健常者に対して自分は劣っていると考えているように思った
中学生	話が噛み合わない事が時々あるけど、話してて楽しい。みんな心が優しいと思った
中学生	本当にわかってないんだなと感じる。物事を理解出来ない、出来ても行動ができなかったりと色々大変。だけど、物の捉え方が凄く個性的で、違った景色、目線で見れてて感心する。
中学生	話すことはできないけど、いつもニコニコしていて可愛い。
中学生	弟は普通に話せるので障がいがあるのが分かりにくいかもしれないです
中学生	生きていてすごく強いなと思った。
中学生	SNS で繋がった同年代の人の中にも、起立性調節障害や失調症の人は多く、話す機会も多くありました。感じたことは、障害の中には生まれつきや事故が原因のものだけでなく、学校環境や友人関係が原因のものも多かったということです。
中学生	うまく歩けないんだなあ
中学生	障害を持っていると言われないとわからない人もいるが、言われなくてもわかる人もいる。話してて障害を持っているんだなと思うことが多々あった。
中学生	体が不自由でも名前などを呼んだらしっかり顔で意思表示をしたりして障害者でも１人の人間だと思った。
中学生	障がい者だからといって、何もできないというわけではなく、普通の生活を送るにあたって少しの支障をきたす事があるというだけなのだと感じている。
中学生	何でも一人では出来ない
中学生	私が関わってきたひとたちは意思表示が苦手な人が多いように感じます。クラス、学年全体で見てみると、人との接し方に少し感情的になりすぎてしまうような人が多く、いじりなどの標的になりやすい事が問題であると考えています。
中学生	・周りの手助けが必要になる。 ・目が見えない分、肌の感覚や聴覚などが鋭い。
中学生	優しい人が多い
中学生	したいことができない
中学生	・悲しい ・周りの目を気にしてそう ・特別扱いされるのが嫌と言っていた。
中学生	相手の気持ちがわからない。話を聞いているのかわからない。すぐ怒ったりどこかに行ったりする。
中学生	見た目だけではわからない人もいる
中学生	助け合わないと１人で作業をするのは難しそうだと思った
中学生	早口で話すときつらそう
中学生	その人は学校の先生で、いつも電動バイクに乗っていました。一つ一つの動作が大変そうでした。
中学生	よく人の助けをかりて、「ありがとう」って言ってる
中学生	みんなになじんでる
中学生	とても一生懸命で、優しい人ばかり
中学生	見た目だけでは、障害のある人とは分かりませんでした。
中学生	特に障がい者だからといって「かわいそう」や「大変そう」など、感じたことはない。とても明るくていい人だと思った。
中学生	普通の人と、あまり変わらないけど喋っていると少し障害者の人かなと分かる
中学生	なにをするにも他の人と違う感じで見られたりして、いろんな悩みがあるんだなと思った。
中学生	私より自分のことをしっかりできる子が多い
中学生	感情豊か
中学生	素直で心優しかった。とてもいい人。
中学生	頑張って気持ちを言葉で表そうとしたりしているところがいいなと思いました。
中学生	可愛い 素直 真面目

中学生	団体行動が苦手なのかなと感じることがある。少し幼いと感じる。会話をしたりするときに変だとは感じない。
中学生	障がいのある人は可哀想だと思っていた自分がいたけど、関わってみると明るい方も多くて誰しもが辛いと思っている訳ではないのかもしれないと考えるようになりました。
中学生	感情の起伏が激しい
中学生	外見じゃ分からない人もいる。話をしていて違和感はない。
中学生	皆さんとても朗らかで優しかったです。
中学生	いろんな人が居るんだなとおもった
中学生	普通に話したりできる。
中学生	個人差がある
中学生	優しい人が多い、周りが支えてあげていた

④　障がいの理解、障がい者の個性や特性の尊重について（150 件）

学校	内　　容
小学生	障がいのことが周りに理解されてないとちょっと辛いな、と思う
小学生	障がいとは個人の個性だと思うので、特に嫌などは思わない。
小学生	障害者の人に対して、「仲間外れにしよう。」「無視しよう。」「関わらないようにしよう。」これが宮崎小学校の僕の友達の言葉です。そういう『偏見』は必ず『リーダーになりたい』という目立ちたがり屋や名声を得たい人から始まります。それからその人の友達に、そしてその友達に伝わっていきます。しかし、この世の中、障害者やいじめ、ジェンダーのことも最近話題になっています。だからこのずる賢い目立ちたがり屋や名声を得たい人はわざと世の中側で褒められることを書きます。しかし、内心そんなこと一つも思っていません。こんなことをしている人間でリーダーは務まるのでしょうか。それでもみんなの代表なのでしょうか。この問題は解決するのでしょうか。頑張ってください。僕も頑張ります。
小学生	発達障害の人と活動するときに、障害を持ってる人を優先的にするのは理解できるけど、特別扱いをしていたりされていたりするのをみたときは、正直あまり納得がしない。
小学生	障がいがあるから何をしても許させるわけではない。やっぱり、喧嘩を起こしたり、問題を起こしたりする。いじめられたり、愚痴を言われたりする。障害者施設などに通っている人もいる
小学生	人それぞれ個性があると思いました
小学生	人それぞれの個性があっていいなと思います。
小学生	なりたいわけでもないのに傷付けるのは可哀想
小学生	障害者に差別せずに生きていくことがとても大切だということ。
小学生	全ての人が平等になれば良いと思う
小学生	体や不自由な人や、知能の発達が遅れている人は障がい者になるけれど、障がいは悪いことではないし、生まれ持った個性だと思います。だから、障がい者だからって嫌なことをしたり、差別したりすることは絶対にしたらいけないと思います。
小学生	障害は自分にしかない個性だと思うので、悪いとは全然思わないし、変だななども思わなかったです。
小学生	みんながジロジロみているのでそれがいつも気になる
小学生	「〇〇くんって障害者らしいよ」と聞いたりするけれど、本当か分からなくて、でも、そういうことを言われるのは可哀想だとおもった。
小学生	障害者でも同じ人でたくさんの努力をしてみんなと同じことができるように頑張っている。障害者だからって差別しない人もたくさんいてその分差別する人もいる。不自由でもやりたいこと好きなことをたくさんしている。私も障害者だからって差別をせず障害者の人もハッピーにしていきたい。不自由な人の手助けをしたい。と思った。
小学生	その人が１番大変だから少しでもできることをしないといけないと思った。みんなとちょっとだけ違うだけでたくさん差別とかいじめがあるからそれが少しでも減って障がいがある人も生きやすくなるといいなと思った。
小学生	自分たちに比べてプラスに考えたりとかがあまりできないので、ちょっとした違和感や不公平感も感じている人がいる
小学生	言いたいことが分かりづらいが、障害者に対しての偏見などは、無くなればいいと思う。
小学生	普通の人と違うから生活が大変だと思うけど、「障害者だから。」という理由で甘えるのは違うと思う。
小学生	みんな違ってみんないいから特におもったことはないです。

小学生	障害者も、僕達と同じだから差別するのは、おかしいと思う。
小学生	障害者だからという差別をなくして、障害を持っている人でも自由に楽しく幸せに暮らせる環境にしてあげたいと、思った。
小学生	本人が一番辛いだろうな、と思う。なのにいじめを受けている人がいる
小学生	自己中なことはやめてほしい 「特別」とついただけでイキるのはやめてほしい
小学生	障がいを抱えている人は、その障がいを支える道具やその人の心のケアをする人が必要なだけで皆んな障がいを持っていると思う。
小学生	みんなと同じような扱いが受けられていない
小学生	みんなから避けられたりとか、悪口を言われているのを見たことがあるしそのことについて相談されたことがあるから障害を持っていることは辛いことなのかなと思う。
小学生	世界の中には人とちょっと違う人もいる。でも自分は障害がないからその障害がある人たちのことをよく知っておくことが大事だと思う。
小学生	自分でも差別などをしたらいけないことをわかっていても差別などをしたり、してしまうのでそういったことをしないようにしたい
小学生	障害があるから、という理由でいじめたり差別したりは絶対したくないと思うししている人を見かけたらちゃんと注意したいです、私の弟、従兄弟が体が悪くてやっぱり普通に遊んだりは出来ないから障害に理解を持って欲しいな、と思います
小学生	どうして障害者の方々に差別的なことをするのですか？同じ人間ですよ？私は許せません。私はもっと障害者の方々達と仲良くしたいです。
小学生	別に障害があるないに関わらず、普通に生活ができているので「障害があるから」という偏見がなくなくなってほしいと思う。
小学生	私の親戚は障害を持っています。時々遊びに行く時はいろいろお話をしたりします。楽しいです。中には障害者の人に関して差別をしている人のことを知りました。そのお話を聞いて私はびっくりしたのと怒った感情が混ざりました。違うその人の個性があるだけなのに‥‥‥私はそう思ってません。そして長生きしてほしいです。差別のない世界にしたいです。
小学生	どんな人とも楽しく過ごしていきたい。また、テレビで義足をメガネのようにファッションだと思って欲しいという言葉に、障害者は普通の人と少し変っているくらいで差別はやめようと思った
小学生	なぜ、障害者のことを知ろうとするけど、話題にしたりするだけで、補助をしないのかということ
小学生	世の中には私たちみたいな人達だけではなく色々な個性を持った人たちがいて、その人達の個性を認め、寄り添う事が大事だと、思いました。
小学生	なりたくて障害者になったわけではないのに、ニュースなどで見て差別されていることを知った。みんなで考えることが大切だと思った。
小学生	障害がある人でもいい人はたくさんいるのになんで差別などをするのだろうと思いました。
小学生	普通の人とは少し違うけど特徴があっていいと思うし、私に身近な障害者の方もすごくいい人なので大きな差は、無いと思います。なのに差別をする人や、いじめをする人がいるので、そいう人たちの方がおかしいと私は思います。
小学生	人間には変わりないから、差別や悪口を言ったりしてはいけない。
小学生	私達と、違うことがあったり、そのことで苦しんでる人を見る目が、とても怖いことがあります。私のひいおばあちゃんが、この前、幻覚や、幻聴でとても苦しんでいました。誰もが、ありうることです。年齢関係なく、誰でもあるので、偏見を、無くしたいです。
小学生	自分でできないこともみんなと頑張って辛い時も悲しい時も頑張って生きているけど不自由な人を差別する人もいるから障害だからって差別するのはいけないと思う
小学生	誰でも差別なく暮らせる世が早く出来たら良いのになぁ、、、
小学生	みんな違ってみんないいのだと思いました。
小学生	一緒に買い物に行ったりすると、まわりにじろじろと見られる。本人はいたって平気そうだが、見た目だけで差別をする相手の心を考えてほしい。
小学生	いろんな人から特別扱いされて苦しくないのかな？きつくないのかな？
小学生	あまり感じたり、思ったりしない。障がいのない人と変わりはあまりないと思う。
小学生	障害のある人は、周りからどう思われているか気にしながらも、障害と戦っている。障害のある人を冷たい目で見たり、笑ったり、馬鹿にするのではなく、積極的に話を聞きに行く事も大事である。そして、その人たちが暮らしやすい世の中にすることが大事である。
小学生	みんな違ってみんな良いなと思いました。
小学生	特に何も感じない普通の友達として見ている
小学生	良い人と悪い人がいる。特別扱いされて居る気がする

小学生	普通に過ごしている私たちとは違って、障害がある人は、障害でできないことが多くそのできないことを笑ったり、差別されたりもっと負担がかかっているのではないかなと思いました。
小学生	障害者の人を差別する人がいるから差別がなくなれば良いなと思う
小学生	障害を持っている人達も同じ人間だから、差別をせず平等に関わっていたら、障害を持っている人でも少しでも安心とか幸せに生きれるのかなと思った。
小学生	障がいを批判する人がいるのが少しおかしいと思いました。
小学生	みんな違ってみんないいと思うので、特にないです。
小学生	話してみたりすると普通に話が出来たり気が合う事もあり普通の人と変わらないのに何故皆何も知らないのに、好き勝手物を言うのかを疑問に思う時がある。
小学生	まだ街の中には、障害者に不満を持っている人が多いという現状。
小学生	その人がその障がいを原因に、学校でいじめや差別を受けたりしていることがある。そのいじめや差別が原因で学校にいけなくなっている人もいるので、そのような問題をなくした方が良いと思う。
小学生	私達は、だめと言われている事をその人は許されている時がある。私も頑張っているのにと思うことがある。
小学生	差別がある
小学生	障がいのせいで色んなことを言われていて、「なんでその人は自分が好きで障がいを持ったわけではないのにそんなに言われないといけないのか」と思った。
小学生	障がい者だからと言って差別されていたり、悪口を言われたりしていて（学校で）本人はとても辛いだろうなと思います。
小学生	やっぱり障がい者だからと偏見を持ちやすい
小学生	障害者だからといって、差別・偏見を受けているのを見たりすると、とても嫌な気持ちになる事がある。
小学生	障がい者はよく差別されるらしい。意味不明、何故か。
小学生	障害者に対して、みんな冷たい対応をすると思っていたけど優しい対応をしていたので、心があたたまりました。
小学生	障害が、あっても差別やいじめをしては、いけないと思った。
小学生	やっぱり自分じゃわからないところで、障害を持っている人は、馬鹿にされたり、障害をもっているからといって、仲間外れにされたりしているのが話を聞いていて悲しいですね。もっと酷ければリストカットをして自殺していると思う。だから自殺を防ぐ為には、その日のことを、わかってあげることが大切だと思います。
小学生	別に普通に話せるのでなんとも思いません。たぶん。
小学生	たとえ障害者だとしても、差別せず親切にしていきたいと思った！
小学生	そこまでは違和感は、感じなかったです。
小学生	はとこが発達障害なのですが、声が大きく、状況を把握することが苦手なくらいで、特に何も思ったり感じたりしません。
小学生	僕の兄弟（兄）にいるのですが、あまり外見ではわかりにくいので、おじいちゃんが治る病気と勘違いして強く当たっていたのですが、最近になって理解したので嬉しかったが、心の傷は治らないので自分が中心と考える人は減って欲しいと思いました。
小学生	私の従兄弟は発達障害なのですが、他の同い年の子と比べても負けないくらい元気なので、変だなというふうに思ったことはありません。
小学生	やっぱり大変なのにすごい障害のことでいじめられたりする人がいる可哀想
小学生	学校で障害のある人と普通に学習している人の先生の優しさの違いなどにしょうがないと思っていてもイライラする
小学生	また、障害者ということだけで、仲間外れにしたり、変な目で見ることもよくないと考えました。
小学生	僕の家族でいて、話したりするのは普通だけどお母さんが言うに勉強とか少し難しい仕事とかができないときいて、仕事も自由に選べなくかわいそうに思う。『こいつ障害なんだって！』『これもできないだー』とかをいうと心に傷がついてしまう。からこんな事を言ってしまったりしたら『この人は自分で障害者になったのではない』と考えて謝ったほうがいいとおもう。
小学生	障害者はどこからどこまでが障害者なのかわからなくなる。本当に困っている障害者が報われない事の方が多く感じる。
小学生	障がい者をバカにしない。
小学生	障害者に対して馬鹿にする人や、意地悪なことを言ってくる人は、許せない気持ちは多々あります。馬鹿にすることを言ってないけど、言ってる人の近くにいて笑っている人も許せない気持ちがあります。

小学生	障害がある人でも、いろいろなことができる。障害があるからと言って、決めつけたり差別をしないようにしようと思った。
小学生	やっぱりそういう人に対して差別などを絶対しないようにしようと思いました。だけど世界中には差別などをする人がまだたくさんいるのでそういう行動を無くそうと思いました。
小学生	同じ人でも、１人１人違う人がいるなと思った。
小学生	コロナウイルスの影響というのもあり、マスクをしていて体調がわからなくても、障害を持っている方に席などを譲ってあげたりしたいと思います。自分からそんな行動ができる素晴らしい人間になりたいです。そしてこれからもっと、私たちと同じ年齢くらいの人、そして下級生に、みんなとちょっと違くても、おんなじお友達なんだよ。ということを広げていき、宮崎県、そして全国の障害を持っている方が、安心安全で暮らせる社会にしていきたいです。好きで障害などを持っている人などいないとおもいます。誰もが辛いとき頑張っているなかで不平等な世界などありえません。「みんな違ってみんないい。」私の最も大切にしている言葉です。それぞれの人にそれぞれ特有の個性があって、私も自分らしく生きていけられるように頑張ります。
小学生	障害を持っている人達はその人なりに苦労していることがわかった。障害のある人も私たちと同じ人間。みんな一生懸命生きているから周りの人から差別される筋合いはないと思う。
中学生	たまに障害者を馬鹿にするする人がいるけど、それを見るたびになんで頑張って必死に生きているのにそんな事をいうのか分からなくて腹が立つ。
中学生	人間として平等であるので差別することは間違っていると思う。でも、自分の体と違ったり話し方が違ったらダメだと分かっていても意識してしまう。
中学生	関わる前までは、「障害者」というだけで、正直少し抵抗がありました。しかし直接話してみたり、一緒に活動を行う中で楽しいという感情が出てきて、全然健常者の人と変わらないじゃんと思いました。障害の中の「発達障害」とは、何か１つのことがずば抜けてできる才能があることだと私は思います。だから、障害を悪いことと思い込むのではなく、一つの個性として認め、お互い支え合って生きていくことが大切だと私は思います。
中学生	身体や、心になにか、障がいをかかえている人も、普通に生活している人となんのかわりもないのに、障がい者だからといって、差別をしているなど、心ない行動をしているひとをみると、とても悲しい気持ちになります。不自由な事があったら、すぐに、みんなが手を差し伸べて、助け合えるそんな世界になってほしいです。
中学生	人間はみんな違ってみんないいなとかんじました。
中学生	障害があったとしても同じ人間だから差別はしてはいけないと改めて強く思った。
中学生	すきでなっているわけじゃないのに差別とかをされていることが、周りからみても可哀想だしそういうことをしている人は恥ずかしいと思います。
中学生	すきでなっているわけじゃないのに差別とかをされていることが、周りからみても可哀想だしそういうことをしている人は恥ずかしいと思います。
中学生	障がい者のことを偏見の目で見ている人が多いなと感じた。
中学生	障がいのある方も普通の人間なので特に何も感じない
中学生	周りの人の理解がないなと思いました。
中学生	やっぱり障害者のことを馬鹿にしたり笑ったりする人がいるから、自分たちもその人たちと同じ立場になった時のことを考えて、理解しながら生活すべきだと思う。
中学生	もっと周りの人たちに障害について理解し、配慮してもらいたい
中学生	私ももう少し人に上手く声をかけれるようになって、どんどん手助けをしたい。障がいをもつ人に対してマイナスな偏見や意見を持っている人はまだ日本には多いと思うけどそれでも苦しい思いをして暮らす人が少しでも減って欲しいと私は感じた。
中学生	健常者と同じように接しているのでなんとも感じない
中学生	同じ人間だから特別なことを感じたりはしない
中学生	変だったとしても世の中には色々な個性を持った人がいるのであまり気にしていない。
中学生	特に不便そうでは無いし、普通に話せるからあまり、感じたことはないです。
中学生	普通の人と同じように接しているので特に思うことはありません。
中学生	個性的だなぁ
中学生	偏見がすごいと思った
中学生	頑張っているというのに、かわいそうや大変そうなどを言うだけで、何もしない人に対して嫌な気持ちを持った。障害を持った方が特別扱いをされると少しだけ嫌な気持ちになると言っていて、本当に困っている時に手助けしようと思った。

中学生	私の幼馴染が知的障害を持っていて幼い頃から一緒にいるので、障害者に対して特別な感情は持ってない。けど周りには、差別をしてくる人がいる。意味がわからない。障害者のかたより自分は優れていると感じているのだなと差別をしてくる人を見てそう思ったことがある。これから先、少しでも良い世界になれるように一人一人が想いやらないといけない。
中学生	差別したりする理由がわからん、、、
中学生	私が障がいのある方と関わって感じた事は、私たちの思う「普通」で縛ってはいけないと言う事です。私たちの思う普通とは、障がいが無くある程度不自由なく暮らせることだと思う人が多いんじゃないかと思います。しかし、その普通という考え方のせいで、差別や、障がいがあるなんて可哀想だ。と言う人がまだまだ居ます。障がいのある方はきっと自分のことを可哀想だと言うのでは無く、自分の持っている障がいを理解した上でみんなと同じように扱ってほしいと言うと思います。障がいのある方を「社会的弱者」と呼ぶのならば、私たちは考えを改め、その社会を変えていかなければならないと思います。私たちの持つ「普通」は「当たり前」では無い。このことについてさらに視野を広げ、もっと深くまで考える必要があると思いました。
中学生	障害と一言に言っても、様々なものがあるのだと思った。家族に心の障害がある人がいるため、接し方に悩むこともあるが、それ以外は健常者と変わらないので、障害も個性の一つだと思う。また、母の職場は、視覚障害のある方が多く、話を聞いていると、意外と見えない以外は普通なので、あまり違いを感じることはない。
中学生	障害を持っている人を見かけると、小学６年生の頃までは思っていた。テレビで、障害者について、というものを見た時、「障がいの有無に関わらず、人はできることできないことが誰にでもある。」と障がい者の方が言っていた。その時に、私が思っていた可哀想だとか思う気持ちは、ただの憶測であり、偏見であったと自覚した。障がいを持っている方に、障害を持っていない人と同じように接する、ということは当たり前であると思った。
中学生	障害者を持っている人を街中で見たときに周りの人が避けてるように見えて障害者への差別的なことが見られたので、障害について多くの人により詳しく知ってもらう必要があるなと思いました。
中学生	特に迷惑などは感じた事が無く、普通に話せて、ただ、体や心に違いがあるだけの、ちゃんと感情がある一般人だと思いました。ですが、他の人たちがそのような人たちを差別するような感じはあまり見たことはありませんが、同時に、助け合うこともあまり見られないので、いつかどんな人でも助け合えるような社会にしたいと思いました。
中学生	差別がなくなって欲しいと改めて思った。
中学生	障害者だからという考えは良くないと思った
中学生	世の中が障害のある方にとってまだまだ不自由な社会であることを実際に触れ合ったり、活動をしたりすることで知ることができました。また、障害と言っても自分が障害と思っていないものでも障害と扱われるものがあり、障害の区別がわからなくなりました。障害のある方と障害のない方で分けるのではなく障害はその人の個性だと捉えることがこれからの社会において重要になる考え方ではないかと思いました。
中学生	障がい者でも普通の人だから差別するのはいけないと感じた
中学生	障害者は自分でやりたくてもやれないところが、いくつかあるのでそこで差別をしたり、嫌がらせをしたりするというのは自分にとってすごく極めて不愉快だと思います。
中学生	障害の人は障害者として生きているので、みんなに差別などされてから不安になる方々が多いと思うので、そういう人たちがいなくなれば障害者の方々は少しは安心して生活が送れると思います。
中学生	私の周りに街などで障害者の方がいたときに、少し馬鹿にする人がいて、私自身、親戚にいるので嫌な気持ちになったことがあるので、そのようなことがなくなればいいなと思っています。
中学生	障害者だからといって普通の人間と変わらないのに差別する人の気持ちがわからないと思いました。
中学生	障害がある方が避けられたりすることを見かけるので誰にでも平等に接する人が増えれば障害がある方が過ごしやすい社会になると思います
中学生	障害がある方が避けられたりすることを見かけるので誰にでも平等に接する人が増えれば障害がある方が過ごしやすい社会になると思います
中学生	障害者の人に会うと、差別する人が居るけど、何故そんなことをするのかがわからない。
中学生	最近になるまでその人が障がいを持っているとは知らなかったくらい普通の人とあまり変わらないと思った。障がいは個性という言葉があるが全くもってその通りだと思う。

中学生	大変な思いをされているので、困っている時は手助けをしたいと感じる。しかし、『障害者』というくくりで見るのではいつまで経っても差別や偏見もなくならず、また他人事に感じる人もいると思う。障害を持って生まれた方や事故で障害を患った人も前向きに生きている人が多いと感じる。だから私たちは障害について深く知り、「障害を持っている人もみんな心がある。」ということを改めて理解することが大切だと思う。そして、背中を押してみんなで協力して誰でも生きていきやすい社会にすることが必要だと考える。
中学生	一人ではできないことが多くあり人の助けが必要になること。障がい者が快適に過ごせる環境が必要なこと。周りの人が障がい者について理解する必要があること。
中学生	障害者は良くも悪くも、周りに影響を与えると思う。その人は、発達障害を持っていて、性格が短気で、めんどくさい性格をしていて、周りからもあまり好かれていません。しょうがいを持っているのを理由に、周りと区別してしまうと、その人も生きづらいと思います。
中学生	色々な病気があるし、十人十色なのでなにも問題はないと思いました
中学生	・心の病気には、偏見が多い ・目に見えない、性同一性障がいなどの病気の理解が少ない ・若者などからは、あまり受け入れられない（心の病気やｘジェンダー等） ・『障がいを持っている』というだけで差別を受けてしまう ・心の病気を持つきっかけとなったこと（いじめ、虐待）の話を聞いて、もしかしたら、いじめや虐待は、今この瞬間、助けてもらえず苦しんでいる人がいるのではないか…と思う ・心の病気を持つ原因となるいじめや虐待、差別をなくしたい ・性同一性障がいやｘジェンダーの方に、対する配慮が足りないのでは？（トイレ、温泉、性転換手術、制服など） ・貧しい地域の人達の中にも、障がい者がいるのではないか？ ・周りの理解がないと、生きにくいのではないか？
中学生	関わって来た人の中に「障害は１つの個性でもある」といっていた人がいた。生活の中で、少し不自由なだけで私達となにも違いは無くて、逆に障害を持っている事を一つの個性として自信を持っていることにとてもすごいと思った。
中学生	特に何も感じない。一人（いちひと）であるのに変わらない。優劣をつけるな。
中学生	障がい者と一括りに言っても足が不自由だったり目が見えないというだけでそれ以外は私達と何も変わらないと思います。差別などのない障がいのある方でも生きやすい世の中になってほしいです
中学生	障がい者への対応として、私は特別扱いをしたり障害のない人と区別したりするのではなく、普通にいつも通りに接するのが一番いいと思った。また、障がい者への差別や偏見をなくすためにできることに取り組みたいと思った。
中学生	・障害についてもっと知る ・障害の体験もみんなにしてもらう
中学生	偏見や差別をしてはいけない。
中学生	大切にしないといけないなと思った
中学生	障がいのある人はなりたくてなっている訳ではないから気にしなくていいと思う。もちろん、障がいのある人に対して差別や偏見を持つ人がいるならそれは違うと思う。だけど私は障がいがあってもなくても普通に接すると思う。
中学生	自分自身は目に見えない障がい持ちでありなかなか理解されないので、もっと理解者が増えて欲しいと思う
中学生	私のおばが知的障害を持っていてよく関わるのですが、会話などはある程度できるのですが、物の計算などは周りの人の助けがないとできません。そういったおばの様子を見て、私は障害のある人がどれだけ辛い思いをしているのかがよく分かります。今は障害者に対する差別問題が深刻化していますが、私はそのようなことは絶対にしてはいけないと思います。障害を望んで産まれた人などこの世に一人としていないのだから・・・・私たちの意識と思いやりが障害者や世の中を救済する糧となると私は思っています。
中学生	心は私たちと同じで悲しいこと、嬉しいこと、たくさんの感情をもっている。感じたことや、自分から見た世界を、様々な方法で表現できる尊敬すべき人達。自分たちとは違うと感じていた前と違い、お互いに補い認め合うことが必要と感じている。障害は恥ずべきことではなく、個性として堂々と過ごせるような社会にしていきたい。人として大切な信念を持っている。
中学生	障害者と言っても、気持ちは私たちとは何も変わらないと言うことを感じた。私は従兄弟が障害者なため、自分たちとの違いはたくさん見てきた。本人の辛さや感じ方まではわからなくても、その人自身をわかっていきたいと感じた。
中学生	障害者や立場が弱い人への差別がなくなっていくことを強く祈りたい。

中学生	昔の学校にいた時の話ですが、感じたことは自分一人では学校での行事をこなせない事があり、常にその人の周りに一人はついていたので大変だなって思っただけです。ですがそんなの障害者だけのことじゃないので、笑ったりすることはありませんでした。
中学生	障害者の人と関わってみて、一番初めに思ったのは「あ、かわいそうだな」と思いました。でも、そうやって思われることが嫌な人もいるということがわかり、それからは完全には無理だけどあまりそういうことは思わないようにしています。私もそういう立場だったら嫌だなと思いました。障害者と普通の人との差別がなくなってほしいなと思いました。
中学生	障害がある人は私たちと同じ人間でなぜ差別をするのか疑問に思いました。これは私の考えですが、多分差別をしている人は「自分とは違うから」や「面倒臭いから関わりたくない」などの理由で差別をしているんだと思いました。差別を少なくするには、障害がある人の障害について、しっかり理解し寄り添ってあげることが必要だと思いました。
中学生	わかりあうことが大切だと思った

⑤　障がいのある人との関わり方、接する際に配慮することについて（133 件）

学校	内　　容
小学生	少し気を遣わなければならない。４
小学生	平等に接しようと思いました。
小学生	差別などをせず楽しく接していきたいと思いました
小学生	障がい者だからといって差別をしないことです
小学生	障害者だからと差別せず一人の人間として関わっていくことが大事だと思いました
小学生	同じ人間として普通の人と同じように接するようにしたいと思った
小学生	障害があっても、私達と心は同じですし、障害があるからといって「じゃあこれは出来ないね、可哀想」などと思ったらいけないし、言ってもいけないと私は思いました。何故なら、こういう心が差別の対象になるからです。
小学生	関わり方が難しいから、たまに問題になったりもするので、気をつけたいです。
小学生	優しく伝えないと障害者が嫌に感じてしまうこと。
小学生	障がい者なりたくてなっているわけでは無いと思うので、普通の人と差をつけて扱ってはいけない。
小学生	誰でも平等に接していかなければならない。
小学生	障害者にもちゃんと意思はあるので尊重してあげるのが大切。
小学生	可哀想とか思うのではなくて、自分にもあり得ると思えば、優しく接してあげられると思います。
小学生	嫌だと思ったことはない、普通にしていればいいと思う
小学生	障害を持っていたとしても、障害を持っていない人と同じだから障害を持っていると周りがその人のことをとおざけたりせずに優しく接すれば良いと思った。
小学生	過度に心配し過ぎると不快に感じられる気がするので気をつけている
小学生	家族や友達がそうでも自然に接して居たい
小学生	障害のある人でもない人でも、関わり方や、接し方などは普通に何も障害がない人は普通にいつもみたいに関わるけど、障害のある人達は少し接し方が変わってくる事を感じた。
小学生	お父さんは耳が聞こえにくいので、大きな声を出したり同じことを何回も言ってあげたりする。
小学生	みんなおなじ様に接すること
小学生	大丈夫？など言ったりしたこと
小学生	車椅子などに乗っていてすごく不便そうだし、見られたくないんだろうなと思うので普通の人と同じように接する。
小学生	自動車の乗り降りが大変だと思いました。小さい段差も気をつけないと転んでしまうので、きちんと見て言ってあげないといけないなと思いました。イオンは、人が多いので特に気をつけないといけないと感じました。少しでも油断すると危ないので、ちゃんと目を離さず見ておかないといけないと思いました。
小学生	世の中には、このような人もいるのだなと思いました。母が養護教諭の仕事についているので、このような話はよくきかされています。「その人にとってはそれが当たり前だからその当たり前を受け止めて付き合いなさい」と、よく言われるので小学校に入学してからそういう友達と関わって実感しました。
小学生	障害があってもみんな同じように接している
小学生	遊ぶとき、無駄に気を使ってしまう
小学生	普通の友達として接する事ができていると思う。
小学生	気をつけて、接しないといけないなと思いました。

小学生	私は障がい者が家族にいてよかったと思います。それは家族にもし障がい者がいなかったら障がい者の人を馬鹿にしていたかもしれません。家族の障害者には普通の障がいがない人のように接しています。
小学生	優しく接してあげたいなと思う
小学生	その人達に会話や伝えたいことを話すときは、自分がどうやったら伝わるかなどその人達と向き合うことが大事だと思った。
小学生	障害のある人と関わるのは少し大変だし、健常者よりも、気を使うことが多いけれど、障害のある人も健常者も、同じ人間だから、障害のある人には、健常者よりも、やさしく接するのが良いと、関わって、思いました。
小学生	優しく接した方がいい ゆっくり話してあげるといい??
小学生	相手は大丈夫やろと思ってるけど自分は嫌だったっていっていた人もいた。何事にも相手の立場になる事が大切と思いました
小学生	知的の発達が遅れている人なので外から見ると障害がないように見えました。初めは「障害」と聞くと怖いイメージを持っていたのですが、知的の発達が遅れている子と直接関わってみて、「障害」を持っているからといって他の人と違う接し方をするのはおかしいのではないかと思いました。
小学生	特にない、周りの人とおんなじように接している
小学生	障がいを持っている人でも、障がいを持っていない私たちと同じように遊んだり、勉強したりしたいと思っているのだと思っているのだと感じた。だから「障がいを持っている」というだけで、何事も「できない」や「無理」と決めつけないで、普通に接したいと思った。
小学生	「この友達は、授業中に、小声で喋ったり、歌を歌ったりするけど、その方が、友達の心が落ち着くから、自分は、集中して授業に取り組もう。」と思ったことがある。
小学生	どのような障害があるのかを知って相手に合った関わり方をするといい
小学生	その人にしか分からないことがあるし、その人が感じる思いもさまざまだと感じた。その人がどう感じるかを考えながら接する、その人が他の人と分かり合える環境をつくっていかなければならないと思った。
小学生	耳が聞こえないだけでホワイドボードを使って会話できるからいつもいっぱい話している。
小学生	差別しないで、普通に関わっていこう。と思う。
小学生	少しだけちがう所があるだけでいつも通り接する事ができる
小学生	気軽に声をかけて気持ちをリラックスさせたいです。
小学生	なるべく、優しく関わろうと思った。
小学生	大変そうだと最初は思いましたが、変な偏見を持たないようにしたいです。兄弟に発達障害の弟がいて他の障害を持っている弟のお友達とよく会います。ですが障害者と言っってもみんな素直でいい子たちばかりでした。障害を持っているから……と言って仲間はずれにしたり変な偏見をしたり、逆に親切にしすぎてみんなに迷惑をかけているのではないかと弟が悲しそうにしていました。この経験からみんな同じ人なのだから同じように接してあげることが大切だと思います
小学生	普通の人とは接し方が変わってくること
小学生	障害者なら仕方ないか。という考えではなく、障害者でもできるようにたくさん工夫して接した方がいいことに気づいた
小学生	優しくしてあげないとかわいそうだと思いました。友達と話すみたいに話してあげたい。（相手も同じ人間だから。）
小学生	自分が思っていたよりも、普通に接することができてよかった。
小学生	なんも感じない。みんなと同じように接している。
小学生	身の回りの友達と同じように接しているから、特にない
小学生	その子の考え方を尊重してあげないといけない。
小学生	しゃべる時に大きく、はきはきとしゃべらないと聞こえないから大きく、はきはきしゃべる。
小学生	こうりゅうをしたことがあるから障害者の気持ちはなんとなくわかりますので優しく接しています
小学生	話をする時に自分が手話をした時
中学生	母が福祉系の仕事についているので、ボランティアなどで関わったことがあり、その時は自分のピアノ演奏を披露したりふれあい体験をしたりしてとても喜んでもらえたのを覚えています。また、母から障がい者の方々の話を聞いたりして、理解が深まって、自分の接し方に変化が出たりしました。
中学生	自分の身の回りにはあまりいませんが実際関わる上でしっかり相手の事を考えて接そうと思いました。
中学生	普通に接する

中学生	障がい者の中でも障がいが軽い人は自分でできることだってあるから、何でもかんでも手伝ったりしないということ。
中学生	直接話してみたり、一緒に活動を行う中で楽しいという感情が出てきて、全然健常者の人と変わらないじゃんと思いました。私の父が介護福祉士のため、幼い頃からボランティアクラブに入って、障害者の方や高齢者の方と関わることが多かったため、少しでも距離を縮めたいと思い、手話を覚えたり、話すスピードを意識するなど取り組んできました。
中学生	叔父がダウン症という病気を患っていて、普段していることは普通にできるけれど、話している時に普通の人とは違うんだなと思ったことがあります。しかし、私の家族は、昔から叔父と一緒にいるので「障害者だから気を遣ってしまう」「一緒にいると大変だ」ということもありません。大事な家族の一員だと思っています。話し方だったりと他の人とは異なる部分はあるけれど、会話とかちゃんと出来るので、もし障害を抱えている人にこれから出会っても、一人の人間として接したいと思います。
中学生	手が不自由な方ですが、本人も不便には思っていない様なので、他の方々と変わらず同じように接しています。
中学生	耳の不自由な人は音が聞こえないため、手話をしたり相手に表情が伝わりやすいようにしないといけない。
中学生	自分は、そんな人たちに対して特別な存在と思っています。周りとは特別扱いです。というと悪いイメージがあるかもしれませんが、その人たちにはその人たちなりの考えや思いがあるので、相手の都合や考え方、視点を変えたりして傷つかない言葉ではなしたりしています。例えば、発達障害で喋るのが苦手で難しい、考え方が自分とは違う人には、最初はそっとしてあげて、その人の興味を持った事など、小さいことでも発見できたら、その話題を振る感じです。と言っても場合によってはガツガツ話されるのが嫌な人もいます。なので様子を見ながら、話すなどの例があります（実体験）。私たちとは少し違っていても、同じ人間です。仲間なのです。なので、そんな人たちと別の世界を作るのではなく、同じ世界で、その人たちの生活しやすい、生きやすい環境を共に築く事が大切だと思います。
中学生	私の周りには、目が不自由な人、車椅子に乗っている人など、様々ですが、普通の人と同じように接するようにしています。これからも、気を配りながら、過ごしていきたいです。
中学生	障害者としてでなく普通の人として接してあげよう
中学生	相手を思いやる気持ちが大切だと思います
中学生	同じ人間として平等に接しよう
中学生	障害者も同じ人間なので、障害者だからといって必要以上に過度に世話したりすると本人にとってそれが差別になる可能性があることを頭の片隅に入れておくことが大切なのではと思った。
中学生	優しく接したいと思うけど家族だと冷たくなってしまう。
中学生	障害があると意識して接するより、困っているから助けるという当たり前の事として考えるようにしている。
中学生	障害者ではない人と同じように接しようと思った。
中学生	言葉がうまく出てこなかったり行動がみんなと違ったりするから理解して接していかないとなと思った。
中学生	その人が「障がい者」でも楽しく生きていることに変わりはなく、それをどう捉えて生きていくかはその人の気持ち次第だと思いました。そして、なんでも手伝おうとすることはかえってその人を障がい者扱いしていることになると思います。その人も健康な人と同じように生き・生活したいと思っている。ただ、他の人よりも助けが必要なだけなので、その点を考えて行動するとよいと感じました。
中学生	やっぱり第一印象は悩んでるなと思い話をまず聞きました。ゲームの中でもボイスなどでＬＧＢＴだろお前とか馬鹿にするようなことを言われたりして悩んでるそうです。なりたくてなったわけじゃないのにねとは言いました。僕はチームを持っているんですが定期的に相談事や悩み事を募集して解決してます。
中学生	体や知能はあまり発達してはいないけど、考えや思っていることは私たちとかわらなくて、しょうがい者だからって変に気を使ったりしなくて私達と一緒のように接して欲しいということが分かった。
中学生	まわりの理解が必要、笑ったりしないこと、冷ややかな目で見ないこと
中学生	自分なりにたくさんの事を頑張っているから全部を認めてあげる事が大事だと思った。
中学生	障がいの有無に関わらず、みんな同じように接することが大事だと思った。
中学生	気持ちを考えて接して話さなければならないと思った。
中学生	障がい者を軽蔑せずに気軽に話しかけたり、さりげなく気を使ったりすることが大事だと感じた。
中学生	私の親戚には手話で話す人がいて、手話を覚えるのは難しいけど覚えて話せるようになり、手話は障害者の為に覚えた方がいいと思う。

中学生	周りが気づいて行動してあげたり、丁寧に説明してあげたりすることの重要性を知った。見て見ぬふりをしない。よく話をきてあげることも重要だと感じた
中学生	その人のことを考えて手伝ったりそっとしておくことも大切だと思う。その時に応じた対応が必要だと思う。
中学生	友達と話す時と同じ声だと聞こえないという事。いつもより少し大きな声で話さないと聞こえない
中学生	学校でも障害者の人が何人かいます。同じクラスになったことがあるが障害者の人だからといって差別するのではなく平等に接していました。やはり普通の人と違って知能の発達が遅れている人もいるので十分に理解して接していきたい。
中学生	自分も障害を患った時のことや気持ちなどを考えながら、接したり、会話をしたりしているのでこれからもつづけていこうと改めて思いました。
中学生	自分が何気なくしていることでも、相手を見ると難しそうにしていたので、自分が相手に合わせたり手伝ってあげれば相手もストレスなく生活できると思った。
中学生	本人は生き生きとしていて障がいに対しての嫌悪などは感じていない様子だったので、特に他の人と変わりなく過ごしています。本人が気にする素振りを見せないなら、自分も特に気負う必要はないのかなと思っています。
中学生	気を配り、優しく普通に接してあげることが大事だと思います。
中学生	相手の立場になって考えよう
中学生	本人の気に触るようなことを言ったりしなければ普通に生活できる
中学生	コミュニケーションをとるのが難しいと感じたりしますが、他の人と同じように平等に接したいと思っています。
中学生	片方の耳が聞こえないので毎回聞こえる方の耳に向かって話さないといけない。でも不便だとは思ったことない。
中学生	本人は分かっていなくて、まわりに迷惑をかけているかもしれない。そう思うと辛いです。実際に外食に行った時などに大声で暴言をはいてしまう事があります。私はその時、どのように対応すれば良いのかきちんと考え行動することが必要だと思います。とても大切なことだと考えます。
中学生	最初あった時は、びっくりしたけど、そんなこと思ったらいけないなと思った。普通の人と同じように接することが大切だと思う。
中学生	健常者と話しているときと同じで、特に何も感じません。ただ、ゆっくり丁寧に話すようには心がけています。
中学生	気を使ったりしないでみんなと同じように話したり接したりしています
中学生	家族の中に障がい者がいるので、日常生活の中で関わることが多く、健常者と比べると少し発達が遅れていると感じるころもあるが、ずっと一緒なので、あまり気にせず接している。また、街で障がい者を見かけた時も日頃から接し慣れているので、普通に手助けができる。しかし、日頃障がい者と接することがない人が、あからさまに遠ざけているように見えてしまう。障がい者は同じ人間なのでそういった行動を取ることは決していけないと思った。
中学生	差別はよくないので、一人一人が気遣い、思いやりの気持ちを持つことが大切だと思います。
中学生	障がいをもっている人には、その人その人、成長の早さや物事を進められる早さが違うから、その人に合ったサポートをしていく事が大切だと思いました。また、障がいをもっているからといって、何でもかんでもサポートすれば良いという訳ではなく、その人にできる事柄の時は、近くで温かく見守る事も必要だと思います。障がい者も健常者と同じ人間だから、可哀想とか気持ち悪いとか、思ったり、言ったりしてもいけないと思います。
中学生	みんなと同じように接してますが、理解するのに時間がかかったりするから、簡単に分かりやすく伝えれるように心がけてます
中学生	特に害もなく普通に接している
中学生	その人に合わせて接してあげることが大切だと感じた。
中学生	相手は何が悪いのかなどを知っておくべきだと思う
中学生	障がいを持っている人でも少し気つけるようにすれば普通の人と同じように接する事ができると思った。
中学生	たしかに私たちより難しく感じたりするときもあるかもしれないけど、本人だけで解決できることも沢山あると思うので見守っていきたいと感じた。
中学生	普通の人と変わらず接することを意識している
中学生	普通に接してあげる
中学生	特に何も思わない(ふつうの人と同じように接する)
中学生	学校などで話をしたりする時に、言葉が出てこなかったり言われたことを理解するのに時間がかかってる感じだったから、難しくない言葉で長くならないように言うことを気をつけようと思った

中学生	その方が一生懸命頑張って話したり、聞いたりしてくれたので、自分もそれに応えなければと思った。
中学生	障がいを持ってる人は体が不自由な人はまわりが助けてくれてるのをよくみるけど、あまり見た目からではわからない発達障害などの知能に関係するしょうがいをもってるひとは周りのひとも助けたりしないでバカにしてるのをよくみるので、そういうところにもしっかり気をくばってあげれると皆がよりすごしやすくなるとおもった。
中学生	上手く関わっていきたい
中学生	他の人より優しく接するべきだ。
中学生	たまたまその人に障害があるだけで、健常な人と違う接し方はしようと思わなかった。もちろん助けがいる時はお互いに助けあってます。
中学生	自分と違うところが沢山ある。会話をするときに少し気を使ってしまう。
中学生	接する時に相手のスピードに合わせること
中学生	どんな人でも楽しく会話をしたり、交流したりしていきたいと思いました。
中学生	言葉や態度をしっかりしないといけないと感じる
中学生	いつも触れている接し方では相手に傷つくなと思います。そのため相手がどういう方なのか話しながら考えていきたいと思います。
中学生	7 歳の子供が親戚にいて、言葉も上手く話せなかったり、言葉が話せない分自分の気持ちを相手に伝えられなかったり、などすごく可哀想だなと思いました。 障害を持っている子がより近くにいると、支えてあげたいとかその人なりに合った接し方をするようにしてます。
中学生	発達障がいがある子なので、話すスピードを変えたり、優しく接してあげたりなど、その子に合わせて接することが大切だと思った。
中学生	障がい者でも普通の人と平等に接するべきだと思った。
中学生	行き過ぎた同情心は逆に嫌な思いをさせてしまう。
中学生	その人はその人で大変なこともあるんだろうけど、周りにいる私たちが支えていかないといけない。障がい者だからって、何か特別違うわけではないから、私たちと同じように接してあげたい。
中学生	一般の人がもっと気を利かせた方がいいと思いました。例えば、学校前の信号で人が混んでいる時に前から目の不自由な方が来られたとして、その人に対して道を開けたり、その人の邪魔にならないようにしたり…
中学生	体が不自由な人が歩いていた時に、まわりに自転車が通っていて危険だなと思いました。
中学生	障がいを持っている人との接し方を学んだ。なるべく 1 人にしないことや、話をたくさん聞くことなど、障がい者と接する上で気をつけなければならないことを知ることができた。相手ペースに合わせて気を遣って生活したり、楽しいことは共有したりするといいと思った。
中学生	私達が障がいのある人達のことを理解し、接していくべきだということ。
中学生	相手のことを考えて行動することが大切だと思った。
中学生	心の病気なのでどう心を楽にさせるかを考えたりした。

⑥　障がい者は自分と特に変わらないと感じた（129 件）

学校	内　　容
小学生	普通に会話ができる
小学生	普通の人とあまり変わらないけど、一つ、あるとすれば少しだけ行動が遅いこと？
小学生	普通の方と変わらないような感じ
小学生	普通の人
小学生	障害があっても障害のない人と変わらない心があるということを感じました
小学生	障がいは他の人とちょっとと違うけれど、普通の人とあまりかわらないと思った。
小学生	障がいのあるかたは見ていて大変そうだなあと思ったけれど、どんな人でも同じ思い、考えを持っていることはしっかりと伝わりました。
小学生	普通の友達
小学生	今まで会った障害者は、普通の人とあまり変わらなかった。
小学生	障害が、あること以外変わったことはなくて普通に話したりできた。
小学生	別に普通の人と変わらないし、一人一人違っていてもいいと思う。ただ、ちょっと普通の人より欠けているところがあるだけだと思う。
小学生	普通の子と特に何も変わらないと思う
小学生	普通の私たちと変わらない人間

小学生	普通に話もできるし、何かの障害を持っていることを感じられないぐらいだったです
小学生	体の一部が少し違うだけで普通の人とあまり変わらないと思いました。
小学生	特に他の人と変わらないと思う
小学生	特にありませんが、障害者の方々は、私達のように見た目は一緒じゃなくて中身や、やることが同じだけなんだと思います。
小学生	・みんなと同じように接しても全然周りの人と変わらなかった ・障害があっても同じように接することができた
小学生	そんなに他の人とは変わっていないと思いました
小学生	思っている事は普通の人と同じなんだなと感じた
小学生	私のお父さんのお兄ちゃんは右手が使えません。でも普通の私たちと同じように、仕事をしたりして暮らしています。私は、そのお兄ちゃんと関わって感じることは、普通の人と何にも変わりがないのです。少し他の人と違っても、その人その人のいい所があります。だから、私にとっては、大～好きなお兄ちゃんです！
小学生	障害がある人もその障害を除けば私たちと変わらない普通の人で、障害が分からないくらい私達と変わらない人もいる。障害があることは別に特別なことじゃないから、普通の人と同じように接したい。
小学生	意外と話せるし、言葉も通じて結構普通だなと思いました。
小学生	あんまり自分の思ってることが言えない人だったり、いたりするけど、特にかわったことは、ない。妹のようにあそんでくれます！！
小学生	別に変わりなく普通
小学生	ふつうに、一緒に喋ったりしている。
小学生	いろいろな障害をもっている人と会った時、別に私たちとは、「同じなんだよなぁ」と思った。
小学生	友達に目が不自由な子がいるけど普通に学校生活を送っていて、普通の子と同じような待遇を受けている。
小学生	発達障害の人とよく会うけど、あまり普通の人と変わらない感じがします。
小学生	みんなとあんまり変わらない。
小学生	赤ちゃんだから、障害者でも、普通の人と変わらない
小学生	障害者の方でもこちらが優しく接したら、笑ってくれたり、気持ちも理解してもらえるし普通の人と話している感じがあった。障害を持ってるだけで、障害を持っていない人とあまり変わりないなと思ったりすることがあるから、差別問題が無くなればいいのになと思う。
小学生	自分はよく心の問題を抱えている、３人の人たちと関わることが多いです。よく遊ぶことが多く普通の人と接して遊んでいます。相手の人も普通の人のように接してくれているから、普通の人とあまり変わらないと感じる時が多いです。
小学生	障害があっても普通に会話ができる。
小学生	普通に暮らせているし、困ることもあるがしっかりと理解してくれる。
小学生	私達との違いは特に無いと感じた。人それぞれ顔立ちや得意な事が違うように、障がいがあってもなくても、大きな差は無いと私は思う。
小学生	私とあまり変わらない変わっているところは体に傷があること
小学生	障害の人でも僕はそんな普通の人と変わってないと思います。障害子と遊んでもいつもと一緒で楽しかったし、僕は障害の人でも楽しめるしいいと思います
小学生	障害がある人を見ても少し不自由そうだけれどそんなに周りの人とかわりはないと思う
小学生	多少他の人とは違うなと感じるけど、そこまで変わらない。
小学生	10 月に障害者の方とふれあう機会がありました。その時はその方も私たちと同じように楽しんでいて、同じように笑っていました。私達とあまり変わらないのかなと感じました。
小学生	親戚に障害のある人がいて、その人は脳の発達障害があり普通の人とは違うけど、普通に過ごしています。
小学生	あまり距離があると思ったことがないです。普通に喋れるし一緒に活動もできるからあまり色々思ったことがありません。ごめんなさい?
小学生	特にふつうに話せていた
小学生	案外、普通だと思う
小学生	普通
小学生	普通
小学生	障がい者でも普通に接し合えること。
小学生	障害者の人たちも自分の友達や仲間として変わりないということ。
小学生	普通の人と変わらずいっしょにいて楽しいな。

小学生	普通の人とあまり変わらない気がする。アスリートの時、視覚のやつで、普通の人より理解が遅かった。
小学生	障害者の人は、心がついていけないだけで、他の人間とは違いがないと思います。
小学生	普通の人と同じくらいあんまり変わらない
中学生	障害があるのに普通の人のように思う。
中学生	普通の人
中学生	体を動かすのが少し下手だったり、話すのが苦手だったりとコミュニケーションが取りにくいとは感じました。ですが、実際に話をしてみると、その年代にいる子たちとなんら変わらない思想をしているのだと理解できました。
中学生	知能的な面で障害を抱えている方と接する時に、特に変に感じたりすることがない。障害を抱えていない人との会話とさほどかわらない。
中学生	自分の関わり方次第で周りの人と全然変わらない
中学生	少し私たちと違うだけであまり変わらないなと感じました。
中学生	普通の人と変わらない
中学生	自分達とあまり変わらないなと思った
中学生	なんも普通の人と同じ
中学生	いつも話すのとあまり変わらない
中学生	みんな優しい人ばかりで自分達と何も変わらないこと
中学生	親戚にいるが、特に何も変わった感じではなく、普通に話したりできる。
中学生	自分達と余り変わらない
中学生	自分と同じ全然変わらない。むしろ自分が学んだ。
中学生	障がい者も私たちと変わらない人間なんだなと思った。
中学生	障害者という名前がついているだけでみんなとあまり変わらないと思った。
中学生	障害を持っていても自分たちと変わらない人間なんだなと感じた
中学生	たまにしか行かないけど、自分はそんなに障害を持っているとは思わない。
中学生	普通だった
中学生	最初は特別な感じなのかなって思ってたけど、全然みんな周りの人と同じで、嬉しかったら笑顔になって悲しくなったら素直に悲しいと言うんだなって分かった.
中学生	僕は普通の人と変わりがないなと思いました
中学生	普通の人と変わりないと思う
中学生	一緒にいても障害を持っていない人と同じことをできて一緒に楽しめるんだなと感じた
中学生	普通の人とあまり変わらないということ
中学生	普通だとおもった。
中学生	普通の人とあまり変わらない
中学生	普通の人とあまり変わらなく接している人もいるし、少し普通の人とは違う人もいる
中学生	障害があっても障害がない人と同じように生活していて驚いた
中学生	関わりづらい感じでもないし、普通の人と同じとしか感じない
中学生	同じ人間
中学生	自分とあまり変わりない。
中学生	障害のある人と障害のない人は、思っているほど変わりはないし、普通にコミュニケーションが取れる。
中学生	違和感はなかった
中学生	軽度の障害を持っている人としか関わりがないので、あまり違いを感じない
中学生	それぞれの考え方があり、普通の人と変わりないこと
中学生	あまり普通の人と変わりない
中学生	全然周りとも変わらず、話していて楽しい
中学生	障害者の方と関わるのにすごく抵抗があったけど、いざ関わってみると障害のない人と何も変わらないと感じた。
中学生	普通にいつも通り接したらあまり普通の人と変わらない
中学生	人とはすこし違うけどふつうにはなせているし、そんなに違和感などは無かった
中学生	普通の人間と変わらないと思いました
中学生	普通の人と変わらない。
中学生	身体に不自由があっても普通の人と変わらないのだと、会話をしたときによく思います。母がいつも仕事のことを話してくれるので、身近に感じています。

中学生	普通の人とそんなに変わらないと思った。
中学生	みんな同じだと思った
中学生	障害者という言葉で距離をおく必要がないくらい、普通な人も多いなと感じた
中学生	健常者と変わらない生活を送っている
中学生	私達と変わらない
中学生	普通の人間とさほど変わらない
中学生	周りの人とあまり変わらない
中学生	障がい者とは、自分たちと変わらないと思った。悲しい気持ちも嬉しい気持ちも感じる同じ人間なのだと思った。
中学生	普通の人とあまり変わらない
中学生	健常者とほとんど変わらず、話していて楽しかったです。
中学生	障害者とは言っても私たちと同じだな。大変な時は頼ってもいいのにな
中学生	直接関わったことはあまりないが、考えている事やしたい事などは健常者とさほど変わらないなと感じた。
中学生	普通
中学生	思ったよりも他の人と変わらないと思った
中学生	私達と変わらない
中学生	普通に話したり、交流できる
中学生	全然、普通の人と変わらない
中学生	同じ人間
中学生	普通の人だった
中学生	自分達とほとんど変わりない。優しい
中学生	障がい者と言われても分からない普通の人だと思う
中学生	普通の人間と変わらない
中学生	話して楽しい、僕たちと何も変わらない
中学生	障がいがあっても普通の生活を送れる
中学生	あまり障害者とは思わないな
中学生	少しだけなんか違うけどそんなに障がい者じゃない人と変わらないと思う
中学生	大変なこともあるけど、普通に生活していたこと。不自由なことがあっても健常者と変わらないこと。
中学生	今まで接したりすることがなかったけど障がいの人だからといって特に変わることがあまりない
中学生	障がいがあると言ってもみんな変わらない人間
中学生	心や体に病気や不自由なところがあっても、普通の人なんだと感じること
中学生	自分たちと、そこまで変わらない
中学生	普通
中学生	自分達と変わらず普通に生活しているなーと感じた。

⑦　障がいのある人と関わって感じたこと、考えたことについて（118 件）

学校	内　　容
小学生	不便そうだなーと思った。手伝ってあげたけど、みんなは、手伝ってくれなかった。かわいそうだった。
小学生	良い時もあるけど、しいて言うと、うるさいしうざい煽ってくる。
小学生	手を振ったら手を振りかえしてくれるから嬉しい。
小学生	家族に障害者がいると他にもいろんな障害者がいることがわかるし、障害者についてもっと知ることができた。
小学生	班での話し合いの時、周りの人達に比べると少し変わっているけれど、自分たちが思いつかないような意見を出してくれるので、話し合の時は話が進んで面白いと思った。
小学生	一緒に話してたりすると、聞き取れない部分もあったりした時があったけど、普通の人と話してるみたいで楽しかった。
小学生	お話ができてよかった
小学生	仲良く遊べた
小学生	学校の登校中に女の子が坂の下で１人でいて一緒に学校に登校した

小学生	私の家族に、自閉症など、いくつか障害を持っている家族がいますが、その人と関わると、心の整理の仕方が難しいんだなと思いました。
小学生	遊んだことは結構あるけど、一緒に遊ぶのが楽しいです。
小学生	登校班の時大声を出したりして登校するのが少し大変だった。
小学生	ちょっと、普通の人は違うけどいつも通り接してあげれば凄く楽しい
小学生	人間ってことには変わりないので、可愛いなーとかめっちゃ思います
小学生	なんとも思わない。話してるだけで楽しい
小学生	障がいを持っている人は、普通の人とは違うけど、挨拶をすると返してくれたりするから、とても関わりやすかった。
小学生	普通に楽しい
小学生	しょうがないと感じた
小学生	話すときに手話を使って話すので大変だけど話ができるので手話の練習になります
小学生	特に普通の人と関わるのと変わらないけど、『なんて言った？』と聞かれることが多いし、授業がスムーズに進まないから少し困る。
小学生	まだ小さい子だから可愛いと思った
小学生	障害になるとこういうことになるんだなとおもいました
小学生	ちょっとふれあいにくいけど話せるし、ちゃんと会話が弾むからまあまあ楽しい。
小学生	関わってはじめてわかることも有るということ。
小学生	障がい者だからといって、偏見を持つような子達もいたけど、自分はよく話したりしていたので、普通に接することができたし、向こうのほうからよく話しかけてくれていたので、そういう人達と関わりあえて良かったなと思います。
小学生	少し大変だった
小学生	親が障がい者だから毎日のように関わっているからこの事で少しは分かりました。
小学生	たまにうざい、けど良い子ですので嫌いでは無い
小学生	障害者でも話しやすかった。
小学生	障害の子達のいる学校と交流があったときに遊んでみて、障害があっても楽しそうに遊んでいるように見えました。その時に思ったことは、障害があってもなくても楽しければ障害は関係ないのではないかと私は思いました。このことが本当に私の思ったことです。
小学生	とても大変そうで心が一瞬モヤモヤして一瞬で晴れます。
小学生	しゃべったり遊んだりすると楽しかった。優しく接したりしゃべったりするといいと思う。
小学生	一緒に話していてとても楽しい。
小学生	みんなと遊ぶ時のように楽しかった。
小学生	意外に喋ってみると楽しかったりお世話をするのが楽しかったり仲良くなれるのがとても楽しかったです.
小学生	遊んだ事があります
小学生	遊んだ事があります
小学生	遊んだ事があります
小学生	遊んだ事があります
小学生	うるさかった
小学生	障害の子を見ると、かわいそうと初めは思いました。でも、障害の子と関わっていくうちに、楽しく話したり遊んだりしているともっと仲良くなれないかなと思います。
小学生	あまり話が通じないことがありますが、たくさん話しているとたまに気が合うことがあるので障がい者でも差別せずに話しています。でも障がい者の人の考えていることが自分と合わないことが多いなと感じた事はあります。
小学生	一般の人がしないような行動にでたりすることがあったので、少し驚いた。
小学生	歩道で車椅子に乗ってる人がいて少し危ないと思う。
小学生	話しかけると、話が進んで楽しかった。
小学生	とても楽しそうにしてくれてうれしかったです。
小学生	他の人と少し何かが違っても、持っているものは同じだからよく気が合ったりする。
小学生	人それぞれ症状が違う病気なので、最初は何をすればいいか分かんなかったけど最近になって分かるようになってきた。
小学生	一緒に、動いたりするとお手伝いをしないといけなかったから、少し大変だった。けど手伝ったりしたらありがとうと言われたので嬉しかった。
小学生	完全に、理解するのは、難しいと思いました。

小学生	「障害をもっていても、自分のために一生懸命に頑張っているなあ」と思った。関わって、とても暖かく感じました。
小学生	障害者でも普通に遊んだりできて楽しい。
小学生	とてもいい人たちで優しくされた
小学生	少しみんなよりゆっくりしないといけないこともあるけど、しゃべったり、ふれ合ったりすると、楽しい時間が過ごせると思いました。
小学生	意外と交流をもてた。
小学生	僕の中での「障害者」の価値観が凄くいいものだったから関わってみて、不自由を感じていない人たちとを比べるのはいけないことだと思った。
小学生	直接感じたことは障害者の気持ちのことと感じ方です。
小学生	一緒にいて楽しかったり、面白かったりするときと、イラッっとするときもある。
小学生	この人も頑張っているから、僕も頑張ろうと
小学生	私の従兄弟は発達障害なのですが、言葉の発達以外はあまり他の子と変わらないくらい元気なので、関わるのが嫌などと感じたことはありません。
小学生	少しだけうるさいなと感じることがある。それ以外は特にない。
小学生	しゃべってみると、普通にしゃべれて特に違和感はなかったです。
小学生	障害があっても楽しそうにみんなと同じことをしようと頑張っているから、障害者ってだけで「これできないよね」とか「ちょっとおかしいよね」とか、勝手に決めつけてはいけないなと思いました。
小学生	あまり障害者だときにしないでしゃべれる
小学生	障害者でも障害者じゃなくてもいっしょに行動したり、遊んだりすることはできるんだなーということを感じた。
小学生	自分は、障害者じゃないけど触れ合うだけで大変だと思った。タブレットや、便利な道具でも障害者だとあまり便利にならないだろうと思った。
小学生	可哀想だなと感じたことはない楽しそうだなと感じたこともない
小学生	障害者とも楽しく遊べるんだなと思いました。
小学生	普通の人とは少し違う喋り方や、話したり動きを見ただけで、障害を持っているだろうなと思った
中学生	大変だったことが多い。
中学生	みんな笑顔で、温かい雰囲気だった
中学生	たまに感情が出て私の顔を見ただけで笑ってくれると嬉しい。
中学生	話していて何も思わないです。面白い話が出来て自分が楽しませてもらっている気がします。
中学生	大変、少しめんどくさい
中学生	私たちと何も変わらない人間なんだということ。気兼ねなく話かけてくれるし、一緒に笑ってくれる。とても心が温かくなった。
中学生	私が関わったのは、知的障がいの人だったので、相手をするのが結構大変で、疲れることが多かったです。
中学生	楽しそうで安心しました
中学生	近所に障がいの人がいて、私よりも少し小さい子なので手伝ってあげたりしますが、力がとても強いので、手助けするのも２人がかりで大変です。でも、少しずつ話せるようになっていて、「おはよう」と言われた時は嬉しかったです。
中学生	たまにめんどくさい時があるけど、大変だな～と思う
中学生	話したり遊んだりする事は大変だけど、伝えたいことは意外と伝わったりするのでとても嬉しかったです。
中学生	関わりにくい。しつこい。会話が難しい。指示が通らない。
中学生	そういう人もいるんだなぁと思った。
中学生	教えたりするのが大変な時があるけど、お互いに理解し合えると楽しい気持ちになる。
中学生	たまによだれを垂らしているのを見て汚いと思うことはあるけど、一緒にいて楽しい
中学生	コミュニケーションを取れる人としか関わったことがないですが、話をしていてとても楽しかったです。障がいにも身体障がいや、知的障がい、発達障がいなどがありますが、それを認め合う必要があると感じた。
中学生	一緒に授業を受けた。
中学生	障がい者と思って接したことはないし、一緒に遊んだりすると楽しいから特に何も感じない。
中学生	話しがたくさんでき、楽しかった
中学生	体が動かないため、移動するときに車椅子に２人で乗せたりすることが大変
中学生	大変だなと思う事はあるけれど一緒に居て苦ではないです。産まれてきてくれて感謝しています。
中学生	障害のない人と話す時に感じなかった違和感を感じることがあった。

中学生	理解する事の難しさなど相手の気持ちの理解などいろいろ工夫して生きていかないといけない事がわかりました
中学生	イライラしたりすることがあるけど家族であることに変わりはないので少ししたら可愛い一面が出るから最終的にほっこりします。
中学生	小学校の時に話したり遊んだりして楽しそうにしてくれたり、笑ってくれたりしたら嬉しかった。母が障がい者の支援学校の給食を作っているけど、よく可愛い可愛いという話を聞く。
中学生	大変だなーと思ったけど優しくて（障害者）とても楽しかった
中学生	障がい者と関わって、接し方や状況が分かることができて良い経験になっています。
中学生	障害が問題だと感じたことはない。
中学生	見かけた時は助けたほうがいいのか迷うけど、声をかけたらすごく喜んでくださったので助けてよかったと思った。
中学生	視野が広くなった
中学生	談話などは大切だと感じた
中学生	いつもは、何も感じず、気の会う友達として仲良くしている。修学旅行の時だけ、いつも以上に気を配らないといけなかったが、苦ではなかった。私がもっと幼い頃は、急に叫んだりされ、怖いと思っていたが、今となっては、公園でそういう人を見てもびっくりはするが、何も思わなくなった。
中学生	何も思わず普通に話した
中学生	障がいがある人から心を開いてくれているから、私も自分から心を開いていきたいと思いました。
中学生	意外と話してみると楽しい
中学生	大変なことが多いですが苦痛に感じることはないです。私の妹は、学習障害で自分の気持ちをコントロールすることがとても難しいです。ですが、勉強などを教えていると「そういう考えもあるのか」と勉強になることの方が多いので私は「色んな人に出会えるっていいな」といつも感じています。
中学生	本当に聞こえないんだと思った
中学生	心優しい方ばかりで話していて人生について考えさせられるのでとてもうれしいです
中学生	兄がちょっとした障害を持っているけど、兄自身はだいじょうぶだと言っているから障害者として見ていない
中学生	話をしたりした時
中学生	障害者に関わって、僕の家族にもおばあちゃん（母方の方）が車いすで、一緒に生活していたから共感できるところがありました。
中学生	おばあちゃんが障害を持っていて最初は、顔を合わせるだけでも辛くよく泣いた。関わるたびに、こういう感じなんだとか会話をするのもやっとだけど、色々頑張っているおばあちゃんを見ているとこっちも頑張れて、元気をもらえる。
中学生	なかなか話してる事が理解してもらえなかったり、話してる途中に突然どこかへ行ったり大声をあげたりと最初は「え？この人おかしんじゃないの？」と思う事が多かったです。ですが少し経てば案外慣れてきて「この人はこの人、自分は自分でいいんだ。」と改めて当たり前のことに気付かされました。誰かがその人のことを悪く言っても気にしないようにしています。
中学生	同じ趣味で会話が楽しかった
中学生	会話が成り立たない時もあり、行動や言動が理解できない時も多いし、関わると疲れるな…。と、思ったことがあります。
中学生	障がい者の人なりに頑張っていると思う。最初はなかなか慣れなかったりするけど、話していくうちにどんどん慣れていくし、結構感情が豊かだったりする。自分のペースのこともあるけど、それを優しく見守ってあげることが大事だと感じる。
中学生	思っていたより、普通に接することができる。
中学生	最初は驚くがその人の個性が分かると普通に接せれるようになると感じた
中学生	障害者って、勝手に可哀想だと思ってしまっていたけど、実際に関わって、その人にも（知的障害）自分の世界があって、楽しんでいるのを見て、勝手に、可哀想だなって、偏見を持ってしまっていた自分が嫌になりました。

⑧　障がいのある人とのコミュニケーション等を難しく感じた（110 件）

学校	内　　容
小学生	・何を話せばいいか分からない。 ・あんまり、喋らないでうなずくだけだからその子の意見が分からない。
小学生	・話しても、伝わっているかが心配・接し方が難しい
小学生	うまくコミュニケーションが取れなくて大変

小学生	自分が思うように相手とつながりにくかったり相手のことをしっかり考えた行動がとれているのか不安になったり、困ったりした
小学生	その人のことを考えて行動しないといけないのでとても扱うのが大変
小学生	話しにくい
小学生	いとこが少し障害を持っていて１年に２、３回会うことがあります。でも、普通に接して欲しいと言うので、いつも、少し「普通でいいのかな」の思うことがあります。
小学生	ちょっと、関わりづらいなと思いました。
小学生	その人がどう思っているのかが、わかりにくかった。
小学生	ちょっと理解しづらそうだった
小学生	ちょっと関わりにくいけどしょうがないか
小学生	障害者と分かりあうことは難しい事だなぁ
小学生	話がやりにくい
小学生	どう会話した方が良いのか、どう接したらいいのか、分からない。でも、周りの子と、同じように接していけるようにしたいです。
小学生	話しづらいな
小学生	接し方が難しい
小学生	反応が遅かったり、話し方が遅かったり滑舌が悪く聞き取りにくい。
小学生	喋るのが大変だと感じた その時は手話で話す
小学生	接し方が難しい
小学生	少し話しにくい
小学生	何を話しているか分からない
小学生	話が、あんまり伝わらない。何を、言っているのか分からない。
小学生	どう接すればいいのかわからなかった
小学生	あまり会話が出来ない
小学生	障がい者との付き合いは相手の立場を考えて接しないといけないので気遣いが必要で難しい。
小学生	障害者の人と話すことは結構難しくて、言いたいことが伝わらなかったりした。
小学生	手伝おうっていう気持ちもあるけど、どう接すれば良いのかわからない！どうすればいいのかわからないので、その人が大変な時、見ているだけしかできない！耳が聞こえない人にも、ちょっとしか手話が出来なくて、声がかけきれない！
小学生	ちょっと話しにくい
小学生	歩くのが難しい人がこけてしまっていたとき手を差し伸べることができなかった。他の人もみんな見ているだけで心がとても痛ましかった。
小学生	まだ自分の気持ちを自分で言う事ができないないので、なにをしたら良いかわからない
小学生	自分や普通の人とは、違うから接しにくい部分があった
小学生	弟の言いたいことがあってその言いたいことがよく分からないと、発狂してしまって少し困ってしまう。
小学生	急に話しかけてきたり、独り言が多かったりするのでどう接すればいいのかがわからない。
小学生	少し喋りにくいし戸惑う
小学生	関わることが難しい
小学生	話が通じない時がある
小学生	普段話しをするけど障害のある人と話すと、少し話しづらい。
小学生	接し方や話す事が普通の人ととは違った方がいいと思ってるからどう接したりすればいいか分かんない
小学生	落ち着きがなくて話しづらかった。
小学生	何を言っているかわからない
小学生	話しにくい
小学生	普通の人ではなく、障害がある人だったから、目的まで教えてあげて難しかった。
小学生	どのように対応してあげればいいか分からない
小学生	どのように対応すればいいのかあまり分からなかった
小学生	少し会話しづらいと思いました。
小学生	困っている時、助けてあげたいけど、どうやって助けてあげればいいかわからない。関ってみて相手が嫌がってないか、介護の仕方が間違っていないかわからない。

小学生	・接しにくい ・変なことをしている
小学生	普通の人と違うところがたくさんあるので、関わりにくいところや、障害者の人がどう感じるかがわからない。どうやって接していいかがわからないと思った。
小学生	普通の子より少し話しにくいな
小学生	話しづらい、どう接すればいいかわからない
小学生	話が通じないこともあるけど、しょうがないことだと思う。
小学生	なかなか話を噛み合わせることが出来ない。
小学生	話しづらい
小学生	少しいつも通りに話が進まない。
小学生	スムーズに会話が進まない
小学生	周りの人と違うからどう接したら良いかわからない。
小学生	接しにくい
小学生	近所に歩くのを練習している人がいて自分がその人の前を通っていいのかなって思ったことがあります。
小学生	普通の友達の様に接すると、相手は言葉に詰まったり出来ない事もあって、だからいつもよりもっと相手のことを考えて行動しなければならないので難しく感じました。
小学生	普通の人とは、少し違う。接する事が少し難しい。
小学生	あまり触れ合ったことがないから、コミニケショーンが取りにくかった
小学生	話などが通じないから、大変。
小学生	耳の聞こえない人は人としゃべりにくいことが分かりました
小学生	伝わらないことがある時も
小学生	何かできる事があれば、手伝ってあげたいけど、何をすればいいか分からないです。
小学生	会話が通じない時がある
小学生	正直話づらい
小学生	声や話しかたが少し変なので、話しづらい。
中学生	一度も言葉を交わしたことがないので、一回だけでもいいから話したいと思っている。
中学生	自分は普通に話したいだけなのに相手が誤解して怒ってしまったことがあったので、難しいなと思いました。自分以外でも同じような状況になってしまっていた人も居ました。それで、障がいのある人に対して良い印象を持たない友達もいたので互いに相手の気持ちを考えることが大切だと思いました。
中学生	会話がスムーズに出来なかったりした。だけど普通に会話は成立した。
中学生	大変そうだと思った。どのように接すればよいか、戸惑った。
中学生	自分が思った様に伝えることが出来なくて大変だと思った。
中学生	ふつうの友達みたいになって関わることができない。関わりにくい気遣いを
中学生	関わり方がわからないことや、障害を持っていない人と、持ってる人の言葉が通じ合わないことがとても多い??
中学生	なんて話しかけていいかわからない
中学生	大変そうだけど、どうすればいいかわからない。接し方が分からない。助けてあげたいけど、声の掛け方が分からない。
中学生	関わりづらい
中学生	どういうことをしたらいいのか、また、何もしてほしくないと思っているのかが分からない。
中学生	自分があたりまえにできることが、その人にできないときの対応の難しさ。
中学生	話をするとき来てもらえなくとても苦労したりすることがあって大変だった。
中学生	接しづらい
中学生	話すとき、自分が伝えたい情報が相手に伝わらず会話が成り立たない時がある。そういう時に伝わったらすごく嬉しくなるが、話すのが面倒な時が多い
中学生	会話を行うときに言葉を発する事が難しい障害者の人が何を自分に伝えたいのかをよく考えたり、自分が障害者の方に伝えたいことをわかりやすく伝えようと思う
中学生	伝わっているか不安になる
中学生	たまに聞き取れないことがある。
中学生	話している時にやっぱり不十分なところがお互いにあるのでとても難しく感じた
中学生	僕は家族にも障害者がいますが、やはり簡単なことでも理解するのが難しそうに感じます。何を考えているかもはっきりとわからないことも多いです。

中学生	ちょっとだけはなしづらい
中学生	可哀想なんて一度も思った事ないけれど、関わり方が難しい時があった。でも、障害者の方はとても優しい人ばかりで、会話をする事が楽しいと感じれた。障害者の方達は、なりたくてなったわけではないからそこを意識して、これから生きていく上で大事に関わっていきたいと思う。
中学生	ひとりごとを言ったりしてるなど、話かけにくい、何を手伝いをしていいのかわからない。
中学生	話が通じない人もいるので関わるのが難しいと思った
中学生	言いたいことが伝わらず大変
中学生	関り方が人それぞれ違うから難しい
中学生	自分の言っている言葉を理解してくれているのかがわからなくて、最初は、戸惑っていたが、慣れると普通の人と、ほぼ一緒なのであまり困ることがなくなった。
中学生	話がうまく伝わらなかったりしていた。
中学生	物事が伝わらないことがあった
中学生	障壁があってコミュニケーションを取るのが難しい
中学生	親戚にいるので大体はわかりますが、もし自分が１人の時に障害者の方が困っていたら全員が親戚と同じではないので、どのように接すればいいかわからない部分があるなと思いました。
中学生	相手に話が伝えづらかった
中学生	言いたい事が伝わらないことがあった。
中学生	どう接したらいいのか分からない
中学生	コミュニケーションが取りにくい
中学生	話しにくい
中学生	どういう目で見ればいいのか分からない。
中学生	大変そうだなとか、努力してるなとか。話をしているとたまに通じない時があったりすると、どう表現すればいいのかなとか、逆に話を聞いていて、何を表現したいのかな、など理解するのが大変だなと思う時がある。
中学生	話が続かない
中学生	自分とは異なる考えを持っている為どう受け答えをするといいのかよく分からなかった。難しい
中学生	話があまり通じないなと思いました
中学生	どれだけ不安に思っているのかなと思いました。耳の不自由な人と話すのは大変だと思いました。

⑨　障がいのある人を見習いたい、尊敬すると思った（84 件）

学校	内　　容
小学生	障がいがあるのにも、みんなと楽しく過ごせてるのはすごいと思った。
小学生	私の学校には、心の病気を抱えている人と交流する時間があるのですが、そこで一生懸命自分の意見をしっかりまとめて発表しているので障害関係なく見習いたいなと思いました。
小学生	自分に障がいがあるのに一生懸命前を向いて生きていたのですごいと思いました。
小学生	体が不自由なのに頑張ってコミュニケーションをとっているのを見て大変な生活なのに、尊敬することです
小学生	障がいを持っている親戚は少し不自由ながらも大抵のことはチャレンジしているのですごいと思う
小学生	いろんなことが不自由なのに一生懸命過ごしていて「すごいな」、「頑張っているんだな」って思う。
小学生	色々なものや出来事に興味をもっていてすごいなと思いました。
小学生	少しみんなと違くても工夫して頑張っていてすごいと思った。
小学生	・笑顔でいれて、すごいなあ～と思った。 ・みんなに優しくしてくれるなあ～と感じた。
小学生	自分が簡単にできる事が相手は簡単にできない、それでも頑張って生きているのはすごいなと思います
小学生	やっぱり障害があると色々なところで大変なんだなぁと思ったり、それでも頑張って生きているのを聞いてすごいなぁと思った
小学生	毎日大変だろうけど、楽しく過ごしているから凄いなと思った
小学生	毎日の生活が大変なのに頑張っているからなんてすごいひとなんだろうと思った。
小学生	障害者でも諦めずに生きていてすごいと思った。
小学生	障害を持っていても頑張っていてすごいと思う。
小学生	その人は、障害があることについて、嫌に思っていなくありのままの自分で生きようとしていたから、すごいなと思った。

小学生	みんな、可哀想とか言うけど私はそうは思いません。むしろ「すごいでしょ！」と自慢したいくらいです。みんな（障害のことを知らない人）にももっと障害者の事について、知ってほしいと思います。
小学生	私には考えられないくらい辛かったろうし、難しいこともあったと思うのに、前向きに、自分の力で生活してらっしゃる姿を見て単純に尊敬した。障害があってもなくても、自分を受け止めて頑張ってらっしゃる方は素敵だなと思う。
小学生	弟の友達の弟が目が不自由で、耳がいいから何が通ったのかがわかってすごいと思った。
小学生	あまり仲良くないからそんなにたくさんは喋ったことはないけど、いろんなことを頑張っていたりして、とても素敵な人だと思った。
小学生	障がいがあっても、しっかり学校に行っていてすごいと思いました。
小学生	緊張せずに色々聞けてすごいと感じた。
小学生	勉強、ゲーム、お手伝いなどしてすごいと思います！！
小学生	障害などがあり体が不自由な中、その障害に慣れて、普通の生活ができるように努力する姿は、私達に真似出来ないくらいにとてもかっこいいと思った。私は昔、障害のある人に偏見があったけど、関わって行く中で、今では、障害のある人に対して、ありのままの自分に立ち向かえる、度胸と優しさを秘めている人間のお手本のような人だと思うようになった。本当に尊敬しているからこそ、早く差別の無い世の中になって欲しいと、強く思う。
小学生	みんなと一緒に過ごしていてすごいと思いました。
小学生	障がい者は、いろいろ大変なことがあるけれど、最後まで諦めないことがすごいと思います。
小学生	障がいがあってもちゃんと受け止めて生きていてかっこいい
小学生	すごい
小学生	その人は、目が不自由なのに、ボランティアでゴミ拾いをしているので、素晴らしい人だなぁと思う。
小学生	生活するのも大変なのにいつも笑顔だからすごいなって思う。
小学生	世の中にはいろんな人がいるんだ。自分と向き合って生きていくのはとても難しいことだと思うけど本当の自分と向き合っていてすごい。
小学生	障がいがある人は、障がいがない人が出来ないことなどを、できていてすごいと思いました。
小学生	足をつかっていろいろできてすごいなあともいました
小学生	障がい者になった理由はバラバラだけど本人がもう受け入れて個性としているのがすごいと思います。
小学生	一生懸命に体を動かしていてもしも自分だったらできないことだから感心した。
小学生	生活にも支障があるし学校にいくのも大変なのに頑張っていてすごいと感じた。
小学生	耳が聴こえない人と一緒にゲームをした時に障害を持ってるのはわかったけど、なんの障害を持っているのかは分からなくて、後で聞いたら、耳が聞こえなくて口の動きでなんて言ったのかが分かると言われてとても凄いと思った。
小学生	障がいがある中で懸命に人生を歩んでいて素晴らしいなと思った。
小学生	自分たちは、五体満足で生活しているけど、その自分たちと同じように生活しようとしていて、尊敬しています。
小学生	毎日元気に過ごしていてすごいと思う
小学生	何も病気などになっていない人より人生が辛いのに頑張っていると、思います。
小学生	不自由なのにこんなに楽しく何もないようにしているのが凄いです。
小学生	障害があるのに頑張って生きているところが凄いと思いました。
小学生	みんなと同じような生活をしていてすごいなと思った。
小学生	出来ないこともあるけれど出来ることは誰にも頼らずに自分でするのはすごいなーと思ったこと。一緒に居るのが楽しいと感じました。
小学生	障害があっても元気でいるのですごいと思った
小学生	大変だろうなと思ったりもするが、その人その人で特技や自分にはできない凄さがあるからすごいなと思える
小学生	なにか障害をもっているのに前向きに考えているからすごいと思った
小学生	不自由な事がたくさんあるのに、普通の人と同じように過ごしているので凄いなと思います
小学生	とてもかわいそうだと思ったけど、彼女は手がなくても足で何でも出来るからすごいと思います。
小学生	普通の人と変わらずに生活できていたことやできなくても頑張ってやろうと努力していたからすごいと思った。
小学生	人ってそれぞれだなって思ったり、頑張って生きてることってすごいなって思う
小学生	障害者の人は、自分の体が上手く動かないけど一生懸命生きていてすごいと思ったら。

小学生	すごい才能があると思った
小学生	あまり体が動かせないのに頑張ってみんなと同じことをしていてすごいと思った。
小学生	不便かもしれないけど、頑張って生きていることが、すごいと思った。
中学生	障害のない私たちより何事にも一生懸命取り組んでいて凄いし、見習うべきだと思った。
中学生	いつも大変な思いをして生活していて凄いなと思った。また、自分たちには普通のことで気にならないようなことが障害がある人達からすると大変に思っていたり、不自由だと感じていたりしているので、障害がある人もない人にも困っていたら助けてあげれるような人になりたいと思った。幸せなことに感謝をして過ごしていきたい。
中学生	小さい時に手がないのを見て、からかったことが今思うととても申し訳ないと思っている。今は、とても強い人なんだなと思っている。
中学生	私たちと、同じように一緒について行ったり行動や授業を受けれていて違和感なくすごいと感じた。
中学生	障がい者の方は不自由なところもあるかもしれないけど、今を一生懸命生きてるという事に同じ１人の人間として素晴らしいと思った。
中学生	昔から自分の障害としっかり向き合いながらも毎日を楽しく生きていて関心しました。もし、手伝える事があったら進んでしたいと思いました。
中学生	同じ人間として何があっても一生懸命生きていることがすごい
中学生	障害の方でも、周りを気にせず自分なりに生きていて、健康な私達が見習わないといけないところがあるのだとおもった。障害のある方々の強く生きる心を、私はとても尊敬したいと思いました。
中学生	大変で辛いと思うのに笑顔でいてすごいなと思いました。
中学生	書道教室で聴覚障害者の男の子がいる。その子を見たときに障害がありながらもそれを全く感じさせないくらい素晴らしい字を書くところにすごく感動した。障害の有無に関わらず書道が好きという思いがあれば上達するのだなと思った。
中学生	尊敬する
中学生	ハンデを負いながらも自分らしく生きていてすごいなと思った。
中学生	その人は、体の障害ではなく知能の発達障害だが、普通の人と変わりはない。ただ、覚えるのが苦手とか、少し人の気持ちを考えられないくらいなので、生活に支障はないようだ。最近学校を親の仕事の都合上転校し、またいい友達ができたと聞いているので、１人だけ孤立してしまっていることがないらしい。だが、本人も勉強などは人一倍しなければならないことはわかっており、そのことを私にも話してくれた。可哀想とは思わないです。思ってはいけないと思います。彼らは頑張っているから、尊敬すべきだと思います。
中学生	車椅子に乗っていた方の車椅子捌きが凄くて驚いた。
中学生	生活で不便なことはたくさんあるけどその分他の人より長けてる才能があったり、自分の考え、意見をしっかり持っていたりするので、すごい人間性が出来上がると思う。だからといって自分が今から障がい者になるとなっても楽しい人生を送る自信がない。なのでより一層すごいなと思う。
中学生	叔父が片足が無いのですがいろんな人のサポートのおかげで快適に過ごせているし、車の運転も出来ているのですごいなと思いました。
中学生	私にはできないような才能や特技を持っている人が多くてすごいなと思いました。母の仕事場で関わった時に、一緒にゲームをして遊んだり話したりして楽しかったです。母の仕事場で勉強を教えてくださる人もいました。もっと学校でも関わりを持ちたいです。
中学生	普通の人より手助けが必要と思っていたけど、普通の人と変わらなく、障害があってもみんなと同じように生活をしたり、仕事をしたりしていてすごいなと感じました。
中学生	人それぞれ大変そうな時もあるけど、みんな自分の意思でしっかりしてて良いなと思う。
中学生	自分が助けてあげたいけど、その人が望んでいなかったらどうしようと思ってなかなか声がかけられない。障がい者だからといって悲しい表情も見せずに他の人と同じように生きようとしている姿がすごいと思った。
中学生	大変な中で生きるのはすごいと思った
中学生	成長が他の人と比べて遅いけど、なんでも頑張っていてすごいと思った。
中学生	障碍者でもしっかりと頑張っているんだなと思ってすごいなと思いました.
中学生	自分と違って、できないことが沢山あると思うけど障害のある方はその人らしく一生懸命生きていてすごいと思った。
中学生	脚に障害をもつ子と学校で話したりするが、本人は私が詳しく聞いていないからかもしれないけど、障害のことは特に気にする様子もなく、学校生活を楽しんでいるように見えた。階段を頑張って登っていたり体育の授業でもできることをやったりしている様子を見ると、障害があっても、あきらめず努力する姿勢がすごいと常々感じさせられている。
中学生	できないことが沢山あるだろうに生きていける精神力の強さがすごい

中学生	目が見えなかったり耳が聞こえないのに生活できていてすごいと思う
中学生	私には言語の障害や脳に関わる障害を持っている友人や親戚がいます。言葉がこもり詰まることが多々あるが一生懸命最後まで伝えてくれる姿や、脳に障害があり思うようにうまく体を起動することができないけれど家族の方に支えられながら体をうまく使い一生懸命頑張っている姿がすごくかっこいいなと思いました。障害を持っていない方とは多少の差はあるかもしれないけれど同じ人間で同じ環境で共に過ごしているのだから、暮らしやすい環境を作ってあげることや平等に接していくことが大切なのだなと感じました。

⑩　その他（583 件）

学校	内　　容
	◆特にない
小学生	あんまり無い
小学生	ありません
小学生	ない
小学生	特にない
小学生	なし
小学生	特にない
小学生	特にないです！
小学生	無し
小学生	とくになし
小学生	無い
小学生	特になし
小学生	あまりない
小学生	無い
小学生	ありません
小学生	ない
小学生	あまりない
小学生	家族なので特に無い
小学生	特にない
小学生	ない
小学生	特に無い
小学生	特になし
小学生	なし
小学生	そんなにない
小学生	特にない
小学生	特にない
小学生	特にない
小学生	特にありません
小学生	ない
小学生	とくにない
小学生	特にない。
小学生	無い
小学生	無いです。
小学生	なし
小学生	ない
小学生	とくにありません。
小学生	特にない
小学生	ないです。
小学生	ないです
小学生	ない
小学生	ない
小学生	特になし
小学生	あまり無い

小学生	ない
小学生	特にありません
中学生	ない
中学生	特にない
中学生	特にないです。
中学生	特にない
中学生	特にない
中学生	特にない
中学生	ない
中学生	ありません。
中学生	特にない
中学生	特にない
中学生	特にない
中学生	特にない
中学生	特になし
中学生	特に無し。
中学生	無い
中学生	特にない
中学生	ない
中学生	特にありません
中学生	特に何もない
中学生	特になし
中学生	特にない
中学生	特にないです
中学生	特にない
中学生	特にない
中学生	特に無い
中学生	特にない
中学生	特にない
中学生	特にありません
中学生	特にない
中学生	特にない
中学生	特になし
中学生	特にない
中学生	特になし
中学生	特にない
中学生	特にありません
	◆頑張っている、努力している、前向きな人たちだと思った
小学生	障害者は、自分たちの知らない所で必死に努力していると感じました
小学生	障害者は障害者なりに自分の人生を自分で精一杯生きているんだなと思う。障害者などを見かけたら、積極的に話しかけ、自分にできることは何かを考えて、その人と対応すると、その人も気が楽になるのかなと感じた。
小学生	その人なりに、頑張って悔いのない人生を生きているんだなと、思いました
小学生	みんな頑張って生きていることを感じた。
小学生	障がい者は自分で頑張っているので、自分も頑張りたい
小学生	障害者の人たちも頑張っているんだなと思いました。
小学生	展示の勉強を一生懸命やったんだなと感じました。
小学生	頑張っていてすごい
小学生	とても大変そう。でも頑張っていた
小学生	不自由な暮らしをしている人でも頑張って生きていることがわかった。
小学生	自分とは少し違うんだなと感じる。障害がある人も頑張っているんだなと思う
小学生	感情を上手くコントロールできず怒られたりするから、そこを考えて接してあげないといけないから自分だけ頑張ってるんじゃないんだなぁと思った
小学生	いろいろ大変な事もあるだろうけど、頑張っていると思います。

小学生	一緒のクラスとかになってやはり見ていると制御が出来ていなくていつも皆と違うことをしていてた、けど頑張っていた。
小学生	その人なりに努力して生きてるんだなと思った
小学生	障害のある人は何があってもくじけず立ち向かう所が良いと思います。
小学生	障害があっても、みんなと同じ生活ができるように頑張っている姿を見て、「凄く努力して頑張っているんだな」と改めて感じた。
小学生	障害がある人も頑張ってみんなに追いつこうとしているのだなと思った。
小学生	大変そう。だけど工夫している
小学生	障がいがあるのにがんばっている
小学生	いとこは、知能の発達が遅れているので、そのために一生懸命に頑張っていてすごいなと思った。
小学生	障がいのある人もがんばっていると思う
小学生	障害者は障害がある分強く生きている気がする
小学生	障害者の方達は自分達より苦労していると思います。
小学生	頑張って生きていると思った。
小学生	どんな障害を抱えていても一生懸命生きているんだなと思った
小学生	障がい者は、僕たちとは違う生活なのにがんばっていこうと思っていると感じました
小学生	障がいがある人もそれぞれ頑張っていて、自分だったら、きっと挫折してしまうだろうから、すごいなと思った
小学生	障害者も障害者なりに頑張っている。
小学生	頑張っているなと思いました。
小学生	少し体に不自由なことがあるかもしれないけれどその体で一生懸命生きているなと思った。私のおじいちゃんは、脳性まひでお父さんが脳性まひになる前と今では全然違うと言っていた。
小学生	障害者の人たちも頑張ってると思った。
小学生	障害の人が一人でできることを頑張ってしていた
小学生	僕たちと違って、障害を持って生まれてきた人達だけど、いつも僕たちのように頑張って生きている。
小学生	会話は確かに通じないこともありましたが障害者の学校に行って会話の方法を学んだといっていました。障害者の人たちと会話ができるということは相手がそれだけ頑張ったんだ、と思いました。
小学生	この人も障害を持ってるけど、頑張って話してくれるから努力をしているんだ。
小学生	とても苦労していると思った
小学生	私の学校にも、足が不自由な人がいますが、いつも頑張って走っているところを見ていると、「頑張っているな」と思います。
小学生	障害なのに元気に頑張ってるなと思った
小学生	がんばってるなと思った。
小学生	みんな１人１人努力している
小学生	皆んなそれぞれ頑張っている
小学生	障がい者は大変だけど、がんばっているんだなと思いました
小学生	障害があるにもかかわらず一生懸命生きていると思った
中学生	かなり頑張ってるんだなぁ
中学生	その人なりに努力していると感じた。
中学生	みんなと同じで頑張っているんだなと思った
中学生	その人なりに頑張って生活をしている
中学生	一生懸命生きることが素晴らしいこと。
中学生	自分なりに一生懸命に頑張っている事がわかる。
中学生	頑張っているな
中学生	毎日生きるために頑張っていると思う
中学生	頑張ってる
中学生	その人なりに裏で努力をしてそうなこと。
中学生	前向きに向き合っているなと思う。ネガティブに考えているのではなく持っている障害を受け入れながら過ごしているなぁと思う、
中学生	みんな障がいがあるからとうしろ向きなのではなく前向きに過ごしている
中学生	リハビリ頑張ってるな
中学生	その人なりに頑張っていると思った。
中学生	大変そう、頑張っていてすごいと思う

中学生	体が不自由だから何もしないんじゃなくて、不自由だからできることや、不自由でもできることなど、前向きに考えていて、見習わないとなと感じた。
中学生	頑張っている人がいます
中学生	努力家
中学生	精一杯生きている
中学生	障害をかかえている人達は生活するのが大変だろうに前向きに生活することができてすごいと思った。
中学生	がんばってるんだなとかんじた。
中学生	生活していくのは大変だけどその人なりに頑張っているんだなと思いました。
中学生	皆一生懸命に頑張っている
	◆特に感じなかった、思わなかった
小学生	何も感じなかった
小学生	何も感じない
小学生	特に何も思わないけど、私は、頭がよくて、可愛い子だと思う。手話が、私も少しできる。
小学生	なんとも思わない
小学生	少し障がいがあるなとは思いました。でも、その子には良いところがあるから特別に何か感じることはあんまりないです。
小学生	特に何も思わない
小学生	特に感じない
小学生	何も思わない
小学生	特に何も感じなかった。
小学生	感じた事がない
小学生	重い障害というわけではないので、特に何か感じたことはない。
小学生	あまり何も感じなかった。
小学生	あまりかんじない
小学生	何も思わないです
小学生	あんまり思わない
小学生	何も感じない
小学生	あまり思うことは、無い
小学生	あまり何も思ったことがない
小学生	障がいを持っていると感じたことはあまりない。
小学生	あまり何も思ったことはない。
小学生	あまり感じない
小学生	何とも思わなかった
小学生	特に何とも思わなかった
小学生	何も思いません
小学生	特に、何も思わない。
小学生	何も思わない。
小学生	小さい頃からずっと一緒いたので何もないです。
小学生	あまり障害者とは思わない。
小学生	何も思はない
中学生	特に何も感じなかった。
中学生	特に感じない
中学生	障害が軽い方なので生活をしていて感じることは特にない
中学生	特に何も感じない
中学生	特になんも感じなかった
中学生	特に何も思いませんでした
中学生	別に何も感じない
中学生	何も感じない
中学生	特に何も感じなかった
中学生	別になんとも思わなかった。
中学生	特になんとも思わない
中学生	別に何も感じなかった
中学生	小さい頃からずっと一緒にいるので特に何も感じたことはない。

中学生	あまり何も思わない
中学生	特に何も感じなかった。
中学生	何も感じない
中学生	特に何も感じない
中学生	特に何も思わない
中学生	特に何も感じない
中学生	特に違和感は感じない
中学生	特に何も思わない。
中学生	特に感じなかったです
中学生	たまに手に負えないことがあるが特になんとも思っていない。
中学生	特に何も感じない
中学生	１人のクラスメートとしてクラスに馴染めているからなんとも感じない
中学生	特に何も感じなかった。
中学生	特に何も感じなかった。
中学生	特に何も思わない
中学生	特に何も感じない
中学生	特に思ったことはありません。
	◆障がいのある人と関わることで考えさせられた、疑問をもった
小学生	障害を持っている人はどんな生活をしているのかなと思った。
小学生	自分がしたい事などが出来なそうだなと思った。毎日どういう風に過ごしてるのかなと思った！
小学生	体が不自由でも恥ずかしくないのかなと思いました。
小学生	学校で過ごすのが嫌じゃないのかな
小学生	大変そうだし、どうやって生活しているのかなとか。
小学生	僕の弟は障害があるけど、小学１年生で差別やいじめなどを受けていないかどうかはわからないので心配に思うこともある。
小学生	「お手伝いするのが大変だなぁ」と感じた。「どうすれば一緒に遊べるかなぁ」と思った。
小学生	安心して生活できているのかわからない
小学生	とってもキツそう 大丈夫かな 毎日こんな風に過ごしているのかな・・・
小学生	不自由な人は普段どのように生きているのだろう。大丈夫かな。
小学生	なぜ自分たちと違うのか
小学生	心配
小学生	普通が普通じゃないってどんな感じなのかなって思う。
小学生	障害者の人は、症状を感じているのか、それとも、何も感じていないのか、痛みはあるのかなどと、思うことがある。あと、同情することもある。
小学生	なんで、障害者になったのか。どんな病気にかかってしまったのか。障がい者の人は、どんな事を感じながらいきているのか。
小学生	体などが不自由な人は普通の人よりできることも少ないからやってみたいこともたくさんあるんだろうなと思った。
小学生	生活が大変そうだな、いつからなったんだろう
小学生	授業とかで、移動する時大丈夫かなと心配したこと。
小学生	ひとりで大丈夫なのかがしんぱい
小学生	なんであんなになるんだろう
小学生	初めて話をした時、何で「俺」って言うのかな？と思った。
小学生	「自分だけ周りの人と違くて、辛く無いのかな」とか、「落ち込んだりしないのかな。」とか、これだけじゃなくても、いろんなことを考えたことがあります。
小学生	もしも、今おじいちゃんが倒れたらどうしようと心配になった。
小学生	大丈夫かな
小学生	街を一人で歩いて、怖くないのかなと、思ったことがあります
小学生	大丈夫かな
小学生	大丈夫かなと思う
小学生	大丈夫かなと思います。
小学生	少し心配になる時がある。

小学生	大丈夫かなと思った
小学生	障害者を見て「不便だな」と思い、私生活はどうしているのかな。という疑問が出て来ました。
小学生	僕たちとは、違う生活を送っているのだとは、思うけど、どうしてもできないことはないのだろうか。
小学生	私は、関わってみても特別何かを思うことはなく、クラスメイトや他の学年の人と思うだけです。でも、たまに「大丈夫かな…」と思うことがあります。
小学生	じっーと見つめている人がまわりにいたりした。障害者は、どう関わったら一番楽なのか疑問に思った。
小学生	大丈夫なのかな
小学生	最初は障がい者だからあまり喋らなかったりしたけど、一緒に帰ったりすると会話にしっかりついてこられているから、どこに障害を持っているんだろうと不思議に思った。
小学生	その人は障害のことについてどう思っているのか
小学生	どうすべきか
小学生	大変そうだなー手伝おうと思うけど迷惑じゃないかな？
小学生	色々大変そう、大丈夫かな、と思う。
小学生	大丈夫かなと思う
小学生	大丈夫かなとか不安になることもある
小学生	私は、まだ若いから怪我などが早く治るかもしれないけど、おじいちゃんやおばあちゃんは、軽い怪我でも治るのが遅いからおおけがをしてしまったらどうなるんだろう？とかんがえることがよくあります。
小学生	大丈夫かなと感じる
中学生	周りの人にいじめられたり、嫌なことをされているんじゃないかな、と感じた
中学生	自分では感じることができない障害者の方々の気持ちを考えようとしたら辛く、悲しかったです。しかし、私は四年生の頃に関わってその時は何も感じず、ただ仲良く過ごせました。（私より下の子でした。）私の周りでは差別などはありませんでした。
中学生	自分で自分を追いつめてしまって自ら命を経ってしまいそうになっていてとても不安になった
中学生	自分とあまり変わらないくらい、元気で明るい。色々と大変なことがたくさんあるのかな、と考える。
中学生	その障害者の人との接し方を考えさせられる
中学生	自分ができていることができていない時にどういう気持ちだろうと思う
中学生	自分は何も思わない発言でも相手はどう思うのかが分からない。相手に何か問題があるとあらかじめわかっていないと、疑問を感じてしまう。特別学級に分けられていても、あまりにも自分たちとの過ごし方が違うとそこまで必要なのかと感じることがある（授業に必ず遅れてくる、授業に参加しないことが多い等）。
	◆自分は幸運だ、恵まれている、不自由がないことに感謝した
小学生	自分は、恵まれていると思う
小学生	普通が当たり前じゃない。
小学生	障害がある人がいるのに対して、自分は障害がないから、障害のある人をもっと大切にし、障害なく生まれてこれたことに感謝し、日々を過ごしていきたい。
小学生	自分が障害がなくて本当に良かったと思うし障害がある人も頑張っているから応援したい?
小学生	私がこうして生まれてこれたことに感謝しよう、と思います。
小学生	自分が普通に暮らせるのも幸せなことなんだなと思った。障害者の方々を助けれるような人になりたいなと思った。
小学生	今が健康なのがすごくありがたい。
小学生	自分がどれだけ幸せかを感じます。
小学生	普通に生きられている自分は幸せ者だなと感じる
小学生	・障害のある人たちは、自分が思っているより大変なんだなぁ。 ・自分はとても恵まれてるんだな。これは、当たり前じゃないんだ。
小学生	私が健康であることに感謝し、また、障害のある人ともうまく関わり合っていきたいと思いました。
小学生	いまの生活に感謝する。
小学生	今こういう生活ができることに感謝しないといけないと思う。
小学生	今、自分が当たり前に出来ていることは素晴らしいことであって、感謝しなければならないなと思いました。
小学生	自分がこうして自由に過ごせているのは、当たり前ではなく、幸福なんだということをいつよりも感じ、障害がある人の気持ちを考えると心が辛くなる時がある。

小学生	何かが出来なかったりすると大変そうと思ったり、自分は健康でよかったと思います。
小学生	そして、私たちは、障害がなく生まれてきたことに感謝しないといけないと思う。
小学生	気付かされることは沢山あります。以前のように動けなくなり、どれだけ努力をしてきたかずっと側で見てきたので、当たり前が当たり前ではないことの有りがたさをとても感じます。
小学生	元気な体に生まれてきてよかったなぁ
小学生	自分じゃなくてよかったと思ってしまったこと
小学生	生きていく事は、とても大変で、今、病気やケガをしていなくて、とてもありがたい。
小学生	健康に産んでくれた母に感謝したいと考えました。そして命を大切にしていきたいと思いました。
中学生	不自由を感じる事なく生きられている自分が幸せなのだということが実感できた。もっと障害のある方と関わりをもって、役に立ちたいと感じた。
中学生	不自由なく、普通に過ごすことができていることがとても幸せで、決して当たり前なことでなないということを実感する。
中学生	何もない自分は幸運
中学生	私たちが普段、普通にしていることでも体が不自由なために時間がかかったり、助けが必要だったりするのを見て、自分が健康に生きていられることが当たり前ではないんだな、と思うし、私自身も、身近にいる障害者の方にもっと気を配って支えていくことが大事だなと思った。
中学生	普通で生まれてきた自分が恵まれているなと思います。
中学生	障がい者になりたくてなったんじゃないのに、差別をうけてしまったり、みんなと同じように過ごすのが難しくなっても生きることを諦めないで一生懸命に生きている人がいることを忘れずに、自分が毎日を普通に、楽しく過ごせていることに感謝しようと思いました。
中学生	私は体も心も有難く健康に育っています。ですが、自分の体に不満を持ったり、不便に思うこともあります。以前体が不自由な方が学校に来て講座を開いてくれてくれたことがあります。事故をする前までは健康に何事もなく生活をしていたそうです。事故をしてから下半身が動かなくなったそうです。私だったら思い出すのも嫌だし、みんなの前で話すのも嫌です。なのに笑顔で自分の体のことにいついて話していたんです。すごい事だと思います。世の中には体が不自由な方もいて、生活が困難な方もいるというのに私は、贅沢に生活しているんだと改めて思いました。お父さんやお母さんに感謝しながら生きていきたい、もし困っている方がいたら助けてあげたい、障がいがある方が生きやすい世界にしてあげたい。そう思います。長文失礼しました。
中学生	自分が今、当たり前にできていることはとても大事だと思った。
中学生	自分には当たり前のようにできていることが、障害者の人達からしたら当たり前では無いから、今こうやって当たり前の様に何不自由なく生活できていることは幸せなんだなと感じた。
中学生	自分が不自由なく生きていれることに感謝しないといけないと思った
	◆バリアフリー等の障がい者にやさしいまちづくりについて
小学生	身体のことで悩み、苦しんでいる人がたくさんいるんだなと思った。また、それらの人がもっと快適に過ごせる社会になるといいなと思った。
小学生	ユニバーサルデザインなど障害のある人にとってとても便利なものだなと思った
小学生	初めて行く場所などはしやが狭いため足元が見えないため介護がひつようだと思った。
小学生	バリアフリーを進める（みんなが暮らしやすい街づくり）
小学生	ユニバーサルデザインなど障害のある方でも使いやすくて便利なものが増えて欲しいと思う。
小学生	障がい者の人は、この街にも沢山いるから、怪我をさせないように町をきれいにさせたいと思ったこと
小学生	突然障害者になってしまった時、バリアフリーだったり、まだまだ生活しにくさに、不便さを強く感じます。身近にいて経験しないと気づかない事がたくさんある。喋れない障害がでたときに、携帯の解約や銀行、臨機応変に対応してほしい。
小学生	もっとバリアフリーな施設やものが増えると良いなと思います。
小学生	学校に足の不自由な方人がいて、階段を上りにくそうにしているのを見て、もっと簡単に階段を上れるような設備があると足の不自由な人は毎日苦労をせずに上れるのだろうなあと思いました。
小学生	障害者が利用しやすいバリアフリーなどの設備をいろんなところで整えた方がいいと感じた。
小学生	おばあちゃんが足が悪くて、階段ではなくスロープやエレベーターがあるとすごく便利だと思いました。１人で外に出ると危ないので、あまり外にでないのですが、久しぶりに外に出ると足取りが悪くてつまづくことがあります。ですが、家の中で歩く練習をするとすごく自然に歩けていてうれしく感じます。

小学生	その方は年齢によって車椅子を使っていらっしゃる方で、出かける際は家族や友人に手伝ってもらい、車での移動が主になると仰っていました。階段を登ることができないため（車椅子で）スロープがあると有難いと仰っていました。このように、周りの人が積極的に手伝いをしたり、スロープやエレベーターのある施設が増えるといいなと思いました。
小学生	特別扱いをするのではなく、普通の人よりも少し体が弱いと言うことを頭の中に入れれば、障害者の方も親しみやすい町地域になるんじゃないかなと思いました。
小学生	体の不自由な人は、私達よりも生活に不便さを感じていることがわかった。また、体の不自由な方のための設備が少ないと思った。だからもう少し増やしたほうがいいと思う。人がみんな平等に気持ちよく過ごすために大事なことだと思った。
小学生	車いす乗っていて当たったら危ないと思っている
小学生	車椅子での移動はとても大変だなと感じました。
小学生	大変そうだと思った。安全に生きられる様、もう少し、「バリアフリー」を増やした方がいいと思う
中学生	レストランやショッピングモールで階段とかが多いので障がい者のことを考えた設備を増やして欲しいです
中学生	身近にある障害者のためのものや生活に必要な物については、グローバルデザインが中心となって持続可能な社会を作るためには、世界の全ての人々に理解・協力が必要だと感じます。
中学生	障がいを持つ人たちの為の活動や施設、設備などが充実してきていることを知った。障がいを持つ人たちも道具などを使用することで私たちと同じように生活できることを知った。
中学生	大変そう、設備をもっと充実させればいいのに
中学生	普段の生活で不自由そうにしていることが多いので障害のない人やバリアフリーなど、障害を持つ人でも暮らしやすい環境にすることが重要だと感じた
中学生	環境の配慮がより必要であると感じた。
中学生	体の一部でも不自由だと何をするにも大変だと思うし、さらに高齢者の方だとより大変になると思うので、バリアフリーの設備をもっと作るといいと思いました。
中学生	障害者の人は普通に暮らすのも困難だろうなと思った。お店では障害者の人専用の駐車場が設置されている。しかし障害者じゃない人が停めていていけない事だと思った。
中学生	もっとバリアフリーを増やさなきゃいけない
中学生	最近はバスの定期券などが安くなったりしているのでそういう人たちに優しいなと思いました
中学生	もっと安心して暮らせるようにバリアフリーなどを増やした方がいいと思う。
中学生	まだまだバリアフリーが増えればいいのになっとおもっった
中学生	もっとみんなが暮らしやすいようにバリアフリーを広げる
	◆もしも自分が障がい者の立場だったらと考えた
小学生	もしも自分が障害者になったら、どうなるんだろうと思いました。
小学生	周りの人の障害者の方をお世話している人はその人で手いっぱいでどう接したら良いかも分からないから大変だと思う。実際、障害者になった人も、突然なったから、不安でいっぱいだし、自己管理も大変だなと思う。もしも、自分がなったらと考えると、ほんとにどうしたらいいかが分からなくなると思う。
小学生	自分じゃ相手がどのような気持ちなのかわからないけど、いざ自分がなると考えると、心の準備をしようと思います。
小学生	自分がなったらどうしようかなと考えている。自分がなりたくてなっていないのにな。と思っている。
小学生	もし私が障害を持っていたら、私は生きていけないと思います。私はあまりメンタルが強くないので、いじめなんてされたら生きる価値観がわからなくなると思います。でも、他の障害を持っている人はすごいと思います。
小学生	信号など、もしまちがった色に見えてしまったりして事故に巻き込まれてしまうかもと思うとすごく心配になる
小学生	もし自分が、障がい者だったら普通の生活が普通にはできないかもしれない
小学生	もし、自分が障害者だったらと考えるだけでも怖いと感じます。ですが、私は今はその障害がある人たちが、たくましく、生きてるのを見て凄く尊敬しています。なので、私はこらからも、そう言いった方たちと触れ合って生きたいと思っています。
小学生	自分の立場と考えたら大変さを感じた。
小学生	自分が同じ立場になった時に想像の何倍もの苦しみが来るのだろうか？
小学生	もし自分が障がいのある人だったら、生活に苦しさを感じるんだろうなと思ったことがあります。
小学生	自分が怪我をした立場になること

小学生	障害を持っている人は、障害を持ちたくて持っている訳ではないし、自分がそういう立場になった場合のことも考えて接していかなければいけないという事。
小学生	障害をもってる人は、ただ普通に生きてるのに、他人から、「可哀想」や、「変な人」などと言われたら、自分はどんなに辛い事だろう、、、と思った。
小学生	もし自分が障害を持った場合、周りに助けてくれる人が本当にいるのか心配になります。体のどこかが不自由になったどんな感じなのか知りたいと思いました。
小学生	「もしかしたら自分もなっていたら・・・・。」と感じる。
小学生	自分がなったらキツそう。悲しくなる
中学生	もし自分が同じ立場ならどうだろうか目を瞑ってみたり手を全く使わずに生活してみたり、失礼なことではあるかもしれないけど、実際にやってみてここがこう大変だとか、ここをこうしたら過ごしやすいのではないかというのはよく 1 人で考える。街で何度か見掛ける時に楽しそうな顔をしていたり、辛そうな顔をしていたり色々な人がいて、助けたい気持ちはあるけどいざとなるとあまり声をかけられない部分もある。そのようなことを私は頻繁に考えるので、本当の辛さとかはわからないけど生まれつき障がいを持っている人も、人生の途中から障を持った人もみんなが楽しく暮らしてほしいと考える。
中学生	障害者が生活することはとても大変なことだと思いました。 テレビや新聞で見ていたのとは全く違くて、私が想像している以上にとても大変なことがわかりました。もし、自分がなったら、と考えてみると絶対自由には生活できないだろうなと思いました。
中学生	障害者だからといって、差別はしないようにしている。自分がもしそういう立場だったら、、、ということを考えて対応している。
中学生	自分がもしそうだったら悲しい?
中学生	私は障がい者の気持ちにふとなってしまうことがある。例えばテレビを見ていて、今の情報は目が不自由な人には伝わりにくいなど。そういう感情を抱いた時もっとバリアフリーが増えるといいなと思うことがある。私もこれから事故や怪我で今の体がどうなるか分からないのでこれからも障がい者の方と関わっていきたいと思う。
中学生	すごく苦労していて大変だと思いました。自分もなったらと思うと大変さがわかると思います。
中学生	自分が相手の立場だったら苦しいと思うので、できることは手伝ってあげたいと思った
中学生	もし自分がなったらと考えたら想像しきれないほどにつらいだろうと思った。なるべくそのような人たちの助けに少しでもなりたいと思った。日常で辛い言葉をどれほど耐えてるのだろう方考えた。
中学生	もし自分もこんなふうになったらつらいだろうなと思います。
中学生	大丈夫かな、手伝おうかな。自分がこのような人たちだったらどうなっているのかな？
中学生	大変だなと思った。もし自分だったら無理だろうな。
	◆障がいのある人も暮らしやすい社会づくり、まちづくりについて
小学生	障害者の方達にとって、住みやすい世の中なのかなと思ったりします。
小学生	近所を歩いていると、時々、自動車椅子に乗っている方や、杖を持って歩いている方を見かけます。大変だろうなと思いますが、周りの人が、もっと障害者の方に対する工夫をすれば、もっとたくさんの人が、快適に過ごせるようになると思います。
小学生	障害者の暮らしやすいまちづくりが必要だと感じました。
小学生	障害者が暮らしやすい世界になってほしい。
小学生	もっと障がいのある人が暮らしやすい社会が作れたらいいなと思います。
小学生	住みやすい環境をつくったり、周りの人が受け入れること。
小学生	きちんと障害者のかたを、サポートしたい。 過ごしやすい世の中にしたい。 障害があってもなくてもあまり関係なく自由に過ごせる世の中にしたい。 助けてあげるばかりではなく、その人が出来ることを探してあげたい。
中学生	私の親戚に耳に障がいがある人がいます。私の一つ下の女の子ですが今は耳に補聴器をつけているらしいです。遠いところに住んでいるため何年も会えていませんが次会う時は手話で会話をするのかなと思います。私の周りに障がいのある人がいる、いないに関わらず手話は英語と同じくらい当たり前の世界になればいいなと思いました。もちろん会話はできるけど手足や体が不自由な人もいると思います。そのような人たちも当たり前に生活できる住みやすい世の中になればいいなと思います。
中学生	共生するのは大事だけどその環境にあってない人がいたりするから難しい問題だと思った。
中学生	自分がしたいと望んだことが障がいによってできない場面があると思うと、身体的にも精神的にもとても大変だなと思いました。障がいの有無に関わらず、誰もが自由に生きることができる世の中にこれからなっていくといいです。
中学生	障害者ももっと住みやすい環境を作れたらいいなと思う。

中学生	私は小さいころに義足をつけてダンスをしている男性のイベントに行った事があります。そのイベントでは、たくさんの障がい者がいて、ダンスを見るときに隣に座っていた男性は、片腕がありませんでした。その人が飲み物を飲もうとしているのをみてとても大変そうだったのを覚えています。また、ダンサーの男性は、片足がなくなったことの話を笑顔で話しており、それにすごく驚きました。ですがその男性は足がなくなったときには、とても辛かったらしく、自殺も考えたこともあったそうです。でも、周りの支えがあったから、今があると言っていました。 この話を聞いて、わたしは、障がい者の人が頑張るのではなく、周りの人や環境をよくしてあげることがたいせつだとおもいます。
中学生	かわいそう、すごい 誰でも気持ちよく過ごせる社会になればいいのに、、、
中学生	障害があっても、私たちとおんなじように物事をしたいと考えているので、少しでも障害がない人と同じ生活ができるよう発展して言えたらいいと思いました。
中学生	障害のある人も、健常者と同じように暮らせる日が来るといいなと思った。
中学生	場所によって行動がしにくいところがあった場合、率先して助けたいと思いました。障がい者といっても、体が不自由な人だけでなく、心の精神的なストレスで苦しんでいる人も居るので、そういう人たちが笑顔で安心して暮らせるような社会がいつか実現されたらいいなと思いました。
中学生	身体の不自由な方もみんなが楽しく過ごせるような社会になればいいなと思いました。同時に、自分も身体の不自由な方を見かけたら優しく接したいと思いました。
中学生	障害者も私たちと同じような環境や条件で生きていける柔軟な社会にならないと障害者がもっと生きづらくなるなと思った。
中学生	動きたくても動くことができなくて、されるがままにしているのがとても悲しそうに見えた。けど何かを手伝ったり、身の回りの世話や顔を出しにいったときにとても嬉しそうにしてくれていた。少しでもそう言う方が便利に暮らせる制度や環境があったら、いろんな人を勇気づけることができると思った。
中学生	僕の関わってきた人は体に障害を持った人で周りと同じようにしようとしても出来ないことがあったのでそういう人たちにも不利のない社会を作ってあげたいと思いました
中学生	言葉が理解できずに困っていることがあったり、街で白杖で支えながら歩いていても危なかったりするのをよく見かけます。その時に声をかけるとすごく感謝してくれます。このことを全員が当たり前にする社会になってほしいと思います。
中学生	障がい者の人がもっと安心して過ごせるような対策や理解が必要だということ。
中学生	理解ができる人達が対応して共に生活していかなければならないと思いました。
中学生	目や耳が不自由な人は、何があるか、どこに誰がいて何をしているか又は話しているか、それらが分からない事はとても怖いことだと思います。体が不自由な人は、したい事が出来ないことがあって悔しい思いをしていると思います。ですが、今の社会には不自由な人を支える仕組みがあまり備わっていないと思います（特に地方は）。そして、その人々に対する理解もあまり出来ていないのが現状ではないでしょうか。私は体に不自由のない人間なので不自由のある人たちの気持ちは実際には分かりません。でも、彼らの為に何か出来ることはあると思うので出来る限り人のためになることをしたいと考えました。
中学生	自分の環境と社会の不便さ、心づかいに大切さを感じる。
中学生	もっと障がい者の人が住みやすい街になればいいと思う

中学生	自分は、特別不自由なく生活できているので目や耳が不自由な方の大変さを体感する事はなかなか難しいです。 地域に体の不自由な年配の女性（以下Ｔさん）が住んでいます。心配なんて言葉を忘れてしまうほど生き生きしていることがほとんどです。なぜいつもＴさんが生き生きしていて笑顔なのかずっと疑問に思っていました。もし、自分がＴさんのように体が不自由になったら、地域の人とうまく関われるか不安になると思います。 今の時代、バリアフリー化が進んできたことによって体の不自由な方々でも、私たちのように生きやすくなってきました。私は建造物や公共施設などの物がいくらバリアフリーになったからといっておしまいではいけないと考えています。最終的に一番大切になってくるのは、人の温かみです。街で体の不自由な方に出会した時、なかなか助ける勇気が出ません。それはきっと心のどこかで「可哀想」とか「体が不自由なのだから仕方ないだろう」と思っているからだと思います。声をかけるのは勇気が入りますが、声をかけられる人間になりたいです。 人として体の不自由な方に優しさを届けていきたい、そう思った時に謎が解けた気がしました。Ｔさんがいつも笑顔で生き生きと生活しているのは、周りの色んな人たちから優しさと温かさをもらっていたからだ、と。これからは優しさと温かさを届けていこうと思います。Ｔさんのように、体の不自由さを忘れて生き生きと生きていける心のバリアフリー化を目指して広げていきたいです。
中学生	障がい者の気持ちや行動を理解してあげるのに、時間がかかったり配慮をしたりしないといけないので、大変な時もあるが、それを私達が同じ人間として理解してあげなければならない。もっと、障がい者の気持ちに寄り添える環境や場所を作っていかなければならないと思う。
	◆障がいのある人と接したことで自分の意識が変わった
小学生	耳が不自由の親戚だからいちいち大きな声で、しゃべらないといけないけど、その人が手話で話していて、自分もしたいな！って感じました！
小学生	先生の話もあまり聞かないし、クラスの子を傷つけたりすることがあって、よく問題も起こすから、私はあまりその子が好きではない もっとその子のことが好きになれるように頑張りたいと思った
小学生	障害をもっている人の為に真面目に生きようと思う
小学生	障害のある人についてもっと知らないといけないなと思いました。
小学生	正直、可哀想に思います。だから、『障害なんてなければいいのに』‥とか、『どうしてみんな、思い通りに生きれないんだろう‥』って関わるたびに思います。それでも、一生懸命に生きている、笑顔に生活している姿を見ると、私も頑張ろうと思えます。
小学生	障害者のために、世界はどんなことをしているのか、どれだけ大切なのかそういう思いを環境内で見かけたり、親戚の人を見てどれだけきついのか、辛いのか、苦しいのかを思う時が集まりなどでよくあります。私は障害者の味わいをしたことがないので、気持ちなどがわからなく、小さい頃は障害者のことなども知らんぷりで自分勝手な行動しかしていませんでした。でも大きくなって、いろんなことを学んで、小さい頃の私は何をしてたんだろうと疑問に思うことが沢山ありました。なのでこれから先、障害者のことを知っていきながら生活していきたいです。
小学生	障がい者はたいへんなんだな。私も将来大変な思いをしている障害者を助けたり助けを求められたりする人間になりたいなと思う。
小学生	可哀想 障害者のためにちゃんと生きようと思った
小学生	大変な思いをしている人もいるから、私も頑張ろうと思いました。
小学生	その人も頑張っているんだ、と元気付けられる。
小学生	私は将来、学校の先生になりたいと思っていましたが、障害者と関わったり、障害に関する漫画を見たりして、自分がこの人たちの役に立ちたいと思って、特別支援学級の先生になりたいと思いました。その頃から、手話を覚えたり、本を読んだりするようになりました。
小学生	障がい者の人たちは、まわりの人との、環境や、状況が違くとも、私が話した人全部、辛い思いや、苦しい時もあると思うのに、明るく元気な声で、楽しそうだった。 私が、話した人たちは、若い人もいたり、逆にお年寄りの人もいた。そんな様子を見て、とても元気付けられた。私もこの人たちみたく、強くなりたいと思った。
小学生	障害を持っている方達は、大変な苦労をしていると思う。なのに、「障害」という言葉がついているだけで、差別やひどい事をしている人達を見るとイライラしてくる。だから将来は、その様な方達を助けるための盲導犬のトレーナーになりたい。子供の今、何もできないかもしれない。でも、大人になったら障害の方達を助けれる人になりたいと、思っています。
小学生	親戚と会った時に、将来看護師か障害者を受け入れる施設ではたらきたいなと思って助けたいなと思いました

小学生	人それぞれの良さも伝わりました。障害を持っていても、精一杯生きている人に元気をもらえて、将来は介護系、看護師的な仕事につきたいとも思っています。身の回りにいることによって良い経験にもなりましたし、家族と電車で出かけた時に会ったりもしています。
中学生	自分も毎日毎日を頑張ろうと思えた
中学生	特に何も思っていない。何かを思っていたとしても相手が嫌な気持ちになってしまうから。ただ耳が不自由な人では普通に話したいので手話を覚えようとはしている。
中学生	手話や点字を覚えるなど、障害を持つ人達と対等にコミュニケーションをとるためにも自分ができる身近な事に取り組んでみようと思った。
中学生	発達が遅れてしまったり耳や目が不自由なことから、コミュニケーションを取るのが少し難しいだけで感情はしっかり伝わってくるので他と比べる必要はないと思った。感情が伝わりあった時に喜びを感じて将来関係する仕事につきたいと思ったこともある。
中学生	自分は、障害者になる前にいろんな人の支えになって、人生を終えたいです。
中学生	耳が聞こえない小さな子なんですが、その子の家では家族では手話で話していました。その子を見て私も手話を少し習い、楽しく話しました。学校でも少し手話に触れ合う機会があればいいと思いました。
中学生	体を大切にしようと思った。
中学生	自分でも気づかないような小さな障害でも稀に人に迷惑をかける原因になる場合があるので、もっと障害の種類について学びたいと思った。
中学生	障害がありながら、生活しているのを見ると自分の刺激になった。
	◆障がいのある人を不快に思った
小学生	少し怖い時がある
小学生	相手にするのが難しいな。と思った。また、こちら側も少し被害が出てしまった。少し頭にきた。
小学生	2018 年その子が転入生徒してきて、2021 年からその子が通常学級に来ることになった。障害を持っているとは知っていたけれど、一言いっただけで怒ったり、自己主張が激しかったり、して想像以上にキツかった。嫌な思いもした。だから、避けてしまう自分もいた。
小学生	少しうるさかったり、ちょっかいを出してくることがあって嫌だった。
小学生	習い事などで、知的障害の子に、頭にくることがたまにある。
小学生	大声で迷惑だな～
小学生	とても接しづらい。障害だと分かっていてもいろいろと耐え難いことがある
小学生	あまり好ましい印象では無かった
小学生	大変、イライラする
小学生	ちょっと怖い
小学生	急に話しかけられたりして鬱陶しい
小学生	自分の意思でしていないと思うけど、接するのが大変（嫌）。
小学生	障害者は、めちゃくちゃ怖いんだなあと思いました。
小学生	しかたがないかもしれないけどやっぱり話しが噛み合わないから（一部）仲良くすることができない。時々砂やつばをかけられるから少し苦手意識を自分がしてると思う。
小学生	体の障害は「大変だな」と思うけど、発達障で人に迷惑をかけるのは、ちょっとムカつきます。
小学生	乱暴だったり、嫌なことを言われたり、少し怖いと感じました。でも、いろんなタイプの子がいることを、認めたり、理解したりすることが大切だと思います。
小学生	急に不思議なことを言い出して、怖かった
中学生	授業中にいきなり騒いだりすると最初は結構驚いていたが 1 年経った頃にはあまり気にならなくなっていた。だが、今のご時世なのに学校でマスクをしていない障碍者クラスの人がいるのでそこはしっかり守ってほしい。給食中にげっぷをしたり鼻くそを食べたりするのも不衛生だからやめてほしい。
中学生	障がい者という事は理解しているけど度が過ぎていることをされるといやなきもちになる
中学生	向こうは悪気はないんだろうと思うけど、こちらからするとあまりいい気分ではない事が多々ある。
中学生	家に勝手に入ってきたことがあり、少し怖い。
中学生	障がい者(知能・発達)だからやっぱり周りの人(健常者)とは行動や発言に差があると感じる。自分は障がい者に対して好きでも嫌いでもない中立の立場だと思っていたが、最近接する障がい者が嘘をついたり暴言をはいたりしているところばかり見ていて、障がい者全員が全員そういう訳ではないと思っているけど自分の中での印象は悪くなっている。
中学生	たまに癪に触られてイライラすることがある
中学生	やはり心が発達していないのか説明をしても理解しにくい事だと思う。説明しても理解してもらうことができないと鬱陶しく思う

	◆頑張ってほしいなどと願った
小学生	大丈夫か？この人とかがんばって！とか思う。
小学生	少しでも長生きしてほしいと思います
小学生	障害者は他の人とは違う暮らし方をしている方が多いからもっと安定した生活を送って欲しい。
小学生	頑張ってほしい。
小学生	すごく辛そうだなと思った、もっと快適にさせてあげたいなと思った、もっと自由にさせてあげたい
小学生	もっとたよってほしい
小学生	病気とかがない普通の人に生まれて普通の暮らしをして欲しかった。
小学生	治らないかな。
小学生	障害しゃって大変だなぁーと思ったから、少しでも役にたって、笑顔になってほしい。????
小学生	もう少しこうしたらより良く過ごせるんじゃないかなとかが、色々あります
小学生	早く治してやりたい
小学生	治るといいなと思った
小学生	楽しく生きて欲しい
小学生	治ってほしい
小学生	障害はすごく大変で辛いはずなのに頑張って立ち向かっていて、頑張って欲しいと応援したくなりました。
中学生	１人で抱え込まずに頼って欲しい
中学生	頑張っているな、心から笑ってほしいななど
中学生	大変だなと思った。生きてほしいと思った。
中学生	障害が治ってほしいことや心配になる事
中学生	大変だなと思った。頑張ってほしい。
	◆障がいのある人を近くで支える人について
小学生	障害のある人の介護は大変だということ。
小学生	障害を持って生まれた人が身近にいてその人たちは不自由な生活を送って困っているんじゃないかと思った。
小学生	少し疲れた、障害者のいる家庭は大変そうに見えた。
小学生	介護福祉士で、お母さんが、頑張っていることです。病院で、足が不自由な人でも足が動けるように、頑張っていることを感じました。。
小学生	世話しているおばあちゃんや自分の親がとても大変な思いをしているんだなと思いました。
小学生	息子が知的障害です。支援学校に行っています。今まで自分には関係の無い事と思っていましたが、家族が障害を持つ。息子が知的障害で生まれる。こんなにも大変だとは思いませんでした。接し方や介護的な事を含め、色々な事が日々勉強です。普通だったら今頃、お兄ちゃんと一緒に学校に行っていたんだろうなとか、一緒に遊んでいたんだろうなとか日々思います。出かけるにしても、納得した場所でなければ泣き叫び、今では家族間で話をしているだけで怒り出します。大変です・・。
小学生	その人のお母さんなどの家族の人たちが一生懸命支えていたので、もし自分が障害のある人の身内だったらそんなふうに支えられることが出来るかなって思いました。
小学生	お手伝いが必要な時があって、お手伝いが必要なのは仕方ないけど、お母さんが手伝ってるのが大変そうだった。
小学生	迷惑かける、その人の親も子供も他人に迷惑をかけている、面倒見が大変
小学生	大変そう(介護も)
中学生	言葉が喋れないのは辛いし、家族も大変なこと。
中学生	家族の人が、その人のことを第一に考えていて、周りの人が、気を使いすぎているように感じた。
中学生	家族の人が大変そうだと思った
中学生	本人も周りの人も大変。
中学生	私が関わるのは祖父の妹にあたる方です。その人は脳梗塞で倒れてから身体の自由がきかず、旦那さんが世話をし、娘さんや私の祖母もその手伝いをしています。その中で感じた事は、家族の負担が大きいということです。排泄の処理や食事には時間がかかりますし、寝ている時も体制を変えてやらなければならず、労力も要します。また、介助者も高齢化しており、体力的にきついこともあると思います。障害のある方やその家族へのサポートがより充実する事が必要だと思います。
中学生	親が大変そう
中学生	家にいますが家の人も大変だし、障害者側も障害者にしか分からない苦痛があることが分かってくる
中学生	介護の大変さ、生活することの大変さ、一緒に楽しめることをしたいと思った
中学生	本人も側にいる人も生活する事は大変そうだと思った。

	◆分からない
小学生	わかりません
小学生	よく分からない。
小学生	あんまり話をしたりしないからわからない
小学生	わからないです。
小学生	分かりません
小学生	よく分からない
小学生	わからない
小学生	わからない
小学生	分からない
小学生	障害があるのも、ないのもかわらない
中学生	よくわかりません
中学生	障害とは何なのかがよく分からなかった
中学生	ちょっとよくわからないことがある
中学生	わからない
	◆障がいのある人との実際の関わりについて
小学生	目が見えない人のために黄色のレールを踏まないようにしている。
小学生	バスで高校生や大人の方がたくさんいて、降りようとしていたけどその人たちがどいてくれなくて困っていた。私も同じところで降りるので一緒に降りた。目の不自由の方でした。
小学生	おばあちゃんが半身不随で、困っているとき助けたいと思うけど 1 歩踏み出せません。けど、スリッパが脱げなそうにしていたとき、脱がしてあげることができました。
小学生	おばあちゃんが半身不随で、たまに来ることがあり困っているとき 1 歩踏み出せず。けど、1 回スリッパが脱げなそうにしていたとき脱がしてあげられました。とてもうれしかったです。これからも頑張って助けていきたいです。
小学生	これからも障害者のお手伝いや募金などを行って、障害者の皆さんを支えていきたいと思います。また、障害者の差別なども今後世界の人達と考えていきたいと思います。
小学生	障害者と関わって、「少し私と違うな」と思ったり、「あれ?」と思ったりすることがあったけど、今の時代障害者がいるのは当然のことなので、あまり気にかからない。障害をもっている友達が、「何でそんなに仲良くしてくれるの?」ときいてきたので、「何で?」と聞いたら、その子は、「今までこんなに仲良くしてくれた友達は、いなかったから。」と言ったので、過去に辛い思いをしたのかもしれないと思い、これからも、そばにいてあげようとおもった。これからも、障害を持っている方々を支えていきたいと思った。
小学生	喜ばせようと思った。
小学生	こんにちはと言った
中学生	昔から肩があまり上がらなかったり、歩くスピードが遅くなるなど筋肉の衰えが早いことを知っていて、祖父の家にいたりしたときには、歩くのを支えてあげたりしています。また、一緒にいるときには無理をして孫にはいい姿を見せようとしているのか早く歩こうとしているのを見ると少し心が苦しくなります。
中学生	・重い荷物とかを持っている時に手伝う。 ・階段を上がる時に相手の方の手を握って一緒にあがる。 ・着替える時とお風呂に入る時が一番大変なので手伝う。 ・障害を持っている人は行きたい所にも行けないし、好きなビールも飲めない人もいるので可哀想さを感じた
中学生	認知症は障害なのかは分からないけど、言ったことをすぐ忘れたり声も大きかったりするけど 1 人の人間なので最後まで面倒見たいと思った
中学生	動くだけでも大変だけど自分なりの努力が伝わりました。助けてあげたい気持ちが高まった。
	◆仲良くしたいと思った
小学生	仲良くしたい 一緒にもっと分かち合いたい
小学生	友達だと思った
小学生	何も思いません。ちゃんと仲良くしてくれます。
小学生	ともだちだと思っている
小学生	友達になりたい(可哀想だから)
小学生	なりたくて、なった訳じゃないし、生まれつきのことだから、しょうがない事だと思う。別に、悪い人じゃないから、接して仲良くしたりしたいと思う。

小学生	ぼくから話しかけたり遊んだりしてもっと仲良くなりたいと思いました。
小学生	関わって見たところ、明るい人だったから話しにくいなどを感じることは特になかった。障害者と言っても、同じ人間なので、仲良くしたいなどは思っています。
小学生	普通の友達としてすごしている。
中学生	障害を持っていてあまり話すことができない人がいるけど自分から話に行って障害を持ってる人もみんなで仲良くしていきたいと思った。
中学生	障害を持っている友人に会うまでは、少し障害を持っている人はあまり関わったらいけない、そんな思い込みをしていたけど、実際に話してみるととてもいい人達で、言い方は悪いけど何も僕達と変わらない人達ということを知りました。今ではとても仲のいい友達です！
	◆障がい者は身近にいると思った
小学生	障害者はかなり多くいて、身近にいると感じた。
小学生	障がい者は、身の回りにいると言う事
小学生	目立たなくても障害者はいるものなんだなぁと意外に思いました。
小学生	身の周りにも障害者はいるんだ。
小学生	世の中には障害を持っている人が多いと思います
小学生	急に、身近に感じた
中学生	世の中には、体が不自由な人がいる人はたくさんおり、自分が怪我をした時に「自分は何不自由なくいられることに感謝することと、障害者を労ってあげたいと思いました。
中学生	身近にいるんだなとあらためて感じる。
中学生	意外と身の回りに持病の方や体が不自由な方がいらっしゃる事に驚いたことがある（大型ショッピングセンター） バスではすぐに優先席に譲る人がいて過ごしやすいと思ったことがある
中学生	最初は自分には関係ないと思っていたけどいざ目の前にすると周りにいるということは考えていかないといけないなと思った
	◆少数意見（その他）
小学生	このような人がたくさんいることを知って、このような人たちのために少しでもいいから何かしてみようと思った。あと、もうしかしたら将来自分こんなふうになるかもしれないんだと思った。
小学生	いつどこで自分もなるかもだからやっぱり障害者って大変なんだなと思った
小学生	私もいつか障害を抱えてしまう可能性があると思うと怖くなった。いつ誰が障害を持つかはわからないのだから障害者にも平等に接したほうがいいと思う
小学生	大丈夫なのかな かわいそうだな 人生いつあるか分からないから怖いな、だから毎日気をつけて生きよう。
小学生	実際に自分の周りにも障害者がいることでもしかしたらいつか自分も事故などで障害を抱えることになるかもしれないという思いになった。その為に今のうちから少しずつ技術を身につけていかなければいけないと思う。
中学生	僕の親友が急に怪我をして、障害を負うことになり、初めは僕も周りもおどろいていて、この事があり誰もが何かしらで障害を負う事になると知りました。
中学生	その人が事故で障害者になったので、やはりいつ自分がなってもおかしくないのだと思った。
中学生	自分もいつか手足が不自由になったりするのかなと不安になる
中学生	・うつ病などは、自分もなる可能性がある。 ・もっと理解が広まってほしい。
中学生	自分はならないと思った
小学生	助け合った方がいいと思った
小学生	助けあって一緒に過ごしたい
小学生	家族に、障がいを持っている人がいます。学校にも、障がいを持っている人がいます。その人たちと関わっている中で感じたことは、みんなが、助け合っているから、社会が成り立つんだと言う事。
小学生	人それぞれだから自分達が助け合いをしないといけないと感じる
中学生	助け合いが大切だなと思いました。
中学生	障害者だからといって自分たちと全く違う種族というわけでもなく、ただ単に１人で生活するのが難しいというだけ。私は障害者だろうが一般人だろうが、助け合っていくのは普通だと思います。
中学生	皆で助け合っていかないといけないと思った。
小学生	とってもかわいそうだと思った。自分はなりたくないと思った。
小学生	こんな風な生活僕は嫌だなー
小学生	障害者になったらいやだなと思った。

中学生	自分がこの人みたいな障害を持っていたらどんな生活や相手からの態度を受けていたのだろう。学校で障害者の子に対して差別的な発言とかちょくちょく見受けられるけど本人はどう感じているのだろう。自分も障害者にはなりたくない。
中学生	自分ができることはなんだろう、自分がもし相手の立場だったら大変だな、嫌だな
小学生	障がい者ではない方は、健常者など別の言い方があるので「障がい」という言葉自体を改めるべきだと思いました
中学生	どんな状態でも、人なのだから差別的なのは、良くないと思う。あと、障がい者っていう呼び方は、あまりよろしくないので、最低でも、漢字の、障の部分を、ひらがなにするべきで、最大だと、障がい者という呼び方をしないことだと思う。
中学生	なぜ障害者と名前をつけなければいけないのか
中学生	部活動でのその子は知能的な発達障害を抱えていて、最初は障害者としていろいろ気を遣いながら接していたのが、その子との会話を重ねるにつれ、障害者という単語が普通の人との壁を作っているように感じた。障害のある人にもその人個人の感情があることを常に考えて、だからといって特別扱いするのではなく、ごく普通の１人の人間として接することがこれから生きていく上で大切なのでは無いだろうか。
小学生	関わらない
小学生	軽蔑されるかもしれないけど自分は正直あまり関わりたくはないと思った
小学生	・あまり自分から積極的に関わろうとしない ・どうすればいいかわからない
中学生	できるだけ関わりたくない。この人たちが普通に生きれるようになればいいのに。無理しないでほしい。
小学生	障害者のための施設が少ないな。
中学生	・体の不自由な方に対する介護にもっと時間をかけてほしい ・もっと自分が不安に思うこと（自分はこういう障がいを持っているのでは？など）を相談できれば、心が軽くなると思う ・足が不自由な人のために、安くて安全性の確保された車椅子を開発してあげてほしい。 ・車椅子や、義足、義手などを使う人にとって住みやすいアパートやマンションを建てて欲しい
中学生	出かける時に車椅子で移動するから近くにいる人たちからよく見られる
中学生	特別にはあまり思ったことがないけど、たまに目で追っかけてしまうことがあります。
小学生	障害者が働けるところをもっと作った方がいい
中学生	障害者だからできないということを最低限まで減らす(特に仕事)
小学生	自分は、あんまり気にしていない。
中学生	なんも気になったことない
中学生	ありがとう
中学生	ありがとうございました。
小学生	障がい者の人々を救う。障がいをなくす薬は作られないかなと思いました。
小学生	覚えていません。
小学生	障がいのある人とは、関わってもべつに問題はない
中学生	心の病は色々な病名があると思う

※内容別の件数【一般調査】

内　　容	件数（件）
①　障がいの理解、障がい者の個性や特性の尊重について	42
②　障がいのある人との関わり方、接する際に配慮することについて	35
③　障がいのある人とのコミュニケーション等を難しく感じた	30
④　障がいのある人を近くで支える人について	26
⑤　自分と違うところがあり大変そうと思った	25
⑥　障がいのある人も暮らしやすい社会づくり、まちづくりについて	24
⑦　接したことで障がいのある人について少し分かった	24
⑧　福祉・医療サービスについて	21
⑨　何かできることがあれば助けたいと思った	20
⑩　その他	120

※各回答内容【一般調査】

①　障がいの理解、障がい者の個性や特性の尊重について（42 件）
内　　容
周囲の理解が進んでいないなと思うことが街中ではよくあります。周りからの視線、すれ違う時に笑うなど、早期から障がい理解を深める学びを取り入れてほしいなと思います。
少しでも、彼らの思いを理解したいです。
人それぞれにいろいろな障がいはあるものの、一人の普通の人として思っています
周りの偏見で傷つけられるのは、如何なものかと思う。その障害について、何も知ろうともしない、理解しようともしない、浅はかな知識だけで知ったつもりになるのもどうかと思う。障害はあっても、1 人の人間です。一個人として、その人を理解し接するような世の中になってほしいと私は思います。
障がいのあるなしに関わらず、何かしら困っている人達にさりげなく手をさしのべることができる、冷たい目を向けるのではなく、「どうしましたか？」と声をかける人がもっともっと増えて欲しいなぁと心から思います。 そのために、障がい者と言う言葉だけではなく色々な困り感をかかえている人がいる、ということを小さいときから学んで、受け入れて認めてあげるような教育をしていかないといけないと思います。人と話すのが苦手な人、伝え方が得意ではない人、それだけで嫌な思いを自分も相手もしてしまう。そんな時、障がい者に優しく寄り添うお手本のような存在は必要だと思います。もっと、学校と支援学校の交流等もあったらいいのでは、と思います。子ども達は、クラスが学校に障がいのある児童生徒がいない限り、なかなか障がいのある人と関わる機会がありません。小学校の時から、障がいのある人との交流があれば、学校の外で出会ったときに多少なりの理解や関心を持つことができると思います。 障がいのある人にもっともっと理解を持って、みんなに優しい街になって欲しいです。
関わる相手、それぞれの方に思うこと感じることは異なります。重症心身障害とされる方々に対しては、今何を考えていらっしゃるだろうか、何がしたいだろうか、不快ではないか、楽しみは何か、何を伝えようとされてるのか、など、その時その時にその方の思いを知りたいなと思います。発達障害の子や方、精神障害の方と接すると、まずは相手の方がどういう感じ方や考え方や感覚を持っていらっしゃるのかを考えますが、その方々の言動が自分の常識とかけ離れているときに、どういう形でその言動になるのかを知ろうと思う前に腹が立ってしまうこともあります。ただそれはお互い様だとも思うので、相手のことも知ろうと思いますし、一般的か「特性」と言われることを学ぼうと思います。肢体不自由の方、進行性の疾患がある方には、その方への心への配慮もありますし、身体的な補助はどうしたらいいかを知りたいと思います。 全てひっくるめてみると、基本は「障害者支援」についての「知識」が必要だと思うし、学びたいと思います。障害があるとされる方々と接していくうちに、結局は友人のうちの 1 人となったり、知り合いのうちの 1 人となったり、特別感はない感覚になるかな、と思います。
宮崎は理解啓発もなにも全てにおいて遅れてる。相談機関相談員ですら理解が乏しく当事者の抱える絶望たるや相当なものである。
家族(子供)にいるので、普段は障害のことは忘れて普通に家族の一員として、普通に楽しく生活しています。よそで、障がいを持った方を見たりふれあったりした時は、皆んな頑張ってるな！すごいな！と思います。でも、時と場合によっては、子供が障がいを持っていることを再認識してしまい、その障がいのことで悩んだりすることもありますが、子供の笑顔を見てると逆に頑張らなくては！と元気をもらいます。障がいがあろうがなかろうが、関係ないです。一人の人として皆んな頑張って生きています。

障がい者に対しては、まだまだ偏見の目はあると思います。口先や見せかけだけの平等ではなく、真の平等を願います。障がいがない人でも困っている時や辛い時、優しくしてもらったり助けてもらったりすると嬉しくなり元気が出てくると思います。障がいのある人だって同じです。ただ、その割合が少し多くなります。それだけです。だから、あまり障がい者だからとか思わず、気楽に普通に接してもらえると嬉しいです。それが真の平等のような気がします。
健常者でも色んな人がいるように、その人の個性だと思う。
みんな何らかの不自由さがあるけれど、みんな同じ人間であり、個性の１つ。だから、みんな違ってみんないいと思う。そんなに特別扱いしなくてもいいし、困ってる時には必要な支援サポートをするといいと思う。
障がい者障がい児共に、同じ人だと思います。
見える障害よりも、見えない障害の方が理解されづらいし、対応されづらい。
パッと見た感じ、健常者に見える方もいらっしゃいますね。宮崎独自の「私、障害者なんです」「こんなことが苦手です。こんなときは助けてください」と、知らせることができるステッカーやキーホルダーみたいなものがあるといいなと思います。
社会的障壁を減らしていくべき
障害を前向きにとらえられないのは周りの環境の問題も大きい
障害と言っても、一括りにするのは難しい。その人にとって、親切した事がかえってわるくしたり、まずは、その人を知る事が大事だなと、思います。
健常者からの差別、偏見。心ない言葉。
偏見さえ無ければ健常者とかわらない
特に若年層に対して。パラリンピックがあると一時的に話題にはなるが、もっともっと世間に問題提起するべき。
周囲の無理解
障害がある方も他の患者さんも同じなので障害のある方に対して特別に何かを思うことはありません。
みんなと変わらない
障害は、個性と言われるが実際は、生きていく中で大変だったり困ることが多いのではと思いますが、一部の方々を除いては私たちとほとんど変わらず生活されていると感じた。
健常者と変わりはない。
障がい者は、健常者が作る
特に健常者と何も変わらないと感じる
あまり特別な目で見てないので、普通に接してる為、特に何も感じない。
息子なんですが、幼い時から突発的に感情を抑えられなくなり、喧嘩も度々でした。その度に言い聞かせてきましたが、また同じ事を繰り返します。もう二十歳を過ぎた息子ですが、息子が幼い頃は発達障害などの言葉があまり世間に浸透していなくて、又、私自身も「そんなはずはない、いつか分かってくれる」と、思っていたので、適切な治療や対応もせずに月日が流れてしまいました。何年か前から、ADHD や、学習障害の言葉が聞こえてくるようなりました。今になって治療をした方が良いのではないかと思いますが、本人にどう伝えたら良いか悩みます。「障がい」と言う言葉を息子が受け止められるのか…目に見える障がいなら、周りの人にもすぐに理解してもらえて、手助けも得られるのでしょう。息子の場合は暴力的な子として、世間からの冷たい視線や噂話も色々と聞こえてきます。病院には連れて行ってないので、診断書等もありませんが、思考が乏しい面や暴力的な面から想像すると何らかの障害があるのではないかと感じています。これこら先も、息子の事は心配です。だけど、可愛い我が子です。主人と支え会い、息子を見守っていきます。 見た目で分かる障害だけではなく、息子のような障がいのことが、もっと世間に浸透してくれたら良いなと思います。そしたら、息子も「自分もか？」と、少しずつ受け入れて治療をしてくれるのではないかと思ったりもします。
回りの理解が足りない
障害はその人の個性だと思っています。思いやりを持って接することが１番いいのかなと思っています
生きにくさを感じる。見た目でわからない障がいへの理解が乏しいと感じる。こころや身体へのケアが充足する社会をもとめます。
職場が病院であり、日常的に関わっているため何かを特別に感じたことはない。
生活の中で工夫が必要ですが、関わり方によって感情的になるのは障がいの有無に限らずある事だと思います。皆が同じ人間として尊重できればと思います。
普通の人とちと、違うだけで健常者より断然、普通以上の人??
一人一人の価値は同じ
障害を持つ方も普通だということ。
多かれ少なかれ人は心身になんらかの劣等感を持ってると思うのでそれを含めて人で良いと思う。
健常者と変わらず、望む生活があり、大切にしていることを抱えている。
理解が大切！を強く思うが、昔ながらの偏見をもつ人が多いことも感じる

自立されている方は、健常者と同じような生活をしているし、悩みもほとんど同じで、障害が目に見えるか見えないかの違いだけである。
以前、介護職施設で働いたので色々な障害の方と関わって来ましたが、障害者の方が多いのに街や公の場、スーパーなどで見かけるのが少ないです。行動範囲が限られていると思います。不自由な生活をしいられています。 人目なのか、社会の仕組みなのか、ハード面なのか、教育なのか、人手不足なのか、健常者と比べ平等だと言い難いです。もし、自分が障害者だったらという立場、思いで考えて下さい。
まだまだ宮崎は障害のある方に対して偏見や差別が多いと思います。 また町自体も住みにくそうに感じることが多いです。

② 障がいのある人との関わり方、接する際に配慮することについて（35 件）

内　　容
見た目にわからない場合も多いでしょうが、わかる場合は相手の障害の状況にあった行動や対応をする。
お一人お一人に応じて必要な配慮があると思う。
知的障害と自閉症スペクトラムの娘は、根っから優しくピュアで小さい頃の笑顔そのままで 21 歳になった。それも妻を始め、周りの同じ障がい児・者を家族にもつ友人や知人、支援する先生方、福祉支援士の方々の助けと努力があってこそここまで来れている。 しかし、障がいのない子供(兄弟など)への支援も同じように心を向けねばならない。ベクトルの向きは違えどパワーは同じくらい注がねばならない、ということを娘には教えられている。
補聴器をつけているので、さほど会話に支障はないので、普通に接しています。
当事者の立場、思いを理解する事が、とても大事だと感じる。単なる同情や理解のない支援は返って相手を傷つける事になる事と、いつも思う。どんな障害でも、その人一人一人皆違う事を忘れてはいけないと思う。
健常者と同じように接する難しさ。
あからさまに、いたわっている感じや世話をしてあげている感じで接してしまうと、かえって嫌がられると思うので、なるべく普通に、を心掛け、やや話すスピードをゆっくりめにしたり、反応や様子をみながら、自分が落ち着いてコミュニケーションをとる様にしています。
『よかれと思って』の上から目線で関わる方が多いです。対等な関係でありたい、本人がしたいことのお手伝いをするのがいいと思います。
障がいがあって動けなかったり、喋れなかったりする方も、考えたり、感じたりすることができ、色んなことを経験してきている。障がいのある方はそれらの気持ちを表現することが難しいのでまわりが感じとる力や気持ちに寄り添えることが大事だと思う。
何でも支援するのではなく、その人の想いや尊厳を大事にし、必要な支援は何かを確認しながら対応することが大事だと思う。 私が関わっている方々は色んなことを諦めて生活しているように思う。支援者が一緒に取り組むことで出来ることが多々あることを説明するが、直ぐに無理だと諦めてしまう。また、支援することで依存的になる方もおり、難しさも感じている。
人それぞれに付き合い方があるように、障がいにもそれぞれ特性があり、その特性を理解した上で付き合う必要があるということ。
適度な手助けの見極めが難しい
過度に対応しないよう注意しながらも、その人の意思を尊重し、その人にどんな援助が必要かをよく考えながら接したいと感じている。
関わり始めた時は、大変だろうな…可哀想だな…生きづらいだろうな…などと思ってしまいますが、毎日関わっていると、健常者と同じように感じるようになります。
どういう対応をすると、その方にとって嬉しく思えるだろうと接すると思います。
障がい者の方本人に確認しなければ、何が本当の援助になるのかわからない。健常者がしてあげているという気持ちはただのエゴだ。
大変そうだが、同情して接すると侮辱していると取られるかもしれないので複雑。
障害者の立場で考える必要があるということ
特にありません 普通に接しています
気を使ってあげるのは当たり前だが、普段の何変わらない接し方が大事だと思う
一人ひとりに違った関わり方がある。その人に合った対応がある。
特に障がいがあると意識せずに話したり、出かけたりしても大丈夫だと気づいた。助けを求められれば協力すれば良いかと思って接している。
自分の親せきは耳が聴こえないのですが、テレビを観るときに字幕が必要だったなと思い設定し直しました。テレビや動画サイトでも割とすぐ字幕で観れるのでテクノロジーの進歩に驚いた次第です。

親御さんは自分がいなくなった先のことを考えると心配だろうなと思います。その子の兄弟の将来にも関係してくるし。 私は医療機関で働いていてそこに通う患者さんとスタッフとして関わっています。障がいがある方や自閉がある方はできるだけ同じスタッフで対応するようにして、保護者の方がずっと安心して通わせられる場でありたいなと思っています。
障害者だからと言って、出すぎた事をしない。だからといって、何もしない。では、ダメ。そこの線引きが、難しい。
職業柄接することがあり、初動は理解できないところもありますが【精神疾患等】オリンピック等見てると懸命に生きてる姿を拝見すると生きてることには変わらないなと感じられます。話を聞いてあげる、理解しようとする姿が健常者の役目なのではと痛感します。
目が不自由な親戚がいますが、それなりに気は遣いますが、特別な対応はしておりません。同じ人間ですから。
本人が不自由と思っていない場合は、無理やり手を出す必要はなく、その人が必要な時は本人が声をかけてきたら手伝ったりするのが良いと思う。その人を尊重することが大切だと思います。
本人が、障害に向かっている時、自分なりのサポートをしなければならないと考えます。障害を理解することも、大事だけど自分の分からない障害を持つ人への対応は難しいと思います。
自分も、似たようなことがある。お互いの気持ちがわかったら、わかり合える。
息子が自閉症で、学校も支援学校に通っています。同じ自閉症の子でもそれぞれ違う特徴がありその子に合った事を色々考えこの先もずっと携わっていきたいです。
健康な人と変わらない対応をしたほうがいい
相手の障害を自分に置き換えてみてどんなところで不便さを感じるのかを考えます。
障害のある人も、自分でできることから取り組んで、将来的には自立して生活できるように援助していくことが大切
家族がみることの限界と障害者自身の生き方の尊重の難しさ

③　障がいのある人とのコミュニケーション等を難しく感じた（30 件）
内　　容
障害のある人、その家族との接し方に、戸惑いを感じる事がある。特別扱いをせずに自然な形の接し方とは?そこのところが良く分からない。
関わり方の大変さ
相手の気持ちや自分がとっている態度や返事が、合っているのかどうかがわからず、嫌な気持ちにさせていないか…と思う事が時々ある。
伝えたい事がうまく伝わらず、理解してあげれなかった。以前、仕事をしていた時ですが、ご両親にどのように伝えたら良いかが難しかった。
精神障害等の見えない障害への対応の難しさを感じた。障害があるから特別に配慮した方がいいという訳ではないが、何らかの配慮でお互いがスムーズにコミュニケーションできるのならどうにかしたい。
ご家族の大変さや、、本人とのコミュニケーションのとりかたなど普通に接しているつもりでも、なかなか伝わらないことも多く困ることも時々ある
意思の疎通が難しいと思う時がある
どんな風に対応すればいいのかわからない。関わり方がわからない。
普通に接する事が難しい。気を遣ってなくても、相手にはそう感じられてるようで、良かれと思ってやった事が差別だと言われどうすればいいかわからなくなる。
障害者の方が周りの人の手助けが必要なのか、障害にふれずそっとしていて欲しいのかがよくわからないと思った事があります。
手伝いたくても、どこまで手を出していいのか分からない
障がい者への声かけやお手伝いなど、どこまですればいいのか分からないことがある
自分の考えや意思が伝わっているのか
どう接するべきなのかを知らない。特に精神的な疾患の方との関わり方。
どこまで手を貸していいのかの見極めが難しい。
普通に接しようとしているが、向こうがどう感じているかは不明。
どのように接して良いか分からない。手助けをしたいと思うが、どう言った言葉をかければ失礼にならないか、考えてしまう。
一度車椅子の方に何かお手伝い出来る事はありますか？とお聞きしましたが…結構です！と断られました。それから声を掛けるのが怖いですね…。怖いのではなく、迷惑なのかな？と躊躇してしまいます。
情報交換するのがむずかしい。
コミュニケーションの取り方関わり方が難しい

どうやって接していいかわからない
手助け等必要な時もあるが、どこまでしていいのか、どう求められているのか、経験・知識不足な面もあるため、関わりが終わった後も悩みます。
どのように関わって良いかわからない時がある。どんな援助をしてあげたら良いかわからない。
自然に振る舞うことを意識しすぎて、相手に助けが必要な時に自分がきづきにくい
一言に障がいと言っても各々で違う。特にこころの問題を抱えている方との関わり方が難しいなと感じたことがある。
どこまでこちらの思いが伝わってるのか、判断しづらい。
仕事上、お客様と接する場合はどこまで手を差し伸べていいのか、普通に接したほうがいいのか難しい時がある。３年前、父が倒れたことで初めて家族に障害者がいる生活となったが、家族でもやはりコミュニケーションがとれなかったり、国の制度上どうしようもない状態で非常にもどかしい気持ちになったことがたくさんあります。
接し方など対応するのが難しいと感じる
自分は職業柄昨年度まで、障害者の方々と接していたので、町で出会った時など何か手伝える事は無いかと考えます。しかし、見ず知らずの者が声かけする事で、不快な思いをされるかもしれないと思い、声かけを躊躇してしまいます。困っている時に声を出して頂けると何か役に立てるかもしれません。
手助けをする事が正義か見守る事が正しいかいつも迷う。

④　障がいのある人を近くで支える人について（26 件）

内　　容
介護士がストレスを溜めて、患者に暴力を振るうニュースもありました。障がい者のお世話をすることは、ストレスが溜まります。障がい者に対する理解を高めるだけでなく、お世話している方たちのストレスを解消できるような工夫が必要だと思います。仕事としてお世話してる方もいますが、様々な事情により家族がみている場合もあります。ストレスを溜め込んだらどうなるでしょうか。今度は、お世話している方が精神的な病気になったり体調を崩したりするのではないでしょうか。 障がいだと理解していても、ストレスを溜めないようにするのは難しいと思います。私がこの件に関して知っているのは極わずかですが、お世話している方がノイローゼにならないような環境があればいいと思いました。
介護している人は大変。
親が大変。
知的障害の子供と接することがあるが、とにかく親の負担が大きすぎると思う。高齢者からは昔の状況と比べて良くなったと言われるが、それで良しとは到底思えない。親や支援者への援助が障害者本人への福祉に繋がると思う。
身体的に障害のある家族は施設の人や自分達の補助が必要で、自らが出来ることが限られていること。
支える人がいないと、生きていけないと思う
頑張って生活されてるな、家族も大変だよね
主に仕事で関わっていた頃は、とにかく理解者になろうと、言葉にできない感情への配慮やサポートに尽力してきました。身体的な事は目に見えますが、行動の裏にある、心の中の事などは観察が必要で、なかなか寄り添うというのは簡単ではないこともあると感じましたが、感動も多かったです。生活の中で、支え合い生きてきましたが、周りのサポートに助けられたり、逆に依存しすぎて支え合うバランスを崩したこともありました。自分が幼いと、緊急性の判断にも欠け、リスク管理も難しく、専門的な大人が必要と感じることも多かったです。そういう時代を生きてきたので、現代とはまた少し違うのかもしれません。
自分の障害と向き合えている人、そうでない人がいて後者の方達について支援してくれる人や心身ともに支えてくれる人がいるのかと疑問に思ったことがありました。
周囲の理解が必要。家族だから介護ができているのだろう。しかし、介護者の苦労は理解されていない。
嫁が介護士として働いており障害者との関わりがありますが、大変だと言うのは精神疾患を持っている方だと言います。ですが今の世の中は少子高齢化にばかり目がいってて障害者に対する支援、勉強会など現場で働く自分たちにも足りない。
障がいのある方でも暮らしやすい社会であれるよう、身近な人たちのサポートや理解が必要だと感じる。
とにかく家族が大変だなと。障害者の子供を持つ親は、自分が他界したあとが心配でならないようだ。 あと障害者本人とその家族がすめる施設（延岡にあるような）が増えるといいと思う。また障害者の施設で働くスタッフの給料は少し高めにしないと人が集まらないと思う。
時々しか会えない私でも日々の暮らしを支える事は難儀な事だと感じます。一緒にいる幸せは感じますが、毎日関わる人は本当に大変な事だと思います。
仕事をしながら入居している家族の手続きやその他の雑用を行っているが大変だと感じる

発達障害は本人たちの困り事を大人がサポートしてあげる大切さをとても感じます。あとはとっても素直なこ達が多いなぁと思います。 あとは家族以外の場で子供達をサポートしてくれる方々のありがたさ 親も子供もリフレッシュ出来てとてもいい経験ができ自信を付けて帰って来るのでありがたいです。
本人もだが、家族も大変。周りが支えて行くことが大切だと思う。
家族の身体的負担は大きく、デイサービス等のサポートがなければ支えきれないと思います。
子供の話ですが、発達障害で通院してます。新薬ともなれば毎回の薬代は大きいです。中学生なので今は無料ですが、４月から高校生になるので高額なのが不安になります。 関わりについては、この子の個性と思って接していますが、正直大変です。見た目？は普通なので。話が通じない事もあるしこだわりが強いし、なんで普通に受け止めてくれないんだろうと何度も思います。これは毎日関わってる人じゃないとわからないと思います。
周囲の人に支えられ、守られなくてはいけない。
障がい者自身だけでなく、支える家族の負担や苦労
家族の方等の大変さがよく伝わってきます。
介護が大変です。
私は時々しか会わないけど、毎日看てる人は大変だなーと思いました。
家族や身近な人、施設の方などのサポートがとても必要だと思いました。
回りのサポートが大切

⑤　自分と違うところがあり大変そうと思った（25 件）

内　　容
職場パートの仕事先でレジ係なのでたまにお客様で障害のある方が来られますが、１人で車いすで来られている人は大変だなと感じます。 介護人やボランティアの人達が手助け出来るようになってほしいです。 私もパートで生活（金銭面）で仕事していますが、両膝が人工関節なので歳を重ねる度に不安に感じています。障害者の方の不安も感じます。
見てて大変だなと思うし、また家族や周りの人もいつも心配だろうし、健康の有り難さをかんじます。
受け入れてもらうのが大変だなぁ
障がいを持ちながら社会生活を送る難しさをかんじました。
大変そうだな、と思います。正直、自分とは違う人として見てます。
いろいろ不便だろうと感じる
実際に障害者になってから不自由さの多い事に気がついた
活動範囲が狭い、不自由や不便が多い、理解されない
不自由な面がたくさんあると思います。
特に何もない。身体的障害で疲れやすいのならそういうものだろうと感じている。
本人はしたくてしていることではないのだろうが、どうしてもしてしまい辛そうにしているところを見ると、生きづらそうに感じて、少しでも支援になることをしてあげたいと思う。
体を使って仕事するのが大変そうだと思った。日常生活でも不便そうに感じた。
健常者の自分とは違い、生活に制約があり大変そうだと思う。
一つの動作に時間がかかり、不自由そうで大変だと思う。手伝えることがあれば積極的に関わっていきたい。
その方は障がいを感じさせないくらい明るい方なので、普段はあまり感じないのですが、病気になったりすると健常者よりは重くなるよう話を本人から聞くと、やはり色々と考えることはあります。
大変だなと思います。
生活しててどれくらい不便なのかわからない。又、都道府県や地域で不便差があるかも？宮崎じゃ車がないと不便だが、、、って感じかな～
お気の毒である
障害に応じて駐車場を探したりするのが大変
健常者と比べて不自由な事などが多いと感じる。
大変そうと思う
大変だ
大変そうだなぁ～
私が関わる方は、歩行はできるが階段がのぼれない方です。階段や段差が多く、エレベーターやスロープがない場所が多いので、行くのをあきらめたりすることが多いです。車の運転や歩行ができてもこんなにも不便なんだと感じます。

大変そうだなあ。家族も大変だろうなあ？

⑥　障がいのある人も暮らしやすい社会づくり、まちづくりについて（24 件）

内　　容
家庭内に障害者がいます。日々福祉に助けられていて本当にありがたいのですが、やはりどうしても家庭内で抱え込む状況が多かったり、家族以外に頼れる場所が限られていて将来的な不安は拭えません。本人ができることが限られる中で、障害者が一生を通して安心して生きられる社会的な仕組みや理解がもっともっと増えてほしいと思っています。
身体的、知的、精神的な障害があったとしても俗に言う健常者とは何ら変わらず、周囲の理解や支援があることで住み慣れた地域の中で暮らすことは可能であると感じた。
親が面倒を見てくれればまだいいが、親がその権利を放棄して施設に入れてしまった子供が 20 歳をすぎたときに（成人して施設から出なければならないとき）どんな風に生きていくのかが心配。
障害に理解がある世の中、障害があっても生きやすい世の中になって欲しい。
一人で生きていくのは大変だと思う国や周りの人の助けと理解が必要だと思う
障がいの有無にかかわらず、皆が安心して生活できるような社会であってほしいと思います。
その方が過ごされる環境によって、生活をしていく障害の度合いが変わるものだと思うので、それぞれの障害に応じた環境をできるだけ準備できるといいと思う。そして、それは高齢者にとっても過ごしやすい環境になると思う。
制度の見直し
メガネをかけている人を障がい者とは言わないように、身体、知的等の障害者という括りがなくなると良いと思う。なんらかのサポートが必要な方が当たり前に地域に暮らすことができる街になってほしい。
お互いに思いやりを持って個性を認め合い個性を活かせる社会になると良いなぁと思います。
それぞれに理由があり、それぞれが尊重される社会が必要であると感じている。
その人を取り巻く環境が過ごしやすい環境にすることが大切だと思う。
また国や市町村の制度が確立、浸透できればと思う。
社会の受け入れがもっと整備されると良い
テレビとか見ていて感じるのは、電車やバスに車椅子の方やベビーカーを持っている人が気持ち良く利用ができる社会になれば良いなと思います。
障がいがある等、余り感じたことはなく、それぞれに一人一人の個性がある人たちと思って接しています。また、共生社会はそうでないといけないと思っています。 ご高齢な方、幼い子供たち、体の不自由な方、心の病を含め、人に優しい社会であってほしいと願います。
困ったことや傷つくことがなくなるような社会になってほしい
障がいのある方々と健常者にはまだまだ格差もあり、障がいのある方々が住みやすい環境ではないと思います。ハード面、ソフト面のバリアフリーをお願い致します。
五体満足は当たり前ではない事、障がい者が住み良い街づくりをするべき。
障がいの区分や度合いによっては、就職も難しいため、その場合は親の負担がとても大きい。自分も子を持つ親として、自分に置き換えた場合、将来がとても不安に感じることからも、行政をはじめさまざまな社会的サポートを充実させ、その受け皿を作っていく必要があると感じる。一方、予算面での懸念や障がい者に対する偏見もゼロではないため、バランスが難しいと思う。
私も、障がい者支援の資格を持っており、65 歳になると、高齢者扱いになり、一貫したサービスや計画、その方の今までの生活や環境も出来なくなっています。地域の支援も限られるなどもあり、障がいがあるが、ご本人が望む生き方が出来る世界になってほしいです。出来ないではなく、少しでも出来るように。 皆さんが、体験して理解が進み、いつ自分自身がそうなっても、支援や、補助が有ることを、若いうちから、繰り返し学びの場をもうけ、それぞれの人生が、自分らしく、自分を卑下することなく、命をたたず、最後まで全う出来るように、なってほしいです。
日本の障害者福祉の遅れや意識の低さに愕然とします。更に宮崎は本当に遅れていると思います。老人福祉ばかりではなく、障害者福祉にももっと力を注ぐべきだと思います。
障害のある人に対して、優しく暮らしやすい世の中であって欲しいと思います。
障害がある人がもっと住みやすい環境にしてほしい。金銭面でもとても不安に感じている人がいます。

⑦　接したことで障がいのある人について少し分かった（24 件）

内　　容
姉は出生時の低酸素の後遺症で構音障害がある。会話がとても聞き取りにくい。

不便さはあると思うが、工夫して日常生活を送っている。どんな人も、病気をするが、それが、表面に継続して出ている状態だと思う。
発達障害の子ですが話してても見かけも健常者と変わらない感じなのでいじめられたりしそうです。その子の個性特性を理解されないと生きづらいのではないかなと思います。
理解するのに時間がかかるが、信頼関係を持つと長く付き合う方が多い。
精神障がいになると一見よくわからない。精神疾患は快方に向かっているのに、障がい年金をもらうため悪くふるまっていると聞いたことがある。
ふだんは健常者と変わりませんが、脳と気持ちが一致せず、不安定な時期があり、薬の処方を忘れると異常行動をするので心配になることがあります。
見た目で分かる障がいもあれば、見た目では分からない障がいもある。
義妹がペースメーカーを入れ、その妹の子供(甥っ子)が自閉症です。何も変わらない。甥っ子は甘えてきたりするともっと可愛いと感じます。
こだわりがある
本人が望んでいることと周囲の考えの違いがあったりする。障がいにも色々あるので、一見分からない方もいるが、そういった方は特に周囲の病識の理解が必要だったりする。
家族の中に心臓の手術をして障害者手帳をもらった話を聞き、身体の障害ではないから聞かないとわからないことだと思いました。
貧困な家庭、裕福な家庭で差が見える。そもそも親が精神的な障害を抱えていると、子が障害を抱えていても充分な福祉が受けられずに、家で引きこもっていたりし、近所に迷惑がかかる。精神的な障害の方が大変だと思う。
体が不自由な方と、聴覚のかたがいます。いつも、ニコニコ笑顔で話してくれます。相手を思いやる気持ちが、とても強く感じます。すごく、尊敬します。
私も身体障がい者ですが障がい者の皆さんの悩みは家族の事が一番多いようです。
ニコニコ笑うと可愛い！ゆっくりだけど、その子のペースで成長してる
私が関わった障がいを持っている方々は出会いを楽しんでいるように感じました。
困っていることが一人ひとり違う。
体は不自由でも、人としてキラキラ輝く人たちが多いと感じる。
障害者とはっきり診断がある人とそうではないがそれに近い人では対応が全然違う。診断された人だけが障害者ではない。
障がいは見た目ではわからないものも多い。
人より苦労している分、人に優しくできる方が多いと感じました。
自分は今うつ病で発達障害です
サポートを受けきちんと理解して生活されている方もいらっしゃる事
自分の力だけで行動できる範囲が狭い。コロナ禍で尚のこと。

⑧　福祉・医療サービスについて（21 件）

内　　容
預ける施設がもっと充実して欲しい。施設の数が少ない。
障がい者家族の心のケアや、障がい者との関わり方、公的支援の情報提供、またこの先の生活の悩みを相談して一緒に解決していけるような窓口となる場所が少ないのかなと感じる。
外見は健常者ですが、本人にしかわからない痛みや苦しみがでてる時は、何をしてあげたらいいのかわからない。仕事も普通の人達と毎日同じようにはできないし、自宅での仕事も締め切りがあるとストレスから体調をこわす。まだ親もいるから、何とか生活してますが、こういった子にも、支援の場所があるといいのですが、
身体障害者の方で本当に苦しんでいる人は沢山いる。今は軽い状態でも、すぐに精神疾患と言って生活保障をもらっている人が沢山いる。本当に必要な人にお金が行き届くように対策をして欲しい。
・ヘルプマークの認知が進んでいない ・義足と車椅子の両方に補助を出して欲しい
重度の障害の方もですが軽度の見た目ではなかなかわからない障害を持った方へのサポートや補助を拡充して頂きたい。
高齢者に対する介護より、手薄で人材が不足している。知識も不足している。行政が優しくない。
65 歳超えると障害者の制度に制限がかかり、介護保険となるため、貯蓄のない人には負担となる。障害者は、貯蓄が少ない人が多いため、老後まで障害者制度が利用出来ると助かると思う。

仕事柄いわゆる発達障害の(疑われるような子も含めて)子どもたちを相手にすることが多い。 3 歳半健診でチェックが入らないと親御さんは障害児というレッテルを貼られなかったことで安心するが、それは一時的なもので結果的に「健常だけど手のかかる子」として苦労することになる。育て方の問題だとか、いずれ改善するとかで消化されてしまい、適切なアドバイスや治療が受けられないままになっている。周囲の人は薄々感じていても中々伝えづらいのが実情だと思う。 就学前健診では普通学級に入れるかの問題もあり、健常であることを否定しづらい時期になる。4-5 歳くらいだと色んなことができるようになり、周囲の子との違いもはっきりしてくるので、この時期に自動的に(任意ではなく、自覚がないとか、診断に抵抗がある場合でも)カウンセリングを受けられる環境が整備されるとよいと思う。
子供が小さい頃、障害に対して、情報がなかなかなく…はき出す場所がなく辛い思いをした事があった…
ヘルパー事業所、移動支援、ガイドヘルパーの不足を当事者が感じており数が足りない。医療ケアが必要な子どものデイサービス、日中一時、ショートの事業所数は増えてきたが人員、質〔活動、遊びの支援〕が向上すればと家族から聞く。
家は障害と言っても段階的には低いんやけどやっぱり低くても、正直、仕事も出来ない状態なので、生活が困難になるのし、それなりの補助があったら有り難いです。
正直、障害を持つことは大変ではあるけど、補助金が充実しすぎて裕福に暮らせているひとがいます。もう少し厳しくして欲しいです。
地域によって、受けられるサービスに差がある。保護者がサービスについて詳しく知らない、またそのため利用しない。
障害認定を厳しくするべきである。
障がい者本人というより親に問題があることが多いと思います。職員の質の向上のために研修があるように、親にも子供の特性理解のための場を作るべきかと思っています。生活環境のせいで発達障がいと診断される子供も多いと感じます。きちんとした家庭で育っていれば発達障がいと診断されることもなかっただろうと思うこともあります。親が障がい年金欲しさに異常なしと診断された子供を何度も病院に連れていくという実態もあります。障がいのある人と関わる仕事は大変ですがやりがいもあります。しかし、親の障がいに対する理解のなさにジレンマも感じます。 障がい者にたくさんの税金をつかっていることに疑問もあります。使うのが悪いといっているのではなく、これだけ障がい者に使える税金があるなら健常児にももう少し手厚くてもいいのでは？と思ってしまいます。私だけでなく、職員のほとんどが思っています。生活介護、日中一時、短期入所をフルで使われる区分が高い方になると障がい者年金と合わせて年間 700 万くらいは税金が使われると思います。一人にそれだけ使えるのであれば、貧困家庭の健常児にももう少し手をさしのべてあげて欲しいというのが正直なところです。 あとは、職員の給料も上げないと働きたい人が減り、人員確保が難しくなった結果少ない人数で重度障がい者をみることになり、仕事の大変さから虐待に繋がる恐れがあると思います。いくら虐待研修をしても、やはり人間が人間を支援するしごとなので、充分な人員が確保でき心にゆとりを持って支援することが質の高いサービスには必要だと感じます。
介護保険制度？ができてから、障がい者の方の、「サービスを受けて当たり前、お金を払っているんだから、元以上にこき使わないと損」と思う方が増えた気がします。雇い主と使用人の関係と勘違いをされているのだろうと思います。 自分は難病でいつ身体が不自由になるか分かりませんが、仕事としてでも手を差し伸べてくれた人には「ありがとう」と言える人でありたい。
医療機関で働いているので障碍のある患者さんは時々入院されます。障碍のある方を支える資源や社会ではありますが、受け入れてくれる医療機関はまだまだ宮崎は少ないと思います。みんな平等に一度の人生を健やかに過ごせる環境作りは課題だと感じます。
福祉サービス充実により、介護保険で支援しきれない部分や介護保険適応外の方の支援が可能になっている印象で、在宅生活支援は必要なサービスだと思う。同時に医療、介護との分け方など、ある程度分かりやすく提示があるとありがたく思います。
障害者生活が毎日苦労して生活しています。ある女性は、甲状腺手術後ダラダラ生活保護者が生活しています。家族名義車で平気で運転しながら。生活保護支給停止手続きして下さい。生活保護詐欺疑いになるのではないですか？障害者に対して社会人になる様に頑張っている姿を間近で見てほしいです。
障害を持ってても収入がある程度あると医療費を払わなくてはいけない。高額になるので平等にしてほしい。

⑨　何かできることがあれば助けたいと思った（20 件）

内　　容
日常生活に支障があるのではないか、又周囲の目が気になるのではないかと思う。 困っている所に遭遇したら手を貸してあげたいと思います。
わずかながらでも力になりたい
前向きに、自分らしく生きてもらえるように、お手伝いがしたい。

きっと日常生活で大変なことがたくさんあると思うので、どうすればお互いに過ごしやすくなるだろうかと考える。
出来ないことは加勢してあげたい
自分なりの支援をしてあげたい
何か支えになればと思います
自分が助けてあげることはないか
自分にできることがあれば、できる限り力になって支援していきたい。
困ってる問題があれば一緒に解決策を考えたい
何か力になれる事はしたい
できることは手伝おう
手伝ってあげたい
手伝えることは、やろうと思う。障害があると大変だなと感じる。
私は障害者施設で働いています！障害者の方でも上手く話しができない人手足や目が見えない人や日常生活が自分で出来る人などいろんな障害を持った方がたくさんいる事を感じました！もっと障害者の役にたって困ってる障害者を助けていきたいと思った！
大変な事が多いと思うので、できる限り協力したい
できるだけ健常者と同じように生活できるように、自分にできるサポートをしたい。
力になれたらと思いますとてもきれいな心を持ってて素敵だなって思います得意なことを頑張れる、認めてもらえる場が増えたら嬉しいです
何か手伝える事はないか、色々話を聞く機会がもっとあれば良い
出来る範囲で相手が望むのであれば手助けがしたい

⑩　その他（120 件）
内　　容
◆障がいのある人と関わって感じたこと、考えたことについて
さまざまな場面で健常者より時間がかかることを忘れずに、常に心と時間にゆとりを持って行動することが大切であり、そうした心がけが、事故やミスの防止にもつながると思った。
コミュニケーションがやはり下手で、でも挨拶をしてくれたり、話掛けたりしてくれると嬉しくなります。とても気分屋ですが、それも個性と思って接しています。
身体障害に比べて、知的障害や発達障害は目に見えないものなので、支援を受けることが難しいし、周囲の理解を得るのが難しいと思う。 また、ご自分に障害があることを認識されていない方も多く、適切な支援を受けることができていない方も多いと思う。
まだまだ知らないことばかりで、どのようなサポートがあればいいのかをもっと考える必要があると感じた。
深く関わると理解できる部分もあるが、面倒くさくなる部分も出てくる。
他人に同じ様な理解を持ってもらうのは難しい
色んな人の協力が大切になってくると感じた。
職場で関わりの多い方が身障者手帳を持っていると分かった時に、驚いた。障害者の定義は、自分が思っているよりも広いのだろうと感じた。
特性は人それぞれで、解決策や正解は無いが、共通することは、コミュニケーションの場が多い人ほど、生きることを前向きに捉え、その人を取り巻く環境も明るい印象がある。
普通に接しているので特に感じる事もないが生活をしていくなかで、ひと手間はかかる。
看護師として働いているので、「障害」に対しても教育を受けてきています。ですので、障害にたいして、いい意味でも悪い意味でも鈍感になっている部分があります。
親戚なので、特に違和感なく接してきているので、特に何も感じないが、他人となると違うのかもしれない
補助することが大切だと感じる反面、自分でできることはしようとする方が多いので、過剰な補助・対応は必要ないなとかんじた。
障害者の方やご家族とお話しして、将来への不安、経済的な不安を聞いてやるせない気持ちになりました。私に何ができるか？どうすれば良いのか？思いました。
本人がサポートを必要か否かの意思表示が必要
◆障がい者は自分と特に変わらないと感じた
他人事ではなく、自分達と同じだと常々感じています。
障害者は自分の延長線にあって仲間

友人に聴覚障害の子がおり、基本手話を使って話している。補聴器をつけている子が多かったが、付けてない子もいて見た目は一般人と区別がつかないと思った。また耳が聞こえないが、その他のことは全然普通の人と変わらず話していて楽しかった(ろう者の文化も知ることができて面白い)。
特にない。普通と変わらない。
別に何も他の人と変わらない
軽度で日常では問題ないので特に感じない
軽度で日常では問題ないので特に感じない
いたって普通な感じ
特別に感じることはないです。健常者となんら変わりない。
普通の方と変わりない。言いたいことは言われるしして欲しい時も訴えられるが、こちらが分からず聞き返しても一生懸命答えてくれます。
障害の影響以外は普通の方と何ら変わらないため、普段と変わらず接しています。
障害があっても、普通の人にしか見えない人もいて障害者と一括りにするべきではないと思いました
●障害者も健常者も同じと感じた 障害者施設（主に身体）で実習・ボランティアに行った時は、障害者も仕事をサボったり無視したりしているのを見たときに感じました。「ああ障害者もサボる」　また、施設内で車椅子を押してあげようとしたら、「車が好きだから、自分で押したい」と高速で進んで行ったのは印象的でした。障害者施設（種別問わず）合同イベントでは、Ａさんが女性や女の子に良くないことをしており、狙いを定めていることからも、障害者だから犯罪しても許されるのは・・・と色々と思いました。※この時は職員に報連相済みです。
特に 思ったことはありませんが、お話をすると 健常者とかわりなく 楽しくお話できるので 関わってよかったと思います。
◆障がいのある人の就労について
1 番に感じることは、障がい者が働ける会社が少ない。 会社だけでなく、職種ももっと増えるといいと感じる。本人が今の職場が合わないと感じても働き口が少なく、中々職場を変える選択が取れないのが現状。
障がいがありながらも仕事を懸命にされる姿をみて、もっと働きやすい環境がととのうと良いなと感じる。
社会に出てからの企業の障がい者雇用の為のサポートを勉強して、雇用してほしいです。これから就職する子供の事を考えると、就職はとても不安です。
知的障害者の方への仕事を教えることの難しさ。
小さい子供や学生のうちは、受け入れ先が充実(それでもすくないほうでしょうが)しているようですが、成人をしてから受け入れてくださる施設や職場が少ないように感じます。宮崎に、働きながら、社会との関わりを持ちながら生活ができるような施設がもっともっとできると、助かる障害者の方やそのご家族が沢山いらっしゃるんじゃないかと思います。障害者の方やそのご家族の将来への心配が、少しでも緩和されるといいのにな。と思います。
・雇用してもその後の配慮がなさすぎる ・精神の雇用はハードルが高い ・仕事の幅が狭い ・障害者雇用のガイドライン等、知識の補完が出来る資料を作成し、自治体が率先して障害者を雇用し、企業に対しても啓発を進めて欲しい
健常者と一緒に働いて生きていける環境を作っていけたらなとおもいます。
障害者雇用を考える。
働く環境が全く整っていない。
障がい者の子が働くお給料もっと高くていいと思う
精神疾患の方と仕事する場合、スムーズな仕事が出来ない場合も多く、周りの人のサポートが必須になりますが、同じ労働者の方の負担が大きいのは事実です。そこをサポートする手立ても必要です。
◆障がいのある人を見習いたい、尊敬すると思った
普通の人（健常者）と何ら変わりないなと思った。むしろ、五体満足の人と比べ産まれたときからの場合は特に忍耐強く事象の受容に感心を抱く（ありのまま受け入れる力）。
障がい者だからこそ視点に納得することがある。
素直な心に感心します。
知的障害を抱えてはいるが、色々と支援してもらいながら仕事もして、働けるのに働かない人がいる中で立派に生活していると思った。
身体はとても華奢で、歩くのも大変そうですが、その方は知能には問題なく、むしろ優秀です。頑張ってらっしゃると思います。尊敬します。私も身体が弱いので見習いたいです。
自分の不得意分野が その人はとても優れている。体に障害があっても自分の特性を活かし、職場では無くてはならない存在になっていて、尊敬している

一生懸命に日々を生きている。自分には何でもないことが、一つ一つ信じられないような時間がかかったり、努力が必要だったりする。それでも、腐ることもなく障害のない人と同じように、何も諦めずに生活していることに、心から尊敬の念があり、いつも励まされる。
耳の不自由な方と一緒にお仕事する機会があり、メールのみでのやり取りでしたが、障害関係なく丁重にお仕事されていて、障害者だからといって全く関係ないんだなと感じました。いつも本当に尊敬するくらい勉強になっております。
手が不自由でも自分でできることが多くすごいと思った
知り合った頃は、「大変そう。かわいそう。」といかにも自分が上から目線のような考え方をしていたが、長くたくさんの聴覚障がい者と関わると、「不便なことや苦労もあるが、努力をしておられ、その生活や生き方考え方に学ぶことが多い」と感じる。
◆バリアフリー等の障がい者にやさしいまちづくりについて
設備環境を整える。
お店ひとつにしても、車椅子だとドアの狭さや段差を気にしないといけなくて気軽に立ち寄れない。もっと住みやすい街になったらいいんだろいなと思う。でも同時に自分に何ができるんだろうと思う。無力さを感じる。
例えば、街中にはまだまだ車椅子の方が自立を求める場合に行けない所が多く、助けてが必要。例えばまだまだホテルのトイレや飲食店の入り口、トイレ、歩道の段差やガタガタ
近所に事故で不自由になられた方がいます。時々車椅子で散歩に出られてます。車などが減速せず家の角を曲がってくるので自分自身も怖い思いもしたことがあります。他の家の入り口にはミラーがあるのですが、たまたま、この入り口にはミラーがないのであるといいなあと思いました。
道路の整備がおくれている、メンテナンスが追いついていない
障がい者の人にとって、不便な事が多いのを感じます。お店など、段差があって、車椅子で入れないなど。
点字ブロックなどの整備など自分がこうなったらどうして欲しいかもっと考えて欲しい。と言ってました。
インフラの整備
ショッピングの場所で売り場（通る場所が狭い）
◆頑張っている、努力している、前向きな人たちだと思った
一生懸命生きている
頑張ってる。大変そうだ。
障がい者と感じさせない 強く優しい努力家な人なので、アンケートの欲しい答えは出てこない
純粋な気持ちで頑張っている方が多いと思います。
一生懸命頑張っておられる。 特にどうということもなく、普通の光景である。
前向きな印象があります
その人の努力もあるのでしょうが、明るく前向きに生活されている。
ひとりの人間として自立した生活を送ろうとリハビリに一生懸命取り組んでいます。
他の人よりも繊細であったり、弱い部分があるが、生きることに一生懸命である。
◆特にない
特になし
特に無し
特にない
特に無いです。
特になし
特になし
特にありません
特になし
特にない
◆障がいのある人の将来の心配について
将来的に本人が高齢になった時が心配
発達障がいが持つ弟がいるが、障がいによって個性も様々なので、関わり方も研修等で学んだようにはなかなか上手くいかないことが多い。 将来的に生活できるかどうか不安を感じる
知的障害者は見た目にわかりにくい方も多く、時に誤解を受けやすいと思う。そのような方の親亡き後の生活など、課題が多い。
親が亡くなった後、社会生活の不安
身内がいなくなったときの将来など考えさせられることはある。

我が子だけじゃなく、その他の障害を抱える人達の家族が亡くなった後が心配。
今は家族の支えがあっても、ご両親が亡くなられたりしたときはどうするのだろう、自立のサポートなどはあるのだろうかと考えた。
◆障がいのある子どもの教育環境について
普通学校に通う障がい児の環境は、とても生きにくいです。改善されてきているのでしょうが、先生方の意識改革、教育が必要なのではないでしょうか？
不登校や引きこもりや離職の原因に発達障害が原因の場合がある。それは、本人だけのせいではなく、周りの理解が無いことも大きい原因だと思う。特に学校現場で特別支援教育を治らない障害と捉えていたり、SST がなされずに薬だけに頼れば良いの考えは、かなり間違っている。子供も保護者も可哀想に思う。
理解が進む事が大切。学校の教員の増員が不可欠。
仕事の関係で発達障害児と思われる子どもと接する機会が多いが、親が診断を受けないので適切な学習が受けられないことで子どもにとってマイナスではと感じることがある。
◆障がいのある人への情報提供について
本人にしか分からない不便さや生活していく上で困ることがある。障がい者に関わることの少ない人たちの知識の低さから来る、無関心気の利かなさや。市役所や行政機関の対応の質の低下。情報提供に関するコミュニケーション不足。障がい者に対する有利な情報も積極的に伝えていくべき。
行政手続について、サポートが必要だが、サポート機関がよく知られていないと思う。
障がい者の生活のしづらさを減らすための衣食住の工夫や社会資源の活用の実際などの紹介などが紙面や色々な機会にあると良いと感じます。家族の気付きや早めの対応、障害の共有にもなると思います。
◆誰でも障がい者になる可能性があることについて
誰もが障害者になり得る
いつ自分がその様な状態になるか分からない。なので出来る限り気持ちに寄り添っていきたいと感じてます。
過去、家族にいましたので、身近に感じ、自分も家族がそうなるかもしれません。
◆少数意見（その他）
何回も同じことを言わなくてはいけないので、とても面倒くさい。出来れば関わりたくない。
元は一般的な職場におり専門家ではないが、今の職場が福祉の現場で接する機会は多い。普通に接して、助けがいる時だけ助ければ良いとは思っているが、特別な人という感覚はなくならない。なので人一倍気を使ってしまい、ぎこちない。 ちなみに父親の従姉妹に障害者がいた(身体的な障害な人と知的な障害の人それぞれ)が、その人には普通に接していた。他人と親族の違いがあった。逆に障害がある子を持つ親などは、優遇？気を使ってもらって当たり前というような言動をとる人もいて、それはどうなのか？と思ったこともある。知的な障害のある子が、勝手に他人の家に入ってきて、用を足したり、何度も家に入ろうとしたりしたこと。それも、しょうがないことと見守ることなのか？と疑問を感じる。非難すると心のない人だと思われるのか、葛藤があった。そんな意味でもできたら関わりたくないと思ってしまう。だが、それも罪悪感がある。というのが率直な思いです。
障害者の方は自分の意思で行動するのが難しいと勝手に思っていました。しかし、私の友達のお姉さんが障害を持っていて、よく遊びに行きますが、自分の足で行動することが難しいけど、行動することができ、とてもびっくりしました。自分の意思で生きるということを頑張っている姿に私も自分の意思を貫き通して生きていきたいと感じました。
周りにそのような人がいたら気配りを欠かさなくやることを心掛けるようになりました。
特に何も思わない
特に感じない
身近に心に関する障がいを持ってる方がいます。障がい者だとわかっていても、不審な行動を取られるとストレスに感じることがあります。身体は元気だからこそ、行動範囲が広く、いろんな方に迷惑をかけることもあると思います。特に、毎日世話をしている方は大変だと思います。障がい者だからと言って見下したり馬鹿にしたりしてはいけません。
気の毒だとは思う。考え方が前向きではなく諦めていて乗り越えて欲しいと思う。健常者よりも良い人生にすることだってできるのです。チャンスもあります。例えば、乙武さんのように。まあ、関わる人間関係、人的環境等が大事ということですが。
耳と目が両方不自由な友人がいて、接触手話を覚えたが、会えない期間が長くなり、忘れてしまいましたが、大好きな友人の一人です。
普通に歩けて日常生活が自立出来ている事がどんなに幸せなことか実感する。普通は奇跡である。
世の中は、健常者優先、効率優先、右利き優先にできている。多数派優先でもある。
その障害を持ってみないと本当の気持ちや大変さはわからない。
障がいに応じる、個々人に応じる感性を大事にしたい。
五体満足な人は、もっと頑張らないといけない。

自分がその立場だったらどうなんだろう？って
障害者は、常に身近にいるということ。
福祉には、限界がある。
何も影響ない

２．福祉への関心などについて

（１）関心のある分野

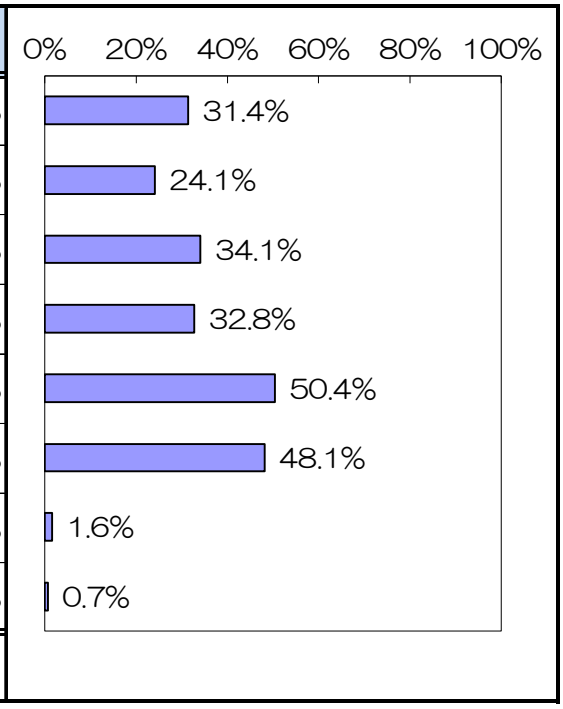
【小学生調査】
問．次のうち、あなたが今、関心のある問題はどれですか。（○は３つまで）
【中学生調査】
問．次のうち、あなたが今、関心のある問題はどれですか。（○は３つまで）
【一般調査】
問．次のうち、あなたが今、関心のある問題はどれですか。（○は３つまで）

小中学生調査では、「環境（自然保護や動物愛護などについて）」が 50.4%と最も高く、次いで、「人権（みんなで差別のない社会を実現することについて）」の 48.1%、「福祉（みんなが安心して暮らしていけることについて）」の 34.1%の順となっている。

一般調査では、「福祉」が 52.2%と最も高く、次いで、「教育」の 51.6%、「経済」の 49.8%の順となっている。

※小中学生調査

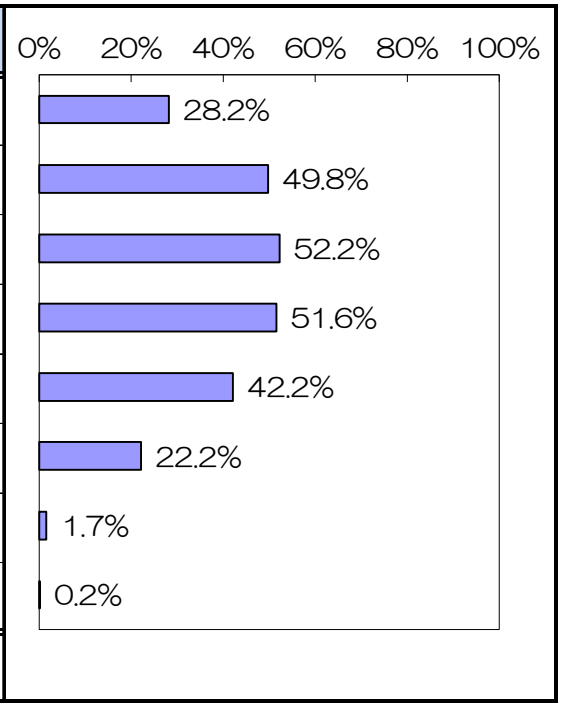
選択肢	回答数	割合
政治（すみやすいくらしのために、みんなで考え、みんなで決めることについて）	1,842	31.4%
経済（ものを売買して、みんなが豊かになることについて）	1,414	24.1%
福祉（みんなが安心して暮らしていけることについて）	2,003	34.1%
教育（勉強のことや、学校生活全体について）	1,924	32.8%
環境（自然保護や動物愛護などについて）	2,960	50.4%
人権（みんなで差別のない社会を実現することについて）	2,823	48.1%
その他	93	1.6%
無回答	41	0.7%
サンプル数	5,868	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
政治（すみやすいくらしのために、みんなで考え、みんなで決めることについて）	1,842	1,098	744
	31.4%	32.4%	30.0%
経済（ものを売買して、みんなが豊かになることについて）	1,414	671	743
	24.1%	19.8%	29.9%
福祉（みんなが安心して暮らしていけることについて）	2,003	1,253	750
	34.1%	37.0%	30.2%
教育（勉強のことや、学校生活全体について）	1,924	1,029	895
	32.8%	30.4%	36.1%
環境（自然保護や動物愛護などについて）	2,960	1,824	1,136
	50.4%	53.9%	45.8%
人権（みんなで差別のない社会を実現することについて）	2,823	1,656	1,167
	48.1%	48.9%	47.0%
その他	93	47	46
	1.6%	1.4%	1.9%
無回答	41	31	10
	0.7%	0.9%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
政治	186	28.2%
経済	328	49.8%
福祉	344	52.2%
教育	340	51.6%
環境	278	42.2%
人権	146	22.2%
その他	11	1.7%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	－



（２）福祉への関心

【小学生調査】
問．あなたは福祉の問題についてどのくらい関心がありますか。
（それぞれ○はひとつだけ）

【中学生調査】
問．あなたは福祉の問題についてどのくらい関心がありますか。
（それぞれ○はひとつだけ）

【一般調査】
問．あなたは福祉の問題についてどのくらい関心がありますか。
（それぞれ○はひとつだけ）

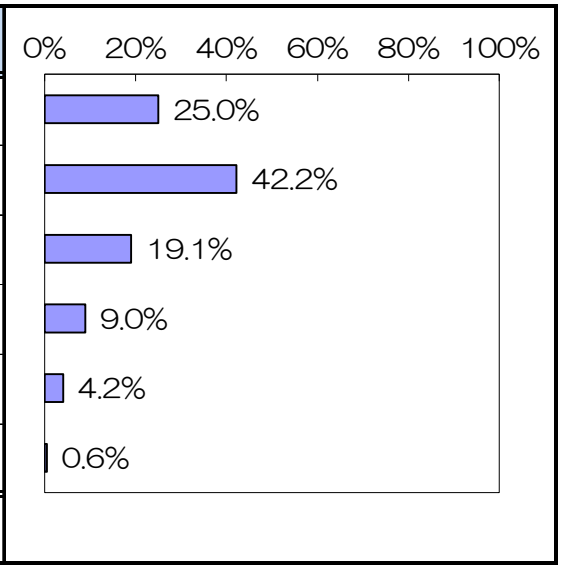
① 障がい者の問題

小中学生調査では、「まあまあ関心がある」が 42.2%と最も高く、次いで、「関心がある」の 25.0%、「どちらでもない」の 19.1%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ関心がある」が 41.4%と最も高く、次いで、「関心がある」の 35.2%、「どちらでもない」の 15.6%の順となっている。

※小中学生調査

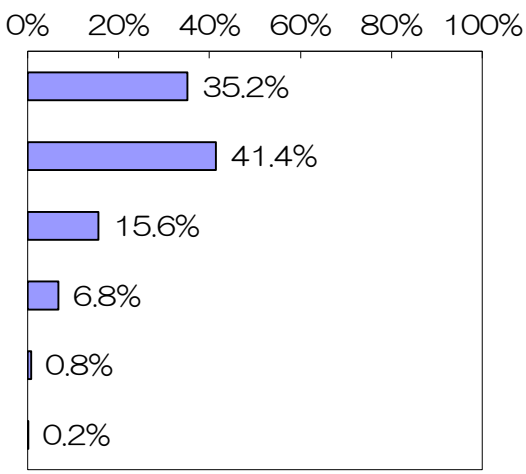
選択肢	回答数	割合
関心がある	1,467	25.0%
まあまあ関心がある	2,475	42.2%
どちらでもない	1,120	19.1%
あまり関心がない	528	9.0%
関心がない	244	4.2%
無回答	34	0.6%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
関心がある	1,467	891	576
	25.0%	26.3%	23.2%
まあまあ関心がある	2,475	1,426	1,049
	42.2%	42.1%	42.3%
どちらでもない	1,120	582	538
	19.1%	17.2%	21.7%
あまり関心がない	528	315	213
	9.0%	9.3%	8.6%
関心がない	244	147	97
	4.2%	4.3%	3.9%
無回答	34	26	8
	0.6%	0.8%	0.3%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
関心がある	232	35.2%
まあまあ関心がある	273	41.4%
どちらでもない	103	15.6%
あまり関心がない	45	6.8%
関心がない	5	0.8%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



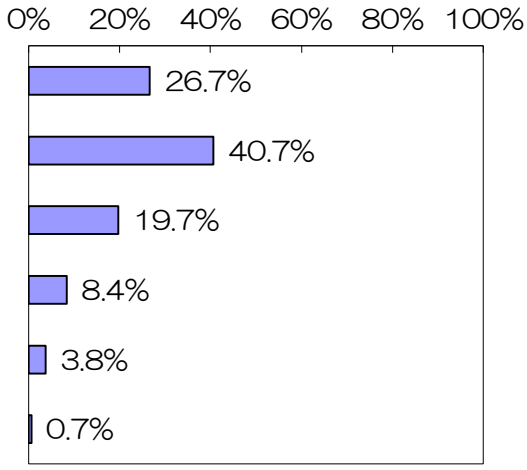
② 高齢者の問題（小・中：お年寄りの問題）

小中学生調査では、「まあまあ関心がある」が 40.7%と最も高く、次いで、「関心がある」の 26.7%、「どちらでもない」の 19.7%の順となっている。

一般調査では、「関心がある」が 44.6%と最も高く、次いで、「まあまあ関心がある」の 40.8%、「どちらでもない」の 8.3%の順となっている。

※小中学生調査

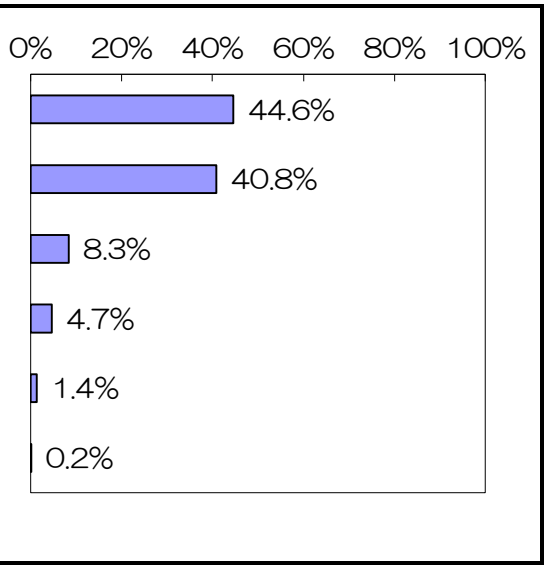
選択肢	回答数	割合
関心がある	1,567	26.7%
まあまあ関心がある	2,387	40.7%
どちらでもない	1,155	19.7%
あまり関心がない	495	8.4%
関心がない	224	3.8%
無回答	40	0.7%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
関心がある	1,567	940	627
	26.7%	27.8%	25.3%
まあまあ関心がある	2,387	1,362	1,025
	40.7%	40.2%	41.3%
どちらでもない	1,155	630	525
	19.7%	18.6%	21.2%
あまり関心がない	495	301	194
	8.4%	8.9%	7.8%
関心がない	224	124	100
	3.8%	3.7%	4.0%
無回答	40	30	10
	0.7%	0.9%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
関心がある	294	44.6%
まあまあ関心がある	269	40.8%
どちらでもない	55	8.3%
あまり関心がない	31	4.7%
関心がない	9	1.4%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



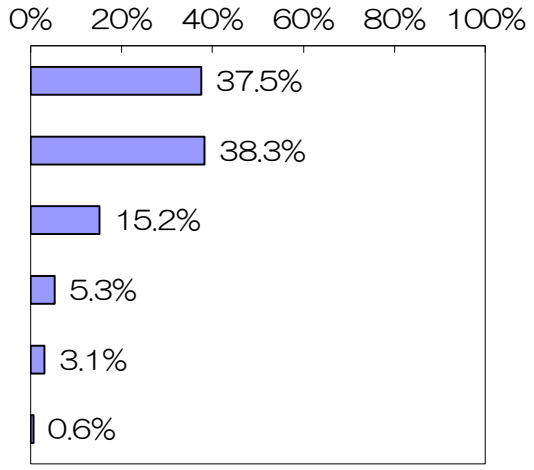
③ 子どもの問題

小中学生調査では、「まあまあ関心がある」が 38.3%と最も高く、次いで、「関心がある」の 37.5%、「どちらでもない」の 15.2%の順となっている。

一般調査では、「関心がある」が 64.3%と最も高く、次いで、「まあまあ関心がある」の 22.9%、「どちらでもない」の 7.1%の順となっている。

※小中学生調査

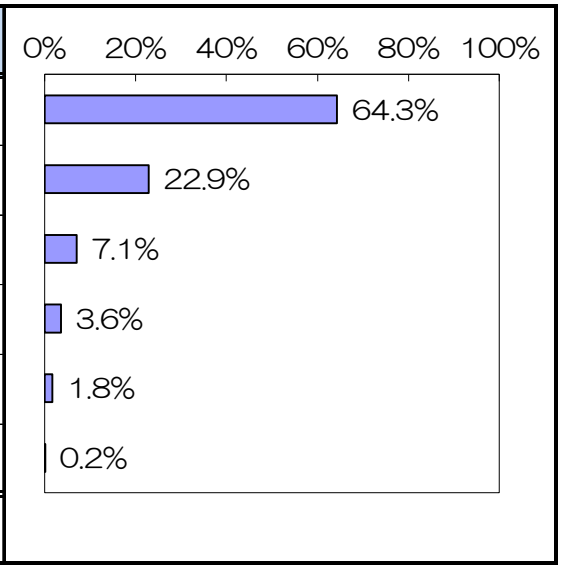
選択肢	回答数	割合
関心がある	2,201	37.5%
まあまあ関心がある	2,245	38.3%
どちらでもない	890	15.2%
あまり関心がない	312	5.3%
関心がない	183	3.1%
無回答	37	0.6%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
関心がある	2,201	1,240	961
	37.5%	36.6%	38.7%
まあまあ関心がある	2,245	1,345	900
	38.3%	39.7%	36.3%
どちらでもない	890	470	420
	15.2%	13.9%	16.9%
あまり関心がない	312	203	109
	5.3%	6.0%	4.4%
関心がない	183	102	81
	3.1%	3.0%	3.3%
無回答	37	27	10
	0.6%	0.8%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
関心がある	424	64.3%
まあまあ関心がある	151	22.9%
どちらでもない	47	7.1%
あまり関心がない	24	3.6%
関心がない	12	1.8%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



（３）障がいの種類についての認知

【小学生調査】
問．あなたは以下の障がいについて知っていますか。（それぞれ○はひとつだけ）
【中学生調査】
問．あなたは以下の障がいについて知っていますか。（それぞれ○はひとつだけ）
【一般調査】
問．あなたは以下の障がいについて知っていますか。（それぞれ○はひとつだけ）

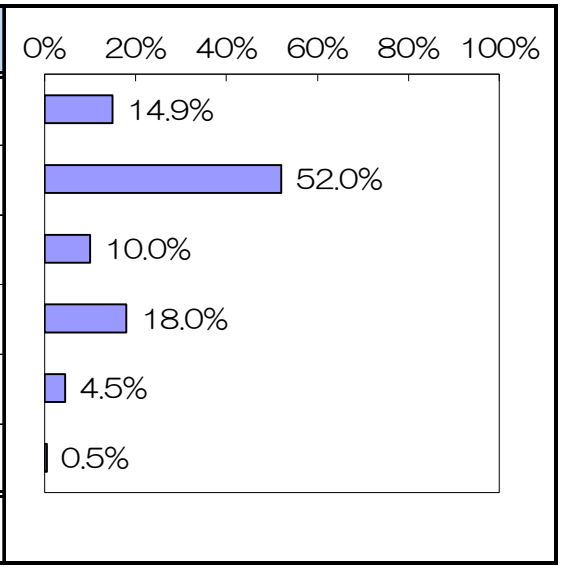
① 身体障がい

小中学生調査では、「まあまあ知っている」が 52.0%と最も高く、次いで、「あまり知らない」の 18.0%、「十分知っている」の 14.9%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ知っている」が 55.7%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 17.8%、「十分知っている」の 15.5%の順となっている。

※小中学生調査

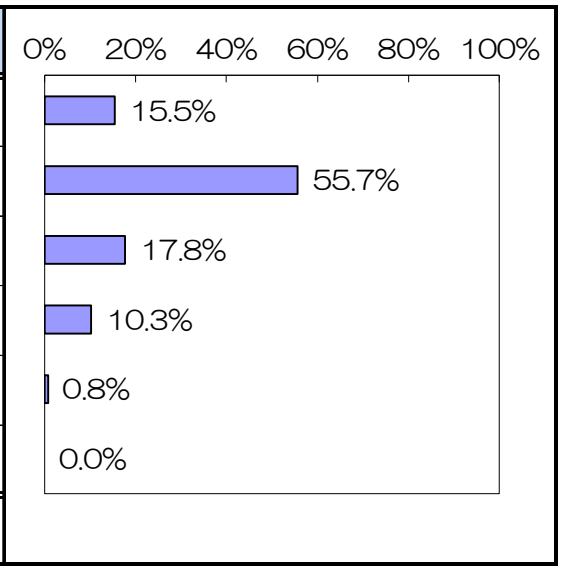
選択肢	回答数	割合
十分知っている	875	14.9%
まあまあ知っている	3,054	52.0%
どちらでもない	586	10.0%
あまり知らない	1,059	18.0%
全く知らない	265	4.5%
無回答	29	0.5%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分知っている	875	504	371
	14.9%	14.9%	15.0%
まあまあ知っている	3,054	1,700	1,354
	52.0%	50.2%	54.6%
どちらでもない	586	310	276
	10.0%	9.2%	11.1%
あまり知らない	1,059	647	412
	18.0%	19.1%	16.6%
全く知らない	265	202	63
	4.5%	6.0%	2.5%
無回答	29	24	5
	0.5%	0.7%	0.2%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分知っている	102	15.5%
まあまあ知っている	367	55.7%
どちらでもない	117	17.8%
あまり知らない	68	10.3%
全く知らない	5	0.8%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	100.0%



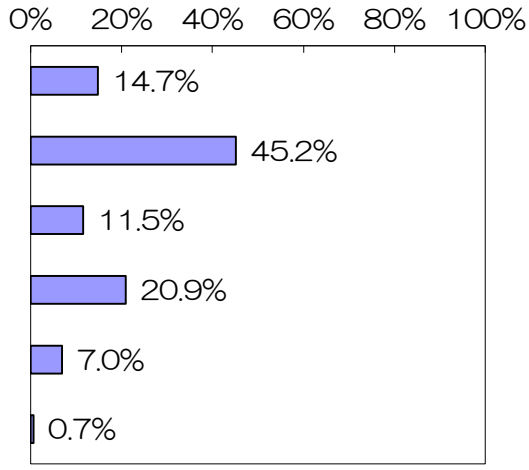
② 知的障がい

小中学生調査では、「まあまあ知っている」が 45.2%と最も高く、次いで、「あまり知らない」の 20.9%、「十分知っている」の 14.7%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ知っている」が 52.7%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 18.5%、「十分知っている」の 14.3%の順となっている。

※小中学生調査

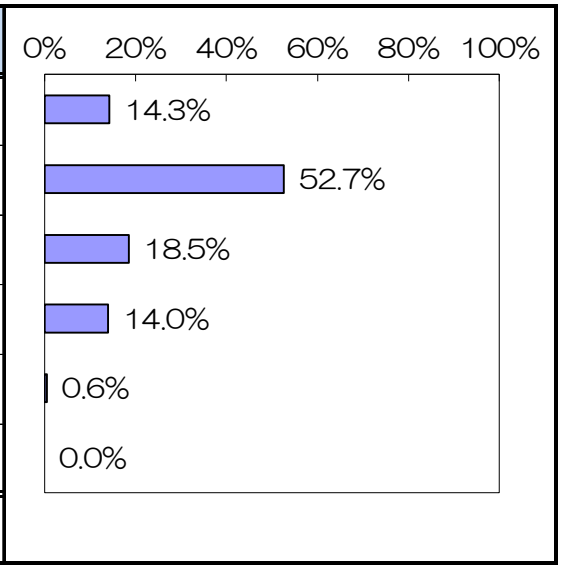
選択肢	回答数	割合
十分知っている	865	14.7%
まあまあ知っている	2,651	45.2%
どちらでもない	677	11.5%
あまり知らない	1,224	20.9%
全く知らない	410	7.0%
無回答	41	0.7%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分知っている	865	492	373
	14.7%	14.5%	15.0%
まあまあ知っている	2,651	1,396	1,255
	45.2%	41.2%	50.6%
どちらでもない	677	377	300
	11.5%	11.1%	12.1%
あまり知らない	1,224	773	451
	20.9%	22.8%	18.2%
全く知らない	410	322	88
	7.0%	9.5%	3.5%
無回答	41	27	14
	0.7%	0.8%	0.6%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分知っている	94	14.3%
まあまあ知っている	347	52.7%
どちらでもない	122	18.5%
あまり知らない	92	14.0%
全く知らない	4	0.6%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	100.0%



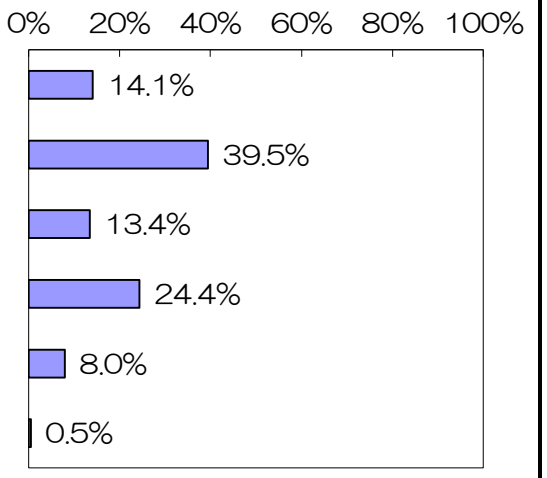
③ 精神障がい

小中学生調査では、「まあまあ知っている」が 39.5%と最も高く、次いで、「あまり知らない」の 24.4%、「十分知っている」の 14.1%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ知っている」が 44.8%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 21.2%、「あまり知らない」の 21.1%の順となっている。

※小中学生調査

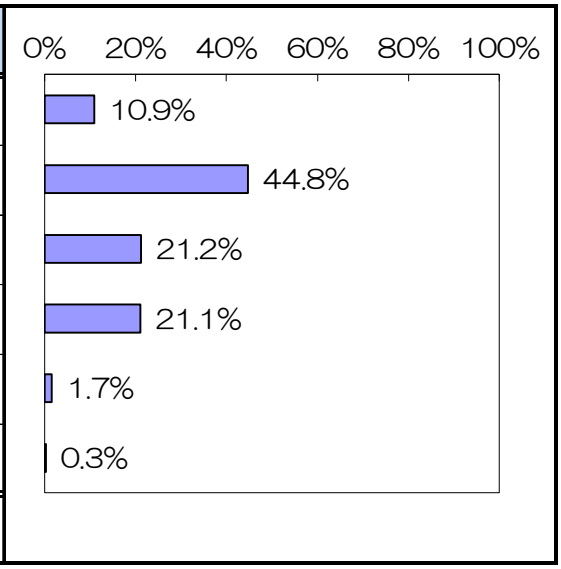
選択肢	回答数	割合
十分知っている	830	14.1%
まあまあ知っている	2,316	39.5%
どちらでもない	789	13.4%
あまり知らない	1,431	24.4%
全く知らない	470	8.0%
無回答	32	0.5%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分知っている	830	508	322
	14.1%	15.0%	13.0%
まあまあ知っている	2,316	1,345	971
	39.5%	39.7%	39.1%
どちらでもない	789	408	381
	13.4%	12.0%	15.4%
あまり知らない	1,431	769	662
	24.4%	22.7%	26.7%
全く知らない	470	336	134
	8.0%	9.9%	5.4%
無回答	32	21	11
	0.5%	0.6%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分知っている	72	10.9%
まあまあ知っている	295	44.8%
どちらでもない	140	21.2%
あまり知らない	139	21.1%
全く知らない	11	1.7%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%



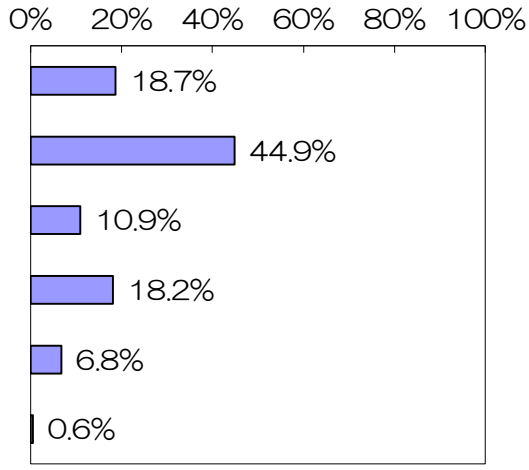
③-1 発達障がい

小中学生調査では、「まあまあ知っている」が 44.9%と最も高く、次いで、「十分知っている」の 18.7%、「あまり知らない」の 18.2%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ知っている」が 50.7%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 17.8%、「あまり知らない」の 15.6%の順となっている。

※小中学生調査

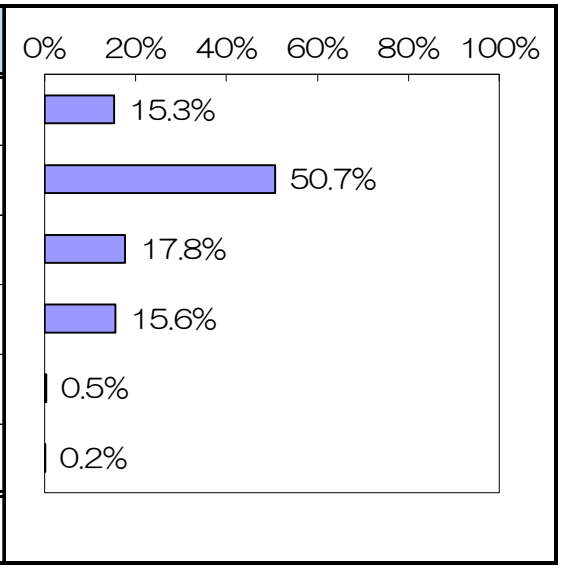
選択肢	回答数	割合
十分知っている	1,096	18.7%
まあまあ知っている	2,635	44.9%
どちらでもない	639	10.9%
あまり知らない	1,066	18.2%
全く知らない	397	6.8%
無回答	35	0.6%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分知っている	1,096	637	459
	18.7%	18.8%	18.5%
まあまあ知っている	2,635	1,395	1,240
	44.9%	41.2%	50.0%
どちらでもない	639	339	300
	10.9%	10.0%	12.1%
あまり知らない	1,066	675	391
	18.2%	19.9%	15.8%
全く知らない	397	319	78
	6.8%	9.4%	3.1%
無回答	35	22	13
	0.6%	0.6%	0.5%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分知っている	101	15.3%
まあまあ知っている	334	50.7%
どちらでもない	117	17.8%
あまり知らない	103	15.6%
全く知らない	3	0.5%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



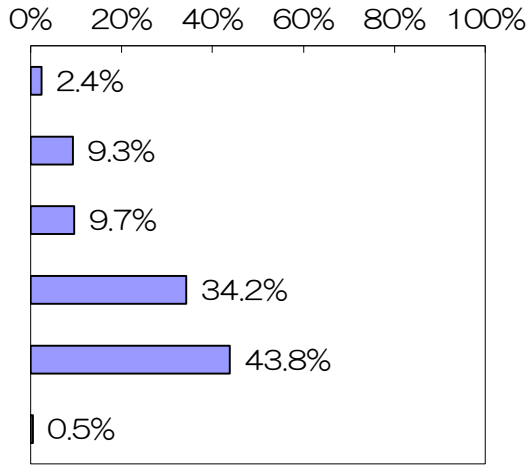
③-2 高次脳機能障がい

小中学生調査では、「全く知らない」が 43.8%と最も高く、次いで、「あまり知らない」の 34.2%、「どちらでもない」の 9.7%の順となっている。

一般調査では、「あまり知らない」が 31.6%と最も高く、次いで、「まあまあ知っている」の 27.5%、「全く知らない」の 19.0%の順となっている。

※小中学生調査

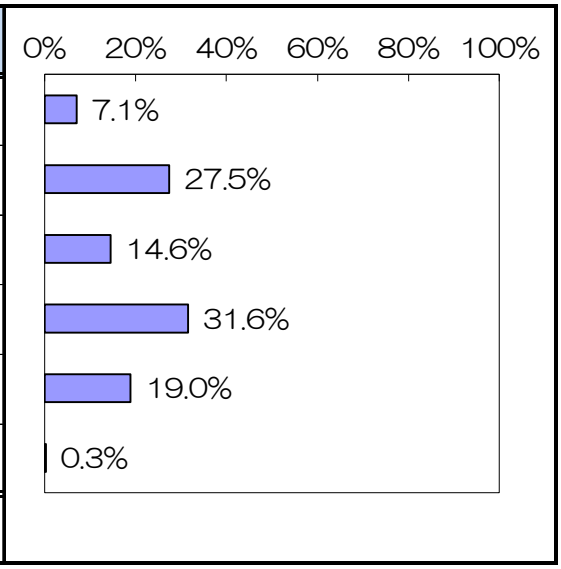
選択肢	回答数	割合
十分知っている	142	2.4%
まあまあ知っている	548	9.3%
どちらでもない	567	9.7%
あまり知らない	2,009	34.2%
全く知らない	2,570	43.8%
無回答	32	0.5%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分知っている	142	83	59
	2.4%	2.5%	2.4%
まあまあ知っている	548	364	184
	9.3%	10.7%	7.4%
どちらでもない	567	332	235
	9.7%	9.8%	9.5%
あまり知らない	2,009	1,203	806
	34.2%	35.5%	32.5%
全く知らない	2,570	1,381	1,189
	43.8%	40.8%	47.9%
無回答	32	24	8
	0.5%	0.7%	0.3%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分知っている	47	7.1%
まあまあ知っている	181	27.5%
どちらでもない	96	14.6%
あまり知らない	208	31.6%
全く知らない	125	19.0%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%



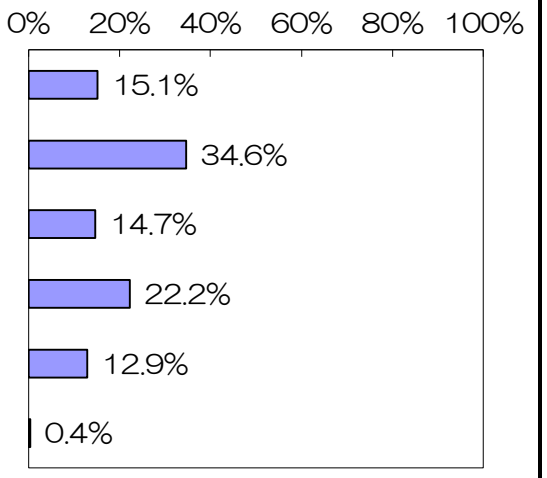
④ 難病

小中学生調査では、「まあまあ知っている」が 34.6%と最も高く、次いで、「あまり知らない」の 22.2%、「十分知っている」の 15.1%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ知っている」が 37.9%と最も高く、次いで、「あまり知らない」の 29.9%、「どちらでもない」の 20.2%の順となっている。

※小中学生調査

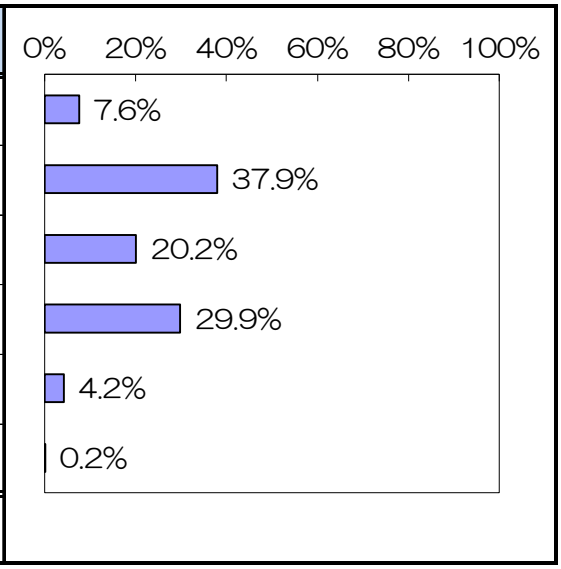
選択肢	回答数	割合
十分知っている	889	15.1%
まあまあ知っている	2,031	34.6%
どちらでもない	864	14.7%
あまり知らない	1,303	22.2%
全く知らない	756	12.9%
無回答	25	0.4%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分知っている	889	547	342
	15.1%	16.1%	13.8%
まあまあ知っている	2,031	1,098	933
	34.6%	32.4%	37.6%
どちらでもない	864	442	422
	14.7%	13.0%	17.0%
あまり知らない	1,303	768	535
	22.2%	22.7%	21.6%
全く知らない	756	514	242
	12.9%	15.2%	9.8%
無回答	25	18	7
	0.4%	0.5%	0.3%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分知っている	50	7.6%
まあまあ知っている	250	37.9%
どちらでもない	133	20.2%
あまり知らない	197	29.9%
全く知らない	28	4.2%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



（４）障がい者への配慮

【小学生調査】
問．あなたは以下の障がい者について理解したり・気づかいができていると思いますか。（それぞれ○はひとつだけ）
【中学生調査】
問．あなたは以下の障がい者について理解・配慮できていると思いますか。（それぞれ○はひとつだけ）
【一般調査】
問．あなたは以下の障がい者について理解・配慮できていると思いますか。（それぞれ○はひとつだけ）

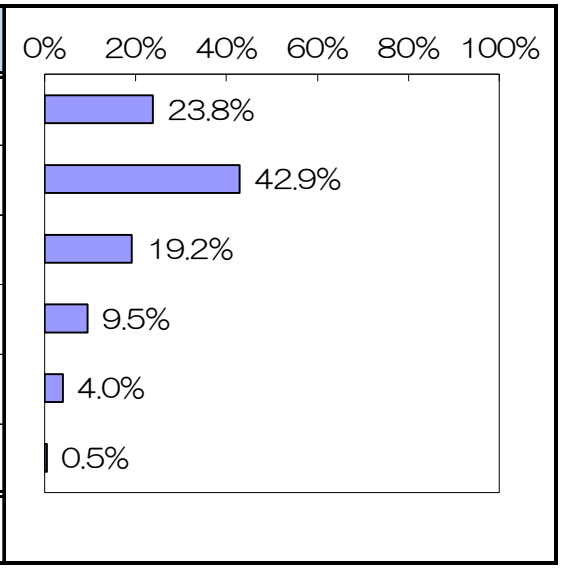
① 身体障がい

小中学生調査では、「まあまあ理解・配慮できている」が 42.9%と最も高く、次いで、「十分理解・配慮できている」の 23.8%、「どちらでもない」の 19.2%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ理解・配慮できている」が 56.9%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 19.4%、「あまり理解・配慮できていない」の 12.3%の順となっている。

※小中学生調査

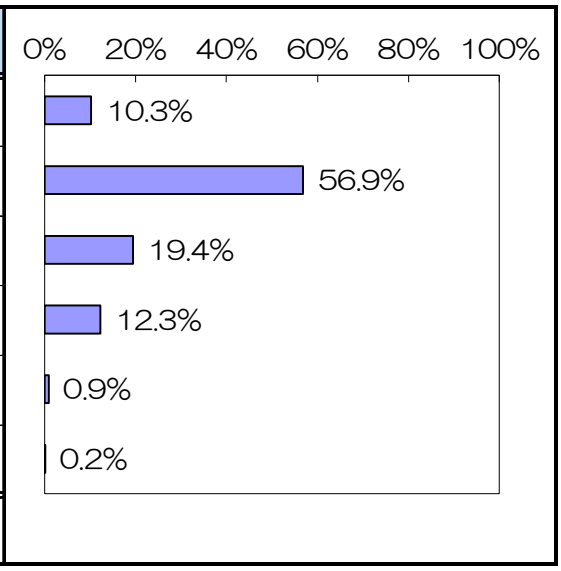
選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	1,399	23.8%
まあまあ理解・配慮できている	2,518	42.9%
どちらでもない	1,129	19.2%
あまり理解・配慮できていない	557	9.5%
全く理解・配慮できていない	234	4.0%
無回答	31	0.5%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分理解・配慮できている	1,399	759	640
	23.8%	22.4%	25.8%
まあまあ理解・配慮できている	2,518	1,316	1,202
	42.9%	38.9%	48.4%
どちらでもない	1,129	721	408
	19.2%	21.3%	16.4%
あまり理解・配慮できていない	557	387	170
	9.5%	11.4%	6.9%
全く理解・配慮できていない	234	183	51
	4.0%	5.4%	2.1%
無回答	31	21	10
	0.5%	0.6%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	68	10.3%
まあまあ理解・配慮できている	375	56.9%
どちらでもない	128	19.4%
あまり理解・配慮できていない	81	12.3%
全く理解・配慮できていない	6	0.9%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



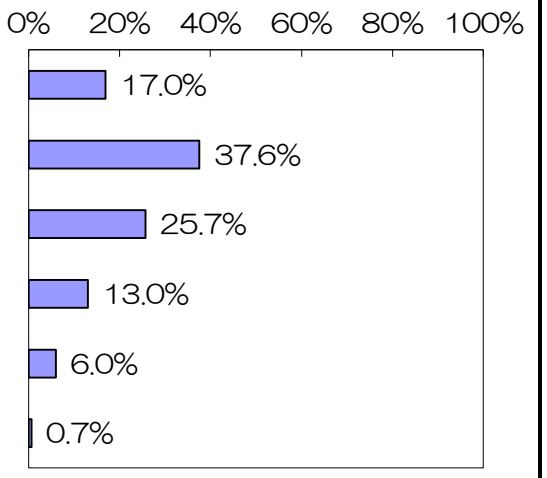
② 知的障がい

小中学生調査では、「まあまあ理解・配慮できている」が 37.6%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 25.7%、「十分理解・配慮できている」の 17.0%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ理解・配慮できている」が 45.2%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 26.4%、「あまり理解・配慮できていない」の 17.8%の順となっている。

※小中学生調査

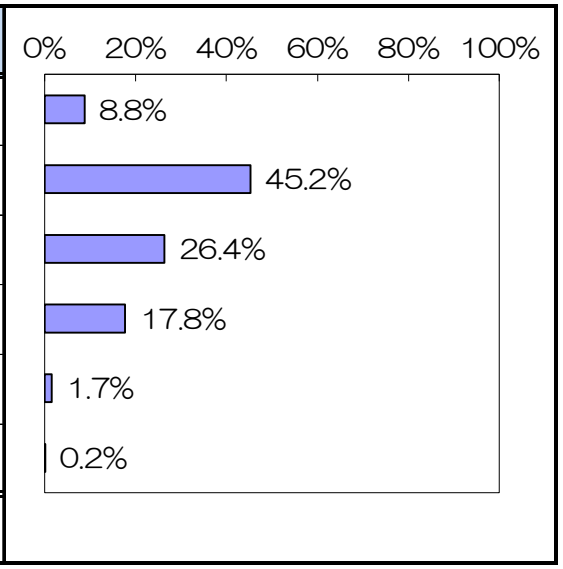
選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	995	17.0%
まあまあ理解・配慮できている	2,207	37.6%
どちらでもない	1,508	25.7%
あまり理解・配慮できていない	765	13.0%
全く理解・配慮できていない	353	6.0%
無回答	40	0.7%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分理解・配慮できている	995	535	460
	17.0%	15.8%	18.5%
まあまあ理解・配慮できている	2,207	1,102	1,105
	37.6%	32.5%	44.5%
どちらでもない	1,508	925	583
	25.7%	27.3%	23.5%
あまり理解・配慮できていない	765	515	250
	13.0%	15.2%	10.1%
全く理解・配慮できていない	353	283	70
	6.0%	8.4%	2.8%
無回答	40	27	13
	0.7%	0.8%	0.5%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	58	8.8%
まあまあ理解・配慮できている	298	45.2%
どちらでもない	174	26.4%
あまり理解・配慮できていない	117	17.8%
全く理解・配慮できていない	11	1.7%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



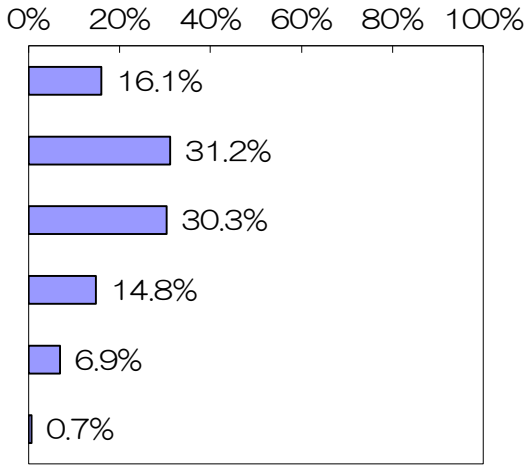
③ 精神障がい

小中学生調査では、「まあまあ理解・配慮できている」が 31.2%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 30.3%、「十分理解・配慮できている」の 16.1%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ理解・配慮できている」が 35.7%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 29.6%、「あまり理解・配慮できていない」の 25.3%の順となっている。

※小中学生調査

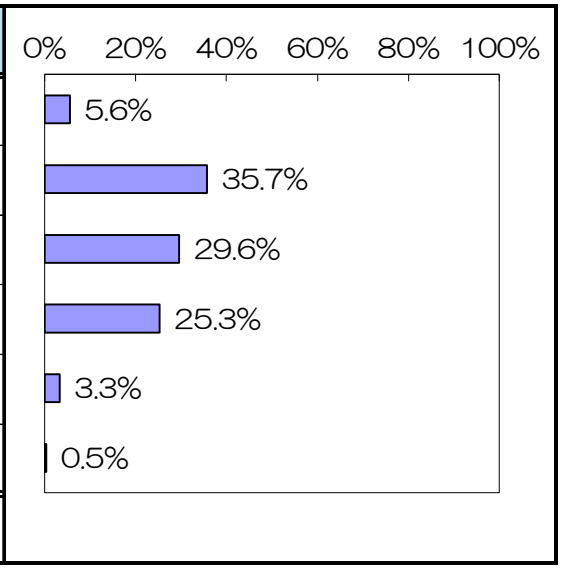
選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	942	16.1%
まあまあ理解・配慮できている	1,829	31.2%
どちらでもない	1,778	30.3%
あまり理解・配慮できていない	869	14.8%
全く理解・配慮できていない	407	6.9%
無回答	43	0.7%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分理解・配慮できている	942	517	425
	16.1%	15.3%	17.1%
まあまあ理解・配慮できている	1,829	944	885
	31.2%	27.9%	35.7%
どちらでもない	1,778	1,042	736
	30.3%	30.8%	29.7%
あまり理解・配慮できていない	869	538	331
	14.8%	15.9%	13.3%
全く理解・配慮できていない	407	320	87
	6.9%	9.4%	3.5%
無回答	43	26	17
	0.7%	0.8%	0.7%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	37	5.6%
まあまあ理解・配慮できている	235	35.7%
どちらでもない	195	29.6%
あまり理解・配慮できていない	167	25.3%
全く理解・配慮できていない	22	3.3%
無回答	3	0.5%
サンプル数	659	100.0%



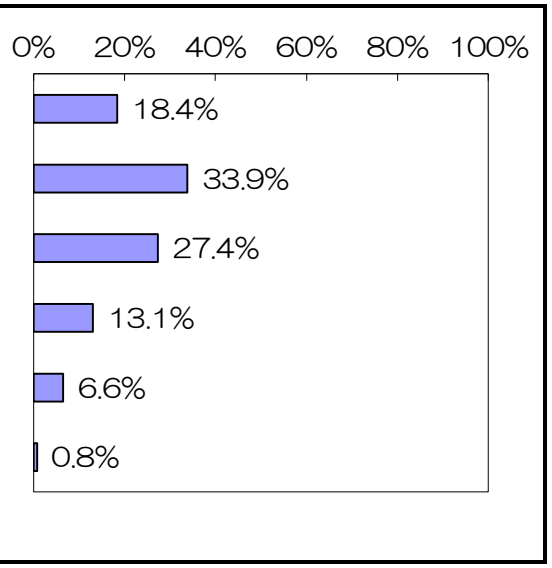
③-1 発達障がい

小中学生調査では、「まあまあ理解・配慮できている」が 33.9%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 27.4%、「十分理解・配慮できている」の 18.4%の順となっている。

一般調査では、「まあまあ理解・配慮できている」が 41.9%と最も高く、次いで、「どちらでもない」の 26.9%、「あまり理解・配慮できていない」の 18.2%の順となっている。

※小中学生調査

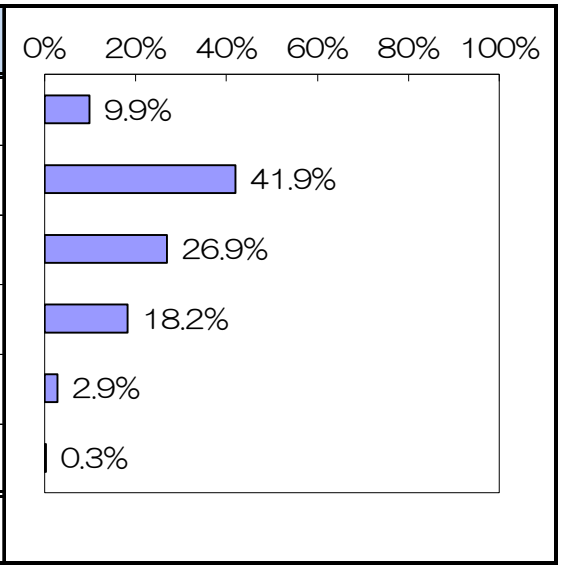
選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	1,078	18.4%
まあまあ理解・配慮できている	1,988	33.9%
どちらでもない	1,605	27.4%
あまり理解・配慮できていない	766	13.1%
全く理解・配慮できていない	386	6.6%
無回答	45	0.8%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分理解・配慮できている	1,078	585	493
	18.4%	17.3%	19.9%
まあまあ理解・配慮できている	1,988	955	1,033
	33.9%	28.2%	41.6%
どちらでもない	1,605	979	626
	27.4%	28.9%	25.2%
あまり理解・配慮できていない	766	522	244
	13.1%	15.4%	9.8%
全く理解・配慮できていない	386	315	71
	6.6%	9.3%	2.9%
無回答	45	31	14
	0.8%	0.9%	0.6%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	65	9.9%
まあまあ理解・配慮できている	276	41.9%
どちらでもない	177	26.9%
あまり理解・配慮できていない	120	18.2%
全く理解・配慮できていない	19	2.9%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%



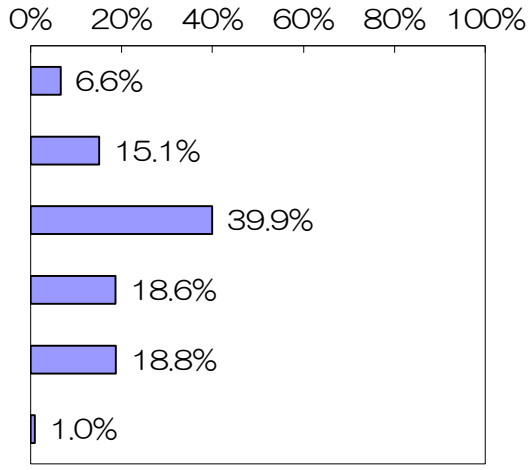
③-2 高次脳機能障がい

小中学生調査では、「どちらでもない」が 39.9%と最も高く、次いで、「全く理解・配慮できていない」の 18.8%、「あまり理解・配慮できていない」の 18.6%の順となっている。

一般調査では、「どちらでもない」が 29.0%と最も高く、次いで、「あまり理解・配慮できていない」の 25.6%、「まあまあ理解・配慮できている」の 23.2%の順となっている。

※小中学生調査

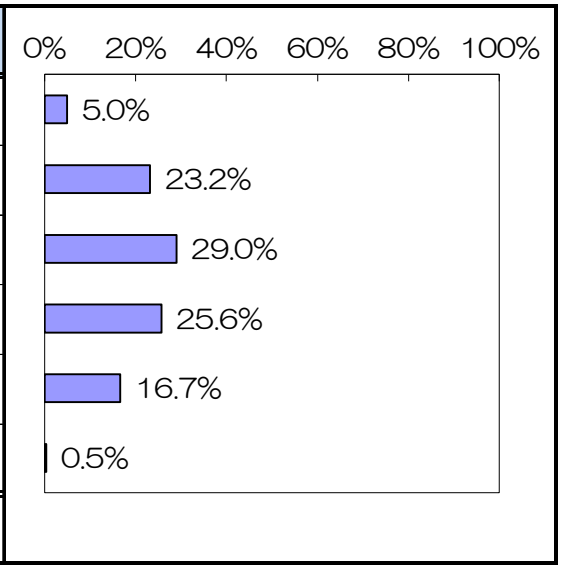
選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	389	6.6%
まあまあ理解・配慮できている	884	15.1%
どちらでもない	2,342	39.9%
あまり理解・配慮できていない	1,094	18.6%
全く理解・配慮できていない	1,101	18.8%
無回答	58	1.0%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分理解・配慮できている	389	216	173
	6.6%	6.4%	7.0%
まあまあ理解・配慮できている	884	494	390
	15.1%	14.6%	15.7%
どちらでもない	2,342	1,329	1,013
	39.9%	39.2%	40.8%
あまり理解・配慮できていない	1,094	641	453
	18.6%	18.9%	18.3%
全く理解・配慮できていない	1,101	659	442
	18.8%	19.5%	17.8%
無回答	58	48	10
	1.0%	1.4%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	33	5.0%
まあまあ理解・配慮できている	153	23.2%
どちらでもない	191	29.0%
あまり理解・配慮できていない	169	25.6%
全く理解・配慮できていない	110	16.7%
無回答	3	0.5%
サンプル数	659	100.0%



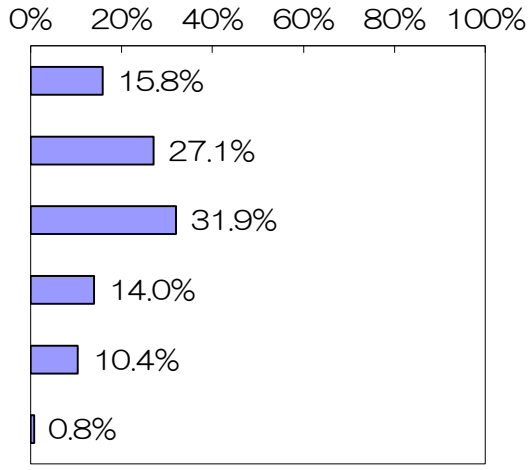
④ 難病

小中学生調査では、「どちらでもない」が 31.9%と最も高く、次いで、「まあまあ理解・配慮できている」の 27.1%、「十分理解・配慮できている」の 15.8%の順となっている。

一般調査では、「どちらでもない」が 32.3%と最も高く、次いで、「まあまあ理解・配慮できている」の 30.0%、「あまり理解・配慮できていない」の 23.4%の順となっている。

※小中学生調査

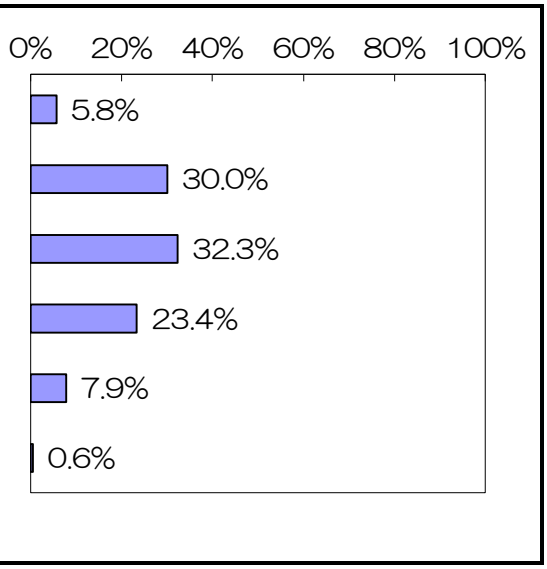
選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	927	15.8%
まあまあ理解・配慮できている	1,590	27.1%
どちらでもない	1,874	31.9%
あまり理解・配慮できていない	819	14.0%
全く理解・配慮できていない	613	10.4%
無回答	45	0.8%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
十分理解・配慮できている	927	493	434
	15.8%	14.6%	17.5%
まあまあ理解・配慮できている	1,590	817	773
	27.1%	24.1%	31.2%
どちらでもない	1,874	1,065	809
	31.9%	31.4%	32.6%
あまり理解・配慮できていない	819	518	301
	14.0%	15.3%	12.1%
全く理解・配慮できていない	613	456	157
	10.4%	13.5%	6.3%
無回答	45	38	7
	0.8%	1.1%	0.3%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
十分理解・配慮できている	38	5.8%
まあまあ理解・配慮できている	198	30.0%
どちらでもない	213	32.3%
あまり理解・配慮できていない	154	23.4%
全く理解・配慮できていない	52	7.9%
無回答	4	0.6%
サンプル数	659	100.0%



（５）障がい者を支援した経験

【小学生調査】
問．あなたは障がいのある人に対して次のようなことをしたことがありますか。
（○はいくつでも）
【中学生調査】
問．あなたは障がいのある人に対して次のようなことをしたことがありますか。
（○はいくつでも）
【一般調査】
問．あなたは障がいのある人に対して次のようなことをしたことがありますか。
（○はいくつでも）

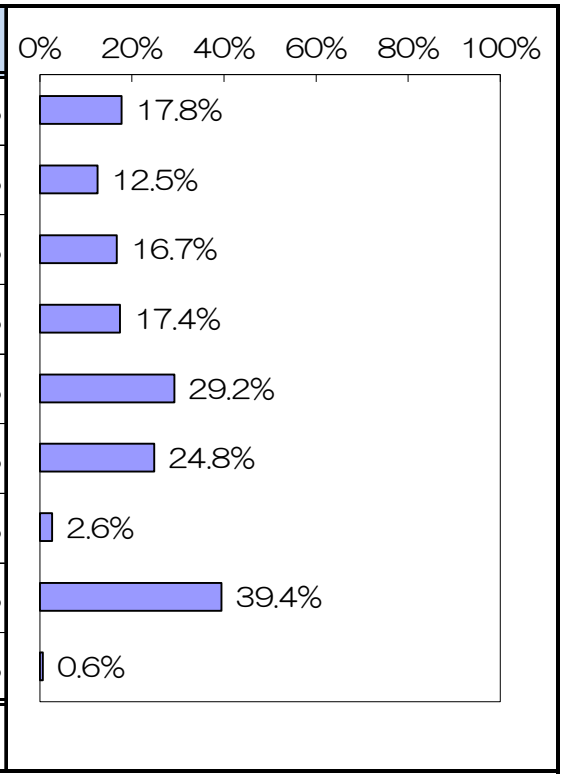
小中学生調査では、「どれもしたことがない」が 39.4%を占めている。

具体的に障がい者を支援した経験については、「いっしょに遊んだことがある」が 29.2%と最も高く、次いで、「身の回りの手伝いをしたことがある」の 24.8%、「電車やバスなどで席をゆずったことがある」の 17.8%の順となっている。

一般調査では、「車椅子を押したことがある」が 44.3%と最も高く、次いで、「電車やバスなどで席をゆずったことがある」の 41.4%、「一緒にレクリエーションなどを楽しんだことがある」の 38.2%の順となっている。

※小中学生調査

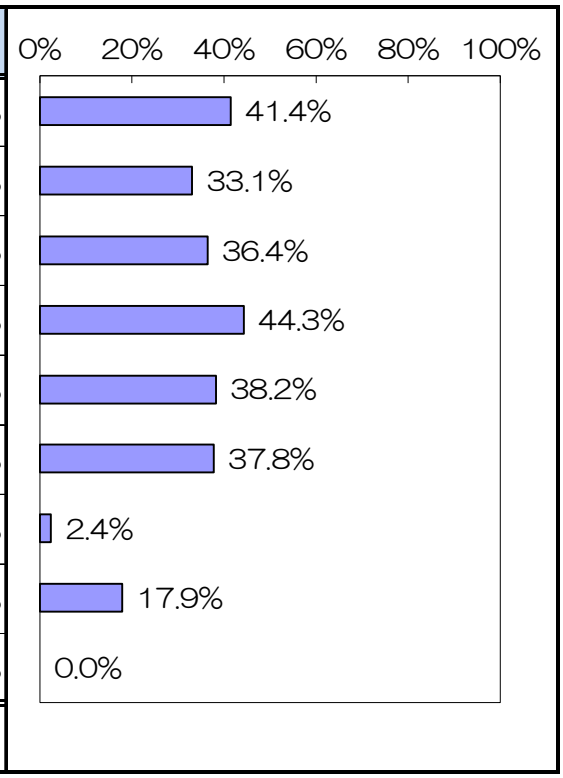
選択肢	回答数	割合
電車やバスなどで席をゆずったことがある	1,042	17.8%
横断歩道や階段などで手助けをしたことがある	733	12.5%
相談相手・話し相手になったことがある	982	16.7%
車いすを押したことがある	1,022	17.4%
いっしょに遊んだことがある	1,711	29.2%
身の回りの手伝いをしたことがある	1,456	24.8%
その他	152	2.6%
どれもしたことがない	2,314	39.4%
無回答	37	0.6%
サンプル数	5,868	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
電車やバスなどで席をゆずったことがある	1,042	614	428
	17.8%	18.1%	17.3%
横断歩道や階段などで手助けをしたことがある	733	413	320
	12.5%	12.2%	12.9%
相談相手・話し相手になったことがある	982	471	511
	16.7%	13.9%	20.6%
車いすを押したことがある	1,022	547	475
	17.4%	16.1%	19.1%
いっしょに遊んだことがある	1,711	949	762
	29.2%	28.0%	30.7%
身の回りの手伝いをしたことがある	1,456	834	622
	24.8%	24.6%	25.1%
その他	152	115	37
	2.6%	3.4%	1.5%
どれもしたことがない	2,314	1,354	960
	39.4%	40.0%	38.7%
無回答	37	28	9
	0.6%	0.8%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
電車やバスなどで席をゆずったことがある	273	41.4%
横断歩道や階段などで手助けをしたことがある	218	33.1%
相談相手・話し相手になったことがある	240	36.4%
車椅子を押したことがある	292	44.3%
一緒にレクリエーションなどを楽しんだことがある	252	38.2%
身の回りの手伝いをしたことがある	249	37.8%
その他	16	2.4%
どれもしたことがない	118	17.9%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	－



（６）障がいのある人が困っているときの行動

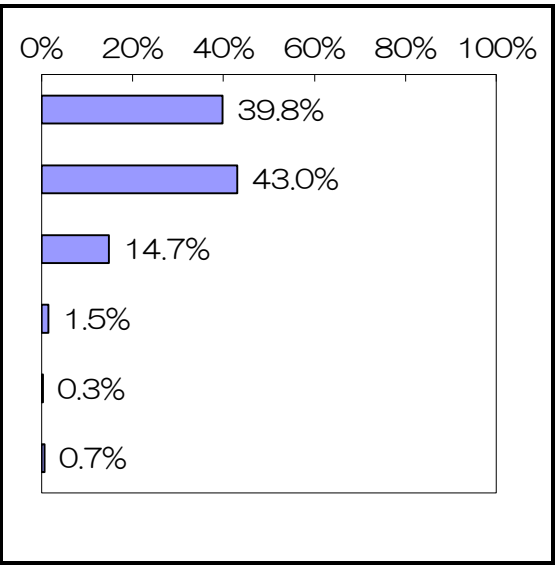
【小学生調査】
問．障がいのある人が困っていたら、あなたはどうしますか。（○はひとつだけ）
【中学生調査】
問．障がいのある人が困っていたら、あなたはどうしますか。（○はひとつだけ）
【一般調査】
問．障がいのある人が困っていたら、あなたはどうしますか。（○はひとつだけ）

小中学生調査では、「必要があれば手助けする」が 43.0%と最も高く、次いで、「すすんで手助けする」の 39.8%、「手助けしたいと思うが行動に移せない」の 14.7%の順となっている。

一般調査では、「必要があれば支援する」が 65.7%と最も高く、次いで、「積極的に支援する」の 22.2%、「支援したいと思うが行動に移せない」の 10.9%の順となっている。

※小中学生調査

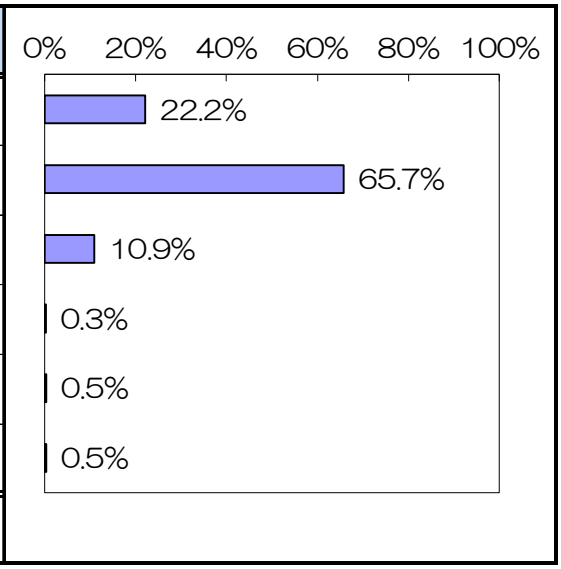
選択肢	回答数	割合
すすんで手助けする	2,335	39.8%
必要があれば手助けする	2,525	43.0%
手助けしたいと思うが行動に移せない	865	14.7%
手助けしない	86	1.5%
その他	17	0.3%
無回答	40	0.7%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
すすんで手助けする	2,335	1,386	949
	39.8%	40.9%	38.3%
必要があれば手助けする	2,525	1,377	1,148
	43.0%	40.7%	46.3%
手助けしたいと思うが行動に移せない	865	535	330
	14.7%	15.8%	13.3%
手助けしない	86	46	40
	1.5%	1.4%	1.6%
その他	17	14	3
	0.3%	0.4%	0.1%
無回答	40	29	11
	0.7%	0.9%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
積極的に支援する	146	22.2%
必要があれば支援する	433	65.7%
支援したいと思うが行動に移せない	72	10.9%
支援しない	2	0.3%
その他	3	0.5%
無回答	3	0.5%
サンプル数	659	100.0%



（７）障がいのある人に接して困った経験（自由記述）

【小学生調査】
問．障がいのある人に接した時、困ったことがありますか。
【中学生調査】
問．障がいのある人に接した時、困ったことがありますか。
【一般調査】
問．障がいのある人に接した時、困ったことがありますか。

自由記述を内容で分類すると、小中学生調査・一般調査ともに、何をすればよいか分からず困ったとする回答が最も多かった。小中学生調査では 374 件、一般調査では 54 件となっている。

※内容別の件数【小中学生調査】

内　　容	件数（件）
①　何をすればよいか分からず困った	375
②　伝えたいことが伝わらなくて困った、伝え方に困った	299
③　コミュニケーションがうまくいかず困った	209
④　障がい者の気持ちや伝えたいことが理解できず困った	199
⑤　障がいに特有の行動に接して困った	102
⑥　接し方や支援について困った	80
⑦　傷つけたり迷惑をかけたりしていないかと不安になった	69
⑧　コミュニケーションツール（手話等）がうまく使えずに困った	53
⑨　障がいについての知識や理解がないことから困った	44
⑩　その他	325

注 「困ったことはない」「接したことはない」等とする回答は除外している

※各回答内容【小中学生調査】

①　何をすればよいか分からず困った（375 件）	
学校	内　　容
小学生	何を話せばいいか分からない。何をしてあげればいいか分からない。
小学生	どのようなたいおうをしたらいいのかわからない
小学生	どうすればいいのかわからない
小学生	障がいのある人を助けたくても、実際、何をしてあげればいいのかわからない。
小学生	どう接すればいいかわからない事があった
小学生	どう接すれば相手が安心できるかが分からない。
小学生	どんな話をすればいいか分からなかった
小学生	どう接すればいいのかわからないです。
小学生	どうすればいいか分からない
小学生	どうすればいいか分からない
小学生	どのように接すればいいのかがわからなかった。
小学生	どう声をかければ良いかわからない
小学生	どのように接したらいいかが分からない。
小学生	どう寄り添えば、良い気持ちになるのかが分からない。
小学生	どう接すればいいかわからない。
小学生	どんな風に、話したら良いか分からない。

小学生	どう接せすればいいのかがわからない。
小学生	何を伝えたいか分からない
小学生	障がい者の方達にどう話しかければいいかが、わからない。
小学生	どうすればいいか分からない時がある。
小学生	どんなふうに手助けをしたらいいか
小学生	どのようにすれば良いかわからん？
小学生	どうしていいか分からない。
小学生	どう話せばいいのかがわからない
小学生	どう話して良いかわからない
小学生	どう接していいかわからない
小学生	どんなふうに接していいのかわからない
小学生	どういう会話をすればいいのかわからない。助けるときにどこをどう支えていいのかがわからない。
小学生	なんと説明していいのかわからなかった。
小学生	声のかけ方がわからなかった。
小学生	どんな、会話をしていいのか分からない。
小学生	どう接していいか分からない。
小学生	どういう風に接したらいいか分からなくなった
小学生	どう接したらいいのかわからない
小学生	どう接したら良いか分からない
小学生	どうしたら良いかわからない
小学生	どうやって、接すればいいか分からない。
小学生	どうしたら、落ち着いてくれるのか分からず、困ったことがある。
小学生	どう接すればいいかがあまりわからない
小学生	話をしてみたいけど、どのように接したらいいかが分からない、だけど、いつも人が怪我したら、自分から助けている！
小学生	どうしたらいいのか分からない時がある
小学生	接したことがないけど、もし接したらどんな風に声をかけたらいいか分からない。
小学生	どうきづかっていいのか分からない。
小学生	どう接したらいいのか分からない。どんな事を言えばいいのかわから。
小学生	どのように接すればいいのかわからなくなったことがある
小学生	どのように話せばいいかわからない
小学生	耳が聞こえない人の時にどうやって伝えたらいいかわからなかった。
小学生	どのように接したら良いか
小学生	普通の人とは少し違うため、何を話したら良いかわからなくなる。
小学生	どんなふうに、接したら良いのか分からない。
小学生	どう接したらいいか分からなかった。
小学生	どうやってせっしていいかわからないときもあった
小学生	どうやって接すればいいかが分からないこと
小学生	手伝って欲しいことがあまりわからなかった。
小学生	どう関わっていいか分からない
小学生	接し方があまりわからない。
小学生	何をすればいいかわからない
小学生	話かけられたときどんな対応をすればいいか分からない
小学生	手助けをしようとしても、何をしたらいいか分からない時が多い
小学生	ゲガなどをしたら何をしていいかわからなくなる
小学生	どうやったら、元気、笑顔になるのかが、分からない。
小学生	どうすればいいかわからないときがあった。
小学生	どういう風に話しかければ良いかと困ったことがある。
小学生	どう接せればその人がいい気持ちになれるのかが分からない。
小学生	どう接していいかわからない
小学生	どのような接し方をすれば良いのか分らない。
小学生	どうやって対処すればいいかわからなかった
小学生	どんな風に接したらいいかわからなかった。
小学生	どう声かけしていいかわからない

小学生	接し方をどのようにしたら、障害者の方がうれしい気持ちになるのかあまり分からないです。
小学生	どのように接していいか、分からなくなる。また１・２回しか接したことがない。
小学生	どうすればいいかわからない
小学生	どうしたら良いのかが分からない。
小学生	耳が聞こえない人などは、どう話したらいいのかわからない！どう接すればいいのかわからない！
小学生	どうして良いか分からない
小学生	どうせっするのかがわからない
小学生	困っている時の最初の声かけがあまり分からない
小学生	相手がイライラしていた時どうすればいいかわからない
小学生	どう声をかけていいか分かんない
小学生	何をどうしたらいいかが分からない
小学生	どうやって助ければイイかがわからない
小学生	どんな事言っているのかがわからない事
小学生	話をしても、うまく理解できてなくて（障害のある人が）どのように手伝ってあげれば良いかが分からなかった。
小学生	どんな風に接したら良いのか分からない
小学生	どうしたらいいのかわからない
小学生	どのように接したり、話したりしたらいいのか分からない。
小学生	お手伝いをどこまですればいいのかわからなかった。どうしたら喜んでもらえるか分からない。
小学生	どう接していいか分からない
小学生	ときどきなにをしたいかがわからない
小学生	何をすればいいかわからなかったりした
小学生	話しかけて良いのか分からない
小学生	初めてで何をすればいいか分からなくてパニックになった。
小学生	初めに何と声をかければ良いのかが分かりません。
小学生	どう接すれば良いかわからない
小学生	手伝おうとしたが自分からは何も言ってくれなかったので、どのように手伝えばいいのかがよく分からず困ったことがあった。
小学生	どうしていいのか分からなかった。
小学生	もし声をかけることができても、そのあとどうせっすればいいかわからない時があった。
小学生	どうやって話せばいいかわからなかった。
小学生	どうはなせばいいのかいまいちわからなかった
小学生	手助けの仕方がよくわからない
小学生	どう接したらいいかがわからなかった。
小学生	どう接すれば良いのか分からない時がある。
小学生	どうやってせっすればいいか、わからない。
小学生	どうすればいいかちょっとわからない
小学生	何を話せばいいか分からない
小学生	どのように接したら良いか分からない。
小学生	自分自身が障害者に対して、どうすればいいかわかんなかった。
小学生	どのように話したり、接したりすればいいのか分からない。
小学生	話が通じないことがあった。でも、ほとんど通じた。何をすれば良いかわからない
小学生	強いていうなら、どのような苦しみがあるのかが分からないから、何がダメで何がいいのかが分からない
小学生	何をしたらいいのかわからなかった
小学生	接し方がわからない
小学生	どう接すればいいかが分からなかった。
小学生	どうせっすればいいかわからない
小学生	接し方が分からない
小学生	初めて会ったときはどうすればいいかわからなかった。
小学生	ペットボトルを持つのが大変そうだったけどどうすればいいかわからなかった
小学生	意思疎通ができなくてどうすればいいのかわからなくなる
小学生	どんな風に話せばいいかわからない
小学生	どう接すれば良いのかわからない

小学生	初めてだったから、なんて話せばいいのかわからなくて困った。
小学生	どう対応したらいいかわからなかった
小学生	なんと話せば良いかわからない。
小学生	どう動けばいいかわかんない時がある。
小学生	耳や目に障害を持っている人にどう接したらいいか分からない。
小学生	接し方があまり分からない。
小学生	耳が聞こえない人に公園などであった時の接し方がどうすればいいか分からない。
小学生	どうすればいいかわかんないときがある
小学生	どのような対応すれば良いかわからない。
小学生	どう接したほうがいいのか分からない
小学生	どういうふうに話したらいいかわからない
小学生	どのように接ししていいかがわからなかった
小学生	どう接していいか分からない。(接するとき不安になる)
小学生	どうすればいいのかわからない。
小学生	具体的にどうしたら良いのか分からなかった。
小学生	話せない人は、どう対応すれば良いのか分からない？
小学生	なんて話せばいいか分からない
小学生	どうしたらいいのかわからなくなる
小学生	何をしたら、障がい者の人達の役に立つのかがわからない。
小学生	なんと声をかければ良いかが分からない
小学生	どう接していいのかが分からなくなる時がある
小学生	どんなって、せっすればいいかがわからない
小学生	どのような接し方をすればいいのかわからない
小学生	どうしていいかわからない
小学生	どうすればいいかわからない時がある
小学生	どう接していいかがわからない
小学生	話していい事が分からない
小学生	何をしていいか分からず困った。
小学生	どのようにして、対処すれば良いかがあまりわからない。
小学生	・どう接すればいいのかわからない。 ・手助けしたいけど何をすればいいのかわからない。
小学生	なんて話しかければいいのか分からない。
小学生	どうしていいのか分からなかった？
小学生	どう接していいか分からなくなる時がある。
小学生	初めは、どうやって接していいのかわからなかったです。
小学生	どうすれば良いか分からなかった。
小学生	どうやって説明したらいいかわからない時があった
小学生	どうしたらいいのかが分からない
小学生	初めてあった時、どのように接すればよいか分からなかった。
小学生	手伝った方がいいのか、見守るだけにした方がいいのかわからない。
小学生	なんと言えばいいかわからない。
小学生	どうやって接すればいいか分からない。
小学生	どうやって話しかけていいのかがわからない。
小学生	障害者というのは分かるけどその人がどんな障害者なのか分からないからどう接すれば良いか分からない
小学生	耳が遠くて話がわからない。
小学生	どう接すればいいかわからない
小学生	どう声を掛ければ、良いかわからない事
小学生	どう、接していいのかわからないです
小学生	何を手伝ったらいいか分からない。
小学生	耳が聴こえない人にどうやって道とかを教えればいいのかわからない
小学生	何をすればいいか分からない時があった。
小学生	どうやって話したらいいかわからないこと
小学生	話しかけられたら、どう返せば良いのかわからないこと。

小学生	言っていることが通じなかったり、どう対応すればいいのかわからなくなった時がある。
小学生	なにをして良いか分からない
小学生	どう接すればいいのかわからなかった事があります。
小学生	目や耳が聞こえない人を助けようと思ってもどうやって表したらいいかがわからなかった
小学生	どう対応すれば良いかわからないことがあった。
小学生	何をしてあげればいいのかわからない、、、
小学生	どう対応したらいいかが、分からない
小学生	どのように接していいかわからない
小学生	どんなことをしてあげればいいかわからなかった。
小学生	どういう風にすればいいのか分からない。
小学生	何をしたらいいかがわからない
小学生	知的障害の人の接し方があまり分からないです。
小学生	どうやってせっすればいいかわからなかった。
小学生	どのように接すれば良いかが分からない
小学生	どう接していいか分からない
小学生	障がいのある人とは知らずに接していたこと、どう対応したら良いのかわからないことがあった
小学生	どうしたら良いか分からない。
小学生	どうやって接するか、分からない
小学生	悩みを相談された時、どう答えていいかわからなかったこと。
小学生	どうしたら良いのか分からなくて焦ってしまう。
小学生	どう接すればいいか分からない
小学生	どうやって接したらいいかわからない
小学生	どんなことを話せばいいのか分からなかったです。
小学生	どうやって話しかければいいか分からない
小学生	何をすれば良いか戸惑って分からなくなったことがある。
小学生	どう、話してあげればいいか、分からない時がある。
小学生	何をすれば良いのか分からない
小学生	どうしたらいいかわからない
小学生	どうしたらいいか何をしたらいいか
小学生	たまに、どうすればいいかわからないことがある。
小学生	助けたほうがいいのかが分からない。
小学生	電車で目が見えない人に対して、どのように接すれば良いかあまりわからなかった
小学生	どんなふうに接触したらいいか？
小学生	どこを触ったりして良いのか何をどうしたらいいのかわからない
小学生	どう接すればいいかわからない
小学生	どんな風にしたほうが楽かがわかんない。
小学生	どう話していいのかどんなことをしたらいいのか
小学生	なにを話せば良いかわからなです
小学生	どのように接していけばいいか分からない
小学生	どうすればいいかわからない
小学生	どのように接したらわからないです。
小学生	少し普通の人のいいかたがちがくて、どうせっすればわからなかったことがある
小学生	どう接していいのかわからなかった
小学生	何を話せばいいかわからないどのように接すれば良いかわからない
小学生	どう話していいいか分からなかった。
小学生	話しかけていいかわからない
小学生	明るく接したけど、相手が笑顔にならなくてどうすればいいか分からなくなったことがある。
中学生	どのように接したらいいのか分からなかった
中学生	はい、あります。何を話せば良いのか、何をして何をすれば良いのかが分からなかった。話しかけてくれるけど、とても真顔でどう反応したらいいのか分からなくて返事を曖昧にしてしまったこと。
中学生	なにをしてあげればよいのかがあまり分からなかったことがある。
中学生	接し合い方がわからない時があった。
中学生	周りにいないから、いざって言う時に、接し方が分からない。
中学生	どう接したらいいのかがわからない

中学生	どう接すればいいか分からない
中学生	何をどう気をつけて接せればいいか分からなかった。
中学生	どう声を掛けて良いのか分からなかったこと
中学生	どうやって接すればいいのかわからない。
中学生	どのように接すれば良いか、少しわからなかった。
中学生	どのようにして接してあげれば良いのか分からなかった。
中学生	どうすればすればいいか分からない時が接した時にあった
中学生	どのように接すれば良いのか分からない。
中学生	どのように接すればいいかわからないどうして欲しいかわからない
中学生	接したことはないけどもしあるなら手伝うときや助ける時などにどうやって助けたり手伝ったりすればいいのか分からなくなると思います。
中学生	初めて障がい者に会った時に接し方が分からなかった。
中学生	どうやって接すればいいか、分からなくなったことがある。
中学生	話してることが伝わらなかったり、癇癪を起こしてしまった時にどう対応すればいいか分からず困った。
中学生	どのように接したら良いのか。
中学生	そもそもどのように接すれば良いのかがあまりわからない。
中学生	接し方が分からなかったこと
中学生	どう話せばいいのかわからない
中学生	話しかけていいのか分からない
中学生	手助けする方法がわからなかった
中学生	どうすればいいかわからないことがあった
中学生	どう話せば良いのか分からなかった
中学生	どうしていいかわからなくなった事。
中学生	どう接していいのかがはっきり分からない
中学生	どう接したら良いかわからない
中学生	どんなふうに話しかけていいのか分からなかった。
中学生	1 番したら良いことがわからない
中学生	どんなふうに声をかければいいのかわからなくて困ったことがある
中学生	何をしたらいいのかわからない
中学生	どうしていいかわからない
中学生	何をしてあげたらいいのか分からない
中学生	どうすればいいのか、自分のした行動、正しいのかがわからない
中学生	どのように手助けをしたら良いかわからなかった。車椅子の押し方とか知ってたらできることを知らなかった。
中学生	どうしたらいいかわからない
中学生	どのようなことをいっていいかわからない
中学生	助けようとしても何をしたらいいか分からなかった。
中学生	どうやって接したらいいかが分からない
中学生	どんな事をすればいいのかわからないし、どんな事をしたら喜ぶのかもわからない。
中学生	どう接すればいいのかわからない。
中学生	どうすればいいかわからなかった。
中学生	自分からどう声をかけて良いかわからない。
中学生	どう接すればいいか分からなくなる
中学生	何をすればいいのかわからず気まずかった
中学生	どのように関わればいいのかよくわからなかった。
中学生	何を言いたいのか、何を言っているのか分からないことがあった
中学生	どうせっすレバ良いかがわからない
中学生	どこまで手助けを行えばいいのか分からなかったこと。
中学生	どのように助ければいいかがわからない
中学生	何も説明されなかったのでどう対応したらいいかわからなかった。
中学生	どういう対応して良いか分からず困ってしまった
中学生	どのように話しかけていいかわからなかったりしました。
中学生	どんなふうに接したらいいのか分からない。

中学生	何をしたいかがわからない。どのように接すればいいかわからない。
中学生	どう接すればいいかわからない
中学生	どう接していいかわからない
中学生	何をしたらいいかわからない
中学生	どう接したら、相手の手助けになるか分からない。
中学生	何をしたらいいかわからない
中学生	何をどう手助けすれば良いのか、分からなくて困ってしまった。
中学生	発達障害と知的障害でその人のお世話をすることになった時に何をすればいいかわからなくなった
中学生	耳が不自由な人と話す時、どうしたらいいかわからなかった
中学生	正しい接し方がわからない
中学生	自分に出来ることが何か分からない事。
中学生	どんな反応をすればいいか分からない。
中学生	対応の仕方がわからない
中学生	何をしたら喜んでくれるのかがいまいち分からない。
中学生	どう接すればいいかわからない。
中学生	どう対応していいか分からなかった
中学生	どう接すればいいのかやどう手助けすればいいのか分からない事がある
中学生	自分とは体の扱いが違うのでいざ接するとなるとどのくらいのことまでしていいかがわからない
中学生	目の見えない方がいて、その方が赤信号で道路を渡ってしまい車が止まってくれたけど、私は目の見えない人に声をかけず後ろに寄り添い、車の人にしか謝る事しかできなかったから、声をかけたほうがよかったか分からなかった事があった。
中学生	どこまで声かけをしていいのか分からない
中学生	何を話せばいいかわからない
中学生	どうやって話しかけたらいいかわからないとき
中学生	何をしてあげれるかわからない
中学生	何を言えば良いのか
中学生	何をしたらいいかわからない
中学生	どうしたらいいのかわからなかった。
中学生	手伝うときにどう声をかけていいか分からない。
中学生	身体障害者の方の、介護で、どう接すれば良いのかわからなかった。
中学生	どう助ければ良いのかが分からなかった
中学生	あまり街などで見かけることがないのでいざ見かけたらどう対応したらいいかわからない
中学生	どう伝えればいいかわからない時があるー
中学生	どこまでしていいかわからない。
中学生	障がいについて触れていいのか分からない
中学生	どうすればいいのか分からなくなった。
中学生	どのように話しかければ良いかわからない。もしくは、知らない。
中学生	どうやって助ければいいかがわからない
中学生	どのように声をかければいいかわからないです。
中学生	気をつけないといけないことが分からなかった。
中学生	どんなふうに対応すればいいかわからない
中学生	言葉が通じなかったりすることがおおかった。突然、気持ちが昂ったり、下がったりしていてどう対応すればいいのかわからなかった。
中学生	身体障害者の中には、耳が聞こえない人がいるので、その人にどのような対応をすればいいのかわからない。
中学生	どうすればいいかわからなくなるときがある
中学生	どう接していいのかが分からない。
中学生	どうやって対応すればいいか分からない
中学生	どんな言葉で伝えれば相手の方により分かりやすくなるのかが分からなくて、困った。
中学生	どう接すればいいかわからなかった
中学生	いつどのタイミングで助けたらいいのかわからない
中学生	どのような言葉がけを意識するべきかわからなくなることがあった。
中学生	どんな風に声を掛けたらいいか分からないこと
中学生	どのように接すればいいか分からない

中学生	どうすればいいか分からなくなる
中学生	どんな言葉を描ければいいかわからなかった。
中学生	どう対応すれば良いかわからない。
中学生	接し方がわからない
中学生	どうしたらいいかわからないことがある
中学生	障害者の手助けをしようとしても何をすればよいのかわからないことがあった。
中学生	なんと声をかければ良いのか分からない
中学生	自分がその身になったことがないから何をするのが一番良いのか分からないこと
中学生	みんなと同じように接したほうが嬉しいのかちょっと気を使ったほうが嬉しいのかわからない
中学生	自分でできる事とできないことの差がわからなかった。
中生	どう対応すればいいかわからなくなる
中学生	どういう接し方をすればいいのかわからない
中学生	この前友達と遊んでいる時に盲目の方がいた。進む先には車があってそのまま行ったらぶつかってしまうところで、僕は行こうか迷ったが友達は走ってその人のところに向かっていてすごいと思ったが、その時どのように対応すればいいかわからなかった
中学生	最善の助け方がわからない。
中学生	どの様に接したらいいのかあまり分からない。
中学生	接し方がわからない
中学生	身近な人と同じように接していけば良いのか、それとも身近な人より優しくするべきなのか分からない
中学生	どうすればいいか、分からない。
中学生	どう対応したら良いのかわからない
中学生	何をすればいいかわからなかった
中学生	何を話せばいいか分からない
中学生	自分とは違う苦しみを持っているので何をすればいいかわからない時があった
中学生	どんな事をすればいいかわからない、またはどんなことが困るのかわからない。
中学生	声のかけ方がわからない。普通の人のように接するのか、気をつかいながら接するのかがわからない。
中学生	どう接していいのかわからない
中学生	どのような対処が適切か分からない
中学生	言葉がしゃべれない子が親戚にいて、泣いている時など理由が分からない時は何をしたらいいのか分からなくなる時が多い。
中学生	一般の人とは違って動くのも大変なのでどう接したらいいのかわからない時もありました。手助けの方法をあまり知らなくて困りました。
中学生	何を言えば良いかが分からない
中学生	どんな話し方で話せばいいか分からない
中学生	なにをすればわからない。
中学生	どう接したらよいのかわからないときがある
中学生	目の不自由な人に信号機が青になったことを伝えたいけど、いきなり話しかけていいのか分からない。
中学生	どう話しかければいいかわからない
中学生	良い接し方が分からない。
中学生	どのように接したらいいか分からない
中学生	何をしたらいいのかわからない
中学生	こえをかけてもいいかがわからない
中学生	どれから始めたら良いのかわからなかった
中学生	どう助けていいかわからない
中学生	手助けをする際に、どのようにして声をかけて助ければ良いかわからない
中学生	どこまで手伝っていいかわからない
中学生	対応の仕方がわからないこと。反応の仕方がわからないこと。
中学生	どうすればいいか分からない
中学生	どうしたらいいかわからない
中学生	どのように接したらいいかわからなくなる。
中学生	何をしたらいいかわからなかった。

中学生	何をすればいいのかわからない
中学生	どういう声かけをしていいかわからなかった。少しだけ躊躇してしまった

②　伝えたいことが伝わらなくて困った、伝え方に困った（299 件）

学校	内　　容
小学生	話しかけづらい
小学生	何度も同じことを聞いてしまう
小学生	分かりやすく教えるのが難しかったです。
小学生	自分が思うように相手に言いたいことが伝わりにくかった。
小学生	自分の考えがなかなか通じないことが多い
小学生	話しにくい
小学生	上手く声をかけることができなかった。
小学生	どういうふうに説明すれば良いか困ったことがある
小学生	自分の言っていることが通じてなかった。
小学生	あまり話が通じないこと
小学生	耳が不自由の人に言葉が通じなかった。
小学生	話しづらかった。
小学生	話すこと
小学生	あまり話が通じなかった
小学生	話しかけ方に困ってしまう。
小学生	あまり言葉が通じない時がある
小学生	障がいのある人のことをあまり知らなくてどんなふうに声をかけてあげればいいか悩んだことがある。
小学生	喋りたいけど喋れない
小学生	どういう言葉をかければいいか分からないことがまれにある。でも話している時は楽しい
小学生	よく理解できないと言われる
小学生	話し方に少し困ったことがある。
小学生	言っていることが伝わらない。
小学生	友達とかと比べて、自分の考えが伝わりづらい。
小学生	話が通じないのは、時々ある。
小学生	はなしがつうじなかったことがある
小学生	耳が不自由だったので話しても通じなかった
小学生	大声を出した
小学生	上手く言葉が伝わりにくい
小学生	話しづらい
小学生	言っていい事や言わない方がいい事を判断する事ができなくて困った
小学生	目が聞こえない、耳が聞こえない人がいて、どこにいるか伝えるのに困った。
小学生	手助けをしている時、話を聞いているのか聞いてないのか心配だった
小学生	自分の気持ちが伝わりにくい。
小学生	少し、大きな声じゃないと、聞こえなかった。
小学生	自分が話していることを理解してもらえなかったり、急に話をかえたりしたこと。
小学生	うまく話せなくて困ったことがある
小学生	喋るのが困難
小学生	はなしがつたわらない
小学生	話したことが伝わりにくいこと
小学生	自分が言っていることをちゃんと理解してくれない
小学生	何を話しかければ良いか。
小学生	話すのが少し難しかったりする
小学生	話が通じないとき。
小学生	なんと言ってはだめで、なんというのはいいのか。
小学生	言うことがなかなか伝わらない、ということもある。
小学生	喋れない人にはどう接すればいいですか？
小学生	話が伝わりにくかったりすることがある

小学生	話が通じなかったりしたこと
小学生	言葉を選ぶのが大変だった
小学生	言葉が通じない(耳が聞こえてないから)
小学生	話しても通じない時がある
小学生	あまり理解してくれない
小学生	自分が思ってる事が伝わらない事がある。
小学生	障害のある人と話すこと。
小学生	何度言ってもわかってくれないこと。
小学生	話をする時にたまに話が通じないことがあるから、どう説明しようと困ったことです。
小学生	障害者に失礼だけど、ちょっとだけおかしい人が学校にいて、その人とどう話せばいいか分からなかった
小学生	話が通じない挨拶しても返してくれない
小学生	言っている事が伝わらなかった時
小学生	ちゃんと話せるかどうか
小学生	言葉がうまく伝わらないことが困っている。
小学生	話しづらい時がある。
小学生	話しにくい
小学生	話が通じ合わなかったり、話しにくかったりして、話が進みにくいこと。
小学生	話しかけてもどう話したら良いか分からない「知的障害」
小学生	話を聞いているのか聞いていないのかがわからないことがあった
小学生	通常のことが伝わらない
小学生	話が通じないことがあったりするからちょっと難しいと思った
小学生	なかなか、言葉がつうじないこと
小学生	老人ホームでの、体験で、高齢者の方と、遊んだ時に、耳が遠くて、大きな声で喋らないといけなかった事。
小学生	声をかけにくい
小学生	話が通じない時がある。
小学生	自分の言いたいことが伝わらなかった。
小学生	自分の意思が通じないことがある
小学生	うまく言葉や気持ちが伝わらない時。
小学生	言っていることが伝わらないこと。
小学生	話を大きな声で言わないと聞こえてないことがある
小学生	喋るときに話しづらいところ
小学生	これ取ってなど言う時に間違ったりしてしまう事が多い
小学生	話を理解してもらえない
小学生	目の不自由な友達がいる。その友達に「それ」や「あれ」などの言葉を使わずに会話することが難しかった。
小学生	知的障がい者などの人に伝えたいことを伝えられなかったことがある
小学生	話が通じない
小学生	話が通じなかったりしてしまう。ここが少し違うなーと思う。
小学生	話が通じない。
小学生	話していても「ん？」と聞き返してきてなかなか伝わらなくて困った
小学生	しゃべりにくい
小学生	話が通じなくて、困った。
小学生	話しづらい
小学生	普通の人と比べてあまり理解してもらえない。
小学生	言ったことを理解してくれない
小学生	言葉の選び方に迷った。
小学生	自分の言っていることを、理解してもらえなくて、どう話したり、どう接すれば良いなのかわからなくなる。
小学生	ことばが通じないからどう表現していいかわからない。
小学生	言葉が通じなかった。
小学生	どう話せば良いか困った事がある
小学生	言ったことがうまく伝わらない

小学生	話す事のできない人と話したりする事が少々困った。
小学生	話が通じなかったりすることがよくあったので結構精神的に辛いことがあった。.話を聞いてくれない時が多いので、大変でした.。
小学生	なかなか声を聞きっとってくれない。
小学生	話しづらかった。
小学生	耳など聞こえない人に会った時があり、声をかけてあげても反応してくれない人がいたので少しどのようにすれば良いのか困っています。
小学生	あまり話を理解してなくて３回ぐらい言わないと話を理解しないこと
小学生	発達障害の方と接した時、上手く話が伝わらなかった事があり、困った事があります。
小学生	話が伝わりにくい事
小学生	何回か同じ事を言っても理解できない
小学生	話が通じなかった
小学生	話しづらい
小学生	相手の話しかしないし話の終わらせ方がわからない
小学生	話が通じなくて困った時があった
小学生	話が通じない
小学生	何回も言わないと伝わらない
小学生	話しているのにあまりきいてくれない
小学生	自分の言っていることが理解して貰えず、伝えるのに苦労した事。
小学生	理解してもらえないとき
小学生	耳が聞こえず喋れなかったり目が見えないなどの障害では、相手は、目では判断できず耳で話したり聞くことができないのでどうすれば良いのかなと困ることがある
小学生	話が通じにくい
小学生	相手に何か伝えるとき
小学生	話が通じない時があって困った。
小学生	障害をもっている人と話した時、上手く内容が伝わらなくて困った事がある。
小学生	ある。言葉が伝わりにくい事があって、困ったことがある
小学生	曽祖母と接した時、話が伝わらなかったり、伝わりにくかったりして介護が難しかった。
小学生	ちょっとはなしづらい
小学生	言っていることが通じないことが、あった。
小学生	話しがあまり通じない時があった
小学生	声をかけにくい
小学生	自分の中では分かりやすく説明しているけど、うまく話が通じなかった
小学生	耳が通じない。
小学生	話が伝わらなかった時
小学生	耳が聞こえない人にどうやって言いたいことを伝えたい時・・・どうしたら？
小学生	耳の障害の人にどうやって話したら良いかが分からないことがあって困った。
小学生	どう接すればいいのかなと思った。
小学生	話した事が通じない事がある
小学生	話が、通じないのでわかっているけど、イライラすることがある。わかっているけどわかっているけどわかっているけどね。
小学生	うまく話せなかった
小学生	話が通じにくかった
小学生	何を話せばいいか戸惑う。
小学生	話したことを忘れてたりして、何回も同じことを言うことに困ったことがある。
小学生	喋るペースは大丈夫かなど
小学生	話を、たまにうまく飲み込んでくれない時がある。
小学生	話が通じない時がある。
小学生	どうやって話せばいいか
小学生	話すのが難しかった。
小学生	話すのが少し難しかった。
小学生	自分の気持ちが伝わらない
小学生	声をかけた時の反応がない
小学生	あまり話が通じなかった

小学生	少し喋りづらいときがあったこと。
小学生	言葉が通じないので大変だった
小学生	話が通じなく、大変
小学生	話しても何回も言わないといけない「悪い意味ではない」
小学生	言葉が通じない
小学生	話が通じない事がある。
小学生	話があまり通じなかった
小学生	上手く内容が伝わらないこと
小学生	相談に乗った時になんて答えればいいかわからなかった
小学生	言葉遣い
小学生	話が通じなかったりする時がある。
小学生	自分の言ってる事が分かっているのかが分からない。
小学生	話し方
小学生	耳が不自由な人にあったらどうすればよいか
小学生	話が伝わらない時がある
小学生	話をしても全然分かってなかった時
小学生	話を聞いてくれない時があった
小学生	話が通じない事がある
小学生	言っていることが、あまり通じないこと。
小学生	あまり言葉を理解してもらえない
小学生	言葉が通じない。
小学生	自分の言いたい事がうまく伝わらないなど。
小学生	伝えたいことが、うまく伝わっているかどうかが分からない。困った事は、あまり無い。
小学生	目が見えない人が道路に、とびだす寸前で、声をかけようとしたけど、急に話しかけたらいけないと聞たことがあり困った。
小学生	どういうふうに話せばいいかわからない
小学生	どうやって話せばいいか
小学生	耳が聞こえにくい人に言葉を伝えるときに困った
小学生	話し方
小学生	これをしてと言っても伝わらなかったりする。
小学生	話のかけ方がわからない
小学生	話しにくいな
小学生	うまく話せない
小学生	大声で話さないといけない。
小学生	ゆっくり話してあげないと分かってもらえない。ということです。
小学生	どう話したらいいのか。
中学生	言いたいことが伝わらない
中学生	言葉が通じなかった時
中学生	話す時に何を話せばいいかわからなくなる。
中学生	言いたいことが上手く伝わらない
中学生	自分がどういった態度を取ることが相手にとっていいことなのかということに困ったことがあります。
中学生	言葉がなかなか通じなかったりすること
中学生	言いたいことが伝わらなくて困った
中学生	言葉が通じない
中学生	自分が伝えていることが相手にきちんと伝わっているかが分からず、不安になることがあります。
中学生	どのような話をしたらいいかわからない
中学生	知的障害の人と話す時に思うように言葉が伝わらない
中学生	目が見えない人で信号を渡ろうとしていたから、手伝おうと思って声をかけたら、驚かせてしまった。
中学生	どう、声をかけるべきか
中学生	どんな言葉かけをすれば良いか。
中学生	自分が言っていることを理解してくれるのに時間がかかったこと
中学生	自分の言いたい事が上手く伝わらなかったら

中学生	なかなか自分の言ってることが伝わらない。
中学生	言葉が通じにくい
中学生	伝えることが大変
中学生	話しが通じにくい時がある1
中学生	一言で通じない
中学生	声が届いてるかが不安だった。
中学生	何度もおなじことをいわないといけないこと
中学生	声をかけてもあまり反応がなかった時どのように接するべきかわからなかった。
中学生	話題がみつからない
中学生	言葉が通じない
中学生	会話などで通じないときにどうやって伝えればよいか困ることがある。
中学生	言葉が通じないことがあった。
中学生	自分が言った事があまり伝わらなくて困る
中学生	言葉がつうじない
中学生	目が不自由な人だったので口でどのように説明すれば良いのか難しかった
中学生	うまく話せない
中学生	言葉の意味を理解してもらえないことがあった
中学生	あまりこちらの話が通じなかった
中学生	私の話している内容をちゃんと理解できているのか不安になることがあった
中学生	どのように言葉を伝えれば良いか迷ったこと。
中学生	自分が伝えたいことが伝わらない時があって、困ることがある
中学生	なかなか話が伝わらない
中学生	耳が聞こえない方と接した時、私が何を言っても分からないと言う立場になってみて、その時は紙に言葉を書いたりしたけど、本当はどうすればよかったのか分からず困りました。
中学生	言葉が通じにくい時困った
中学生	会話をする事が難しかったり周りの人と違うので接し方がわからない。
中学生	話が通じない
中学生	自分の伝えたいことがうまく伝えられない。
中学生	言葉がうまく伝わらないこと
中学生	自分の思いが伝わりにくい
中学生	助けたいけど話しかけづらい
中学生	自分の思っていることが伝わらない時がある
中学生	説明しても相手が理解できない。
中学生	話しづらい
中学生	自分の考えがうまく伝わらなかった時があった
中学生	どのようなことを話したらいいか分からず、困ったことがあります。
中学生	少し話しにくい
中学生	言ったことが伝わらない。
中学生	話しているときに自分の声が聞き取りづらくて大きな声で話さないと聞こえないのが少しこまったりする
中学生	プールでペアになった時、なかなか先生の言っている事が伝わらず私も上手く教えられずに進まなくて私が怒られた時
中学生	話しにくい
中学生	どう話せばいいか分からず、１対１になった時うまく話せなかった。
中学生	物事の説明をするときに詳しく説明してもあまり理解してもらえない時が困る
中学生	言葉がなかなか通じなかったこと
中学生	高齢者の方々とふれあったときに自分の声をなかなか聞き取ってもらえなかったこと。
中学生	目が不自由な方で壁の方に歩いていて声をかけたけどビックリ??されていた
中学生	本人が言われて気にするかもしれない言葉があまりわからないので話す時になんて言えばいいかこまったことがある
中学生	どのようにして話しかければいいかなど
中学生	自分が話していても相手があまり理解できていなかった
中学生	どこまで質問してもいいのか話し方の注意点など
中学生	話が通じにくい

中学生	自分が伝えたいことがうまく伝わらなかった時に、どうやって伝えればいいのか困ったことがある。
中学生	相手に伝わりにくい
中学生	話が通じない時がある
中学生	声をかけていいのか迷う
中学生	耳が不自由だったり、目が不自由な人にどうやって教えていいか戸惑うことがある。
中学生	話が通じない。
中学生	自分が話している内容が相手に届かない時
中学生	言葉の掛け方やどう配慮すればいいのか困った。
中学生	自分の思ったように言葉や気持ちが伝わらなかったこと
中学生	言葉が通じない
中学生	マスクを常に付けるようになって耳の不自由な人と会話をするとき、なかなか伝わらなかった。
中学生	理解してくれない
中学生	話を聞いてくれない
中学生	言葉が伝わらない。
中学生	耳が不自由な人に上手く話が通じなかった
中学生	話したいことが伝わらない
中学生	言っていることを理解してくれない時がたまにある
中学生	自分の言いたいことが伝わらなかったとき
中学生	話が伝えづらかった
中学生	話しかけづらかった。
中学生	話がよく伝わりづらいことがあること
中学生	話が通じ無い
中学生	うまく言葉が通じなかった。
中学生	上手く話せていなくて、言葉に困った
中学生	言葉を伝えるのが難しい
中学生	どんな言葉使ったら傷つかないかな、など話し方に困る。
中学生	言葉が伝わらない
中学生	話がなかなか伝わらなくて、困った。
中学生	話しにくい
中学生	話が通じない噛み合わない
中学生	相手に配慮した言葉が出てこなかったこと
中学生	話が通じにくいこと。
中学生	話しかけられたときにどう返答したらいいかで困った
中学生	自分の話していることが、あまり伝わっていないことがあった。
中学生	自分の言ったことがそのまま伝わらない場合がある
中学生	言葉が通じにくい
中学生	話が通じない
中学生	話すときなどにうまく言葉が伝わらずに困ったことがあります。しかし自分がうまく言葉を工夫して伝わりました。
中学生	泣き出した時に笑わせれるものがない。
中学生	言いたいことが伝わらなかったりする。その子のペースに合わせること。
中学生	話した事をすぐに忘れてまた、同じようなことを繰り返し話していて困ったことがある
中学生	どんなふうに話をかけてあげれば心を開いてくれるのかや逆にどんなふうに話をかけられるのが嫌なのかが知りたい
中学生	伝えたい事がうまく伝わらなかったりする。
中学生	うまく相手に伝えることができないこと。
中学生	言って良いことと悪いことの区別が難しい。
中学生	何度優しく教えても分かってもらえない
中学生	伝わっているのか心配になった
中学生	どんな声かけをすればよいか。
中学生	伝わりにくい
中学生	言葉が通じない時がある
中学生	言葉に気をつけながら喋ることに少し困った
中学生	話が思うように話せない

③　コミュニケーションがうまくいかず困った（209 件）	
学校	内　　容
小学生	話しても何を話せばいいか分からない話しかけても反応してくれない時がある
小学生	会話があまりできない事
小学生	話のつじつまが合わない
小学生	あまり会話にならず、どうしたらいいかわからなくなることがあった。
小学生	うまく自分の意見や表現を伝えられない相手が伝えたがっていることをわかってあげられない
小学生	障害の人じゃない人たちと同じ話が出来ない
小学生	話が噛み合わない
小学生	話が通じない時がある。何を言っているのかわからない時がある。
小学生	会話をすることが難しく、助けるときに困ってしまった。
小学生	会話があまり進まないこと
小学生	上手く会話ができない何を話して良いのかが分からない
小学生	会話が続かない。
小学生	一部の障害者のコミュニケーションが難しい
小学生	上手く会話が噛み合わずに困った事がある
小学生	話が合わないこと
小学生	困ったことは、知的障害のある方とお話ししたとき話が噛み合わなくて困った。でも、自分が他の人と違うとかネガティブな事は考えてほしくなくて無理に話を噛み合わせて苦労したことがあった。その方には申し訳ないが早く話を終わらせたいと思ってしまった。
小学生	あまり会話が成り立たない
小学生	話していた時に話の内容などが合わず少し困った。
小学生	話が通じない時があって話すのが少し難しかった。
小学生	会話のキャッチボールができない
小学生	あまり接する機会がないので、あまり分かりませんが、話すスピードが違って大変だった。
小学生	意思疎通がしづらい
小学生	耳が聞こえない人と会話する時に困った。
小学生	話す時にあまり話せない。
小学生	喧嘩になるとき本当は話し合いで解決するべきなんだけどなかなか話しが、噛み合わないからその時に困ったことがありました
小学生	時々近所のお婆さんが話が通じなくなる時が時々ある。
小学生	発達障害でまだ上手く話せないのでコミュニケーションが大変
小学生	話が進まない
小学生	普通の会話が出来無い！
小学生	話したことと聞き取られたことが違って、話すのが大変
小学生	あまり、話が通じてない時がある。ん?といわれるときがある
小学生	聞きづらいことがあったこと
小学生	言っていることが分からなくて会話が成り立たないことがある
小学生	話が一向に進まない。
小学生	障害のある人と話すこと。
小学生	何か喋っても返答がないときが困った。
小学生	会話が進みにくい
小学生	上手く話ができなかった
小学生	自分と、話していることがちがう
小学生	会話ができない
小学生	目や耳が不自由な方との会話
小学生	親戚の障害者や近所の障害者さんと接する時に最初は、私がちっちゃかったこともありますが、戸惑いました。話が聞き取りにくいなどです。
小学生	話が噛み合わない
小学生	考えが分からなかったり何をしたら良いのか分からなくて相手も困らせてしまった事もある.
小学生	上手く話ができなかった。
小学生	道のところで立ち止まっているから声をかけても何も返事をしなかったりしてどうしたらいいのかわからなくなることがあった。
小学生	会話ができない時があるからその時にどうすれば良いのか困る。

小学生	うまく会話が出来なかった。
小学生	聴き取りにくく、してもらいたいことがわからなかった。
小学生	話が合わないことがある
小学生	お話しするのが少し難しい
小学生	目が見えにくい人に、ここだよとか、あそこだよとかで説明してしまって、一回一回右だよとか、左だよというのがとても大変だった。その人と一緒に遊んだり、鬼ごっこをするときなどに、どのくらいの速さで追いかければいいのか分からなかったり、自分が鬼の時に、鬼だよとか言った方が良いのか分からず、困る時が、何度も何度もあった。
小学生	思ったより接しづらかった
小学生	相手に相談したりすると、意見が食い違うところ
小学生	話す時時々カタコトになる
小学生	あまり、話が通じなかったり、行動してくれなかったこと
小学生	あまり上手く会話ができない
小学生	うまくやりとりができなかったりする。
小学生	話したことがうまく噛み合わなくなったりした。
小学生	会話ができなくて困った
小学生	知的障害者の人と会話が上手く成立しない事
小学生	意思疎通がしにくい（知的障害の人の場合）
小学生	障がい者で年寄りの人に話しかけたときにあまり喋れない人だったから返事を返してもらえなかったこと。
小学生	話が噛み合わない
小学生	はなしてみてもしらんぷりされることがある。
小学生	話している時に、何について話しているのかわからなくなる時がある
小学生	時々なんて言いたいのかわからなくて、会話が詰まる
小学生	話がたまに噛み合わないこと
小学生	話が噛み合わない
小学生	会話が成立しない
小学生	話がすれ違うことがある
小学生	遊べない遊びがたくさんあってたいへんだった。
小学生	・会話が噛み合わない ・何を話せばいいかわからない
小学生	自分が伝えたいことを理解が難しく、お互い通じ合っていない場合があったりした。
小学生	手助けをした時に自分の話と相手の話が噛み合わなくて困ったことがある。
小学生	コミュニケーションが取りづらい
小学生	コミュニケーションが取りづらい。
小学生	会話をしようとしてもあまりつうじあわないことがある。
小学生	障害者とは知らず、気軽に話しかけてしまって話せなかった、困らせてしまった。
小学生	話がなかなか通じない
小学生	あまり話せなかったし、反応がなかったから困りました。
小学生	知的障がいの方は、障がいがあるのか分かりにくいので、何を話しているのかや何を考えているのかが分からず、会話が成り立たなかったことがある。
小学生	聴覚障害の家族と話す時たまに困る。
小学生	何が理解できているのか、できていないのかがわからなくて困ることがある。
小学生	耳の障害があってうまく喋るのができない人と接した時に会話がぜんぜんできない。
小学生	一緒におしゃべりをした時のことだが少し聞き取りにくい時があった。
小学生	話が噛み合わず、相手に迷惑をかけてしまったことがあります。
小学生	自分の考えなどが伝わりにくく、接しにくかった。相手がして欲しいことが分からない。
小学生	うまく話が伝わらない。
小学生	上手く話せなかったりして困る時がある。
小学生	耳の聞こえない人には会話がしにくい。
小学生	どうやって接したりどうやって話せばいいか。
小学生	聞き取れなかったり、言葉の説明が難しかった
小学生	障がいのある人の相談を聞いたとき、なかなかいいアドバイスができなかった。
小学生	はなしがあまりかみあわない

小学生	あまり会ったことがないから話がむずい人もいる
小学生	話が噛み合わない
小学生	会話があまり成り立たない
小学生	思うように日本語が伝わらない。何と言っているのか分からない。
小学生	思うように言葉が通じなくて障害者との会話で少し困ってしまう。
小学生	会話がうまくできなかったとき。
小学生	話しても、相手が話せなかったりして、少し困った。
小学生	話してることが伝わらない。困っているのは仕草でわかるけど、何に困ってるのかわからない。何かしゃべっているけどなんてしゃべってるか聞き取りづらい。
小学生	発音の苦手な人と喋ったりした時に困ったことがある
小学生	どういう声をかけるか、相手は自分のことどう思ってるのか（知らない人なのか知ってるけど信頼されてないのか友達と思っているのか）
小学生	話している時、会話が続かないことがある。
小学生	どういうふうに接して行けばいいのか。何を話そうと困ったことがある。
小学生	あまり会話が出来なくて、何をすればいいかとかが分からなかったことがあった。
小学生	難聴の人に話しかけられた時
小学生	好意をもたれて、断わるのに困った。
中学生	言葉や対応の仕方
中学生	会話が難しい
中学生	話しているのにその話についてこなくて途中で話が終わったりしたりした。
中学生	発達障害の場合、意思疎通が難しいと思う。
中学生	話がうまくできない
中学生	・コミュニケーションをとることが、困難 ・どこを見ればいいかわからない
中学生	日本語が通じない
中学生	何を考えているかわからない時なんて話せばいいかわからない。
中学生	会話が続かない
中学生	コミュニケーションが取りにくい。
中学生	コミュニケーションをとるのが難しかった。
中学生	いつどのタイミングで発作が起こったり、怒りをあげたりするのか、一人一人異なるため、話せることが少なく会話が弾みにくい。
中学生	コミュニケーションを取ることに少し時間がかかったこと
中学生	言葉をうまく聞き取れないことや、話すときにスムーズに会話できなかったこと。
中学生	話が噛み合わないのでめんどくさい
中学生	障がいのある方に限らずですが、人が何を思っているのか、自分をどう認識しているのかが私には分からないのでお話をしている時などの発言で何を気をつければ良いのかが分からないことです。
中学生	知的障がいがある人と会話、対処？する時にどうすれば良いか分からなかった。
中学生	知的障がいがある人にどうやって会話や、対処？すれば良いか分からなかった。
中学生	話が噛み合わない
中学生	よく喋ったりしてる人と障害のある人との、会話で通じない時が多い
中学生	話題が少しずれる事がある
中学生	なかなか話がつかず、手助けをしようにも出来なかった。
中学生	うまく聞き取れなかったこと話が上手くできなかったこと
中学生	会話が進まない
中学生	会話が成り立たない時
中学生	知的障がいのある人や発達障がいのある人と話す時、コミュニケーションがあまりうまく取れなかったことがある。
中学生	コミュニケーションをどのように取れば良いのかあまりわからなかった。自分のしていることをどう感じてくれているなかが分からず、不安だった。
中学生	普通の人と違ってあまり会話がつながらないと困る
中学生	コミュニケーションがうまく取れなっかた。とり方わからなかった。相手の伝えたいことうまく読み取れなかった。
中学生	話がうまく進まない
中学生	会話ができない

中学生	あります。障がい者の方は自分の言葉を思うように伝える事が出来ないのでどういう会話をすればいいのか分からないときがあります。
中学生	傷つけずに質問したり接したりする時
中学生	コミュニケーションをとるのが難しい。
中学生	会話に時間がかかる
中学生	コミュニケーションを取るのが難しい
中学生	小学生のときにお世話係になった時にうまくコミュニケーションが取ることができなくて困った事があった。
中学生	ことばづかい
中学生	自分が言ったことに対して理解できていなそうな時があった。
中学生	耳の不自由でコミュニケーションが円滑に進まないこと
中学生	話が食い違ってしまう事があった
中学生	会話
中学生	知的障害のある方と接した時、最初のうちは会話が成り立たなくて困ったが、落ち着いて聞いたり、ゆっくり話すことによって、解決することができた。
中学生	会話がしてみたい
中学生	うまく話が噛み合わないことがあった
中学生	なかなか思いどおりにいかないことで放棄してしまうことがある。
中学生	コミュニケーションが難しい
中学生	上手にコミュニケーションが取れないこと
中学生	会話が成り立たない
中学生	コミュニケーションが取りにくい。
中学生	会話にならない
中学生	会話が成り立たない
中学生	なかなか思い通りに物事が進まない時があるけれど、時間をかけてゆっくり接しています。
中学生	まともな会話ができない時があった
中学生	意思疎通ができないことがある自分だけではどうしようもない、手におえない時
中学生	会話の仕方
中学生	ある。会話が成り立たない時があって、どうしたらいいかわからなかった。
中学生	話がたまに通じない時
中学生	話が通じなかったり、言っていることがわからないことがいくつかあった。
中学生	会話のキャッチボールとか、難しかったり、話の内容
中学生	価値観や生活環境が全く異なるので、話す内容が噛み合わない事が最初はあった。
中学生	話のキャッチボールが出来ない事がある。
中学生	話が噛み合わず困ったことがありました
中学生	コミュニケーションがむずかしい
中学生	話が通じなかったり、意思疎通ができない。何を考えてるのか行動が読み取れない
中学生	１回話しても何回も聞き返される事があった
中学生	コミュニケーションが取りにくいので考えて行動した
中学生	うまく言葉が聞き取れなかったときにどういう反応をすればいいかがわからなっかた。
中学生	会話ができなかった
中学生	精神や知能障害を持っている人にあっても、会話をまともにすることができないことがある。
中学生	なかなか話が進まない。
中学生	会話がいつものテンポですることができず、コミュニケーションに困ったことがあります。
中学生	話が噛み合わない
中学生	コロナ禍の中耳が聞こえない人と接した時に会話の仕方に困った
中学生	ある。自分の言ったことが伝わっているのかわからなかった。
中学生	自分の言いたいことが通じなかったり、相手の言ってることが分からない
中学生	会話がしづらいどう接したらいいのかわからない
中学生	なかなか話が通じない
中学生	会話できない状態の時、少し困った。
中学生	話題に困る
中学生	話す内容
中学生	友達にするように会話が出来ない

中学生	上手く話せなかった
中学生	うまく会話できなかった
中学生	あまり会話がうまくいかず少し困った事。
中学生	障がいの事についてもっと詳しく聞いていいのか迷った
中学生	会話が成り立たない
中学生	自分の思った通りに行動できずに時間をかけてしまう
中学生	会話をする中で理解し合えない時がある
中学生	会話が成り立たないことがある
中学生	会話が合わないこと
中学生	自分の思うとおりにいくことが少ない
中学生	どうやって接したり、どのような言葉をかけてあげればいいのか
中学生	会話がスムーズに進まなかった
中学生	なにをしゃべればいいのか困る。思っていることがわからない。
中学生	互いの意見が一致しないこと
中学生	言動が子どもすぎて会話が出来なかった。
中学生	話すことができない障がい者だったので意思疎通が難しかった
中学生	コミュニュケーションが取りづらかった

④　障がい者の気持ちや伝えたいことが理解できず困った（199 件）

学校	内　　容
小学生	何を言っているかが、わからなかったことがある。
小学生	言葉をかけてもしゃべらずにだんまりしてしまって、反応が無いのでちゃんと聞いているのかが分からない。
小学生	話すときになんて言っているのか聞き取れなかった。
小学生	たまに、なにをいってるかわからない
小学生	何をして欲しいかがわからないことがある。
小学生	その人が、助けて欲しいのかわからない。助けていいのか、その人だけでできることなのか。
小学生	障がいがある人と接したとき、何を考えているのかわからなくて、自分は何をしたら良いのか分からなかった
小学生	その人を助けていいのか、助けられたくないのかがわからなかった時があった。
小学生	相手は不自由なので気持ちが分からないから困った。
小学生	声が少し小さい
小学生	なにをして欲しいのかわからない
小学生	近所で家に帰るときにあって少し話したことがある。その時、あいさつをしてちょっとこっちきてみてと言われて近くに行って少し話しを聞いたけれど、何を言っているのか分からなかったことがある。
小学生	言葉が通じなかったり、何をしたいかわからないとこがある
小学生	相手の言っていることがわからない
小学生	相手するときに何をしてあげればいいのか分からないからすこし困る。
小学生	障がいのある方のしたいことや、思っていることが理解できない時があった
小学生	障がい者があまり喋ることができない
小学生	何かを言っているが何を言っているか分からなく、ほかのひとにたよってしまう
小学生	なんて言っているかわからない
小学生	時々話が理解できない
小学生	何がしたいかよく分からない
小学生	相手が話していることが分からなかったり、手伝ってと言われた時にやってみても相手の思うようにできなくて悲しい。
小学生	うまく話が聞き取れない
小学生	どこに行きたいのか、どうしたいのかがわからなくて困った。
小学生	お話しするのが苦手な人と接して、しっかり相手が何を話しているか聞き取り難かったです。
小学生	自分のいつもの話し方で聞こえづらそうだった。
小学生	何を話してるかわからないとき。感情的になったとき。
小学生	何と言っているのか聞き取りづらい

小学生	発達障害の人がどれがわからず、どれが分かんないかがわからないこと。
小学生	言葉を聞き取るのが少しだけ難しかったです
小学生	本人じゃないとわからない悩みが、どんなことなのかわからないこと
小学生	どんなことを思っているのかかんがえること。
小学生	その人のやりたい事などがはっきりとわからない。
小学生	自分の声が聞き取りづらそうだった
小学生	生まれつきの障害で、話すことが少し難しい方とお話しした時、昔の私にはうまく聞き取れなかったことがある。
小学生	言葉が聞きにくかった
小学生	何を話したいのか、分からないときがある
小学生	うまく言葉が聞き取れないことがある
小学生	気持ちを伝えにくい
小学生	少し言葉がわからないことがある
小学生	思っていることが分からなくて、読み取るのに時間がかかった。
小学生	どういう助けが必要なのかがわからなかった。
小学生	話している言葉が聞き取りにくい
小学生	言葉がたまに聞こえにくい。
小学生	時々何を言ってるのか聞き取れないこと
小学生	たのしいかなとなやむこと。
小学生	発達障害の方と交流した時、正直言、何を言っているのかさっぱり分からず、困ったことがある。
小学生	言いたいことが分からなくて困った
小学生	その人がどう思っているかなど
小学生	喋れない人もいるから何が伝えたいのかがあまりわからないこと
小学生	障害で上手く話せない人に会った時、困っている様子だったがなんて言いたいのかわからなっかた。
小学生	喋っていることがわからなかったり、慰めてあげても卑屈で、伝えたいことがうまく伝わらない
小学生	考えてることがあまりわからない
小学生	少し話を理解してもらえないこと
小学生	何を言っているのかわからなかった。
小学生	何を言っているのかわからない
小学生	何を言ったらいいか分からない
小学生	少し聞き取りづらい時がありました。
小学生	・何を言いたいのか分からない・何をしたいのか分からない・何をして欲しいのか分からない
小学生	言葉が聞き取りづらい。なにをして欲しいのかわかりづらい。
小学生	喋れなくて何を言っているのかわからない時があった。
小学生	何かを手伝おうとした時、その人は車椅子に座って、手伝って欲しいものに指を指したりするけど、どれを指しているのか分からなかったりした。
小学生	言葉がわからない
小学生	言葉の不自由な人の話していることがわからないことがあった。
小学生	その人が伝えたいと思う言葉を上手く聞き取れず、困ったことがあります。
小学生	何を話しているのか分からなかったことがある
小学生	なにを言っているのか分からないことがありました。
小学生	話が聞き取れなくてどう対応すれば良いかわからない
小学生	なんて言っているかわからない時どう手助けすれば良いのかわからない時
小学生	何を言っているのかわからない
小学生	障がいのある人と接しているとき、その人の気持ちが分からない。
小学生	時々何を言っているのかよくわからない
小学生	話してる事がよくわからなかったこと
小学生	気持ちがわからない
小学生	何を話しているか聞き取れない
小学生	どうやって遊んだり、話したりすれば良いか困った。何を話してるかわからなかった。
小学生	何を言っているのかわからないことがある。
小学生	声が聞きとりにくくて、何度も聞き直すことがあること
小学生	自分はその人が持っている障害を持っていないので、その人が何を考えていて何がしたいにかがわかんない時がある。

小学生	今相手が何に困っているかがわからないことがある。
小学生	何をしたいのかわからない
小学生	言ってることが分からないことがある
小学生	困っていても言葉がつうじなかったり自分が理解ができなかったら困る
小学生	何をして欲しいのかが分からなかった。
小学生	言葉が慣れないとなかなか分からない。
小学生	何が言いたいのか、あまりわからなくて行動に移せない
小学生	何を言っているか聞き取れないこと
小学生	相手が余り喋れないので、何をすれば良いかが分からなくて困った。
小学生	何を言っているかわからない
小学生	何をすればいいのかわからなくなるので、できればやってほしいことを言葉で伝えるか紙に書いて教えて欲しい。
小学生	言葉がわかりづらかった
小学生	耳が聞こえないという障がいを持った方と接した際、話していることがうまく聞き取れず、少し手伝うのに手間取ってしまった。
小学生	何を言っているか分からない時があった。
小学生	喋っていることがわからない
小学生	何を話しているか分からない。
小学生	言葉が発するのが難しく、よく聞き取れ無い。
小学生	しゃべっていることが分からない自分の事しかしかしゃべらない
小学生	一体、何が不便で、何がしてほしくなくて、何がやってほしくないのかが、分からない。
小学生	話していることが聞き取れない。
小学生	あまり、自分の考えを言ってくれなかったから、分かりにくかったけど、まぁ、しょうがないよなぁと思った。
小学生	相手の言っていることが分からず何をすればいいのか分からない。何を話していいのか分からない。
小学生	どのようにしたら障害者の方が楽なのか
小学生	何を言っているか何回言われても聞き取れない時にどうしたらいいか分からない。
小学生	その人が喋れないとき家が、わからなかった。
小学生	何をして欲しいのかが分からなくて困ったことがある。
小学生	困った事は、発達障害の方とおしゃべりをして、でも話が途切れ途切れだったので、困ったなと思う
小学生	話していることが分からなかったりした。
小学生	何に困っているのか、何がしたいのかわからない。
小学生	話があまり分からない時がある。
小学生	何を言ってるか聞き取りづらい
小学生	聞き取れなかった時
小学生	あまり話せない人と接したときによく聞き取れないので困る(?゜???゜)
小学生	言っていることがあまりわからない
小学生	相手がどう思っているか分からない。
小学生	相手の気持ちがわからない。
小学生	障がいのある人が何をしてほしいのかがわからなかった。
小学生	発音が苦手な人は話すのが難しかったことがある
小学生	何があったか、わからない時がある。(喋れない人などで)
小学生	何を考えているのか何をして欲しいのかがわからなくてうまく遊ぶことができない
中学生	相手の感情が読み取れなくなった時
中学生	発達障害の人と喋った時に会話内容を理解するのに時間がかかった
中学生	声が聞き取りにくいこと
中学生	なんか言いたそうだけど、理解できない。
中学生	会話をするときに、相手の言いたい事がよく分からなかった
中学生	障がいのある人たちにとって何が有難いか分からない
中学生	相手が私に何を伝えたいのかを読み取ってあげることが出来なかった、難しかった。相手の感情が分かりにくい。
中学生	言っていいことなのか迷うことがある。助けが必要なのかわからない
中学生	何を自分に伝えようとしているか分からない
中学生	どこまで心に立ち入って良いのかが分からない。どう接して欲しいのかが分からない。

中学生	どのように話せばよいかわからなかった。障がい者の方の気持ちが理解できていなかったと思う
中学生	相手が伝えようとしたことがあまり理解できない時がある。
中学生	障がいのある人が、今、手助けして欲しいのか、そうではないのかがわからないから、どうにもしてあげられない。
中学生	どんなことを考えているのか分かりにくいことがある
中学生	喋ってくれない子との意思疎通がむずかしかった
中学生	言葉が通じなかったことや、相手のやりたいことやして欲しいことなどが分からなかったこと
中学生	相手が何を考えているのかわからない
中学生	喋ることができないので、どういう気持ちなのか理解するのが難しい。
中学生	相手の方のおっしゃっている事が分からなかった
中学生	相手の思っていることがよく分からない時
中学生	会話をしたいということは伝わってくるけど、うまく聞き取って理解してあげることが難しい
中学生	障害者の人が何を言いたいのかがわからなくて、どうすればいいか自分でもわからなかった。
中学生	質問の意味がわからず返答に困った
中学生	耳が聞こえない子がいて「あれキミのじゃない？」ていうときにすぐには伝わらなっかた
中学生	相手がどのようなことを思っているのかが分からないこと
中学生	何をしてほしいのかとか、何を思っているのかを理解するのが難しかった
中学生	なにを伝えたいのか分からなかった
中学生	何をして欲しいかわからない
中学生	何をして欲しいのか言ってくれなかったら困る
中学生	何を考えているかわからないから大変だと感じた
中学生	話が伝わらない。聞き取れない。
中学生	相手に気持ちを考えることがむずかしい
中学生	相手が何をしたいのかを理解できなかったことがある。
中学生	喋っている時なんて喋っているのかわからないことが最初はあり、違和感があった。
中学生	どう接すればいいのか分からないときがある。たまに、話の内容を聞き取れない事がある。
中学生	何をして欲しいのか、わからなかった
中学生	何を言っているのかわからない時があること。
中学生	何に困っているのかがよくわからない時があった
中学生	精神的な病気を持っている方々と接するときどんな感情なのかわからない。
中学生	自分の意見をはっきり主張してくれないことです。
中学生	「困っていることはないですか」と聞いても返事がなくまた、聞こえてもよく聞こえないこと
中学生	なんで困っているかみただけでは分からない
中学生	なんといっているのかわかりにくい時がある
中学生	発達障害者の人が、話している時に、何と言っているのかわからなかった。
中学生	何を言っているのか分からないときがある
中学生	何を言ってるのかわからない時がある
中学生	自分が話しかけられたことに気づかなかった
中学生	何を喋っているかわからない時があった
中学生	私の曽祖母が知的障害を患っています。今は老人ホームに入所していますが、私が小学生の頃は祖母の家に住んでおり、毎日話したり遊んだりしていました。その際に、言っていることがわからず大変でしたが、知的障害を患っていると知り、曽祖母のことをしっかり理解できました。知的障害とは何かを調べ、曽祖母のことを理解するまでが大変で、困りました。
中学生	相手の思っている事がわからない。どうしたら良いのかわからない。
中学生	自分が話した内容が聞き取れないことがある
中学生	何を言っているのかわからない時があった
中学生	何をしてほしいのか伝わらない時があった
中学生	声が聞き取れない時がある
中学生	お年寄りの方の手伝いをする時に聞き取れない部分があった
中学生	何がしたいのかどうして欲しいのかがよくわからなかった。
中学生	時々よく分からない発言をして理解に苦しむ時がある
中学生	障がいをもっていないのでどんなことをして欲しいのかがいまいち分からない
中学生	気持ちがわかってあげられないこと
中学生	どういうときに助けて欲しいのか分からない時がある

中学生	その人が安心することがわからない
中学生	たまにいっていることが理解できず曖昧な返ししかできない時がある
中学生	何を考えているかわからなかった
中学生	障がい者の人が考えていることがわかりにくい為障がい者の思っているとおりに行動するのが難しいこと。
中学生	本人が言いたいことやしたいことがちゃんと伝わらないときに少し困りました
中学生	言葉が聞きづらかったりしたことうまく言葉が通じなかったこと
中学生	たまに何を言っているのかわからなくなり自分が慌てる事がありました。
中学生	どうして困っているのかわからない時
中学生	自分は障害をもっていないから、気持ちを分かろうとしても空回りする時がある。
中学生	なんて言ってるのか分からない
中学生	話している内容がわからない
中学生	相手がなにを言ってるのかわからない
中学生	時々何の話をしているのかわからなくなる時がある
中学生	どんなことを思っているのか分かりづらい
中学生	言葉が詰まって何を言いたいのかわからなかったこと
中学生	うまく喋ってる言葉が聞こえなかった
中学生	相手の意見が自分に伝わりにくい
中学生	何をしたいのか伝えたいかが分からない時があった。
中学生	相手の気持ちを理解するのが難しい
中学生	相手が何を伝えたいのかわからない

⑤　障がいに特有の行動に接して困った（102 件）

学校	内　　容
小学生	障害がある小さい子が、大きな声で叫んでいて少し困った
小学生	理解が遅れたりすること。
小学生	できない事を頼まれる。
小学生	全然いうことを聞いてくれなかったり、自分勝手だったりしたこと
小学生	自分が思うように障害のある人が動けない
小学生	耳が聞こえないと話せない
小学生	言うことを聞いてくれない
小学生	「無理」と言っているのに一緒に帰ろうとする
小学生	やって欲しいことをすぐにしてくれない
小学生	髪の毛と洋服を引っ張られたりしたことがあってあまりにも力が強くてすぐには、離せなかったです。
小学生	発言が聞き取りにくかった。うつらないけど障がいがうつりそうで近くに行けなかった。
小学生	何を話しても、通じない時がある。注意などをしても、聞いてくれない。
小学生	同じクラスになったとき授業を受けたくないといって教室に連れて行こうとしたけどなかなか来てくれなかったこと。
小学生	ずっとついてくる
小学生	急に触ってくる。会話ができない。
小学生	自分の言っている事と別のことをしているとき
小学生	泣いていて、話しかけたのに何も言ってくれなくて困った。
小学生	意見を言ってくれず困った
小学生	たまに言うことを聞いて、一緒に行動してくれたりしてくれないことや、「だめだよ」と言ってもやめてくれないことがある。
小学生	耳が聞こえない人が話す時は大変です。
小学生	急にいろんなことを話しかけてくる時
小学生	急に大きな声を出したりした時
小学生	言った通りにしない。理解するまで、時間がかかる。
小学生	言う事を聞かない
小学生	する事が違うこと

小学生	学校で勉強をしているときに、質問とは何の関係もないことを多々発表していて授業がストップしているように感じた。
小学生	思っていたことと違う行動をとってしまう。
小学生	関係ない事を言う。
小学生	少し行動が遅い。
小学生	急ににらまれたことがあり、困った。
小学生	ちょっと騒がしい
小学生	何も言っていないのに急に顔を近づけられた
小学生	同じことを何回も言うからそれをわかってあげること。
小学生	勝手にどこかへ行ったり、急に大きな声を出したり、急に近づいてきて体を触られたことで困った。
小学生	問題を起こす
小学生	知らないのに急に話しかけてきたこと
小学生	話をかけられたとき
小学生	急に違う話になって、困った。
小学生	急に抱きつかれたり自分の物を取られたりした時。
小学生	学校の友達の目が見えない子がぶつかってきたりする時
小学生	エレベーター前のドアを開けてるのにずっと出なかったこと
小学生	車に乗っている時に障害のある人が、白線から少しはみ出ていた。
小学生	耳が聞こえない人はけっこう難しいけど、他は特に無いです。
小学生	言うことを聞いてくれない
小学生	自分がこうして、と言ったことをしてくれない
小学生	言わなくてもいい事を言ってくる
小学生	私が話をしているときに突然別の話をしたり、どこかに行ったりし、どうすればいいのか分からなくなった。
小学生	障害を持った知らない人男の子にいきなり手を握られた。
小学生	気分が良い時と良くない時の差があってそこに困ったことがある。
小学生	行ったことを何度も言う。
小学生	登校班にいるため、歩くときについて来れない時がある。
小学生	いっしょに動いているときに違うところに行っている時があった
小学生	挨拶しても無視された。
小学生	わたしがはなしても返事をしてくれない。そして、いつもその人をお世話している人は私の祖母でささいなことで大きな声で名前を呼んでくる。
小学生	入ってはいけないところに入っていった
小学生	行動に移せない
小学生	すぐに泣く
小学生	勘違いをしたりすることがよくある。
小学生	言うことを聞かなかった。
小学生	急に走り出したことがある
中学生	みんなで決めたルールを守ってくれない時はどうしていいかわからず困った。
中学生	僕の親友が障害を持つことになり初めは反応が遅いのでなれなかったです。
中学生	急に大声をあげたり、奇声をはっしたりしたとき
中学生	知的障害の人と接した時、その人が自分の事しか考えておらず、周りの人達の気持ちとかを考えずに行動していたり、時や場合を考えずに話しかけてきた時にどうしたらいいかわからず困りました。
中学生	なかなか言うことを聞いてくれなかったこと。
中学生	1 人になりたい時に離れてくれないこと
中学生	喋れない人がいる
中学生	反応があまり早くなくて、分からないことがあること
中学生	自分が考えていることと相手の考えていることが違って、相手が泣いてしまったこと
中学生	障害者の言葉の言い方があまり慣れない。
中学生	何度も同じことを言うこと
中学生	ある。人の邪魔をしてくる。
中学生	登校班が一緒だった時に横断歩道を急に走り出してしまった
中学生	意味のわからない行動をされた
中学生	人の話を聞かない時

中学生	時間が遅れる
中学生	ちゃんと言葉が通じなかったり、相手の情緒が不安定だったりしたこと
中学生	話が噛み合わなかったり意味のわからないことをやっていて対応に困った
中学生	動きが遅い時がたまにある
中学生	話したく無い時に話しかけてくる
中学生	親戚の軽度知的障害を持った方と話した時、話していて急にボーっとし始めて、まったく喋らなくなってしまった。その方の姉が「よくあるから気にしないで。」と言っていて、軽度でも生活を送る上で、大変だと実感した。
中学生	相手がしたいことや、思っていること、考えが自分やいつも触れ合っている人(家族・友達など)と違う時がある。
中学生	家に入ってきたことがある。
中学生	自分が言っていることをなかなか理解してくれなかったり、小さいことですぐに機嫌が悪くなってしまうこと。
中学生	急に走り出したりと考えてることや言ってること気持ちがすぐには理解出来なかった
中学生	すぐキレる
中学生	思ったように動いてくれない
中学生	耳が遠い
中学生	話がゆっくり
中学生	ずーっと自分の話をしていて、なかなか終わらないから困った。
中学生	追いかけられた
中学生	言葉を喋らない
中学生	注意をしても聞いてくれない
中学生	意味不明の行動をとられた時にどう対処すればいいかわからなかった
中学生	いとこが発達障害でテンションの上がり下がりが激しい
中学生	言葉が通じなかったり、相手の言動に戸惑ったりした
中学生	めっちゃ見てくる人が時々いる
中学生	距離が近いこと
中学生	どこを見て話しているのかが分からないこと。
中学生	会話が通じなかったこと。公共の場で大きな声を出していたこと。
中学生	認知症の人と喋った時に、何について話しているのかわからなくなったり、例えば（テレビ）だと言っても通じなかったりした。すぐに忘れてしまったりしていた。
中学生	いきなり話しかけられて少しびっくりした。

⑥　接し方や支援について困った（80 件）

学校	内　　容
小学生	困ったことというよりは、接し方が難しく、悩んだことがあります
小学生	優しくすることが大変
小学生	本当に手伝っていいのかなと困ったことがある
小学生	何をしていいのか迷ったことがある。
小学生	学校の福祉についての勉強で体育館で劇をしてもらい福祉について大切なことを教えてもらったときに、もし障害者に出会った時は手助けしてあげることも大切だが、温かい目で見守ってあげることが大切だと言われ、助けてあげるか見守ってて良いのか迷った
小学生	どういう感じで接すればいいかと考えた
小学生	何を、すればいいか。
小学生	どういう感じで接したら良いのか、迷ったとき。
小学生	できないことを言った時にどうたいおうしたらいいかわからない
小学生	あまり上手く手伝えなかった。
小学生	どうしたら良いかなと思う
小学生	どう接していいのか？
小学生	どうすればいいか困ってしまう…。
小学生	どうやってすれば良いのかを考えてしないといけないから。
小学生	初めて障害の人に会った時はどう接したらいいかわからなくて困ってたけど、今は困ってることがありません。

小学生	何を手伝う？何を作るとか、、、。
小学生	どう接したら良いか、何をすれば正解なのかなどがあまり分からず困ったことがあります。
小学生	どうしたらいいのか困った
小学生	手助けをしたほうがいいのかが分からなくて困ったことがあります。
小学生	話す時接し方がわからない時がある
小学生	その人が、何をどこまで出来て、どこまでを手助けして欲しいのかがはっきり分からず困った事があります。
小学生	これは自分でできるのか、手伝った方がいいのか困ったことがある。
小学生	どのように接するのが良いのか迷った。
小学生	一緒に行動する時に不便
小学生	どうたいおうすればいいか
小学生	何をすれば良いか
小学生	どうやって手助けしよう
小学生	どのように助けてあげればいいのか困った
小学生	目が不自由な人と歩く時にどうやって連れていけばいいのか困りました。
小学生	どのような感じで接すれば良いのか
小学生	普通の人とちがうから対応しにくい
小学生	接し方が合っているのか。
小学生	身体的、精神的な障害であれば話をして理解してくれるので、手助けや接する事ができると思います。知的障害に関してはどこまで手助けをして良いのか？接し方に少し戸惑いを感じます。
小学生	何をすればいいのか
小学生	起きるのを手伝うときに（大丈夫かなぁ。）と思う時。
小学生	車椅子を押すスピード
小学生	何をすればいいか迷う。
小学生	手つだって良いのかだめなのかで困る
小学生	どう話すと良いか迷った。
小学生	その人にはどういう事をしたらいいか
小学生	精神障害（パニック障害など）の方を落ち着かせること。
小学生	どうすればいいのか
小学生	バスなど譲るか譲らないか迷う
小学生	何をすればいいのか困った。
小学生	なにがしたいのかをおしえてくれないとできない。
小学生	どういうふうに接して行けばいいのか。何を話そうと困ったことがある。
小学生	好きでなったんじゃ無いんだろうけど、遊びにくいように感じてしまう
小学生	どういうふうに接して行けばいいのか。何を話そうと困ったことがある。
中学生	どう接していいか
中学生	どんな手助けをしてあげれば良いか
中学生	食事中やお風呂の時に、手間がかかる。
中学生	その時どんな状況なのかよく分からず、なにをすればいいのか戸惑ったこと。
中学生	出来るのか出来ないのか微妙なラインのことは手伝うべきか迷います。出来ることを手伝うのは何か違うと思うので。
中学生	障がいがある人の中には、「周りと同じように接して欲しい」「特別扱いはいやだ」と思う方もいると思います。どこまでを手助けしたらいいのか、迷った経験があります。
中学生	上手な声の掛け方が分からない、身の回りの事をどこまで手伝えばいいかが分からない
中学生	一つの行動に時間がかかったこと
中学生	一緒に行動するときに少し遅れてしまった
中学生	どのように接してあげれば相手は助かるのか？相手は自分に何をして欲しいのか？
中学生	迂闊に関わろうとしていいのか
中学生	喋りずらかったり接するのが難しかったりした
中学生	あまり手伝いましょうか？なども言えないので、どこまで手伝っていいのかは最初の頃困っていた。
中学生	いつもの感覚で接すると合わない時があるから大変だった。
中学生	性別が違う時トイレとか
中学生	話が聞き取れなかった相手の頭が混乱した時に、どう支えれば良いのかわからなかった
中学生	どうやって接したらいいのか

中学生	どうしたらいいのかって思う
中学生	最初はどう接していいのか戸惑った。
中学生	身体の障害者は、周りを見ていないといけない
中学生	対応の仕方をどうしても考えてしまう
中学生	ヘルプマークなどが無い方は、どう助ければいいか迷った時があります。しかし、ヘルプマークをつけるのが嫌だと思っている方もいると思うので、難しいです。
中学生	どのように接すればいいのか
中学生	どう接すれば良いのか不安になることがある。
中学生	・何を話せばいいのか ・どういう風に接すればいいのか
中学生	障がい者がしてはいけないことをしていた時に、どうやって注意する、もしくは接して良いかがわからなかった。
中学生	どうすればいいのか迷った
中学生	どう接すればいいか困る時がある
中学生	どう話しかけたらいいのか、どこからどこまで手伝えばいいのか、悩んだことがある。
中学生	どう接するか
中学生	何かした方がいいのだろうか
中学生	自分でなんとかするときもあったり、助けが必要な時とかがあったりして、接し方の工夫が少し大変だ。

⑦　傷つけたり迷惑をかけたりしていないかと不安になった（69 件）

学校	内　　容
小学生	自分の考えじゃ、障がいの方を逆に迷惑をかけたりしてしまった時
小学生	なんてしゃべればいいかが分からない。（失礼なことを言っていないか）どうやって接すればいいかが分からない。
小学生	自分の対応で良いのか不安になる。
小学生	話しかけるときや話しかけられた時、その人はどんな言葉で傷ついてしまうのかわからないとき
小学生	１人では出来ないことが多いから『何もできなくてごめんなさい』ってなる時がある
小学生	どのようなことを話かければよいか、話しかけたことに対してイライラしないか困った
小学生	特にはありませんが、スーパーなどで出会った時、一生懸命何かをしていらっしゃる時、手助けをしていいのかなと思う時はあります。
小学生	やたらと手伝うのもありがた迷惑かも知れないと思って、どうするのが一番いいのか迷ったこと。
小学生	大丈夫かなと、頭の中で思う。
小学生	手助けは、進んでしたいと思うが、必要以上に気にしすぎて、過保護に思われることが少し怖い
小学生	こういう事はしてはいけないとか、触れてはいけない所とかがあるのかなと思って積極的に動けない事がある
小学生	自分では手伝いをしているつもりなのに相手側は、余計なお世話だと思われている時
小学生	判断が合ってるか不安になる。
小学生	自分がやってもいいと思っていても障がいのある人にとっては、やらなくていいことかもしれないこと
小学生	その人が思ったことをできない時がある
小学生	何を考えているのか理解がしにくく、自分の接し方が間違っていないかが心配になってしまうことがある。問いかけても返事をしてくれない時があり、困ってしまう。
小学生	手助けをしたいけど相手が嫌がらないか心配で、手助けが出来ない。
小学生	何か、ほんの少しの事でも相手の心を傷つける事になるのかもしれないと思ってしまい困ってしまう事があります
小学生	言葉が伝わらないことや、何かあったとき自分がどんな行動をすればいいかが分からない。また、自分が行動をしたとき、その行動が本当にあっつているのか、まちがっているのかが自分で判断していいのかが分からない
小学生	助けられたりするのがいやだったらどうしよう。と考えたことがある。
小学生	怪我をさせたらどうしようとか、何と言ってあげると良いのか、といったことで不安、心配になった。
小学生	障がいがある人にやらなくてもいい時、無理やりやろうとすると困る時がある。
小学生	どのように接したら良いのかがわからない。変なことをいって相手が傷ついていないか。

小学生	話しかけた時、相手が障害者扱いされていると思って相手が嫌な気持ちになるないか?
小学生	よかれと思ってした事が余計なお世話になってしまう瞬間。
小学生	どういうことを言ったらきずつかないか
小学生	余計なお世話かなーておもってしまう
小学生	相手が嫌な気持ちにならない為にどうすればいいのか。
小学生	もしも、自分一人だったら、人手が足りないし、大変な目にあったら、こまってしまうし、その障害者の福祉さんも困るから。
小学生	自分が手伝っても手助けになるのだろうか？とおもったことがあります。
中学生	自分のやっていることが正しいのかわからなかった。
中学生	本人に配慮できているか不安になる
中学生	もし、これをいったら相手がきずついてしまうんじゃないかと思ってうまく話せない
中学生	自分の手助け方法が合っているのかというので不安になったことがある
中学生	自分が行動したことによって最悪なケースになるかもしれないという不安がある。
中学生	手助けをする声かけを嫌がられていないか心配になる。（不満に思われていないか）
中学生	どう声をかければ良いかわからなかった。（余計なことを言って気分を悪くさせないか不安だった。）
中学生	なんて声をかければいいか戸惑う。話しかけられたら迷惑かなとか。
中学生	自分では経験したことがないので、これで良いのかななど思ってしまうこと。
中学生	自分と一緒にいて楽しいのかがわからない。
中学生	最初に何て言えばいいか分からない失礼な事を言ってしまいそうで怖い
中学生	接し方がわからない、変なことを言って相手が傷つかないか心配
中学生	その人の気分を害するようなことを発言したり、行動に起こしたりしないように配慮すること。
中学生	障がいのある人に、特別扱いは良くないと、言われるが自分にはできない。
中学生	手伝って気を悪くしないか
中学生	配慮するときにプライドを傷つけてしまわないか怖い
中学生	手を貸したけどほんとうにその人のためになっているか
中学生	失礼な事をしてしまったか不安になる。
中学生	気遣いだと思ってしたことが逆に失礼で、迷惑になることがある。興味があるので日常のことなど色々質問してみたいが、どこまで踏み込んで質問していいのか分からない。
中学生	自分のした事があっているのかなと疑問に思ったことがある。
中学生	自分でできることを手伝ってしまって少し嫌な気持ちにさせてしまった
中学生	話す時の自分の発言が相手を傷つけないか考えていたため、他の人と話す時より話しにくいと思った。
中学生	接し方が分からず、相手に気を使わせてしまった
中学生	手伝ったことがお節介になってしまうかもしれない
中学生	その人にとって本当に助けになっているか不安に思った
中学生	相手は自分が手伝ってくれたと思っているのか、自分は手伝っていて相手は手伝わなくてもいいからどっか行って欲しいと思っているのか
中学生	手助けしようと思うけど、その人が望んでいないかもしれないと思ってしまう。手助けの仕方が分からない。
中学生	失礼のないようにするのが大変
中学生	言葉遣いに失礼がないか
中学生	自分が話すことの中に傷ついてしまうものがあるのではないかと気を遣ってしまいうまく話せない
中学生	どういう事で嫌な気持ちになるのかわからない
中学生	外見にでない障害を持ってる方と話したときに悪気なく、言わない方が良いことを言ってしまったとき
中学生	どのように接すれば良いか、気を触らないようにするにはどのようなことすれば良いか
中学生	どうやってすればいいのか、進んでしたことで相手に迷惑と思われてないかと考えてしまう
中学生	自分の発言、行動で不快にさせていないか不安
中学生	どうやって声をかければいいかがわからなかった。失礼なことを言わないように気をつけていても無意識に言ってしまうことがあり申し訳ないなと思った。
中学生	助ける気持ちはあるけど、助けたら助けたでバカにしているやろみたいに思われたことがある
中学生	自分は傷つく言葉などを言ってないと思うけど、相手には凄く傷つく言葉を言ってしまってないか。
中学生	話しかけていいのかわからないどう接したらいいのかわからないもし手助けをしたとしても相手を傷つけてしまったら悪いとか考えてしまう

⑧　コミュニケーションツール（手話等）がうまく使えずに困った（53 件）	
学校	内　　容
小学生	耳が悪かったりする人は、あまりジェスチャーとかしたことがないから難しい。
小学生	耳が聴こえない人に手話をする時、自分はまだまだ使えなかったので、障害のある人を困らせてしまったと思い五年生の教科書を見て手話のやり方を覚えようとしたが、あまり覚えられなかった。
小学生	手話ができない
小学生	どんなふうに接したらいいのかが分からない。耳が聞こえない人には手話を使わなければいけないけど、手話を少ししか知らない。
小学生	接したことがないが、耳が不自由な方達と話す時に手話がわからないということ。
小学生	僕は手話ができないから困った事がある。
小学生	なんと言ったか聞き取れなかったらどうしよう。言った言葉が相手に伝わらなかったらどうしよう。相手が耳の聞こえない人だったらどうしよう（手話をしないといけないけどできない）
小学生	耳が不自由な人に手話が使えない時は、どうしたら良いかわからない。
小学生	耳が聞こえない人の時に手話が使えなかったからどう会話したらいいかわからなかった。だから手話を勉強しようと思った。
小学生	手話がわからないから、会話ができないこと
小学生	耳の聞こえない方が手話を使って話されるとき、なんと言っているかわからない。
小学生	学校の授業で、耳が不自由な人に手話を教えてもらいました。その時に発音が出来ないので、「お」と「う」の違いを伝えることが出来ず困ったことがあります。
小学生	特に、耳に障害がある人と接した時には、僕はあまり手話などができないため、どう接したらいいかわからない。
小学生	耳が聞こえない人とあったとき手助けをしてあげたいたいけど、手話「しゅわ」がわからないので、相手の言っていることが伝わらないので、手助けが難しいからそこをどうにかしたい。
小学生	障がいのある人に接した時、その時は困った事はなかったけど、もし、耳の不自由な人に接した時に手話が必要な時に困ると思う。
小学生	耳が不自由な人に会った時、僕は、手話が出来なくて話が通じなかった。
小学生	手話が通じない時がある
小学生	手話が分からない。
小学生	耳が聞こえない人がいて電車で席をゆずるとき手話が出来なくて困った。
小学生	障害者の人に対してどのような言葉や表現すればよいのかがわからなった。手話も全くわからないから焦っていた
小学生	手話をするときに、上手く伝えられないときがある。
小学生	手話や、指話で話していたから、何を伝えようとしているのか分からなかった。
小学生	耳が聞こえない人は、手話で話さないといけないので、限られた人しか相手ができないので、困ったことがあります。
小学生	話す時、手話しかないこと。
小学生	耳が聞こえない人と話したときに手話しかなかったので会話が大変だった。
小学生	いろいろなことがあり手話も進んでしていたのに、少し成長するとどうやって接すれば良いのかわからなくて焦ってしまいます。
小学生	手話があまり分からず会話があまり出来なかった時
小学生	手話ができなくて困った。
小学生	耳が聞こえない人などを接した時に自分は手話ができないから困った事はある。
小学生	耳が不自由な人に接した時、手話ができないから、どうやって言葉を伝えようか迷ったことがある。
小学生	「どのような対応をすればいいのか」「手話がわからない」など
小学生	耳が聞こえないかたで手話をする時に全く分からず困ったけど、手話をする母の姿を見て少しずつ覚え始めることができました。
中学生	手話や指文字ができなかった
中学生	言葉が相手に伝わってない時は少し困る。手話をされても少ししか分からないから困る。相手が頑張って伝えようとしてるけどあまり分からない。
中学生	話せない人がいた時に手話ができないことがありました。
中学生	手話で話される方とお話ができないなんて言っているのかわからない
中学生	耳が不自由な方と接する機会があった際、手話ができなくて会話ができず困った。
中学生	耳が聴こえない人がいたときに手話ができないので何もすることができなかった
中学生	手話を使った会話が上手くできなかったこと。

中学生	手話でわからないのをされたとき
中学生	手話ができない
中学生	耳が不自由な人と話した時に筆談だったので難しかった。
中学生	手話が出来なくて困った
中学生	耳が聞こえない人と接するときに手話が使えない事。
中学生	耳が聞こえ無い方にあった時手話がうまくできなくて困った。
中学生	耳が聞こえない人に手話で話しかけられたがわからなくて困ってしまった。
中学生	手話が全く分からず、助けられなかった
中学生	手話で話をしてくれた人に対して、自分は手話を全く知らないからどうすればいいのかがわからなかった。
中学生	中々言葉では通じなくて、自分が手話が出来ないこと
中学生	言葉が話せない人とかは手話で話すので理解することができず助けてあげることが難しいと感じた。
中学生	耳が聞こえにくい方に自分が手話ができないから、情報を伝えられない
中学生	ひいばあちゃんは喋る事ができないので何を言おうとしているのかわからなかった。手話があまりできない。
中学生	手話ができない。きずついてることを言ってないかがわからなくて心配。

⑨　障がいについての知識や理解がないことから困った（44 件）

学校	内　　容
小学生	どのように、接すれば、障害を持っている人と判断できるのか。 （見た目だけでは判断できない障害）精神障害、高次脳機能障害の人には、どのように接すれば、その人が楽になるのか
小学生	ある。どのような障がいなのかがわからずどう接していいのかわからない。
小学生	どんな障害かわからなくてどう接すればいいかわからない
小学生	どんな障がいなのか、わからない。
小学生	・なんの障がいなのかわかりにくい ・どんな手伝いをしたらいいのか分からない
小学生	どんな障がいかわかりにくい
小学生	あるどう話していいか分からない（障害のある人の状態が分からない）
小学生	関わった事がなくて分からないけど、もし接したら分からないことです。 ①耳に障害がある人ならば、手話ができない。 ②目に障害がある人ならば、「急に声をかけると、びっくりするかな…」と思い、声をかけづらい。
小学生	どう手助けをしていいか、少し不安になることと、耳が不自由な方にはどう対応すれば良いか困ったことがある
小学生	その人がどんな障害か。手助けはいるか。
小学生	障害に対して詳しく知らなかったので何をしたらいいか迷った
小学生	障がいのある人に関する知識がなく、どのように接するのが正しいのかがわからなかった。
小学生	その人がどのような、障害かわからなくて困ることがある
小学生	どこがどう障害があるのか分からなかったことがある。
小学生	どのような障害を持っていて、どうすればいいか
小学生	・どんな障害があるのか ・どういう対応をすればいいか
小学生	障害の度合いが分からない事
小学生	どの障害なのかが分からない。
小学生	どこが悪いのかがすぐに理解できないこと。
小学生	その人の障害がわからなくてどう接せればいいのかわからなくなった。
小学生	どのような障がいがあるのかがパッと見でわからない
小学生	どうすればいいかわからないし耳が不自由な人が来たらどのように対処をすればいいか
小学生	自分がなったことがないから、どのくらい大変なのかがあまりわからない。
小学生	障害のある人は、具体的にどのようなことに困っているのか、その障害がどのようなものなのか分からないことがある。
中学生	どんな障がいがあるかのかが分からず配慮に困りました
中学生	知的障害者などの見た目でわからない障害の人の場合、どんな障害を持っているか分からないので手助けがしにくい。

中学生	耳が聞こえてない人の時、どうすればいいかわからない
中学生	自分が障がいについてあまり知らないから接したときにどう対応していいか分からなかった。
中学生	どんな障がい者か判断することが難しい
中学生	それぞれが持つ障がいの種類によって、対応の仕方を変えなければならないが、その対応の仕方がわからない
中学生	みみや目に障害がある時
中学生	外見ではわからない人もいる
中学生	手助けをしたいけれど、どんなハンデを持っているのか、何が不自由なのか、自分が何をすれば手助けできるかが認識できていなかったこと。車椅子から車などに乗るときや降りるときに、どう行動するかわからなかった。
中学生	耳が聞こえない人などにどう接すればいいのかわからない.
中学生	耳が不自由な人にどう対応すればよいか、分からない。
中学生	小学校五年生の時に、登校班に小学校一年生の発達障がい者の子(A 君)が入ってきました。それ以前に『光とともに』という発達障がい者を題材とした書籍を読んでいたので、どのように接すればいいのかというのはある程度理解はしていました。ですが、プライバシーを考慮してなのか、A 君のことに関して何も教えていただけず、何の障がいなのかというのが分からないので、たびたび対応に困ることがありました。 プライバシー保護や保護者の意向などもあるとも思いますが、A 君にとっての最善の行動をするために、障がい名を教えていただけるとありがたかったなと思います。
中学生	話しかけても耳が聞こえない人はどのように接したらいいかがわからないです
中学生	どの程度のことができ、できないなど病名を聞いてもある程度しかわからない
中学生	自分に知識が足りないので何をすればいいのか分からない。
中学生	どうやって接したらいいか難しいです。特に精神障がいの人などは何を言ったらどうなるのかわからないので怖い。
中学生	どのような障害をもってらっしゃるか分からないので、どう対処すれば良いかわからないこと。
中学生	自分に障がいがある方についての知識がないので、どうするのが正解なのかがわからないです。
中学生	具体的にどのような障害をもっているのか分からない。
中学生	障害について聞きづらい

⑩　その他（332 件）

学校	内　　容
	◆自分の接し方について
小学生	普通に接しているのと一緒だなと思いました。
小学生	おつかいに行った時、車椅子に乗って話すのが難しそうな人がレジのまえに並んでいて、店員さんがなんで言ってるか分からなそうだったので代わりに伝えてあげた。
小学生	目の見えないから音で反応しなければならない。耳が聞こえない人はうごきをつけて話さないといけない。
小学生	今コロナだからなあ、接触ダメだよね
小学生	かわいそうではなく、大変だなとおもいながら接したい。
小学生	周りからの偏見でいつも一人の子がいたので自分から進んで話していたけど、自分がいない時どうしてるかなとしんぱいになった。
小学生	目が不自由の人をたすけた。いつ行くかを教えた。
小学生	相談して助ける。
小学生	相手のことを、理解して接したら、あまり困らない。
小学生	毎日の手伝い
小学生	目の見えない人とぶつかって怪我をさせそうになった事がある。
小学生	ないと言うか自分でしたほうがい
小学生	ないと言うか自分でしたほうがい
小学生	ないと言うか自分でしたほうがい
小学生	ないと言うか自分でしたほうがい
小学生	助けた事があるから
小学生	自分との意見が違うことがあった時どうしたらいいのかが分らなくて自分が引く事が多くて困った事がある
小学生	足が不自由な人に押してあげようかな

小学生	細かいところにも気をつかわないといけない
小学生	どのように手助けすれば良いかを考えた
小学生	怒らせない、優しく接する
小学生	一生に仲良くなって遊んだりしたいと思う。
小学生	最初話してくれなかったけど話してくれるようになって笑顔が増えた
小学生	助ける
小学生	・耳の不自由な人は耳が聞こえないから、会話がうまくできない。 ・発達障害などの人は、自分でうまく話そうとするけど、話が伝わらない。
小学生	せっしかた
小学生	最初会った時は、びっくりするけどその後は大丈夫
小学生	歳は関係なく優しく接する。
中学生	どのような事で困っているのか少し考えた。
中学生	なるべく助けたい
中学生	最初はどうすればいいか分からなかったこともありましたが、自身で勉強して知識を身につけました。
中学生	自由に動くので追いかけてます
中学生	たすける
中学生	自分のだけが不幸だなど、その人の好きなことばかりを前提にはなしをしている。
中学生	その人の事を解ってあげること。
中学生	自分のやることの大切さがわかっていないこと。
中学生	歩くのを手伝いました。
中学生	あまりありません。もし接した場合のことを考えると、ゆっくり話さないといけなかったりすると思います。でもしっかり分かりやすく、優しく接していきたいです。
中学生	大丈夫ですか？手伝いましょうか
中学生	目に見えないしょうがいのある人にきつくあたってしまった
中学生	助けたら障がいのある人と思わせそう
中学生	質問攻めの時は一つ一つ答えた方がいいか
中学生	喋る時
	◆関わることができなかった、行動できなかった
小学生	いきなり 60 歳の男の人にこっちまで来て郵便局を教えてくれないかと聞かれた時、その時 60 歳くらいの人が視力が不自由な人とは知らずにお兄ちゃんに助けを求めてしまいました。
小学生	助けたいけど動けない
小学生	自分がお腹が痛いときにバスの席?を譲れなかったことがある。
小学生	助けようと思うがどう接すればいいかそして、いざ障がいの方が困っていたとしてもテンパって行動に移せないと思う
小学生	学校の交流で進んでお話ができなかった
小学生	勇気が出なくて行動出来ない
小学生	助けた方がいいのか分からず考えるだけで行動に移すことができない。
小学生	私の身の回りにはいませんが、車椅子に乗っている人がいた時、何かお手伝いが出来ればなあーと思ったけれどやり方を知らなくてできなかった。
小学生	励ましたりできるか心配になる
小学生	障害があるから耳や目や足や手が不自由だと思うから話しかけれない。
小学生	どう接すればいいのか分からず、結局対応できないまま終わってしまった。これからは勇気を持って、声をかけたり、行動できる人間になりたいと思い後悔している。話しかけられた時に、話し方がわからず、無視して通り過ぎてしまった。申し訳なかったと思い後悔している。障がいのある方に声をかけられたら、喜んで対応してあげたいと思う。障がいのある方と接した時に、困っているのは、結局何もできず後で後悔してしまうことだと自分では思う。
小学生	どう言うように手をかしたりしたらいいか分からなく、助けてあげたいと思うけどそのままにしちゃってしまう事がある。
小学生	自分から話しかけられない。
小学生	頭の中では「助けたい」と思っても、障がい者の人にとっては「自分でできるのに…」と思い、お節介になってしまったら逆に、障がい者の人のプライドを傷つけてしまうのではないかと思い、悩んだ結果何も行動できずに終わってしまうこと。
小学生	手助けしたいとは思うが、行動出来ない。

小学生	こうどうできない
小学生	普通の人じゃないのかもと思いあまり喋りかけることができなかった。
小学生	どんな障害を持っていて、何をするべきなのかが分からなくなって困っている人を手助けできなかったことがある
小学生	どうすればいいのかわからなくてあまり接せなかった。
小学生	障害があることを気にしている人もいるのかなあと思ってあまり声がかけられない
小学生	どうすればいいか分からず迷っていたらどこかに行ってしまった。
中学生	あまり接したことがないため、どう対応するべきなのか分からず、他の人に任せたり、見て見ぬふりをしてしまうことがあった。
中学生	精神障害の人は外見ではわからないから、障害を持っていることに、きづかなかった
中学生	ある団体で募金活動をしてた時、目の不自由な人がどこに金を入れるか困ってたのに、何も出来んかった。
中学生	どう接したらいいのか分からずになにもしないままになってしまったことがある。
中学生	テレビのニュースを見ていたときですが、喋っているとき滑舌が悪いように聞こえ、もし障害者に話しかけられたとき、しっかり対応できるか不安です。
中学生	困っているところを見た時、何をすればいいか判断や行動できる気があまりしない
	◆障がいのある人と関わることに困難を感じた
小学生	接し方が難しい
小学生	接し方が難しい
小学生	介護の仕方が分からなかったり、難しかったりした時。
小学生	体を使った遊びをやるのが難しい。
小学生	相手と話す時に話があまり通じなかったり、何かするにもその障害者ができないことなどがあったりするので一つの物事をするのに少し面倒臭いと感じたことがあります。
小学生	歩きにくい。接しにくい。移動などが面倒くさい。
小学生	世話が大変
小学生	荷物運びを手伝った時にどこまで、行けばいいのか分からない時手伝おうと思ったけど、荷物が重かった時
小学生	体が動かなくて移動させることがたいへんだった。
小学生	接し方が難しい
小学生	難しい
小学生	接したりするのがたいへんだったりする。
小学生	車椅子を押したときに、うまくできなくてぶつからないか不安になった。
小学生	大変
小学生	難しい
小学生	手足が不自由な人は、こけたりして怪我したりしそうでこわい。
小学生	車椅子を押すときに、慣れていなかったので中々上手に押すことが出来なくて困った事がある。
小学生	荷物を持ったけど、けっこうにもつが重たかった。
中学生	歩くスピードに合わせるのがしんどい
中学生	体の悪い人の歩く手伝いをするとき結構体力を使うので少し困ります
中学生	人が多い所で車いすに乗っていると歩きにくくて不便でした。（祭りなど）
中学生	移動とかが大変だったです
中学生	妹が発達障害を持っているため他の人よりも精神年齢が低く、お世話するのがとても大変です。最近はイヤイヤがとてもひどく機嫌をとりながら一緒に生活しています。
中学生	大変
中学生	面倒
中学生	接しにくい
中学生	歩けなくて邪魔に思ってしまった。
	◆困ったことがある（内容不明）
小学生	あります
小学生	ある
小学生	ある
小学生	少し困ったことがある
小学生	ある
小学生	少し困る

小学生	あります
小学生	ある
小学生	そんなに無いけどたまにある
小学生	困った事がある
小学生	あります。
小学生	ある
小学生	ある。
小学生	ある
小学生	あります
小学生	ある
小学生	あると思う
小学生	一度だけある。
小学生	あります。
小学生	ある
小学生	あります。
小学生	ほぼ毎回こまる。
小学生	ある
中学生	重度の障がいを持つ人とはあまり関わったことがないが、少し困ったことはある。
中学生	あります。
中学生	たくさんある
中学生	ある
	◆怒りをかってしまったと思う
小学生	こっちが手伝ってあげようとしているのに逆ギレして怒ってくる。
小学生	手助けして怒られた
小学生	喋ろうとすると、怒られたり。ちょっと大げさになったり
小学生	・怒らせようとしていなくても怒られてしまったり、昼間に教室に来るので朝、話し合いができない。 ・アンケートで変な質問に答えないといけなくなる。
小学生	すぐに怒られる。話している途中に急にパニックになられる。ちょっとの事ですぐに大声をだされる。
小学生	声をかけたら怒られる
小学生	ちょっとしたことで怒られたりした
小学生	傷付けることは言ってないのに怒った
小学生	何でこんなに逆ギレされるんだよ?と思った
小学生	怒ったりするツボがわからなくて慎重になってしまう。
小学生	急に何もしていないのに怒りはじめたりしてどうすればいいのかわからなかった。
小学生	一緒に遊んだりしていても怒ってしまったりして、困った。
小学生	少し当たっただけで怒鳴ったり子供の人はひどい時、叩いたりすること。
小学生	何にもしていないのに怒られたり、殴られたりした。（多分当たり前）
小学生	そんなにすごく心配するのもだめかなとも思うしあんまり心配しないのも行けないなと思う事と、急に怒り出したりしないかなと思う。
小学生	話しかけたら何もしてないのに怒られた
小学生	喋っても何も言わなかったり、何も知らなかったり、急に怒ったりすること
小学生	たまにすぐキレたりすることがる
小学生	言っていることが伝わらない。いきなり怒ったりする。
小学生	手伝おうとしたらキレられた
中学生	話しかけたらとても怒ってきた
中学生	声をかけたら逆に怒りそうで、話しかけづらく、やっぱり、障がいとわかってても怖いです。
中学生	何気なく言った言葉で怒らせてしまい、何がいけなかったのかがわからなかった。
中学生	優しく言わないと怒る。無視される。
中学生	たまにいきなり怒る
中学生	その人にとっての［地雷］を踏んでしまった後の対応が大変だったことがある
	◆手助けしようとしたが断られた
小学生	だいじょうぶだいじょうぶと断られた

小学生	明らかに困っていたが、「大丈夫です…」と言われた
小学生	どう接していいかわからない手助けをしようとしても、断られるかもしれない
小学生	どう話しかければいいのかが、わからない。しかも、断られたりしたらどうしようかなどの不安がある。
小学生	物を持ってあげようとしたら、少し抵抗された。
小学生	喋れなかったり、言葉が分からない人がいて困ったことがある。〇〇に行きたいと言っても場所が分からなくて、助けられなかった。 挨拶をして、困っているんでしたら手伝いますよと声をかけたら「お前どこのどいつだ近くな」と言われてショックでした。
小学生	手助けをしたら嫌がる。
小学生	困ったことは、バスで、目が不自由な人に席を譲ってあげたらぼくは、私は、良いよ君が座りなさいと言われたので困りました！
中学生	高いところにある物を車椅子の人が取ろうとしていて、助けようと取ろうとしたら「邪魔しないでください！！」と怒られたので、もう明らかに助けないといけない状況・助けを求められたときのみ助けようと思いました。
中学生	障害者の方を手伝った時、これくらい出来ると言われたことがあり、手伝いが必要な時がわからない
中学生	手助けしてあげている時に、嫌がった時がとても大変でした。
中学生	大変そうだったので「手伝いましょうか」と声をかけたら、怒った風に断られた。
中学生	困っている人を見かけた時に、「大丈夫ですか？」と聞いた時に冷たい言い方で「手伝わなくていい」って言われて、どう言ったらいいのだろうかと疑問に思った
中学生	手伝いとかをする前に、手伝おうとしたら断られるのが怖くて手伝えない時がある
中学生	断られたらどうしようと思う。
中学生	自分の伝えたいことが相手の方に上手く伝わらないことがあること。手助けをしたいが、断られてしまったらと考えてしまうこと。
中学生	手助けをしようと思い行動したけど断られた時
中学生	体調が悪く寝ていることが多い祖母を手助けしたら、「やり方が悪い。」「しなくていい。」と言われて困った。
中学生	障がい者の方が困っていて手助けしようと思ったときに、障がい者の方に断られてしまったらどうすればいいのかがわからない
	◆接して感じたこと
小学生	悲しい気持ちになった。
小学生	嘔吐して白目向いて顔を蒼くして倒れていることが保育園生の時たまにあった。何か皆んなとは違ったものを感じた
小学生	ちょっとずれてるとおもう
小学生	その人が自分を障害者かわかっているのか、分からないけど、自分が特別だと思っているような人がいる
小学生	自己中
小学生	障害者の方は自分で思うように体が動かせなかったので、大変でした。
小学生	生活がしづらそう
小学生	どうしようと思ったことがある
小学生	もしであったら、かわいそうに思えてきた。
小学生	手助けをするのは大変だと思いました
小学生	街にいて、こんな人がいるんだ。と思った。
小学生	かわいそう
中学生	真似ができない(^O^)？
中学生	こんなに不自由なんだと思いました
中学生	まあ良い
中学生	運動をする時など、一人だけ出来ないことがあって可哀想だったことがあった。
中学生	どうしても困惑してしまうこと
中学生	理解が難しい
中学生	可愛そう
	◆不快に思った
小学生	自分の意見と合わずに喧嘩した。授業中にうるさい。自分の意見しか主張しない。
小学生	教えたりするけど、疲れたとかもう嫌だとか教えているのに意地悪しないでとか言われてとっっっっっっても不愉快な気持ちになる。そして、なぜか、担当先生になった。

小学生	静かにしたい時や、勉強している時に邪魔してくるのがとても嫌でした。モノを壊されないようにしたりしないといけなかった。食事のときにも邪魔をされた。
小学生	うるさい
小学生	話していることが通じないからイライラする。
小学生	しょうがないことだけど、人の気持ちを考えずに嫌なことをすること
小学生	うざい。挑発ばっかしてくる。うるさい
小学生	いちいち注意してうるさい
小学生	給食中に相手の飲んでいる牛乳をかけられて、嫌だと思ったことがあります。
小学生	嫌なことをされて、謝ってもらえなかった。
小学生	手助けが大変だった。また一個一個必要な事言うのに対して、何個も言ったり(沢山)言ってきたりして、嫌な思いをしたことがある。しつこかったりして大変だった。
小学生	ヨダレを垂らすのが今の時期的に嫌だな～と思います。
小学生	時々、家にいるときに少し叫んで、うるさい。
中学生	うるさかった
中学生	話が通じないイライラする
中学生	イライラした
中学生	障害を持っている人なのかただ変なことをしている人なのか区別がつかないことがある。障害のせいかもしれないが、支離滅裂なことを言われて少しイラッとくることがある。
	◆怖いと思った
小学生	怖い
小学生	話かけられて一瞬怖かった
小学生	障害はしょうがない事だけどちょっと怖かった
小学生	まずなにを話せばいいのかわからない。そしてどんな障害を持っているのかわからないから少し怖い。
小学生	身体障害の人を見ると、少し怖く感じる。
小学生	（人によって違うけれど）恐怖心を感じたりする時がある
小学生	どういうことをすればいいのかがわからなくてできないし、少し怖く感じることがある。
小学生	知的障害者とかに話しかけられたときなんて答えればいいかわからないし、追いかけられたことがあるから少し怖い。
中学生	ちょっと怖かった
中学生	何をしてくるのが分からないのがこわい
中学生	黙られたりされると怖い
中学生	友達のお姉ちゃんが障がいがあり一緒に遊んだ時に、まだ私は小さい時で少し話すのが怖かったこと。
中学生	いきなり怒って少し恐怖を感じたこと
中学生	何をすればいいのかわからなかった。少し怖い（近づきにくい）イメージがある。
中学生	普段、大人や、自分より年上の人とは関わりが少ないため、接した時に怖いなと思ってしまう。その人たちにとって何が親切で、何が侮辱に近い感じになるのかがいまいちわからない。
中学生	知らない人なのに喋りかけてくる『ちょっと怖い』
	◆暴力をふるわれた
小学生	少し暴言を吐かれた
小学生	叩かれた
小学生	イラついてすぐ物を投げたり、騒いだりすること。
小学生	殴られる蹴られる
小学生	叩かれたりすることがある。
小学生	顔を殴られてグラグラしていた歯が抜けた。
小学生	つばをはかれる砂をかけられる叫ばれる
小学生	物にあたったりする事
小学生	叩かれたりする。
小学生	嫌なことを言われたり、乱暴なことをされたりして、少し困りました。
小学生	暴れてきた
小学生	年下の子だけど池の水をかけられた
中学生	いきなり怒り出したり、暴れ出したりしてどう接すれば良いか分からなかった。
中学生	髪を引っ張られたときどうすればいいかわからなかった。

中学生	冗談でいきなり叩いてくることがありびっくりする
中学生	通りすがりに「誕生日だから」とか言って腹パンされた
	◆分からない（内容不明）
小学生	分からない
小学生	よくわからない時がある
小学生	分からない
小学生	分からない
小学生	分からない
小学生	分からない
小学生	分からない
小学生	分からない
小学生	分りません
小学生	分からない
小学生	障害を持った人との触れ合いをしたことがないのでわからない
小学生	分かりません
中学生	分からない
中学生	あまり接したことがないから分からないけど、どう接すればいいか分からないと思う
中学生	分からないことがある
中学生	接したことはないけど初めに何をすれば良いか分からない
	◆バリアフリーでない場所で支援が大変だった
小学生	車椅子の人を階段に乗らせるのが大変だった
小学生	階段をおりるとき
中学生	身体障害のある方と接して、車椅子を押している時、途中階段などで少し困ったが、対処することができた。
中学生	車椅子の場合、階段を登るのが大変
中学生	車椅子の人が居た時に、階段だけで、スロープがない所で立ち往生してとても大変そうだった。
中学生	街で歩いているときに、目の不自由な方がいて、点字ブロックの整備が行き届いてない施設や道路などを歩行する時に正しい方向に進めていない時が多々あった。
中学生	スロープがない所があって車椅子を押すのに困った
中学生	あまり発展していない駅とかだと長い階段があってもエレベーターがないから登るのがかなり大変だと感じた。
中学生	車椅子をおした時に段差のある道を進むのに苦労した
中学生	足に障害がある人に対して、階段を下ろすのが難しかった
中学生	公共道路において、宮崎市が一体となり整備を行わないと、スロープがなく、階段を登るのに不便である。
中学生	移動を手伝う時、階段の登り下りが大変だった
	◆気を使ってしまった
小学生	話す時気を使わないといけないから疲れる。
小学生	思い通りに行動を取ったりがしにくい。
小学生	気遣いしすぎるかもしれないということです。
小学生	自分とは違う気がしてちょっと気まずかった。
小学生	話しづらい、この人障害者という目で見てしまう
小学生	とても気まずい
小学生	何かされるかもしれないという心配の気持ちがある
中学生	変に気を使っちゃう
中学生	若干気まずくなる時がある。気を使ったりしてしまう。
中学生	気をつかってしまう
中学生	気まずい
	◆自分の力だけでは支援できなかった
小学生	自分１人ではできないことがあって少し困りました
小学生	自分の権力では、どうにもできないから助けられずに他の大人に助けてもらった。
小学生	自分ができない事を頼まれる。
小学生	自分のできることとできないことがあるから難しい
小学生	自分では、できない事があったときにどうすればいいか分からなくなる。

小学生	足が痛いって言われたとき、近くに大人が居なくてどうしようって困りました。
小学生	子供だけではできないようなことがあり、困りました。
中学生	自分１人では助けきれないとき困った手助けしようとしても何をどうすればいいのか触れたことがなさすぎて困った
中学生	自分がまだ身体が小さいので全力でサポートできなかった
	◆障がいのある人の周りの人について
小学生	周りから冷たい目で見られる。
小学生	障害のある人と本屋で会った時、周りの空気を読めていなくて困りました。でもその場にいる人でちょっと嫌そうな顔をしている人もいたので、障害についての理解度はまだまだ浅いなと感じました。
小学生	道を譲らない人がいたりすることで、障害者が転けてしまうこと。
中学生	発達障害の方との触れ合いで、他の方があまり理解できずちょっとした喧嘩になってしまったことがあります。
中学生	周りからの視線
中学生	障害をもっている人に対して、周りの人がジロジロ見ているとき。
中学生	耳の障害を持っていて補聴器をつけていて余り聞き取れないのを良いことに悪口を言ってる人と揉めたとき
中学生	周りからの視線
	◆障がいのある人を優先したら不利益をこうむった
小学生	理科の実験の時に障害を持った人と同じ班になった。実験の中で自分がしたい役目と障害を持った人がしたい役目が重なった。そしたら急に泣き出して、障害の生徒を助ける先生から勝手に疑いの目をかけられた。
小学生	社会の時間に書いていなかったから教えたら、先生の話が全然聞けなかった。
小学生	目の見えない人が前にいてそこは、信号の所だったから先に障害のある人を、先にいかせたら、信号が赤になって、信号が青になるまでまったことがある。
小学生	自分の主張ばかりして班の活動ができなかったこと
中学生	力がなくて余り手伝えなかった時（倒れた時など）
中学生	一度引き受けてしまったら(縄跳びを結ぶなど)毎回頼られてしまって自分のことが十分にできなくなってしまう。
中学生	狭い歩道で障がいのある人が歩いていて自分が通れなかったこと
	◆疲れた、体調が悪くなった
小学生	ちょっと疲れる
小学生	急に体調が悪くなったとき。
小学生	弟のお世話で家族が寝不足になったり、調子が悪くなったりした。
小学生	喋るのが疲れること。
中学生	疲れる
	◆関わるのに抵抗があった、勇気が必要だった
小学生	どういうふう手伝えばいいかが分からない。手伝いたいけど勇気が出ない
小学生	話し方や接し方・勇気が必要（話しかけるのに）
小学生	自分の力では支えきれないことや、自分から積極的に手助けをすることがはずかしかったり、勇気が出なかったりして、じゅうぶんにささえてあげられないこと
中学生	身内なら簡単に対応できることでも、初めて会う人だとそれは難しかったし、今はコロナのことがあって声をかけるのにも抵抗があります。
	◆少数意見
中学生	心ない行動をする人が、世の中には、まだたくさんいるので、「自分は、そうじゃないよ」ということをつたえるのに、時間がかかってしまう事。
中学生	信頼してもらうために少し時間がかかったこと
中学生	あまり話せたり、寝ていたりで行ってもやることがない
小学生	障害者の人は、手足などが動かないこと。
小学生	他の人と違う
小学生	まいご
小学生	ちょっとぶつかりそうになったこと
小学生	自分達とは違うこと
小学生	何かを伝えようとしたら、どっかに行った
小学生	親戚で耳が聞こえない人がいるけどしょうがないと思っている。

中学生	いきなり話しかけられた
中学生	１人じゃ大変
中学生	少し大変です
中学生	逃げる
中学生	自分で動けないから誰かがいてあげないといけない
中学生	自分の日常とは違ったこと

※内容別の件数【一般調査】

内　　容	件数（件）
①　何をすればよいか分からず困った	54
②　接し方や支援について困った	40
③　障がい者の気持ちや伝えたいことが理解できず困った	33
④　コミュニケーションがうまくいかず困った	29
⑤　障がいについての知識や理解がないことから困った	20
⑥　傷つけたり迷惑をかけたりしていないかと不安になった	18
⑦　伝えたいことが伝わらなくて困った、伝え方に困った	17
⑧　障がいに特有の行動に接して困った	16
⑨　コミュニケーションツール（手話等）がうまく使えずに困った	8
⑩　その他	43

注 「困ったことはない」「接したことはない」等とする回答は除外している

※各回答内容【一般調査】

①　何をすればよいか分からず困った（54 件）
内　　容
コミュニケーションが取れなくて、どう行動したら良いかわからなかった。
コミュニケーションを取るのが難しい方だとどうお手伝いをしたらいいのか分からない。
コミュニケーション不足でどこまで支援していいか、わからないことがあった。
どうしてほしいのかわからない時がある
どう行動して良いかわからない。
どう助けてあげたらいいか分からない
どう接していいのかが分からない
どう接してよいか、どの程度手伝ってよいかわからない。
どう接するのが適切かわからなかった。
どう話したら理解してもらえるかわからなかった。
どこまで、手助けをして良いのかわからないことがある。
どこまで、手伝った方が良いかが、わからない
どこまでお手伝いしていいかわからなかった
どこまでてだすけがいるのか、私がわからない。
どこまでの手助けが必要なのか、やり過ぎではないのかがわからないことがある。
どこまでの助けを必要としているか分からない時がある、同じ障害を持っている人でも人によって、助けてもらいたいと度合いも違うのではと考えて、実際助けるまでいかないときがあります。
どこまで介助して良いのかわからない事もあります。
どこまで介入していいか分からなかった
どこまで支援をしたらいいのかわからない。
どこまで手を差し伸べたらいいのか分からない
どこまで手を出して良いのか分からない。
どこまで手助けをすればいいのかがわからない。
どこまで手伝えるか程度が分からない
どこまで手伝ったらよいかわからない。
どこまで手伝っていいか分からない
どのくらい、お手伝いすればいいのか、わからなかった。
どのような支援を必要としているのかわからないことから、考えてしまい、行動が遅れることがある。
どの程度の、手助けを必要としているのかがわからない時は、躊躇することがある、
どの程度の手助けが必要なのか、わからない
どの程度行っていいのか分からない。
やり過ぎではないかと手助けをどこまでしていいか分からなかった
何と声掛けしていいかわからない。

何をしていいか分からない
何をすれば良いかわからなかった
何をどうしたら助かるのか、どこに触れたら痛くない（不快ではない）のか、具体的にわからなかったとき。
何をどうすれば良いか分からず、笑顔でやり過ごした事が多々ある。
何をどこまでサポートしたら良いのかわからない。
何を求められているか、何をすれば良いのか悩みます。
患者として接する機会がほとんどなので、どこにどのような支援をお願いしたらいいのかわからない事が多い。提供されていないサービスもある。サービスを紹介しても患者が利用したがらない場合もある。
気持ちの汲み取り方が分からなかった。
最初は、どうやって接していいかわからなかった
自分でしたい、と思われる方もいらっしゃって、どこまで手伝えば（援助）すればよいのかが分からない。
手伝いたい気持ちはあるが、どうやればいいのかがわからない
障害に対して話していいのか分からない時がある
声をかけるタイミングが分からない。
接し方がわからない
接し方がわからない。
助ける事と自立支援のどちらが適切か分からない事がある。
対応方法がわからない、接し方がわからない
大きい声で叫んだりしているとどうしたらいいか分からない。
必要な手助けとお節介の違いはわからない。だけど、実際の障害者の話はまずは声をかけてほしいということ。でも、その勇気はない。それが困り事。
話かけかたや接し方がわからない
話し方や気をつけたほうがいいことなどが分からない
話をできない人で、何をどこまでしていいのかわからなかった。

②　接し方や支援について困った（40 件）
内　　容
どこまで手を貸すか？悩みます。
障害がある人は全員が必ずしも手を貸してほしいとは思っておらず、人によって周囲に望んでいることが異なる為、見極めが難しい(過去の経験より)。
とっさに判断する際、娘ならまだしも初めて会う人には十分注意せねばならない、と思う。
一人一人症状も違えば、障害の度合いの違いもあります。その時に、どこまでお手伝いをすべきか悩みます。
お手伝いをした方が良いのか、しない方が良いのか、躊躇してしまう。
ご本人やご家族の思いや困っている状況に全て手を差し出すことが支援ではないし、そんなことはできないけれど、その思いや困り感を中心に考えることが支援となるんだよな、と思います。でも私自身が障害のある人にとって家族であるか、職場の人であるか、支援者であるか、通りすがりの人であるか、その時々で私自身の感じ方が違ってきます。特に家族の中にいる場合、仕事として支援をしている時とは全く違う感情（どちらかというとマイナスの）で対応してしまいます。そういう場合、自分に落ち込みつつ困ります。また、相手の方をよく知らない時は、どうすべきかが分からず困る時があります。
健常者と変わりなく接してほしい方もいるので、どこまで支援していくべきかの見極めが難しい
接し方が困った
こちらが考える支援や配慮と、受ける障がいを持っている方のニーズが違い、結果自己満足になってしまったことがある。
手助けの要否とタイミングに迷う。
障がいのある人が困っているときに支援をした方が良いのかどうか。
手伝うことがいいのかどうか迷う時がある。
関わって良いか？
目に見えない障害がある方の接し方がわからなかった
どこまで手助けしたらいいのかパッと出てこず、後でこうしたらいいのではなかったかと考えることがある。
手を貸して良いかどうか、最初が一番難しい
どのタイミングで支援すれば良いのかが難しい。
どのように手助けしたり声を掛けたりしたらよいか？迷うこともある。
困ったことはないが、自分の手伝おうとする感覚と障がいのある人の感覚が違い、戸惑いを感じた。
状況を推察しても、適切な支援の仕方がわからず、行動が出遅れてしまうことがあります。

障がいのある方が私とは別の方にセクハラをしていると気付いた時、どのように対処すればよいか困った。
どのように、どこまで手助けしてよいのかわからず戸惑った。
どこまで手伝って良いのか迷う。
自分の対応で合っているのか不安に感じた
どこまで手助けして良いのか、自分が助かる側だという立ち位置で良いのか悩むことがある。
障がいの方でもそのかたそのかたでとても反応に差があるように感じるので、手助けをしていいかは声掛けに悩むことはある。
対応の仕方
自分がどれくらい援助すればいいのか
内的障がいの場合､どう対応して良いか、わかりにくい。
車椅子を押すことはできるけど、とめたあとにストッパーをかける方法とか、スロープを下るときに後ろに向けた方がいいのか前向きのままでいいのかとか分からず手間取ってしまった。
初めはどうやって接していいのか悩んだ事があった！
麻痺があり下半身を思うように動かせない方への声かけに困ったことがある。（気分の落ち込みがあり、下半身が思うように動かせなくて辛いとの発言に対して）
接し方に困った
スピードが求められる時に、後回しにしたことがあった
どのような接し方が良いのか。
こうしたほうが良かったのかな？と、思うことあり。
どこまで手伝ってほしいのか、人によって違うので、考えてしまう。
どこまで手助けすれば良いのか、関わり方に悩むことがあります。
支援した方が良いのか？判断に困ることがある。
視覚障がい者のサポートの仕方がうまくいかなかった。

③　障がい者の気持ちや伝えたいことが理解できず困った（33 件）
内　　容
相手の訴えていることが、よく理解(聞き取れない)出来なかった時
相手が何を言おうとしているのか、分からなかった時。
構音障害のある方と接した時に、うまく聞き取れなかったため聞き返したが、その後も聞き取れなかったこと。
本人さんがヘルプコールを出したいのかそうでないかの見極め
本人が、支援されることを本当に必要としているか判らない。「支援してあげた」というこちらの自己満足かもしれないと思うこともあった。
何が必要かわからない時がある
どのような支援を必要としているかが分かりにくい
困ってることを伝えたいのに、うまく伝わらない、理解してあげれず困りました。
相手が、何を欲しているかを理解出来ないとき、困った。
見知らぬ人からの支援を本人が求めているかどうか見極めるのが難しい。
知的の方に関しては、気持ちをうまく理解してあげられなかったり。
どう補助してほしいかを伝えてくれれば、もっといいなと思う
言語障害のある方の言葉が伝わらず、何度か聞いてしまったことがある
相手の本当の気持ちを感じるのが難しい。
その方が、どのような事を望んでいるのか、すぐに察する事が、できなかった事があります。
何を求めてるのかわからない
意思の確認が難しい
言語障害がある方で自分のおもいをうまく伝えられず、それを理解するのに困った
何に困っているのか、分からないとき
相手がどうしてほしいのかわからないときがあった。
相手にどう話しかけて接すればいいのか、相手の気持ちが分からなくて困った。
その人がどこで困っているかが分からない。
本人は助けを必要としているのか否かが判断できない。
相手にとって何が嫌なのかわかりにくい。
言うことが理解できないとき
話がよく聞き取れない

脳性まひがあり発音がはっきりしない方が一生懸命話をしてくれるけど、うまく聞き取れなくて気持ちを十分に理解してあげられなかった。
何をして欲しいのか分からない
ご本人が何を望んでいるのかわからないことがある。言葉通りの意味でないことがあるため、本当は何を言いたいのかわからないことがある。
言葉を発声できない場合、困った時など、どうして欲しいかわからない時があるので助けてあげられない。
相手の意思を正確に汲み取れなかった。
言葉を聞き取るのが難しい時が有った。
言葉がわからずに、何をして欲しいかこちらに理解できず、相手が最後には諦めたと言う事があった。

④　コミュニケーションがうまくいかず困った（29 件）
内　　容
意思疎通が図れない時に、相手の困り感に寄り添えず困ったことがありました。今はキーホルダーなどで連絡先や障がい名を記載している人も多いので良いです。
接客をしている時、話が聞き取りにくく対応が難しいと感じました。
意思の疎通が取れず困った事がある。
緊急のある場面で意識の疎通が上手くいかない時
相手の意思と自分の意思が伝わらないとき。
意思の疎通
その人の想いが自分にうまく伝わらないときに、困りました。理解が困難なのと言葉で伝えるのが難しい方だったので、自分なりにこうじゃないか、ああじゃないかと、あれこれやりとりをして何とか話を進めることができました。
会話が長くてなかなか終われなかった
言葉をはっきり話せない方が、どうしたいのか分からず、意思の疎通が難しかった。
意思疎通がうまく出来なかった事があります
意思疎通が図れないとき。
コミュニケーションの図り方。
どのくらい困ることがあるのかわからず配慮し過ぎたり、理解に欠けてしまう。
言葉のキャッチボールが繋がらない時に困りました。以後わかりやすく話しかけれるように心掛けています。
コミュニケーション
コミュニケーション
意思疎通が難しかった
言葉のやりとり
意思の疎通が難しい方には対応が難しいと感じた。
職場で精神障害の方を対応した時に、会話がうまく成り立たず困ったことがあった。圧倒されてしまった事がある。
会話が困難の時がありました。
ご本人が突然固まり行動が取れなくなった時。言葉やジェスチャーが難しい方とのコミュニケーション。
意思の疎通
どこまで支援していいのか、本人や家族に相談できるといいが、面識のない方とはなかなかコミュニケーションがとれないため、支援の度合いが難しい。
コミュニケーション を取る手段、方法が分からず行動ができなくなる
上手く意志疎通ができないことがあります。
意思の疎通が取れず、相手がどう思っているか分からないときは困りました。
手助けしたくても話が通じなくて、どのように対応したらよいかわからなかったことがある。
コミュニケーションをとるまでに時間を要し上手くサポートしきれない

⑤　障がいについての知識や理解がないことから困った（20 件）
内　　容
発達障がいや知的障がいのある方と接するときは、手助けが必要な場面が分かりにくいと感じた。
失礼な表現ですが、身体的な障がいは他人の目に見えるので認識できますが、精神的な障がいは目に見えないため、自分が正しい対応ができているのか心配です。意識しすぎることも失礼ですが、配慮できていなくても失礼なので…
言葉が通じない(話せない)人もいるので、どう対応すればよいか分からなかったこと。
人によっては、困ったことをなかなかうまく伝えられなかったり、その障害をよく知らないとサポートがうまくできなかったりしたことがあります。

保育士をしています。園児とパート職のスタッフに障がい児(者)が複数いますが、それぞれの個性がありますし、自我もありますし、各々に合った関わり方や支援の仕方を理解することが難しい。
障害は様々なので、個々にどんな接し方をするべきなのかわからない。
精神障害や知的障害の方はコミュニケーションをとることが難しく、支援が難しい。
どのような障害があるか分からない
身体障害者の方が困っているときの、援助し方が具体的に分からない。
障がいで色々違いがありますよね？なぜ上記の項目にこの項目を入れないのですか？なぜまとめてこの項目を作成したのですか？困ったことは色々です
視覚障害者に電車内で遭遇した際、席を譲ろうとしたが、いつもの立ち位置があるとの事で断られた事があった。知らないという事に恥じ入った。
目の不自由な方に道を教えるとき。
耳が聞こえない、目が見えない方への接し方に躊躇したことがある。表現の仕方がわからない。
先天性もしくは後天性で全く違う。愚問
様々な障がいの方々と関わり、その人にとってどのようなコミュニケーション方法が適切か悩みました
障害の状態や程度が分からずどう関わっていいか分からない。本人に障害の程度を聞きづらい。
知識不足で関わり方の勉強が必要だと思った
その人の何が障害なのか分からない人も(健常者)に見える人もいるので見分け方？接し方が分からない時がある
相手の方が失語症だった時
知識がなく、お手伝いしたいがどういうふうにお手伝いしたら、いいかわからない

⑥　傷つけたり迷惑をかけたりしていないかと不安になった（18 件）
内　　容
やはり、常日頃関わらないと相手の気持ちを傷つけたりしていないかと思うことがある。聞こえない人の時は配慮の仕方がわからない。
どの行動が正解か分からないので、なかなか行動に移せない。有り難迷惑になりそうで、判断が難しい
気になるが、具体的に何を望まれているのか分からず、嫌な気持ちにさせたり、かえって迷惑ではないかと躊躇することがある。
気遣った言葉かけが返って相手に対して、遠慮させるのでは無いか？またはその逆になってしまうのでは無いか？と悩んでしまう
自分の支援の仕方で良いのかと常に心配している
声かけや手助けなど、必ずしも自分の援助が適切とは限らないので、そのような場合、どう改善したものか悩んだ。
意思疎通ができないとき、こちらの勝手にすすめているのではないか、と自己嫌悪を感じた。
言葉がハッキリしないと何度も聞いてしまい申し訳ない気持ちになった事がある。精神、身体、知的などこの障害!!ではなくどの障害に対しても難しいと思う。嫁の話を聞いてるだけでも自分には出来ないと思う事が多々あるが、嫁が関わっているからこそ見守りたいし助けが必要な時は助けたいと思う。
どこまで手を出していいのかわからない。むしろ健常者と同じでありたいと思う人が多い印象があるので余計な手出しはその方のプライドを傷つけてしまいそう。
当事者が心から必要としていた支援なのか、支援の仕方が良かったのか悪かったのかなど、考えることがある。
手を貸した方がいいのか、貸さない方がいいのかが分からない。手を貸して冷たい態度をとられる事が怖い。
どこまで手を出して良いのか分からない。良かれと思っても相手からするとどうなのか考えると手が出せない。
嫌がられるのではと思った
身体に触れていいのか迷った時がある。実際に手助けした方がいいのか、しないでもらいたい人なのかが、分からない時がある。
仕事で接した方が抱いておられた赤ちゃんに重度の障害があり、その事を話題にしていいのかとためらってしまい、後で悪い事をしたのではと考えた。
障がい者扱いして逆に嫌がられないかどうか。怒る人もいる。
義妹に精神障害があり、目の前で発作をおこした時にどういう対応が正しいのか分からず、自分のしている事が逆効果になったりしないか不安に思いながら対応した。
どこまで手助けをしたらいいかがわからない。手助けをする事で相手に劣等感を与える事もあるし、本当は必要ないかもしれないから。見かけた時は手助けしようという姿勢はある。

⑦　伝えたいことが伝わらなくて困った、伝え方に困った（17 件）
内　　容
障がいを持った人に、目的が伝わらない時
意思が通じない
言葉のかけ方
伝えたいことがうまく伝えられなかった
自分が伝えたいことを上手く伝えることができなかったこと。
自分の意見が思うように伝わらない時に困りましたが、言い方を変えたり工夫して何とか通じました。
意思が通じない
どのようにしたら自分の伝えたいことが伝わるか。
相手に理解してもらうような、話し方、言葉選び。
話が伝わらない
盲目の方に第一声どうやって伝えれば良いか分からず、驚かせてしまった経験があります。
言葉の伝え方
聴き取りづらく、返事をかえすにも、分からなくて曖昧にしか出来なかった事があった。
話が通じない時支援が難しい
分かりやすくはっきりした声で伝えるのが思ったより難しかったです。
それなりにあります。自分発達障害だから上手く話せない、
言葉が伝わらなかった

⑧　障がいに特有の行動に接して困った（16 件）
内　　容
あいさつを返したがその後他の人に挨拶をして再び自分に何度も挨拶をされた時。最初のひと言は気持ちが良いが、繰り返し何度も同じ場所で、となると返事をするのがちょっと恥ずかしい。（周囲の目を気にしてしまう）
本当に支援が必要なのか、依存的なのかの判断。特に目に見えない障がいのある方は判断しかねる。声かけに興奮された時には何に反応したのか分からず、困惑した。
精神障害の方から理不尽に絡まれた時、どう対応すればいいのか、自分のどうしようもない感情はどこにいけばいいのか、となり困る。
目の不自由な方が人にぶっかっても、当たり前にしているのが意味わからない。
障害のある方と同僚が仕事上でトラブルになった際にそれが障害によるものか、性格によるものかわからない時がありました。
急に叫んだりする方もいるので、びっくりしたけど、困るほどではなかったです。
大声を出された
何度もここに文字を書いてと手を握って言われ何度も何度も催促されたとき、子供が急に髪を引っ張られたとき
人生を諦めているかの言葉を発する人。
障がいの内容によっては、プライドの高すぎるひとがいる。
目的地が、分かればいいのですが、わからない時が、ちょっと困る。
私達も関わり方によって感情的になるのは同じですが、急に多声をあげたり、攻撃的になったりする方もいますので、対応に困る事があります。
精神的な障がいがある方には言葉をかけにくい雰囲気があった
スピード感が違うこと。
話が長くなる傾向がある。（話し相手が限られている、もしくは話し相手が少ない環境が影響しているか？）
甘えとか、言い訳等の線引きが見えないとき

⑨　コミュニケーションツール（手話等）がうまく使えずに困った（８件）
内　　容
レジの仕事先で耳のきこえない方や言葉をはっしない方が来られて、手話も出来ないので相手の希望とする事がなかなかわからなかった。買った品物を袋に入れてお金をレジの会計機に入れてあげる事しか出来なかったです。
手話ができない為話せない人とのコミュニケーションに苦戦したことがある。
手話が出来ると良いと思った。
自分が手話をしたり、その人にとって必要な手助けが何が必要なのかという判断が瞬時にできないこと
言語障がいのある方(手話ができたらと思う時がある)

自分が働く店で耳が不自由な方がいらした時に、筆談となったのですが、筆談だけでは伝えにくいニュアンスとかは笑顔や雰囲気でフォローしたいのに、マスクをしている為に表情などが伝えにくいなぁととても感じました。
手話が出来ない
耳の不自由な方に接した時に手話が出来たらいいなと思った。手話講習などの情報が欲しい

⑩　その他（43 件）
内　　容
◆障がいのある人の周りの人について
障害のある人に困ったではなく、支援している人に困っています。 こうしたほうが、本人のためになるとか、こうしたら次もまた支援が増えるなど、予知して関わったり、本人によかれと思って伝えたことが、本人の思っている達成とは違うカタチになり、不穏な行動が出ると『わがまま』と言われたりすることがあるので、自閉症の方などは本人の思いを聞いて、どうしたいのか選んでもらう、して欲しいことを書いてもらったり、絵を見てもらったりして本人の思いを大切にしていってほしいです。
一人では手が足りない時に周りは見て見ぬ振り
周囲の人の無関心さ。
家族やサポートする人の間違った知識やサポートの仕方
周りの目を気にする事がありました。すみません。
周りの人の協力を得ることの難しさ
周りの方々に理解してもらいにくく、なかなかわかってもらえなかった。
周りの人が理解なく障害のある方に対して暴言を吐いていることがある。
◆手助けしようとしたが断られた
あるファミリーレストランで、四肢に麻痺のある脳性麻痺の男性がお食事大変そうだったので、お手伝いしましょうかと申し出た時、追い払われました！お声かけの大事さを思いました！
過去に障害者の手助けをしようとしたときに、「そういう偽善はいらないです。お気遣いなく。」といわれショックだった経験がありました。それ以降積極的に関わらないようにしています。本人がどうしても手助けを必要としている様子でない限りは一般の人と同様の認識でいます。
こちらは支援したいと思って声かけをしても、上手く伝わらなかったのか強い口調で拒否された。
車椅子の方を見掛けたら「何かお手伝い出来ることがあったら言ってくださいね」と、声を掛けたことがありますが、即答で「結構です、大丈夫です」と、言われた事がありました。その時は、余計なお世話だったかな？と考えましたが、私に出来ることは手伝ってあげたいので、これからも声掛けをしていきたいと思ってます。
以前飲食店で働いていた時、バイキング形式のお店だったので、車椅子のお客様が来店した際、何かお手伝い出来ることがあれば、お声かけ下さいと声をかけたのですが、結構です！っと少しムスっとした感じで言われた事があり、どのようにお声かけをするのが 1 番スマートといいますか、嫌な気持ちにならずに済むのかなあと考えた経験があります。
◆障がいのある人と関わることに困難を感じた
身体の男性がお手洗いに入れず困っていらっしゃったが、発語もはっきりとしないので、どう介助していいのかわからなかったし、彼も女性にサポートされるのは嫌だったみたいでお手伝いの難しさを感じた。
車椅子の移乗などむずかしい。
発達障害など、少しずつ話題になることで見つけやすくなっている反面、その方たちを受け入れることは難しいという意識が先にたって、逆インクルージョン化になっている気がします。少子化にもかかわらず、学校教育において、特別支援学級や特別支援学校の児童生徒数の増加が進んでいるのはその現れだと感じます。。今、一歩進んだ、共生社会の充実を望みます。
困ると言うより、自尊心に考慮しながら接する事に難しさを感じる
本人がそれを望んでいるか 依存心と自立の難しさ
◆怖いと思った
赤ちゃんを抱っこしてる時、知的障害の方が近くにいたのだが、急に赤ちゃんを掴まれ怖い思いをしたことがある。
接した時に怒りだしたりしたら怖くてなかなか行動に移せない。小さい時に、追いかけられたことがあって怖くてなかなか行動にうつせない。
知的関係の障がい者については怖くて接する事ができない。
身体、精神、難病の場合は大丈夫な気がしますが、発達障害、知的障害については、怖いイメージがあります。身体は大人になるけど、心は子供、そういう方向けの性的支援の話をテレビで見て、怖いと思いました。でも、必要なことなのかなと思いました。どちらにも怖いことが起こらないといいなと真剣に考えました。
怖い思いをした

◆関わることができなかった、行動できなかった
相手の考えや、何ができるのか、どうすればいいのか分からず、何もできないまま自分が力不足だと感じる。
目の見えない人が杖を突いて歩いていた時、接し方がわからず逃げてしまった。
その方が、支援を必要としているかどうかを考えると、躊躇したり考えたりして行動なら移せないとかにどうしたらいいか困った。
どこまで手助けをしたらいいのか分からず、結局何も出来なかった事がある。
◆暴力をふるわれた
また、自閉症を持った方と接した際に、スケジュールどおりにいかず、本人がパニックになり大声をあげたり他害行為をあげてしまったこと。
暴言・暴力を受ける時
高次脳機能障害かたを介助したときに暴力を振るわれました。相手は障害者、高齢者を認識され、何しても良いんだと、わざと常習的に暴力を振るわれたことが私自身精神的に辛かったです。
◆バリアフリーでない場所で支援が大変だった
接客業で車椅子のお客様を接客する際に、進みにくかったり、レジが高かったりと気付かされました
トイレやお風呂の設備など、ﾊｰﾄﾞ面の古いところでの介助に困ったことがある。
トイレが狭い。階段が多い。道路の歩道に段差が多い。歩道が狭い
◆少数意見
有難い事に、１人では介助できない時に、伝えれば、手伝ってもらえてます。
困るほどではないのだけれど、対応が出来ず、警察に連絡をして、指示を受けたことがあります。
教育委員会や福祉行政には、かなり問題があるように思う。もっと人材を置くべきである。
障害者を社会全体で受け入れていく環境は非常に重要だと思う。しかし一方で障害者に対する配慮がなされないことを非難するべきではない。結果的に対立を産むだけで、障害者の立場を悪くするだけ。しょうもない言葉狩りとかも同様。そこに不適切だという指摘が入ると、全く悪意のない善意の人でも面倒臭い感じて離れていってしまう。大事なのはそこじゃない。
自分の何気ない一言が心に問題がある方にとっては勘に触ることだったようで憤慨されたことがある。関わり方に困った
ある
ぱっと行って手助けしたい気持はあるんだけど、なかなかその勇気がありません。
こちらの都合を尊重してくれない人がいて、振り回されたことがある。（時間や場所など）
足が不自由な方に扉をあけて通してあげたり、車椅子の方のために、レストランの椅子をどかして車椅子をいれてあげたりしました。
精神的なものは、こちらの体力もうばう

（８）障がいや障がいのある人への理解を深めるための取組

【小学生調査】
問．障がいや障がいのある人に対する人々の理解を深めていくにはどのような取り組みをするのが良いと思いますか。（○は３つまで）

【中学生調査】
問．障がいや障がいのある人に対する人々の理解を深めていくにはどのような取り組みをするのが良いと思いますか。（○は３つまで）

【一般調査】
問．障がいや障がいのある人に対する人々の理解を深めていくにはどのような取組みをするのが良いと思いますか。（○は３つまで）

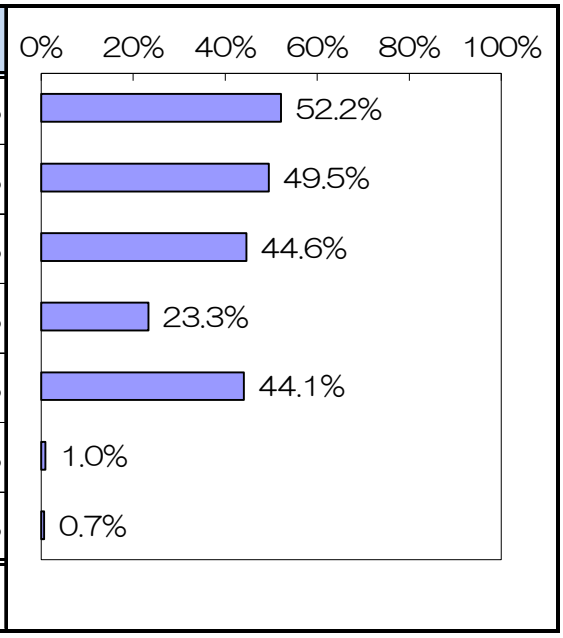
小中学生調査では、「障がい者に関する知識をみんなに広める」が 52.2%と最も高く、次いで、「ともにふれあえるようにする（ともにふれあえる機会を増やす）」の 49.5%、「みんなが障がい者について学ぶ（学習する）」の 44.6%の順となっている。

一般調査では、「障がい者理解を深める教育を行う」が 63.4%と最も高く、次いで、「ふれあいや交流の機会を増やす」の 52.2%、「一人ひとりが自覚と認識を高める」の 42.6%の順となっている。

学校別でみると、中学生の「みんなが理解しようと心がける（みんなが自覚と認識を高める）」の割合が小学生と比べて低くなっている。

※小中学生調査

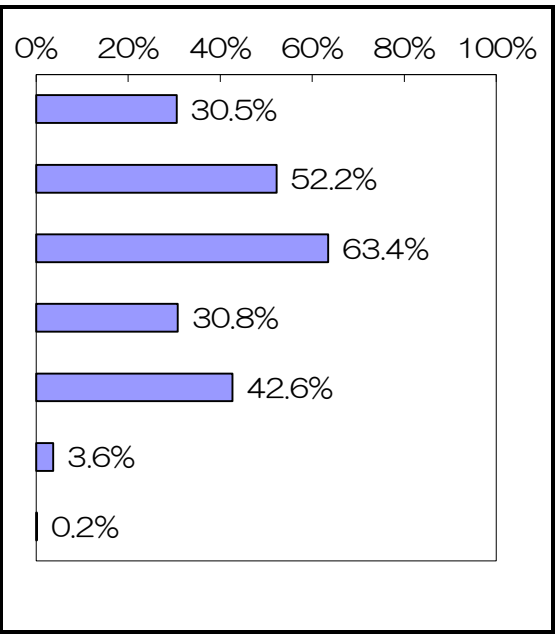
選択肢	回答数	割合
障がい者に関する知識をみんなに広める	3,061	52.2%
ともにふれあえるようにする（ともにふれあえる機会を増やす）	2,902	49.5%
みんなが障がい者について学ぶ（学習する）	2,616	44.6%
みんながボランティア活動に参加する	1,365	23.3%
みんなが理解しようと心がける（みんなが自覚と認識を高める）	2,589	44.1%
その他	57	1.0%
無回答	43	0.7%
サンプル数	5,868	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
障がい者に関する知識をみんなに広める	3,061	1,632	1,429
	52.2%	48.2%	57.6%
ともにふれあえるようにする（ともにふれあえる機会を増やす）	2,902	1,586	1,316
	49.5%	46.8%	53.0%
みんなが障がい者について学ぶ（学習する）	2,616	1,520	1,096
	44.6%	44.9%	44.2%
みんながボランティア活動に参加する	1,365	794	571
	23.3%	23.4%	23.0%
みんなが理解しようと心がける（みんなが自覚と認識を高める）	2,589	1,747	842
	44.1%	51.6%	33.9%
その他	57	35	22
	1.0%	1.0%	0.9%
無回答	43	27	16
	0.7%	0.8%	0.6%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
広報・啓発活動を推進する	201	30.5%
ふれあいや交流の機会を増やす	344	52.2%
障がい者理解を深める教育を行う	418	63.4%
ボランティアなどの活動を充実する	203	30.8%
一人ひとりが自覚と認識を高める	281	42.6%
その他	24	3.6%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	－



３．ボランティア活動について

（１）ボランティア活動の経験

【小学生調査】
問．ボランティア活動をしていますか。（それぞれ○はひとつだけ）
【中学生調査】
問．ボランティア活動をしていますか。（それぞれ○はひとつだけ）
【一般調査】
問．ボランティア活動をしていますか。（それぞれ○はひとつだけ）

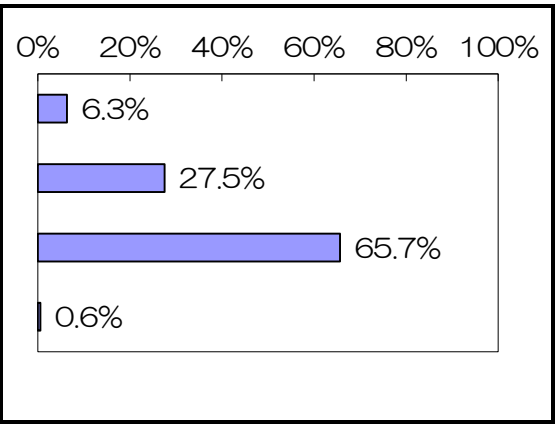
① 福祉関係の活動

小中学生調査では、「現在している」が 6.3%、「以前していたことがある」が 27.5%、「したことがない」が 65.7%となっている。

一般調査では、「現在している」が 6.4%、「以前していたことがある」が 31.4%、「したことがない」が 61.9%となっている。

※小中学生調査

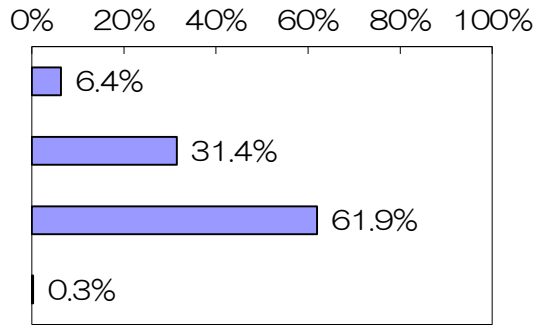
選択肢	回答数	割合
現在している	370	6.3%
以前していたことがある	1,612	27.5%
したことがない	3,853	65.7%
無回答	33	0.6%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
現在している	370	297	73
	6.3%	8.8%	2.9%
以前していたことがある	1,612	811	801
	27.5%	23.9%	32.3%
したことがない	3,853	2,255	1,598
	65.7%	66.6%	64.4%
無回答	33	24	9
	0.6%	0.7%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	42	6.4%
以前していたことがある	207	31.4%
したことがない	408	61.9%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%



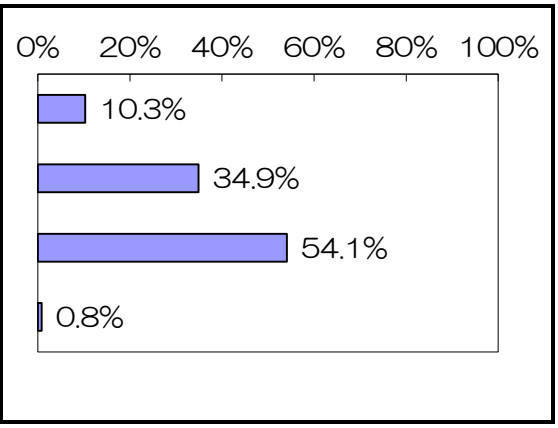
② 環境保護活動

小中学生調査では、「現在している」が 10.3%、「以前していたことがある」が 34.9%、「したことがない」が 54.1%となっている。

一般調査では、「現在している」が 5.9%、「以前していたことがある」が 24.1%、「したことがない」が 69.5%となっている。

※小中学生調査

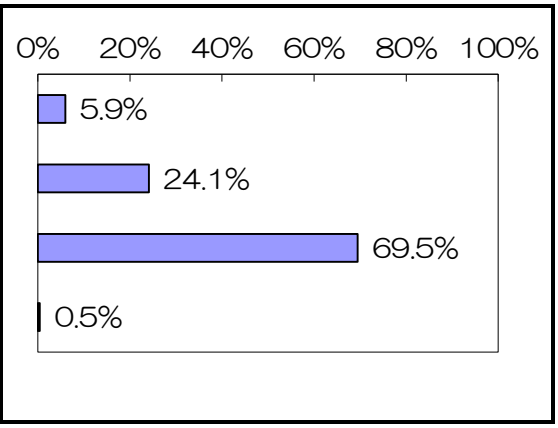
選択肢	回答数	割合
現在している	604	10.3%
以前していたことがある	2,046	34.9%
したことがない	3,173	54.1%
無回答	45	0.8%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
現在している	604	467	137
	10.3%	13.8%	5.5%
以前していたことがある	2,046	1,007	1,039
	34.9%	29.7%	41.9%
したことがない	3,173	1,882	1,291
	54.1%	55.6%	52.0%
無回答	45	31	14
	0.8%	0.9%	0.6%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	39	5.9%
以前していたことがある	159	24.1%
したことがない	458	69.5%
無回答	3	0.5%
サンプル数	659	100.0%



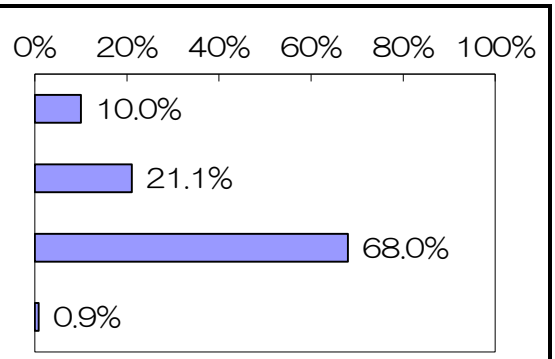
③ 教育・文化活動

小中学生調査では、「現在している」が 10.0%、「以前していたことがある」が 21.1%、「したことがない」が 68.0%となっている。

一般調査では、「現在している」が 12.4%、「以前していたことがある」が 21.5%、「したことがない」が 66.0%となっている。

※小中学生調査

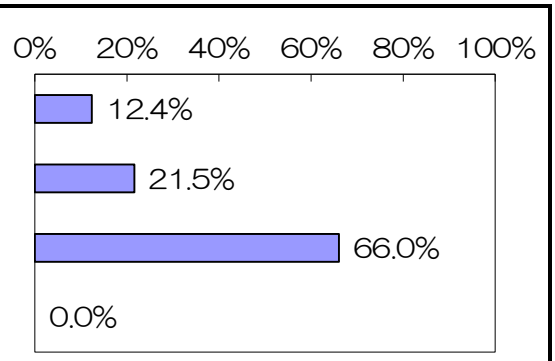
選択肢	回答数	割合
現在している	589	10.0%
以前していたことがある	1,237	21.1%
したことがない	3,992	68.0%
無回答	50	0.9%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
現在している	589	404	185
	10.0%	11.9%	7.5%
以前していたことがある	1,237	738	499
	21.1%	21.8%	20.1%
したことがない	3,992	2,208	1,784
	68.0%	65.2%	71.9%
無回答	50	37	13
	0.9%	1.1%	0.5%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	82	12.4%
以前していたことがある	142	21.5%
したことがない	435	66.0%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	100.0%



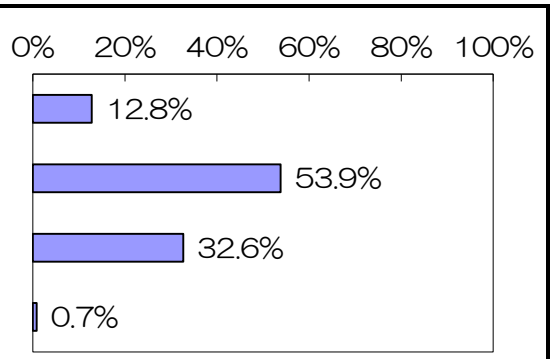
④ 地域活動

小中学生調査では、「現在している」が 12.8%、「以前していたことがある」が 53.9%、「したことがない」が 32.6%となっている。

一般調査では、「現在している」が 12.6%、「以前していたことがある」が 38.8%、「したことがない」が 48.4%となっている。

※小中学生調査

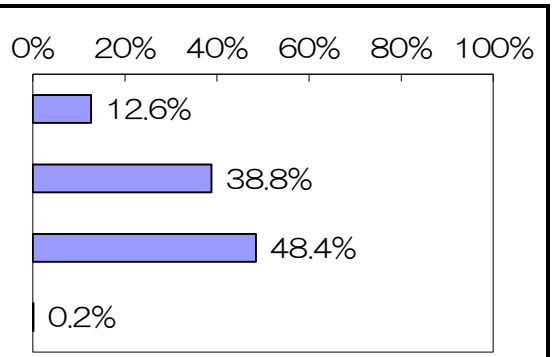
選択肢	回答数	割合
現在している	749	12.8%
以前していたことがある	3,161	53.9%
したことがない	1,914	32.6%
無回答	44	0.7%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
現在している	749	544	205
	12.8%	16.1%	8.3%
以前していたことがある	3,161	1,613	1,548
	53.9%	47.6%	62.4%
したことがない	1,914	1,199	715
	32.6%	35.4%	28.8%
無回答	44	31	13
	0.7%	0.9%	0.5%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	83	12.6%
以前していたことがある	256	38.8%
したことがない	319	48.4%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



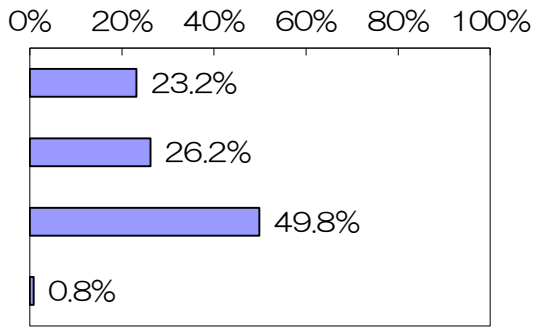
⑤ スポーツ活動

小中学生調査では、「現在している」が 23.2%、「以前していたことがある」が 26.2%、「したことがない」が 49.8%となっている。

一般調査では、「現在している」が 10.2%、「以前していたことがある」が 28.4%、「したことがない」が 60.5%となっている。

※小中学生調査

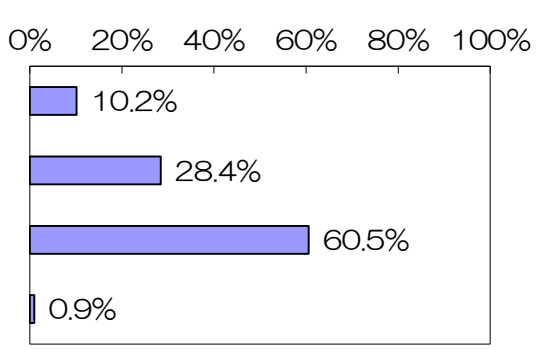
選択肢	回答数	割合
現在している	1,360	23.2%
以前していたことがある	1,536	26.2%
したことがない	2,924	49.8%
無回答	48	0.8%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
現在している	1,360	941	419
	23.2%	27.8%	16.9%
以前していたことがある	1,536	704	832
	26.2%	20.8%	33.5%
したことがない	2,924	1,708	1,216
	49.8%	50.4%	49.0%
無回答	48	34	14
	0.8%	1.0%	0.6%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	67	10.2%
以前していたことがある	187	28.4%
したことがない	399	60.5%
無回答	6	0.9%
サンプル数	659	100.0%



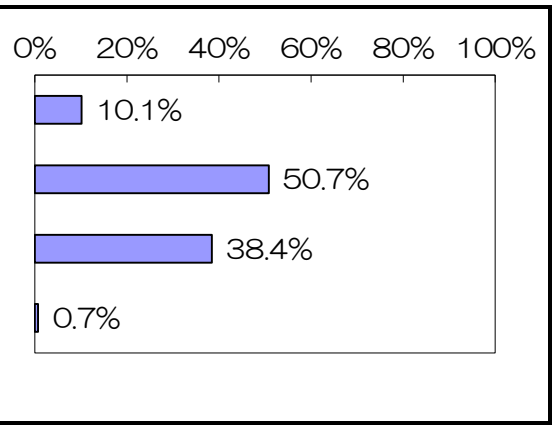
⑥ 寄付活動

小中学生調査では、「現在している」が 10.1%、「以前していたことがある」が 50.7%、「したことがない」が 38.4%となっている。

一般調査では、「現在している」が 11.7%、「以前していたことがある」が 42.5%、「したことがない」が 45.5%となっている。

※小中学生調査

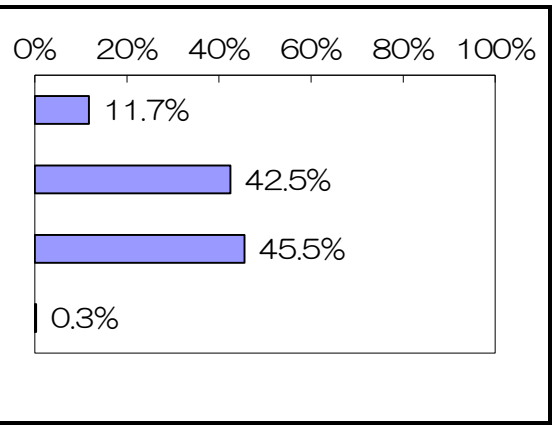
選択肢	回答数	割合
現在している	593	10.1%
以前していたことがある	2,977	50.7%
したことがない	2,255	38.4%
無回答	43	0.7%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
現在している	593	417	176
	10.1%	12.3%	7.1%
以前していたことがある	2,977	1,560	1,417
	50.7%	46.1%	57.1%
したことがない	2,255	1,381	874
	38.4%	40.8%	35.2%
無回答	43	29	14
	0.7%	0.9%	0.6%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	77	11.7%
以前していたことがある	280	42.5%
したことがない	300	45.5%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%



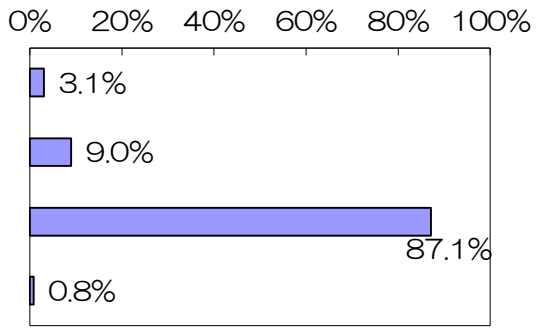
⑦ 相談支援活動

小中学生調査では、「現在している」が 3.1%、「以前していたことがある」が 9.0%、「したことがない」が 87.1%となっている。

一般調査では、「現在している」が 5.3%、「以前していたことがある」が 7.6%、「したことがない」が 86.3%となっている。

※小中学生調査

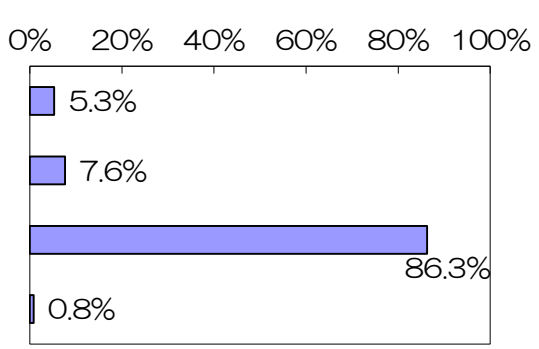
選択肢	回答数	割合
現在している	182	3.1%
以前していたことがある	527	9.0%
したことがない	5,111	87.1%
無回答	48	0.8%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
現在している	182	144	38
	3.1%	4.3%	1.5%
以前していたことがある	527	421	106
	9.0%	12.4%	4.3%
したことがない	5,111	2,788	2,323
	87.1%	82.3%	93.6%
無回答	48	34	14
	0.8%	1.0%	0.6%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	35	5.3%
以前していたことがある	50	7.6%
したことがない	569	86.3%
無回答	5	0.8%
サンプル数	659	100.0%

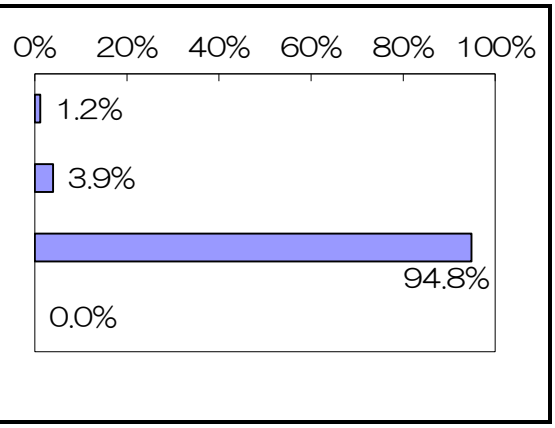


⑧ 政治活動

一般調査では、「現在している」が 1.2%、「以前していたことがある」が 3.9%、「したことがない」が 94.8%となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	8	1.2%
以前していたことがある	26	3.9%
したことがない	625	94.8%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	100.0%



（２）障がいのある人を対象としたボランティア活動の経験

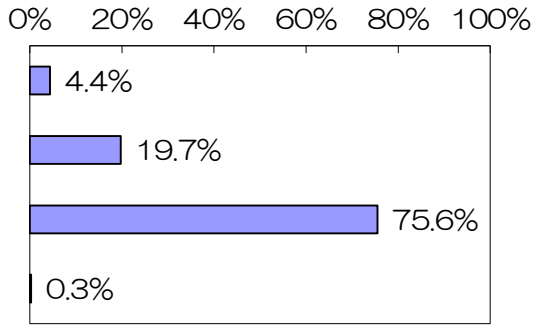
【一般調査】
問．あなたは現在、障がいのある人を対象としたボランティア活動を行っていますか。（それぞれ○はひとつだけ）

① 交流活動

一般調査では、「現在している」が 4.4%、「以前していたことがある」が 19.7%、「したことがない」が 75.6%となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	29	4.4%
以前していたことがある	130	19.7%
したことがない	498	75.6%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%

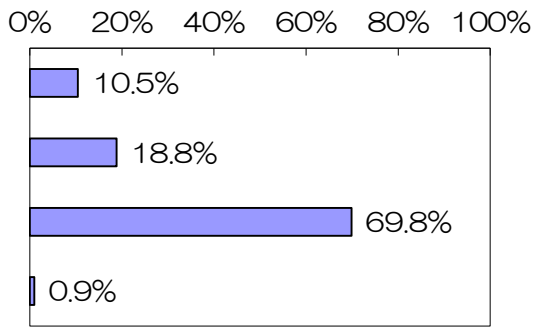


② 介助・援助

一般調査では、「現在している」が 10.5%、「以前していたことがある」が 18.8%、「したことがない」が 69.8%となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	69	10.5%
以前していたことがある	124	18.8%
したことがない	460	69.8%
無回答	6	0.9%
サンプル数	659	100.0%

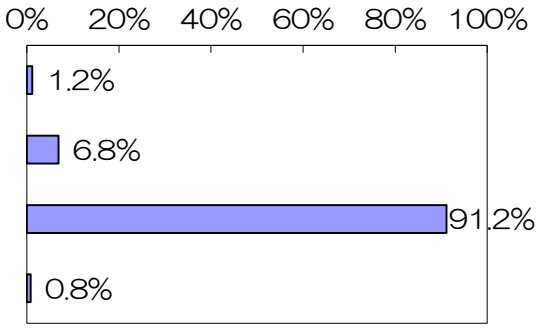


③ 手話通訳・点訳・朗読

一般調査では、「現在している」が 1.2%、「以前していたことがある」が 6.8%、「したことがない」が 91.2%となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	8	1.2%
以前していたことがある	45	6.8%
したことがない	601	91.2%
無回答	5	0.8%
サンプル数	659	100.0%

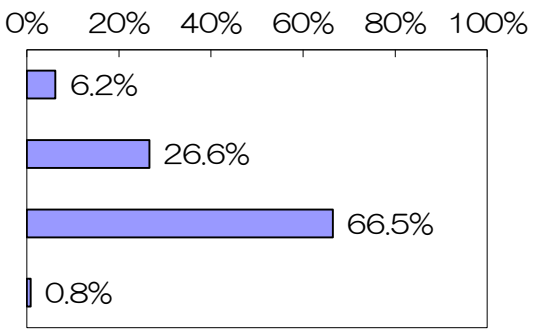


④ 寄付活動

一般調査では、「現在している」が 6.2%、「以前していたことがある」が 26.6%、「したことがない」が 66.5%となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	41	6.2%
以前していたことがある	175	26.6%
したことがない	438	66.5%
無回答	5	0.8%
サンプル数	659	100.0%

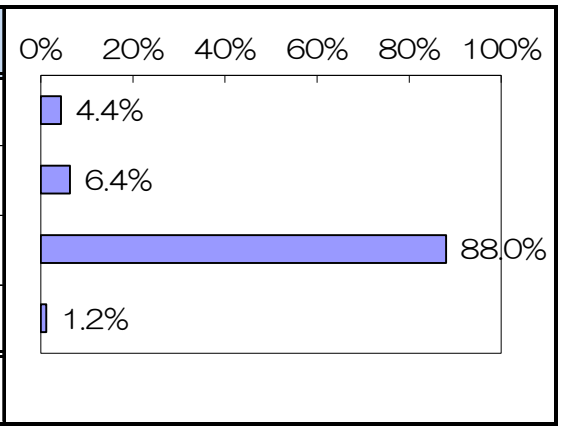


⑤ 相談支援

一般調査では、「現在している」が 4.4%、「以前していたことがある」が 6.4%、「したことがない」が 88.0%となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
現在している	29	4.4%
以前していたことがある	42	6.4%
したことがない	580	88.0%
無回答	8	1.2%
サンプル数	659	100.0%



（３）希望するボランティア活動の種類

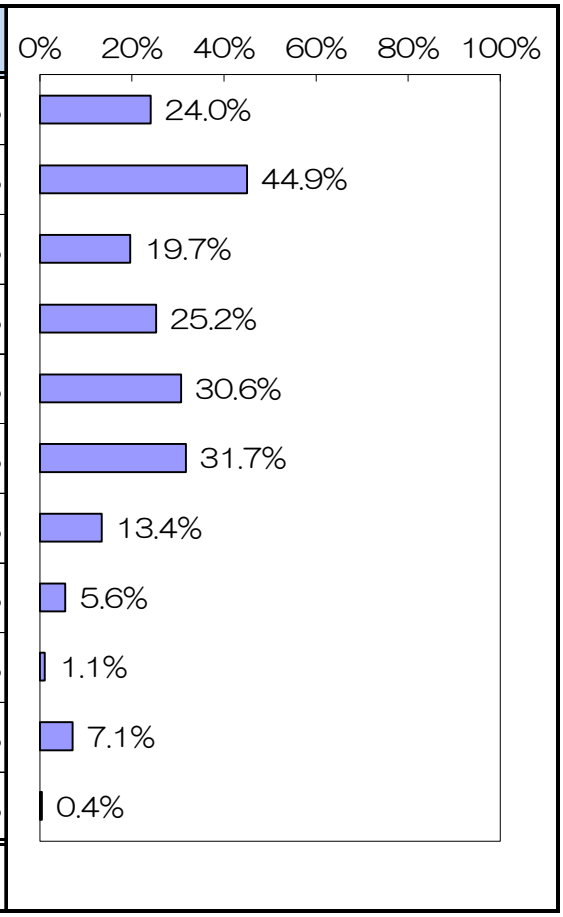
【小学生調査】
問．あなたは将来どんなボランティア活動を行いたいと思いますか。
（○は３つまで）
【中学生調査】
問．あなたは将来どんなボランティア活動を行いたいと思いますか。
（○は３つまで）
【一般調査】
問．あなたは将来どんなボランティア活動を行いたいと思いますか。
（○は３つまで）

小中学生調査では、「環境保護の活動（環境保護活動）」が 44.9%と最も高く、次いで、「寄付をする活動（寄付活動）」の 31.7%、「スポーツの活動」の 30.6%の順となっている。

一般調査では、「福祉関係の活動」が 37.5%と最も高く、次いで、「教育・文化活動」の 34.1%、「環境保護活動」の 33.1%の順となっている。

※小中学生調査

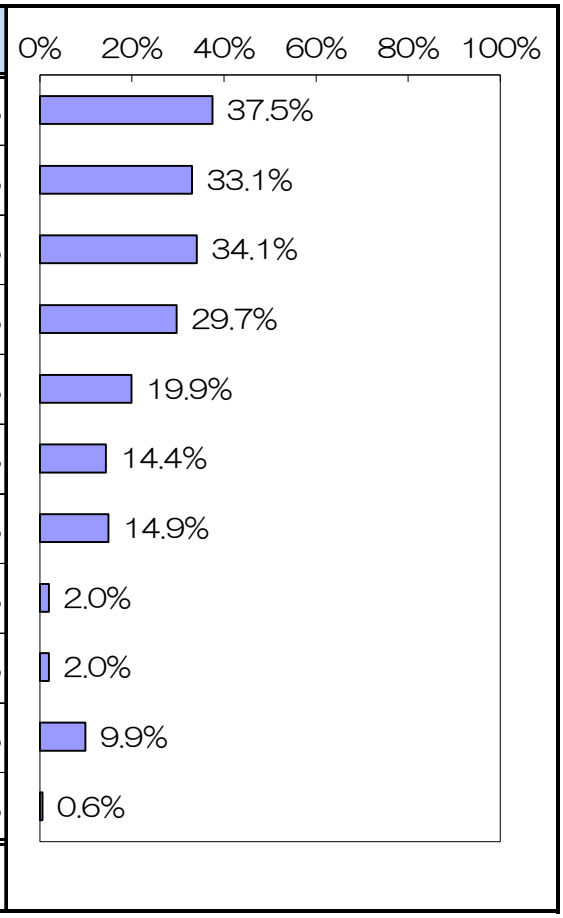
選択肢	回答数	割合
福祉関係の活動	1,410	24.0%
環境保護の活動（環境保護活動）	2,637	44.9%
教育・文化の活動（教育・文化活動）	1,155	19.7%
地域での活動（地域活動）	1,480	25.2%
スポーツの活動	1,797	30.6%
寄付をする活動（寄付活動）	1,858	31.7%
相談に乗ったり支援をする活動（相談支援活動）	785	13.4%
政治活動	328	5.6%
その他	67	1.1%
したくない	419	7.1%
無回答	26	0.4%
サンプル数	5,868	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
福祉関係の活動	1,410	727	683
	24.0%	21.5%	27.5%
環境保護の活動（環境保護活動）	2,637	1,589	1,048
	44.9%	46.9%	42.2%
教育・文化の活動（教育・文化活動）	1,155	629	526
	19.7%	18.6%	21.2%
地域での活動（地域活動）	1,480	758	722
	25.2%	22.4%	29.1%
スポーツの活動	1,797	945	852
	30.6%	27.9%	34.3%
寄付をする活動（寄付活動）	1,858	1,044	814
	31.7%	30.8%	32.8%
相談に乗ったり支援をする活動（相談支援活動）	785	620	165
	13.4%	18.3%	6.7%
政治活動	328	217	111
	5.6%	6.4%	4.5%
その他	67	52	15
	1.1%	1.5%	0.6%
したくない	419	273	146
	7.1%	8.1%	5.9%
無回答	26	19	7
	0.4%	0.6%	0.3%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
福祉関係の活動	247	37.5%
環境保護活動	218	33.1%
教育・文化活動	225	34.1%
地域活動	196	29.7%
スポーツ活動	131	19.9%
寄付活動	95	14.4%
相談支援活動	98	14.9%
政治活動	13	2.0%
その他	13	2.0%
したくない	65	9.9%
無回答	4	0.6%
サンプル数	659	－



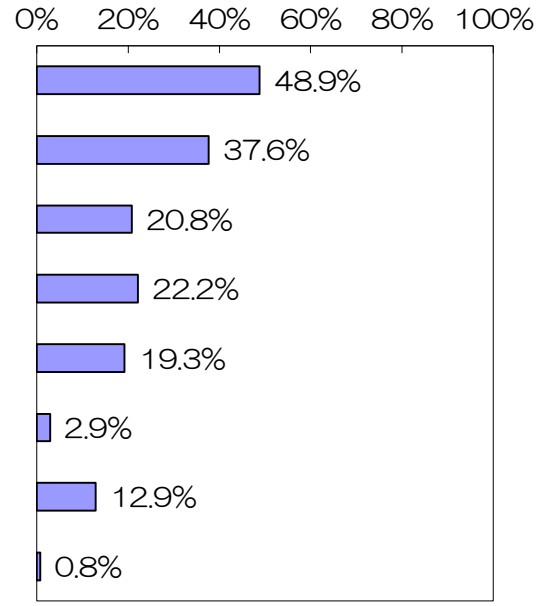
（４）希望する（障がいのある人が対象の）ボランティア活動の種類

【一般調査】
問．あなたは将来障がいのある人を対象としたどんなボランティア活動を行いたいですか。（○は３つまで）

一般調査では、「交流活動」が 48.9%と最も高く、次いで、「介助・援助」の 37.6%、「寄付活動」の 22.2%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
交流活動	322	48.9%
介助・援助	248	37.6%
手話通訳・点訳・朗読	137	20.8%
寄付活動	146	22.2%
相談支援	127	19.3%
その他	19	2.9%
したくない	85	12.9%
無回答	5	0.8%
サンプル数	659	－



（５）ボランティア活動をしたくない理由

【小学生調査】
問.（希望するボランティア活動の種類について、「したくない」と答えた人のみ回答）その理由を次のうちからお答えください。（○は３つまで）

【中学生調査】
問.（希望するボランティア活動の種類について、「したくない」と答えた人のみ回答）その理由を次のうちからお答えください。（○は３つまで）

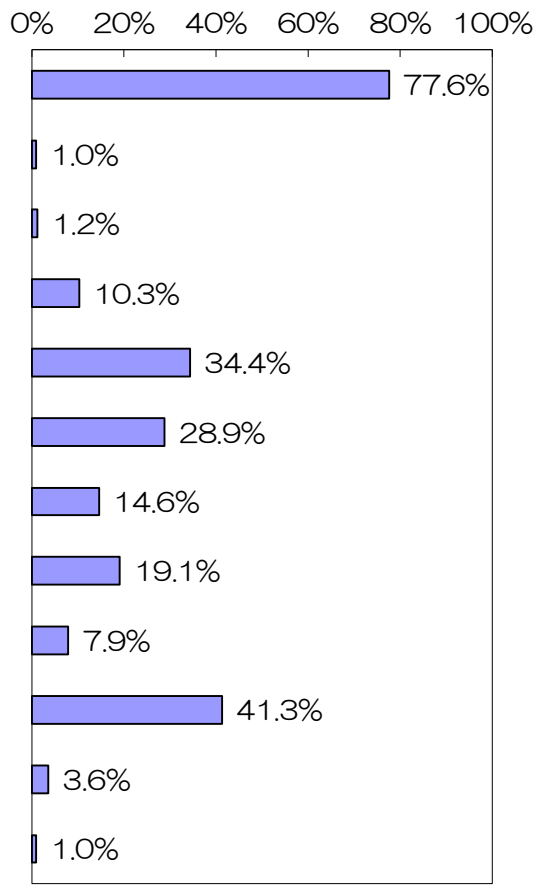
【一般調査】
問.（希望するボランティア活動、希望する（障がいのある人が対象の）ボランティア活動の種類のいずれかについて、「したくない」と答えた人のみ回答）その理由を次のうちからお答えください。（○は３つまで）

小中学生調査では、「時間がない」が 77.6%と最も高く、次いで、「やりたい活動がない」の 41.3%、「興味・関心がない」の 34.4%の順となっている。

一般調査では、「時間がない」が 52.0%と最も高く、次いで、「心にゆとりがない」の 45.0%、「どういうものかわからない」の 22.0%の順となっている。

※小中学生調査

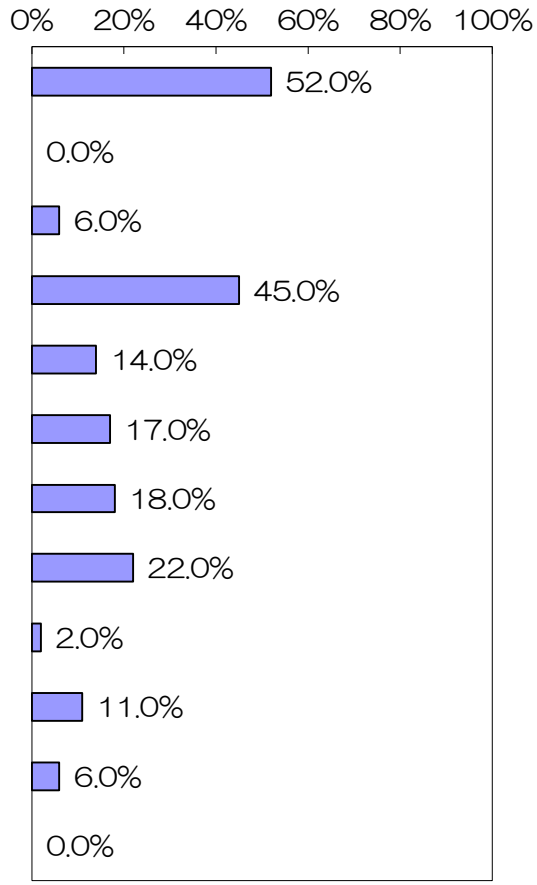
選択肢	回答数	割合
時間がない	325	77.6%
家族が協力してくれない（家族の理解や承諾が得られない）	4	1.0%
けがや病気などのため	5	1.2%
心にゆとりがない	43	10.3%
興味・関心がない	144	34.4%
他にしたいことがある	121	28.9%
取り組み方がわからない	61	14.6%
どういうものかわからない	80	19.1%
なぜボランティア活動をするのかわからない（活動の意義を認めない）	33	7.9%
やりたい活動がない	173	41.3%
その他	15	3.6%
無回答	4	1.0%
サンプル数	419	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	419	273	146
	100.0%	100.0%	100.0%
時間がない	325	206	119
	77.6%	75.5%	81.5%
家族が協力してくれない（家族の理解や承諾が得られない）	4	2	2
	1.0%	0.7%	1.4%
けがや病気などのため	5	2	3
	1.2%	0.7%	2.1%
心にゆとりがない	43	27	16
	10.3%	9.9%	11.0%
興味・関心がない	144	82	62
	34.4%	30.0%	42.5%
他にしたいことがある	121	74	47
	28.9%	27.1%	32.2%
取り組み方がわからない	61	43	18
	14.6%	15.8%	12.3%
どういうものかわからない	80	53	27
	19.1%	19.4%	18.5%
なぜボランティア活動をするのかわからない（活動の意義を認めない）	33	31	2
	7.9%	11.4%	1.4%
やりたい活動がない	173	124	49
	41.3%	45.4%	33.6%
その他	15	11	4
	3.6%	4.0%	2.7%
無回答	4	2	2
	1.0%	0.7%	1.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
時間がない	52	52.0%
家族の理解や承諾が得られない	0	0.0%
けがや病気などのため	6	6.0%
心にゆとりがない	45	45.0%
興味・関心がない	14	14.0%
他にしたいことがある	17	17.0%
取り組み方がわからない	18	18.0%
どういうものかわからない	22	22.0%
活動に賛成できない	2	2.0%
やりたい活動がない	11	11.0%
その他	6	6.0%
無回答	0	0.0%
サンプル数	100	－



４．障がい・介護について

（１）自分も障がい者となる可能性について

【小学生調査】
問．健康な人でも、事故や怪我、病気などで障がい者になることがあります。自分が障がい者になることがあると思いますか。（○はひとつだけ）

【中学生調査】
問．健康な人でも、事故や怪我、病気などで障がい者になることがあります。自分が障がい者になることがあると思いますか。（○はひとつだけ）

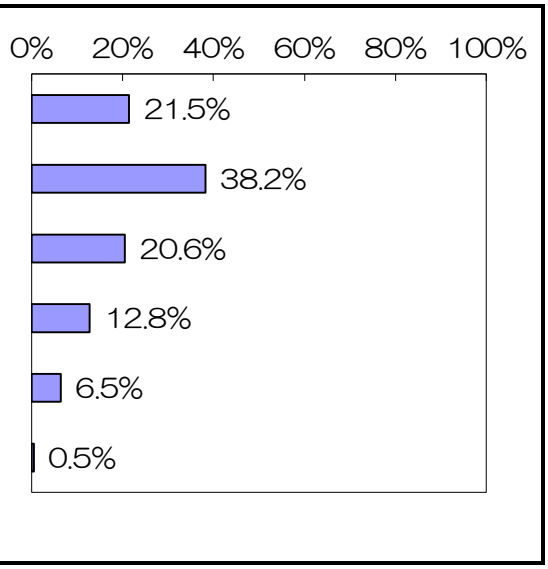
【一般調査】
問．健康な人でも、事故や怪我、病気などで障がい者になることがあります。自分が障がい者になることがあると思いますか。（○はひとつだけ）

小中学生調査では、「まあそう思う」が 38.2%と最も高く、次いで、「かなりそう思う」の 21.5%、「どちらでもない」の 20.6%の順となっている。

一般調査では、「まあそう思う」が 42.8%と最も高く、次いで、「かなりそう思う」の 40.2%、「どちらでもない」の 12.7%の順となっている。

※小中学生調査

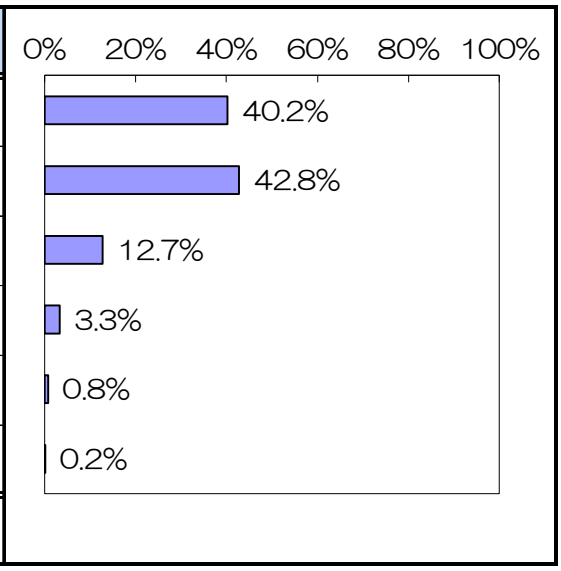
選択肢	回答数	割合
かなりそう思う	1,259	21.5%
まあそう思う	2,241	38.2%
どちらでもない	1,206	20.6%
あまりそう思わない	753	12.8%
全くそう思わない	379	6.5%
無回答	30	0.5%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
かなりそう思う	1,259	614	645
	21.5%	18.1%	26.0%
まあそう思う	2,241	1,232	1,009
	38.2%	36.4%	40.7%
どちらでもない	1,206	714	492
	20.6%	21.1%	19.8%
あまりそう思わない	753	551	202
	12.8%	16.3%	8.1%
全くそう思わない	379	253	126
	6.5%	7.5%	5.1%
無回答	30	23	7
	0.5%	0.7%	0.3%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
かなりそう思う	265	40.2%
まあそう思う	282	42.8%
どちらでもない	84	12.7%
あまりそう思わない	22	3.3%
全くそう思わない	5	0.8%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%



（２）障がい者となった場合の希望する生活の場所

【小学生調査】
問．あなたが障がい者となり、支援が必要となった場合、どこで生活したいですか。
（○はひとつだけ）

【中学生調査】
問．あなたが障がい者となり、支援が必要となった場合、どこで生活したいですか。
（○はひとつだけ）

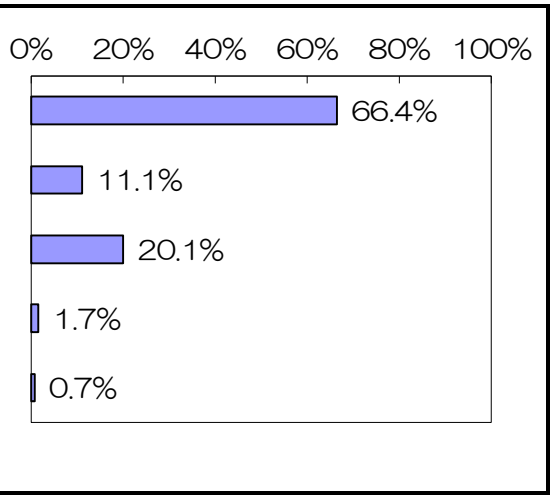
【一般調査】
問．あなたが障がい者となり、支援が必要となった場合、どこで生活したいですか。
（○はひとつだけ）

小中学生調査では、「今住んでいる家（自宅）」が 66.4％と最も高く、次いで、「障がい者を受け入れる施設」の 20.1％、「病院」の 11.1％の順となっている。

一般調査では、「自宅」が 67.1％と最も高く、次いで、「障がい者を受け入れる施設」の 24.6％、「病院」の 5.8％の順となっている。

※小中学生調査

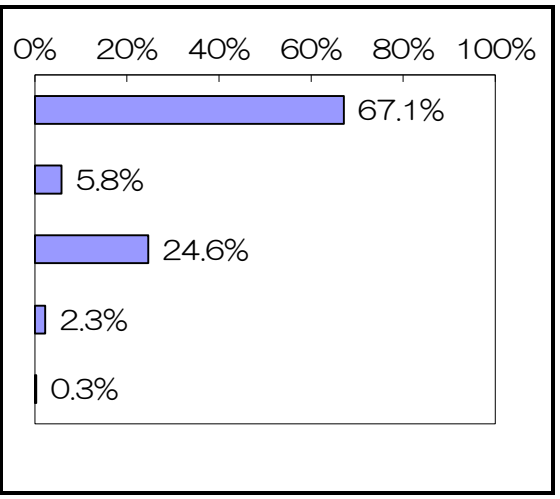
選択肢	回答数	割合
今住んでいる家（自宅）	3,896	66.4%
病院	653	11.1%
障がい者を受け入れる施設	1,178	20.1%
その他	97	1.7%
無回答	44	0.7%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
今住んでいる家（自宅）	3,896	2,119	1,777
	66.4%	62.6%	71.6%
病院	653	382	271
	11.1%	11.3%	10.9%
障がい者を受け入れる施設	1,178	804	374
	20.1%	23.7%	15.1%
その他	97	50	47
	1.7%	1.5%	1.9%
無回答	44	32	12
	0.7%	0.9%	0.5%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
自宅	442	67.1%
病院	38	5.8%
障がい者を受け入れる施設	162	24.6%
その他	15	2.3%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%



５．福祉のしごとについて

（１）福祉のしごとのイメージ

【小学生調査】
問．福祉のしごとについてどのようなイメージを持っていますか。（○は３つまで）
【中学生調査】
問．福祉のしごとについてどのようなイメージを持っていますか。（○は３つまで）
【一般調査】
問．福祉のしごとについてどのようなイメージを持っていますか。（○は３つまで）

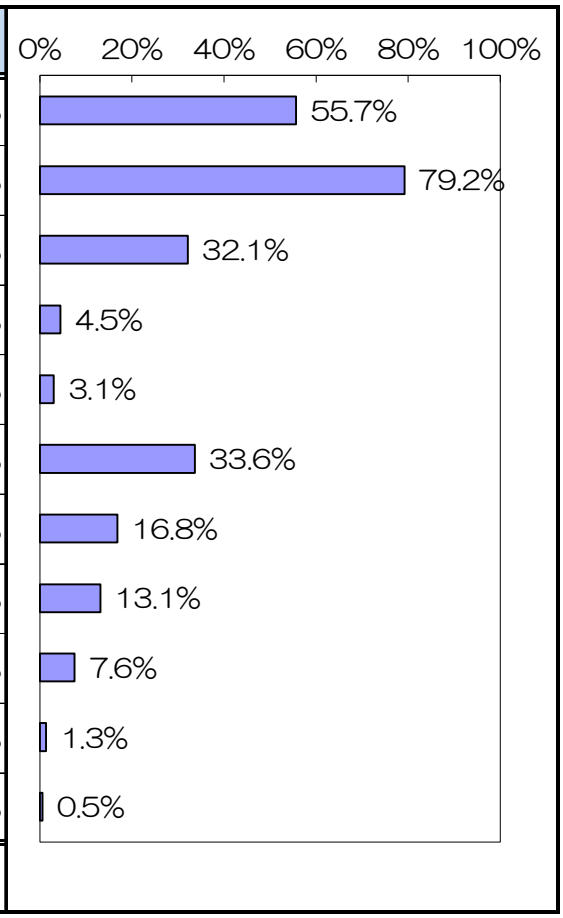
小中学生調査では、「人のためになる」が 79.2%と最も高く、次いで、「世の中のためになる」の 55.7%、「体力が必要」の 33.6%の順となっている。

一般調査では、「身体的に大変そう」が 59.2%と最も高く、次いで、「人のためになる」「精神的に大変そう」の 51.3%となっている。

学校別でみると、中学生の「体力が必要」の割合が小学生と比べて高くなっている。

※小中学生調査

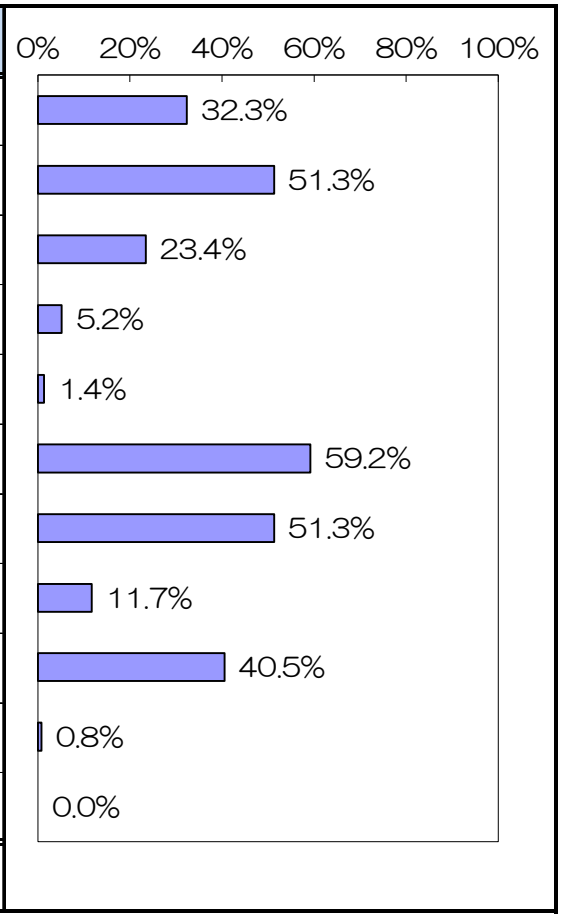
選択肢	回答数	割合
世の中のためになる	3,269	55.7%
人のためになる	4,645	79.2%
やりがいがある	1,886	32.1%
資格が取れる	262	4.5%
給料・賃金が高い	180	3.1%
体力が必要	1,974	33.6%
心が疲れる	986	16.8%
休みがない	770	13.1%
給料・賃金が安い	444	7.6%
その他	79	1.3%
無回答	32	0.5%
サンプル数	5,868	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
世の中のためになる	3,269	2,031	1,238
	55.7%	60.0%	49.9%
人のためになる	4,645	2,708	1,937
	79.2%	80.0%	78.1%
やりがいがある	1,886	1,139	747
	32.1%	33.6%	30.1%
資格が取れる	262	157	105
	4.5%	4.6%	4.2%
給料・賃金が高い	180	110	70
	3.1%	3.2%	2.8%
体力が必要	1,974	860	1,114
	33.6%	25.4%	44.9%
心が疲れる	986	422	564
	16.8%	12.5%	22.7%
休みがない	770	417	353
	13.1%	12.3%	14.2%
給料・賃金が安い	444	138	306
	7.6%	4.1%	12.3%
その他	79	61	18
	1.3%	1.8%	0.7%
無回答	32	26	6
	0.5%	0.8%	0.2%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
社会貢献ができる	213	32.3%
人のためになる	338	51.3%
やりがいがある	154	23.4%
資格が取れるなどキャリアアップができる	34	5.2%
しごとに対する給料・賃金が高い	9	1.4%
身体的に大変そう	390	59.2%
精神的に大変そう	338	51.3%
休みがとれなさそう	77	11.7%
しごとに対する給料・賃金が安い	267	40.5%
その他	5	0.8%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	－



（２）福祉のしごとに就く人を増やす方法

【小学生調査】
問．福祉のしごとをする人が増えるために必要なことは何だと思いますか。
（○は３つまで）
【中学生調査】
問．福祉のしごとをする人が増えるために必要なことは何だと思いますか。
（○は３つまで）
【一般調査】
問．福祉のしごとに就く人を増やすために必要なことは何だと思いますか。
（○は３つまで）

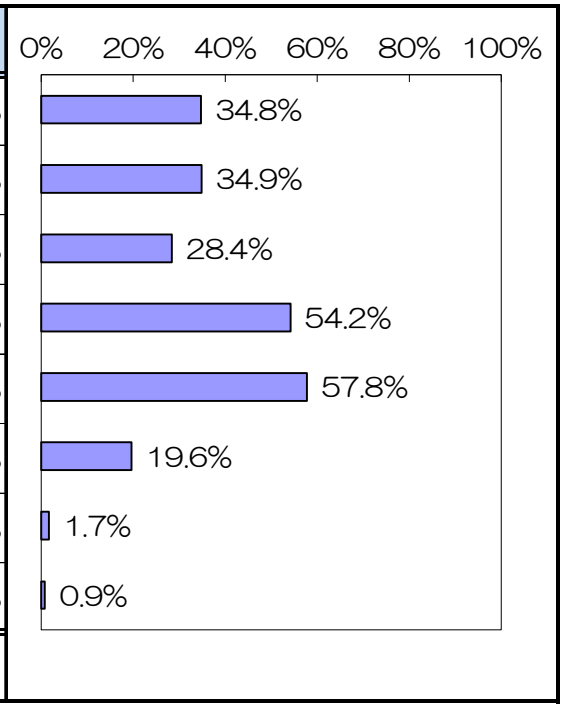
小中学生調査では、「はたらきやすい仕事場をつくる」が 57.8%と最も高く、次いで、「休みがしっかりとれる」の 54.2%、「ちょうど良い仕事の量であること」の 34.9%の順となっている。

一般調査では、、「高い給料・賃金」が 69.7%と最も高く、次いで、「快適な職場環境（福祉厚生を含む。)」の 52.7%、「休みがしっかりとれる」の 52.5%の順となっている。

学校別でみると、中学生の「高い給料・賃金」の割合が小学生と比べて高くなっている。

※小中学生調査

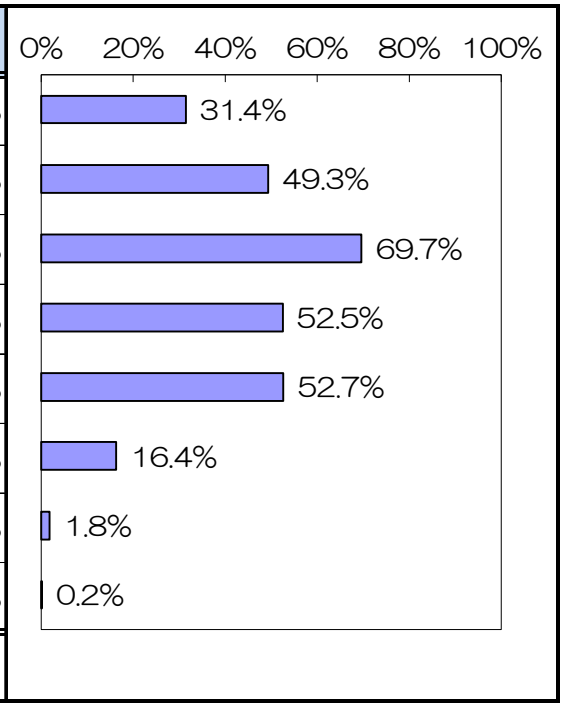
選択肢	回答数	割合
ちょうど良い仕事の内容であること	2,041	34.8%
ちょうど良い仕事の量であること	2,045	34.9%
高い給料・賃金	1,667	28.4%
休みがしっかりとれる	3,181	54.2%
はたらきやすい仕事場をつくる	3,392	57.8%
介護ロボットなどをつかう	1,151	19.6%
その他	99	1.7%
無回答	51	0.9%
サンプル数	5,868	－



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
ちょうど良い仕事の内容であること	2,041	1,341	700
	34.8%	39.6%	28.2%
ちょうど良い仕事の量であること	2,045	1,223	822
	34.9%	36.1%	33.1%
高い給料・賃金	1,667	685	982
	28.4%	20.2%	39.6%
休みがしっかりとれる	3,181	1,683	1,498
	54.2%	49.7%	60.4%
はたらきやすい仕事場をつくる	3,392	1,864	1,528
	57.8%	55.0%	61.6%
介護ロボットなどをつかう	1,151	709	442
	19.6%	20.9%	17.8%
その他	99	68	31
	1.7%	2.0%	1.2%
無回答	51	42	9
	0.9%	1.2%	0.4%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
適切な仕事内容	207	31.4%
適切な業務量	325	49.3%
高い給料・賃金	459	69.7%
休みがしっかりとれる	346	52.5%
快適な職場環境（福利厚生を含む。）	347	52.7%
介護ロボット等の活用	108	16.4%
その他	12	1.8%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	－



６．宮崎市の障がい者福祉について

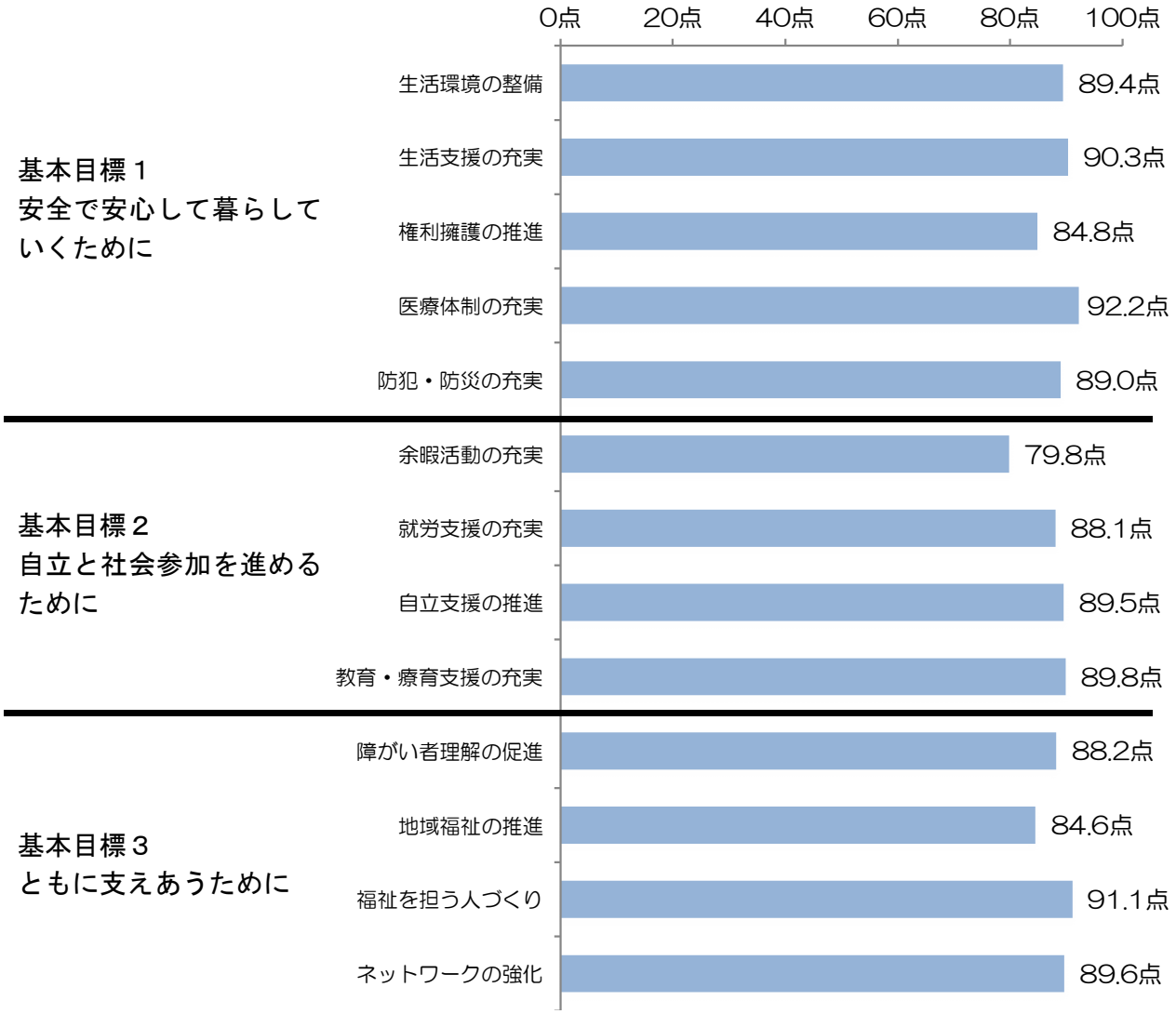
（１）宮崎市の障がい者福祉施策の必要度

【一般調査】
問．現在、宮崎市が取り組んでいる障がい者福祉施策（宮崎市障がい者計画（第３期））について、必要度を教えてください。（○はそれぞれひとつだけ）

下表の基準により、必要度（100 点満点）に換算した結果、「医療体制の充実」が 92.2 点と最も高く、次いで、「福祉を担う人づくり」の 91.1 点、「生活支援の充実」の 90.3 点の順となっている。

一方、必要度が低い順にみると、「余暇活動の充実」が 79.8 点と最も低く、次いで、「地域福祉の推進」の 84.6 点、「権利擁護の推進」の 84.8 点の順となっている。

とても必要：100 点　　やや必要：75 点　　どちらともいえない：50 点
あまり必要ではない：25 点　　全く必要ではない：0 点



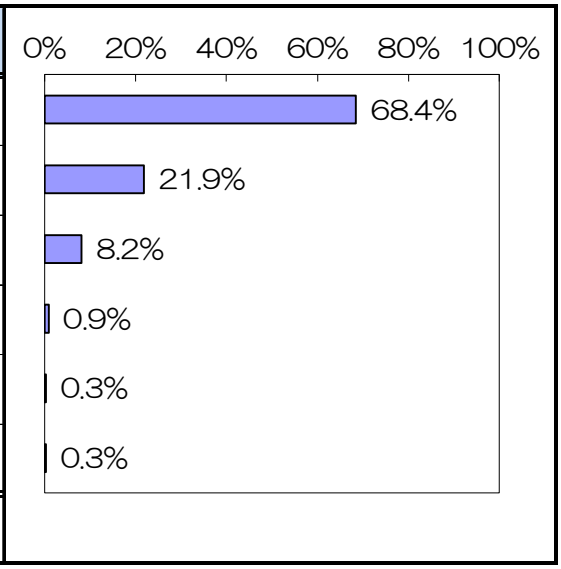
基本目標１　安全で安心して暮らしていくために

① 生活環境の整備（バリアフリー化の推進、住環境の整備推進）

一般調査では、「とても必要」が 68.4%と最も高く、次いで、「やや必要」の 21.9%、「どちらともいえない」の 8.2%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	451	68.4%
やや必要	144	21.9%
どちらともいえない	54	8.2%
あまり必要ではない	6	0.9%
全く必要ではない	2	0.3%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%

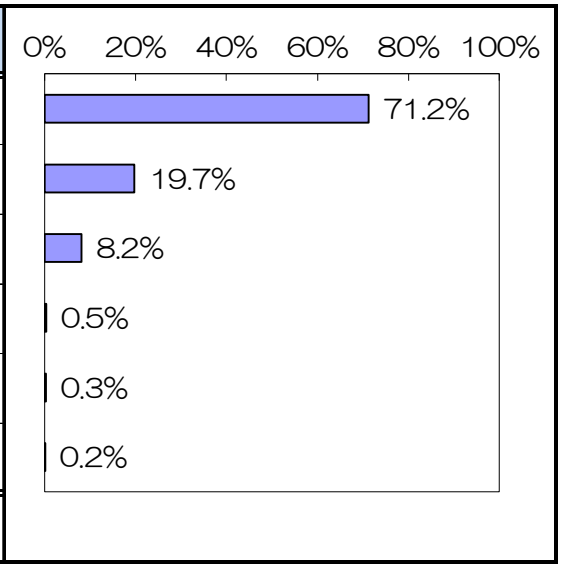


② 生活支援の充実（相談支援体制の充実、福祉サービスの充実、地域移行支援、分かりやすい情報の提供）

一般調査では、「とても必要」が 71.2%と最も高く、次いで、「やや必要」の 19.7%、「どちらともいえない」の 8.2%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	469	71.2%
やや必要	130	19.7%
どちらともいえない	54	8.2%
あまり必要ではない	3	0.5%
全く必要ではない	2	0.3%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%

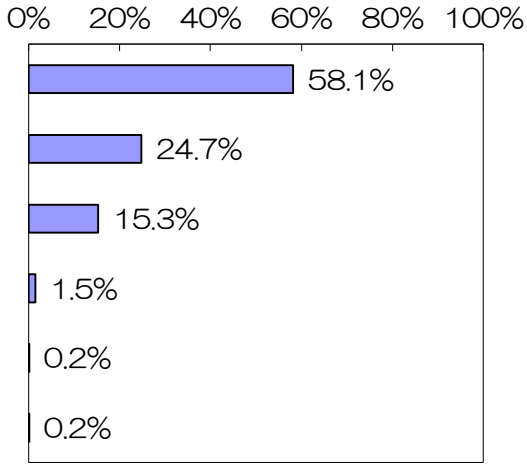


③ 権利擁護の推進（人権擁護の推進、成年後見制度の活用）

一般調査では、「とても必要」が 58.1%と最も高く、次いで、「やや必要」の 24.7%、「どちらともいえない」の 15.3%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	383	58.1%
やや必要	163	24.7%
どちらともいえない	101	15.3%
あまり必要ではない	10	1.5%
全く必要ではない	1	0.2%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	100.0%

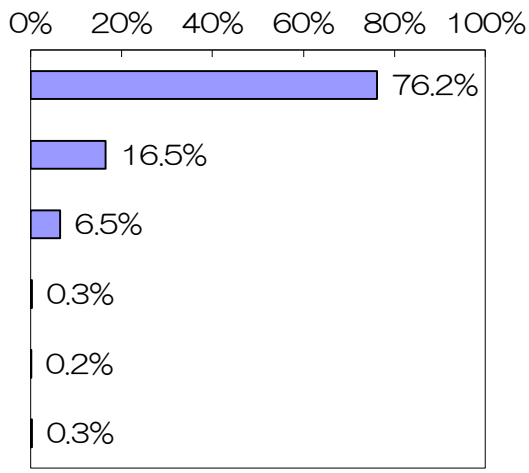


④ 医療体制の充実（早期相談・早期支援体制の整備、医療・リハビリテーション体制の充実）

一般調査では、「とても必要」が 76.2%と最も高く、次いで、「やや必要」の 16.5%、「どちらともいえない」の 6.5%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	502	76.2%
やや必要	109	16.5%
どちらともいえない	43	6.5%
あまり必要ではない	2	0.3%
全く必要ではない	1	0.2%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%

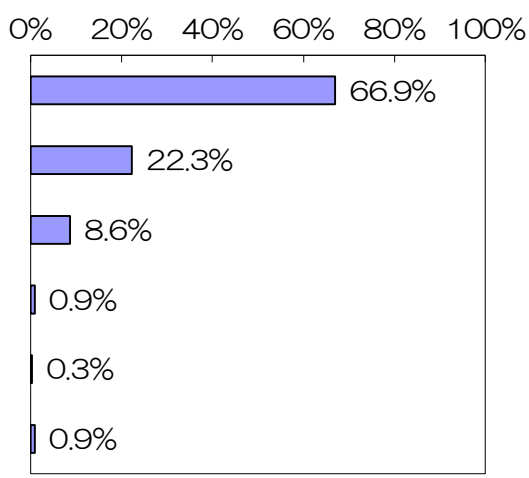


⑤ 防犯・防災の充実（防犯・交通安全対策の整備、防災対策の整備）

一般調査では、「とても必要」が 66.9%と最も高く、次いで、「やや必要」の 22.3%、「どちらともいえない」の 8.6%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	441	66.9%
やや必要	147	22.3%
どちらともいえない	57	8.6%
あまり必要ではない	6	0.9%
全く必要ではない	2	0.3%
無回答	6	0.9%
サンプル数	659	100.0%



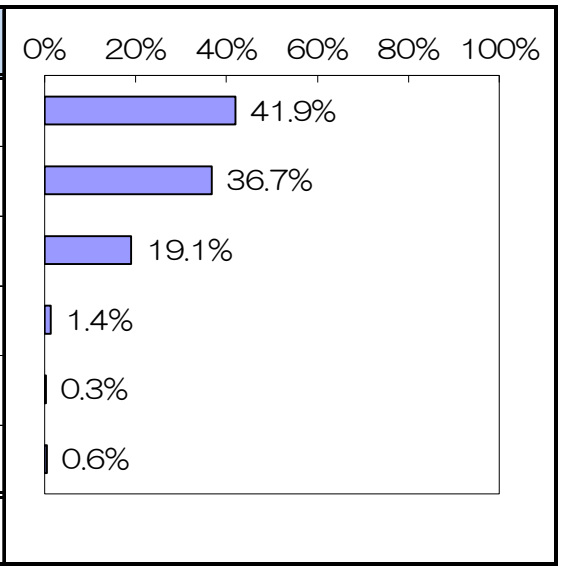
基本目標２　自立と社会参加を進めるために

⑥ 余暇活動の充実（レクリエーション・文化活動等の振興）

一般調査では、「とても必要」が 41.9%と最も高く、次いで、「やや必要」の 36.7%、「どちらともいえない」の 19.1%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	276	41.9%
やや必要	242	36.7%
どちらともいえない	126	19.1%
あまり必要ではない	9	1.4%
全く必要ではない	2	0.3%
無回答	4	0.6%
サンプル数	659	100.0%

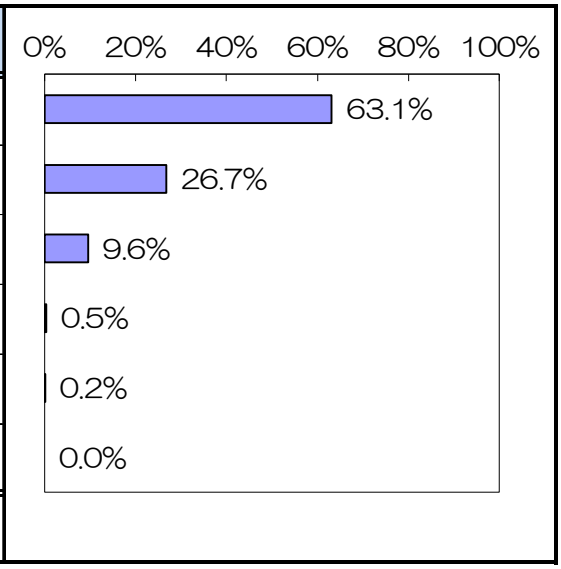


⑦ 就労支援の充実（一般就労の充実・促進、福祉的就労の充実）

一般調査では、「とても必要」が 63.1%と最も高く、次いで、「やや必要」の 26.7%、「どちらともいえない」の 9.6%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	416	63.1%
やや必要	176	26.7%
どちらともいえない	63	9.6%
あまり必要ではない	3	0.5%
全く必要ではない	1	0.2%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	100.0%

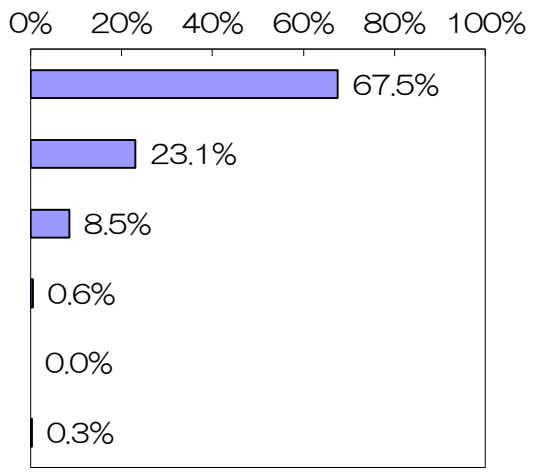


⑧ 自立支援の推進（社会的自立の推進）

一般調査では、「とても必要」が 67.5%と最も高く、次いで、「やや必要」の 23.1%、「どちらともいえない」の 8.5%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	445	67.5%
やや必要	152	23.1%
どちらともいえない	56	8.5%
あまり必要ではない	4	0.6%
全く必要ではない	0	0.0%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%

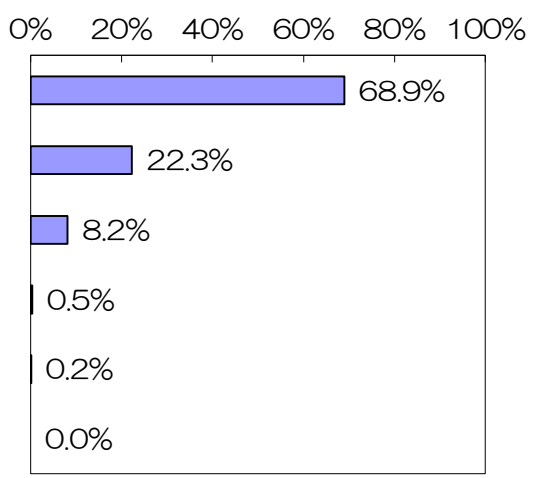


⑨ 教育・療育支援の充実（家庭・地域における早期支援体制の充実、療育支援体制の充実、教育体制の充実）

一般調査では、「とても必要」が 68.9%と最も高く、次いで、「やや必要」の 22.3%、「どちらともいえない」の 8.2%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	454	68.9%
やや必要	147	22.3%
どちらともいえない	54	8.2%
あまり必要ではない	3	0.5%
全く必要ではない	1	0.2%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	100.0%



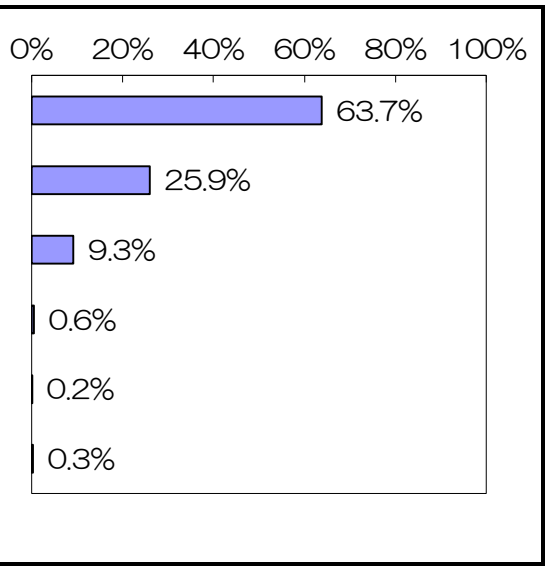
基本目標３　ともに支えあうために

⑩ 障がい者理解の促進（福祉に関する教育の推進、啓発活動の充実、相互理解・相互交流の推進）

一般調査では、「とても必要」が 63.7%と最も高く、次いで、「やや必要」の 25.9%、「どちらともいえない」の 9.3%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	420	63.7%
やや必要	171	25.9%
どちらともいえない	61	9.3%
あまり必要ではない	4	0.6%
全く必要ではない	1	0.2%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%

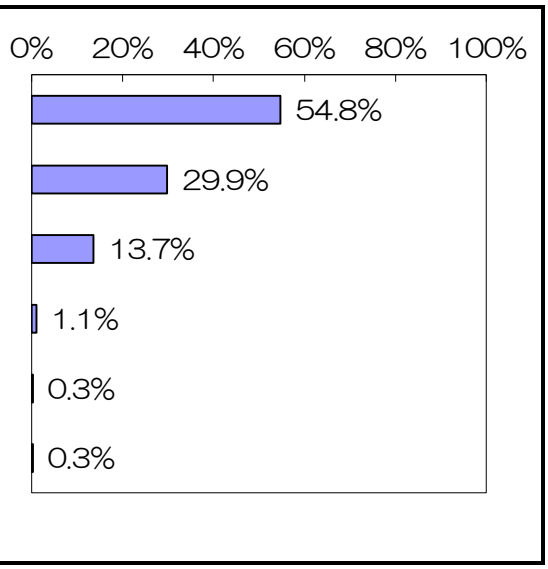


⑪ 地域福祉の推進（地域での交流の促進、地域での支えあいの促進）

一般調査では、「とても必要」が 54.8%と最も高く、次いで、「やや必要」の 29.9%、「どちらともいえない」の 13.7%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	361	54.8%
やや必要	197	29.9%
どちらともいえない	90	13.7%
あまり必要ではない	7	1.1%
全く必要ではない	2	0.3%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	100.0%

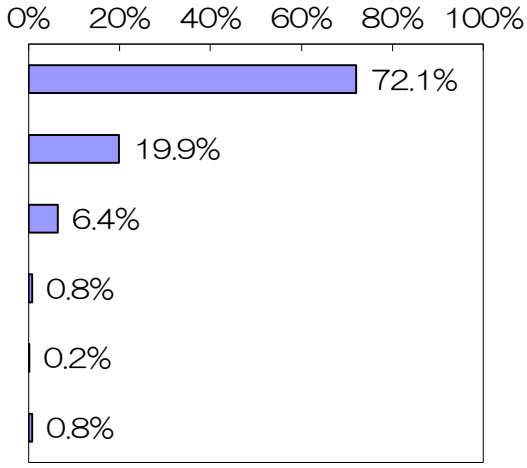


⑫ 福祉を担う人づくり（人材の育成と確保）

一般調査では、「とても必要」が 72.1%と最も高く、次いで、「やや必要」の 19.9%、「どちらともいえない」の 6.4%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	475	72.1%
やや必要	131	19.9%
どちらともいえない	42	6.4%
あまり必要ではない	5	0.8%
全く必要ではない	1	0.2%
無回答	5	0.8%
サンプル数	659	100.0%

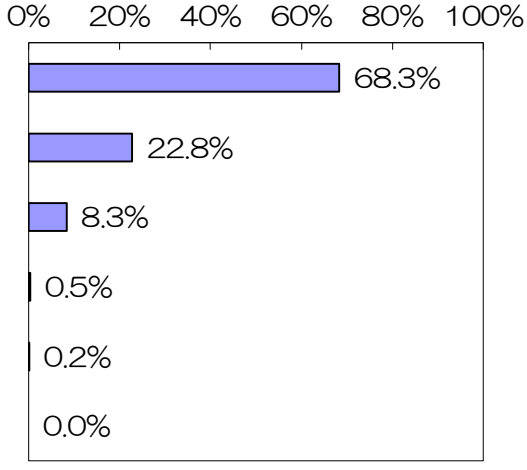


⑬ ネットワークの強化（関係機関の連携強化）

一般調査では、「とても必要」が 68.3%と最も高く、次いで、「やや必要」の 22.8%、「どちらともいえない」の 8.3%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	450	68.3%
やや必要	150	22.8%
どちらともいえない	55	8.3%
あまり必要ではない	3	0.5%
全く必要ではない	1	0.2%
無回答	0	0.0%
サンプル数	659	100.0%



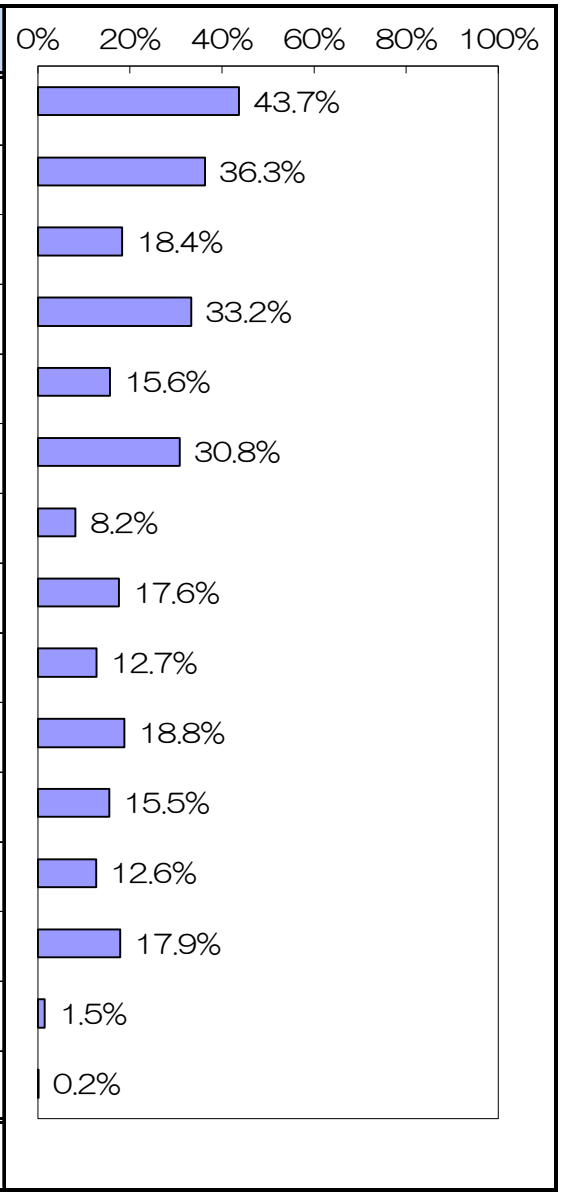
（２）取り組む必要がある障がい者施策

【一般調査】
問．今後、宮崎市はどのような障がい者施策に取り組む必要があると思いますか。
（○は３つまで）

一般調査では、「在宅における福祉の充実」が 43.7%と最も高く、次いで、「施設における福祉の充実」の 36.3%、「医療体制の充実」の 33.2%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
在宅における福祉の充実	288	43.7%
施設における福祉の充実	239	36.3%
保健サービスの充実	121	18.4%
医療体制の充実	219	33.2%
住環境の整備	103	15.6%
移動の手段の確保	203	30.8%
防犯・防災体制の充実	54	8.2%
情報提供、相談窓口の充実	116	17.6%
地域での助け合い	84	12.7%
就労機会の充実	124	18.8%
教育の充実	102	15.5%
生きがい支援	83	12.6%
障がい者への理解啓発	118	17.9%
その他	10	1.5%
無回答	1	0.2%
サンプル数	659	－



（３）障がいのある人とともに暮らす地域社会となるために必要なこと

【小学生調査】
問．障がいのある方とともに暮らす地域社会に向けて、宮崎市が以下のことがらをすすめることについてどう思いますか。（それぞれ○はひとつだけ）

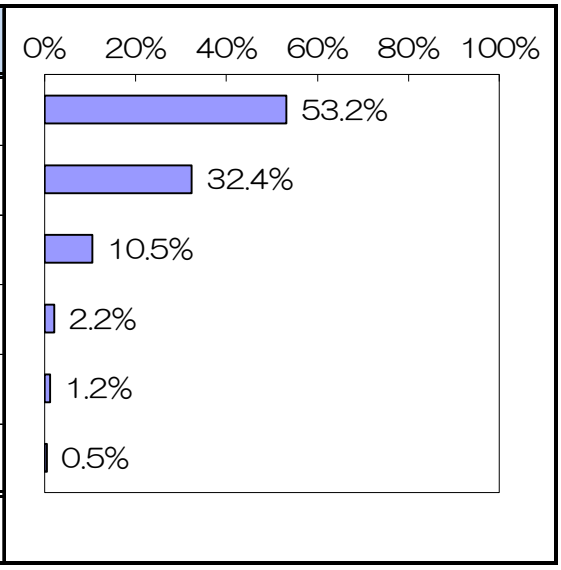
【中学生調査】
問．障がいのある方とともに暮らす地域社会に向けて、宮崎市が以下のことがらを進めることについてどう思いますか。（○はひとつだけ）

小中学生調査では、「とても必要」が 53.2%と最も高く、次いで、「まあまあ必要」の 32.4%、「どちらともいえない」の 10.5%の順となっている。

① ともに学べる学校の整備

※小中学生調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	3,121	53.2%
まあまあ必要	1,902	32.4%
どちらともいえない	615	10.5%
あまり必要ではない	127	2.2%
まったく必要ではない	71	1.2%
無回答	32	0.5%
サンプル数	5,868	100.0%



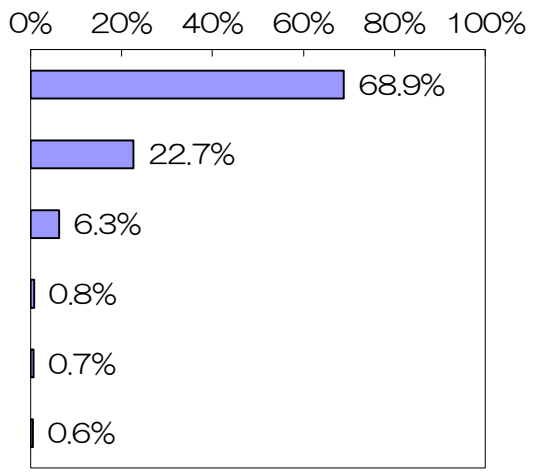
	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
とても必要	3,121	1,834	1,287
	53.2%	54.1%	51.9%
まあまあ必要	1,902	1,114	788
	32.4%	32.9%	31.8%
どちらともいえない	615	319	296
	10.5%	9.4%	11.9%
あまり必要ではない	127	56	71
	2.2%	1.7%	2.9%
まったく必要ではない	71	39	32
	1.2%	1.2%	1.3%
無回答	32	25	7
	0.5%	0.7%	0.3%

② ともに暮らせるまちの整備

小中学生調査では、「とても必要」が 68.9%と最も高く、次いで、「まあまあ必要」の 22.7%、「どちらともいえない」の 6.3%の順となっている。

※小中学生調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	4,042	68.9%
まあまあ必要	1,331	22.7%
どちらともいえない	370	6.3%
あまり必要ではない	49	0.8%
まったく必要ではない	42	0.7%
無回答	34	0.6%
サンプル数	5,868	100.0%



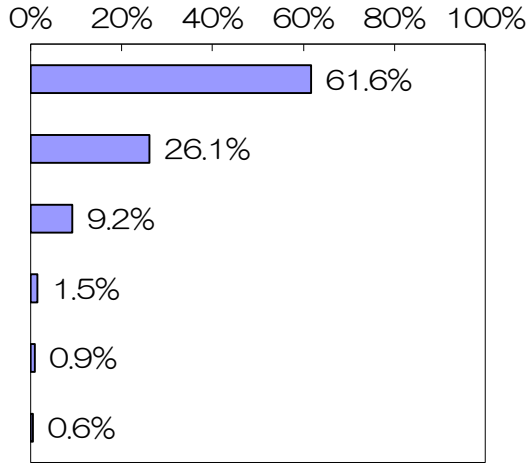
	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
とても必要	4,042	2,263	1,779
	68.9%	66.8%	71.7%
まあまあ必要	1,331	835	496
	22.7%	24.7%	20.0%
どちらともいえない	370	211	159
	6.3%	6.2%	6.4%
あまり必要ではない	49	32	17
	0.8%	0.9%	0.7%
まったく必要ではない	42	24	18
	0.7%	0.7%	0.7%
無回答	34	22	12
	0.6%	0.6%	0.5%

③ ともに働ける場所の整備

小中学生調査では、「とても必要」が 61.6%と最も高く、次いで、「まあまあ必要」の 26.1%、「どちらともいえない」の 9.2%の順となっている。

※小中学生調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	3,616	61.6%
まあまあ必要	1,531	26.1%
どちらともいえない	542	9.2%
あまり必要ではない	89	1.5%
まったく必要ではない	55	0.9%
無回答	35	0.6%
サンプル数	5,868	100.0%



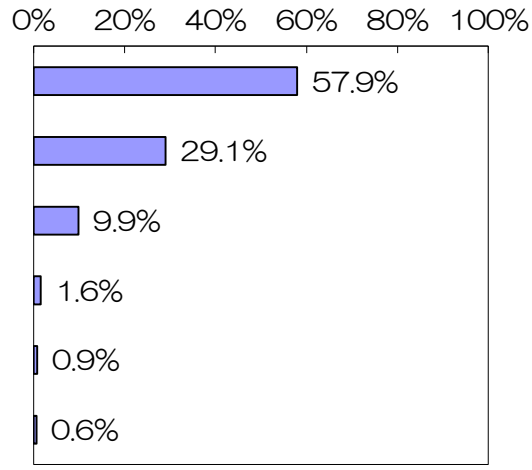
	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
とても必要	3,616	2,052	1,564
	61.6%	60.6%	63.0%
まあまあ必要	1,531	934	597
	26.1%	27.6%	24.1%
どちらともいえない	542	297	245
	9.2%	8.8%	9.9%
あまり必要ではない	89	48	41
	1.5%	1.4%	1.7%
まったく必要ではない	55	33	22
	0.9%	1.0%	0.9%
無回答	35	23	12
	0.6%	0.7%	0.5%

④ ともに遊んだりできる場所の整備

小中学生調査では、「とても必要」が 57.9%と最も高く、次いで、「まあまあ必要」の 29.1%、「どちらともいえない」の 9.9%の順となっている。

※小中学生調査

選択肢	回答数	割合
とても必要	3,400	57.9%
まあまあ必要	1,705	29.1%
どちらともいえない	578	9.9%
あまり必要ではない	96	1.6%
まったく必要ではない	51	0.9%
無回答	38	0.6%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
とても必要	3,400	2,027	1,373
	57.9%	59.8%	55.3%
まあまあ必要	1,705	972	733
	29.1%	28.7%	29.5%
どちらともいえない	578	278	300
	9.9%	8.2%	12.1%
あまり必要ではない	96	56	40
	1.6%	1.7%	1.6%
まったく必要ではない	51	26	25
	0.9%	0.8%	1.0%
無回答	38	28	10
	0.6%	0.8%	0.4%

（４）障がいのある方とともに暮らすための整備が必要でない理由（自由記述）

【小学生調査】
問.（障がいのある人とともに暮らす地域社会となるために必要なことについて、どれかひとつでも「あまり必要ではない」又は「まったく必要ではない」と答えた人のみ回答）その具体的な理由は何ですか。

【中学生調査】
問.（障がいのある人とともに暮らす地域社会となるために必要なことについて、どれかひとつでも「あまり必要ではない」又は「まったく必要ではない」と答えた人のみ回答）その具体的な理由は何ですか。

自由記述を内容で分類すると、小中学生調査・一般調査ともに、何をすればよいか分からず困ったとする回答が最も多かった。小中学生調査では 374 件、一般調査では 54 件となっている。

※内容別の件数【小中学生調査】

内　　容	件数（件）
①　障がいのある人の人権が侵害されるため	24
②　自分や周りの人が不利益を被るため	17
③　障がいによる特性により一緒にできないことがあるため	13
④　障がい者に適した環境の方が障がいのある人にとって良いと思うため	11
⑤　共生により障がいのある人が危険にさらされるため	11
⑥　その他	57

注 「理由はない」等とする回答は除外している

※各回答内容【小中学生調査】

①　障がいのある人の人権が侵害されるため（24 件）	
学校	内　　容
小学生	それでもやっぱり差別は無くならないから。その場所でもいじめられるから
小学生	共に学べたとしても、その障害者をいじめる人もいるかもしれないから。
小学生	障害者を差別したりしないでみんなが平等に遊べるように
小学生	障害の理解が広まってないため、いじめや差別で障害の進行スピードが早まる可能性もあると思います。
小学生	学校とかは、差別がはげしそうだからやめてほしい。
小学生	障害者がいると差別が増える
小学生	障がい者の人が、普通の人にいじめられる可能性があるから
小学生	差別をしないため
小学生	差別のない国にしたいから
小学生	障害のある人が邪魔と言われたりしてストレスが溜まると思うから
小学生	障害者を差別する人はいるだろうから、差別されると可哀想だから。
小学生	障害者がいじめられてしまうかもしれないから。
小学生	学校だといじめにあうから
中学生	いじめられるかもしれない。
中学生	やはり、小さい頃は言葉を弁える事ができないので、障害者と小さい頃に遊ぶと幼い障害者の子が心を痛めるかもしれないので、中学生・高校生ぐらいから本人同士の触れ合いをし、小学校では知識・接し方を学ばせた方が良いと思う。

中学生	ともに学べる学校では、いじめが起こる可能性がかなり高いと思うため。遊んだりできる場所は、他の世界について実際に学ぶため必要。が、いじめの可能性がある。
中学生	共に学校で学ぶといっても、学校なのでいじめられるリスクがあると思うですが、その人たちには生きる環境が必要である
中学生	障害者と健康な体を持っている子供とを一緒にいれると、障害者が浮いているように見えていじめの対象になる事は必然的である。
中学生	小学校や中学校の時にまだ障がいの事をわかっていなくて、傷つけてしまったりいじめになったり勉強の進みが違ったりするので、学びの場は別々がいいと思う。
中学生	健常者にいじめられたりすると思うから
中学生	一緒にいたら、いじめる人がいると思うから。
中学生	以前見かけた 24 時間番組の裏番組にて、見せ物や感動ポルノ、憐れみの目や過剰な配慮は、逆に障害者の方々への攻撃になってしまうのではないかと考えたからです。しかし、捉え方は人それぞれなので、その人に合った生活スタイルを共に発見していき、それを維持できるように見守ることが大事だと思います
中学生	脳に障害がある場合、私たちと同じスピードでは追いつけない場合があるから障害者でも私たちと同じ権利がある。差別してはいけない。
中学生	障害者に優しい人がほとんどだけど、一部の人は障害者に聞こえる声で皮肉を言ったり嫌がらせをして障害者を傷つけるから、楽しい時間がたくさんあっても意味がない

②　自分や周りの人が不利益を被るため（17 件）

学校	内　　容
小学生	もしともに学べる学校・ともに暮らせるまち・ともに働ける場所が整備された街になったら障害者や、その家族からしたら住みやすいと思うけれど、本などで読んだ自分の感想からすると、職場や学校、住む場所、遊び場などで癇癪を起こしたり、暴れてから会社に損害を出したりしたら、そこで働いている人や会社に迷惑がかかるから色々な理由でやめた方がいいと思う
小学生	障害のある方が僕に怪我を負わせてくるのではないかと考えているから。
小学生	わざわざ障害者と一緒に遊ばなくていいから。障害者と接するのが大変だからあまり楽しく遊んだり、仕事をしたり、できなさそう。
小学生	なにかしら障がいのある人と活動するのは大変そうだから
小学生	いらいらする
小学生	ともに働くとあるが、障害のある方と一緒に働くとなると、大変だと思うからだ。
中学生	職場は、障害者に色々な事を教えるのに時間がかり健康な人は後回しになってしまいそうだから。もう少しロボットが発達するまでは、反対である
中学生	バリアフリーとして設備を整えることは必要だと思うけど、共に生活をすると自分たちの行動が制限されるから
中学生	その場で共にいる人の負担が増えるから
中学生	障がい者に気をつかうから
中学生	そもそも障害者と暮らしたくない
中学生	人によってできることの違いがあったり、障害の持っている人と生活すると、その人のペースに合わせないといけないので大変だから
中学生	好んでは遊ばないから
中学生	正直に言うと接したくない
中学生	障がい者の方と触れ合うのはとても良い経験になると思うけど、障がい者の人に気を使いすぎてしまう人もいるので、密接になりすぎると心が疲れる人も出てくると思うから。
中学生	障がい者と触れ合うことは大事だが、仕事とかになると話が変わってくる私生活にも影響されると思う
中学生	対応に困るから

③　障がいによる特性により一緒にできないことがあるため（13 件）

学校	内　　容
小学生	一緒に遊んだりすることが難しいから。
小学生	学習はみんなと差がでてくるから難しいけど、遊びだったら大丈夫だとおもったから
小学生	障害の人は遊べないと思うから

小学生	障害がある方の中にも、遊ぶ事をできない障害の方もいると思うから。
小学生	障害がある人は、普通の人に、勉強や、スポーツなどが、ついていけないから。
小学生	言葉が通じないので遊んでも意味無いと思う
中学生	健常者と障害者の遊び方や物も違うし、学習スピードも違うから
中学生	一緒の学校となると、その人に合った授業ペースで受けれない。
中学生	同じ公立中学校で勉強するのは難しいと思うから
中学生	一緒に学ぶのは健常者と学ぶ速度が違うため無理。働くのも同じ。
中学生	学習や仕事を一緒にすることはあまり良くないと思った。遊んだり触れ合える場は必要だと思う。
中学生	心が病んでる人もいて、一緒に遊べない人がいると思うから
中学生	障害者とそうではない人では、学ぶはやさが違うから。

④　障がい者に適した環境の方が障がいのある人にとって良いと思うため（11 件）

学校	内　　容
小学生	ともに学べる学校については、それぞれの障害者のペースに合わせ、学習できた方がいいと思います。
小学生	障がいを持っているひとは家などで仕事したほうがいい
小学生	障害のある人に合った環境や安全が必要だと思うから。
中学生	支援学校の先生の方が障害者との接し方を熟知しているから。
中学生	障碍者の学校があるから
中学生	障害のある人は同じような人との方がすごしやすそうだから
中学生	自分の合う場所で過ごすのが一番ストレスなどが溜まらないと思うから。
中学生	障害のある人が抱えている負担が少しでも減ると思ったから
中学生	共に学ぶことも大事であるが、知的障がいを持っている障害者に適している環境づくりを進めていくべき。その上で、障がい者のための教育を進めていくべきであると思う。
中学生	学校などはその子たちにあった環境が 1 番いいと思う。でも僕に兄弟がいるように、その子たちと触れ合う機会はお互いを知るために必要だとおもう。
中学生	学校に関しては、わざわざ金をかけて作る必要はないと思う。体が不自由な人たちはその人たち専用のしせつで勉強したほうが効率が良いと思う。町や遊べる場所に関しては普通の人たちと普通に関われるくらいに整備すれば良いと思う。働ける環境は、足が不自由な人たちは座ってできる仕事をするなど障害が関係なくなるような仕事をさせれば良いので、いまさら金を使って作る必要は無いと思う。

⑤　共生により障がいのある人が危険にさらされるため（11 件）

学校	内　　容
小学生	障がい者の人に何かあってからじゃおそいから
小学生	遊べる場所の整備がないと怪我をする
小学生	危ないから。
小学生	障害の人と関わることも大事だけど、その関わりで怪我などがおきる可能性があるからだし、障害の人は障害がいのある人たちで遊べるから
小学生	障害者と遊ぶのはいいけど勉強を一緒にすれば障害者にとって問題が起こるかも知れないから
小学生	一緒に遊んでも、障害者に出来ないことがあるから。あと、怪我したりしたら、普通の人より大変かも知れないから。
小学生	無理して遊ぶと怪我しそうだから。
小学生	障害者が安全に、暮らすため。
中学生	手足が不自由な人、目が見えない人などの人が共生すると事故が発生すると思うから。
中学生	遊んでいる時けがしたらこわいから。
中学生	難病の人と普通の人が同じレベルで遊んだりすることは危ないから

⑥　その他（57 件）	
学校	内　　容
	◆わからない・知らない
小学生	知らん
小学生	分からない知らない
小学生	わからない
小学生	わからないからです
小学生	わからない
中学生	良いも悪いもどちらも言えない
中学生	わかりません
中学生	分からない
	◆障がいのある人の意向を尊重した方が良いと思うため
小学生	障害者がしたいようにしたらいいと思うから。
小学生	障がい者も自分のペースで暮らしたいと思うから。
小学生	遊ばない障害者も居るから
小学生	障がいを持っている人も普通に暮らしたいと思っていると思うから。
小学生	友達に障害者がいて、いままで相談に乗っていたので、今の現状が理解できるから
中学生	障害者は障害者であまり触れてほしくないこともあるだろうから
	◆共生することによりお互いに不利益を被ると思うため
小学生	障害が無い人とある人が一緒に生活すると、少し不便なところがあるのではないかと思います。
小学生	一般の人と障がい者の共同は難しいと思うから、扱いが難しいから
小学生	一緒に遊んだら喧嘩になったり話が合わなかったりするから
中学生	自分の意見が障がい者の方にとって、ひどい意見だということは理解できている。しかし、共に学校に通ったり、遊んでいく中で、必ず障がいのない子との差は出てくる。また、無理して障がいのない子と合わせる必要はないし、孤独を味合わせる必要もないと思う。仕事場でも一緒のように働きたいのは理解できるが、周りも気を遣わないといけないし周りの人達が疲れると思う。受け止める側の方にもちゃんと気を回して欲しい。何か起こった時、迷惑を被るのは当人だけではないと思うから。
中学生	共に生活することは、いいことだと思うけど、仕事などに、影響が出ると思うから。仕事があまり進まなくなるかも、しれないから。
中学生	お互いが不利益を被ってしまう場合も少なくないため
	◆他の整備を優先してほしいため
小学生	別に場所がなくても遊んだりできるし、遊ばなくてもちゃんと食べていければ死ぬことはないから
小学生	税金の無駄
中学生	介護士・障害者施設で働いている方の給料をあげるべきです。
中学生	そんなのを作るくらいならもっと遊べるところを作って欲しいから
中学生	介護の仕事をする人の質をあげる
中学生	もっとべつなことに使って欲しい。
	◆現状で十分と思うため
小学生	すでに整備がされていると思うからです。
小学生	ともに働けるための整備は、今コロナだから家などでできると思う。
小学生	あんまりそんなこと気にしてなくて、遊びは普段からしていることなので嬉しいからです。
小学生	たくさん遊ぶのはこどものうちだけだから大人になったら必要ない
	◆平等であってほしいため
小学生	障害者も平等がいいから
小学生	障害者も同じ
小学生	みんな平等
中学生	みんな平等だから
	◆共生により障がいのある人がつらい気持ちになると思うため
中学生	学校では障害について理解できていない人もいて、障害を持っている子が悲しい気持ちになる場面が出てくると思うから。
中学生	嫌な思いをすることが絶対あるから。
中学生	学校だと周りができているのについていけないとなると、その人自身が 1 番辛いと思うから、暮らしやすい街をつくるのがいちばん助かると思う

	◆障がいの知識不足のため
小学生	どんな障がいがあるのかあるのかわからない
中学生	関わり方がわかんなーい
中学生	接し方が分からないから。
	◆難しいと思うため
小学生	無理
中学生	難しいと思う。
中学生	障害者とともに暮らすことは不可能だと思うから
	◆なんとなく
小学生	なんとなく
小学生	何となく
中学生	なんとなく
	◆少数意見
小学生	仕事によると思う。
中学生	障害者一人一人によって、関わり方が変わるから。
小学生	学校にいまさらそんな整備しても間に合わない。
小学生	共にというのは理想論な気がする
小学生	そんなに興味がないから
小学生	必要ないと思ったから。
中学生	たいへんだから
中学生	会社などは従業員よりも利益のことを見る方が大切なので、共に働く職場は難しいとおもう
中学生	みんなが慎ましく暮らせばいいと思うから
中学生	どうせしないから
中学生	たいへんだから

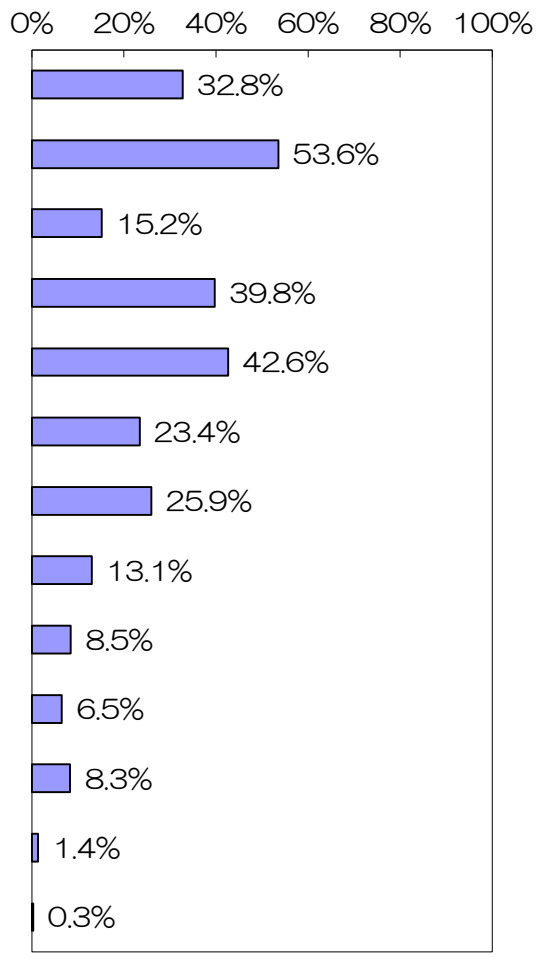
（５）宮崎市にあれば良い施設

【一般調査】
問．障がい者のために、どのような施設が宮崎市にあれば良いと思いますか。
（○は３つまで）

一般調査では、「長期的に安心して生活できる入所施設」が 53.6%と最も高く、次いで、「仕事をする施設」の 42.6%、「自立生活のための訓練が受けられる施設」の 39.8%の順となっている。

※一般調査

選択肢	回答数	割合
共同で生活ができる、家庭的な施設	216	32.8%
長期的に安心して生活できる入所施設	353	53.6%
短期的に入所できる施設	100	15.2%
自立生活のための訓練が受けられる施設	262	39.8%
仕事をする施設	281	42.6%
リハビリ・医療施設	154	23.4%
困りごとの相談や支援をするセンター	171	25.9%
憩いの家などの集う場	86	13.1%
サークル活動や文化活動のできる施設	56	8.5%
スポーツ施設	43	6.5%
ボランティアのための活動拠点	55	8.3%
その他	9	1.4%
無回答	2	0.3%
サンプル数	659	－



（６）障がいのある人たちを支えること

【小学生調査】
問．障がいのある人たちの抱える問題についてどのように考えますか。
（○はひとつだけ）
【中学生調査】
問．障がいのある人たちの抱える問題についてどのように考えますか。
（○はひとつだけ）
【一般調査】
問．障がいのある人達の抱える問題についてどのように考えますか。
（○は３つまで）

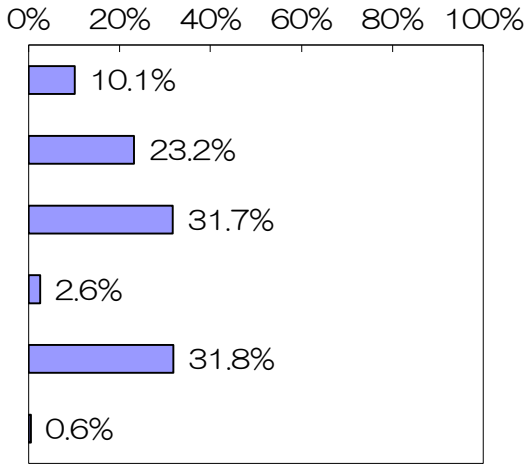
小中学生調査では、「わからない」が 31.8%を占めている。

具体的に障がいのある人たちを支えることについては、「地域みんなの問題」が 31.7%と最も高く、次いで、「本人とその家族の問題」の 23.2%、「本人の問題」の 10.1%の順となっている。

一般調査では、「家族の問題」が 62.1%と最も高く、次いで、「行政の問題」の 53.7%、「地域みんなの問題」の 48.1%の順となっている。

※小中学生調査

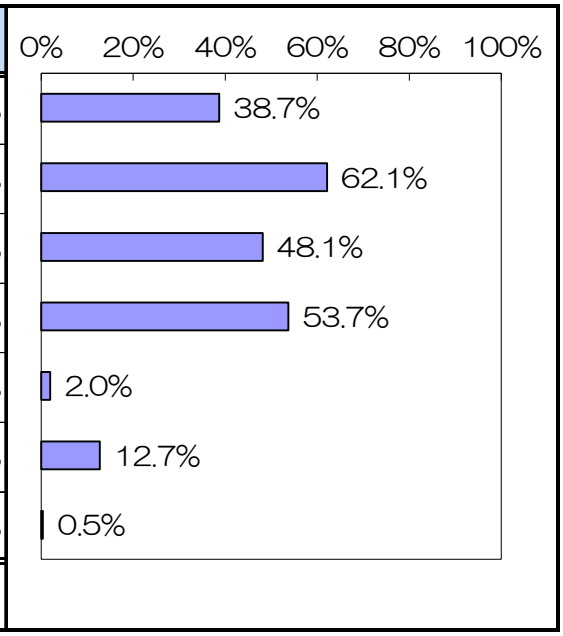
選択肢	回答数	割合
本人の問題	592	10.1%
本人とその家族の問題	1,364	23.2%
地域みんなの問題	1,861	31.7%
その他	150	2.6%
わからない	1,868	31.8%
無回答	33	0.6%
サンプル数	5,868	100.0%



	単純集計	学校	
	全体	小学生	中学生
サンプル数	5,868	3,387	2,481
	100.0%	100.0%	100.0%
本人の問題	592	403	189
	10.1%	11.9%	7.6%
本人とその家族の問題	1,364	789	575
	23.2%	23.3%	23.2%
地域みんなの問題	1,861	1,011	850
	31.7%	29.8%	34.3%
その他	150	98	52
	2.6%	2.9%	2.1%
わからない	1,868	1,061	807
	31.8%	31.3%	32.5%
無回答	33	25	8
	0.6%	0.7%	0.3%

※一般調査

選択肢	回答数	割合
本人の問題	255	38.7%
家族の問題	409	62.1%
地域みんなの問題	317	48.1%
行政の問題	354	53.7%
その他	13	2.0%
わからない	84	12.7%
無回答	3	0.5%
サンプル数	659	－



（５）障がい福祉への意見（自由記述）

【小学生調査】
問．障がい者福祉に何かご意見がありましたら、ご自由にお書きください。
【中学生調査】
問．障がい者福祉に何かご意見がありましたら、ご自由にお書きください。
【一般調査】
問．障がい者福祉に何かご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

自由記述を内容で分類すると、小中学生調査では、障がいの理解、障がいに関する教育についてが 44 件、一般調査では、障がい福祉や医療のサービスについてが 29 件と最も多かった。

※内容別の件数【小中学生調査】

内　　容	件数（件）
①　障がいの理解、障がいに関する教育について	44
②　障がいのあるなしに関わらず暮らせるまち・共生社会について	44
③　障がいのある人の支援について	35
④　虐待、差別、いじめ等権利侵害について	21
⑤　交流やふれあいについて	15
⑥　障がい福祉や医療のサービスについて	13
⑦　障がい福祉の関連領域の問題について	9
⑧　その他	48

注 「意見はない」等とする回答は除外している

※各回答内容【小中学生調査】

①　障がいの理解、障がいに関する教育について（44 件）	
学校	内　　容
小学生	どういう風に接すればいいかなどを学べる教室などを作ればいいと思います。
小学生	その人と直接的な関わりがなくても、障害者と自分は、間接的な関わりがあると思って、障害者と関わっていく
小学生	私の家族に障がい者がいて、大変なこともあるけれど、家族みんなで楽しく過ごせる場があるので、障がい者は悪いものではないということが分かります。
小学生	学校で障害者に関する特別授業などを行い、障がい者に関する興味を持ってもらい、障がい者を気に掛けてもらう取り組みを行なった方が良いと思う
小学生	障害のある人との接し方を学べる機会があるといいなと思いました。
小学生	障害のある人が何に困っていて、どんなふうに接して欲しいのかなど、話し合い活動の場を設けてほしい！みんなと意見交換しあって少しでも障害者の方々の不安を減らしたい！と、思っています。よろしくお願いします。
小学生	福祉が何か、あまりわからないので、Q21 に「福祉とは何か、どういうことをして、何が目的か、小学生のうちに一回でも授業をする」と書きました。
小学生	もっとフランクに障がい者だと言ってもらいたいです。理由は、そのひとにしつれいなことを言っていないかが心配だからです。
小学生	障がい者の利点をもっとみんなに知ってもらうのはどうでしょうか。
小学生	学校などで福祉について学んだらいいと思います。
小学生	父親が足の障がい者なので、障がい者の辛さはよくわかっている方だとは思いますが、最近は通っている小学校の図書室で性や命に関する本を沢山読んでいます。

小学生	障害者との接し方に関するパンフレットを作って、学校に配布してほしい。
小学生	最近は、少し悲しいことがあったりゲームに負けたりするだけで「病んだ」とかいう人がいるけれどあれはおかしいと思います。本当に心が病んでいる人のことを知ってほしいと思いました。
小学生	障害について改めて調べるべきだと思う
小学生	今回のアンケートをきっかけに、福祉活動や障害者への理解の推進などに努めていこうと思います。
小学生	僕は１度介護に似たようなことをした事があります。その時、介護のことについていろいろなことを知り、障害者も大変だし、逆に介護する側も大変だ。ということを学びました。なので、それを実際に感じられるように障害者を看護する体験のようなものを作るといいと思います。
中学生	健常者と障害者どれくらいの配慮が必要かまずはそこから教育
中学生	私は２年前の中学２年生からアトピーになり、指の皮が剥けたりしていて、外見に関わるのですごく悩んでいました。そんな時、YouTube で道化師様魚鱗癬という皮膚の病気で苦しんでいる人がいることを知りました。私よりも皮膚が悪化しているのをみて、私以上に人の目を気にしていて、そんな人たちが住みやすいような環境はまだまだできていないんだなと思いました。自分が同じ病気になってからじゃないと障害者の気持ちがわからない。そんなことがこれから絶対起きないように、そして病気のことで苦しんでいる人のためにもっと障害や難病への理解があって欲しいです。あと、そんな人がもっと住みやすいような環境を作って欲しいです。
中学生	障害者を見て嫌な顔している人がいるので、もう少し障害者の内容を全国に広めるべき
中学生	福祉は病院も入りますか
中学生	テレビなどで視覚障害者の方に、信号で一緒に止まっている際には、「青になりましたよ」と、声をかけましょうと言いますが、盲導犬などを連れている際にも、言った方が良いかわかりません。
中学生	障害のある人は、何かの分野で他の人よりも秀でているので、周りの人たちが、その才能に気づくことが大切.
中学生	障害にもたくさんの種類があるのがわかったので、一般常識として覚えるくらいはしたいと思った。
中学生	このアンケートを行ううえでより障がい者の現在の状況について知る事ができました。
中学生	なんで専用の学校に行く人と普通の学校に行く人が分かれているのかが知りたい。
中学生	私は少し福祉にも興味があり、今回のこの質問を受けてまた少し興味を持った
中学生	改めて考えさせて下さり有難う御座います。
中学生	早い段階で障がい者について詳しい教育を行う (保健で障がいの内容について、公民で障がい福祉やバリアフリーについて)
中学生	障がい者も幅が広いので、ひとくくりにしてはいけないと思う。
中学生	性同一性障がいが障がいなのかが知りたいです。そして、もっと人に伝えるべきだと思います。
中学生	小学生や中学生に障がい者を理解してもらう必要があると感じた
中学生	障害者について多くの人に知ってもらうことが大切だと思います。
中学生	アンケートを通して、自分は、あまり障がいのある方たちについて理解が出来ていないことがわかったので、少しでも理解できるようにしたいです。
中学生	私はこのアンケートをして、いろんな種類の障害者について知らないことがたくさんあったと思います。機会があれば障害者について知っていきたいです。
中学生	とても知識になるアンケートでした。
中学生	難病だったら障害者なの？
中学生	障害者の方って決してなりたくてなったわけでもなく、生まれつき障害を持ってる人もいます。そういう方々はその人らしく堂々と生きていてほしいです。本人からすると「障害を抱えたこともないのに、」などの感情を持ってしまうかもしれませんが、僕は堂々と生きててほしいと思っています。たしかになったこともないしその感情はわからないです。だから、自分はもっとそのことを理解していろんな人にも理解してもらいたい。
中学生	大丈夫です。もっと、障がいについて理解が広まるといいと思います。
中学生	障害者に対して無理に理解をする必要はないと思う。僕のように障害者に殴られたせいで障害者に対して苦手意識を持つようになる人もいるかもしれない。

中学生	自分も生まれつき片耳が聞こえないという障害を持っています。治すには人体を切ったりなどと大きな手術が必要です。人体を切るということがすごく怖く不安で、手術はまだしていません。ですが手術をしなくては耳は聞こえないままで、デメリットしかありません。 人と関わる時は耳が聞こえないということがバレないように気をつけています。バレてしまったら引かれるのではないかという不安があるからです。普通の人とは違うからという考えがあり、人に伝えるのがすごく怖いです。 しかし、友人に伝える機会ができてしまい、伝えることがありました。友人は耳が不自由なことを理解してくれ、今も変わらず支えてくれています。このことから私は環境や周りの人の対応で、暮らしやすいか暮らしづらいか決まるのではないかと思います。沢山の人が障害を持つ人を理解し、暮らしやすい環境を作ってあげることが大事なのではないかなと思います。
中学生	単に障害の事について僕自身が考えたことがなかったので、こういうアンケートがあると障害の事について深く考えたくなりました！
中学生	障害者の思いが分からない。
中学生	障害者について知る機会が少なすぎて、理解しようにも難しい。
中学生	私は障がいがある人とあまり接してきたことがなく、そんなに障がいの人たちがどんなことで困っているのか知らないから、そのことについて人から人を通して学びたいなぁと思いました。

②　障がいのあるなしに関わらず暮らせるまち・共生社会について（44 件）

学校	内　　容
小学生	障害がある人も、健康な人も、平等にしたい。
小学生	車椅子の人が階段を使わないためにエレベーターをつける
小学生	世界みんなの問題だと思う
小学生	隣の家の人は、発達障害がある。でも、みんな助け合ってその人も、助けている人もいつだって笑顔だから、これからそんな感じの日本??ができてほしい。そのために私は協力?しながら、助けて助けられ、支え支えられ、そんな関係にみんなとなれるように、困っている人がいたら声をかける、手助けできることはして皆で支え合って生きていき、工夫を積み重ねていきたいです！
小学生	祖母の障害（筋ジストロフィー）や、祖父、母、父の仕事柄、幼い頃から障害のある方に触れ、障害や福祉について学んできました。同じ障害でも人それぞれで、障害が見てわかる人見た目では分からない人、生まれつきの人、何かの出来事で障害を患った方、沢山の人を見てきました。その人の良い一面を沢山知る一方で、悪い一面、怖いところも沢山見てきました。こういった今までの経験から、障害がある方も私たちと変わらない、自分を受け入れて懸命に生きているということに気付きました。障害者の方に対する差別はずっと無くならないと思います。ですが障害がある人も、自分の障害と必死に戦っているということを知って欲しいです。簡単なことではないですが、障害がある人も、すんなり受け入れられる、普通の人として扱ってもらえる社会になって欲しいです。
小学生	このアンケートを通して障害者や、心に何か問題を抱えている人が、馴染めるような地域になって欲しいと改めて思えました。私にできることがあれば、これまで以上に頑張っていきたいです。
小学生	すべての人の問題
小学生	障害者と共に暮らせる環境を作ったほうが良いと思う
小学生	障がいのある人が豊かに過ごせる環境が必要だと思った
小学生	できるだけ普通の人と平等な生活ができるようにしてほしい。
小学生	障害のある人も安全に暮らせるまちを作って欲しい
小学生	多様性が必要だし「多様性」が普通になれば良いと思う。
小学生	「障害者だから」といった考えをなくす活動を進めた方が良いと思います。もっとお年寄りから小さい子供、障害者までの人たちが暮らしやすい宮崎県を作った方が良いと思います。
小学生	障害者専用のエレベーターなどが必要だと思う(病院とかで)。理由：もし混雑したら死に至るかもしれないから。
小学生	宮崎は、少子高齢化もあって、介護士が少なかったりすると聞くので、一人でもできるように、点字ブロックなどの整備をしっかりした方が良いと思う。そして安全にすべきと思う。
中学生	様々な面で様々なサポートができれば、住みやすく、人も増えると思う
中学生	私はもっと障害についての理解が全世界に広がって、健常者も障害者も共存できる社会になったらいいなと思います。また、障害を１つの個性として考えられる人が増えるといいなと思います。
中学生	全員が幸せだと感じる日本にしたい。
中学生	障がいのある方とともに暮らす地域社会にむけて整備をするのはすごくいいことではあるが、あまり一般者の不便にならないようにするとよいと思う。

中学生	双子の妹の一人が発達支援センターに通っていた時があり、大変だったことがあったが、叔母がそれを可哀想だと思い、その妹のことを決して怒らない。双子で喧嘩をしても一方だけ怒る。それが嫌だともう一人の妹が言ってくる。叔母に伝えるのも難しい
中学生	障害者でも幼稚園や保育園に行かせてあげるべきだと思う
中学生	もっと皆んなが暮らしやすい町になれば良いと思います
中学生	みんなが幸せに暮らせればそれでいいと思います。
中学生	身体的や、見た目だけではわからない障害をもっている人でも、みんなでいい宮崎市、県を築いていければいいなぁとおもう。障害について理解することってわからないこともあるかもしれないけど、少しでも普段の生活の中で障害者、そうでない人でも平等に接することができるような社会になってほしいなと思う。
中学生	福祉についてもっと大人と子供が協力すること
中学生	階段などで困っている方を時々見かけるので、見かけたら助けるようにしているが、将来的には階段を坂のようなものに変えるなどして、手助けがなくても障害のある方が暮らせる社会になるといいなと考えています。
中学生	共存するのは大変だと思う
中学生	障害者にも優しい街づくりをする。障害者にも楽しく暮らせられるような街づくり。
中学生	障害を持っている人でも安心して暮らせる世の中にしていきたいと思いました。
中学生	私も軽度の発達障害なので他の障害者の人たちがもっと暮らしやすい町になったら嬉しいです。
中学生	障がい者への特別支援をもっと充実させて、障がい者もそして私たちも互いに助け合える生きやすい世の中にしていくことが大切だと思う。
中学生	障害者は、普通の人とは少し違うところがあるけど、みんな同じ人間なので、障害者も自分達と楽しく、仲良く生活できる環境を作って欲しいと思います。
中学生	私の母はケアマネジャーとして働いているので、以前歯医者に行った時身体障害のある人の手助けをしていました。その姿を見て、私も進んで手助けが出来るようなひとになりたいと思いました。また、周りの方たちもあたたかい目で見守っていたので、助け合えるような地域づくりができていることを感じました。
中学生	自分が障がい者になったら、安心して暮らせるようにして欲しいと思いました。
中学生	全ての人が同じように幸せになれる社会にしていきたい
中学生	障害のある方でも住みやすい街づくりを作っていきたい。
中学生	障害者の方々が安心して過ごせるようになることを願っています。
中学生	バリアフリーが実現する社会が来ればいいと思う。誰もがみな幸せに暮らせる社会を目指して行きたい。
中学生	みんなが不自由なく暮らせる世の中になってほしいです
中学生	障害者を受け入れられる社会にしたいです
中学生	障がいのない人が障がいのある人に対して気を遣いすぎることは、障がいのある人の社会活動を妨げることになってしまうと思う。だから、どんな人でも、「同じように１人の人間として」働いて、暮らせる社会づくりが必要だと思う。
中学生	障害者はとても大変だからみんなが協力して助け合うことが大事だと思います。
中学生	世界全体の問題
中学生	バリアのない共同社会へ

③　障がいのある人の支援について（35 件）

学校	内　　容
小学生	自分に何ができるか
小学生	障害者用の場所が増えたらいいなと思った。
小学生	自分の好きな授業で、書いていない子教えていたら、先生の話が聞けなくてムカッとした。
小学生	何か、人のためにできることをしたい
小学生	もしも、障害者の人や体の不自由な人を見かけたら、自分から進んで声をかけて手伝ってあげて、少しでも楽になって欲しいです。
小学生	本人の問題を一緒に解決していきたい
小学生	困っている時は助けてあげたいけど、相手が自分でできそうな時は見守ってあげたいです。
小学生	障害がある人は、身近な人が助けてあげたりしたらすごく良いと思いました。
小学生	家におばあちゃんがいるので障害者になったら手助けしたいです
小学生	障害者を、介護するのは、難しそう。

小学生	障害者を助けたい！！！！
小学生	みんなを助けたい！！！！
小学生	私は、障がい者はかわいそうではないと思いました。 障がい者を見かけたらじゃまにならないように手助けをしていきたいです
小学生	対応の仕方を考えていきます。
小学生	障害者に積極的に接し、介護が必要な方全てに介護できるようにしていきたいし、これからは困っているような人を見つけたら積極的に声をかけていきたい。
小学生	障害者の方に会ったら進んで助けてあげたいなと思いました。
小学生	いくらわかった気になっても、辛さは本人にしかわからないから、報われなくても頑張る事が大切。
小学生	なんで優しくしなきゃいけないんですか。僕は優しくしても向こうは優しくしないです。
小学生	障害のある人の介護をしている人はすごいと思う。
小学生	何かできることがあったら、してあげたいです。
小学生	障がいがあるからといって、辛いことばかりではないと思うので、相手が手伝って欲しい時と大丈夫な時を考えて行動することが重要なのではないかと考えます。
小学生	自分に出来ることが何かをしっかり考えて、行動に移す。障害の人の気持ちを考えると自分達がどんなに恵まれているかがわかる。決して馬鹿にしたりはだめ
小学生	このようなアンケートをやって気づいたことがありました。障害者は、とても大変で、お世話が大変でとても疲れると思うけど、障害者をお世話する人は嫌な顔せずにすごか、頑張ってるんだなぁって思いました。
小学生	障害者を応援するとりくみをしたい
小学生	手助けをすると、自分も相手も嬉しくなります。将来の夢は医者です。相談に乗ってあげれる医者になりたいです。障害者の皆さん頑張ってください。
中学生	障がい者の必要としていることをはっきりして助けてあげたい
中学生	もし自分が障がい者になってしまった時のことを考えて、積極的にボランティアに参加したり、自分がされて嬉しいことを他の人にもしたいと思った
中学生	障がいや老害は仕方がない問題なのでそれを、受け止めて、どう動くのかが大切だと思います。
中学生	障がいのある人を見かけた時に初めに何をすれば良いかわからないです
中学生	自ら障害者になりたいと思っている人はいないと思うし、障害者になれて嬉しいと思う人もいないと思う。現在障害者である人は、それぞれ悩み・不安・周りからの視線などから必死に今も戦っていると思う。そういう人たちを助けることしか自分たちはできないと思う。 これから、ますます障害者の人口が増えると思うので、自分にできる最低限の手助けをこれからはしていき、障害者が楽しく暮らせれる社会にしていきたい。
中学生	障がいのある人達に寄り添ってあげたいと思った。
中学生	何もしなくて良くね？
中学生	目が見えない人や耳の聞こえない人に手を貸そうとしても、どう話しかけたらいいかわからない
中学生	障害がある人は障害者になりたくてなった訳ではないので、困っている人がいたら自分ができる限り助けたいと思います
中学生	自分自身がいずれ障害を持った時に誰かに頼る事になります。今のうちに障害を持っている方やこまっている人を見かけたら、すぐに駆けつけて手助けしてあげたいと思っています！

④　虐待、差別、いじめ等権利侵害について（21 件）

学校	内　　容
小学生	人間も十人十色。障害者も十人十色。仲間外れにさせないでください
小学生	障害のある方に差別をするのは、正直おかしいと思う。だから無くして欲しいと思う。
小学生	・障害者に対する虐待・いじめ・陰口・悪口をやめたほうがいいと思う。 ・障害者福祉センターでの虐待などについて、国は少しは動いて欲しい。
小学生	僕は、障がいのある人も、外国人も、みんな差別のない日本にしたい。
小学生	学校では障害のある人だけいじめている人がいるので、やめた方がいいと思います。
小学生	障害があるからと言って、差別やイジメが無い世界があれば良いと思う。誰にも言わずに苦しんでいる人だって、いつも笑顔だけど裏では苦しんで泣いている人もいる。そんな人たちを、自然と助ける助けてあげれる、そんな世の中に私はしていきたいと思っている。
小学生	ともに学べる学校を作るならいじめの問題も気にした方が良い。
小学生	これから先、障がい者の方に差別のおこらない世の中になって欲しい。
小学生	障害のある方に対するいじめや差別をする人が減ってほしい

小学生	人権や障がいのあるひとの差別のない、誰もが安心して暮らせる世の中をつくっていくことが、今を生きる全ての人の課題だと思う。
小学生	差別する奴＝自分がその身になった時のことを考えられない奴ら。そいつらがお前らになんかしたかって話。なんか暴言言ってすみません。でもこれ事実。
小学生	障害者は、みんなから差別を受けたりしないのか心配
小学生	差別されそう。
中学生	絶対に差別がおきないようにしてください！！
中学生	体が不自由な人々が世間からバカにされては、戦争より怒りが出てきますが、まずは自分も不自由な人々などを悪く思わないようにしないことが、これも大事。
中学生	発達障害のある妹と外に出かけている時、周りから変な目で見られることがあるため、障害のある人たちをそしてその家族のことをもっと理解してほしいと思います。障害の有無での差別がなくなるような社会になってほしいと思います。
中学生	あんけいとをとっているのがしょうがいのあるひとをくべつしているようにおもえる。そういうのがさべつにつながるようにおもえる。
中学生	人権コロナ対策
中学生	障害者に対しての、差別などがとてもひどいと思っています。もし自分が障害者の立場だったら、どう思うのかを考えてから、接して欲しいと思っています。 差別を一刻も早くなくし、より良い社会づくりを目指していきたいと思ういます。 僕にとって障害者とは普通の人と変わらないと思っています。ただ一つ違うとすれば、足が使えないだけで普通の人と変わらないと思っています。もし、町などで障害者をみつけたら、自分が手を差し伸べ困っている障害者を手助けしたいと思います。 僕の学校では、障害者の先生がいらっしゃいました。その先生は、筋肉がどんどん衰えてきて、足などが使えない状況でした。手はまだ使えていましたが、その手はとても細く、チョークで黒板を描くとき手がとても震えていました。その先生はとても優しくて、いい先生でした。出来るだけ困らせないようにしていました。僕はその先生をとても尊敬しています。障害者ではなく、ひとりの普通の人としてその先生をとても尊敬しています。今は、入院しているのですが、僕はとても心配しています。早く早期治療をしてもらって学校に復帰してほしいです。その先生は、僕の恩師だとも思っています。 他に障害者の映画で聲の形という映画があります。あのストーリーはとても感動しました。登場人物は、主人公は西片、ヒロインとして、堀、悪役として川井、がいます。とてもいい映画です。主人公は前に堀をいじめていました。川井もいじめていましたが、それが先生にバレると、西片に罪をなすりつけたのです。それから西片は、人間不信になり、どんどんいわゆる陰キャになっていきました。それから高校に進み、また堀と再会しました、そしてその時いじめていた時のことを謝り許してもらえました。そこで川井が登場しました、川井は、また堀をいじめようとしました。堀は、耳が聞こえない聴覚障害でした。耳が聞こえないことを利用して悪口などをいったりしていました。そこで西片が川井を止めて、西片が川井に堀に謝れといい、謝らせました。そして結婚しました。僕はちなみにこの川井ではありません。
中学生	障がい者に暴力を振るわれた
中学生	自分たちがもし障がい者になったら差別などありますか？

⑤　交流やふれあいについて（15 件）

学校	内　　容
小学生	障がいである方との交流は、障がいである方が見世物みたいで変な気分になりました
小学生	これからもずっと応援して一緒に過ごしたいと思っています。
小学生	障害者を避ける人が一人も居ない宮崎市にするために、もっと障害者との関わりを増やした方がいいと思います。
小学生	私は東京パラリンピックを見て、障害があってもスポーツはできるし、人間の可能性はすごいなととても思いました。だから障害者も普通の人も共にできる習い事をつくってくれると、宮崎市はよりよくなると思いました。 私もスイミングを習っていてとても楽しいと思えるので、障害のある子も一緒にやりたいなと思います。
小学生	障害者と遊べる遊びを知りたい。
小学生	障がい者に接することは生がい大事なことだと思いました。色々な人と接してこれからも、こんな人があるんだなと学んでいきたい。

小学生	小学校から基本的な手話の練習などを行い、障がい者の方々と触れ合うのも重要だと思います。
小学生	学校や地域にみんなで触れ合ったり遊べるスペースなどを作ったらいいと思います。
小学生	障害者と簡単に触れ合える施設を作り、簡単な活動を行うと、障害者も楽しいと思う。
小学生	障害者と簡単に触れ合える建物を作り、簡単な遊びや活動を行う。
中学生	健康な人と障がいのある人とはある程度距離をとりながら定期的に触れ合うことが大切なのでは？
中学生	障がい者との交流活動など関わりを持つことができる取り組みをしてみたらいいと思います
中学生	障がい者の方と実際お会いしたことがないので、健常書と障がい者との話し合いの場を中学校や小学校などに設けてほしいです。将来、障がい者も健常者も生活しやすい社会になるように頑張ってください。
中学生	町で障害者を見かけることがない人が多いと思います。（身近に障害者がいる人以外）だから、障害者への関心が少ないと思います。 障害者がいる学校と普通の学校で協力して交流会を開催するといいと思います。そうすることによって、もっと障害者のことについて関心を高めることができると思います。
中学生	学校の何かの授業で障がいがある人たちと少しでも?関わっていきたいと思いました。

⑥　障がい福祉や医療のサービスについて（13 件）

学校	内　　容
小学生	今息子はデイサービス等を利用させて頂いておりますが、週に２日程度で我が家は県外からの仕事での移住者の為、頼れる場所が学校かデイサービスしか無い状況です。例えばデイサービス等の件数を増やして頂いたりするとより良い生活が送れるかも知れません。
小学生	介護福祉を多く働くことができるようにし、介護福祉を増やすような活動をして欲しいです。
小学生	発達障害を持っている障害者が住める施設を作ってほしい。
小学生	私の母は昔お年寄りのお世話、介護をする仕事をしていました。その時の母はとてもかっこいいと思っていて、わたしも手伝いなどをしていました。だから私のように思ってくれている人がいたら母も私も嬉しいです。
中学生	福祉関係の仕事の賃金をあげろ、国からのお金を恵んでやれ
中学生	福祉関係の仕事に就く人たちは今の社会になくてはならない存在だと思います。大切にするためにも賃金や職場環境に十分な支援をしてほしいと思います。
中学生	中学生でも参加できる福祉のボランティアを増やしてほしいなと、少し思いました。
中学生	福祉の仕事をする人をただ増やしてもよくない。障害者をアドバイスをしたり、指導したり、ちゃんとした人を雇わないと悪影響してしまう
中学生	障害者の人が抱えている問題を医療発達などで解決できる日を望んでいます
中学生	福祉の仕事が、よく分からない。
中学生	福祉・介護関係の仕事は低賃金という印象があるので、もっと賃金を上げるとなると利用者から搾取することになるので、どうやって職員の賃金を上げるかが問題。このイメージを払拭しないと福祉・介護関係の仕事につく人はあまり増えなそうだと思います。
中学生	認知症を治す方法があってほしい！！！！
中学生	もっと障害者施設を作っていく

⑦　障がい福祉の関連領域の問題について（９件）

学校	内　　容
小学生	今はジェンダーの問題などあります。そういう人達が自由に動ける時代になってほしいです。
小学生	この世で性別は必要ですか？
小学生	もうすこし宮崎について地域の人が知ってほしい
小学生	高齢者も介護を受けられると、嬉しいです。
小学生	動物の事でヒヨコのオスを売ったり保護したりして殺すのはやめてください。
中学生	障害を持った方に優しくしたり配慮したりすることはできるのですが、高齢者の方のお世話となると気が重くて少し躊躇ってしまいます。
中学生	この前里親がどうたらこうたらという１つの動画を見ました。よくわからなくてすみません。そこでその里親は裁判までも起こして血の繋がりのない子供をとり返そうとしていました。それを見て私もおかしいと思いました。１度捨てた子供を育てたいといえば育てられるというのは違うと感じました。ましてやその子供は嫌がってたのに、、、。おかしいと感じました。語彙力がなくてすみません。

中学生	県知事はコロナが増えたら時短営業など出したり緊急事態宣言出すだけで毎回それの繰り返しだから意味ない。もっと国民の命を守るために早い段階で経済活動を止めずに対処してほしい。増えてから緊急事態宣言を出しても遅い。
中学生	子供が遊べる場所を提供すべき、子供のことを尊重する地域をつくるべき

⑧　その他（48 件）

学校	内　　容
	◆自己について
小学生	自分が他の人と違うということ
小学生	精神的にだいぶ安定してきたと思う
小学生	僕も怪我をしたことをあるからい色々と不便で大変でした
小学生	障害者って聞くとなんか不思議な気持ちになる
小学生	障害がある人で顔や手足が歪んでいるのを見たとき正直言って気持ちわるいと思ってしまう。本人達には申し訳ないが視界に入ってこないでほしい
中学生	体の不自由な人の笑顔の理由になりたい。
中学生	地域に貢献していけるよう、自分のできることを探し、それを実行していけるように頑張ります。
中学生	もっと周りに目を向けて生活していきたいです。
	◆障がいに関わることばについて
小学生	なぜ、障害者の人々は、害を人に物に与えていないのに、障害者という言葉で言われるのでしょうか
中学生	たまに障がいのがいを漢字の害にしている人がいるので気をつけて欲しい
中学生	障害者という文字をなくしたい。
中学生	障害者という呼び方は個人的に良くないと思うので別の呼び方にしたほうがいいと思う。
中学生	障がい者は障害者と書いてはいけないことをみんなに知ってほしい
中学生	障害者障害者って言うのあんまり良くないと思う。
	◆本アンケート調査について
小学生	少し答えにくい質問があります。
小学生	これは、何のためになるのか？
小学生	文章の意味がちょっとしかわからなかった。
中学生	アンケートが多すぎる
中学生	よくわからない質問、質問の量、とかに問題があると思います。人によっては不快に思う方もいると思うので気をつけてほしいと思ったところです。ですが、中学生の意見を取り入れるところはとてもいいと思いました。大人だけでなく子供の意見も取り入れる姿勢はとても良い体験となりました。
	◆障がい福祉行政について
中学生	正直言ってQ22.障がいのある方とともに暮らす地域社会にむけて、宮崎市が以下のことがらをすすめることについてどう思いますか。の質問は愚問だと思った。宮崎市にお金がない事は知っているがお金がなくてもやるべきだと考える
中学生	自分の住む宮崎市で、障がいのある人に対する活動が行われるのはとても嬉しいです。ありがとうございます。
中学生	いきなり県や、国などの大規模な対策をしても、本人からしたら、行動しづらくなってしまう可能性があるので、どれほどの規模で、どんな対策をするのかは重要になるのではないでしょうか。
中学生	宮崎県も障がい者に対する支援を今以上に厚くすべき。遅れている。
	◆障がいのある人の主体的な生き方について
中学生	障害者になりたくてなってるわけではないので、周りがどう思うか分からないけど、そんなに重く抱え込まないでほしい。
中学生	「ともに遊ぶ場」を作る、「ともに働ける場所」を作るなどの策は、障害のある方自身が決めることなので、障害のある方にもアンケートや企画説明などをしてもいいのではないか、と考えています。考える場を私たちに設けてくださり、ありがとうございました。
中学生	障がいを持って生まれても本人は懸命に生きようと苦しくても頑張っています。
	◆ありがとう
小学生	ありがとうございました
中学生	ありがとうございました
中学生	ありがとうございました。
	◆少数意見
中学生	がんばれ

小学生	このような取り組みをされていて本当にすごいと思います。障害者さんのため地域のため世界のために頑張ってください。
小学生	障がいの人が早く治るようにと祈ってます
小学生	分からない知らない意味が分からない
小学生	分からないとこがあった
小学生	(本人や家族が)障害がある１人の人間を育てる事や介護する事はかなり体力的、精神的にきつい状況です。そこを踏まえて皆が気にかけてくれる(障害がある方を)世間になるととても嬉しく思います。
中学生	知らない
小学生	話しにくい
小学生	３つしか選べなかったけど他のも良かったと思います。
小学生	別に
小学生	じぶんでやりたいことができる
小学生	やれやれだぜ
小学生	。?__•。。?__•。。?__•。。•__•。。•__•。•__•。•__•。•__•。•__•。•__•。•__•。•__•。 __•。• __•。•__•。•__•。•__••__•。••。••。、。•。•__•。•__•。•__•。•__•。•__•。•__•。• __•。•__•。•__•。•__•。•__•。 __•。•__•。•__•。•__•。•__•。•__•。•__•。•__•。• __•。••。•__•。•__•。
小学生	どうやったら福祉になれるか
小学生	はい
小学生	従兄弟や親戚
小学生	お得にない
中学生	アイウエオ
中学生	幸せに。

※内容別の件数【一般調査】

内　　容	件数（件）
①　障がい福祉や医療のサービスについて	29
②　障がいのあるなしに関わらず暮らせるまち・共生社会について	27
③　障がいの理解、障がいに関する教育について	18
④　障がい者の自立・就労について	17
⑤　障がい福祉行政について	15
⑥　障がい者のサポートをする家族について	9
⑦　本アンケート調査について	8
⑧　障がいのある人の主体的な生き方について	8
⑨　その他	14

注 「意見はない」等とする回答は除外している

※各回答内容【一般調査】

①　障がい福祉や医療のサービスについて（29 件）
内　　容
自分自身も障害者なので今はパートで仕事が出来ていますが、精神的に落ち込んだ時や金銭面で困った時に相談出来る人がいると助かります。病気で休職しても、再就職する時に話を聞いてアドバイスしてくれる人みたいな感じで。特に歳を取るとパソコンやスマホが苦手なので、若い人が障害者の人に興味を持って接してくれると有難いです。
今の社会を見据えた新しい施設また施設作り
障がい者同士、障がい者の家族同士が情報共有できる場。親が亡くなった時など障がい者が 1 人になった時に安心して生活できる施設と人材の育成、が必要になると思います。
色々な障害があり、性格も色々、そういった人のカウンセリングができる場所があるといいなと思います。
正直なところ、どんなことをされていてどんな支援等が行われているか分かりません。なかなか、知る機会がないので市の広報誌などで取り扱っていただきたいです。
診断や障がいのあるないに関わらず、生きづらさを抱えているという視点で必要な支援に繋げて欲しいです。そういった方の集える「居場所」がいくつかあるといいなと思います。 いろんな理由でひきこもりの状態になり、社会参加したくとも出来ない方がたくさんいるのではないでしょうか。 しかしいきなり就労にはハードルが高と思います。就労移行支援事業所も増えてきましたが、場所や特色などをとりまとめて一覧表を作っていただきたいです。 就労だけがすべてではないので、生きづらさを抱えた方も何らかの形で社会参加できるように、社会問題としてみんなでよりよい方向に向かうと良いです。よろしくお願いします。
もっと障がい福祉にお金を投入してほしい。支援員にもっと処遇改善手当を増やしてほしい。
一概に地域福祉…と言っても、今は核家族化が進み、夫婦共働き。定年も延び、高齢でも働く時代になっているので、在宅福祉の推進は、介護する側への負担になるのではないかと思う。私自身は、子どもの生活を私の介護の時間に使わせたいとは思わないし、施設で適切な支援を受けたいと思っている。そんな施設職員への配慮や、社会的地位が低いことも、施設内虐待等につながる要因だと思うので、宮崎発で福祉施設職員への地位向上を推進して貰えたら…と思う。
子供の施設が少ない?
超高齢化社会の今、介護福祉士を増やさなければならない。きつくて賃金が安いという現状を打破しなければ福祉は崩壊する。
たくさんの支援機関があっても、窓口が受付ない、必要な所に繋げないと何にもならない。相談した方は、結局途方にくれる。
弟が難病で障害者になって数年が経ちます。家族関係が壊れて行ってます。どうなっていくのか心配です。これから益々介助が必要となっていく弟、家族の負担は心身共に増える一方。どうにか社会的支援を受けて前みたいな笑顔を取り戻して欲しいです。私は何も出来ないな～って思ってます。

身内や友達が障害者施設で働いているが、とにかく人手が足らず大変そうだった。預けている家族は、お金を払っているからしてもらって当然という態度で接してくるらしく、やりきれない日々があるとのこと。もちろんそれが仕事なのですが、やはり家族は感謝の気持ちを忘れないでいてほしい。やってることすべてが業務ではなく、サービスでやってることもある。いちいち言わないらしいが、やはり人間なので感情はついてくるのも当然。生きていくうえで感謝の気持ちを忘れてはいけない。お金払うからではないと思う。そのあたり家族も大変だろうが、忘れてほしくないところ。
必要なことですので、施設、人など、もっと充実をしてほしい。
正直な話し、お金が無い人でも気軽に入れる様な施設を沢山作って安心して過ごせる様な施設を作って貰いたいです
もっと開かれた施設にする
介護職員の待遇改善、教育の充実をお願いしたいです。
介護をされる皆さんがお疲れのようです。行政で介護をされる人員の確保と福利厚生をしっかりしてください。
探せば誰もが、障がいを持っていることでしょう。 以前、重度身体障害者療護施設に８年働いたことがあります。障害者自立支援支援法がはじまり、３障がいがひとつになってケアが難しくなったのではないでしょうか。重複障害は仕方ないのですが、やはり、それぞれの分野のプロが関わった方が介護される側も良いと思います。 障がい者も不自由な体でパソコンやっていて、それを見た私は、これではいけないと資格や免許を取るようになりました。知り合いにも一度は障がい者施設で働けば人生観変わるよと伝えています。 今回、振り返える良い機会を与えていただきありがとうございました。
当事者・保護者への適切な情報提供をしてほしい。地域によってサービスに差がある。特に、土日祝に利用できるサービスやグループホームなど夜間利用できるサービスが増えるといい。 福祉施設の職員の給与は他の職種よりも低いと思う。給与増を望む。それにより、人材確保もできるのでは。どこも、人材確保には苦労されていると思う。
絶対に必要なものだと思います。障がいのある方は一人では生きていけない方が多いです。親だけの力では限界があります。皆で支えていかなければなりません。近隣住民の理解も必要ですし、施設職員の質の向上も必要です。資格をもちきちんと勉強されている人に支援して欲しいです。初めは無資格の職員であっても、研修等をうけ障がい者への理解を深め福祉人になっていけるよう環境を整え、パート、アルバイトであっても必ず研修を受ける制度を作ると良いかと思います。
バス料金をお年寄りと同じく 100 円にして貰いたい。いちいち運転手さんに手帳見せて割り引いて貰うより時間もかからないような１回で 100 円になるように　以前見かけたのです。運転手さんがイライラして怒鳴っているのを見かけました。是非お願いします。
相談機関が少ない、待つ時間が長すぎる
障害のある人達が、気兼ねなく遊べるイベント等を多く実施してほしいです。
58 歳で、倒れた父の場合、老人ホームでは平均年齢も高く、本人もなかなか馴染めない。かといって、リハビリセンターは社会復帰を目指す 40 代くらいまでの方が対象と言われ、失語症と高次脳機能障害の父は、なかなか施設が見つからなかった。介護老人保健施設は一定の期間しか入所できないため、それからの家族の選択肢がほぼ自宅のみになる。 脳疾患専門の、施設などがないかかなり探しました。患者さんも多いと聞きますので、ぜひ、そのような患者さんが行きやすい施設を設立してもらえたらなと思います。
介護、福祉の仕事の賃金が安く、介護福祉士ですが職を離れました。もう少しなんとかしてほしい
なんでも相談できる場を分かりやすくしてほしい
聴覚障がい者も高齢化傾向にあり、皆で交流する場に行く事が難しくなって来ました。交通手段の支援があると良いと思います。
障がい者の方でも自分で出向くことの出来ない方や、施設を利用出来ない方たくさんいらっしゃいます。 もう少したくさんの方が気軽に出向ける、そして利用できる場所があればと 思います。

②　障がいのあるなしに関わらず暮らせるまち・共生社会について（27 件）
内　　容
住環境において駐車場が障害者さん用の幅を基本にどこに停めても不自由がないよう広くしてほしい。（特にスーパーなど日常的に使用するお店など） 身障者限らず、利用する全ての人に心のゆとりが生まれ優しい心遣いが出来るようになる。
障害者に対して優しく、みんなが楽しく輝ける場所を作ってほしい。ボランティアも気軽に参加出来るようにしてほしい。そして、誰もが生きやすい社会を目指してほしいと思います。

最近橘通を自転車で通ることが多いのですが、歩道、自転車道がデコボコの箇所があったり交差点の横断歩道から歩道に移る所等に段差を感じています。車イスやカートを使用する高齢者が通過する際、段差により上手く操作できず、場合によっては転倒等、危険を伴う気がします。道路整備だけではなく歩道の整備も望みます。 まもなく清山市政がスタートということで、宮崎がどう変わっていくか楽しみです。医師という職業を生かして高齢者や障害者が住みやすい街づくりに貢献されることを期待しています。
障害者の方が安心して生活出来る環境が整えば良いと思います。
はじめにも回答したように、地域など周囲の理解や支援があれば、住み慣れた地域での生活は可能だと考える。
交通機関の整備も必要
バリアフリー化を進めて欲しい。宮崎市障がい者体育センターの改装を希望します。職員が実際に車イスを使用して体育館を使用してみてください。かなりの不便を発見できますよ。スポーツプロ選手のキャンプ等に貢献している宮崎ですが、アマチュアのパラアスリートにも目を向けて、胸を張ったスポーツ王国を名乗れる宮崎にしてほしいです。
足の不自由な方、手の不自由な方、目や耳の不自由な方、他にも色々な障がい(身体)のある方が一人でも出かけられるぐらいバリアフリーにしたり、その方達の目線で色々と道路や建物などの設備を変えていけたらいいなと思います。
暮らしやすい環境
誰もがいきいきと社会生活を送れるように、自分の能力を最大限に活かせるような配慮や工夫などがあらゆる場面で実現されるといい。
生活環境のバリアフリー化が急務。
障がい者も、社会の一員として健常者と変わりなく生活しやすい環境づくりができるといいと思います。
選挙の際、投票場所での立候補者について写真を用意してください。文字が読めない人がいます。認識できない人がいます。新聞やテレビネットでは写真や動画でアピールしていて、それを元に認識して投票にいくのに、文字だけしかないと、とても困る人がいます。新聞の切り抜きも持って入れません。投票所には介助をしてくれる方がいて、指差しなどで選ぶなどの配慮はありますが、選べるのは文字で書いてある名前だけなのです。例えるなら、日本語しかわからない日本人が、ロシアやインドの文字に変換された名前から選ぶようなものです。是非、宮崎市から改善、改正へ向けて発信をお願いします。
道路の段差や、トイレの広さなどなどまだまだ障害のある方目線に、立つ必要性を考えなければならないと思います。
一人でも多くの人が住みやすい環境を作ってあげる事が大事だと思う。
自立した生活が送れる社会環境の整備、社会と常に繋がっていること、本人や家族だけの問題にしない社会、が欠けていると感じます。
障害者も弱者です。高齢者や子供同様、もっと理解をし地域全体で見守り、助け合う。地区に入っている、入っていない関係なく関わりが重要。昔の考え方が多すぎて孤立してる障害者や家族はたくさんいる!!
自由に行きたいところに１人でも行ける環境の整備
全ての人が生きがいを感じ、幸せに暮らせる社会にしたい
車椅子で街を移動される方を、あまり見かけません。ベビーカーを押していた頃も思っていましたが、道路状況があまり良くないですよね？改善して欲しいです。障がい者にも優しい観光地になると良いな、と、思います。
ノーマライゼーションを基本とし、健常者と障がいのある方々の壁をなくす事がとても重要だと思います。
ひとりひとりが繋がり助け合える環境を。
宮崎県の住み良いの環境作り方
障がい者が健常者と変わらず、自分らしく生活できる環境づくりが必要であると考えます。
バスを利用しますが、宮崎のバスは乗る人が高齢の方が多いので、ノンステップバスを積極的に取り入れてあげた方が、乗り降りが楽になると思う。階段の場合だとしんどそうにする方をよく見かける。
まだまだ障害者トイレが少なかったり、掃除が行き届いてなかったりというのが気になりました。
障がいを持つ人が生活しやすい環境づくりと、人を思いやる気持ちが育つ家庭や教育のありかた、地域づくりなどが今後も具体化され進んでいくことを望みます。

③　障がいの理解、障がいに関する教育について（18 件）

内　　容
私は姉も障害者なので、一般の方々よりは障害者の事を理解してると思う。 他の障害者に係わる事はあまり無いです。とても難しいと思います。
障害者の方に対する理解を深め、誰もが手を差し伸べられる様になればと願います。

障がい者を含む福祉に関わる仕事に携わっている人がスムーズに仕事できるような社会の環境整備を期待する。役所などだけでなく金融機関など日常で関わることの多い場面で、障がい者に直接接してはいないが福祉に関する手続きや業務などがあまり知られてなく、非常に非効率なこともあるのではないか？社会全体で障がい者や福祉に関わる手続きなどをもっと広めていく努力が必要だと思う。
いまだ地域住民や福祉にあまり関わりのない方の障がい者や障害そのものへの理解が足りていないと感じるため、子どもへの障害に関する教育や地域住民への理解啓発活動が必要なのではないかと感じる。
発達障がいに関しては、みんな凸凹あるし、完璧な人間はいない。その差が大きいと生きづらい世の中。その偏見があることもおかしいので、働く現場の方、親、家族、地域の理解などをもっと増やす機会、正しい知識の理解の場、学びの場を増やして欲しいと思う。教育の現場でも、情報が遅かったり知らない教員も多い現状をどうにかしてほしい。 宮崎は特に情報が遅れてると思います。
障害者福祉が身近な自分自身のこととして捉えられる啓発や体験活動が必要と考える。
できる限りの情報発信を頻繁に行ったり、幼少期から学校や地域内で障がいのある方との関わり方や生活の仕方を学んだり理解を深めたりする機会を多く設ける必要があると思う。
答えることのむずかい質問ばかりでした。そう感じるのは自分の「障がい」に対しての関心度の薄さだと反省しました。貴重なお時間を頂けたことに感謝します。
現在両親を介護してますが、介護問題と障害者福祉問題は似てるところもあるけど、違うと感じてます。 介護問題は親や、自分自身にいつかくる問題ですが、障害福祉は障害者が身近にいたり、障害者になってから問題を感じるため、後回しになってる気がします。だから、もっと、自分達、地域、といった身近な問題として捉えたり、そういった教育や現在の状況を私達がもっと知るべきだと思います。そのためにはどうしたらいいか、私たち一人一人の意識の問題だと思いますが、それを気付かせたり、開発するのも行政の大切な事だと思います。
教育から必要だと思う。子供達は、障害者福祉について、分かっているようで、きちんと理解できていないと思う。ただ単に障害者と触れ合ったりするだけの授業では、うまく理解しないと思うし、かえって偏見などに繋がる。子供達が身近な問題なんだと感じるように、人権なども含めて教育してほしい。
障害者に関する無料講習会などあったら聞いてみたいし文章等でも見たりしたい普段の生活の中でどう行動したらいいとか知りたいです。
子どもの頃からの教育しかないでしょう。社会は支え合いということを、大人になってからでは身につきませんね。
支援する方の育成と、幼い頃からの教育
一般的に暮らす人にとって、高齢者や子供の問題よりも身近に感じないものだと思う。私の子ども時代には福祉教育も無かった。今の子どもは福祉体験などもあるので、体験、実際の障害者の講話を取り入れ続ける。また、会話する機会を設けることは大切だろう。子どもの時から知る、ふれあうことが私のように障害者に対して特別感を持たないで皆と同じように接することができる人になるのだろうと思う。
差別や偏見の教育後進国だけど、過度なサポートは必要ない。一律のしっかりした教育が必要と思います。
健常者が持つ障がいを持つ方への偏見や差別は、まだまだ存在していると感じるので、健常者に対して積極的に教育や啓発をより行うべきだと考える。
一度、教育の一貫で障害者施設に行って体験学習する。公務員、議員になるかたは半年、障害施設、介護施設に従事するのが必須にすること！！！
以前に比べたら　障がい者に関しての考え方、理解は数段良くなっていると思います。

④　障がい者の自立・就労について（17 件）

内　　容
障害者が働ける場所が、増えると良いと思います。
障害者の自立支援に基本的には賛成なのですが、昨今の農福連携等の動きの中で、自分で不調や不満を訴えられない知的障害者が、過酷な労働環境で都合良く使われる流れにならないか心配しています。行政には障害者が不利益を被ることのないように、きちんと指導監視していただきたいです。
人口が減る中で、障がい者は増えています。障がい者が社会の一員として、税金を払えるよう仕事の出来る環境にしてほしいです。その為には、障がい者の人的な学校環境と企業環境が整備されることが必要だと思います。その１つとして、是非特別支援高等学校を設立してほしいです。
はやく就労支援のことをすすめてくれ
障がいを持つ人が自立して生活できるような生活支援、居住支援をもっと増やすべきだと思う。
日常生活は、何とか家族のサポートで生活はできても就労や金銭的補助などをもっとサポートできる体制がないと、なかなか自立には難しい
お金は大事だけれど十分でない。障害年金や福祉就労では、一人で生活できない。
一般就労ができる事業所が増えればよいと思う

障害があっても基本的には出来ることは自分で行い、仕事もする方向で考えて欲しい。 また、ダメな事はダメと伝えて欲しい。犯罪などで障害が理由に罪に問われないのはおかしいと感じます。その上で困っている事、人の助けがいる事はもっと声をあげてほしいし、手助けできるならしたいと考えます。
社会保障であるとの前提を理解していない人がいるのが大変残念である。必要な支援は充実し、過度の要求に屈することなく、社会参加や就労支援を目標とした取組をお願いしたい。 理解啓発も学校教育だけでは不十分であり、障がいのある方の社会的自立を念頭におき、地域ぐるみの取組としていただきたい。
障がいがある方の就労支援の充実。障がいがある方たちが納税者となり、働き安い職場となり、充実した生活ができるような、ハード面、ソフト面、両方の環境が整うことを望みます。
仕事に就きたくても雇って貰えない。企業、地域の理解が足りない。障がい者という目線で見下している。仕事の内容が労働(清掃、袋詰め、パック詰め等)が多く、仕事を選択出来ない。
障害のある方でも賃金に差がなくなれば健常者と変わらない、もしくはそれ以上の生活が金銭的にできると思う。むしろそうすることが限りある予算や高額な医療費を行政が負担するのではなく個人で賄える。そのほうが障害のある方にとって気負いがないのではないかとおもう。例えば足の不自由な方はプログラマーやCADオペレーターなど、在宅ワークも可能なのでは？一人一人に合った仕事を見つけることに予算をかけた方が将来的にお金のかからない福祉ができる。
障がい者の方も自由に仕事を選べ、自分らしく生きていける社会が実現できれば、全ての人が幸せに暮らせる社会になりますよね。
相応の給与を約束することも必要です。
障がいがあっても、難病であっても働いていたい。
障害者が安心して仕事に従事できるよう、様々な企業と連携することが必要

⑤　障がい福祉行政について（15件）

内　　容
待つ行政ではなく、おせっかいで、積極的に関わる福祉行政を期待します。
手続き(新規も更新も)など簡略化できるようになってくれるといいなと思う。
障害に対してみんなが支援できる国づくり。まずは、障害の枠を外して誰でも支援が受けられるそのための現状についての理解。今どのくらいの方が困っていてどんな支援が必要かを把握すること。
発達障害に対する取り組みが、他県に比べて遅れている。福祉課などは、まず、理解を深め寄り添う気持ちがない。いつも冷たい態度。
基本的人権という人間らしい生活については、行政が保障しないといけないと思います。また、各自治体には税収の差があるので国が責任を持つべきだと思います。
目に見えない障害、特に発達障害は本当に支援の手が届いていないように感じます。宮崎市独自の支援ができると親子でずっと住みたいと思えると思います。
市民一人一人が、自分自身の問題、課題として捉えること。そしてそれを援助できる行政
障がい者に結果や成果を求め過ぎない政策もあって良いと思います。
今の宮崎市は行政が行政らしくありすぎている。もっとフラットな姿勢をとってほしい。
福祉含む総合的な税金を無駄なく、必要なところに使用できれば、障害者の方たちだけではなく、貧困者や普通家庭まで、より良い環境づくりに繋がると思います。政治家の方たちは、選挙の時だけ頑張ってるように感じ、全てではないにしても、私欲の方が強く感じる。選挙も無駄づかいだと思うし、街宣活動をなくし、TV等でのアピールのみでよいと思います。それよりも、結果として、今年度はこういう事を実施しましたとかの、実績結果をもっと国民にわかるようにした方が納得できます。愚痴っぽくなりましたが、無駄を省けば、本当に必要な事に費用回せると思います。
障害者福祉について、どんな取り組みが行われているのか、あまり知らない。市の公報などでもう少し取り組みをＰＲしてほしい。
アンケートに答える過程で、障がい者福祉に関して、私は傍観者のような立場だと感じてしまった。いたる所ですれ違ったり、見かけたりしているはずだが、仕事以外では障害者と接する機会がほとんどないと感じていた。 支援は必要だと強く感じるが、行政が取り組むべき課題という意識が強く、自分自身に関わりの深い問題だとまでは思っていないというのが正直な感想。
住民皆んなが公平に恩恵を受けられる行政サービス
現場を知った上で予算を組むこと。上っ面なアンケートは不要。
過剰にならず、手薄にならず、適切な支援を望む。

⑥　障がい者のサポートをする家族について（９件）

内　　容
障がい者自身もですけど、家族の方のご苦労を考えると、将来が不安で心配されていると思います。障がい者および家族に対する支援が手厚い自治体であってほしいと思います。一方で自治体は財源に限りがあるため、ボランティアに頼ることも理解します。
障がいを持つ人やその家族が共に悩み相談や意見交換など気軽にできるような場がもっと広がると良い。
障がい者の困り感を把握して、障がい者を持つ家族への支援も考えていただきたい。
重度の障がい児をお育てされてる親御さま方に休める日を与えたい！
どんな障害を持っている人もその家族も、気軽に集えるような憩いの場があると、障がい者のケアをする人も少し気持ちが楽になれることがあるのかな？と思います。ケアをする人を癒すことも重要だと思います。集う施設も施設という感じではなく、バリアフリーでハッピーな空間で、またその施設に行く時に周りの目を気にしなくていいように少し配慮されたロケーションや建築の建物があるといいのかな？と思いました。憩いの場では障がい者本人だけでなく障がい者のケアをしている方が、プロの方に相談できたり、ケアをされている方が互いに思ってることを話せるような仕組みがあるといいのかなと思います。グループで話すのも良いですが、そこまで大ごとではなくただ誰かと１対１で話せるなど、いくつか方法を柔軟に選べるといいと思いました。
家族へのサポートを充実させる。（一時預かり・教育の充実など。）
障害者本人や、障害者の家族のメンタルをサポートできる体制が、必要だと思います。
発達障害は個人個人違うので、親同士の相談もしづらかったり、分かり合える人を探すのが難しい。個人個人のその子の困り事に合った親の接し方については、親も模索しながら１日１日あっという間にすぎてうまく行かず、親子でストレスを溜めがち。専門家から具体的な接し方、うまく誘導する方法など親の学ぶ場がとても欲しい。
障害者のいる家庭に対してのサポートが必要だと感じる。保護者が障害理解出来ていない為適切な教育を受けていない場合もある。地域全体で見守れる社会が実現出来ると良いが、今コロナ禍で、皆んなが苦しい想いをしており、他者理解に乏しい様に感じる。皆んなが笑顔で暮らせると良いなぁ。

⑦　本アンケート調査について（８件）

内　　容
質問の内容が重複してるように思えた。
答えにくく、無回答あります。
アンケートが２通届きました。
このアンケート自体が障害者というくくりであまり良くないと思います。現実、障害者の方はいらっしゃいますがどんな方でも当てはまる項目はあり各々の個性の一つと思います。
関係ないですが、人数とられてるとかだとあれなのでご報告だけ。このアンケートの封筒２枚きました。
アンケートの問いが、分かりにくい答えにくい。
正直、障害者を身近に感じてない為わからなくて、アンケートの回答が難しかったです。
障害者と一言にまとめても年齢、性別により向き合い方が異なると思います。ざっくり障害者ということに対してのアンケートは非常に難しかったです。 答える責任がありますし共存するために。何を基準に障害者と定めるのか、理解できませんでした。車椅子に乗ってる人、就労支援に携わる人？何に対しての障害者なのか。何が障害なの？ まずは同じ郵送が２通頂いたのが私としては？？？でしたし、本当に真剣に障害者ご検討されるなら、小さなこともかいつまむべきではないでしょうか？センシティブなことに対しての、短絡的なアンケートでしたが、どんな人でも自分らしく生きていくために糧になればとお答えしました。忙しい。時間たりない。民間も同じです。丁寧な仕事をしましょう。

⑧　障がいのある人の主体的な生き方について（８件）

内　　容
何が必要かはっきりしているとよい
一番は対象となる方々のご意見です。それぞれの障がいの部位、程度により想像もつかないご苦労があることと思います。ちょっと怪我しただけでも段差などに苦労するのですが、喉元過ぎれば…で直ぐに忘れてしまいます。
音楽、美術、スポーツなどの生きがいを感じるものや学習環境の充実も必要。
もっと本人が楽しいと思える福祉になってほしい
障がい者１人１人の「生きがい」探しに力を尽くして欲しい
障がい者の方からの意見を伺い、理想に近づけるような取り組み。
障がいのある方々が今何を必要としているのか、当事者の方々の声を是非聞いていただきたいと思います。
若い聴覚障がい者はIT関係やスポーツに長けている方々がたくさんいらっしゃいます。その方々が活躍できるよう

な場や機会を増やして行くと障がいのあるなしに関わらず共生社会に近づくと思います。

⑨　その他（14 件）
内　　容
◆虐待、差別、いじめ等権利侵害について
障害者の方を差別するような行為を私たちで減らして行けたらいいと思っています。
障がい者への理解、差別のない世界を実現するには、環境づくりだと思います。 例えば、多くの小学校や中学校には障がいの子どもはいません。障がいを持つ子どもは支援学級・支援学校への進学をすすめられます。また、一般の公立学校と支援学校では、管轄の省庁が異なります。しかし、学校では、目のみえない人、車いすの人などを講師とした講演会で、差別をしてはいけない、障がいをもつ人を理解しましょうなどと教えます。大人が、障がいの持つ子どもは支援学校へと当たり前の手順のように差別しているにも関わらず、子どもに差別しないように教えるというのは、どこか矛盾しているように思えます。管轄を分ける、学校を分けるという時点でもうすでに差別は起こっています。色んな人がいていい、という割には、学校にはいろんな人はいません。今まで障がいを持つ人と関わったことがない子どもが、急に障がいを持つ人と関われば、障がいを持つ人は特別なんだと感じてもおかしくありません。 保育園、小学校など、友達の中に障がいを持った子と関われば、障がいを持った人を特別な存在だとは感じないと思います。算数が苦手な子、体育が苦手な子というように、人にはできること・できないことがあります。障がいを持っているということはそれと同じことだと思います。算数ができない子に、算数を教えてあげるように、耳が聞こえない子には、その子が分かるように教えてあげればいいだけだと思います。 最近は、身体障がいだけでなく、発達障害の子どもも多い時代です。その子にあった環境で教育を受けることが重要である、だから、支援学校がいいということも分かります。しかし、そのように障がいのある子、ない子で振り分けている時点で、気づかぬうちに差別が起こっているのだと思います。支援学校に行っている子どもが全員、望んで支援学校に行ったわけではないと思います。中には、普通学級ではみれないからという理由で支援学校に行かざるを得なかった子どももいると思います。学校に、PT や介護士などを置き、色んな子どもが同じ環境で学べるように取り組むことがとても重要になると思います。 差別が起こるのは、大人が差別をするからだと思います。差別が起こらないようにするには、大人の意識を変えるべきです。障がいを持つ人を特別だと感じずに、出来ないことを、できる人が手助けするというくらいの意識でいいんじゃないかと思います。健常者が障がい者を助けているのではなく、互いに、色んな人が助け合うという社会でいいです。 学校という環境では、国語が算数といった勉強だけでなく、人との関りという大きなことを学ぶ場でもあります。障がいの有無にかかわらず、色んな人がいる環境で学ぶことで、得るもの大きくなると思います。自分の望む場所で教育を受けられることを望みます。
障害にも様々な種類があるが、自分も含め理解していない部分が多いと思います。理解不足により、障害者への偏見や嫌な思いをさせてしまったりする事がないような社会作りをする必要があるが、では何が必要かと言われると分からない。自分が同じ目線で考えるシステムがあるといいのですが。
社会全般が障がい者に偏見の無い共通の 認識を持てるようになると良い
◆交流やふれあいについて
実際に障がい者本人とふれあわないと分からないことがたくさんあるため、実際にふれあう機会があれば良いと感じる。
核家族で高齢者との交流のない子供が多いので、幼少期から病気や障がいへの知識や介護を学ぶ機会の提供、高齢者との交流は大事だと思う。我が家は自分も子供も幼少期から高齢者と同居なので、自然と手助けや声かけが出来、仕事も福祉系になった。
障がい者と健常者が共に活動する機会を増やすとともに、障がい者への理解を深める啓発活動を充実させる必要がある。
◆少数意見
いつ自分自身も、そうなる事があるとおもいます。現在、接している障がい者の困り感を、我ごととして、対応していくことがひいては、私自身が、救われると信じたいです。
普段、自分の生活におわれ、身近に障がいの方がいないと考えないことでした。このアンケート自体にも認識できる一つだと思います。 又、障がいの方が意思表示のバッジなんかをつけていただけるとお手伝いしやすいですし、そういうバッジがあるというのを夕方のニュースやＣＭで流してもらうとわかりやすいです。
障害福祉計画の職員の皆さんの多忙さの中で、このアンケートを作成してくださったことに感謝します。 不登校や引きこもりになっている家族に声もあげられない人もいることを、どうかわかってあげてください。

私も自立支援を受けているので、ありがたいです。でも、この頃血圧が高いのか、フラフラしたり、よろけて家の中で転んだり。薬で廃人みたいになる人もいるみたいで。
課題も対応も多岐で深く、日々、大変お疲れ様です。ありがとうございます。
良く分からない
もっと、オープンにしたほうが良い!

iii　関係団体調査結果

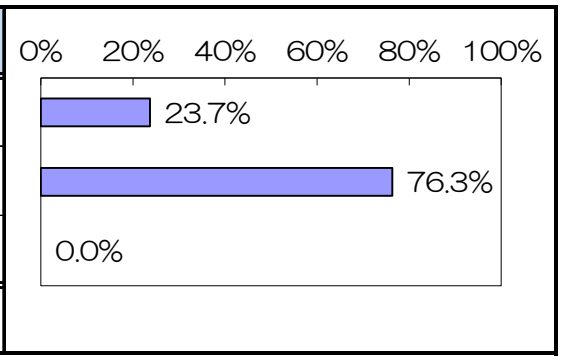
１．基本情報

（１）団体の種別

問．貴団体は、どちらに当てはまりますか。当てはまる方１つを選んでください。

「障がい者団体」が 23.7%、「障がい福祉サービス等事業者」が 76.3%となっている。

選択肢	回答数	割合
障がい者団体	18	23.7%
障がい福祉サービス等事業者	58	76.3%
無回答	0	0.0%
サンプル数	76	100.0%



２．本市の障がい者福祉の課題（自由記述）

問．本市の障がい者福祉に関して、特に課題と感じていることがあれば、３つまでご自由にお書きください。

本市の課題として挙げられた回答を内容で分類すると、「サービス提供内容や質の向上、難しいケースについての課題」が 20 件と最も多く、次いで、「障がい福祉の人材確保、人材育成についての課題」が 17 件、「不足しているサービス等についての課題」が 15 件となっている。

※内容別の件数

内　　容	件数（件）
①　サービス提供内容や質の向上、難しいケースについて	20
②　障がい福祉の人材確保、人材育成について	17
③　不足しているサービス等について	15
④　市役所の障がい福祉担当対応等について	14
⑤　障がい者への情報提供、伝達方法について	13
⑥　学校との連携について	9
⑦　就労支援、自立支援について	9
⑧　医療的ケアが必要な障がい者・児等について	8
⑨　サービスの標準化、利用者負担等制度について	8
⑩　障がい福祉の手続きや制度について	7
⑪　障がいへの理解・啓発について	6
⑫　サービス報酬、加算、補助金について	6
⑬　緊急時の対応について	5
⑭　団体・事業者間、関係機関との連携について	5
⑮　その他	11

※各回答内容

①　サービス提供内容や質の向上、難しいケースについて（20 件）	
団体区分	内　　容
団体	リハビリ時間の不足
団体	余暇支援が少ない
団体	障害者それぞれの実態に寄り添っているのか？
団体	成人の障がい者と障がい児との交流の機会が増えるといい。
団体	宮崎市障がい者スポーツ大会⇒以前はレクレーション的に団体で行っていましたが、事務局がないなどで行われなくなったが、その予算はどうなっているのか。また、開催してほしい。
サービス事業者	就労（生活保護者）に対する意識が低い。
サービス事業者	生活保護者に対しての自立を強化して欲しい。
サービス事業者	needs の多様化に対する選択の幅がまだまだ少ないのでは？と考えております。
サービス事業者	サービスの質の向上
サービス事業者	障がい者福祉に限らず児童や高齢者福祉において、また福祉全般に関し、不登校、引きこもり、ヤングケアラー、介護者の孤独による自死、孤独死　などの課題がたくさんあります。
サービス事業者	差別や虐待に関する窓口の強化と障害当事者への周知（どういうことが差別・虐待にあたるのかを具体的に学ぶ場） 支援者が虐待等について学ぶのは当然だが、障害当事者が権利の主体として差別や虐待についての学びが必要ではないかと思う。

サービス事業者	未就学児の早期療育・保育について（親御さんが子育てを楽しめる環境や相談をしっかり受け止められるように）
サービス事業者	利用者側の支援への理解が乏しい。
サービス事業者	・利用者（障がい者）の高齢化に伴い、身体機能精神面の問題だけではなく、家庭環境の変化に伴い支援内容が増え複雑化している。支援困難ケースが増加傾向にある。
サービス事業者	リハビリテーションを受けていても、その児に対してはしているが、日頃関わる家族への指導や環境設定ができていない（何の為にリハビリがあるのかをしっかり伝えられるように）
サービス事業者	児相絡みの児童が増え、相談員にも話はしているが中々動けていないのが実情にある。また事業所がどこまで手を差し伸べるべきかを悩むことが多い。
サービス事業者	支援を受ける側（障がい者）への教育（心構え・感謝・税金使用）、理解を徹底するべき
サービス事業者	基幹であるにじ相談支援事業所の機能不全。なんのためにあるのか解らない。
サービス事業者	児童発達支援や放課後等デイサービスの質の向上 事業所によって差が大きい
サービス事業者	福祉サービスを提供する事業所も増加傾向にあり充実してきたともいえるが、提供するサービスの内容も様々で「質の確保」が必要。利用する側の満足度なども評価できると良いと思う。

②　障がい福祉の人材確保、人材育成について（17 件）

団体区分	内　　容
団体	障がいのそれぞれの団体は自分たちの課題について話し合ったり、研修をしておられ団体同士の会議も開かれています。共通する課題とそれぞれの団体の課題とがあり、それぞれが満足できるかというとなかなか難しいので、その辺りについて障がい福祉の専門の方携わってもらいたい。
サービス事業者	ヘルパー不足を解消する支援策
サービス事業者	異動により、職員の知識、経験の醸成が成されない。
サービス事業者	事業所の経営者(社長・代表)がサビ管を兼務されているところが幾多あるが、障がい福祉に対しての「知識」「経験」「支援への視点」等が欠如している。結果として、従業者への教育が成されておらず、支援員の「質の低下」が否めない。
サービス事業者	現場の介護職員不足
サービス事業者	福祉サービスを利用したい子どもの数、福祉サービス事業者の数に比べて相談支援専門員の数が少ないこと
サービス事業者	「福祉を担う人づくり」での人材の確保に課題を感じている。求人募集を行っても面接希望者が少なく、入職してもすぐに退職してしまう等、事業運営に支障をきたす状況が続いている。少人数で運営している部署もあり一人に掛かる事業負担も大きく、また利用者に対するサービスの質への影響を器具している。
サービス事業者	・相談支援に関して 計画相談を担う、相談支援専門員の数が足りない。特に障がい児相談支援事業所も少なく、毎年、２月～4 月までは、セルフプランで対応している。また、様々な問題に対応できる相談支援専門員が限られている。
サービス事業者	ヘルパーの高齢化改善支援策
サービス事業者	相談支援専門員不足
サービス事業者	障がい福祉を担う人材不足
サービス事業者	当事業所のみならず、他事業所でも抱えている問題だと思いますが、ヘルパー人材不足です。何か改善策があるといいのでは・・と思います。
サービス事業者	専門的研修の拡充
サービス事業者	・保育士、看護師等を募集しても、なかなか採用まで結びつかない（人材不足を感じる）
サービス事業者	職員の確保
サービス事業者	・介護給付（居宅介護）に関して ヘルパーが足りていない。
サービス事業者	発達障がい児、精神障がい者等の福祉サービス利用の増大に伴い、支える側の相談支援専門員や直接処遇の支援者のマンパワーが不足していることが課題です。特に、相談支援専門員の数が不足していることは大きな課題だと言えます。

サービス事業者	障がいのそれぞれの団体は自分たちの課題について話し合ったり、研修をしておられ団体同士の会議も開かれています。共通する課題とそれぞれの団体の課題とがあり、それぞれが満足できるかというとなかなか難しいので、その辺りについて障がい福祉の専門の方携わってもらいたい。

③　不足しているサービス等について（15 件）

団体区分	内　　容
団体	当事者も家族も気軽に行ける、しゃべり場、コミュニケーションがとれる、お茶を飲みながらの場所が欲しいです。
団体	長期にわたる高額な医療費の助成
団体	在宅介護の重度訪問介護を受けてくれる事業所が無い。
団体	グループホームについて 自立したいという当事者が安心して暮らしていくために環境整備をお願いしたい。一軒家利用など
サービス事業者	障がい者、潜在的社会孤立者などが毎日に生きがいを持てる場所づくりを推進してもらいたい。自立支援事業所を増やし、又事業内容の充実を図って、利用者に日中の時間を有効に使ってほしいと思います。
サービス事業者	・母子通園を実施している施設が少ない。
サービス事業者	年々、送迎を利用される方が増えてきて、人員配置や車両の維持費などが、非常に大きくなってきています。そこで、市が他事業所を含めて送迎して頂けるようなシステムが、あればいいなと思います。
サービス事業者	通勤、通所の手段
サービス事業者	一般就労した障がい者が、休日に活用できる社会資源や継続して利用できる福祉サービスがない。
サービス事業者	日常生活用具で補助を受けられるまでの耐用年数が長い。視覚障がい者や聴覚障がい者のもので、８年や 10 年というがありますが、それまでに壊れる事が多い。
サービス事業者	・外出介護について 外出介護事業所（車両を持っている事業所）が少なく、困っている。外出介護（身体介護を伴わない）は、報酬単価がわりにあわないと言って、引き受けてもらえるケースが少ない。
サービス事業者	・パート就労中で障害年金が非該当とされる障がい者については、生活資金に困窮している現状があります。低所得障がい者の生活保障についても大きな課題であると感じています。
サービス事業者	・外出介護について、「社会生活上の必要不可欠な外出及び余暇活動など社会参加のための外出の介護を行う」こととなっています。障害福祉サービス事業所を利用される方の中には、遠方に居住地があり、送迎サービスの範囲に該当されない方がいらっしゃいます。障がい者の日中活動の選択の幅を広げるためにも、外出介護事業の運用の見直しも必要であると感じています。
サービス事業者	・必要入所施設の不足。【入浴可能な≫生活介護事業所】
サービス事業者	精神障がい者に対応できるヘルパー事業所が少ない。夜間対応や土日対応できる事業所が少ない。重度訪問介護の指定は下りているが、対応できる事業所が少なすぎる。

④　市役所の障がい福祉担当対応等について（14 件）

団体区分	内　　容
団体	市役所職員の業務知識、情報不足
団体	障害者それぞれの実態を把握しているか？
団体	市職員をはじめ障がい者福祉に関わる方の障がい（特に高次脳機能障がいに関して）への認識不足　　市の関係者や市の保健所職員等と接して高次脳機能障がいに関して理解が不足すると感じることがかなりある。障がい者福祉に携わる方にまず障がいについてもっと認識を深めて欲しい。 現実を精査して欲しい。障がい者の気持ちに寄り添い、障がい者の目線で対応していただけていない事例がある。また、窓口までたどりつけない実態もある。　　自ら好きで障がいになりたい人などいない。 障がいを負うことが、自らの人生を思うようにコントロールできない状態ということを前提に 障がい福祉課の方や障がい福祉サービス等事業者さんは当事者や家族に寄り添い日々動いて欲しい。

団体	当友の会は、見えにくいと聞こえにくいの両方に不自由を感じている盲ろう当事者の任意団体です。盲ろうの状態は単独の障害ではなく、二重の障害があるため、外出や日常生活に不便を感じています。そういう不便さや不安を相談に宮崎市の福祉課に行きましたが、福祉に関する専門の知識を持った方がいなくて、生活の不安がさらに深まりとても困りました。
団体	市役所の危機管理意識の不足
団体	福祉課には、福祉の制度に詳しい人をおいて欲しいと思います。障害を負うことになった時に、真っ先に思い浮かぶ相談先は、自治体の福祉関係の部署だからです。
団体	市役所の組織としてのコミュニケーション不足と管理機能不足
団体	障害者それぞれの実態を把握しているか？
団体	福祉課では、障害の種別をこたえられて、その人に合う対応ができるようにしてほしい。
サービス事業者	介護保険課・障がい福祉課・子育て支援課等、福祉サービスに係る市役所内での連携が遅く、または無く、私たちのサービス事業所が支援できない事が過去何度か起こりました。
サービス事業者	行政主導による工賃向上等への取り組みの不足。供に行う感覚のなさ。
サービス事業者	解釈のお尋ねをさせて頂くが、ご対応頂く市の職員の方によって回答に乖離が多い。
サービス事業者	口頭や電話だと質疑しても催促しないと回答してもらえないことがある。 → 早急に質疑応答の窓口を増強するか、ある程度一本化し、体制を強化すべき。
サービス事業者	職員の異動が早すぎる。障がい者にとって、話のわかる慣れた方が安心出来るはずなのに、短い期間で変わるので戸惑う。

⑤　障がい者への情報提供、伝達方法について（13 件）

団体区分	内　　容
団体	施設や病院などで、窓口にタブレットを置いて遠隔手話通訳設置にしてほしい。コミュニケーション取りやすくなるため
団体	聞こえづらい人でも、無理なく分かるような仕組み（文字による案内板等）が、官公署にも、お店の窓口にもあまりなくて、いちいち「聞こえないので書いてください」とお願いしなくてはなりません。それを言えない難聴者も多くて、よくわからないまま勘で動いて、間違ってしまうこともあります。
団体	個人情報保護法がある為に障害者への情報が少なく、団体がある事さえ伝わらない
団体	親元からの自立⇒共同生活援助等の障がい福祉サービスの利用やＧＨ暮らしの体験の機会・場が少ないことと。ＧＨに関するいろいろな情報がほしい。
団体	高次脳機能障がいに関する調査のあとに、市で、市民向けに支援できる病院や事業所・施設の一覧を公表し、市民が利用できる体制を確立して欲しい。
団体	聴覚に障害があっても、通訳（要約筆記や手話）を利用する方法を知らない人が多くいます。 コロナのワクチン接種のときには、そのような人にも自動的に通訳がつきました。 そのような仕組みがどんなときでもできるといいなと思います。
団体	情報を得やすくなるともっと有り難いです。
サービス事業者	生活支援の充実→分かりやすい情報の提供 ※サービス形態上、はじめて障害福祉サービスを利用される方々ばかりなのですが利用開始(受給者証取得の流れ等)までの流れが分からず戸惑っていらっしゃる方が多い印象です。都度、ご説明をしていますが宮崎市のホームページ等にも記載があるとこれから相談しようと思っていらっしゃる方にも分かりやすいのではと感じます。
サービス事業者	同行援護サービスを知らない視覚障がい者の方が、まだ多数おられると思われます。相談支援員経由もしくは、紹介での新規利用者はいらっしゃいますが、市役所から聞いて・・と問い合わせしてこられる方は、今のところないです。必要な方に情報提供できるシステムがあるといいのでは・・と考えます。
サービス事業者	障がい者や保護者の方に、福祉に関して、わかりやすい情報を提供する。
サービス事業者	事業所情報や、相談支援事業所を検索しにくい。情報弱者にとっては役所まで足を運ぶ、又は電話での問い合わせのみしかできないので、ちょっと気軽に質問できる場所があると良いと思います。また関連アプリなどがあれば告知してほしい。
サービス事業者	児童デイが増えたこともあり、どこの事業所がどういう特色でどういう特性の児童が得意なのかが解りづらいので、児童を紹介するときに苦労することがある。
サービス事業者	市町村の判断に委ねられているような規制や制限、権限事項などに関する Q&A が少ない。 → Q&A は公開し、質疑に応じ、都度加除修正していくべき。

⑥　学校との連携について（９件）	
団体区分	内　　容
サービス事業者	学校との連携(一部の学校)が取れていないため学校内での児童の困り間の解消が難しいと感じることがある。
サービス事業者	医療連携、教育連携が未発達と思えます。 子どもの健診と発達支援の連携など、県内でも力を入れている、先進事例を柔軟に検討したほうが良いのではないでしょうか。
サービス事業者	障がい者の支援にあたっては、どの年齢にあっても障がい特性の適切なアセスメントが重要であるが、早期（幼児期、学齢期から）のアセスメント経緯、支援経緯等がその後の支援時に引き継がれていない。特に学齢期にあっては、教育機関での支援記録が福祉施設に引き継がれることは困難な状況にある。また、福祉サービス事業所間においても同様である。このため、社会的自立を担う成人期（学齢期後）の本人、並びにサービス提供事業所の支援の負担になっており、有期限の福祉サービスで成果を上げることを難しくしている一因となっている。
サービス事業者	当事業所は放課後等デイサービス、日中一時支援となりますが、学校との情報共有に必要性を感じます。学校、家庭、事業所と共通意識をもち一貫性のある支援をと思いますが、学校と事業所の対応しやすい時間帯が全く逆なので、学校を交えた担当者会議は日程を組むことも難しく、学校お迎えの時にも時間に限りがあり、こちらからお声かけをしても、ここ最近、その日の様子、学校での学習レベルなどが把握しきれないのが現状です。残念なことに教育者であっても、福祉サービスを業者と認識され、保護者が契約しているので学校は関係ないといった認識の方もおられます。はっきりとそう言われたことがあります。もっと、福祉サービスへの理解が深まると良いなと思います。
サービス事業者	学校との連携が　円滑に行われていないこと
サービス事業者	特に、学校の先生方が、障がい児を取り巻く福祉サービスの種類や流れについて理解ができていない。
サービス事業者	本来は原則保護者を通してのやり取りとなりますが、急を要する時に学校へ直接ご連絡することもあります。その際に、面倒だ、鬱陶しいというようなひどい対応をされる学校もあります。(事務担当の方でしょうか…)もっと幅広く福祉サービスが知られると良いなと思います。
サービス事業者	１つ目に記載した子ども達の様子の共有だけでなく、学校の動き(例:コロナで校時程(下校時間)が変更になった→事業所の請求方法が変わるなどは、やはり保護者に周知しても報告に抜けがある事もあるため、学校との直接のやり取りが必要になる)も、もっと学校と福祉サービスとの連携が普段から取れたり、取りやすい環境、何かを利用した一括した管理であると良いなと感じます。子ども達の下校時間、学校の行事予定もです。下校時間は、毎回その都度保護者より金曜日の夜に時間割りを写真でメール頂いていますが、金曜日に翌営業日の送迎予定を立てなければならないのですが、週明けの予定が当日まで立てられなかったり、学校へのお迎え時のご相談が事前に行えなかったりします。行事予定も年間行事予定表は保護者から頂きますが、変更などはこちらでは分かりません。(保護者には変更等はお知らせくださいとお願いしていますが、特性をもった子ども達を育てながら生活を送っている保護者は、なかなか余裕がないのが現状です)　療育の現場としては、子ども達のその日の疲れ具合、学校行事の実施などによっても、体調面、精神面に合わせた支援を行っているので、適宜予定していた療育計画を変更することもあります。学校からの引き渡し時、もしくは事前に把握したいところです。教育、福祉との連携がうまくいくと、この辺りも解消できるのではないかと思います。
サービス事業者	学校との連携に積極的な相談支援専門員が少ないのが気になる。

⑦　就労支援、自立支援について（９件）	
団体区分	内　　容
団体	障がい者の就労の場として市役所は？　知的障がい者の仕事の場を広げてほしい。
団体	障がい者雇用について 単に雇用率の数字を評価するのでなく当事者と雇用主、または会社の間を取り持つ方を、おいてもらい適切なきめ細かい見守りや支援体策など、職場と支援機関とか協力して定着率アップを図って頂きたい。
団体	リウマチを抱える患者の就労支援 働き盛りで発病した患者へのサポート支援
サービス事業者	働く場所があるのは、ありがたいのだが作業内容が乏しい

サービス事業者	地域移行支援
サービス事業者	雇用について どんな障がいがあっても一般企業で働く事の出来る街
サービス事業者	一般就労先の企業説明会等の開催が出来ないものなのか
サービス事業者	就労支援の充実
サービス事業者	就労支援

⑧　医療的ケアが必要な障がい者・児等について（８件）

団体区分	内　　容
団体	医療的ケア児が重度化する中、学校卒業後に希望する事業所に通えるのか不安です。また、療育センターの短期入所が難しく、受け入れ先が少ないです。
団体	医療的ケア児の学校の送迎や通院等は保護者の負担が大きい状況です。無料のスクールバスには乗れず、移動支援は利用料がかかる上にケアが出来る方の同乗が必要な場合もあります。週一回でもよいので、送迎を手伝っていただきたいです。
サービス事業者	●重度心身障害児・者を専門にする相談支援事業所並びに支援員の育成と事業所増対策を講じて頂きたい。重度心身障害児・者を主に取り扱う基幹相談支援事業所のマンパワーに比して担当件数増大している現状を打開するために、他相談支援事業所への紹介移管が進められている現状に対し、保護者から不安の声が寄せられている。 その理由として、 １．移管先事業所が重度心身障害児・者の取扱経験並びに対象施設とのネットワークが伴っていないため、保護者のニーズを的確に把握し、事業所との仲介業務を行い、的確な事業所選択と個別支援計画が立てられないのではないかという不安。 ２．本来保護者の心のケアを含めて寄り添う支援が求められるが、重度心身障害児・者を担当した経験が希薄である場合、保護者が何を求めているのか把握できず、また、現状把握ができていないためコミュニケーション不足に陥っているケースが散見される。 ３．重度心身障害に対する知識・認識・対応不足　対象利用者が安心安全に満足のいく支援を享受できるよう火急に対応をして頂きたい。
サービス事業者	●重度心身障害児・者でありながら、医療的ケアでもなくまた就労等の事業所へもいけない、いわゆるファジーな状況下に置かれている区分６等の対象者の行き先（日中活動・共同生活援助等）について積極的に検討して頂きたい。 特に、親亡き後を見据えた重度心身障害者が安心して利用できる共同生活援助（グループホーム等）の体制充実を図って頂きたい。
サービス事業者	行政には、緊急時対応が必要な事例に関して福祉サービスの支給量を早急に手配してもらっており感謝しています。一方で、重度障がい（重症心身障がい児者）の方々への支給量にゆとりがなく、主たる介護者の介護の大変さがご理解いただけていないのではないか、と思うことがあります。例えば、入浴回数が原則週５回までとなっていますが、週７回入ることができるよう検討してもらいたいと思います。共生社会を目指すためにも、行政や市議会議員の方々、いろいろな方々に障がい者の方々の暮らしを知っていただくことが必要です。また、災害が起きたときどうしたらいいか(身動きがとれない)など不安を抱えている利用者の家族は多いので、具体的な支援策が必要だと思います。
サービス事業者	親亡き後を見据えた重度心身障害者が安心して利用できる共同生活援助（グループホーム等）の体制充実を図って頂きたい。
サービス事業者	●放課後等デイサービスの事業指針の見直し 現行の放課後等デイサービスの内容は、どちらかというと知的障害をベースに組み立てられており、重度心身障害児を対象とした放課後等デイサービスで求められる保護者のニーズにそぐわない内容が多く見られる。入浴を例に取ってみると、重度の場合自宅での入浴はスペース、入浴支援機材等の問題により困難を強いられるため、放課後等デイサービス事業所に入浴支援依頼が多数寄せられている。それは、学校教育には求めることのできない生活支援を保護者が事業所に救いの手を求めてきている証と言える。しかし、学校終了後の短時間に個別支援計画を履行し、且つ入浴の時間を確保することは至難の業であり、夏休み等の長期休暇においてもマンパワーの問題でなかなか実現するのは難しく、保護者の悲痛な希望を叶えることは非常に困難な状況にある。現在、家庭の事情等を勘案し、入浴支援を行うケースが発生しているが、入浴に際して最低でも２人の職員が入浴介助に当たらなければ、重度心身障害児の場合はリスク回避をしながら安全に入浴支援を行うことができない。上記は一つの事例に過ぎないが、障害特性、特に医療的ケアや重度心身障害児に即したに放課後等デイサービス事業指針並びに報酬体系を早急に構再検討し、国への働きかけを行ってい頂きたい。
サービス事業者	・医療的なケアを必要とする児を、受け入れる施設が少ないと感じる。

サービス事業者	医療的ケア児が重度化する中、学校卒業後に希望する事業所に通えるのか不安です。また、療育センターの短期入所が難しく、受け入れ先が少ないです。

⑨　サービスの標準化、利用者負担等制度について（８件）

団体区分	内　　容
団体	災害避難所のバリアフリー、洋式トイレ、簡易ベッド
サービス事業者	居宅介護（家事援助・身体介護）サービスができる事・出来ない事が明確ではない為利用者様の要望が過大になっているように思います。介護保険同様しっかり決めて頂きたいです。
サービス事業者	当事業所は、就労継続支援Ｂ型事業をしていますが、利用者の方々が年々少なくなってきており、新規の登録の方も少なくなってきています。他の事業を組み入れやすいように、生活介護などを新規で申請できるようにして頂きたいです。
サービス事業者	福祉サービスの提供について（保育所等訪問支援の統一を図って欲しい）
サービス事業者	時間数が増やしやすい為、高齢福祉の介護移行時や移行後トラブルが増えがち。
サービス事業者	10 月からの交付金加算（名称の変更になると思いますが）による利用者負担増について
サービス事業者	日常生活用具の交付基準額が、昨今の機器の値上げしている現状に合っていない。昔のままの基準額でなされている為、利用者の自己負担が大きくなってきている。
サービス事業者	介護保険との間の利用者（６５歳）の受け皿や対応策が増えるとよい。

⑩　障がい福祉の手続きや制度について（７件）

団体区分	内　　容
団体	遷延性意識障害の身障者手帳への明記
団体	高次脳機能障がいに関して障がい者の実態の把握がほとんどなされていない。高次脳機能障がいに関する現状の把握を急ぎしっかりやって欲しい。その把握は２種の視点で把握をお願いしたい。 調査の視点１：高次脳機能障がい者当事者や家族の実態 調査の視点２：高次脳機能障がいへの支援の実態 ＜調査の視点１＞ ①まず、高次脳機能障がいの方の身体障がい者手帳や精神保健福祉手帳の取得割合や人数の把握、本来は障がい者手帳が取得できるが、診断体制等の不備のために手帳を取得できていない方がどれくらいいるのかなど、福祉の支援を受けられていない方を含め、詳細な実態の把握等 ②高次脳機能障がい者の就労状況や生活の実態、就労率（一般就労と福祉就労の別）、就学状況、生活や経済的状況等実態（在宅か、施設入所か、引きこもり等の実態、障がい者への年金支給など公的経済支援等も含め）等　まだ表に出ていないが困難を抱えている方の生活実態の把握をする必要がある。 ＜調査の視点２＞ ①高次脳機能障がいの診断体制 どれくらいの医療機関が対応できているか・対応できている医療機関はどこか。診断できる医療機関の割合は医療機関中どれくらいか等 ②リハビリ体制（医療的リハビリ＋社会生活リハビリ＋就労・就学のリハビリ） どれくらいの機関・事業所が対応できているか・対応できている機関・事業所はどこか。その対応の割合は全機関・事業所中どれくらいいか等 ③就労・就学支援 どれくらいの機関・事業所が対応できているか・対応できている機関・事業所はどこか。その対応の割合は全機関・事業所中どれくらいいか等
サービス事業者	調査指示、依頼に担当者名が記載されていないことがある → 十分な体制を確保できておらず、出して集約するだけで精一杯なのだろうということがわかる。
サービス事業者	・福祉サービス利用に関して、当人が受けたいサービスを早期に受けることができるように、書類申請の円滑化・簡素化をお願い致します。
サービス事業者	お世話になります。年度の切り替えで、毎年担当の方が総入れ替えされ、前年度承諾されていたものが、急に承諾されなくなったりする。（（例）就労実績が、フリーランスでも収入の証拠があれば OK とされたものが翌年 NG となったりする） 前年度に出した見解をしっかりと、福祉課として責任を持って取りまとめ、翌年に引き継いで頂くと助かります。宜しくお願い致します。

サービス事業者	・書類の簡素化、形式の統一（市担当課による書式・様式の作成）
サービス事業者	事業所への事務処理負担

⑪　障がいへの理解・啓発について（６件）

団体区分	内　　容
団体	障がいの周知
団体	聴覚障害者、特に難聴者については、ほとんど知られていないと感じています。なので、聞こえないから書いて欲しいと伝えても、書かずに耳元で大声で話すなどの、的外れの対応をされることがあり、悲しくなります。また、話せるので、聞こえるだろうと思われたりもします。
団体	共生社会の創り手としての当事者意識が少し足りない気がする。
団体	障がい者と健常者が、一緒にできる場、自由に交流できる場がないので、障がい者の活動など、市民の認知度が低い。
団体	３障がいに（特に高次脳機能障がい）対する啓発が、市民はもちろん行政や医療・福祉関係者に対しても不十分である。高次脳機能障がいであることを伝えると、それ何ですかと言われることが多い。まして、それがどんな特性であるかを知った人には、まずお会いできることがほとんど無い。偏見もすごい。身障手帳と比較して精神手帳であることを告げると、引かれることが多い。したがって、自分が高次脳機能障がいであることを、他人には伝えられない。伝えるとそれまでの関係が壊れることが怖い。こんな状況は、現代の社会であっていいのだろうか。宮崎市民にことごとく深く周知する取り組みは急務である。
団体	障害者でも、なくてもお互いに理解しあう住みやすい街づくり環境を。

⑫　サービス報酬、加算、補助金について（６件）

団体区分	内　　容
サービス事業者	就労継続支援Ａ型事業所の収益事業アップにかかる初期投資の補助金等考慮できないものか。
サービス事業者	職員への補助
サービス事業者	制度上の問題ではあるが、サービス報酬費が出来高払いのため、零細の事業所は自立支援が成就した結果収入が不安定となり、人件費等に支障が出る。＝宮崎市障害福祉課の問題ではない＝
サービス事業者	施設外就労加算の復活を期待したい。
サービス事業者	訪問する在宅の方の中には大変体格の良い方もおられ、一人対応では困難と思われるケースもあります。状況に応じて二人対応等の検討をお願いしたいと思います。
サービス事業者	授産商品の商品及び販売力向上が工賃向上にすぐに直結しないので、数年単位で基本報酬算定区分を据え置きで設定してほしい。

⑬　緊急時の対応について（５件）

団体区分	内　　容
団体	施設や病院に電子掲示板を設置を。災害やアナウンスの情報があると助かるため
団体	災害時の不安が大きいので、個別の災害時支援計画を早めに作成して備えていきたいところです。また、ポータブル電源の補助が始まって大変感謝しています。
サービス事業者	災害時の障害者・児及び家族への支援 地域と本人、医療、福祉等の関係者が連携していくシステムを構築し、災害発生時に地域で動き出せるように日頃から市はリーダーシップをとってほしい。
サービス事業者	防犯・防災の充実 →防犯・交通安全対策の整備 ※施設内での研修にも限界があり、可能であれば事業所職員に向けての防犯や防災の研修があるといいなと感じます
サービス事業者	コロナウイルス感染症対策 メンバーさんが濃厚接触者となって当ホームで待機することになった。関係する事業所は通所をシャットアウトされる。濃厚接触者の陰性が判明した後も通所を拒否となり受け入れざるを得ない。基礎疾患のメンバーさんも在籍しており、家族の受け入れ体制もむつかしい。ちなみに当ホームは日中支援サービスは行っていない。困惑するばかりである。

⑭　団体・事業者間、関係機関との連携について（５件）	
団体区分	内　　容
団体	各障がい者団体（特に、障がい福祉サービス提供者ではない団体）同士のつながり・協働の機会が少ない。
団体	高次脳機能障がい当事者の、社会復帰、自立に向けて、市役所福祉部　医療機関　障がい者施設　就労支援事業所 等がわかりやすく、見える形で連携していただきたい。
サービス事業者	・発達障害に関する普及、啓発はもとより、具体的な課題や取り組みが明確になされていないように感じています。また、発達障害に関しては専門機関の見極めがないと、福祉関係者、福祉相談機関自体の理解が図られていないことが散見され、それにより具体的な取り組みが進まないこともあるのではないかと感じています。
サービス事業者	心のケアについて 発達支援領域で、保護者、とくにお母さんが育児に悩んで病んでいく過程があり、心のケアが必要では？と相談支援事業者に伝えても相談がないので対応できないと言われた事があり、確かに事業者でも同様です。 ガイドラインでは対応するのが事業者ですが、医療連携のないまま対応は困難です。
サービス事業者	行政、機関間の連携

⑮　その他（11 件）	
団体区分	内　　容
団体	市の体育館をはじめ会場等の障がい者用のトイレが少ない上、夏は暑く、冬は、寒い
団体	殆どの会場が、交通の便が悪い上、自動車利用でも雨の日等は、車から乗り降りする場合の屋根がついているところが少ない
サービス事業者	道路や歩道がガタガタしているところや道が狭いところでは、車いすや視覚障がい者と同行していると不便に感じることがあり、危険を感じる時もある。
サービス事業者	道路問題を障がい者に、優しい環境にしてほしい。
団体	宮崎市障がい者計画（第３期）について Web 上にアップされている関連書類を見ました。名簿も関連写真や事業内容も過去のもので、現状も成果も分からない。この間にコロナ関連で中止や中断した事業もある。障がい者スポーツ大会はコロナ以前に中断している。素晴らしい文言で書かれてあるが、具体的な内容や現状が見えない。防災と防犯を同じくくりにしてあるところも、全く内容が分かっていないことが分かる。それぞれ違う視点で深堀していないから、解決の方向に向かっていないことが、資料から分かった。
サービス事業者	基本理念、目標等が周知されていない。障がい者計画の基本理念が何であるかを知っている市民はどのくらいいるのでしょうか。
サービス事業者	行政からの書類の提出の多さに本業に支障を来している。残業をしないと提出期限を守ることが難しい。 作業の途中で保存ができないフォーマットで、業務の合間での作業が無になることが多く 閉口している。（この書類）入力途中での保存が可能なフォーマットでの回答を用意していただきたい。
サービス事業者	このアンケートを携帯ではなく、パソコンから送付できるようにわかりやすくしてほしい。URL から入れなかったので。 アンケートの委託先が雑なところが多いので（以前は Fax 番号が間違えていたなど）十分に指導してほしい。アンケートに協力したくても配慮の無さにより余計な時間がかかり、負担がかかり過ぎます。
サービス事業者	・宮崎市自立支援協議会の利用促進
サービス事業者	成年後見制度後見人の変更について、後見人の業務評価を行う制度が不十分。後見人も様々で、後見人としての役割をもう少しきちんと行って欲しい場合もある。
サービス事業者	・サポートセンターの有効活用

３．本市が推進すべき障がい者福祉の方向性（自由記述）

問．障がい者福祉に関して、宮崎市がどのように取り組むべきと思いますか。３つまでご自由にお書きください。（行政だけでなく、事業所等の関係機関全てを含む、全体的な方向性についてご回答ください。）

本市が取り組むべきことへの回答を内容で分類すると、「新たな障がい福祉関連サービス・サービスの拡充」が 16 件と最も多く、次いで、「障がい福祉に携わる人材確保・育成」が 13 件、「障がい担当市職員の知識・スキルアップ、障がい者の実態把握」「障がいや障がい者への理解、啓発・広報、インクルーシブ教育」が 12 件となっている。

※内容別の件数

内　　容	件数（件）
①　新たな障がい福祉関連サービス・サービスの拡充について	16
②　障がい福祉に携わる人材確保・育成について	13
③　障がい担当市職員の知識・スキルアップ、障がい者の実態把握について	12
④　障がいや障がい者への理解、啓発・広報、インクルーシブ教育について	12
⑤　障がい福祉に携わる人の協議・交流の場について	11
⑥　意思疎通の支援、障がい者へのわかりやすい情報提供について	10
⑦　地域生活・活動支援について	7
⑧　障がい福祉行政（事務手続き等含む）について	6
⑨　障がい者雇用について	5
⑩　支援者の支援について	5
⑪　市役所の障がい福祉業務（人員配置や業務マネジメント）について	5
⑫　災害時に備えた対策について	5
⑬　その他	10

※各回答内容

①　新たな障がい福祉関連サービス、サービスの拡充について（16 件）	
団体区分	内　　容
団体	重度の医療的ケア児者の通所や入所の受け入れを、市内の施設で出来るように進んで欲しいと思います。
団体	相談窓口の整備 24 時間体制
団体	重度訪問介護を受けてくれる事業所を増やす。
団体	当事者が相談員（ピアサポーターという立ち位置で）として、電話・メール・SNS で相談受付ができるといい。特に親が子どもの困り事について相談をしたいときに、支援者ではなく経験者として相談対応できると、役立つのではないかと考える。最近は SNS 上での誹謗中傷もあるので、いつでも相談できるツールがあるといい。相談窓口の設置。
サービス事業者	利用者さんと関係機関の結びつきを、強化して頂きたい。
サービス事業者	利用者と関係機関との連携を強化して欲しい。
サービス事業者	障がい者が、各支援を受けたり、手帳を受給する際、市からの「受給・支援についての心構えや支援される事に対しての感謝の気持ちを持って各支援を受ける様、充分な指導（教育）を行なうべきです」
サービス事業者	相談支援事業の拡充。基幹相談支援事業所の統廃合。
サービス事業者	当事者の声を、反映させて 、先進事例を取り入れる
サービス事業者	困難事例への対応の協力

サービス事業者	通所施設内の空きスペース有効活用について寛容な対応を。　当施設では、令和元年５月１日に、補助金を得て新たに短期入所施設を開所。その後放課後等デイサービスの利用者増傾向のため、短期入所居室有効利用について打診しいたところ、補助金が入っているため指定事業の運用しかできない。との説明を受けました。 厚生労働省に確認したところ、令和３年３月31日発出文書　子発0331第９号 社援発0331第15号 障発0331第11号 老発0331第４号において、２通所事業所、３多機能系事業所の場合 社会参加・日常生活に課題を抱える者につき、日中を過ごす場として、通所事業所や多機能系事業所に空きがある場合に、本来の業務に支障がない範囲で受け入れられること。また、空きスペースを他分野の支援に活用できること。(主な施設については別紙１参照)と通達がなされているとの回答がありました。今後の利用者増に対応する必要性が発生した場合、短期入所等の日中空きスペースを活用した事業実施について、寛容な対応をお願いしたい。
サービス事業者	・障がい福祉サービスの対象者には、年齢層・障がい種別・障がい程度等の違いにより、医療的ケアの必要な方から就労可能な方まで様々な障がい者がおられる。
サービス事業者	乳幼児期の悩み相談を保健師やおおぞらだけでなく、児童発達支援事業所でもできるシステム作り。体の発達や言葉の発達だけでなく他者との関わりも見えると思います。
サービス事業者	セルフプランの許可
サービス事業者	スムーズな65才以上の障害福祉サービス継続。
サービス事業者	就労継続支援Ｂ型事業と就労継続支援Ａ型事業の間の新たな就労支援事業の開発。 （※精神手帳保持の方など、Ｂ型事業では、レベルが低すぎるがＡ型事業となると続かない等、課題が多いため）

②　障がい福祉に携わる人材確保・育成について（13件）

団体区分	内　　容
団体	福祉サービス事業所⇒相談支援事業所の職員の質の向上を図り、利用者の不安材料にならない職員を望む。
団体	当友の会には研修を受けた「盲ろう者向け通訳・介助員」がいます。県からの委託事業を受託して、盲ろう者の依頼に応じて派遣していますが、通訳・介助員がなかなか増えません。宮崎市でも「盲ろう者向け通訳・介助員」を養成していただけないでしょうか。
サービス事業者	支援員の処遇改善
サービス事業者	福祉を希望する人材(障碍者を除く)とのマッチング事業を行ってほしい。働き始める前に現場で体験実習できる機会を作り、実施優を通してお多賀の火防する労働環境を調整ができ、職場の教育負担も軽減できる。また体験実習期間も企業に補助金なども検討してもらえれば教育担当の人材の雇用にもつながる。
サービス事業者	福祉を担う人材の育成
サービス事業者	「人材助成金」について 正職ではないものの、正職なみに働いているパート職員もいます。そうした方々にも均等に配分できるような仕組みが必要と思います。
サービス事業者	質の良い支援をするには従業員の教育が大切ですが、どうしても従業員の教育にかける費用が負担です。一部負担を補助していただけると助かります。
サービス事業者	支援者に対して「奴隷扱い・自分で雇った家政婦扱い」などの「勘違いの多い受給者」が実在しているなどの事から、ヘルパー不足は解消しない。
サービス事業者	職員の労働環境の改善、人材の資質向上
サービス事業者	・障がいの種別に応じた、専門的な高度の知識を持ったスタッフで、運営管理できるよう公的な立場からも整備を進めて欲しい。
サービス事業者	・カスタマーハラスメントについて 介護の現場では、カスハラ問題も浮上しているが、事業所の質にも問題があることを考慮し、資質向上のための研修実施や利用者・家族の思いに沿ったサービス等（要件の拡大等）実態に即した要綱を作成する必要がある。
サービス事業者	相談支援専門員や直接処遇の支援に携わる方々のマンパワーが必要なため、その確保に関する取組みが必要です。福祉施設への学生（大学生、専門学校生、高校生）のインターンシップを教育委員会等が主導のもとに、積極的に行い「福祉施設で働く＝きつい、大変」のイメージを変えるなど、若者の就労意欲を高めるような取り組みが必要だと思います。 また、相談支援専門員の人数はなかなか増えないため、急ぎ取り組む必要があります。

サービス事業者	相談支援専門員の研修（関係機関との連携の仕方を学ぶ）の徹底 放課後等デイサービスの連絡協議会において、学校と事業所に連携についての実際を尋ねたところ、ベテランの事業所の児発管も、相談事業所の相談員も、学校との協議に困難さを感じていると話していた。敷居の高さについて触れ、どうせ相手にされない、連携は難しいとこぼしている。それでいいのか？自問自答して打開してほしいと感じた。利用者ファーストの支援を行うことは、事業所職員としては研修で厳しく教わることであり、周知していることである。しかし、学校が上で福祉は下という不思議な意識が各関係機関に存在することは否定できない。各関係機関が、立場の違う専門職という意識を持ち、対等に協議すること、その意識を全ての支援員が持つことが、利用者の最善の利益の追求につながると思う。放課後等デイサービスガイドラインには、各事業所の独自性を重視し、利用者の支援に当たるように書かれているが、そこには各関係機関が協働する必要が書いてある。それぞれの作成する計画書を持ち寄り、担当者会議を行ない、利用者の実態について情報共有し、協議する。そこに解決策が見出せるはずである。福祉の相談支援専門員が、学校現場で機能していない現実を重視し、行政は早急に相談支援専門員の関係機関との連携の仕方を学び合う研修会を提供し、解決していく必要がある。APDCA サイクル、アセスメント、計画、実行、評価、アセスメント。利用者の実態把握に始まる計画書の作成、それには関係機関の連携が不可欠である。利用者ファースト。支援員も、相談支援専門員も、学校の教員も全て、子どもにとっては黒子でなければならない。その自覚を関係機関は改めて肝に銘じ、協働して支援に当たっていきたい。

③　障がい担当市職員の知識・スキルアップ、障がい者の実態把握について（12 件）	
団体区分	内　　容
団体	職員の業務に対する知識の集積を図る。課内で勉強会。各担当が、資料で自分の担当業務を説明し、質問を受ける。これにより、自分の課内の業務がわかる。質問を受ける事により、さらにレベルアップできる。担当の正、副を実際に活用する。
団体	まずは、それぞれの障害者の実態を良く知ること。
団体	市や県の担当者が、障がい者が活動している現場に出向いて、どういう状況か、視て感じて、同じ目線になって欲しい
団体	遷延性意識障害者の実態調査
団体	聴覚障害者と接する可能性のある全ての方々に、聴覚障害者についての知識を持っていただき、的確な対応ができるようにして欲しいと思います。特に、分かりやすい筆談の仕方は、全員がマスターしていただけると有り難いです。
団体	障がい者福祉を担う人材（特に高次脳機能障がいを担当できる人材）の育成と行政における専門家の確保（行政の窓口に専門職を配置する等）推進 高次脳機能障がいの支援をできる行政の担当者・病院・事業所等はごく限られる。その支援ができる病院・事業所等が少ないのは、専門的な人材が育っていないこともその大きな要因と考える。本市に必要な人材、どれだけの人材を育成することが必要か調査をされ、その人材養成を計画的に確実に取り組んで欲しい。行政の担当者についても、窓口や研修会等であまりにも高次脳脳機能障がいについてご存じないことに驚くことが多々ある。専門職の育成とその行政窓口等への配置を強く要望する。また、例えば、相談支援員がモニタリングをやり、作業所の様子や当人の気持ちなど聴き取りをしている例があるが、ただ聴き取りをして記録するだけではもったいない。相談支援員の方の経験を共有し研修に改善に役立てていく仕組みを作ると、障がい者への接し方の専門性が深まると同時に効率性も出てくると思う。宮崎市内の良い資源を蓄積し有効利用することも、研修等の進め方で大きな効果につながると考える。
団体	障がい者の声を直接聞いてほしい。当団体の当事者は、他者との「語らい」、一人での「移動」、「情報の入手」の３つに特に困難を感じています。このコロナ社会ですが、３密を避けたら社会から孤立してしまうという大きな不安を抱えているからです。

団体	結果で勝負・課題が解決する福祉行政を・幸せが行き届く福祉行政を 関係機関に丸投げするのではなく、行政自らが真剣に考え、改善していき結果を出す姿勢を持って欲しい。 ・障がい者計画を立案して満足せず、何がどう改善されたのかを厳しく検証し、結果で市民に提示すること、結果が出て市民が幸せになることこそが大事。通例、数年で担当者は異動し、そのたびに白紙に還ることが多い。そんなやり方ではなく、結果を出して欲しい。そのためには、まず、実際に困っている人の声を直接丁寧に聞いて、しっかり実態や課題を把握する体制の構築を確立する。次に、その声・課題を聞きっぱなしにせず、宮崎市全体で情報を共有し、どう改善していくかを常に市民の立場に立って考え、確実にその課題が解決する体制を早急に確立して欲しい。この施策をやりましたでは全く不十分。結果が出たかがポイント。業務のマネジメントをしっかりやって欲しい。課題の把握が十分でなければならないし、課題を知っても仮にそのまま課題が放置されては、市民は宮崎市で暮らしていることを幸せとは感じない。是非強い取り組みを願う。障がい者は好きで障がい者になったわけではない。障がい者から抜け出したいと強く願っている。話せない、人生を楽しむ事を知らない、そんな生活を送る、望まないのに余儀なく過ごす人生を送る障がい者もいる。生きる意味を見いだせない者も少なからずいる。最善を尽くして頂きたい。
団体	行政は数で良し悪しを判断しがちだが、もっと現場の状況を知ってほしい。
団体	必要な支援が必要な人に、平等に届いていない現実を知り、対策を練ってほしい。
サービス事業者	職員がもっと障がい者に対し理解を深める為、色々な障がい者施設や事業所等にもっと足を運んで、何日間か現場を視察する。実際に働いてみるのも良いかと思います。
サービス事業者	行政や市議会の方々が、重度障がいの暮らしを直に見て、理解を深める機会が必要だと思います。

④　障がいや障がい者への理解、啓発・広報、インクルーシブ教育について（12 件）

団体区分	内　　容
団体	障がい当事者が小学校などの教育機関で出張講座や交流の機会が設けられ、理解が進むといい。機会の創出。
団体	佐土原町身体障害者福祉協会の存在を伝えて頂きたい。障害を負った人も家に閉じこもる事なく、障害を受け入れ次に繋いで欲しい
団体	学校教育において、偏見をなくし、差別をなくし、助け合い、支え合い誰もが、安心して、生活できる、心の教育にも力を、注いでいただきたい。
サービス事業者	インクルージブ教育の推進 共生社会の推進を図る上でも、障がい児が生まれ育った地域の学校で普通に学べる環境は障がいの無い児童にとっても有意義であり、将来の宮崎市を担う優秀な人材が形成されると確信する。そのためには教育現場に福祉関係者や医療関係者が関わり、教諭等の負担を軽減していく必要がある。
サービス事業者	・共生社会実現のための啓発 障がい者に対する市民の理解を促進するための広報啓発活動
サービス事業者	・小、中学校と支援学校の居住地域の学校交流学習の推進。
サービス事業者	障がいのある人への理解の促進

サービス事業者	学校の先生方に障害についての理解を深めて、学校での指導に役立てていただけるように、全ての先生方に研修を受ける機会を提供してほしい。特別支援に関わる担当者だけが研修を受け、他の先生が機会を得られないのは、障害のある子どもにとって不幸である。 放課後等デイサービスの存在に関して、まだまだ周知されていない現状である。利用者を学校に迎えに行っても挨拶さえしていただけないこともある。会議に伺って、利用者についての協議をする際も、福祉の専門家としての意見を述べても、対等な意見に発展しないことがあり残念である。平成３０年５月２４日の文科省と厚労省の共同通知文を、福祉の人間は研修の際に学ぶ機会があるが、私たちが学んでいる内容が書かれていても、その書かれている内容が学校現場で徹底されているのか。徹底されているようには感じられない。特に、宮崎市の相談員でさえ、学校での会議では言葉を選びながら会議を進め、障がい児支援利用計画の読み上げにおいては、「福祉の計画書ですから、参考になるかわかりませんが」と控えめな説明で終わってしまい、立場の違う専門家として対等に利用者についての協議を行なう雰囲気には高まらずに閉会してしまう。行政の姿勢が学校に遠慮した態度である限り、この関係機関の連携の支援は深めていきようがないのではないか。福祉の専門職の研修会でモデルを示す担当の相談員が、学校での会議ではまともに意見も示してはくれない中、指導を受ける事業所の職員は何を指針に支援を展開していけばいいのか。途方に暮れる。国が言う専門職としての対等の立場とはどういうことなのか。 専門職のプライドを持ち、 自分の職責について自覚を持ってほしい。 宮崎市の相談事業所の職員にも考えて仕事をしていただきたい。
サービス事業者	障害者差別解消法の改定なども含めて、市民への周知活動が必要である。まだまだ、市民への障害理解に関するアプローチが弱いと感じる。
サービス事業者	共生社会実現のための具体策の公募と助成 → 実現すれば、行政主導の事業としては全国発の取り組みとなり、宮崎市へ移住する障害者やその家族は多くなると思う。
サービス事業者	学校での障がい者に対する教育時間を増やして、子供の時から、障がい者に対する理解を深められるよう取り組むべき。

⑤　障がい福祉に携わる人の協議・交流の場について（11 件）

団体区分	内　　容
サービス事業者	殆どの場合、事業所間は緊急時も含め連携が取れているが、市役所との連携には時間が必要となる為、相談員からの協力要請には全ての関係機関が前向きに進んで協力したい。
サービス事業者	教育と福祉の一層の連携
サービス事業者	・されていると思うが、障がい者団体の意見をよく聞き、政策委員会に団体代表入れ反映させる。
サービス事業者	行政と各事業者間の密な連携やその方法の確立が必要だと考えます。
サービス事業者	特に専門的な支援が必要な方(児童)に対して学校、相談、事業所等の協働などの架け橋になっていただけると助かります。
サービス事業者	学校と事業所とが、お互いの担っている範囲の理解や、それぞれの事業内容の把握、共通の意識をもっていけるような合同の研修の実施、共通のツールの構築などがあると、連携が取っていけるのかなと思います。
サービス事業者	行政はもとより、市自立支援協議会、市社会福祉協議会等の関係団体、民生主任児童委員・関係者など地域ぐるみで課題を共有し協議する場、アイデアを出せる場があると良いと思います。そして、住み慣れた地域で障がい者が安心して過ごすため、地域の特性、地域との連携、事業所も一体となり各地域の協議会等に積極的に参加するような取り組みが必要だと思います。
サービス事業者	・自立支援協議会については部会数も多く、県内自治体のなかでは先駆的な取り組みがなされていると感じますが、東諸県郡から宮崎市の福祉サービス事業所を利用される方もおられるため、東諸県圏域との連携を期待したいです。
サービス事業者	また、現場の意見も広く聞いて欲しい。
サービス事業者	差別解消についての商業事業所等との地道に議論できる場を作り、障害者団体と商業関係者がフラットに話し合えたら良い。
サービス事業者	交流の機会設定

⑥　意思疎通の支援、障がい者へのわかりやすい情報提供について（10 件）	
団体区分	内　　容
団体	「安心して自立した生活を送る」との基本理念については、私たちの携わる聴覚障がい者はかなり良い方に進んで来ていると思います。手話、要約筆記にも理解が深まりました。またスマートフォンのアプリでも意志疎通ができるものもあります。ただし Wi-Fi 環境がまだ十分とは言えないので、災害の時にも情報はスマホです。 また、コロナで対面での支援も難しいと感じています。その辺りのご配慮をお願いしたいと思います。
団体	障がい者が地域で生活しやすいように、使える制度を具体的に分かりやすく説明してほしい。広報などを使って啓発活動をしてはどうでしょうか?
団体	通訳（要約筆記・手話）が必要な場面でも、依頼する方法を知らなかったりして、利用できない難聴者が大勢います。 コロナのワクチン接種のときのように、知らない人でも行政のほうで手続きしてくださる仕組みができると多くの難聴者が助かると思います。
団体	障害者スポーツの楽しみやレクリエーション等ある事を伝えて欲しい
団体	通訳がなくても分かるような、文字情報（案内板、説明内容を大きめの文字で書いたラミネート等）が、市役所の窓口や、コンビニ等のレジなどにあれば、大変有り難いです。聴覚障害者も楽に生きられるような設備を設置していただけるよう願っています。
サービス事業者	引きこもりの障害者に障害福祉サービス利用を勧める資料やパンフレットを定期送付していくべき。 または、各施設に案内ビデオを作成させて、その魅力や利点を定期配信するべき。
サービス事業者	行政を中心に事業所紹介の場があると、横の繋がりも密になれると考えられる。どこの事業所がどういう特性の児童を得意としているか、どういう専門職員がいるかがわかると保護者からの相談時に困ることがない。
サービス事業者	就労、社会参加含めて、交通機関の充実や様々なイベント、それを知る機会の充実
サービス事業者	それぞれの障がい者に必要な情報提供ができる体制作り。
サービス事業者	４月に宮崎市教育委員会が作成されたリーフレットと連携ガイドが素晴らしく、学校と福祉の連携の仕方が分かりやすく書かれてありがたい。　しかし、今年度、事業所に来られる相談員支援専門員にお見せしても、知っていらっしゃる方がいらっしゃらない。せっかく作った良い資料が現場で使用されず、「絵に描いた餅」になってしまっているのはとても残念。資料が、学校現場でも、福祉の現場でも、活用されるように周知を徹底してもらいたい。学校の先生方に障害についての理解を深めて、学校での指導に役立てていただけるように、全ての先生方に研修を受ける機会を提供してほしい。特別支援に関わる担当者だけが研修を受け、他の先生が福祉に関する理解を深める研修の機会を得られないのは、障害のある子どもにとって不幸である。放課後等デイサービスの存在に関してまだまだ周知されていない現状である。利用者を学校に迎えに行っても、挨拶さえしていただけないこともある。会議に伺って利用者についての協議をする際も、福祉の専門家としての意見を述べても、対等な意見に発展しないことがあり残念である。
サービス事業者	事業所紹介の冊子を作成して欲しい。職員の専門性、得意としている療育等の記載があると良いと思う。

⑦　地域生活・活動支援について（７件）	
団体区分	内　　容
団体	当事者を家族だけが支えるのでなく、社会全体が支えるあり方に変えることを求めます。
団体	障がい者（特に高次脳機能障がい）リハビリテーション体制の確立・充実 リハビリテーションは現在は病院を退院するとこで（回復期までで）切れている。しかもそれも十分とは言えない状況である。高次脳機能障がいが明確になるのは、国のその障がいの定義にあるように「社会の中・仕事の中」である。高次脳機能障がいのリハビリは、「医療的リハビリ＋社会生活リハビリ＋就労・就学のリハビリ」の３段階あるが、本市においては、病院リハビリ（それも回復期まで）で切れてしまっている。「医療的リハビリ＋社会生活リハビリ＋就労・就学のリハビリ」特に慢性期のリハビリの体制の確立と充実を強く望む。
団体	地域の支援体制の充実。 住居支援 訪問による支援 当事者が、必要とする、的確な高い支援力をもつ支援体制を、お願いしたい。
サービス事業者	親御さんが地域で生活していく上で、地域の学校に行きたいと考えた時に向き合って頂きたい。学校側からの意見もありますが親御さんの想いも聞いて頂きたい。
サービス事業者	入所している障がいのある人が、単身でも地域で暮らしていけるよう、在宅支援の充実や、住まいの充実を図る取り組み。

サービス事業者	地域支援拠点の徹底的整備。困難ケースの受け入れ先として機能させる。
サービス事業者	・障がい者の民間住宅への居住支援 障がい者の入居先が見つからないことが多いため、空き家等物件を活用していけるよう、様々な分野と連携して考えていく。

⑧　障がい福祉行政（事務手続き等含む）について（６件）

団体区分	内　　容
団体	事業所の定期的な行政指導等。
サービス事業者	各種加算申請書類の新規、変更の際の事前教養
サービス事業者	法の改正前にどういうことが今から大事になるのか、どういう方向に進むのかを予め知りたいと思う。
サービス事業者	この時期は大変大変忙しい時期です。アンケート、調査等々理解できますが、かなり時間を取られます。
サービス事業者	障がい者手帳、療育手帳などの交付時期をしっかりと決めて欲しい。３歳まで障がい者手帳は交付しない理由、知的検査は１歳半からでき交付できる。根拠を決めていただきたい。
サービス事業者	加算等の事務処理軽減。一分でも利用者の支援に使いたい。 過労死になる前に助けてほしい。

⑨　障がい者雇用について（５件）

団体区分	内　　容
サービス事業者	障がい者雇用に対して、安定した就労の維持を図るべく企業側の理解促進に向けた市独自の取り組み。（企業への学びの機会・障がい者を雇用したい企業の情報を一元化）
サービス事業者	障がい者の支援（福祉サービス利用）のために活用できるアセスメント経緯、支援経緯等のデータベース（カルテの様なもの）を市独自で整備できると障害福祉サービス利用時に適切な支援を提供でき、ハローワーク等の連携機関との情報共有もスムーズになると思われる。
サービス事業者	国の障害者総合支援法改正法施行３年後の見直しにおいて、就労支援分野では、就労アセスメントの制度化、一般就労中の福祉サービス利用が検討されるなど、「雇用と福祉の連携」が増々強化される方向性が打ち出されようとしている。市においても改正後には先駆的に施策の予算化に取り組んでいただきたい。
サービス事業者	市役所内における、障がい者の雇用をまだまだ、もっと増やすべき。
サービス事業者	企業の障がい者雇用に対する理解の促進

⑩　支援者への支援について（５件）

団体区分	内　　容
団体	保護者、特に母親の負担が大きく体調を崩したり、働く事もままならない状況です。朝のケア、送迎、入院中の付き添い、関係機関との連絡、夜間のケア等支援の幅を広げていただけると大変助かります。兄弟児への支援も必要です。
団体	その介護を 24 時間体制で看護・介助する家族（や担当者）へも手厚い労いの形を差し伸べて欲しい。
サービス事業者	相談支援事業所が加重な負担を強いられているように思います。相談支援専門員のメンタルヘルスには配慮をして頂ければと思います。
サービス事業者	・母子通園の必要な家庭で、経済的な理由から母子通園できない家庭（共働きすることで家計が成り立っている家庭）に対して、市が１～２年の期間を区切って経済的な支援を実施することで、対象児が必要な時期に必要とする療養を受ける環境が整い、母子ともに将来の可能性を広めることができると思われる。
サービス事業者	当事者、関係者、家族の心のケアに取り組む

⑪　市役所の障がい福祉業務（人員配置や業務マネジメント）について（５件）

団体区分	内　　容
団体	おかしいと思ったら、すぐに上司に報告する癖をつける。月曜日の朝、係長以上で朝礼を行い、先週気になったことがないか確認する。今週、各係が何をするのか報告させる。
団体	副市長と課長以上で、月曜日の午後、打合せを行う。

団体	発達障害と診断できる病院・医師の数を増やして欲しい。（受診機会の待機者が多い） 成人になって診断される人に対して、年金制度や就労支援制度などが（周知機会は増えているものの）まだ届いていない。
サービス事業者	担当課に、専門家を配置したり、意見交換会を行って、社会福祉協議会まかせにしない
サービス事業者	障がい福祉サービスの障がい区分入力漏れによる過誤申立申請をさせて頂いているところです。（多大なるお手数をおかけして心苦しいです） そういった入力漏れを事前に教えて頂けるシステムがあると、今後助かるのではないかと 思います。

⑫ 災害時に備えた対策について（５件）

団体区分	内　　容
団体	相談支援⇒災害時に重度の障がいのある方の避難行動がスムーズにできるよう、地域の方々と助け合う支援体制作りを早急にしてほしい。（日頃の見守り活動等）
団体	障害者の災害時の避難方法の確認。
サービス事業者	災害時の基礎知識の啓発、情報伝達手段の確保や充実。
サービス事業者	・民生委員の方々との連携、個人情報の取り扱いから、難しい面もあると思われますが、災害時逃げ遅れ等の危険性があり、地域の人々の実態把握は欠かせないように思います。
サービス事業者	災害があっても事業再開・継続出来る支援体制作りが十分でないと思う。

⑬ その他（10 件）

団体区分	内　　容
団体	ユニバーサルシートや動きやすい広さ、動線等、本人や家族が外出しやすい環境が整う事を願います。科学技術館等に、広いトイレがあれば学校の校外学習等で行きやすくなります。車椅子より大きなストレッチャーで移動する方も増えてきています。
サービス事業者	車いすの方や、足が不自由な方が、道路を安心して通行出来る様に専用レーンとまではいきませんが、もっと、障がい者に対して優しい街造りをして欲しいと思っております。歩行者に対して自転車が危ないとの事で取り上げられましたが、障がい者にとっては、歩行者も携帯電話ばかり見ていて、視線の低い車いすに気付くのが遅れ、ぶつかったりしているのが現状です。もっと他県(大分県別府市)を視察し実践して欲しいと思います。
サービス事業者	交通インフラの充実 誰でも利用できる交通インフラの整備が急がれる。加速度的な高齢化により、公共交通機関の充実が必要だが、現状は衰退の一途である。抜本的に高齢者、障害者の移動の確保について、当事者たちを含めて議論する必要性を感じる。
サービス事業者	・宮崎市小中学校のバリアフリーの推進 （避難所となっても、多目的トイレひとつ、エレベーター無し、砂利道、砂地、階段・段差等々）
サービス事業者	・福祉事業者は相当数増加しているが、サービスの質の問題が大きな課題であると感じております。特に放課後等デイサービスや就労支援関係事業所については、質の問題はかなり深刻と感じており、そうした質の問題をどのように担保していくか、行政だけでは質の問題を見極めることはかなり困難ではないかと感じており、そのための方策が必要ではないかと思います。
サービス事業者	福祉サービスの質の向上
団体	障がい者の重度化や高齢化や親亡き後に備えるとともに、一人暮らし等への生活の場の移行。
サービス事業者	成年後見制度についての人財・財源不足の課題がある状況ではあるが、関係機関からの聞き取りを行いながら後見人の業務を指導評価する部門を設けて欲しい。
団体	障害者の特徴に合った、交通便や、来やすさ、災害が少ない場所で施設を建ててほしい。
サービス事業者	・施設補助、箱モノの現物提供もしくは、既存の公的な建物の活用見直し。

ⅳ　企業調査結果

１．基本情報

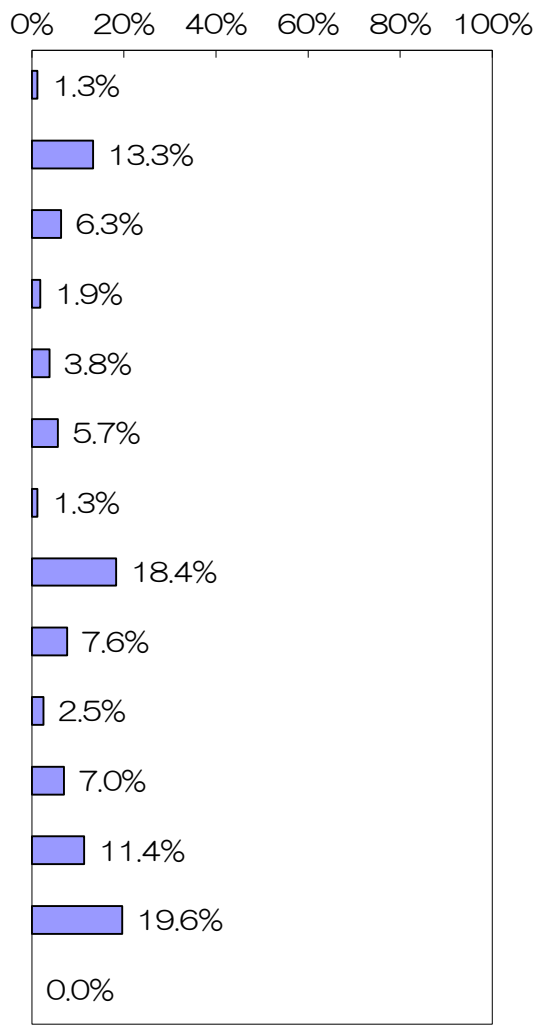
（１）法人の業種

問．貴法人の主な事業は何ですか？（１つ選択）

「その他」が 19.6%と最も高く、次いで、「卸売業、小売業」の 18.4%、「建設業」の 13.3%の順となっている。

「その他」については、「その他のサービス業」「学術研究，専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」などの回答が多く寄せられた。

選択肢	回答数	割合
農林水産業	2	1.3%
建設業	21	13.3%
製造業	10	6.3%
電気・ガス・水道業	3	1.9%
金融・保険業	6	3.8%
情報通信サービス業	9	5.7%
運輸業	2	1.3%
卸売業、小売業	29	18.4%
不動産業	12	7.6%
飲食業・宿泊業	4	2.5%
医療業	11	7.0%
福祉サービス業	18	11.4%
その他	31	19.6%
無回答	0	0.0%
サンプル数	158	100.0%



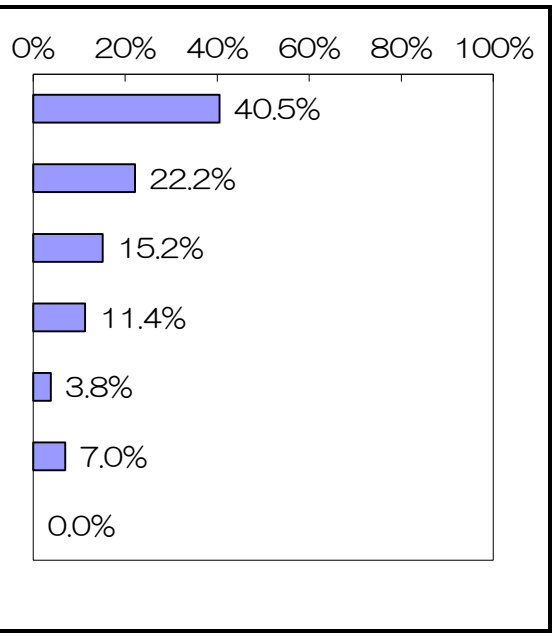
	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	158	2	31	125	99	42	17	29	129
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
農林水産業	2	2	0	0	1	1	0	0	2
	1.3%	100.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.4%	0.0%	0.0%	1.6%
建設業	21	0	21	0	15	5	1	3	18
	13.3%	0.0%	67.7%	0.0%	15.2%	11.9%	5.9%	10.3%	14.0%
製造業	10	0	10	0	5	3	2	4	6
	6.3%	0.0%	32.3%	0.0%	5.1%	7.1%	11.8%	13.8%	4.7%
電気・ガス・水道業	3	0	0	3	2	1	0	1	2
	1.9%	0.0%	0.0%	2.4%	2.0%	2.4%	0.0%	3.4%	1.6%
金融・保険業	6	0	0	6	3	3	0	1	5
	3.8%	0.0%	0.0%	4.8%	3.0%	7.1%	0.0%	3.4%	3.9%
情報通信サービス業	9	0	0	9	7	0	2	2	7
	5.7%	0.0%	0.0%	7.2%	7.1%	0.0%	11.8%	6.9%	5.4%
運輸業	2	0	0	2	1	1	0	0	2
	1.3%	0.0%	0.0%	1.6%	1.0%	2.4%	0.0%	0.0%	1.6%
卸売業、小売業	29	0	0	29	18	9	2	3	26
	18.4%	0.0%	0.0%	23.2%	18.2%	21.4%	11.8%	10.3%	20.2%
不動産業	12	0	0	12	12	0	0	2	10
	7.6%	0.0%	0.0%	9.6%	12.1%	0.0%	0.0%	6.9%	7.8%
飲食業・宿泊業	4	0	0	4	4	0	0	0	4
	2.5%	0.0%	0.0%	3.2%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
医療業	11	0	0	11	5	4	2	0	11
	7.0%	0.0%	0.0%	8.8%	5.1%	9.5%	11.8%	0.0%	8.5%
福祉サービス業	18	0	0	18	8	9	1	5	13
	11.4%	0.0%	0.0%	14.4%	8.1%	21.4%	5.9%	17.2%	10.1%
その他	31	0	0	31	18	6	7	8	23
	19.6%	0.0%	0.0%	24.8%	18.2%	14.3%	41.2%	27.6%	17.8%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（２）法人の職員数（従業員数）

問．貴法人の職員数（従業員数）はどのくらいですか？（１つ選択）

「１～４名」が 40.5%と最も高く、次いで、「５～９名」の 22.2%、「10～19 名」の 15.2%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
１～４名	64	40.5%
５～９名	35	22.2%
10～19名	24	15.2%
20～49名	18	11.4%
50～99名	6	3.8%
100名以上	11	7.0%
無回答	0	0.0%
サンプル数	158	100.0%



	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	158	2	31	125	99	42	17	29	129
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
１～４名	64	1	13	50	64	0	0	4	60
	40.5%	50.0%	41.9%	40.0%	64.6%	0.0%	0.0%	13.8%	46.5%
５～９名	35	0	7	28	35	0	0	1	34
	22.2%	0.0%	22.6%	22.4%	35.4%	0.0%	0.0%	3.4%	26.4%
10～19名	24	0	5	19	0	24	0	7	17
	15.2%	0.0%	16.1%	15.2%	0.0%	57.1%	0.0%	24.1%	13.2%
20～49名	18	1	3	14	0	18	0	3	15
	11.4%	50.0%	9.7%	11.2%	0.0%	42.9%	0.0%	10.3%	11.6%
50～99名	6	0	0	6	0	0	6	4	2
	3.8%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	35.3%	13.8%	1.6%
100名以上	11	0	3	8	0	0	11	10	1
	7.0%	0.0%	9.7%	6.4%	0.0%	0.0%	64.7%	34.5%	0.8%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

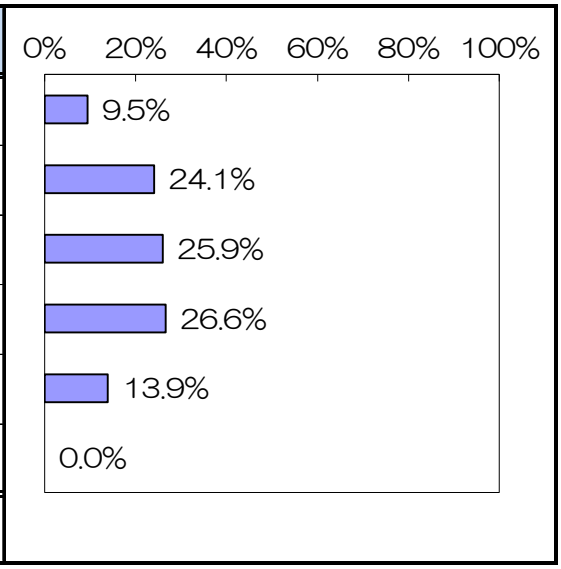
２．障がい者への合理的配慮について

（１）障害者差別解消法の認知

問．障害者差別解消法（正式名称：障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）について、ご存知ですか？（１つ選択）

「ほとんど知らない」が 26.6%と最も高く、次いで、「法律の名前程度は知っている」の 25.9%、「内容を少しだけ知っている」の 24.1%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
内容も含めてよく知っている	15	9.5%
内容を少しだけ知っている	38	24.1%
法律の名前程度は知っている	41	25.9%
ほとんど知らない	42	26.6%
初めて聞いた	22	13.9%
無回答	0	0.0%
サンプル数	158	100.0%



	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	158	2	31	125	99	42	17	29	129
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
内容も含めてよく知っている	15	0	1	14	5	6	4	8	7
	9.5%	0.0%	3.2%	11.2%	5.1%	14.3%	23.5%	27.6%	5.4%
内容を少しだけ知っている	38	1	6	31	16	14	8	12	26
	24.1%	50.0%	19.4%	24.8%	16.2%	33.3%	47.1%	41.4%	20.2%
法律の名前程度は知っている	41	1	8	32	31	7	3	3	38
	25.9%	50.0%	25.8%	25.6%	31.3%	16.7%	17.6%	10.3%	29.5%
ほとんど知らない	42	0	10	32	32	9	1	3	39
	26.6%	0.0%	32.3%	25.6%	32.3%	21.4%	5.9%	10.3%	30.2%
初めて聞いた	22	0	6	16	15	6	1	3	19
	13.9%	0.0%	19.4%	12.8%	15.2%	14.3%	5.9%	10.3%	14.7%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

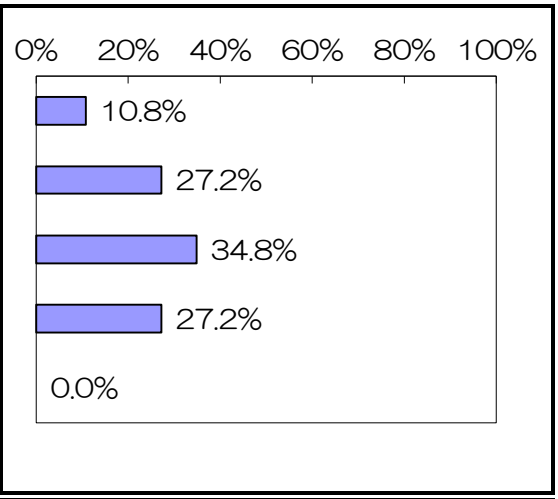
（２）事業において障がいのあるお客様に接する機会

問．貴法人の事業において、お客様として障がい者に接する機会はありますか？
（１つ選択）

「ほとんどない」が 34.8%と最も高く、次いで、「たまにある」の 27.2%、「まったくない」の 27.2%の順となっている。

産業分類別でみると、第１次産業と第２次産業では「ほとんどない」「まったくない」の割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
よくある	17	10.8%
たまにある	43	27.2%
ほとんどない	55	34.8%
まったくない	43	27.2%
無回答	0	0.0%
サンプル数	158	100.0%



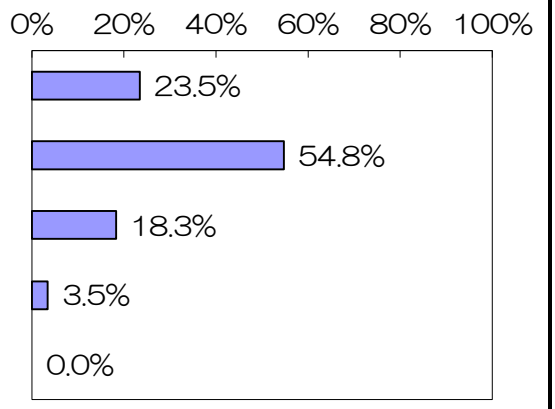
	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	158	2	31	125	99	42	17	29	129
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
よくある	17	0	0	17	8	7	2	4	13
	10.8%	0.0%	0.0%	13.6%	8.1%	16.7%	11.8%	13.8%	10.1%
たまにある	43	0	1	42	22	16	5	11	32
	27.2%	0.0%	3.2%	33.6%	22.2%	38.1%	29.4%	37.9%	24.8%
ほとんどない	55	0	15	40	37	11	7	10	45
	34.8%	0.0%	48.4%	32.0%	37.4%	26.2%	41.2%	34.5%	34.9%
まったくない	43	2	15	26	32	8	3	4	39
	27.2%	100.0%	48.4%	20.8%	32.3%	19.0%	17.6%	13.8%	30.2%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（３）障がいのあるお客様への対応状況

問．障がいのあるお客様への対応について、適切な対応ができていると思いますか？
（１つ選択）

「どちらかと言えばできていると思う」が 54.8%と最も高く、次いで、「できていると思う」の 23.5%、「どちらかと言えばできていないと思う」の 18.3%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
できていると思う	27	23.5%
どちらかと言えばできていると思う	63	54.8%
どちらかと言えばできていないと思う	21	18.3%
できていないと思う	4	3.5%
無回答	0	0.0%
サンプル数	115	100.0%



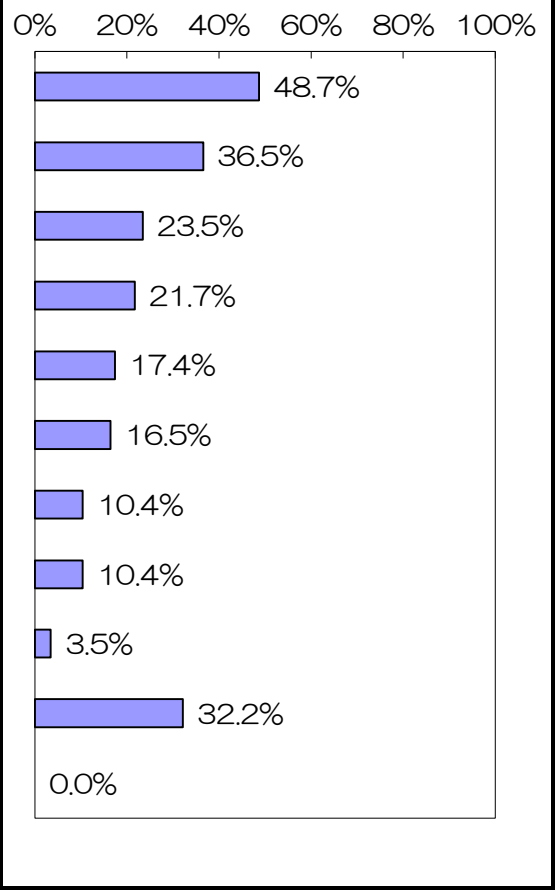
	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	115	0	16	99	67	34	14	25	90
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
できていると思う	27	0	1	26	16	10	1	7	20
	23.5%	-	6.3%	26.3%	23.9%	29.4%	7.1%	28.0%	22.2%
どちらかと言えばできていると思う	63	0	6	57	36	17	10	12	51
	54.8%	-	37.5%	57.6%	53.7%	50.0%	71.4%	48.0%	56.7%
どちらかと言えばできていないと思う	21	0	7	14	12	6	3	6	15
	18.3%	-	43.8%	14.1%	17.9%	17.6%	21.4%	24.0%	16.7%
できていないと思う	4	0	2	2	3	1	0	0	4
	3.5%	-	12.5%	2.0%	4.5%	2.9%	0.0%	0.0%	4.4%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（４）障がいのあるお客様へ対応していること

問．障がいのあるお客様への対応に関して、行っていることがありますか？
（いくつでも）

「体を支えたり、荷物を運んだりするなどの移動の手伝いを行っている」が 48.7%と最も高く、次いで、「段差の解消やスロープの設置など、移動がしやすい環境を整えている」の 36.5%、「特に行っていることはない」の 32.2%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
体を支えたり、荷物を運んだりするなどの移動の手伝いを行っている	56	48.7%
段差の解消やスロープの設置など、移動がしやすい環境を整えている	42	36.5%
バリアフリートイレ（多目的トイレ）を設置している	27	23.5%
コミュニケーションを補助するための道具（筆談器具やコミュニケーションボード等）を準備している	25	21.7%
障がいのある人に特に配慮したサービスを提供している	20	17.4%
障がい者用駐車場を設置している	19	16.5%
障がいに応じた対応（接客・支援等）を行うことができることを掲示している	12	10.4%
障がいのあるお客様への対応に関する従業員・職員等への指導・研修を行っている	12	10.4%
その他	4	3.5%
特に行っていることはない	37	32.2%
無回答	0	0.0%
サンプル数	115	－



	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	115	0	16	99	67	34	14	25	90
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
体を支えたり、荷物を運んだりするなどの移動の手伝いを行っている	56	0	3	53	32	19	5	12	44
	48.7%	-	18.8%	53.5%	47.8%	55.9%	35.7%	48.0%	48.9%
段差の解消やスロープの設置など、移動がしやすい環境を整えている	42	0	3	39	18	17	7	12	30
	36.5%	-	18.8%	39.4%	26.9%	50.0%	50.0%	48.0%	33.3%
バリアフリートイレ（多目的トイレ）を設置している	27	0	1	26	7	13	7	9	18
	23.5%	-	6.3%	26.3%	10.4%	38.2%	50.0%	36.0%	20.0%
コミュニケーションを補助するための道具（筆談器具やコミュニケーションボード等）を準備している	25	0	1	24	11	10	4	3	22
	21.7%	-	6.3%	24.2%	16.4%	29.4%	28.6%	12.0%	24.4%
障がいのある人に特に配慮したサービスを提供している	20	0	1	19	9	9	2	5	15
	17.4%	-	6.3%	19.2%	13.4%	26.5%	14.3%	20.0%	16.7%
障がい者用駐車場を設置している	19	0	1	18	3	9	7	8	11
	16.5%	-	6.3%	18.2%	4.5%	26.5%	50.0%	32.0%	12.2%
障がいに応じた対応（接客・支援等）を行うことができることを掲示している	12	0	0	12	5	7	0	4	8
	10.4%	-	0.0%	12.1%	7.5%	20.6%	0.0%	16.0%	8.9%
障がいのあるお客様への対応に関する従業員・職員等への指導・研修を行っている	12	0	1	11	5	6	1	3	9
	10.4%	-	6.3%	11.1%	7.5%	17.6%	7.1%	12.0%	10.0%
その他	4	0	0	4	3	1	0	1	3
	3.5%	-	0.0%	4.0%	4.5%	2.9%	0.0%	4.0%	3.3%
特に行っていることはない	37	0	10	27	26	6	5	6	31
	32.2%	-	62.5%	27.3%	38.8%	17.6%	35.7%	24.0%	34.4%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（５）障がいのあるお客様への対応に関して感じていること、市への要望等（自由記述）

問．障がいのあるお客様への対応に関して、感じていることや市への要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

自由記述を内容で分類すると、障がい者への適切な対応・意識の向上が７件と最も多かった。

※内容別の件数

内　　容	件数（件）
①　障がい者への適切な対応・意識の向上について	7
②　就労支援の推進について	4
③　建物や道路の整備について	2
③　その他	3

※各回答内容

①　障がい者への適切な対応・意識の向上について（７件）		
事業分類	従業員規模	内　　容
卸売業、小売業	１～４名	コンビニの駐車スペースに健常者が堂々と止めてる、モラル不足が否めない
卸売業、小売業	５～９名	特にはありませんが、接する個々の意識が一番大切かと思っています。
不動産業	１～４名	以前、障がいのあるお客様の物件の管理をさせて頂いておりました。特に意識をしていたつもりはなかったのですがやはりどこかにお気の毒、という気持ちが働いており社長も従業員も気が付けば業務の範疇を超えたことも無償でやらされておりました。その時のお客様は「やってもらって当たり前、自分はできないのだから」という感覚をお持ちの方で、その時に障がい者の方との距離の保ち方の難しさを体感いたしました。何でも全てリクエストを聞く、というのもまた、生きている条件が最初から違うので問題があるように思われます。
不動産業	１～４名	担当者の意識の問題で、対応に格差がありすぎる。やってもやらなくても同じ給料ではやらないのではないでしょうか。やらない風土が一般的な空気を醸成している気がします。やる気のある方は仕事が増え続けるばっかりで疲れます。いずれ倒れます。給料に能力格差をつければよろしいかと思います。身分保障もやめましょう。リスク（離職）とリターン（給与）は相反すべきではないでしょうか。
福祉サービス業	１～４名	事業所だけでなく、民間への意識向上を目指すべき
福祉サービス業	１～４名	目に見えている障害者は優遇され見えない部分に障害を抱えている人への冷遇が多い。難病者に対しても同じく、国指定の難病であるにも関わらず医療費補助等受けらない人が沢山いる。福祉全般において宮崎市はかなり遅れている。市の担当者が移動で変わるたびに引き継がれず振り出しに戻るものも多い。前例の無いものに対しても前向きに取り組む事はなく検討します。の一言が返ってくるのみ。もちろん検討された事は一度もない。
その他	100 名以上	障害者の気持ちに寄り添った対応をしたいと心がけています

②　就労支援の推進について（４件）		
事業分類	従業員規模	内　　容
建設業	20～49 名	・中小企業の体力で、障害者に好ましい環境をしっかり整備するのは厳しい状況にあります。公的な支援もあるでしょうが、認知不足や理解・解釈に戸惑うこともあります。障害者雇用や社会進出は歓迎しますが、まずは環境整備が先？（実は、社会の意識改善が何より先）でしょう。
情報通信サービス業	１～４名	障がい者を雇用する云々までに、至っておりません。只、一市民として、障がい者の方の書かれている環境を知り、感じることはあります。私は、最近、障がい者の方にお仕事で関わっている方から、耳にする機会があり、障がい者の方のおかれてる 生活や社会的環境に注視、向上させるべき、人的、資金的、制作的なサポートや伴奏者も必要なのかなあと感じております。障がい者の方が、子育て、支援学校等を卒業した後、社会に入り込む就労等の時期になると、親が率先して就職場所を探すしかない。職場環境の良し悪し、サポート環境が整っているのかもわからない。企業側、障がい者の理解、サポート体制にも前向きかどうかもわからない。さらには、賃金の驚くべき低賃金。支援学校等の就職支援室の有無。障がい者の方の就労支援や次の行き先を探す、本人や家族の相談や支援サポートの場やあるのか。ハーローワーク等（行政管理側）と、支援学校連携先の連携等、環境が機能しているのか。私の認識不足で記載していますので、大変恐縮ですが、ご了承くださいませ。偶然にも、このようなアンケートを施行されていることを知り、市政、行政が注視、注力していくこともわかりました。宮崎市、宮崎県の障がい者の方、そのご家族の方が、自分たちも社会に守られているという気持ち、少しでも自らが立って人生を歩みたいと 思える前向きな気持ちになれることを願っております。
福祉サービス業	20～49 名	仕事を通して障害者の方と関わり支えるマンパワーが少ないと感じています。
その他	１～４名	障害者の雇用についてもっと情報発信が必要

③　建物や道路の整備について（２件）		
事業分類	従業員規模	内　　容
製造業	100 名以上	公共施設や一般道路など、障害者に適用した整備の対応
卸売業、小売業	１～４名	路肩にも障がい者用の路駐スペースがあると車いすや歩行障害のある方が街中にもっと来やすくなると思う。 実際に障がい者マークの方への商品の受け渡し時のほんの数分の間で年配の警察の人に駐車場に止めて来いと高圧的にさんざん言われ、５分ほど先の駐車場に止めてこられましたが、降車するにも車いすに乗り換えるのも大変な方で、結局駐車場から 30 分ほどかけてわざわざ商品を受け取りに来られました。 ものすごく不快な思いをされたと思います。

④　その他（３件）		
事業分類	従業員規模	内　　容
建設業	１～４名	今まで通りで大丈夫だと思います。
福祉サービス業	１～４名	健常者から差別をされていることを良く聴きます。様々な配慮をして頂ますよう宜しくお願い致します。
福祉サービス業	20～49 名	通勤での移動支援を充実するとより障がい者の一般就労が広がると思います。

３．障がい者の雇用について

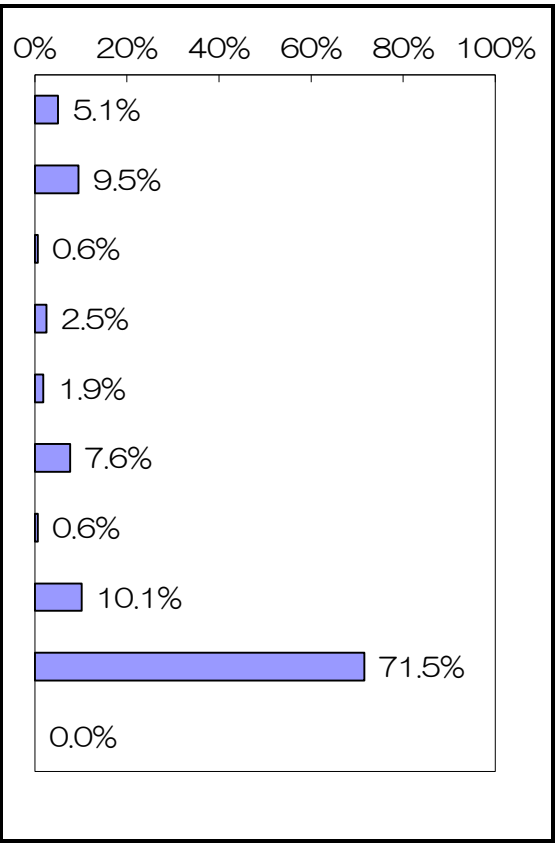
（１）障がい者雇用の有無

問．貴法人では、障がい者を雇用していますか？（いくつでも）

「障がい者を雇用したことがない」が 71.5%と最も高く、次いで、「現在は雇用していないが、過去に雇用したことがある」の 10.1%、「現在、身体障がい者（内部障がい）を雇用している」の 9.5%の順となっている。

従業員数別では、従業員数が増えるほど「現在、障がい者を雇用している」と回答した割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合
現在、身体障がい者（肢体不自由）を雇用している	8	5.1%
現在、身体障がい者（内部障がい）を雇用している	15	9.5%
現在、視覚障がい者を雇用している	1	0.6%
現在、聴覚障がい者を雇用している	4	2.5%
現在、知的障がい者を雇用している	3	1.9%
現在、精神障がい者を雇用している	12	7.6%
現在、その他の障がい者を雇用している	1	0.6%
現在は雇用していないが、過去に雇用したことがある	16	10.1%
障がい者を雇用したことがない	113	71.5%
無回答	0	0.0%
サンプル数	158	－



	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	158	2	31	125	99	42	17	29	129
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
現在、身体障がい者（肢体不自由）を雇用している	8	0	1	7	1	2	5	8	0
	5.1%	0.0%	3.2%	5.6%	1.0%	4.8%	29.4%	27.6%	0.0%
現在、身体障がい者（内部障がい）を雇用している	15	0	2	13	3	2	10	15	0
	9.5%	0.0%	6.5%	10.4%	3.0%	4.8%	58.8%	51.7%	0.0%
現在、視覚障がい者を雇用している	1	0	1	0	0	0	1	1	0
	0.6%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	3.4%	0.0%
現在、聴覚障がい者を雇用している	4	0	2	2	0	1	3	4	0
	2.5%	0.0%	6.5%	1.6%	0.0%	2.4%	17.6%	13.8%	0.0%
現在、知的障がい者を雇用している	3	0	1	2	0	2	1	3	0
	1.9%	0.0%	3.2%	1.6%	0.0%	4.8%	5.9%	10.3%	0.0%
現在、精神障がい者を雇用している	12	0	2	10	2	3	7	12	0
	7.6%	0.0%	6.5%	8.0%	2.0%	7.1%	41.2%	41.4%	0.0%
現在、その他の障がい者を雇用している	1	0	1	0	0	1	0	1	0
	0.6%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	3.4%	0.0%
現在は雇用していないが、過去に雇用したことがある	16	0	3	13	10	5	1	0	16
	10.1%	0.0%	9.7%	10.4%	10.1%	11.9%	5.9%	0.0%	12.4%
障がい者を雇用したことがない	113	2	21	90	84	27	2	0	113
	71.5%	100.0%	67.7%	72.0%	84.8%	64.3%	11.8%	0.0%	87.6%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（２）雇用形態ごとの雇用人数

問．貴法人における障がい者の雇用形態ごとの雇用人数を教えてください。

回答した法人における雇用人数の合計は 105 人で、１法人あたり 3.6 人となっている。

雇用形態別にみると、「正社員（フルタイム）」が 59 人と最も多く、次いで、「パートタイム」の 17 人、「嘱託社員」の 12 人の順となっている。

（単位：人）

	事業分類	従業員規模	雇用している障がい者（区分）	障がい者雇用人数内訳							合計
				正社員（フルタイム）	正社員（短時間）	契約社員	嘱託社員	パートタイム	派遣社員	その他	
1	建設業	10～19名	聴覚障がい	1	0	0	0	0	0	0	1
2	建設業	20～49名	肢体不自由 内部障がい	2	0	0	0	0	0	0	2
3	建設業	100名以上	精神障がい	1	0	0	0	0	0	0	1
4	製造業	10～19名	その他の障がい	0	1	0	0	0	0	0	1
5	製造業	10～19名	知的障がい	0	0	0	0	2	0	0	2
6	製造業	100名以上	内部障がい	1	0	0	0	0	0	0	1
7	製造業	100名以上	視覚障がい 聴覚障がい 精神障がい	7	0	5	0	0	0	0	12
8	電気・ガス・水道業	20～49名	肢体不自由	26	0	0	7	3	0	0	36
9	金融・保険業	1～4名	内部障がい	1	0	0	0	0	0	0	1
10	情報通信サービス業	50～99名	内部障がい、精神障がい	1	0	0	0	1	0	0	2
11	情報通信サービス業	100名以上	肢体不自由	2	0	0	0	0	0	0	2
12	卸売業、小売業	10～19名	内部障がい	1	0	0	0	0	0	0	1
13	卸売業、小売業	50～99名	肢体不自由	1	0	0	0	0	0	0	1

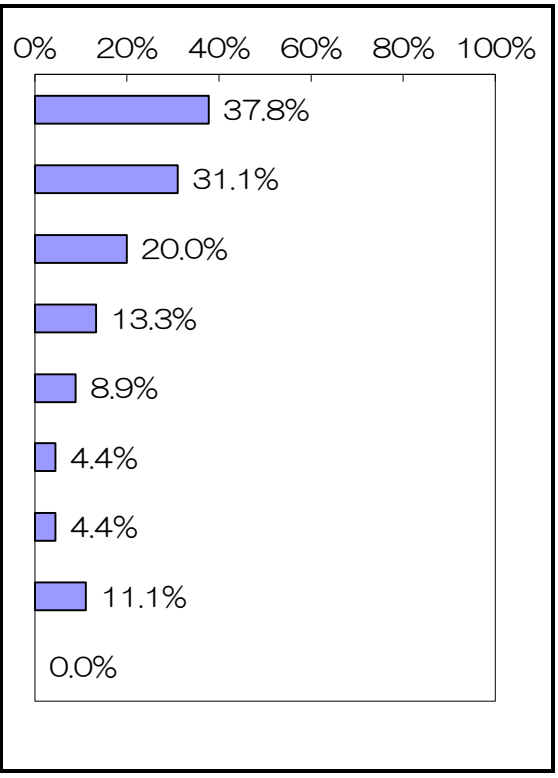
	事業分類	従業員規模	雇用している障がい者（区分）	障がい者雇用人数内訳							合計
				正社員（フルタイム）	正社員（短時間）	契約社員	嘱託社員	パートタイム	派遣社員	その他	
14	卸売業、小売業	100名以上	肢体不自由 内部障がい	2	0	0	2	0	0	0	4
15	不動産業	1～4名	精神障がい	1	0	0	0	1	0	0	2
16	不動産業	5～9名	内部障がい	1	0	0	0	0	0	0	1
17	福祉サービス業	1～4名	肢体不自由	1	0	0	0	0	0	0	1
18	福祉サービス業	1～4名	内部障がい 精神障がい	1	0	0	0	1	0	0	2
19	福祉サービス業	10～19名	精神障がい	1	0	0	0	0	0	0	1
20	福祉サービス業	20～49名	精神障がい	0	1	0	0	0	0	0	1
21	福祉サービス業	100名以上	内部障がい 聴覚障がい 精神障がい	1	0	0	0	3	0	0	4
22	その他	10～19名	知的障がい	0	0	0	0	0	0	5.5	5
23	その他	10～19名	精神障がい	0	0	0	0	3	0	0	3
24	その他	50～99名	内部障がい 精神障がい	1	0	1	0	0	0	0	2
25	その他	50～99名	内部障がい 知的障がい 精神障がい	1	0	0	0	3	0	0	4
26	その他	100名以上	内部障がい 精神障がい	2	0	0	0	0	0	0	2
27	その他	100名以上	内部障がい	1	0	2	0	0	0	0	3
28	その他	100名以上	肢体不自由 内部障がい	1	0	2	0	0	0	0	3
29	その他	100名以上	肢体不自由 内部障がい 聴覚障がい	1	0	0	3	0	0	0	4
雇用人数　合計				59	2	10	12	17	0	5.5	105
雇用人数　平均				2.0	0.1	0.3	0.4	0.6	0.0	0.2	3.6

（３）障がい者を雇用したきっかけ

問．障がい者を雇用するきっかけは何でしたか？（いくつでも）

「元々従業員であった人が障がい者になった」が 37.8%と最も高く、次いで、「障がい者の方から応募があった」の 31.1%、「雇用時は分からなかったが、後に障がい者と判明した」の 20.0%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
元々従業員であった人が障がい者になった	17	37.8%
障がい者の方から応募があった	14	31.1%
雇用時は分からなかったが、後に障がい者と判明した	9	20.0%
ボランティア・知人からの紹介	6	13.3%
障がい者就労支援機関等からの働きかけ、紹介	4	8.9%
ハローワークに障がい者雇用の求人登録を行った	2	4.4%
特別支援学校（盲・聾・養護学校等）等の学校からの働きかけ、紹介	2	4.4%
その他	5	11.1%
無回答	0	0.0%
サンプル数	45	－



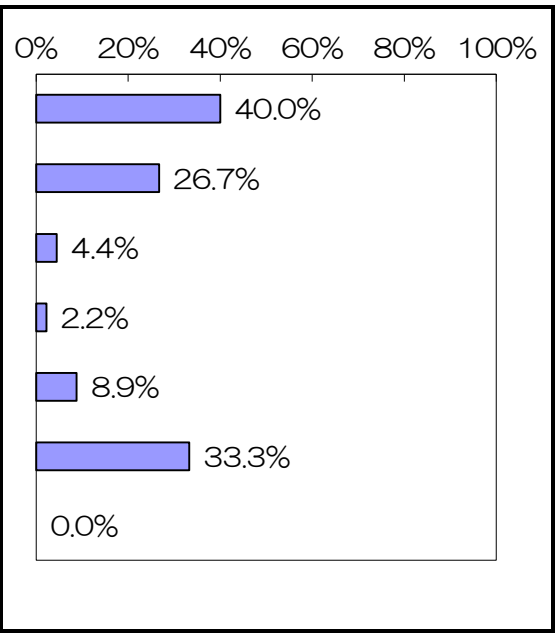
	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	45	0	10	35	15	15	15	29	16
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
元々従業員であった人が障がい者になった	17	0	6	11	3	3	11	15	2
	37.8%	-	60.0%	31.4%	20.0%	20.0%	73.3%	51.7%	12.5%
障がい者の方から応募があった	14	0	0	14	5	3	6	8	6
	31.1%	-	0.0%	40.0%	33.3%	20.0%	40.0%	27.6%	37.5%
雇用時は分からなかったが、後に障がい者と判明した	9	0	1	8	2	3	4	8	1
	20.0%	-	10.0%	22.9%	13.3%	20.0%	26.7%	27.6%	6.3%
ボランティア・知人からの紹介	6	0	1	5	4	2	0	1	5
	13.3%	-	10.0%	14.3%	26.7%	13.3%	0.0%	3.4%	31.3%
障がい者就労支援機関等からの働きかけ、紹介	4	0	1	3	0	2	2	4	0
	8.9%	-	10.0%	8.6%	0.0%	13.3%	13.3%	13.8%	0.0%
ハローワークに障がい者雇用の求人登録を行った	2	0	0	2	0	0	2	2	0
	4.4%	-	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	13.3%	6.9%	0.0%
特別支援学校（盲・聾・養護学校等）等の学校からの働きかけ、紹介	2	0	1	1	1	0	1	1	1
	4.4%	-	10.0%	2.9%	6.7%	0.0%	6.7%	3.4%	6.3%
その他	5	0	1	4	0	5	0	3	2
	11.1%	-	10.0%	11.4%	0.0%	33.3%	0.0%	10.3%	12.5%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（４）障がい者を雇用して良かったこと

問．雇用して良かったことは何ですか？（いくつでも）

「従業員の障がいへの理解が深まった」が 40.0％と最も高く、次いで、「特にない」の 33.3％、「社会的責任を果たせた」の 26.7％の順となっている。

選択肢	回答数	割合
従業員の障がいへの理解が深まった	18	40.0%
社会的責任を果たせた	12	26.7%
経営面の改善につながった	2	4.4%
職場の雰囲気がよくなった	1	2.2%
その他	4	8.9%
特にない	15	33.3%
無回答	0	0.0%
サンプル数	45	－



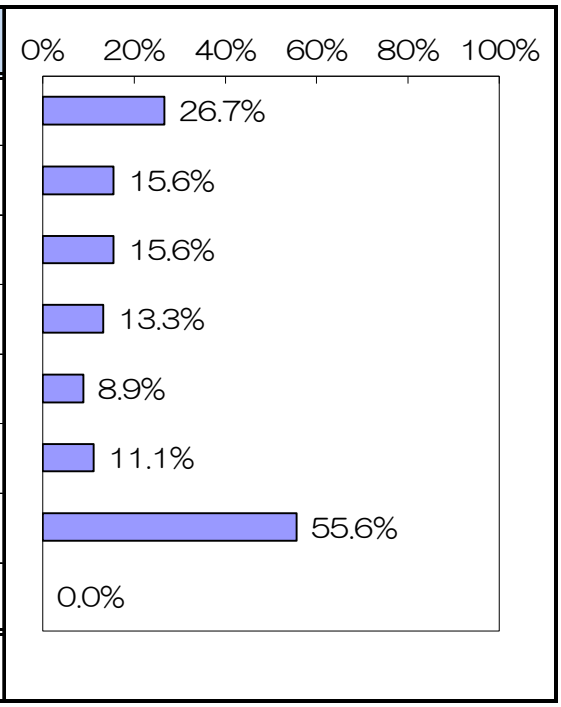
	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	45	0	10	35	15	15	15	29	16
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
従業員の障がいへの理解が深まった	18	0	6	12	5	5	8	9	9
	40.0%	-	60.0%	34.3%	33.3%	33.3%	53.3%	31.0%	56.3%
社会的責任を果たせた	12	0	3	9	3	5	4	9	3
	26.7%	-	30.0%	25.7%	20.0%	33.3%	26.7%	31.0%	18.8%
経営面の改善につながった	2	0	1	1	0	2	0	2	0
	4.4%	-	10.0%	2.9%	0.0%	13.3%	0.0%	6.9%	0.0%
職場の雰囲気がよくなった	1	0	1	0	0	1	0	1	0
	2.2%	-	10.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	3.4%	0.0%
その他	4	0	0	4	1	2	1	3	1
	8.9%	-	0.0%	11.4%	6.7%	13.3%	6.7%	10.3%	6.3%
特にない	15	0	2	13	6	3	6	11	4
	33.3%	-	20.0%	37.1%	40.0%	20.0%	40.0%	37.9%	25.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（５）障がい者を雇用して困ったこと

問．雇用して困っていること、困ったことは何ですか？（いくつでも）

「特にない」が 55.6%と最も高く、次いで、「体調等により継続勤務が不安定」の 26.7%、「指示した業務に対応できない」「事故・危険性を伴うので常時注意が必要」の 15.6%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
体調等により継続勤務が不安定	12	26.7%
指示した業務に対応できない	7	15.6%
事故・危険性を伴うので常時注意が必要	7	15.6%
職場での人間関係の構築が難しい	6	13.3%
情報伝達が困難	4	8.9%
その他	5	11.1%
特にない	25	55.6%
無回答	0	0.0%
サンプル数	45	－



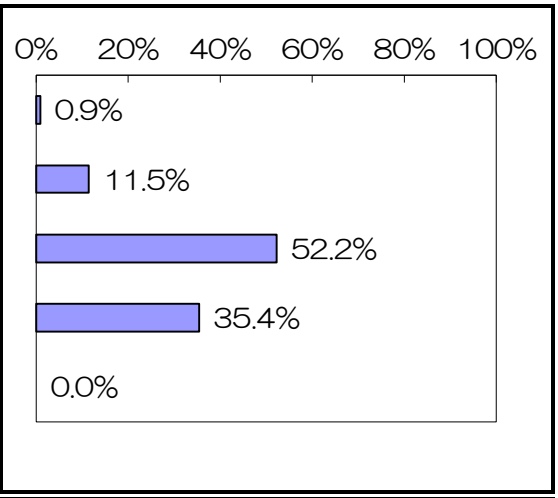
	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	45	0	10	35	15	15	15	29	16
	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
体調等により継続勤務が不安定	12	0	2	10	6	3	3	7	5
	26.7%	-	20.0%	28.6%	40.0%	20.0%	20.0%	24.1%	31.3%
指示した業務に対応できない	7	0	3	4	2	4	1	5	2
	15.6%	-	30.0%	11.4%	13.3%	26.7%	6.7%	17.2%	12.5%
事故・危険性を伴うので常時注意が必要	7	0	3	4	2	3	2	5	2
	15.6%	-	30.0%	11.4%	13.3%	20.0%	13.3%	17.2%	12.5%
職場での人間関係の構築が難しい	6	0	1	5	1	3	2	5	1
	13.3%	-	10.0%	14.3%	6.7%	20.0%	13.3%	17.2%	6.3%
情報伝達が困難	4	0	2	2	0	4	0	3	1
	8.9%	-	20.0%	5.7%	0.0%	26.7%	0.0%	10.3%	6.3%
その他	5	0	0	5	0	3	2	3	2
	11.1%	-	0.0%	14.3%	0.0%	20.0%	13.3%	10.3%	12.5%
特にない	25	0	6	19	9	7	9	16	9
	55.6%	-	60.0%	54.3%	60.0%	46.7%	60.0%	55.2%	56.3%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（６）障がい者雇用の意向

問.（障がい者雇用の有無について、「障がい者を雇用したことがない」と答えた法人のみ回答）貴法人では、障がい者雇用に興味がありますか？（１つ選択）

「雇用の可能性は低い」が 52.2%と最も高く、次いで、「わからない」の 35.4%、「雇用してもよい」の 11.5%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
積極的に雇用したい、雇用する予定がある	1	0.9%
雇用してもよい	13	11.5%
雇用の可能性は低い	59	52.2%
わからない	40	35.4%
無回答	0	0.0%
サンプル数	113	100.0%



	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	113	2	21	90	84	27	2	0	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%
積極的に雇用したい、雇用する予定がある	1	0	0	1	1	0	0	0	1
	0.9%	0.0%	0.0%	1.1%	1.2%	0.0%	0.0%	-	0.9%
雇用してもよい	13	1	0	12	6	7	0	0	13
	11.5%	50.0%	0.0%	13.3%	7.1%	25.9%	0.0%	-	11.5%
雇用の可能性は低い	59	1	16	42	48	11	0	0	59
	52.2%	50.0%	76.2%	46.7%	57.1%	40.7%	0.0%	-	52.2%
わからない	40	0	5	35	29	9	2	0	40
	35.4%	0.0%	23.8%	38.9%	34.5%	33.3%	100.0%	-	35.4%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%

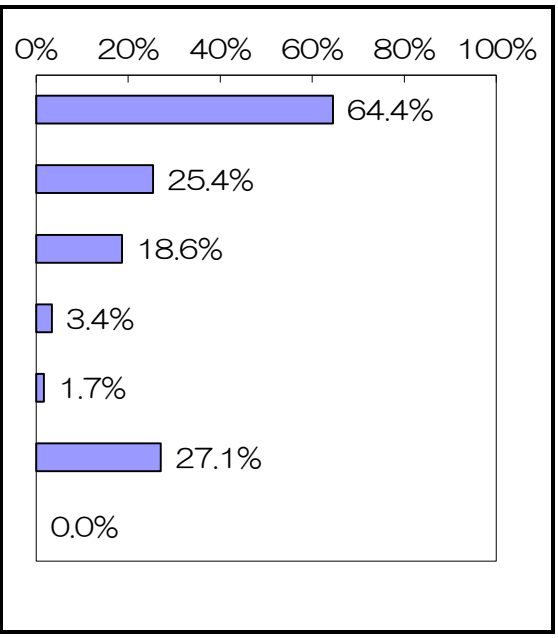
（７）障がい者雇用の可能性が低い理由

問．可能性が低い理由は何ですか？（いくつでも）

「仕事内容が不向きだと思うから」が 64.4%と最も高く、次いで、「その他」の 27.1%、「障がいに合わせて、設備投資や改修をする余裕がないから」の 25.4%の順となっている。

「その他」については、「採用予定がない、被雇用者がいないため」「不景気のため、仕事が少ないため」などの回答が多く寄せられた。

選択肢	回答数	割合
仕事内容が不向きだと思うから	38	64.4%
障がいに合わせて、設備投資や改修をする余裕がないから	15	25.4%
サポートするスタッフがいないから	11	18.6%
職員同士のコミュニケーションがうまくいくか不安だから	2	3.4%
雇用する義務がないから	1	1.7%
その他	16	27.1%
無回答	0	0.0%
サンプル数	59	－



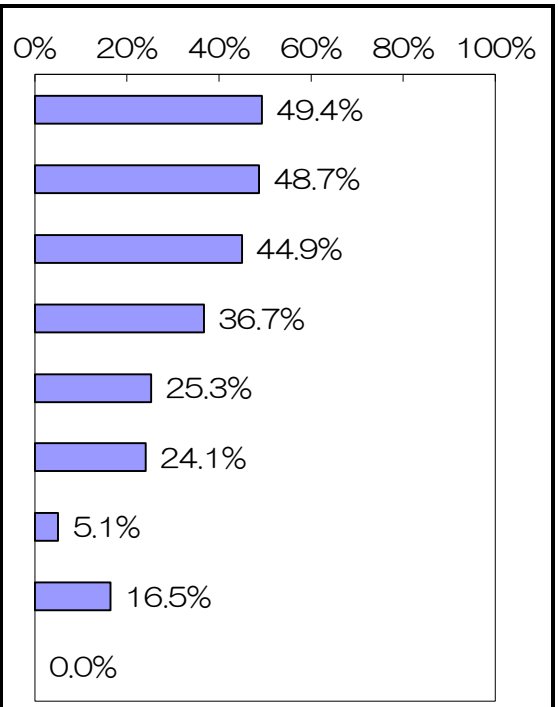
	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	59	1	16	42	48	11	0	0	59
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	100.0%
仕事内容が不向きだと思うから	38	0	11	27	30	8	0	0	38
	64.4%	0.0%	68.8%	64.3%	62.5%	72.7%	-	-	64.4%
障がいに合わせて、設備投資や改修をする余裕がないから	15	0	4	11	10	5	0	0	15
	25.4%	0.0%	25.0%	26.2%	20.8%	45.5%	-	-	25.4%
サポートするスタッフがいないから	11	0	4	7	9	2	0	0	11
	18.6%	0.0%	25.0%	16.7%	18.8%	18.2%	-	-	18.6%
職員同士のコミュニケーションがうまくいくか不安だから	2	0	0	2	1	1	0	0	2
	3.4%	0.0%	0.0%	4.8%	2.1%	9.1%	-	-	3.4%
雇用する義務がないから	1	0	1	0	0	1	0	0	1
	1.7%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	9.1%	-	-	1.7%
その他	16	1	6	9	13	3	0	0	16
	27.1%	100.0%	37.5%	21.4%	27.1%	27.3%	-	-	27.1%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	0.0%

（８）障がい者に求めるスキル

問．障がい者を雇用する場合、どのようなスキルを求めますか？（いくつでも）

「他の従業員とのコミュニケーションが円滑にできる」が 49.4%と最も高く、次いで、「職場において，求められた基本的なマナーができる」の 48.7%、「パソコン（ワープロ，表計算）ができる」の 44.9%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
他の従業員とのコミュニケーションが円滑にできる	78	49.4%
職場において，求められた基本的なマナーができる	77	48.7%
パソコン（ワープロ，表計算）ができる	71	44.9%
お客さんとのコミュニケーションが円滑にできる	58	36.7%
他の従業員と同等の仕事がこなせる	40	25.3%
資格・免許を持っている	38	24.1%
その他	8	5.1%
特にない	26	16.5%
無回答	0	0.0%
サンプル数	158	－



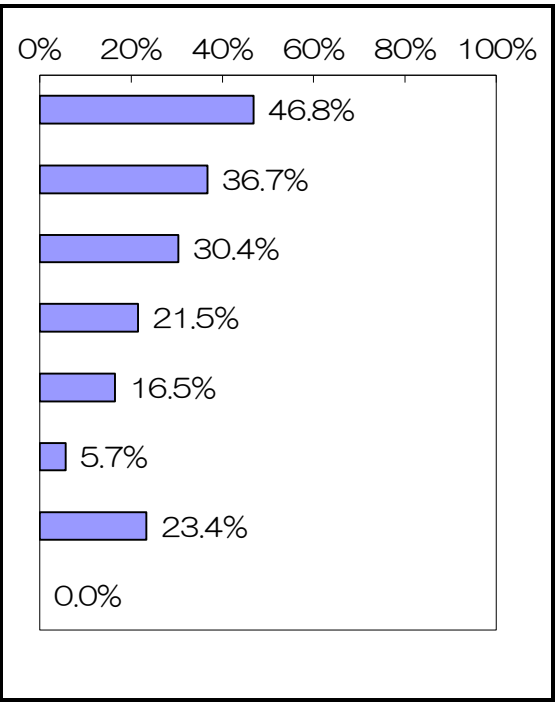
	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	158	2	31	125	99	42	17	29	129
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
他の従業員とのコミュニケーションが円滑にできる	78	1	15	62	39	27	12	13	65
	49.4%	50.0%	48.4%	49.6%	39.4%	64.3%	70.6%	44.8%	50.4%
職場において，求められた基本的なマナーができる	77	0	13	64	42	22	13	18	59
	48.7%	0.0%	41.9%	51.2%	42.4%	52.4%	76.5%	62.1%	45.7%
パソコン（ワープロ，表計算）ができる	71	0	12	59	45	18	8	13	58
	44.9%	0.0%	38.7%	47.2%	45.5%	42.9%	47.1%	44.8%	45.0%
お客さんとのコミュニケーションが円滑にできる	58	0	6	52	34	18	6	7	51
	36.7%	0.0%	19.4%	41.6%	34.3%	42.9%	35.3%	24.1%	39.5%
他の従業員と同等の仕事がこなせる	40	0	9	31	21	12	7	14	26
	25.3%	0.0%	29.0%	24.8%	21.2%	28.6%	41.2%	48.3%	20.2%
資格・免許を持っている	38	0	4	34	25	12	1	4	34
	24.1%	0.0%	12.9%	27.2%	25.3%	28.6%	5.9%	13.8%	26.4%
その他	8	0	1	7	4	3	1	1	7
	5.1%	0.0%	3.2%	5.6%	4.0%	7.1%	5.9%	3.4%	5.4%
特にない	26	1	5	20	23	3	0	2	24
	16.5%	50.0%	16.1%	16.0%	23.2%	7.1%	0.0%	6.9%	18.6%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（９）障がい者雇用に必要な支援

問．障がい者を雇用するにあたり、どのような支援が必要ですか？（いくつでも）

「施策・制度上、雇用主・事業者への財政的支援」が 46.8%と最も高く、次いで、「適性を見定めることのできる職場実習制度」の 36.7%、「障がい者本人の生活面を支えるサポート」の 30.4%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
施策・制度上、雇用主・事業者への財政的支援	74	46.8%
適性を見定めることのできる職場実習制度	58	36.7%
障がい者本人の生活面を支えるサポート	48	30.4%
専門指導員の配置	34	21.5%
障がい者就労支援関係機関の訪問	26	16.5%
その他	9	5.7%
特にない	37	23.4%
無回答	0	0.0%
サンプル数	158	－



	単純集計	産業分類			従業員数			障がい者雇用	
	全体	第１次産業	第２次産業	第３次産業	１～９名	10～49名	50名以上	現在雇用	現在雇用なし
サンプル数	158	2	31	125	99	42	17	29	129
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
施策・制度上、雇用主・事業者への財政的支援	74	0	14	60	41	23	10	14	60
	46.8%	0.0%	45.2%	48.0%	41.4%	54.8%	58.8%	48.3%	46.5%
適性を見定めることのできる職場実習制度	58	1	11	46	28	24	6	7	51
	36.7%	50.0%	35.5%	36.8%	28.3%	57.1%	35.3%	24.1%	39.5%
障がい者本人の生活面を支えるサポート	48	1	11	36	32	15	1	7	41
	30.4%	50.0%	35.5%	28.8%	32.3%	35.7%	5.9%	24.1%	31.8%
専門指導員の配置	34	0	4	30	20	12	2	3	31
	21.5%	0.0%	12.9%	24.0%	20.2%	28.6%	11.8%	10.3%	24.0%
障がい者就労支援関係機関の訪問	26	0	4	22	12	10	4	3	23
	16.5%	0.0%	12.9%	17.6%	12.1%	23.8%	23.5%	10.3%	17.8%
その他	9	0	1	8	4	3	2	3	6
	5.7%	0.0%	3.2%	6.4%	4.0%	7.1%	11.8%	10.3%	4.7%
特にない	37	1	9	27	27	5	5	7	30
	23.4%	50.0%	29.0%	21.6%	27.3%	11.9%	29.4%	24.1%	23.3%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（10）障がい者雇用についての意見、市への要望等（自由記述）

問．障がい者の雇用に関して、感じていることや市への要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

自由記述を内容で分類すると、障がい者雇用のための環境づくり、企業への支援についてが６件と最も多かった。

※内容別の件数

内　　容	件数（件）
①　障がい者雇用のための環境づくり、企業への支援について	6
②　業種・職種によって障がい者雇用への対応が異なることについて	5
③　法制度や障がい者雇用の啓発について	3
④　その他	13

※各回答内容

①　障がい者雇用のための環境づくり、企業への支援について（６件）		
事業分類	従業員規模	内　　容
建設業	20～49 名	・中小企業の体力で、障害者に好ましい環境をしっかり整備するのは厳しい状況にあります。公的な支援もあるでしょうが、認知不足や理解・解釈に戸惑うこともあります。障害者雇用や社会進出は歓迎しますが、まずは環境整備が先？（実は、社会の意識改善が何より先）でしょう。
製造業	100 名以上	会社や職場の不安を解消すべくサポート体制の構築と明確化
製造業	100 名以上	障がい者の雇用を検討しているが、なかなか応募が無い。 身体的な障害であれば、トイレや段差の工事が必要になってくるが、それも想定内である。
卸売業、小売業	１～４名	障がい者レベルに合わせた雇用場の紹介などをもっと明確に出してもらえると、 雇用主も雇用者も選びやすいのでは？
福祉サービス業	１～４名	基本的なフォローアップが出来ていないから仕事に就けず生活保護受給するしかないのだと思う。企業に対して、本人に対して何もしていないのに、仕事に就けると考えている時点でズレている。日常生活を営むにあたり害があるから障害者なのだ。健常者と同じ様に考える事自体が無理がある。
その他	20～49 名	障がい者雇用の必要性は感じているが、業務内容と照らし合わせたときに、他の従業員への負担が大きくなるのではないかといった懸念材料がある。どういった程度の障害を持つ方が求職されているか分かりやすければ、雇用に対してもっと積極的に取り組めるのではないかと考えている。

②　業種・職種によって障がい者雇用への対応が異なることについて（５件）		
事業分類	従業員規模	内　　容
不動産業	１～４名	業種によってスムーズに雇用できるところと、努力・改善しても全くできないところがあると思います
福祉サービス業	10～19 名	障がい者雇用は、職種によって考え方が違うと思います。当施設は、障害者の就労支援施設の為、障害を持った利用者の支援を行う指導員という立場から、利用者と円滑なコミュニケーションが取れるよう、施設職員全員でフォローしている。
その他	１～４名	小規模企業では難しい
その他	10～19 名	弊社は、障害者と相性が良いと思います。現在、Ｂ型作業所さんなどに僅かですがお仕事を出しています。
その他	50～99 名	障がいにもいろいろな種類があると思うが、労災につながることがないか心配です。

③　法制度や障がい者雇用の啓発について（３件）		
事業分類	従業員規模	内　　容
不動産業	１～４名	法律の啓発活動をしっかりやって欲しい。
その他	１～４名	社員２人の会社なので今のところ雇用の機会はなく深く考えたことはありませんでしたので、そういった啓発活動があると良いと思います。
その他	10～19 名	障碍者が自分の能力にあった仕事に就き、やりがいを持って働き続けることは、当たり前の社会の姿だと思います。教育や体験の場において、障碍者に関する知識の習得の場はほとんどありません。障碍を持った方に出会う機会も、求めなければ得られないのではないでしょうか。障碍者雇用は、理想だけでは実現できない困難な部面が現状では間違いなくあります。経営者が、福祉や同情だけでそこに踏み込んでしまうときの怖さを感じたりします。誰もがしあわせに暮らせる宮崎市を障碍者雇用の視点から実現しようとするなら、経営者には、障碍とは、障碍者とは、障碍者雇用とは何か、から始まる知識が必要だと思います。宮崎市にも、障碍者雇用を当たり前としている企業はたくさんありますから。たぶん、一社一社の「最初のひとり」が地域に広がっていくことが、当たり前につながっていくのかな、と思います。

④　その他（13 件）		
事業分類	従業員規模	内　　容
建設業	１～４名	今まで通りで大丈夫だと思います
製造業	100 名以上	障害者法定雇用数の緩和
運輸業	５～９名	この内容とは逸れますが、兄が障がい者です。 施設スタッフさん、大切に接してほしいですね。
不動産業	１～４名	宮崎市職員の引き起こす問題が多過ぎて恥ずかしい。緩い空気感で仕事をやっているとしかおもえない。評価制度を導入すべき。出来る職員がしっかり評価され出世していくような職場であるべき。以上。
飲食業・宿泊業	１～４名	現在廃業状態
福祉サービス業	１～４名	偏見をなくしてほしい。平等に人を見てください。私も障碍を持っています。けど 代表してます。障碍者にも希望の光を与えてください。宜しくお願い致します。
福祉サービス業	１～４名	障がい者を雇用することは、特別なことではないと感じている。もっと、平等に物事に対する目線にするべきだと思う。
福祉サービス業	20～49 名	重度障がい者の方が少しでも多く雇用されるように、福祉サービスと労働サービスの垣根を超える制度の見直しを図ってほしいです。
福祉サービス業	20～49 名	障害があってもできる範囲で就労して頑張っている方もいらっしゃるので協力できたら嬉しいです。
その他	１～４名	障がい者の雇用は経験なく、的確に答えることができませんが、雇用の前に、障がい者が困難無く街に出られる街作りが大切だと思います。
その他	１～４名	パソコンでこのサイトに行き着くのが大変でした。簡単な検索ワードなどをお示しいただけたら助かったと思います。（清山市長になって風通しがよくなりデジタル化が進むことに期待しております！）
その他	100 名以上	男女雇用機会均等法や同一労働同一賃金等、差別を無くそうとする取り組みが活発になっている中、障碍者の差別的扱いを無くす取組みは理解できる。しかしながら、障碍者雇用促進法や女性活躍推進法のような特定の人（障碍者や女性）を優遇しなさいと言わんばかりの施策は差別を無くそうとする動きに対して矛盾を感じる。
その他	100 名以上	現在雇用している方は、何も問題はありません。これからも応募があれば雇用していきたいと思います。

Ⅲ　前回調査との比較

「障がい者手帳所持者調査」及び「小中学生・一般調査」について、平成22年度に実施した調査（以下、「前回調査」という。）との経年比較により、本市の障がい者福祉に係る評価を行った。

評価を行うにあたっては、有意差検定を用い、片側P値＜0.05の時、「有意である」と取り扱うこととした。

i　障がい者手帳所持者調査結果

「外出頻度」「相談相手の有無」「災害時緊急時への不安」の項目で数値が悪化している部分がみられた。

評価項目	前回	今回	変化
◆ ほとんど外出しない障がい者の割合			
身体障がい者	12.6%	17.2%	悪化
知的障がい者	7.8%	6.3%	変化なし
精神障がい者	9.4%	23.9%	悪化
◆ 困ったときの相談相手がいない障がい者の割合			
身体障がい者	2.0%	7.8%	悪化
知的障がい者	3.1%	3.8%	変化なし
精神障がい者	3.1%	16.5%	悪化
◆ 災害時緊急時の不安を抱えている障がい者の割合			
身体障がい者	64.6%	69.4%	悪化
知的障がい者	71.6%	80.2%	悪化
精神障がい者	67.2%	65.4%	変化なし
◆ 障がいがあることで不自由を感じたことが特にない障がい者の割合			
身体障がい者	43.5%	44.6%	変化なし
知的障がい者	19.1%	16.0%	変化なし
精神障がい者	30.5%	22.6%	変化なし

ii　小中学生・一般調査結果

小学生及び中学生の「福祉関係のボランティア活動を行っている割合」が改善した一方、小学生及び一般成人の「障がい者の福祉の問題に関心を持っている割合」、中学生の「障がい者の抱える問題を「地域みんなの問題」として捉えている割合」は悪化した。

評価項目	前回	今回	変化
◆ 障がい者の福祉の問題に関心を持っている市民の割合			
小学生	75.2%	68.4%	悪化
中学生	69.8%	65.5%	変化なし
一般成人	83.2%	76.6%	悪化
◆ 福祉関係のボランティア活動を行っている市民の割合			
小学生	2.1%	8.8%	改善
中学生	1.6%	2.9%	改善
一般成人	5.0%	6.4%	変化なし
◆ 障がい者の抱える問題を「地域みんなの問題」として捉えている市民の割合			
小学生	31.9%	29.8%	変化なし
中学生	43.3%	34.3%	悪化
一般成人	51.0%	48.1%	変化なし

Ⅳ　生活環境への満足度による分析結果

ⅰ　生活環境への満足度による分析結果概要

「障がい者手帳所持者調査」について、生活環境への満足度（現在の生活環境に「十分満足している」もしくは「まあまあ満足している」と回答した割合）と各調査項目との関連分析を行った。

主に以下の項目に該当する場合、生活環境への満足度が高くなる傾向がみられた。

■仕事上で困っている、配慮して欲しいと感じていることが特にない
■仕事に関する情報を得られている
■「スポーツ活動」や「知人宅訪問」を目的とした外出を行っている
■文化芸術に関するイベントに参加している
■困りごと・不安ごとが特にない
■障がい者施策に関する情報が行き届いていると感じている
■市の広報によるサービスや事業に関する情報を分かりやすいと感じている
■障がいがあることで不自由に感じたことが特にない
■障がい者に対する周りの人々の理解・配慮がなされていると感じている
■在宅生活を支援する人が、特に困りごとを抱えていない

一方、主に以下の項目に該当する場合、生活環境への満足度が低くなる傾向がみられた。

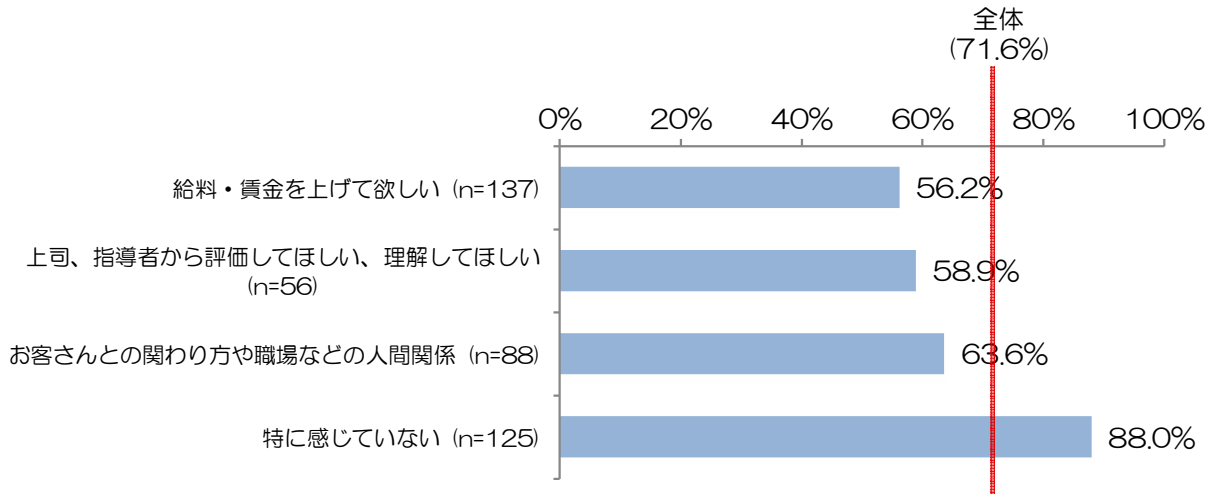
■仕事上で困っている、配慮して欲しいと感じていることとして、「給料・賃金を上げて欲しい」などと感じている
■仕事に関する情報を得られていない
■ほとんど外出しない
■「住居・生活の場所のこと」や「生活費やお金のこと」などの困りごと・不安ごとを抱えている
■困ったときに相談する相手がいない
■障がい者施策に関する情報が行き届いていないと感じている
■市の広報によるサービスや事業に関する情報を分かりにくいと感じている
■宮崎市の障がい者福祉施策のうち、「生活支援の充実」や「医療体制の充実」などに不満を感じている
■障がいがあることで「住まいの場が制限された」「イヤな言葉を言われる」などの経験を有している
■障がい者に対する周りの人々の理解・配慮がなされていると感じていない
■在宅生活を支援する人について、一時的に交代できる人がいない
■在宅生活を支援する人が、「仕事に出られない」「経済的な不安が大きい」などの困りごとを抱えている

ⅱ　生活環境への満足度×各調査項目による分析結果

１．学校・仕事について

（１）仕事上で困っていること等

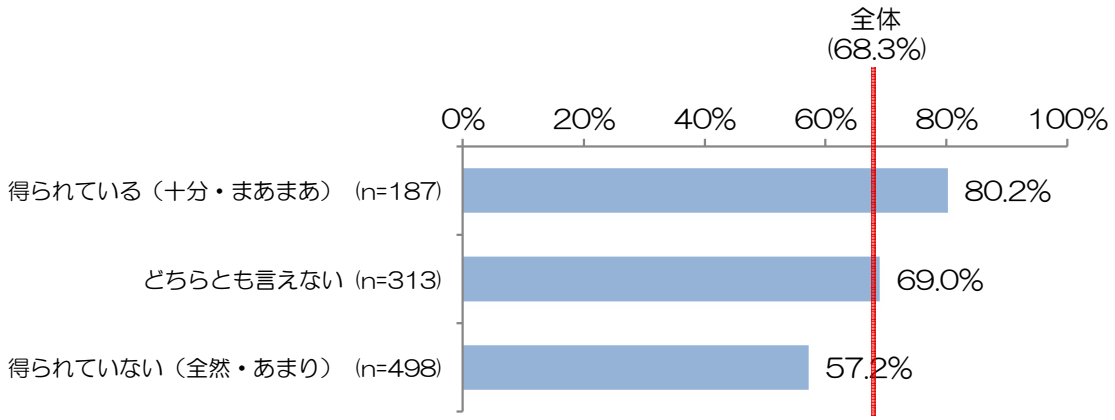
「特に感じていない」と回答した人の満足度は、88.0%と全体値（71.6%）を上回っている一方、「給料・賃金を上げて欲しい」などの困っていること等があると回答した人の満足度は、全体値を下回っている。



※回答数が多い項目のみ抜粋（以下、同様）

（２）障がい者の求人等に関する情報の取得

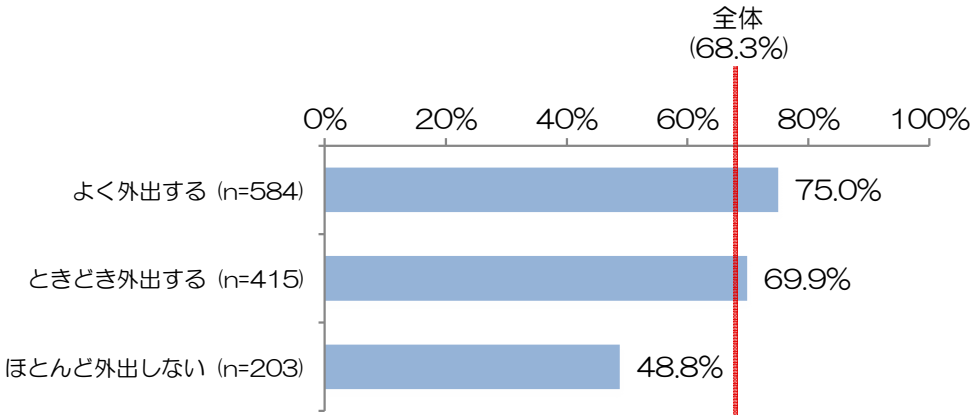
「得られている」と回答した人の満足度は、80.2%と全体値（68.3%）を上回っている一方、「得られていない」と回答した人の満足度は、全体値を下回っている。



２．外出状況について

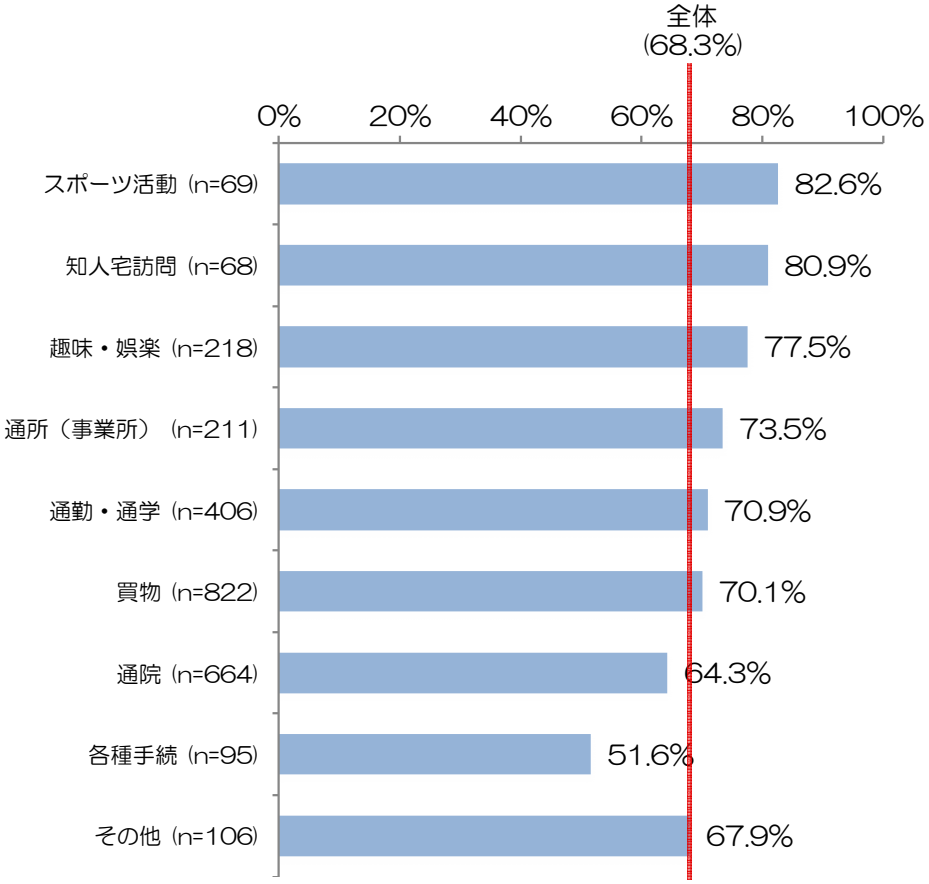
（１）外出の状況

「よく外出する」と回答した人の満足度は、75.0%と全体値（68.3%）を上回っている一方、「ほとんど外出しない」と回答した人の満足度は、全体値を下回っている。



（２）外出の目的

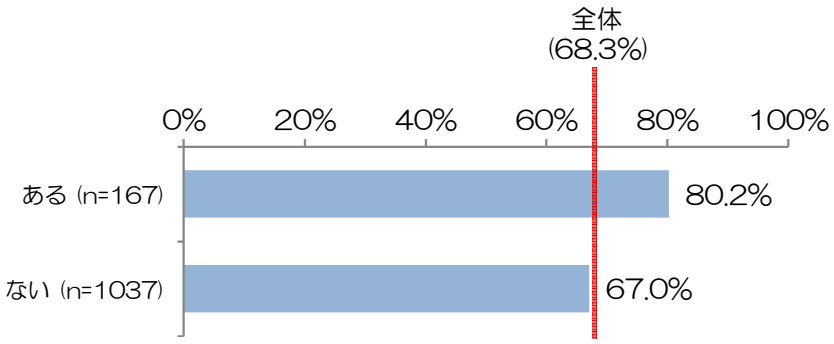
「スポーツ活動」や「知人宅訪問」と回答した人の満足度は、全体値（68.3%）を 10 ポイント以上上回っている一方、「各種手続」と回答した人の満足度は、全体値を下回っている。



３．文化芸術について

（１）文化芸術に関するイベントへの参加経験

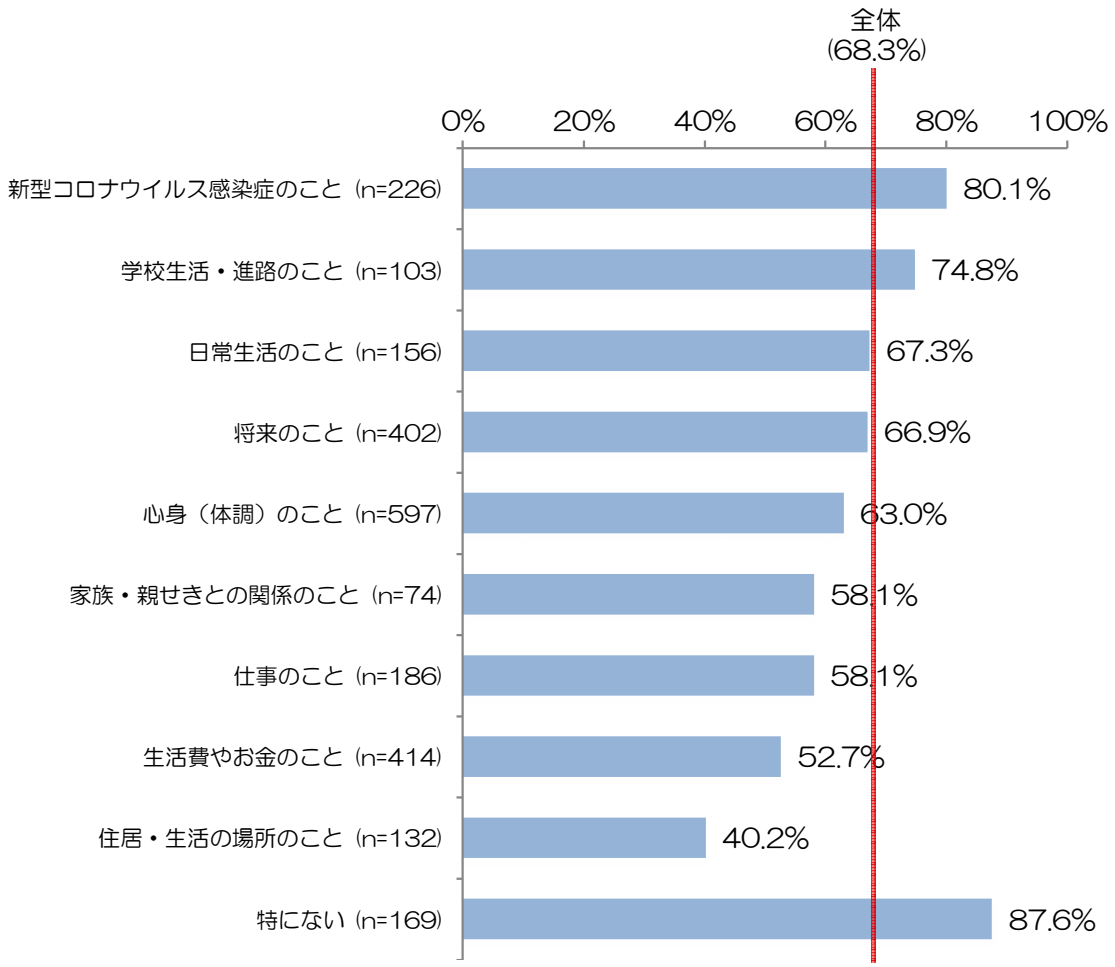
「ある」と回答した人の満足度は、80.2%と全体値（68.3%）を上回っている。



４．困ったときの相談について

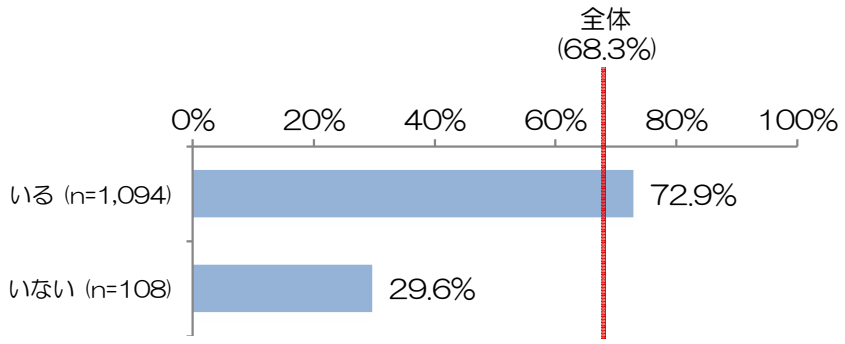
（１）不安・困りごと

「特にない」や「新型コロナウイルス感染症のこと」と回答した人の満足度は、全体値（68.3%）を 10 ポイント以上上回っている一方、「住居・生活の場所のこと」「生活費やお金のこと」等と回答した人の満足度は、全体値を大きく下回っている。



（２）相談相手

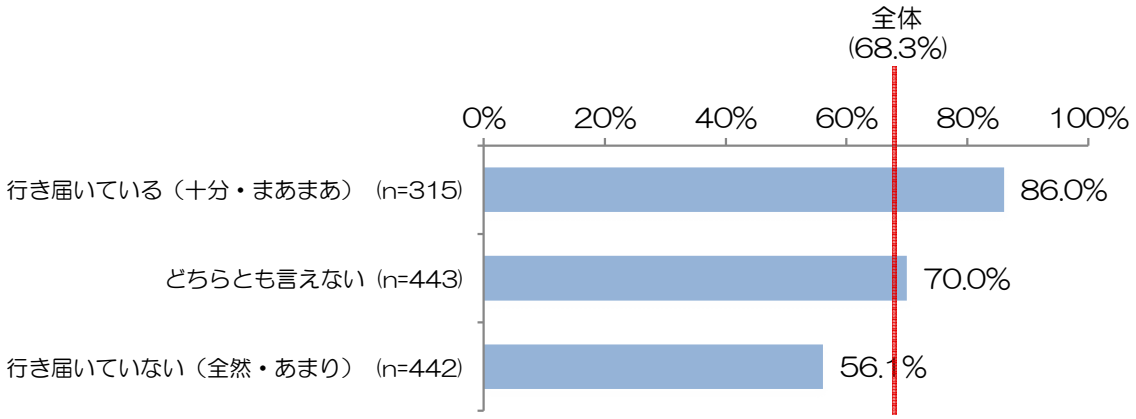
「いない」と回答した人の満足度は、29.6%と全体値（68.3%）を 30 ポイント以上下回っている。



５．福祉・保健施策への希望について

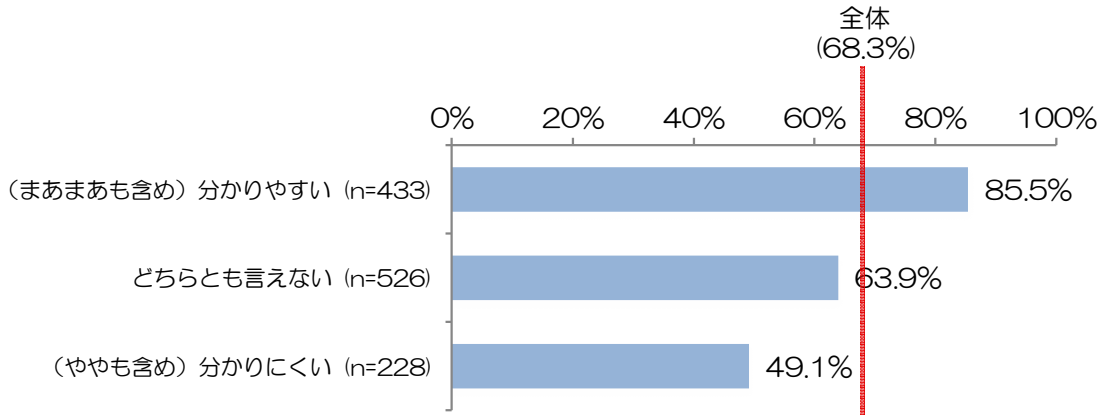
（１）障がい者施策の情報周知

「行き届いている」と回答した人の満足度は、86.0%と全体値（68.3%）を上回っている一方、「行き届いていない」と回答した人の満足度は、全体値を下回っている。



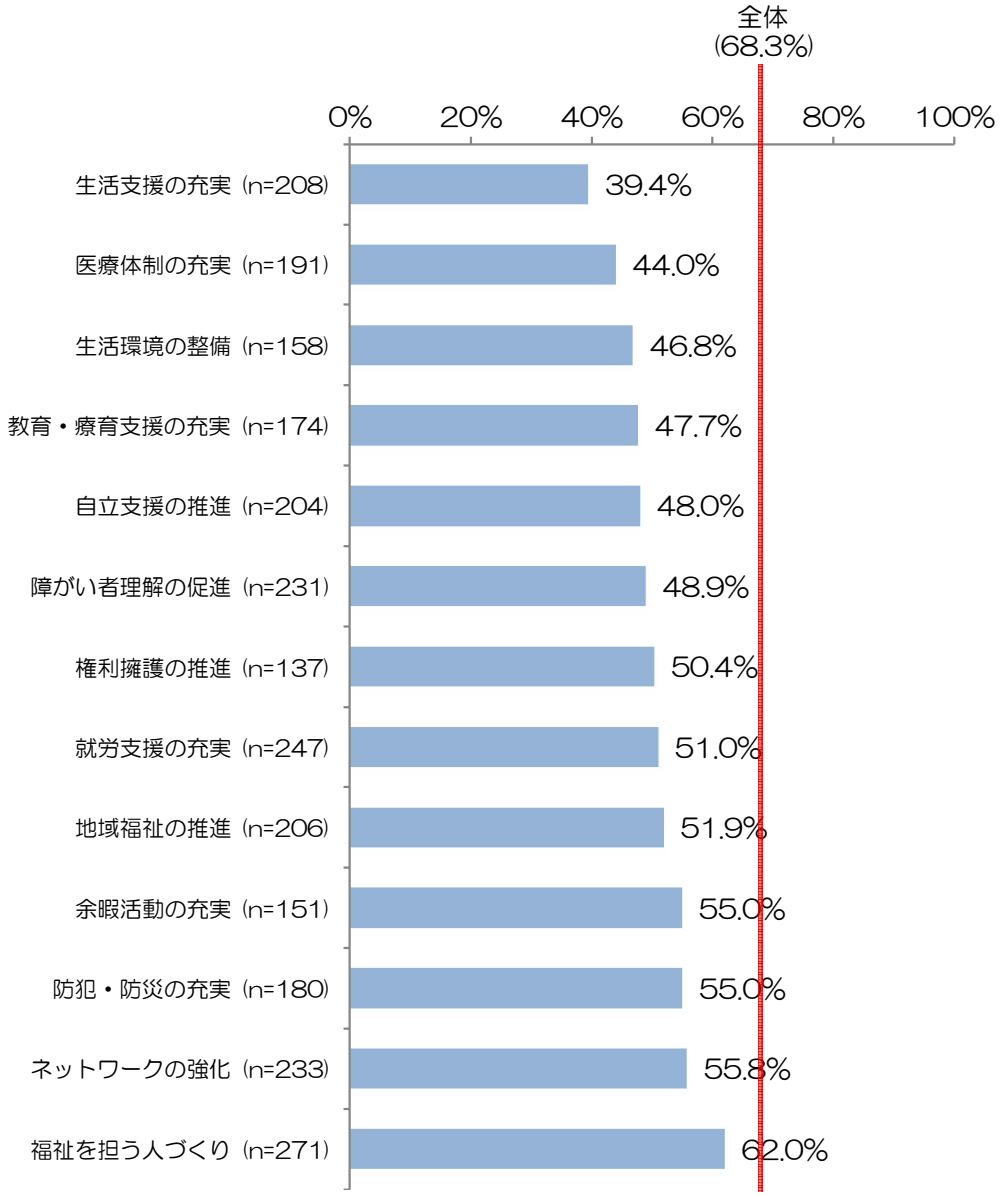
（２）市の広報・福祉のガイドブック等の分かりやすさ

「分かりやすい」と回答した人の満足度は、85.5%と全体値（68.3%）を上回っている一方、「分かりにくい」と回答した人の満足度は、全体値を下回っている。



（３）宮崎市障がい者計画の基本目標ごとの施策への満足度

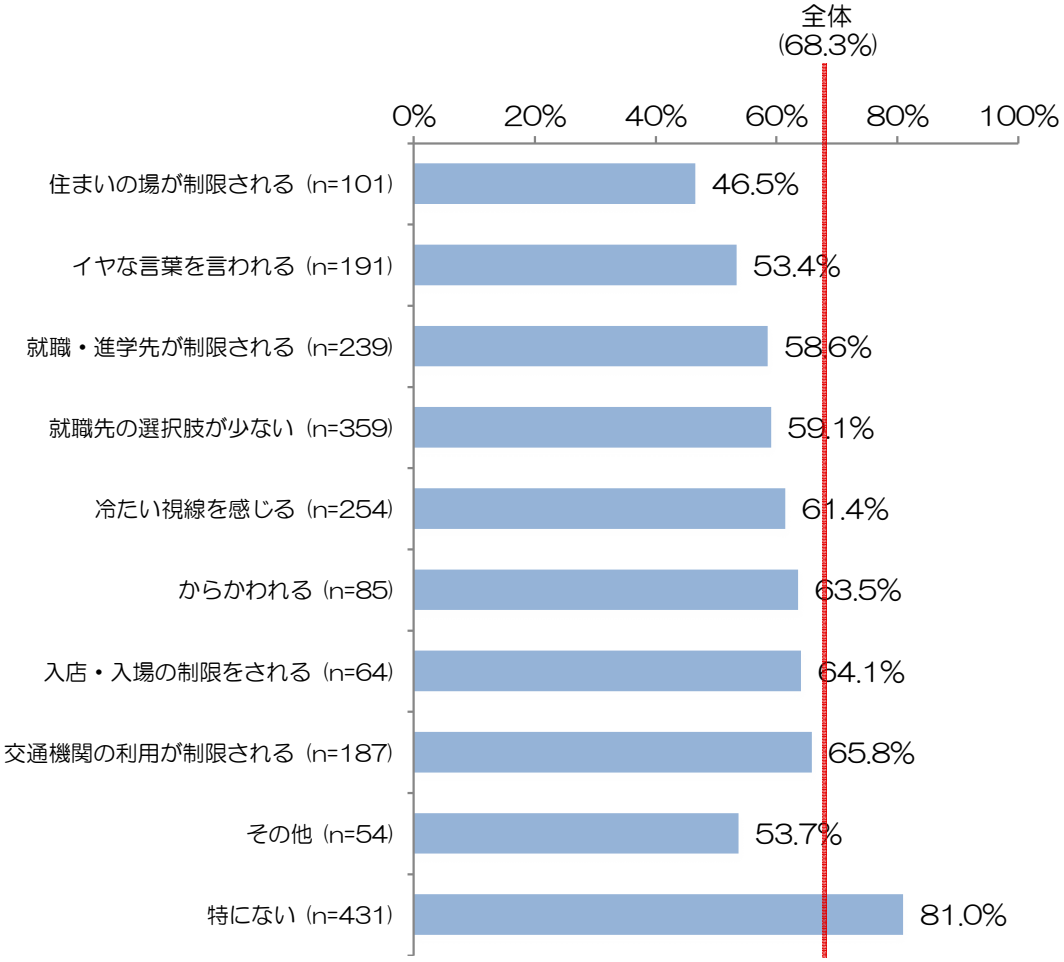
宮崎市障がい者計画の基本目標ごとの施策への満足度について、それぞれの施策に「やや不満」「とても不満」と回答した人の生活環境への満足度をみると、「生活支援の充実」が 39.4%と最も低く、次いで、「医療体制の充実」の 44.0%、「生活環境の整備」の 46.8%の順となっている。



６．障がい者への理解や配慮について

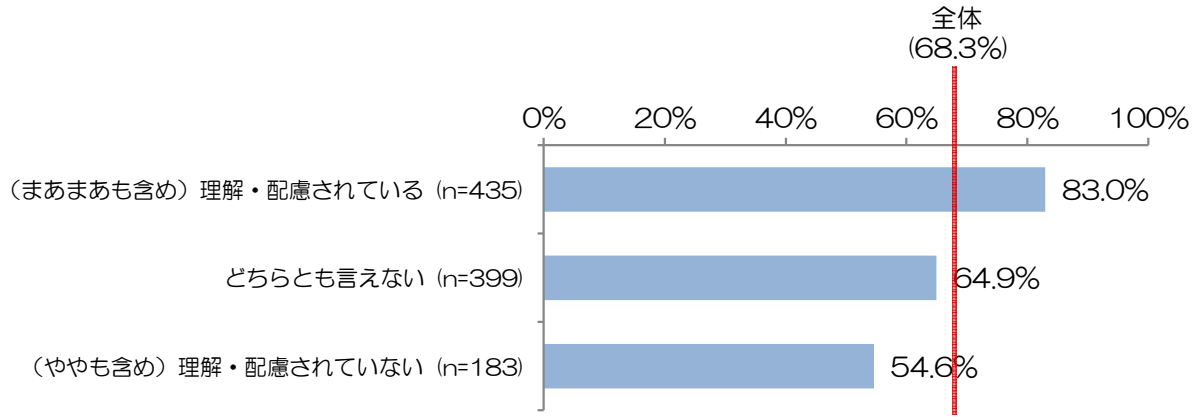
（１）障がいによる不自由

「特にない」と回答した人の満足度は、81.0%と全体値（68.3%）を上回っている一方、「住まいの場が制限される」「イヤな言葉を言われる」等と回答した人の満足度は、全体値を大きく下回っている。



（２）障がいのある人への理解・配慮

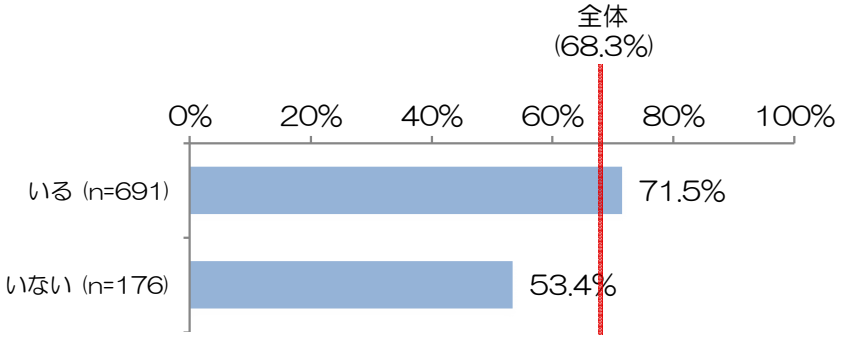
「理解・配慮されている」と回答した人の満足度は、83.0％と全体値（68.3％）を上回っている一方、「理解・配慮されていない」と回答した人の満足度は、全体値を下回っている。



７．在宅での支援の状況について【支援者が回答】

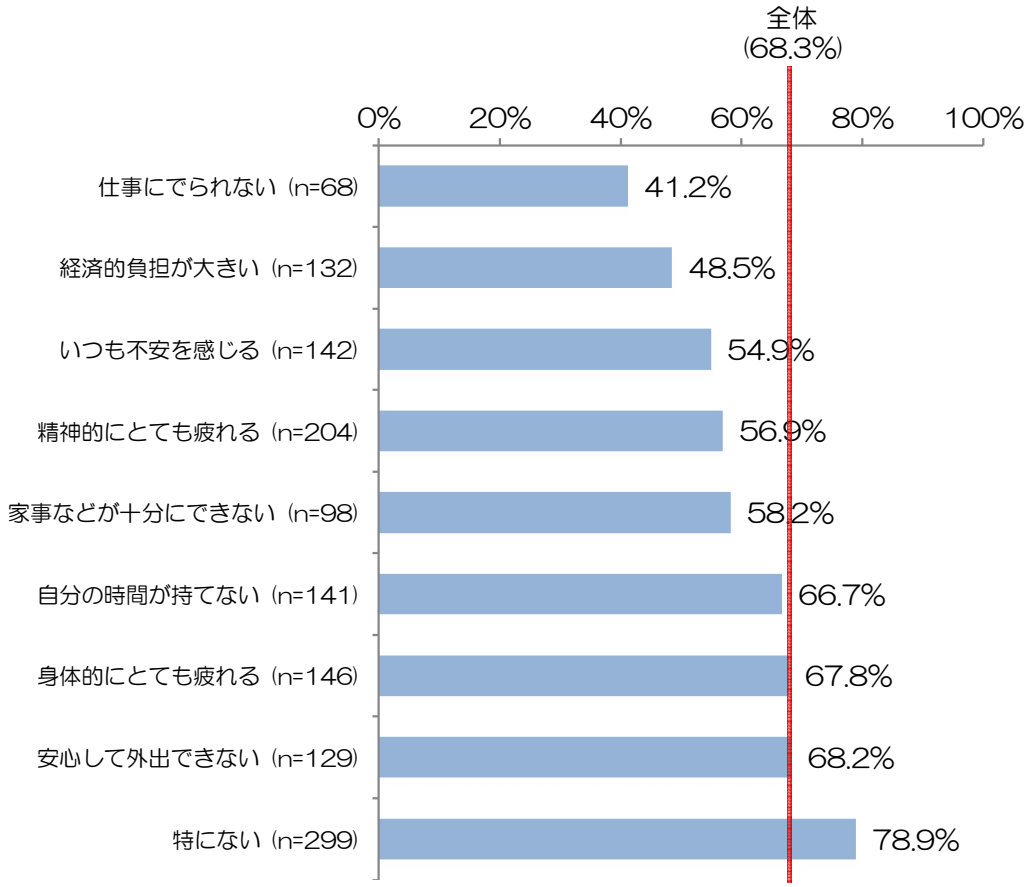
（１）支援の協力者の有無

「いない」と回答した人の満足度は、53.4％と全体値（68.3％）を 10 ポイント以上下回っている。



（２）支援の中で特に大変なこと

「特にない」と回答した人の満足度は、78.9%と全体値（68.3%）を上回っている一方、「仕事にでられない」「経済的負担が大きい」等と回答した人の満足度は、全体値を大きく下回っている。



「第４期 宮崎市障がい者計画」策定に係る
アンケート調査結果報告書

令和４年７月

編集・発行　宮崎市

〒880-8505　宮崎市橘通西１丁目１番１号
TEL：0985-25-2111（代表）